

The Japan Foundation

平成17年度(2005年度)事業実績

平成17年度（2005年度）事業実績

平成17年度（2005年度）国際交流基金 事業実績 目次

平成17年度（2005年度）国際交流基金 事業実績	
目次	3
注	6
地域分類・国名表記一覧	7
事項別事業費一覧	8
<文化芸術交流事業に必要な経費>	11
文化協力事業費	11
人物交流事業費	12
1. 文化協力（派遣）	12
催し等事業費	13
1. 文化財保存（主催）	13
2. 文化財保存（助成）	13
3. 文化財保存（主催）（AC）	14
4. 文化財保存（助成）（AC）	14
5. 文化財保存（主催）（中東）	14
文化事業費	15
人物交流事業費	16
1. 文化人・グループ短期招へい	16
人物交流事業費（日中交流特別事業）	18
1. 21世紀日中交流特別事業（人物交流・招へい）	18
催し等事業費	19
1. 日本紹介のための文化人派遣（主催）	19
2. 日本紹介のための文化人派遣（助成）	23
催し等事業費（日中交流特別事業）	35
1. 21世紀日中交流特別事業（催し・主催）	35
2. 21世紀日中交流特別事業（催し・助成）	36
文化資料事業費（日中交流特別事業）	37
1. 21世紀日中交流特別事業（文化資料）	37
市民青少年交流事業費	38
人物交流事業費	39
1. 中学高校教員交流（招へい）	39
2. 市民青少年交流（指導者交流）	40
3. アジア青年文化奨学金（中等教育プログラム）（AC）	41
4. 開高健記念アジア作家招へい（AC）	42
5. 文化交流企画運営補助ボランティア	42
催し等事業費	43
1. 市民青少年交流（主催）	43
2. 市民青少年交流（主催）（中東）	43
3. 市民青少年交流（助成）	44
4. 市民青少年交流（助成）（AC）	51
5. 市民青少年交流（助成）（中東）	55
6. 異文化理解ワークショップ（中東）	56
7. 異文化理解ワークショップ（AC）	57
8. 異文化理解ワークショップ	59
造形美術事業費	60
人物交流事業費	61
1. 造形美術情報交流（派遣）	61
2. 造形美術情報交流（招へい）	61
催し等事業費	61
1. 国際展（国際展参加）	61
2. 海外展（企画展）	62
3. 海外展（巡回展）	64
4. 国内展（企画展）	73
5. 海外展（助成）	74
6. 国内展（助成）	79
7. 造形美術情報交流（催し）	81
8. 「愛・地球博」途上国支援事業	81
催し等事業費（トリエンナーレ）	81
1. 国際展（横浜トリエンナーレ）	81
舞台芸術事業費	82
人物交流事業費	83
1. 舞台芸術情報交流（派遣）	83
2. 舞台芸術情報交流（招へい）	83
3. 内田奨学金フェロウシップ	84
催し等事業費	85
1. 海外公演（主催）	85
2. 海外公演（助成）	91
3. 海外公演（PAJ北米）	128
4. 国際舞台芸術共同制作	130
5. 国内公演（主催）	131
6. 国内公演（助成）	132
7. 国内公演（主催）（中東）	134
8. 舞台芸術情報交流（催し）	134
9. 「愛・地球博」途上国支援事業	135
映像出版事業費	142
人物交流事業費	143
1. 映像出版情報交流（招へい）	143
催し等事業費	143
1. 海外日本映画祭（主催）	143
2. 海外日本映画祭（助成）	148
3. 国内映画祭（主催）	152
4. 国内映画祭（助成）	153
5. 国内映画祭（主催）（AC）	155
6. 国内映画祭（主催）（中東）	155
7. 映画出版情報交流（催し）	155
文化資料事業費	156
1. テレビ番組交流促進	156
2. フィルムライブラリー充実（本部）	159
3. フィルムライブラリー充実（海外）	160
4. 映画・テレビ番組制作協力	161
5. 出版・翻訳協力（特別）	163
6. 出版・翻訳協力（一般）	163
7. 国際図書展参加	168
8. 映像出版情報交流（文化資料）	170

国際交流フォーラム運営事業費	171	7. 日本語学習者訪日研修 (大学生)	221
国際交流フォーラム運営事業費	172	8. 日本語学習者訪日研修 (高校生)	222
1. 国際交流基金フォーラム貸し出し	172	9. 地域交流研修 (関)	222
2. 国際会議場貸し出し	172		
<日本語普及事業に必要な経費>	174	<日本研究・知的交流事業に必要な経費>	224
日本語事業費	174	企画開発費	224
日本語企画調整費	175	日本研究事業費	225
1. 日本語教育機関等調査	175	1. 日本研究調査〔企〕	225
2. 日本語教育情報交流	175	2. 日本研究ウェブサイト運営	225
3. 海外日本語教育支援N G O助成	176	3. 海外事務所企画開発事業	225
4. 日本語教育企画開発型事業	177	4. 日本研究フェローフォローアップ	227
日本語派遣・助成費	178	文化資料事業費	228
1. 日本語教育専門家派遣 (専門家)	178	1. 日本研究基本図書目録	228
2. 日本語教育専門家派遣 (ジュニア専門家)	182	2. 図書寄贈〔企〕	228
3. 日本語教育巡回セミナー	183	米州交流事業費	229
4. アジア青年文化奨学金 (予備教育) (AC)	184	日本研究事業費	230
5. 日本語教育学会助成	185	1. 日本研究調査〔米〕	230
6. 日本語教育機関支援 (専任講師給与助成)	185	2. 日本研究客員教授派遣 (直接派遣)〔米〕	230
7. 日本語教育機関支援 (現地講師謝金助成)	186	3. 日本研究拠点機関助成〔米〕	230
8. 日本語教育プロジェクト支援 (弁論大会助成)	187	4. 日本研究スタッフ拡充助成〔米〕	231
9. 日本語教育プロジェクト支援 (ネットワーク形成助成)	193	5. 日本研究リサーチ・会議等開催 (助成)〔米〕	231
10. 日本語教育JFボランティア (指導助手派遣)	195	6. 日本研究リサーチ・会議等開催 (主催)〔米〕	233
11. 日本語教育JFボランティア (シニア客員教授派遣)	196	人物交流事業費	234
日本語能力試験費	197	1. 新渡戸フェローシップ	234
1. 日本語能力試験実施	197	2. 小渕フェローシップ	234
2. 評価開発	198	3. 日本研究フェローシップ (学者・研究者)〔米〕	235
附属機関日本語国際センター事業費	199	4. 日本研究フェローシップ (論文執筆)〔米〕	236
研修事業費	200	5. 日本研究フェローシップ (短期)〔米〕	238
1. 指導的日本語教師の養成 (日本語教育指導者)	200	僅し等事業費	240
2. 指導的日本語教師の養成 (海外日本語教師上級研修)	201	1. 知的リーダー交流 (国際会議出席助成・派遣)〔米〕	240
3. 海外日本語教師研修 (長期)	202	2. 知的リーダー交流 (国際会議出席助成・招へい)〔米〕	240
4. 海外日本語教師研修 (短期)	203	3. 知的交流会議等開催 (助成)〔米〕	240
5. 海外日本語教師研修 (在外邦人)	204	文化資料事業費	241
6. 海外日本語教師研修 (国別)	205	1. 図書寄贈〔米〕	241
7. 受託研修 (日)	205	アジア・大洋州交流事業費	243
8. 地域交流研修 (日)	206	日本研究事業費	244
制作事業費	206	1. 日本研究調査〔ア〕	244
1. 日本語教育フェローシップ	206	2. 日本研究客員教授派遣 (自主企画)〔ア〕	244
2. 日本語教材 (自主開発・普及)	208	3. 日本研究客員教授派遣 (直接派遣)〔ア〕	244
3. 日本語教材 (助成)	209	4. 日本研究シニア客員教授派遣 (直接派遣)〔ア〕	245
4. 日本語教材 (寄贈)	211	5. 日本研究拠点機関助成〔ア〕	246
5. 図書館運営 (日)	212	6. 日本研究スタッフ拡充助成〔ア〕	246
附属機関関西国際センター事業費	213	7. 日本研究リサーチ・会議等開催 (助成)〔ア〕	247
研修事業費	214	8. 高砂熱学工業・日本研究奨励スカラシップ	248
1. 図書館運営 (関)	214	9. 東南アジア元日本留学生活動支援 (A C)	248
2. 専門日本語研修 (外交官)	214	10. 北京日本学研究センター派遣 (北外)	249
3. 専門日本語研修 (公務員)	215	11. 北京日本学研究センター派遣 (北大)	251
4. 専門日本語研修 (司書)	216	12. 北京日本学研究センター招へい (北外)	251
5. 専門日本語研修 (研究者・大学院生)	217	13. 北京日本学研究センター招へい (北大)	252
6. 日本語学習者訪日研修 (各国成績優秀者)	219	14. 北京日本学研究センター (研究協力)	253
		15. 中国社会科学院研究生院	253

人物交流事業費	254	人物交流事業費	303
1. 地域研究フェローシップ〔ア〕	254	1. 安倍フェローシップ	303
2. 日本研究フェローシップ(学者・研究者)〔ア〕	254	催し等事業費	304
3. 日本研究フェローシップ(論文執筆者)〔ア〕	258	1. 日米知的交流(助成)	304
4. 日本研究フェローシップ(短期)〔ア〕	260	2. 日米知的交流(主催)	308
5. 知的リーダー・グループ招へい〔ア〕	261	日米市民対話推進費	309
6. 知的交流フェローシップ(次世代)(AC)〔ア〕	261	人物交流事業費	310
7. 知的リーダー交流(アジアリーダー)(AC)〔ア〕	263	1. 日米センターNPOフェローシップ	310
8. 知的交流フェローシップ(招へい)〔ア〕	263	2. 日米草の根交流コーディネーター派遣(JOI)プログラム	310
催し等事業費	263	催し等事業費	311
1. 知的リーダー交流(国際会議出席助成・招へい)〔ア〕	263	1. 日米市民交流(助成)	311
2. 知的リーダー交流(国際会議出席助成・派遣)〔ア〕	264	2. 日米:教育を通じた相手国理解促進(助成)	315
3. 知的交流会議等開催(助成)(AC)〔ア〕	265	3. 日米市民交流(地域活動促進小規模助成)	317
4. 知的交流会議等開催(企画参画助成)(AC)〔ア〕	267	4. 日米市民交流(主催)	318
5. 知的交流会議等開催(主催)(AC)〔ア〕	268	5. 日米:教育を通じた相手国理解促進(地域活動促進小規模助成)	319
6. アジア地域研究センター支援(催し等)(AC)	269	文化資料事業費	320
7. 沖縄国際フォーラム	269	1. 日米:教育を通じた相手国理解促進(文化資料)	320
文化資料事業費	269	2. 日米市民交流(文化資料)	320
1. 図書寄贈〔ア〕	269	<調査研究および情報提供事業等に必要経費>	321
欧州・中東・アフリカ交流事業費	273	情報センター事業費	321
日本研究事業費	274	催し等事業費	322
1. 日本研究調査〔欧〕	274	1. 国内連携促進	322
2. 日本研究客員教授派遣(自主企画)〔欧〕	274	文化資料事業費	322
3. 日本研究客員教授派遣(直接派遣)〔欧〕	275	1. 定期刊行物	322
4. 日本研究シニア客員教授派遣(直接派遣)〔欧〕	275	2. 年次報告	323
5. 日本研究客員教授派遣(経費助成)〔欧〕	275	3. インターネット・ホームページ	324
6. 日本研究拠点機関助成〔欧〕	276	調査研究費	324
7. 日本研究スタッフ拡充助成〔欧〕	277	1. 図書館・情報リソースセンター事業	324
8. 日本研究リサーチ・会議等開催(助成)〔欧〕	277	2. 国際交流顕彰事業(基金賞・奨励賞)	324
9. 日本研究リサーチ・会議等開催(主催)〔欧〕	278	3. 国際交流顕彰事業(地球市民賞)	325
10. 日本研究組織強化支援(助成)〔欧〕	278	企画・評価費	327
人物交流事業費	279	調査研究費	328
1. 地域研究フェローシップ〔欧〕	279	1. 調査研究	328
2. 日本研究フェローシップ(学者・研究者)〔欧〕	279	2. 事業評価(企)	328
3. 日本研究フェローシップ(論文執筆)〔欧〕	282	文化事情調査費	329
4. 日本研究フェローシップ(短期)〔欧〕	284	調査研究費	330
5. 知的リーダー交流(招へい)〔欧〕	285	1. 文化事情調査	330
6. 知的交流フェローシップ(派遣)〔欧〕	286	2. ワーキング・グループ関係費	331
7. 知的交流フェローシップ(招へい)〔欧〕	286	<在外事業に必要な経費>	332
8. 知的交流フェローシップ(派遣)(中東)〔欧〕	287	<文化交流施設等協力事業に必要な経費>	457
9. 知的交流フェローシップ(招へい)(中東)〔欧〕	289		
催し等事業費	289		
1. 知的リーダー交流(国際会議出席助成・招へい)〔欧〕	289		
2. 知的リーダー交流(国際会議出席助成・派遣)〔欧〕	291		
3. 知的交流会議等開催(主催)〔欧〕	291		
4. 知的交流会議等開催(助成)〔欧〕	292		
5. 知的交流会議等開催(主催)(中東)〔欧〕	297		
6. 知的交流会議等開催(助成)(中東)〔欧〕	297		
文化資料事業費	298		
1. 図書寄贈〔欧〕	298		
日米知的交流推進費	302		

(注)

1. 期 間

- (1) 本書で扱う事業実績は、事業の実施期間が2005事業年度（2005年4月1日～2006年3月31日）内のもの、および実施期間の一部がこの年度にかかっているものを対象としている。
- (2) 各事業の実施期間は次による。
 - ・人物の派遣・招へい：派遣期間または招へい期間
 - ・展覧会／公演／映画祭／セミナー等の実施：開催期間（開催日）または総巡回期間
 - ・上記を除く助成事業：助成対象期間
 - ・調査：調査実施期間
 - ・出版物の刊行：発行日

2. 地域・国

- (1) 地域分類および国名表記は別表のとおりである。
- (2) 各事業の実施対象国は次による。
 - ・人物の派遣：派遣先国
 - ・人物の招へい：被招へい者の居住国
 - ・展覧会／公演／映画祭等の実施
 - 海外で実施される場合：実施国
 - 国内で実施される場合：参加国またはテーマ国
 - ・リサーチ／会議／セミナー等の実施
 - 主催事業の場合：参加国またはテーマ国
 - 助成事業の場合：助成対象者（団体）所在国
 - ・図書／フィルム等の寄贈・配布：寄贈・配布先国
 - ・出版物の刊行：配布先国
 - ・上記を除く助成事業：助成対象者（団体）所在国

3. 海外事務所・海外日本語センターの事業

海外事務所・海外日本語センターの経費は、支出時のレートで円換算し、小数点以下は切り捨てた。

※2001年度より、本書で扱う事業実績額は、プロジェクトごとにまとめている。

(別表) 地域分類・国名表記一覧(2005年度事業用)

(平成18年3月現在)

大 地 域 区 分	小 地 域 区 分	国 名 (通 称、五 十 音 順)
アジア地域	東アジア地域	韓国、中国、日本、モンゴル
	東南アジア地域	インドネシア、カンボジア、シンガポール、タイ、東ティモール、フィリピン、ブルネイ、ベトナム、マレーシア、ミャンマー、ラオス
	南アジア地域	インド、スリランカ、ネパール、パキスタン、バングラデシュ、ブータン、モルディブ
大洋州地域	大洋州地域	オーストラリア、キリバス、サモア、ソロモン、ツバル、トンガ、ナウル、ニュージーランド、バヌアツ、パプアニューギニア、パラオ、フィジー、マーシャル諸島、ミクロネシア
米州地域	北米地域	カナダ、米国
	中米地域	アンティグア・バーブーダ、エルサルバドル、キューバ、グアテマラ、グレナダ、コスタリカ、ジャマイカ、セントクリストファー・ネイビス、セントビンセント、セントルシア、ドミニカ、ドミニカ共和国、トリニダード・トバゴ、ニカラグア、ハイチ、パナマ、バハマ、バルバドス、ベリーズ、ホンジュラス、メキシコ
	南米地域	アルゼンチン、ウルグアイ、エクアドル、ガイアナ、コロンビア、スリナム、チリ、パラグアイ、ブラジル、ベネズエラ、ペルー、ボリビア
欧州地域	西欧地域	アイスランド、アイルランド、アンドラ、イタリア、英国、オーストリア、オランダ、キプロス、ギリシャ、サンマリノ、スイス、スウェーデン、スペイン、デンマーク、ドイツ、ノルウェー、バチカン、フィンランド、フランス、ベルギー、ポルトガル、マルタ、モナコ、リヒテンシュタイン、ルクセンブルグ
	東欧地域	アゼルバイジャン、アルバニア、アルメニア、ウクライナ、ウズベキスタン、エストニア、カザフスタン、キルギス、グルジア、クロアチア、スロバキア、スロベニア、セルビア、タジキスタン、チェコ、トルクメニスタン、ハンガリー、ブルガリア、ベラルーシ、ポーランド、ボスニア・ヘルツェゴビナ、マケドニア、モルドバ、モンテネグロ、ラトビア、リトアニア、ルーマニア、ロシア
中東地域	中東地域	アフガニスタン、アラブ首長国連邦、イエメン、イスラエル、イラク、イラン、オマーン、カタール、クウェート、サウジアラビア、シリア、トルコ、バーレーン、パレスチナ、ヨルダン、レバノン
	北アフリカ地域	アルジェリア、エジプト、スーダン、チュニジア、モロッコ、リビア
アフリカ地域	アフリカ地域	アンゴラ、ウガンダ、エチオピア、エリトリア、ガーナ、カーボヴェルデ、ガボン、カメルーン、ガンビア、ギニア、ギニアビサウ、ケニア、コートジボワール、コモロ、コンゴ、コンゴ民主共和国、サントメ・プリンシペ、ザンビア、シエラレオネ、ジブチ、ジンバブエ、スワジランド、セーシェル、赤道ギニア、セネガル、ソマリア、タンザニア、チャド、中央アフリカ、トーゴ、ナイジェリア、ナミビア、ニジェール、ブルキナファソ、ブルンジ、ベナン、ボツワナ、マダガスカル、マラウイ、マリ、南アフリカ、モーリシャス、モーリタニア、モザンビーク、リベリア、ルワンダ、レソト

事項別事業費一覧

(円)

文化芸術交流事業に必要な経費	3,385,705,073
文化協力事業費	55,188,043
1. 人物交流事業費	25,376,705
2. 催し等事業費	29,811,338
文化事業費	271,170,871
1. 人物交流事業費	56,537,886
2. 人物交流事業費（日中交流特別事業）	27,680,450
3. 催し等事業費	143,093,325
4. 催し等事業費（日中交流特別事業）	4,877,474
5. 文化資料事業費（日中交流特別事業）	5,841,821
共通経費等	33,139,915
市民青少年交流事業費	342,331,138
1. 人物交流事業費	196,081,941
2. 催し等事業費	146,249,197
造形美術事業費	609,983,195
1. 人物交流事業費	6,660,972
2. 催し等事業費	494,785,029
3. 催し等事業費（トリエンナーレ）	45,631,718
共通経費等	62,905,476
舞台芸術事業費	1,225,413,143
1. 人物交流事業費	22,949,828
2. 催し等事業費	1,202,463,315
映像出版事業費	568,288,907
1. 人物交流事業費	5,778,973
2. 催し等事業費	142,618,953
3. 文化資料事業費	419,890,981
国際交流フォーラム運営事業費	313,329,776
1. 国際交流フォーラム運営事業費	69,398,684
共通経費等	243,931,092
日本語普及事業に必要な経費	3,562,879,841
日本語事業費	1,685,821,292
1. 日本語企画調整費	110,655,060
2. 日本語派遣・助成費	1,325,614,715
3. 日本語能力試験費	227,227,711
共通経費等	22,323,806

附属機関日本語国際センター事業費	1,009,297,419
1. 運営諸費	200,431,130
2. 研修事業費	331,986,174
3. 制作事業費	176,768,748
共通経費等	300,111,367

附属機関関西国際センター事業費	867,761,130
1. 運営諸費	277,173,391
2. 研修事業費	374,733,905
共通経費等	215,853,834

日本研究・知的交流事業に必要な経費	2,472,319,868
-------------------	---------------

企画開発費	118,122,871
1. 日本研究事業費	65,722,772
2. 人物交流事業費	4,207,686
3. 文化資料事業費	15,424,995
共通経費等	32,767,418

米州交流事業費	279,730,723
1. 日本研究事業費	97,912,636
2. 人物交流事業費	153,704,563
3. 催し等事業費	11,444,020
4. 文化資料事業費	16,669,504

アジア・大洋州交流事業費	823,299,323
1. 日本研究事業費	351,990,284
2. 人物交流事業費	252,802,303
3. 催し等事業費	192,357,839
4. 文化資料事業費	26,148,897

欧州・中東・アフリカ交流事業費	531,238,771
1. 日本研究事業費	100,386,226
2. 人物交流事業費	229,884,120
3. 催し等事業費	155,613,865
4. 文化資料事業費	45,354,560

日米知的交流推進費	414,781,239
1. 人物交流事業費	193,343,418
2. 催し等事業費	221,437,821

日米市民対話推進費	198,824,689
1. 人物交流事業費	40,166,103
2. 催し等事業費	154,216,621
3. 文化資料事業費	4,441,965

日米センター運営管理費	106,322,252
1. 運営諸費	98,805,769
共通経費等	7,516,483

調査研究および情報提供事業等に必要経費	531,025,969
----------------------------	--------------------

情報センター事業費	449,821,743
1. 催し等事業費	10,222,747
2. 文化資料事業費	131,645,037
3. 調査研究費	194,727,195
共通経費等	113,226,764

企画・評価費	25,946,297
1. 調査研究費	25,946,297

文化事情調査費	55,257,929
1. 調査研究費	33,678,327
共通経費等	21,579,602

在外事業に必要な経費	2,073,186,700
-------------------	----------------------

在外事業費	2,073,186,700
1. 在外事業費	1,905,089,565
共通経費等	168,097,135

文化交流施設等協力事業に必要な経費	966,201,440
--------------------------	--------------------

文化交流施設等協力事業費	966,201,440
1. 文化交流施設等協力事業費	966,201,440

事業費総計	12,991,318,891
-------	----------------

文化芸術交流事業に必要な経費

文化協力事業費

1. 人物交流事業費

- (1) 文化協力（派遣）

2. 催し等事業費

- (1) 文化財保存（主催）
- (2) 文化財保存（助成）
- (3) 文化財保存（主催）（AC）
- (4) 文化財保存（助成）（AC）
- (5) 文化財保存（主催）（中東）

文化協力事業費

1. 人物交流事業費 (1)文化協力(派遣)

主にODA対象国における現代の文化・芸術・スポーツなどの活動を振興し、諸分野の人材育成を支援するために、専門家の派遣および招へいを行なう。

合計額 21,354,172円

事業名	氏名	人数	国	期間	事業内容
1 舞台技術指導 (フィリピン)	シナーグ・アーツ財団	20	フィリピン	06.03.13～ 06.03.26	シナーグ・アーツ財団(松本直み代表)と共催して、フィリピン(マニラ)で、日本およびブルネイを除くアセアン加盟9カ国の舞台技術者15名に対して、専門家5名の指導による舞台技術ワークショップを実施
2 演劇指導(バン グラデシュ)	木村 進次(す わらじ劇団代 表)	2	バングラデ シュ	06.08.08～ 06.08.22	木村進次(すわらじ劇団代表)他1名をバングラデシュ(ダッカ)に派遣し、バングラデシュ国立芸術院にて戯曲『米百俵』上演のための演劇指導およびワークショップを実施
3 ピアノ調律師 (グアテマラ)	斎藤 雅顕(サ ウンドウェーブ 技術部員)	1	グアテマラ	05.07.02～ 05.07.17	斎藤雅顕(サウンドウェーブ技術部長)をグアテマラ(グアテマラシティ)に派遣し、国立劇場および国立音楽院にてピアノの調律および現地調律師への技術指導を実施
4 美術品修復・保 存(ボスニア・ ヘルツェゴビ ナ)	川村 明子(山 領絵画修復工 房)	1	ボスニア・ヘ ルツェゴビナ	06.02.05～ 06.04.21	川村明子(山領絵画修復工房)をボスニア・ヘルツェゴビナ(サラエボ)へ派遣し(06/2/5～06/2/11現地調査、06/3/14～06/4/21事業実施)、ボスニア・ヘルツェゴビナ美術館所蔵の美術品の修復、サラエボ芸術学院生への技術指導を実施
5 柔道指導(ギニ ア)	石村 大祐(総 合警備保障株 式会社)	1	ギニア	06.02.02～ 06.04.01	講道館推薦の石村大祐(3段)をギニア(コナクリ)に派遣し、現地柔道家等に対する柔道指導を実施
6 空手指導(ケニ ア)	松江 肇(日本 空手松涛連盟)	1	ケニア	05.12.01～ 06.02.28	全日本空手道連盟推薦の松江肇(松涛館流3段)をケニア(ナイロビ/モンバサ他)に派遣し、現地空手家に対する空手指導を実施
7 音楽・楽器指導 (ザンビア)	岡部 マリー ローレンツ(フ ルート演奏家)	3	ザンビア	05.10.15～ 05.12.15	岡部マリーローレンツ(フルート演奏家)他2名をザンビア(ルサカ)に派遣し、音楽指導者養成校Evelyn Hone Collegeにて楽器演奏指導を実施

2. 催し等事業費 (1)文化財保存 (主催)

海外の無形および有形の文化財保存に協力するため、専門家の派遣・招へい、国際共同研究、専門家会議、セミナー・ワークショップなどを実施する。

合計額 9,702,531円

	氏名	現職	国	都市	期間	受入団体	事業内容
1	赤澤 泰	鴻池組社員	カンボジア	シエムリアップ	05.04.01～ 05.04.30	日本政府アンコール遺跡救済チーム (JSA)	赤澤泰 (鴻池組) をカンボジア (シエムリアップ) に派遣し、JSA (日本国政府アンコール救済チーム) の一員として、アンコール遺跡の保存修復作業指導を実施
2	中村 誠一	マヤ考古学研究者	グアテマラ	グアテマラシティ/ ティカル/ キリグア	05.07.11～ 05.10.10	グアテマラ文化・スポーツ省	中村誠一 (マヤ文明研究者) をグアテマラに派遣し、ティカル遺跡およびキリグア遺跡の保存修復活動のための実地調査および保存計画策定指導を実施
3	中村 誠一	マヤ考古学研究者	ホンジュラス	テグシガルパ/ コパン	05.10.12～ 05.12.10	ホンジュラス国立人類学歴史学研究所	中村誠一 (マヤ文明研究者) をホンジュラスに派遣し、コパン遺跡の保存修復活動および修復技術指導を実施

2. 催し等事業費 (2)文化財保存 (助成)

海外の無形および有形の文化財保存に協力する日本の機関が実施する国際共同事業に対し経費の一部を助成する。

合計額 4,018,910円

	事業名	団体	国	期間	事業内容
1	舞踏デジタルアーカイブ	立命館大学アーツリサーチセンター	ナイジェリア	05.11.20～ 06.03.30	ナイジェリアより伝統舞踊を伝承する国立舞踊団所属ダンサーを招へいし、舞踊動作をモーションキャプチャしデジタルアーカイブ化する事業に対して助成

文化協力事業費

2. 催し等事業費 (3)文化財保存 (主催) (AC)

アジアの有形・無形の文化財を保存・振興する国際的な共同作業を企画実施・支援する。伝統を現代に生かすことを目的とした様々な国際共同研究、専門家派遣、現地調査、およびワークショップなどを実施・支援する。

合計額 1,270,710円

	事業名	国	期間	事業内容
1	タンロン遺跡 (ベトナム)	ベトナム	06.02.27～ 06.03.02	今泉隆雄 (東北大学大学院教授)、坪井善明 (早稲田大学教授)、上野邦一 (奈良女子大学教授) をベトナム (ハノイ) に派遣し、タンロン遺跡発掘・保存支援のための事前調査を実施

2. 催し等事業費 (4)文化財保存 (助成) (AC)

アジア各国の文化振興支援を目的とした国際共同作業に基づく会議・ワークショップ・セミナー・研修などに対し助成を行なう。

合計額 5,147,545円

	事業名	団体	国	期間	事業内容
1	バンテン遺跡	バンテン遺跡研究会	インドネシア	05.06.01～ 06.03.31	インドネシアのバンテン州ティルタヤサ離宮遺跡と南東スラウェシ州プトン王城遺跡の保存のためにインドネシア研究者と共同で調査する事業に対して助成
2	アジア遺跡都市 トライアングル	奈良まちづくりセンター	マレーシア	05.04.01～ 06.03.31	タイ・チェンマイの市民組織と奈良まちづくりセンターがマレーシア・ペナンの町並み調査および保存提案を行なう事業に対して助成
3	ネパール文献修復	アジア文化財保存修復会	ネパール	05.07.01～ 05.08.17	ネパール・アサ古文書館所蔵貝葉写本の保存修復活動および現地関係者への保存技術ワークショップを行なう事業に対して助成

2. 催し等事業費 (5)文化財保存 (主催) (中東)

中東の有形・無形の文化財を保存・振興する国際的な共同作業を企画実施・支援する。伝統を現代に生かすことを目的とした様々な国際共同研究、専門家派遣、現地調査、およびワークショップなどを実施・支援する。

合計額 9,671,642円

	氏名	現職	国	都市	期間	受入団体	事業内容
1	MOHAMMAD Nader (他14名)	情報文化観光省/現地NPOスタッフ/陶工	アフガニスタン	瀬戸/常滑/愛媛(砥部)/大分/福岡/東京	05.07.11～ 05.07.22	各地の陶芸家・陶芸組合	アフガニスタンよりイスタリフ焼の陶工13名、情報文化観光省役人1名、現地NPOスタッフ1名を招へいし、日本の陶芸関係者との交流、日本の焼き物産地の視察の機会を提供

文化芸術交流事業に必要な経費

文化事業費

1. 人物交流事業費

- (1) 文化人・グループ短期招へい

2. 人物交流事業費（日中交流特別事業）

- (1) 21世紀日中交流特別事業（人物交流・招へい）

3. 催し等事業費

- (1) 日本紹介のための文化人派遣（主催）
- (2) 日本紹介のための文化人派遣（助成）

4. 催し等事業費（日中交流特別事業）

- (1) 21世紀日中交流特別事業（催し・主催）
- (2) 21世紀日中交流特別事業（催し・助成）

5. 文化資料事業費（日中交流特別事業）

- (1) 21世紀日中交流特別事業（文化資料）

文化事業費

1. 人物交流事業費 (1)文化人・グループ短期招へい

海外の文化の諸分野において指導的立場にある者、日本と当該国の文化交流の上で貢献が期待できる者を招へいし、日本の実情視察、日本側文化人、関係分野の専門家等との意見交換などの機会を提供する。

合計額 50,557,319円

	氏名	現職	国	期間	事業内容
1	SARUMPAET, Ratna	ジャカルタ・アーツ・カウンシル代表	インドネシア	05.03.30～ 05.04.14	舞台芸術関係者との意見交換、日本文化体験等の機会を提供
2	TOHA-SARUMPAET, Riris	インドネシア文学者協会会長	インドネシア	06.01.23～ 06.02.04	児童文学関係者等と意見交換、日本文化体験等の機会を提供
3	VARAVARN, Kasama	タイ教育省事務次官	タイ	06.02.10～ 06.02.18	教育関係者等との意見交換、小・中学校等教育機関の視察、日本文化体験の機会を提供
4	PHAM THI, Thanh	ベトナム文化研究保存開発研究センター副所長	ベトナム	05.08.19～ 05.09.02	日本の能、歌舞伎関係者と面会し、日本の伝統文化を調査、日本文化体験等の機会を提供
5	TRUONG, Hoang Chuong	ベトナム文化研究保存開発研究センター所長	ベトナム	05.08.19～ 05.09.02	日本の能、歌舞伎関係者と面会し、日本の伝統文化を調査、日本文化体験等の機会を提供
6	LE, Tung Minh	アンザン省人民委員会副委員長	ベトナム	06.03.07～ 06.03.21	文化、教育、農業技術・研究関係者と面談、日本文化体験等の機会を提供
7	OTA, Simadri Bihari	インド考古学調査庁主任調査官	インド	06.03.31～ 06.04.13	文化財関係者、環境行政関係者、考古学者、街づくり関係者等との意見交換、日本文化体験等の機会を提供
8	HUSSAIN, Agha Masood	リーダーズ・パブリケーションズ編集長	パキスタン	05.10.16～ 05.10.29	国際問題研究者等と意見交換、講演会の実施、日本文化体験等の機会を提供
9	IMAM, Ali	バングラデシュ国営放送ゼネラルマネージャー	バングラデシュ	05.10.01～ 05.10.15	放送局等訪問、日本文化体験等の機会を提供
10	WHITE, Te Taru	ニュージーランド博物館テ・パパ マオリ・リーダー	ニュージーランド	06.03.26～ 06.04.02	博物館関係者との意見交換、日本文化体験等の機会を提供
11	TAYLOR, Geoffrey E.	トロント国際作家祭ディレクター	カナダ	05.11.06～ 05.11.20	編集者、作家等の文学関係者と意見交換、日本文化体験等の機会を提供
12	ASHIDA CUETO, Carlos	カリージョ・ヒル現代美術館館長	メキシコ	05.10.16～ 05.10.30	美術関係者との意見交換、日本文化体験等の機会を提供

	氏名	現職	国	期間	事業内容
13	MONTEIRO LORENCATO, Arnaldo Marcilio	アプリル出版社 ヴェージャ/食 文化評論家	ブラジル	05.11.06～ 05.11.30	食文化専門家との意見交換、現代日本の食文化・ 食習慣を視察する機会を提供
14	UPTON, Graham	オックスフォード・ブルックス 大学副学長	英国	06.01.16～ 06.01.27	教育行政関係者、大学関係者との意見交換、日本 文化体験等の機会を提供
15	GRAESSLIN, Karola	ブラウンシュバ イク美術連盟館 長	ドイツ	05.03.20～ 05.04.01	現代美術館関係者・作家との交流、プロジェクト 企画相談、日本文化・美術視察の機会を提供
16	WOLFF, Francis Dider	パリ高等師範学 校哲学科主任教 授	フランス	05.10.25～ 05.11.06	哲学研究者との意見交換、ワークサロン参加、京 都・奈良での日本文化体験等の機会を提供
17	FAYZULLAEV, Alisher Amanullaevich	世界経済外交大 学第一副学長	ウズベキスタ ン	05.09.14～ 05.10.28	心理学および政治学研究者との意見交換、講演会 の実施、京都・奈良での日本文化体験等の機会を 提供
18	AUEZOV, Murat Mukhtarovich	カザフスタン国 立図書館館長	カザフスタン	05.10.01～ 05.10.14	文学関係者や平和運動関係者、中央アジア研究者 等との意見交換を行ない、広島・京都・奈良での 日本文化体験等の機会を提供
19	BUCIU, Dan	ブカレスト国立 音楽大学学長	ルーマニア	05.09.09～ 05.09.23	音楽関係者との意見交換、日本文化体験等の機会 を提供
20	PELEVIN, Viktor	作家	ロシア	05.03.20～ 05.04.03	文学関係者等と意見交換、日本文化体験等の機会 を提供
21	BARMAK, Siddig	バルマック フィルム/映画 監督	アフガニスタ ン	05.08.17～ 05.08.29	映画関係者との意見交換、アフガニスタン支援団 体との交流、京都・奈良での日本文化体験等の機 会を提供
22	REZOK, Souad	文化省芸術局局 長	モロッコ	05.10.10～ 05.10.25	日本における芸術教育制度の視察、文化関係者との 意見交換、日本文化体験等の機会を提供
23	MAAS, Michael, George	アート・スケー プ劇場C.E.O	南アフリカ	06.02.09～ 06.02.23	舞台芸術関係者との意見交換、日本文化体験等の 機会を提供
24	TEMBE, Joel Mauricio das Neves	モザンビーク国 立歴史資料館館 長	モザンビーク	05.11.28～ 05.12.12	歴史資料保存専門家との意見交換、モザンビーク 支援団体との交流、講演会の実施、日本文化体験 等の機会を提供

文化事業費

2. 人物交流事業費（日中交流特別事業）	(1)21世紀日中交流特別事業（人物交流・招へい）
----------------------	---------------------------

従来、日本研究や日中文化交流に関わりのなかった中国の文化人・知識人などを日本に招へいすることにより、中国において新たな日本への関心と友好意識の促進を図る。

合計額 14,483,905円

	氏名	現職	期間	受入団体	事業内容
1	馬蘭	黄梅劇女優/ 演出家	05.07.19～ 05.07.29		黄梅劇の著名な演出家・女優である馬蘭を招へいし、今後の日中文化交流について意見交換を行なった。また日本の演劇関係者との面談や劇場見学などを通し、日本文化に対する理解を深める機会を提供
2	曹秀栄 史曉成 毕霞 趙昌林 ト冬梅 遲英杰 曾琰 靳飛	天津市政治協 商会議副主席 天津市政治協 商会議副秘書 長 天津市政治協 商会議事務局 長 天津市政治協 商会議委員 天津市政治協 商会議委員 天津市政治協 商会議委員 天津市政治協 商会議國際交 流中心主任 天津市政治協 商会議委員	05.10.16～ 05.09.26		天津市政治協商会議副主席ほか7名を招へいし、日中交流団体や天津市との交流事業を実施している地方自治体を訪問、人的ネットワーク形成の一助とした
3	王效賢	中日友好協会 副会長	05.09.23～ 05.09.30		歴代中国指導者の通訳を務め、日中国交正常化当時の現場を支えた人物の一人である王效賢を招へいし、同女史の半世紀を越える体験を講演会などを通して語る機会を提供した。また関係者と日中文化交流に関して意見交換を行なうと共に、日本の社会・文化の状況を視察

	氏名	現職	期間	受入団体	事業内容
4	于基汾 汪永茂 朱邦泰 項曉寧 馬志剛 朱紅 雷淑容 朱愛根	南京市政治協 商會議副主席 南京市政治協 商會議副秘書 長 南京市對外文 化交流協會副 會長 南京日報報業 集團編集委員 南京市對外文 化交流協會副 秘書長 南京電視台新 聞中心制片人 揚子晚報社特 約記者 南京市政治外 事主任科員	05.12.15～ 05.12.22		南京市政治協商會議に所属するジャーナリストを招へいし、国内メディア関係者との活発な意見交換を行なった。また、国内各地を訪問し、日本社会の現状を直接体験する機会を提供

3. 催し等事業費	(1) 日本紹介のための文化人派遣（主催）
-----------	-----------------------

海外に日本の文化人やスポーツ専門家を派遣し、日本文化紹介のための講演、デモンストレーション、指導、セミナー、ワークショップなどを行なう（音楽・演劇・舞踊・民俗芸能など公演事業は除く）。

合計額 92,969,397円

	氏名	現職	国	期間	受入団体	事業内容
1	宮内 信江	いけばな宮内流 家元	ベトナム	05.12.05～ 05.12.17	在ベトナム大使 館/在ホーチミ ン総領事館	ダラット・フラワーフェスティ バル等において生花のレク チャーおよびデモンストレー ションを実施
2	竹内 孝次	テレコムアニ メーションフィ ルム代表取締役 社長	シンガポール /ブルネイ/ベ トナム/マ レーシア	05.11.17～ 05.12.03	在シンガポール 大使館/在ブル ネイ大使館/在 ベトナム大使館 /マレーシア大 使館/クアラル ンプール日本文 化センター	アニメに関するレクチャーおよ び作品上映を実施
3	倉斗 得夫 奈良 久司	茶道裏千家業躰 茶道裏千家業躰	カナダ	06.01.22～ 06.02.01	トロント日本文 化センター/在 カナダ大使館	茶道のデモンストレーションを 実施
4	佐々木 康人 杉原 芳彦	財団法人池坊華 道会 財団法人池坊華 道会	カナダ	06.01.23～ 06.02.03	トロント日本文 化センター/在 モントリオール 総領事館	池坊推薦の華道専門家による生 花に関するレクチャーおよびデ モンストレーションを実施

文化事業費

	氏名	現職	国	期間	受入団体	事業内容
5	安達 以乍牟 榎本 千陽 中山 周	アダチ伝統木版 画技術保存財団 理事長 アダチ伝統木版 画技術保存財団 摺師 アダチ伝統木版 画技術保存財団 学芸員	米国	05.09.080 ～ 05.09.27	在シアトル総領 事館/在デン バー総領事館/ 在ポーランド総 領事館/在サン フランシスコ総 領事館	浮世絵版画のレクチャーおよび デモンストレーションを実施
6	渡邊 信一郎	アニメーション 監督	米国	06.02.07～ 06.02.15	在アトロイト総 領事館/在 ヒューストン総 領事館	アニメに関するレクチャーおよ び作品上映を実施
7	国方 みちる 中嶋 誠子 YOSHIKO MITCHELL	池坊シカゴ支部 師範 池坊シカゴ支部 師範 池坊セントルイ ス支部池坊師範	米国	06.03.09～ 06.06.16	在シカゴ総領事 館	池坊推薦の華道専門家による生 花のデモンストレーションを実 施
8	石川 光久	プロダクション IG代表取締役 社長	米国	06.03.19～ 06.03.26	在マイアミ総領 事館/在デン バー総領事館	アニメに関するレクチャーおよ び作品上映を実施
9	石田 洋二 佐伯 孝晴 松田 勇人 目黒 大作	大阪府警察天王 寺警察署 山口県剣道連盟 理事 奈良市教育委員 会指導主事 秋田県剣道連盟 会長	エルサルバド ル/ホンジュ ラス/グアテ マラ	05.11.30～ 05.12.14	在エルサルバド ル大使館/在ホ ンジュラス大使 館/在グアテマ ラ大使館	全日本剣道連盟推薦の剣道専門 家による剣道のデモンストレー ションおよび指導を実施
10	神谷 哲史 田中 将司	おりがみはうす 折紙専門家 イラストレー ター	エルサルバド ル/ニカラグ ア/パナマ/ト リニダード・ トバゴ共和国	06.01.26～ 06.02.10	在エルサルバド ル大使館/在ニ カラグア大使館 /在パナマ大使 館/在トリニ ダード・トバゴ 大使館	折紙のレクチャーおよびデモン ストレーションを実施
11	荒川 通 樹村 茂樹 奈須 和夫 渡邊 純一	全日本空手道連 盟相談役 大阪府空手道連 盟常任理事 三重県空手道連 盟副会長 有限会社八正道 代表取締役社長	コスタリカ/ コロンビア/ パラグアイ/ ベネズエラ	05.10.13～ 05.11.01	在コスタリカ大 使館/在コロン ビア大使館/在 パラグアイ大使 館/在ベネズエ ラ大使館	全日本空手道連盟推薦の空手専 門家による空手のデモンスト レーションおよび指導を実施

	氏名	現職	国	期間	受入団体	事業内容
12	石黒 育	有限会社動画工房代表取締役	ウルグアイ/ コロンビア/ ブラジル	05.07.13～ 05.07.28	在ウルグアイ大使館/在コロンビア大使館/サンパウロ日本文化センター	アニメに関するレクチャーおよび作画ワークショップを実施
13	大木 敏幸 森 彩琳	草月会師範	デンマーク/ エストニア/ リトアニア	05.09.19～ 05.10.10	在デンマーク大使館/在エストニア大使館/在リトアニア大使館	生花のデモンストレーションおよびワークショップを実施
14	小嶋 新太 三戸 範之 猿渡 琢海 廣川 充志	日本体育大学教員 秋田大学教員 JRA日本中央競馬会 了徳寺学園	クロアチア/ セルビア・モンテネグロ/ ボスニア・ヘルツェゴビナ	05.11.27～ 05.12.10	在クロアチア大使館/在セルビア・モンテネグロ大使館/在ボスニア・ヘルツェゴビナ大使館	講道館推薦の柔道専門家による柔道のデモンストレーションおよび指導を実施
15	大山 隆盛 谷岡 史浩 竹内 龍作	近畿大学学生 近畿大学学生 アイシン精機株式会社	チェコ/ハンガリー/ブルガリア/トルコ	05.05.27～ 05.06.14	在チェコ大使館/ブタペスト事務所/在ブルガリア大使館/トルコ大使館/在イスタンブール総領事館	日本相撲連盟推薦の相撲専門家による相撲のレクチャーおよびデモンストレーションを実施
16	丸山 正雄	株式会社マッドハウス取締役	ハンガリー/ ルーマニア/ ロシア	06.02.01～ 06.02.14	ブタペスト事務所/在ルーマニア大使館/在ロシア大使館/在サンクト総領事館	アニメに関するレクチャーおよび作品上映を実施
17	山下 泰裕 他	東海大学教授	ロシア	05.06.27～ 05.07.05	極東国立総合大学/在ウラジオストック総領事館	東海大学と共催して、約80名の武道専門家による柔道・剣道・空手・合気道・薙刀・居合道のレクチャーおよびデモンストレーションを実施
18	大橋 瑛子 大橋 栄二	日本の風の会 日本の風の会	ロシア	05.09.02～ 05.09.14	在ハバロフスク総領事館/在ユジノサハリンスク総領事館	風のレクチャーおよびデモンストレーションを実施

文化事業費

	氏名	現職	国	期間	受入団体	事業内容
19	安住 敏克 信川 貴洋 山本 英雄 山田 繁樹	宮城県中新田高校教諭 スバルヶ丘学園神戸第一高校教諭 全日本空手道連盟強化委員 -	イエメン/オマーン/サウジアラビア	05.05.08～ 05.05.22	在イエメン大使館/在オマーン大使館/在サウジアラビア大使館	全日本空手道連盟推薦の空手専門家による空手のデモンストラーションおよび指導を実施
20	佐藤 重徳 土屋 秀人 津山 捷泰 長友 憲一郎	沖縄剛柔流空手道協会支部事務局長 有限会社ウエイスタッフ 全日本空手道連盟常任理事 大阪府空手道連盟常任理事	クウェート/バーレーン	06.02.16～ 05.02.24	在バーレーン大使館/在クウェート大使館	全日本空手道連盟推薦の空手専門家による空手のデモンストラーションおよび指導を実施
21	黛 円	黛まどか事務所所属俳人	バーレーン	06.04.02～ 06.04.07	在バーレーン大使館	シェイク・イブラヒム文化センター、バーレーン王国主催、同国皇太子後援事業である「詩の家」のオープニングセレモニーに併せて、詩の朗読会や他国参加詩人との詩のメドレーを実施
22	荒賀 正孝 大出 敏夫 奈須 和夫 野澤 幸洋	京都府空手道連盟事務局長 埼玉県空手道連盟技術本部長 三重県空手道連盟副会長 全日本空手道連盟糸東会副理事長	スーダン/エチオピア	05.11.16～ 05.11.25	在スーダン大使館/在エチオピア大使館	全日本空手道連盟推薦の空手専門家による空手のデモンストラーションおよび指導を実施
23	川和田 実 清水 裕正 津山 克典 横道 正明	日本空手協会 日本大学空手部監督 全日本空手道連盟常任理事 国土館大学空手道部女子監督	モロッコ/ガボン/セネガル	06.02.28～ 06.03.14	在モロッコ大使館/在ガボン大使館/在セネガル大使館	全日本空手道連盟推薦の空手専門家による空手のデモンストラーションおよび指導を実施

3. 催し等事業費 (2) 日本紹介のための文化人派遣 (助成)

海外において日本の文化人やスポーツ専門家が日本文化紹介のための講演、デモンストレーション、指導、セミナー、ワークショップなどを行なう事業に対し、助成を行なう（音楽・演劇・舞踊・民俗芸能など公演事業は除く）。

合計額 44,828,188円

	氏名	現職	国	期間	受入団体	事業内容
1	西田 豊子	NPO法人アートインAsibina 理事長	韓国	05.04.27～ 05.05.08	韓国芸術総合学 校演劇院	日本の児童青少年演劇に関する講座と、作品『ねこはしる』に関する作品研究講座、体験ワークショップの実施
2	住友 文彦	-	インドネシア	05.07.16～ 05.07.31	ルアンルパ (JRT)	OKビデオは、2003年にインドネシアで初めて開催された国際ビデオフェスティバル。2回目となる今回は、インドネシア国立美術館にて、インドネシア国内および海外における現在のビデオアートの流れを紹介。新進の作家に展示とコラボレーションの機会を与え、また日常生活で増加し続ける映像に対し、観客がビデオアートを通して批判的な理解力を高めることを目的とした。主催者であるルアンルパから招へいを受けたアーティストトークとレクチャーでは、日本から1名の作家が彼の作品について、日本を含めたアジアのビデオアートの最近の動向について講義し、質疑応答、ディスカッションを行なった
3	飯尾 千絵	-	インドネシア	05.09.14～ 05.09.28	インドネシアバ ンドン市役所	絵本の読み聞かせと絵の制作による子供達の心の支援。2005年2月、バンドン市で豪雨によりゴミの山が崩壊し105人が死亡40人が行方不明になった事件が背景
4	松本 實	有限会社ウエスト企画専務	ラオス	06.10.23～ 05.10.28	在ラオス大使館	日本・ラオス外交関係設立50周年の機会にラオス国民に対して日本の伝統衣装である和服を紹介することによって、日本の芸術、習慣、文化に対する理解を深め、日本への親近感を高める。またラオスの民族衣装と競演も行う
5	福島 光加	-	インド	05.11.27～ 05.12.04	いけばなインターナショナル/ デリーチャプター	在インド大使館およびニューデリー事務所共催の日本文化月間において、生け花愛好家および一般インド人に対して生け花デモンストレーションおよび、ワークショップを実施

文化事業費

	氏名	現職	国	期間	受入団体	事業内容
6	阿部 悦子	NPO法人アジア文化交流協会 理事長	パキスタン	05.03.15～ 05.03.22	在パキスタン大使館/パキスタン教育省	イスラマバード、ラホールの大 使公邸、公共機関等において、 茶道、華道、書道の実演と指導、 展示ほか日本の紹介行事を実施 した。同時にパキスタン・日本 の児童による交流絵画展を開催
7	木村 正彦	盆栽作家	オーストラリア	05.08.15～ 05.08.26	オーストラリア 盆栽協会	シドニー盆栽会が実施するオー ストラリア盆栽協会盆栽セミ ナー大会においてデモンスト レーション、ワークショップ、 技術指導を行なった
8	天童 大人	日本ペンクラブ /詩人	ニュージーラ ンド	05.11.01～ 05.11.08	詩学教育基金	外国からの詩人28人と11人の ニュージーランドの詩人により ウェリントン市内で展開された 国際詩祭。テーマは国際平和と 調和
9	竹中 健司	－	米国	06.03.10～ 06.03.21	Edinboro大学	日本の伝統木版画の制作技術・ 技法・道具について技術的指導 を行なった。対象者は大学教 授、芸術家、学術家、学生など。 浮世絵木版をはじめとする日本 独自の印刷文化「水彩多色木版」 について紹介
10	高嶺 剛	－	米国	06.03.22～ 06.03.31	ANTHLOGY FILM ARCIVES	映画監督ジョナス・メカスが主 宰するアメリカ・ニューヨーク のAnthology Film Archive にて高嶺剛（映画監督）の全作 品を紹介する上映会。作品上映 と監督本人およびコーディネー タによるライブ上映、ティーチ インなどを実施。Anthology上 映後、「キネマ倶楽部第六回 （イェール大学）」ノースキャロ ライナ大学での巡回上映
11	石戸 謙一	珠算学校経営者	グアテマラ	05.11.20～ 05.11.27	石戸・キーラそ ろばんスクール	第8回グアテマラ珠算大会の運 営指導、珠算指導者講習の開催、 珠算教育文化に関するマスコミ の取材
12	田村 さと子	帝京大学文学部 国際文化学科教 授	ドミニカ	05.04.23～ 05.05.02	サントドミン ゴ・ブックフェ ア2005常任委員 会	日本の現代詩（長歌・短歌・俳 句の歴史と作品）および現代詩 （第二次大戦後の『荒地』以降の 作品）について講演を行なった。 また招待を受けた世界各国の詩 人たちによる朗読会で自作詩を 日本語で朗読した（スペイン語 訳はスペイン語を母語とする詩 人によって朗読された）

	氏名	現職	国	期間	受入団体	事業内容
13	岩切 裕子	社団法人日本版画協会運営委員	メキシコ	05.08.01～ 05.08.13	メキシコ・グアナファト大学	2005年「グアナファト日本版画フェスティバル」文化活動の一環としてグアナファト大学主催により下記事業が行なわれた。 ①メキシコ-日本inグアナファト現代版画交流展を開催②各種版画技法による、実製作者による講演とデモンストレーションおよびワークショップを実施③小林敬生-木口木版画展をアロンティガ・デ・グラナディート美術館において開催
14	稲垣 進一	国際浮世絵学会常任理事	メキシコ	05.08.18～ 05.09.03	メキシコ国立図書館	20世紀初頭のメキシコ詩人タブラーダが収集した浮世絵コレクションを保有するメキシコ国立図書館の人達に浮世絵に関する知識を伝えた。また、ジャポノロジストおよびキュレーターのための講義を行なった
15	イネス サンミゲル	帝京大学文学部国際文化学科教授	コロンビア	05.10.27～ 05.11.10	南西コロンビア出版会/Valle大学人文学部	南西コロンビアの出版社とValle大学教授が協力して読書と出版の奨励を図り展示会を毎年開催。本展示会の主要なプログラムは以下の4項目 ①日本とその文化：日本文化の豊かさと日本における出版の質と量の両面の呈示②地方文化：南西コロンビアの経済的文化的発展とその文化的アイデンティティ③Valle大学創立60周年④詩人かつ作家であるホルヘイサアクスの関する国際セミナー開催
16	白石 かずこ	詩人	チリ	05.10.15～ 05.10.27	チリ世界詩人祭委員会	世界各地から詩人を招き、詩のレクチャー・ワークショップ等を行なった
17	笹川 堯	財団法人全日本空手道連盟会長	ブラジル	05.04.17～ 05.04.28	ブラジルパラ州社会振興本部	ブラジルパラナ州スポーツ文化教育庁およびブラジル日本空手協会の協力のもとで指導を行なった

文化事業費

	氏名	現職	国	期間	受入団体	事業内容
18	時友 尚子	染色家	アイスランド /エストニア/ リトアニア	05.09.19～ 05.09.29	アイスランドテキスタイル協会	日本の染めの伝統技法と変遷、発展の過程のサンプルを示し実演も交えて講義。様々な染色法を解説、それらの技法をミックスして表現の幅を広げ、深味を出す染法も講義、実演した。多様な絞り法を指導、併せて草木染法の種類、色だし法を講義し絞りの布を用いた草木染を体験させた
19	中嶋 貞治	新宿割烹中嶋代表取締役	イタリア	05.05.26～ 05.06.03	イタリア日本文化協会	「式包丁」を雅楽に合わせて披露し、伝統ある日本料理の技術の奥行きと美しさを見せた
20	山崎 和樹	染色家	イタリア	05.09.23～ 05.10.09	アルテ・ジャポネ	着物を中心とした染色作品の展示、絞り染め技法および草木染めのセミナーを行なった。茶道デモンストレーション、日本舞踊実演
21	原田 広美	－	イタリア/英国/オーストリア/フランス	05.10.04～ 05.11.01	ケント大学/シチリアダンス協会	第1回ロンドン舞踏フェスティバルとなった「DAIWA International Butoh Festival」の視察。また、その一環としてケント大学でのレクチャー、およびシチリア・ダンス協会における「国際舞踏アカデミー」の開設を記念するためにパレルモ大学と提携して行なわれた「Butoh and New Butohセミナー」でレクチャーを行なった。平行して、次世代の舞踏の形成に貢献するためのワークショップをロンドン、パリ、ウィーンで実施
22	松永 光	財団法人日本武道館理事長	イタリア	05.11.23～ 05.11.29	イタリア・ナポリ・ジャパンウィーク実行委員会	日本文化の紹介と、日本と開催国との友好親善・相互理解を目的に、イタリア共和国のナポリ市で開催された「第30回ジャパンウィーク2005年イタリア・ナポリ」に、日本武道代表団を編成・派遣した。日本武道の真髄を披露するとともに(演武会開催)、ナポリ市を対象にワークショップ(武道体験会)や地元の武道団体等との交流指導稽古等を行ない武道を通じて国際親善に寄与

	氏名	現職	国	期間	受入団体	事業内容
23	足立 晋作	株式会社名鉄 エージェンシー 情報開発事業局 部長	英国	05.07.05～ 05.07.12	大英博物館	からくり人形師九代目玉屋庄兵衛の「茶運び人形」が、大英博物館に収蔵されることから、寄贈セレモニー・基調講演「自分でつくれるからくり」のワークショップを実施
24	中島 勝乃利	陶芸家	オーストリア	05.07.07～ 05.08.07	クロンシュタット地区/オーストリアインスブルック市文化部	オーストリア政府、チロル州、インスブルック市文化部の協力により、インスブルック市において開催された第一回目の国際陶芸シンポジウム。日本-EU年公式事業としてオーストリアにて登録。日本、イタリア、ロシア、ハンガリーなど7カ国より著名な作家10名を招待、7名の作家が参加。現地製作、ワークショップおよび作品展示を行ない、陶芸への認識を深め、社会における芸術の建設的な立場を築いた。現地の作家のみならず青少年および一般観客のワークショップ参加や、展覧会においてはアジアからの唯一の参加国である日本の作家たちが、伝統的な陶芸技術を背景とした先駆的な日本の現代陶芸を紹介
25	もとみや かをる	-	オーストリア	05.10.28～ 05.12.02	在オーストリア大使館/MAK (ウィーン応用美術館)	修復再生の作品を発表している現代美術作家が、2005年11月、オーストリアのウィーン (応用美術館/オーストリア博物館協会)とチェコ共和国のプラハ(国際文化交流センター)において、日本の伝統的な修復技法「金継ぎ」とその特殊な哲学、および背景としての茶道など日本文化を紹介する講演や実演を行なった。また日本-EU文化交流年の一環として、11月にウィーン(ポルシア宮ギャラリー)で行なわれた日本現代美術展で、現代美術に応用した金継ぎの作例を紹介

文化事業費

	氏名	現職	国	期間	受入団体	事業内容
26	増山 士郎	-	オーストリア	06.02.11～ 06.03.01	MAK現代美術館	オーストリア有数の優れた美術館で、様々なジャンルのアーティストによるMakNiteというイベントでの出展。今回Makの招待を受け、ドイツ滞在中に制作した「Parky、Party」を出品。大掛かりなセットを導入しての観客参加型パフォーマンスとなった
27	鈴木 春朝	社団法人全日本書道連盟理事/書道家	キプロス/ギリシャ/ドイツ/エストニア/ハンガリー	05.04.27～ 05.05.16	在ハンガリー大使館/在フランクフルト総領事館	日本における書の歴史、文字を題材として、毛筆と墨を使い、造形および精神的芸術としての書を理解してもらおうように漢字・かな作品のデモンストレーションおよび参加者のワークショップを行なった
28	春山 勇 藤沢 一就	- -	キプロス/ギリシャ/ドイツ	05.09.28～ 05.10.11	在ギリシア大使館/キプロス囲碁協会	ギリシャ、キプロス、ドイツへの囲碁文化普及促進
29	所 鳳弘	白鳳古式くみひも道主宰	スイス/ドイツ/フランス	05.10.14～ 05.11.01	在ストラスブール総領事館/アルザス日本学研究所	10月下旬に在ストラスブール総領事館、欧州議会等が日-EU市民交流年の目玉事業として、上記展示会を欧州議会他で開催。本展示会に参加し、着物、組紐、染色等に関する講義・デモンストレーションを行なった。この前後に、ドイツ（ケルン）、スイス（バーゼル）およびフランスの他都市（ミュールーズ/メッス/ブザンソン等）でも講演、ワークショップを行なった

	氏名	現職	国	期間	受入団体	事業内容
30	高見 義雄	-	スイス/フランス	05.11.10～ 05.11.20	サークル・スイス・ジャポン	フランス（リヨン/グルノーブル/シャンベリー）およびスイス（ジュネーブ）の各大学において、アニメ講演会を実施した。講演では、日本のアニメと他の相違、日本のアニメの動向、日本の各代表アニメ作品の製作過程、特殊技術、作品の特徴等について分析的に説明した。また、フランス、スイスの若年層の日本のアニメに対する関心の中身についても適宜把握し、質疑応答の中で有益なアドバイスをを行った。講演は日本語で行ないフランス語通訳をつけた。講演時間は1時間半、質疑応答を30分程度行った。講演場所は、リヨン大学、グルノーブル大学、サボア大学、ジュネーブ大学の講堂（約300人～500人収容）を利用。本件講演会開催にあたっては、リヨン出張駐在韓事務所およびジュネーブ総領事館が協力
31	宮島 登	折紙専門家	スペイン	05.05.11～ 05.05.15	スペイン折り紙協会	ヨーロッパ全土およびアメリカ等から例年100名以上の愛好家に参加する4日間の国際コンベンションを通じて100を超える折り紙教室が行なわれた。申請者は海外からの招待作家として参加し、3～4作品の講習と作品の展示を現地にて行った
32	山井 教雄	-	スペイン	05.09.20～ 05.09.30	スペインレイダ市	スペインカタロニア州レイダ市で2005年9月15日から10月15日にかけて行なわれたピエンナーレのゲスト国漫画家として参加。FECO JAPAN会員作品の展覧会を開くとともにコンファレンスにおいて広く一般に日本独自の漫画文化を紹介

文化事業費

	氏名	現職	国	期間	受入団体	事業内容
33	ミタニ タツヤ	-	スペイン	05.10.04～ 05.10.22	カーサ・アジア	「現代まで継承された日西両国の伝統文化を交差させて新たな創造力の獲得、またそれによって両国民に伝統継続の意志力を呼び起こす」ことを交流の芯柱に、今年もバルセロナにて和紙版画展覧会を開き和紙漉き、和紙刷り木版画、和紙と織物の講演等を行ない、自国の文化を伝えると同時に異文化理解を図った。アジア・フェスティバル(Casa ASIA主催)等、複数
34	たなか 牧子	カジュ・アート・スペース主宰/染色家	ドイツ	05.07.23～ 05.08.07	トラーベ・アート・フェスティバル2005実行委員会	ドイツ、ストーンマーン郡リュウベック市において開催される「Trave Art Festival 2005」に鎌倉市の芸術非営利組織「カジュ・アート・スペース」より7人の美術家が参加。現地の芸術家との交流を深めることを目的とする講演会、ワークショップ、展示などを行ない、それぞれの分野における日本の文化を紹介
35	風 繩子	-	ドイツ	05.08.09～ 05.09.05	ハンブルク美術工芸博物館	書の講義と実技指導・第7回、主催ハンブルグ美術工芸博物館 1)日本の書-村木享子の書道講座 東洋の文字文化について講義し、書の実技指導を行なった 2)村木享子による大字揮毫(中筆から巨大筆まで使用)は、書藝術の生成プロセスを最も端的にヨーロッパ市民に伝達主催独日協会

	氏名	現職	国	期間	受入団体	事業内容
36	山崎 朋子	-	ドイツ	05.10.17～ 05.10.28	ケルン日本文化 会館	ケルン日本文化会館、ベルリンの森鷗外記念館、デュッセルドルフ、ボーフムおよびミュンヘンの3大学（ドイツ5カ所）にて講演・朗読・ディスカッション・を行なった。「サンダカン八番娼館」とその時代背景および大正時代に貧困にあえいで天草地方から南方に出稼ぎに出た「からゆきさん」の実態を女性史の観点から解説し、執筆の動機について語ることが講演の主な内容であった。ディスカッションにおいては、ドイツの戦争責任のとり方、女性学、移民労働者への対応など、特にドイツの若い世代との意見交換の機会となった。拙著を映画化した作品『サンダカン八番娼館・望郷』も上映
37	武田 洋平	東海大学平和戦略国際研究所助教授	ドイツ/ウクライナ	06.01.04～ 06.01.15	Dream Come True Foundation/ドイツフイフタツハ観光協会	日本との文化交流が疎らな辺境国の人々に日本の民衆文化を伝え、世界平和構築の一助にした「日本文化週間」を開催。日本映画の上映、日本の音楽を歌・ヴァイオリン・ピアノで紹介、日本および日本文化に関する文化講演会、日本に関する書籍の展示、ワークショップを通じて、現地の人たちとの交流、日本の家庭料理を紹介
38	鈴木 光司	作家	ドイツ	06.03.17～ 06.03.24	パリ日本文化会館/ケルン日本文化会館/ローマ日本文化会館	ケルン日本文化会館ならびにミュンヘン（ミュンヘン独日協会とケルン文化会館の共催）において『らせん』の朗読会を行ない、パリ日本文化会館とローマ文化会館においては講演会も開催。パリの講演会には映画『リング』上映も実施
39	加藤 史子	桐華流日本きもの指導者協会副理事長	ノルウェー	05.05.20～ 05.05.25	ノルウェー大使館	日本文化と深くかかわる形としての「きもの」をショー形式で紹介。形の中に込められた「日本の心のあり方」も伝えた

文化事業費

	氏名	現職	国	期間	受入団体	事業内容
40	中村 美知生	京都市立志野高等学校教諭	ノルウェー	05.10.01～ 05.10.09	アスケル市芸術協会	日本・ノルウェー国交樹立100周年記念事業の一環で、日本文化紹介のために「漆芸・木版画・銅版画・謄写版画・書」によるデモンストレーションと5人の作品展示を実施し、日本芸術の現況を紹介
41	藤原 智子	記録映画監督	フランス	05.12.05～ 05.12.12	パリ日本文化会館	本年度国際交流基金のフィルム・ライブラリーが購入した藤原智子監督『ベアテの贈りもの』の上映会および同監督による講演会をパリ文化会館にて2回開催
42	小川 静枝	詩人	ベルギー	05.08.31～ 05.09.12	在ベルギー大使館広報文化センター	ベルギーで2年に一度開催される世界大会。2005年度は設立50周年特別行事が企画され、各国を代表する世界中の詩人が集まり、詩を通して各国の文化を紹介する催し。今年度24回大会は、50周年の特別事業を企画した事もあり、前回は上回る出席者があった
43	カタルジーナ・スヴェルツカ	－	ポルトガル	05.10.19～ 05.10.21	在ポルトガル大使館	オランダ、ライデン大学の日本食文化研究者であるカタルジーナ・スヴェルツカをポルトガルに招き、同テーマに関する講演を通じて当地における日本食、日本文化全般に対する更なる理解の浸透を図った
44	新井 康弘	財団法人少林寺拳法連盟	ウクライナ/ロシア	05.06.30～ 05.07.13	少林寺憲法モスクワ支部	少林寺拳法の一般公開デモンストレーション、会員に対する技法・理念の指導
45	香取 琴水	－	スロバキア	05.11.20～ 05.11.27	在スロバキア大使館	「日-EU市民交流年」のイベントとして、水墨画の展示場において、水墨画の師範が参加し、講演、実演、指導を行なった(展示作品数は約100点)
46	堀江 恭子	美術評論家	チェコ	05.06.13～ 05.06.23	チェコ国立歴史博物館/在チェコ大使館	日本-EU市民交流年の公認行事として、在チェコ大使館の協力を得て、日本の伝統芸術である書道・日本画の展示、茶道のデモンストレーション等を実施

	氏名	現職	国	期間	受入団体	事業内容
47	宮田 利男	日本将棋連盟専門棋士七段	チェコ	05.07.12～ 05.07.23	ヨーロッパ将棋連盟	ヨーロッパ将棋界最大のイベント「ヨーロッパ将棋選手権大会」に将棋専門棋士を派遣し、日本の伝統文化のひとつである将棋を外国に紹介した。初の東欧への派遣
48	南 宏	熊本現代美術館館長	チェコ	05.09.02～ 05.09.09	プラハ国立ギャラリー	2003年よりチェコ共和国の首都プラハで始まった国際美術展の第2回目の今回、日本人として初めてビエンナーレ展キュレーターに申請者が選ばれ、日本人アーティストも初めての参加となった。他2人のアーティストが講師として日本の現代文化を語るセミナーを開催
49	堀 武昭	財団法人日本ペンクラブ常務理事	チェコ	05.11.15～ 05.11.21	チェコ日本人クラブ/チェコ・日本友好協会	現在活躍中の作家をプラハに派遣し、現代日本文学についてのワークショップを開催。文学を通じ文化交流を図った。現地では日本人クラブカレル大学の協力を得て、講演会、座談会およびワークショップ形式で文学交流を行なった。講演会はチェコの日本人会のメンバーを対象に「私が作家になった理由」をテーマに実施。座談会はチェコの作家と日本の作家が「文学が国際化に果たす役割」をテーマに討論した。ワークショップはカレル大学の日本文学専攻の学生を対象に日本人作家が自著一冊を選びそれについて解説する方法をとり質疑応答を中心に進めた
50	武安 義光	財団法人全日本剣道連盟会長	ハンガリー/ ルーマニア/ トルコ	05.07.14～ 05.07.26	ハンガリー剣道連盟/アンカラ剣道クラブ	ハンガリー共和国、ルーマニアとともに講習会・稽古会を実施し、正しい剣道・居合道の定着を図った。初心者の多いトルコ共和国アンカラ市では、演武会、講習会を開催し、普及を図った
51	観世 榮夫	能楽師	ポーランド	05.06.19～ 05.06.26	ワルシャワ演劇大学	国際演劇大学祭においてヨーロッパ各国の演劇大学で行なわれている演劇活動の発表、シンポジウムやワークショップを行なった

文化事業費

	氏名	現職	国	期間	受入団体	事業内容
52	橋本 白道	陶芸家	リトアニア	05.06.10～ 05.09.10	リトアニア NPO大地のか けら	リトアニア、アメリカ、エスト ニア、ノルウェーなどからの参 加者とともに穴窯焼成のワーク ショップを行なった。できた焼 物に日本料理を盛り付けて総合 的な日本文化を紹介
53	河内 國平	美術刀剣刀匠	リトアニア	05.06.15～ 05.06.20	リトアニア共和 国カウナス市	リトアニア国立ヴィタウタス戦 争博物館の前庭に日本刀の鍛冶 場と演武場を設営し、鍛刀実演 と解説、武道家による居合斬の デモンストレーションを行なっ た。博物館内、および会場の各 所に現地の花を用いて生け花展 示を行なった
54	清水 柳一	演出家	ロシア	05.05.14～ 05.05.29	国立オムスク大 学出版会/ノボ シビスク北海道 文化センター	西シベリアの大都市オムスク、 ノボシビルスクの大学で日本文 学の講演会を行なった。『銀河 鉄道の夜』をロシア語と日本語 で朗読した。宮沢賢治の生涯、 作品についての解説を行ない、 文化・思想・文学・演劇・アニメな どの面において作家を位置付け た
55	遠藤 清光	富士地区鳶工業 連合会会長	ロシア	05.07.05～ 05.07.11	日本・ロシア友 好協会サンペテ ルブルグ	日ロ修好150周年を記念した石 碑が日ロ両国で建立されるにあ たり、日本文化の粋である鳶職 人のはしご乗りをロシアで披露
56	江原 吉博	－	ロシア	06.03.12～ 06.03.24	オムスク国立大 学	ロシア国立オムスク大学におけ る、現代日本文化および文学紹 介のためのレクチャー。村上春 樹の作品を取り上げ、日本にお ける人気の秘密と時代性との関 係を考察。ロシアの若者たちに 好まれる理由についても併せて 考えた。作品の背景となった日 本の社会を反映する映像作品や ドキュメントも映写。日本の時 代風俗紹介も併せて行なった
57	山本 清右衛門	財団法人現代人 形劇センター評 議員	オマーン	05.11.30～ 05.12.07	在オマーン大使 館	日本の「からくり人形」の伝統 文化について、そのアイデア、 仕組みを人形の実演・解説を手 作り教室によって紹介。オマー ン日本友好週間（テーマ：環境 と技術）の参加プログラムとし て実施（主催：在オマーン大使 館/オマーン日本友好協会）

	氏名	現職	国	期間	受入団体	事業内容
58	石本 寛治	日本トルコ民間交流協会会長	トルコ	05.05.31～ 05.06.08	在トルコ大使館	茶道パフォーマンスと抹茶お手前。折紙作品展示と折紙パフォーマンス、折紙教室。木目込み人形作品展示と製作パフォーマンス、貝根付製作教室。生け花展示と体験教室。着物ショーと着付け体験教室。書道作品展示、デモンストレーション、体験教室
59	竹林 広美	和服リメイク作家（ファッションデザイナー）代表	トルコ	05.08.03～ 05.08.17	イスタンブール文化観光局	国立イスタンブール美術ギャラリーにて、着物と着物リメイク作品の展示および着付けデモンストレーションを行ない、今現在の日本衣文化を紹介
60	堀口 弘治	社団法人日本将棋連盟	トルコ	05.11.23～ 05.11.29	在トルコ大使館	将棋専門棋士を海外に派遣し、日本の伝統文化のひとつである将棋を外国に紹介したトルコ共和国における初の実施事業。具体的には在トルコ大使館が毎年秋に日本文化の紹介事業を主催していたが、その一環として将棋専門棋士が訪れ、現地の人達に「将棋」を紹介し、普及に努めた。実施内容は、将棋の入門講座、指導対局、現地日本人への将棋の指導

4. 催し等事業費（日中交流特別事業）

(1)21世紀日中交流特別事業（催し・主催）

日中双方の社会において、広い範囲で両国市民の新たな相互認識や友好関係を促進するため、講演会・交流会などの催しを実施する。

合計額 3,094,863円

	事業名	都市	会場	期間	事業内容
1	『新中国に貢献した日本人たちⅡ』出版記念会、報告会	北京 天津	北京外国語大学/人民大学 南開大学	05.09.20～ 05.09.24	第二次大戦後の中国において、社会的インフラ整備、技術指導、人材教育等の分野で活躍した日本人を、彼らと深いかわりをもった中国人の文章により紹介した書籍『新中国に貢献した日本人』の第二巻出版を記念し、①戦後の日中交流を支えてきた両国の関係者（中国側：唐家セン・国務委員を含む）が一堂に会し、絆を確認する場としての出版記念会を実施すると同時に、②書籍で取り上げられている日本人6名と中国側関係者を報告者に据えた講演会を、北京市内、天津市内の計3カ所で開催し、中国国内であまり知られていない、これら日本人の存在・活動を知らしめた

文化事業費

	事業名	都市	会場	期間	事業内容
2	在日中国留学生ネットワーク	東京	国際交流基金本部会議室/東京国際交流館	05.10.01～06.03.31	日本にいる中国留学生が日中交流に貢献できるような仕組み作りを試みた。具体的に留学生の意見を事業に反映できるように留学生と意見交換を行ったり、中国春節に日本人と留学生が一緒に餃子を作ったり、相互理解を深めた
3	坂中英徳講演会	東京	国際交流基金国際会議場	05.10.27	出入国管理行政一筋の道を歩んできた坂中英徳（前東京入国管理局長）が在日中国人と日本人が共生していく道筋について、自らの行政官としての体験から得られたことを語る講演会を実施

4. 催し等事業費（日中交流特別事業）	(2)21世紀日中交流特別事業（催し・助成）
---------------------	------------------------

日中双方の社会において、広い範囲での両国市民の新たな相互認識や友好関係を促進するため、講演会・交流会などの催しに対して助成する。

合計額 1,638,392円

	事業名	助成団体	都市	期間	事業内容
1	視覚障害者訪日研修	天津市視覚障害者日本語訓練学校	京都/兵庫/大阪/神奈川/東京/群馬/埼玉/岩手	05.10.01～05.10.11	天津市視覚障害者日本語訓練学校に所属する日本語能力試験2級以上の生徒4名と引率者2名による対日理解促進を目的とした訪日研修事業。滞在中、日本に関する一般情報について理解を深めると同時に、日本の身障者に対する福祉政策について知識を得た
2	卓球青少年交流	日本中国友好協会	中国北京市	06.03.31～06.04.04	日中国交正常化前の1956年に東京で開催された世界卓球選手権大会に参加した中国選手と日本選手との間の交流が今年で50周年となることを記念し、当時の選手たちが北京において交流試合を実施した。さらにこの卓球を通じた交流を次代に繋げるため、日本のトップクラスの小学生選手も訪中し、同世代選手との交流を行なった

5. 文化資料事業費（日中交流特別事業）	(1)21世紀日中交流特別事業（文化資料）
----------------------	-----------------------

日中双方の社会において、広い範囲で両国市民の新たな相互認識や友好関係を促進するため、文献資料およびデジタル・映像メディア等を作成・編さん・出版・配布する。

合計額 5,841,821円

	番組名	放映日	回数	事業内容
1	中国語オピニオンサイト	05.11.11～ 06.03.31	週1回更新、 21回掲載	共同通信社が作る日本で唯一の中国語ニュースサイトである「共同網」の中に「中国語オピニオンサイト-心心相印-」を開設。日本の各界の識者や知日外国人が各自選んだテーマに基づき、中国の一般市民に日本のありのままの姿や日本人のものの考え方などをサイトで紹介
2	日本音楽紹介ラジオ番組	06.01.01～ 06.12.31	全52回放送 予定	レーベルを問わず日本の流行音楽（以下J-pop）の音楽素材の提供が可能なPROMICと国際交流基金の共同事業。J-popと日本の流行情報を紹介するラジオ番組を制作し、日本の最新文化に関する情報に接する機会が少ない中国国内地方都市の放送局に無償提供して放送。重慶市、成都市、山東省、雲南省、無錫市、寧波市、湖南省、江西省で放送
3	日本紹介TV番組『日中夢工房』	06.03.29放送	60分番組	日本側スタッフ（有限会社メディア戦略研究所）が中国国内での取材・ロケを行ない、中国側制作スタッフ（五州伝播中心）が日本国内での取材・ロケを担当。日中の若者の現状を比較紹介した。番組は東京と北京をインターネット回線で結び、両国の識者が討論しながら進行。日中両国のテレビで放送され、放送された番組はDVD化し、日中友好団体や国際交流基金の国内外の事務所に配布

文化芸術交流事業に必要な経費

市民青少年交流事業費

1. 人物交流事業費

- (1) 中学高校教員交流（招へい）
- (2) 市民青少年交流（指導者交流）
- (3) アジア青年文化奨学金（中等教育プログラム）（AC）
- (4) 開高健記念アジア作家招へい（AC）
- (5) 文化交流企画運営補助ボランティア

2. 催し等事業費

- (1) 市民青少年交流（主催）
- (2) 市民青少年交流（主催）（中東）
- (3) 市民青少年交流（助成）
- (4) 市民青少年交流（助成）（AC）
- (5) 市民青少年交流（助成）（中東）
- (6) 異文化理解ワークショップ（中東）
- (7) 異文化理解ワークショップ（AC）
- (8) 異文化理解ワークショップ

1. 人物交流事業費 (1) 中学高校教員交流 (招へい)

諸外国の中学校・高校レベルでの日本理解を促進するため、中学・高校の社会科教員または中等レベルの教育行政に携わっている者をグループで招へいし、研修・視察の機会を提供する。

合計額 156,560,524円

グループ名	国	人数	期間	事業内容
1 中高教員グループ (第1)	インドネシア	5	05.06.22～ 05.07.05	各国の青少年教育指導者の日本の教育・文化に関する理解を促進し、自国の青少年の日本理解促進につなげるため、世界各国の中等教育に携わる教員（主として社会科、国際理解教育）等をグループで招へいし、わが国の教育、文化、社会等の実情を視察し、関係者との意見交換の機会を提供
	シンガポール	3		
	フィリピン	5		
	マレーシア	5		
	カナダ	5		
	キプロス	3		
	ギリシャ	2		
	アラブ首長国連邦	3		
	イラク	3		
	オマーン	2		
	カタール	3		
	バーレーン	1		
	エジプト	5		
	スーダン	3		
	エチオピア	3		
	ガーナ	3		
	カメルーン	3		
	ケニア	3		
	2 中高教員グループ (第2)	エルサルバドル		
キューバ		3		
グアテマラ		3		
コスタリカ		3		
メキシコ		5		
アルゼンチン		3		
ウルグアイ		3		
エクアドル		3		
ブラジル		5		
アゼルバイジャン		3		
アルメニア		3		
ウズベキスタン		3		
カザフスタン		3		
キルギス		1		
グルジア		1		
タジキスタン		3		
ロシア		5		
アルジェリア		2		
アンゴラ		3		
ウガンダ		3		

市民青少年交流事業費

	グループ名	国	人数	期間	事業内容
3	中高教員グループ(第3)	カンボジア タイ インド スリランカ オーストラリア トンガ ニュージーランド アイスランド アイルランド イタリア 英国 オーストリア オランダ ドイツ フランス スロベニア ハンガリー	3 5 5 3 5 3 3 2 3 5 5 3 3 5 5 3 5	05.11.16～ 05.11.29	各国の青少年教育指導者の日本の教育・文化に関する理解を促進し、自国の青少年の日本理解促進につなげるため、世界各国の中等教育に携わる教員(主として社会科、国際理解教育)等をグループで招へいし、わが国の教育、文化、社会等の実情を視察し、関係者との意見交換の機会を提供
4	中高教員グループ(韓国)	韓国	26	05.10.05～ 05.10.18	各国の青少年教育指導者の日本の教育・文化に関する理解を促進し、自国の青少年の日本理解促進につなげるため、世界各国の中等教育に携わる教員(主として社会科、国際理解教育)等をグループで招へいし、わが国の教育、文化、社会等の実情を視察し、関係者との意見交換の機会を提供
5	韓国派遣日本教員事前研修	日本	20	05.10.25～ 05.11.09	韓国国際交流財団との相互交流プログラムの一環として、日本の中学・高校の社会科教員の韓国研修の渡航前オリエンテーションを実施

1. 人物交流事業費 (2)市民青少年交流(指導者交流)

市民青少年交流分野で指導的立場にある内外の専門家を少人数のグループで派遣または招へいし、調査・視察・意見交換等により関係者間のネットワーク形成と、同分野の新たな交流を促進する。

合計額 9,993,883円

	事業名	国	都市	会場	期間	事業内容
1	インド・ブータンまちづくりグループ(派遣)	インド ブータン	アーメダーバード チェンナイ デリー ニューデリー ボンダイ シェリ ティンブーパロ プナカ		05.12.25～ 06.01.09	平成16年度に実施したインド・ブータンまちづくり専門家グループ招へいのフォローアップとして、日本においてさまざまな分野でコミュニティ活性化とにぎわいづくりに取り組むまちづくり専門家をグループで派遣し、関係者との意見交換と現場視察、セミナー等への参加を実施

市民青少年交流事業費

	事業名	国	都市	会場	期間	事業内容
2	EUまちづくりグループ (派遣)	スペイン	バルセロナ		06.03.23～ 06.03.28	平成16年度に実施したEUまちづくり専門家グループ招へいのフォローアップとして、日本において市民主導のまちづくりとコミュニティ活性化に取り組む専門家をグループで派遣し、関係者との意見交換と現場視察、セミナー等への参加を実施

1. 人物交流事業費 (3) アジア青年文化奨学金 (中等教育プログラム) (AC)

アジア域内の将来を担う人材育成を促進するため、アジア各国と日本の高校生の交換留学事業を行なう。
合計額 13,498,995円

	事業名	国	人数	期間	事業内容
1	アジア青年文化奨学金 (中等教育プログラム) (AC) 招へい	韓国	4	05.04.01～ 06.03.31	アジア各国の青少年同士の相互理解促進のため、韓国・インドネシア・タイ・フィリピン・マレーシアの5カ国から第10期生として各国4名、合計20名の高校生を招へい。留学生は、一般家庭にホームステイしつつ日本の高校に通学。招へい期間は原則11カ月
		インドネシア	4		
		タイ	4		
		フィリピン	4		
		マレーシア	4		
2	アジア青年文化奨学金 (中等教育プログラム) (AC) 派遣	韓国	2	05.04.01～ 06.03.31	アジア各国の青少年同士の相互理解促進のため、日本人高校生を第9期生としてインドネシア・タイ・フィリピンに各2名、マレーシアに3名、第5期生として韓国に2名、計11名を派遣。留学生は各国の一般家庭にホームステイしつつ高校に通学。派遣期間は原則11カ月とするが、派遣時期は各国の学期制度に合わせるため国によって異なる
		インドネシア	2		
		タイ	2		
		フィリピン	2		
		マレーシア	3		

市民青少年交流事業費

1. 人物交流事業費 (4)開高健記念アジア作家招へい (AC)

日本では紹介されることの少ないアジアの文学を一般市民へ紹介するとともに文学関係者間の交流を促進するため、アジアから作家を招へいし、日本各地で講演会などを実施する。

合計額 5,701,770円

	事業名	国	都市	会場	期間	共催者	事業内容
1	第15回 「仏ダドゥル・ホワ・ミロン」	バングラデシュ	仙台市 東京 大阪市 広島市	仙台文学館 国際交流基金国際会議場 大阪国際交流センター 小ホール ひろしま国際センター 交流ホール	06.03.10～ 06.03.23	財団法人仙台市市民文化事業団 財団法人大阪国際交流センター 財団法人大阪21世紀協会 財団法人ひろしま国際センター	作家の故開高健の遺族からの寄付金により、バングラデシュの作家を招へいし講演会を実施
2	第16回 「丁雲(ディン・ユン)」	シンガポール	-	-	05.04.01～ 06.03.31	-	作家の故開高健の遺族からの寄付金により、シンガポールの作家を招へいし講演会を実施(平成18年度事業の準備)

1. 人物交流事業費 (5)文化交流企画運営補助ボランティア

日本との文化交流活動を主たる業務としている海外の非営利団体へ市民ボランティアを派遣し、企画運営補助業務を行なう。

合計額 9,797,261円

	氏名	国	期間	受入機関	事業内容
1	兼崎 妙	マレーシア	05.05.17～ 06.05.16	マレーシア日本語協会	より広い地域・幅広い層の市民青少年を担い手とする、地域や事業分類に限定されない多様な交流活動を活性化するため、日本に関する総合的文化事業運営を実施している海外の団体で補助業務を行なうボランティアを公募・人選のうえ、派遣
2	岩崎 優子	ドイツ	05.03.30～ 06.03.29	ベルリン日独センター	より広い地域・幅広い層の市民青少年を担い手とする、地域や事業分類に限定されない多様な交流活動を活性化するため、日本に関する総合的文化事業運営を実施している海外の団体で補助業務を行なうボランティアを公募・人選のうえ、派遣
3	山崎 夕佳	エジプト	05.05.10～ 06.05.09	エジプト日本語教育振興会	より広い地域・幅広い層の市民青少年を担い手とする、地域や事業分類に限定されない多様な交流活動を活性化するため、日本に関する総合的文化事業運営を実施している海外の団体で補助業務を行なうボランティアを公募・人選のうえ、派遣

2. 催し等事業費 (1)市民青少年交流（主催）

諸外国の市民青少年レベルでの相互理解と国際交流を促進するため、市民青少年交流活動を幅広く展開する団体の関係者や、指導的立場にある専門家を日本から派遣または招へいし、視察・意見交換に加えシンポジウムや講演会などの機会を提供する。

合計額 15,515,409円

	事業名	国	都市	期間	事業内容
1	アジアNPO派遣	韓国 インドネシア タイ	ソウル ジャカルタ ボゴール バンコク	05.08.21～ 05.09.02	アジア各国におけるNPOの活動状況およびNPOを取り巻く環境等について把握するため、日本からNPO関係者を派遣し関係者・機関との意見交換・活動見学等を実施
2	コミュニティ主導の国際協力・日欧交流プログラム（招へい）	イタリア	名古屋/滝川市（北海道）/札幌/横浜/東京	05.07.09～ 05.07.17	日欧のコミュニティレベルでの国際交流・国際協働に関する実務者の対話促進のため、EUから関係者を招へいして日本各地でセミナーを財団法人日本国際交流センターと共催で実施
3	日・EU青少年セミナー参加者グループ派遣	英国	ロンドン	05.11.22～ 05.11.26	日・EU市民交流年事業の一環として青少年の育成・学校外教育をテーマとしたシンポジウムに日本側参加者を派遣

2. 催し等事業費 (2)市民青少年交流（主催）（中東）

中東地域を対象として、文化分野における市民・青少年レベルでの国際交流を促進し、相互理解を深めるため、市民青少年交流活動を幅広く展開する団体の関係者や、指導的立場にある専門家をグループで派遣または招へいし、意見交換、セミナー、シンポジウム、ワークショップ等を実施する。

合計額 11,905,916円

	事業名	国	都市	会場	期間	事業内容
1	中東女性・市民団体交流（派遣）	アラブ首長国連邦 イラン エジプト	アブタビ テヘラン カイロ	General Womens' University アッザーラ大学 ザーイド大学	05.09.15～ 06.09.26	中東各国における女性に関する問題に取り組んでいるNPOの活動状況およびNPOを取り巻く環境等について把握するため、日本から女性ジャーナリストやNPO関係者を派遣し関係者・機関との意見交換・活動見学等を実施
2	中東女性・市民団体交流（招へい）	アラブ首長国連邦 エジプト	東京 埼玉 名古屋	リバティーホール NWEC（国立女性教育会館） 名古屋国際センター	06.03.15～ 06.03.28	「中東女性・市民団体交流（派遣）」のフォローアップとして、女性の社会参加と次世代を担う青少年交流の指導者育成等に携わる関係者を招へいし、日本側の同様な活動に携わる関係者との情報・意見交換を実施。また、中東文化を紹介する一般公開パネルトークを実施

市民青少年交流事業費

2. 催し等事業費 (3)市民青少年交流 (助成)

日本と海外の市民レベルにおける相互理解を促進するため、日本の団体が実施または参加する事業に対し、旅費の一部を助成する。

合計額 38,217,086円

事業名	国	期間	助成対象者	事業内容
1 「であいフォトエッセイカフェ」プロジェクト	韓国 中国 オーストラリア ニュージーランド カナダ 米国 英国 ドイツ	05.04.01～ 06.03.31	財団法人国際文化フォーラム	海外の中高校生（米国/オーストラリア/ニュージーランド/カナダ/英国/中国/韓国/ドイツなど）が制作した自分についてのフォトエッセイを「であいフォトエッセイカフェ」ホームページに掲載する。応募者のなかから10名を日本（沖縄）に招へいし、日本理解を深めるとともに日本の高校生と共同プロジェクトを実施
2 地球子ども村2005	韓国 中国 全世界区分困難	05.08.08～ 05.08.15	特定非営利活動法人 地球子ども村	2005年「愛・地球博」開催を契機に、「地球市民」として自覚を持ち、地球規模で考え行動できるよう日本、中国、韓国など世界各国（十数カ国）の子どもたちの参加者（約80人）を対象にホームステイや自然体験、交流活動を通じて国際理解を進めるとともに、それを支援する大人の国際理解力を高めるため大人向け国際理解教育を実施
3 はばたけ21未来の子どもたちへ	中国 ロシア	05.08.22～ 05.08.28	はばたけ21の会	ロシア（ハバロフスク/ウラジオストク）、中国（ハルビン）および新潟県（小学校5・6年生：10・11歳）といった環日本海地域の子どもの国際交流活動。自然の家（妙高村）で共同生活を通して相互理解を図ると共に、「環境」等をテーマにした子ども自然会議の開催、各国の文化交流を実施し、児童の国際性を養うことを目指した。実施にあたっては、企業・行政・市民が一体となってボランティアスタッフとして協力
4 国際学生シンポジウム	フィリピン オーストラリア カナダ 米国	05.05.17～ 05.05.22	清泉女子大学	清泉女子大学国際交流センターおよび地球市民学科が中心となり、アメリカ、カナダ、オーストラリア、フィリピン等の大学生参加を得て、「環境教育」をテーマにシンポジウムを実施。各国の事情、醸成を理解しあい、世界的視野を広げ、相互に学び取った事柄を各々の国、地域社会で適用することを目指して、共同生活を通じ情報交換および課題の討論を実施
5 トークアジア	アジア地域区分困難	05.11.03～ 05.11.06	国際学生団体 アジアン	アジア6カ国に持つカウンターパート（ボランティア活動団体）から代表者を招へい、日本の大学生、高校生との対話セミナーを開催し、市民青少年が主体的かつ多角的に開発教育を論じる場を創出。アジアのよりよいパートナーシップ構築のための3日間のセミナーの他、料理大会等交流会も開催

	事業名	国	期間	助成対象者	事業内容
6	アース・シンポジウム イン ジャパン	カナダ	05.06.18～ 05.06.30	アースシンポジウム イン ジャパン 実行委員会	カナダで毎年開催されている芸術と社会とのかかわりなどをテーマにしたワークショップ「アース・シンポジウム」の日本版を開催。シンポジウム主催者ジュディス・マーキューズら5名を招へいし、横浜、名古屋、東京で小中高生を対象に、社会性・自立心の育成を目的とした演劇ワークショップを開催
7	アート活動を通じた精神障害者の自己実現と社会復帰に関する国際交流活動	米国	05.10.19～ 05.12.31	財団法人たんぼぼの家	米国で精神障害者のアート活動を推進しているNPOのスタッフおよびアーティスト計5名が来日し、現状と意義につき意見交換を行ない、作品の展覧会および講演会を実施
8	創立15周年記念HIA講演と俳句大会	米国	05.11.13～ 05.11.15	国際俳句交流会	助成対象団体の創立15周年を記念し、リー・ガーガ(米国「モダンハイク」編集長)および有馬朗人による講演を実施。参加者との意見交換・懇談会等も実施
9	日・中米外交関係樹立70周年記念・ハイチ・ダンスワークショップ2005	ハイチ	05.11.17～ 05.12.01	ハイチ友の会	ハイチから3名のアーティストを招へいし、写真展のギャラリートークの他、京都の大学・中学校および新宿村スタジオでダンスと太鼓のワークショップを実施
10	演劇の社会的な役割についての国際交流－国際オルタナティブ演劇祭2005参加事業	メキシコ	05.11.16～ 05.11.25	路上演劇祭 Japan実行委員会	メキシコシティーで毎年開催されている演劇の社会的な役割についての情報交換・技術交換・相互理解のプログラムである「路上演劇祭」の日本版実行委員会のメンバー15名が、メキシコの演劇祭に参加し、日本(世田谷区)における市民参加型路上演劇祭とまちづくりの成果を伝えるワークショップを開催。日本からはワークショップの指導者を中心としたメンバーが参加
11	第8回フェスティバルドジャポンにおける文化交流ワークショップ	ブラジル	05.07.17～ 05.07.24	財団法人ならまち振興財団 奈良市音声館	奈良でわらべうた教室を通じた市民交流・世代間交流を展開している助成対象団体の職員や劇団員7名が、サンパウロで開催された「日本祭り」に参加しわらべうたを通して日本文化を紹介。併せてブラジル日系人社会におけるわらべうたの調査を行なった。「日本祭り」はブラジル社会での日本文化の融合をテーマにした市公認事業であり、3日間で45万人超が参加
12	カルタを通じた日本語学習と文化交流	ブラジル	05.10.01～ 05.10.14	ユネスコ・がんばろい大牟田の会	「カルタ発祥の地」とされる福岡県大牟田市に所在し、カルタ遊びを通じた日本語学習、日本文化の紹介を広く内外で行なっている助成対象団体の団員10名がサンパウロなど数カ所で日系人を含んだ参加者に対して、カルタの紹介、カルタ作りワークショップを行ない、日本語を通じた日本文化の紹介と遊びの体験交流を実施

市民青少年交流事業費

	事業名	国	期間	助成対象者	事業内容
13	日伊青年演劇交流：ローマKyogen一座日本ツアーとシンポジウム	イタリア	05.09.14～ 05.09.30	日伊青年演劇交流実行委員会	ローマ大学で日本語や日本文化を学ぶ学生が、関根勝（早稲田大学教授）の指導により、ルネッサンス期のイタリア即興喜劇を翻案した狂言を稽古し、その成果を東京や大阪など各都市の能楽堂において発表。あわせて伝統演劇に関するワークショップやシンポジウムを日本の大学生とともに実施
14	マテーラ/バジリカータ日本伝統文化祭2005	イタリア	05.09.22～ 05.09.29	日本生活文化交流協会	日-EU市民交流年事業。南イタリア・バジリカータ州マテーラ市、ポテンザ市を助成対象団体（1989年設立以来日本の生活文化を総合的に体験し日本人の素顔を伝える事業を世界各地で実施）の会員約80名が訪問し、大学等で茶道、華道、書道、香道、折り紙、人形的生活文化を総合的に紹介
15	障害のある人達を含むダンス国際交流第1回世界大会参加事業	英国	05.04.03～ 05.06.20	特定非営利活動法人みやぎダンス	英国、ドイツ、スリランカ等世界7カ国から障害のある人・ない人がともに活動するダンス団体が集う大会に、日本から唯一の団体として招へいを受け、身体表現に関するワークショップや作品発表を実施。また、一部メンバーは大会の2カ月前からロンドンに滞在し、ロンドンのダンスチームと共同作品の制作を行なった他、市内ダンス団体、芸術団体の活動視察や意見交換等を実施
16	「日-EU市民交流年」記念広島舟入・欧州高校生交流推進事業	英国 フランス	05.05.06～ 05.05.17	広島舟入・欧州高校交流推進委員会	広島県の高校生が、ストラスブールの欧州議会を会場として開催される「ユーロスコラ」に参加し、EU加盟国から参加する高校生と「平和」を軸としたテーマについて議論した。また、フランスおよび英国の高校を訪問し、文化紹介や意見交換を実施
17	日本の伝統文化「てまり」を通じた英国との交流	英国	05.05.15～ 05.05.22	特定非営利活動法人日本てまり文化振興協会	在英国大使館の協力により、大使館ギャラリーやロンドン近郊の中学校において「てまり」の制作講習および展示を実施
18	「ウェールズグラウンドワークトラスト&グラウンドワーク福岡共同プロジェクト2005」	英国	05.05.22～ 05.05.29	特定非営利活動法人グラウンドワーク福岡	英国で生まれた、地域・行政・企業を結ぶコミュニティ環境改善活動である「グラウンドワーク」の国際協働の一環として、福岡を拠点として活動するNPOが、ウェールズからグラウンドワーク実践者や小中高生を招き、グラウンドワーク活動に関する学校でのワークショップや、地域住民を招いてのシンポジウム、活動現場視察等を実施
19	英国バクストン国際人形劇フェスティバル青少年派遣事業	英国	05.07.23～ 05.08.01	財団法人札幌市青少年女性活動協会	英国で開催される「バクストン国際人形劇フェスティバル」の招へいを受け、札幌市内で人形浄瑠璃を学ぶ青少年を派遣し、現地で開催されるワークショップにおいてイギリスの青少年と共同で作品制作と発表を行なった。また、人形浄瑠璃の上演を通じ日本の伝統文化を紹介

	事業名	国	期間	助成対象者	事業内容
20	日英グラウンドワーク連携 -環境・まちづくり活動人材育成・交流拠点形成事業	英国	05.09.01～ 06.03.31	特定非営利活動法人グラウンドワーク三島	行政・市民・企業の連携により環境改善・青少年育成活動を展開する助成対象団体が、全国研修センターの設置に向け、英国パートナー団体等と意見交換・ワークショップを実施。相互に渡英・渡日して先進事例、研修カリキュラム、教材作成、人材育成等を学びあう体験学習型まちづくり活動の日英NPO協働事業
21	ハイムーン環境まんが展および講演会・ワークショップ	英国	05.10.06～ 05.10.20	J.E.E.日本環境保護国際交流会およびnew letters from Kyoto (NLK)	日本における環境問題・活動を発信し市民レベルでの交流を図るため、英国ケンブリッジで環境問題をテーマに「ハイムーン（高月紘京都大学環境保全センター名誉教授の筆名）漫画」等の展示、まんが教室・ワークショップ・講演会等を開催して建築・芸術文化から環境問題を考察
22	日本とオーストリア、ドイツ間の音楽文化交流	オーストリア ドイツ	05.11.02～ 05.11.09	柏葉会関係者および音楽研究会会員から成る合唱等アンサンブル	東京大学の合唱団OB・OGを中心とするメンバーが、オーストリア・ドイツで現地のプロ演奏者を迎えての合唱自主公演を実施
23	日独ユース・ファッション交流プロジェクト「日独伝統の素材と技法」	ドイツ	05.04.01～ 06.03.31	日独ユース・ファッション交流プロジェクト事務局	「日本におけるドイツ年」事業として、東京ドイツ文化センターの提案に基づき、日独の服飾・衣装文化を学ぶ学生が10月に相手国を相互に訪問し、講義や実習プログラム参加、伝統繊維産地見学等を行なうとともに、訪問で得た成果を踏まえた作品制作・展示を翌年3月に両国で同時に実施
24	ブレーメン・ナゴヤアートプロジェクト2005 “site scenes” 記念シンポジウム「都市を超えるアートプロジェクト」	ドイツ	05.09.02～ 05.10.02	ブレーメン・ナゴヤアートプロジェクト実行委員会	文化によるまちづくりを展開し、芸術によるコミュニティ活性化をめざし、ブレーメンと名古屋の若手作家が16組のペアを組んで共同作業を行ない、市民参加型交流を行なうアートプロジェクト「日独の芸術によるまちづくり専門家によるシンポジウム「都市を超えるアートプロジェクト」も開催
25	2005日独子どもセミナー（受け入れ）	ドイツ	05.10.17～ 05.10.28	沖縄県ユースホステル協会	ドイツザクセン州の青少年50名を沖縄に招へいし、日本の子どもたちとのユースホステルや民宿での共同生活・自然体験活動を通じて交流。ドイツと日本の子どもたちが日本の自然体験活動を通じ、相互に文化や価値観の違いを学び交流
26	フィンランドとの合同教員研修事業「アントレプレナー精神あふれる授業・学校運営」	フィンランド	05.11.26～ 05.12.05	特定非営利活動法人アントレプレナーシップ開発センター	京都市を中心に、青少年の社会参加と起業家精神醸成をめざすアントレプレナー教育を実践している助成対象団体が、小学校・中学校の校長等現場教員を引率して、フィンランドで他のヨーロッパ諸国の教員との合同研修会に参加するとともに、教育省等の関係機関を訪問

市民青少年交流事業費

	事業名	国	期間	助成対象者	事業内容
27	「日-EU市民交流年=鬼島太鼓2005」	フランス ルクセンブルク	05.07.04～ 05.07.12	鬼島太鼓	長野県木島村を拠点に活動する「鬼島太鼓」が、在ルクセンブルク大使館および在ストラスブール総領事館からの招きにより「日・EU市民交流年」の記念事業として小学校や障害者施設等で和太鼓演奏・交流会を実施。また、ヴィルツ市で開催される「ヴィルツ音楽祭」からの招へいを受け、演奏を実施
28	音だま言だま Franco- Japonais	フランス	05.10.05～ 05.10.19	音だま言だま プロジェクト	東京を拠点に、音楽と言葉によるワークショップ活動を行なっている指導者が、フランス各都市の市立センターや日本人学校を会場として、主に子ども達を対象とした「音遊び」や「リトミック」のワークショップ(30人～50人規模)を行なった。また、フランスの詩を日本語に翻訳しピアノによる弾き語りコンサートも実施
29	2005市民・青少年 国際体操文化交流フォーラム	デンマーク	05.10.06～ 05.10.25	デンマーク体操クラブ・アンセル	「日・EU市民交流年」を機に、市民が気軽に参加できる体操文化の発展を期して、その発祥の地であるデンマークの名門教育機関Vesterlund Ungdomsskole校から41名の学生を招へいし、東京・大阪等国内各都市において地域のクラブ、学校(自由学園/玉川大学等)と合同ワークショップを実施した。また、大阪では広く市民が参加する体操フェスティバルに参加
30	ラジオ・ブリッジ京都-プラハ2005	チェコ	05.04.01～ 05.10.31	京都三条ラジオカフェ(特定非営利活動法人京都コミュニティ放送)	京都とその姉妹都市であるプラハのコミュニティ放送ラジオ局(いずれもNPO)が交流を目的に子供達が相互に訪問し、一般家庭にホームステイをしながらラジオ番組制作を学んだ。仕上げとして、両国の子供達が実際に番組を製作し、相手国の放送局でそれぞれ放送。子供達を支える大学生ボランティアの協力により一連の動きを音と映像で記録し発表した
31	チェコ共和国中央ボヘミア地方小町村コミュニティと日本のコミュニティとの交流	チェコ	05.05.13～ 05.08.28	日本チェコ友好協会	日本からの訪問者受入れを活発に行なっているチェコの地域から、日・EU市民交流年を記念して代表団約20名を招へいし、東京(町田市/調布市)、静岡(御殿場市)、長野(松本市)等複数の市町村で、植樹等の市民活動への参加、工場・学校見学、ホームステイ等を行なうとともにチェコについて紹介する市民講座や交流会を実施。また、8月に山梨(韮崎市)の少年サッカーチームを派遣
32	日本ハンガリー青少年の合唱音楽による交流の1週間	ハンガリー	06.03.20～ 06.03.30	日本ハンガリー友好協会	助成対象団体は2000年からハンガリーの作曲家を記念した全国規模の合唱コンクールを開催。日・EU市民交流年を記念して、同コンクールで金賞を受賞した日本の高校の合唱部などから成る合唱団をハンガリーに派遣し、小学校での同世代の合唱団とのコンサート、セミナー、ワークショップなどを行なった。また、折り紙等の紹介やホームステイも実施

	事業名	国	期間	助成対象者	事業内容
33	日本ブルガリア大学生文化交流プログラム	ブルガリア	05.07.30～ 05.08.16	セッションハウス企画室・日本ブルガリア大学生文化交流実行委員会	身体表現を通じて市民交流を実施している助成対象団体がブルガリアの国立演劇・映画アカデミーからのダンス専攻の学生および講師10名を招へい。学生は、日本のダンスの創作・トレーニング方法をワークショップなどで学び、美大生なども含んだ日本の学生とダンス作品を創作。また、講師はワークショップを行なうとともに早稲田大学などでもブルガリアの舞台芸術についての特別講義・講演会を実施
34	2005年度サラエボ国際文化交流	ボスニア・ヘルツェゴビナ	05.08.01～ 05.08.31	2005年度サラエボ国際文化交流実行委員会	サラエボの芸術活動を再興することを目的に「文化の再耕」をテーマとして、日本、ボスニア・ヘルツェゴビナ、ドイツなどの学生10名がサラエボに滞在し、サラエボの町を記録する写真、ビデオ作品、インスタレーションなどを製作。また、市民の協力を得つつ、参加者と住民が芸術の役割などについて討論するシンポジウムを開催。作品のカタログは日本語・英語・ボスニア語で作成
35	日本・ラトビア指揮者交流プロジェクト	ラトビア	06.01.16～ 06.01.23	日本・ラトビア音楽協会	日本・ラトビア両国の優れた合唱指揮者が自国の合唱曲を相手国の青少年に指導し、青少年レベルの国際相互理解を促進するという提案がラトビアの国家的行事「歌の祭典」の時に発表され、それを受ける形で平成17年度は日本からラトビアへ派遣
36	日露交流の原点をたどる	ロシア	05.05.15～ 05.07.01	特定非営利活動法人日本・ロシア協会	日露修好150周年を記念し、条約締結のため寄港した船による交流にちなんで下田からニコライエフスクにヨットで航海を行なうなど一連の記念事業を実施。モスクワでは記念講演、パネルディスカッション、メッセージ交換、展示会等を開催
37	第17回日本・ロシア学生会議	ロシア	05.08.08～ 05.08.26	日本・ロシア学生会議実行委員会	日露で相互に開催されている日本・ロシア学生会議の第17回をハバロフスク、ウラジオストクにて開催。日露あわせて約20名で討論、スポーツを通じた交流、ホームステイ等を行なった。講師として、サルキノフ（山梨学院大学教授）、下斗米伸夫（法政大学教授）などを招へい
38	全ロシア青少年文化スポーツ交流フェスティバル	ロシア	05.08.25～ 05.08.30	秩父郷土芸能研究会	日露修好条約締結150周年を記念してノヴォシビルスク市のロシア・日本協会が開催するフェスティバルにて15名が和太鼓を演奏。フェスティバルではスポーツ、旅行、コンサートなど余暇活動をテーマとするプログラムが生まれ、ロシア内外からの青少年が参加
39	2005年度日本JCロシア友好の会 ロシアミッション	ロシア	05.09.11～ 05.09.17	日本JCロシア友好の会	「北方領土返還要求運動」に関する事業を継続して実施している民間団体が、モスクワ大学を中心としたロシア人学生と日本人学生の交流や国会議員が交流するイベントを開催

市民青少年交流事業費

	事業名	国	期間	助成対象者	事業内容
40	ガーナ三角ベース普及プロジェクト	ガーナ	06.02.04～ 06.02.19	特定非営利活動法人アフリカ野球友の会	ゴムボールを使用しての簡略版の野球ゲーム「三角ベース」の遊び方を、デモンストレーションを通じてウガンダの青少年に紹介し、現地の多くの青少年が野球に接することができる機会を提供するとともに、スポーツを通じた日本・ウガンダ双方の国民の相互理解の促進を図る交流事業を実施
41	GIS（地理情報システム）活動を推進するための市民・NGOの国際交流	ケニア	05.10.30～ 05.11.05	財団法人国際湖沼環境委員会	ケニア・ナイロビで開催される第11回世界湖沼会議に参加し、広く海外の参加者と交流。また同時期に、ナクル市のGISを見学し、ナクル湖の視察、周辺住民・NGOとの交流および意見交換を実施
42	タンザニア女性との草の根交流を通じた手工芸品事業の推進	タンザニア	05.08.07～ 05.08.21	タンザニア・ポレポレクラブ	公募する参加者6名がタンザニアを訪問し、手工芸品作成についての情報交換、洋裁教室・生活向上の運動グループの見学等を実施
43	グローバル・クラスルーム2005 in ケープタウン	南アフリカ	05.07.01～ 05.07.14	グローバルクラスルーム実行委員会	南アフリカで開催されるグローバル・クラスルーム（世界各国の高校生によるフォーラム）に日本の高校生12名が参加し、「過去の共有、未来の構築」というテーマのもとで10日間に渡り討議、発表を行なった。フォーラムには日本のほか南アフリカ、英国、チェコ、ドイツ、スウェーデンの学校が参加し、毎年各校持ち回りで開催
44	Wanakio 2005～市民社会とアート国際ネットワーク～	全世界区分困難	05.04.01～ 05.12.31	特定非営利活動法人前島アートセンター	戦後60年を迎える2005年、那覇の中心市街地で、アジア、ヨーロッパのアーティストやキュレーターを招き、製作過程を重視したまちの中のアート展、ローカルコミュニティや地域文化についてのシンポジウムおよびワークショップなどを市民対象に行なった。文化活動による国際交流と市民社会の発展を図るため、まちの中で芸術家と市民による実践的・創造的プロジェクトを実施
45	アーティスト・イン・レジデンス 美濃・紙の芸術村	全世界区分困難	05.09.01～ 05.12.31	美濃・紙の芸術村実行委員会	世界各国の芸術家を公募、うち5名を招へい。ホームステイ、出身国の文化・社会の紹介、小中学校での国際理解・芸術ワークショップ、市民協力による創作と発表を通じ、市民青少年の異文化理解と交流を促進
46	世界学生会議5th ステージ	全世界区分困難	05.12.01～ 05.12.07	世界の若者による対話－RING実行委員会	イスラエル・パレスチナ・イラク・米国・ドイツ・韓国等から若者を招へいし、京都でパネルディスカッション・講演会・展示・交流会・分科会等を通じて世界の諸問題の理解を深め、若者同士のネットワーク構築を図った。助成対象団体は、2003年に「世界学生会議」を改組、同会議と対話プロジェクトRingを年間各1回交互に開催

2. 催し等事業費 (4) 市民青少年交流 (助成) (AC)

日本とアジア諸国との市民・青少年の相互理解と友好親善を促進するため、同趣旨の文化交流事業を行なう団体に事業実施経費の一部を助成する。

合計額 19,594,530円

	事業名	国	期間	助成対象者	事業内容
1	日韓子どもシンポジウム 2005	韓国	05.04.01～ 05.12.30	日韓子どもシンポジウム実行委員会	公募で選ばれた日本（福岡）と韓国（釜山）の子ども達各10人が、相互のホームステイやキャンプ、両国の文化体験活動を行ない、その成果を10月に釜山で開催したシンポジウムで発表。日韓両語の報告書を作成
2	日韓農楽交流 －ワーク ショップと名古屋公演、訪韓交流会	韓国	05.05.03～ 05.08.18	ノリパン	韓国伝統芸能（サムルノリ）を愛好する一般市民15名が中心となって、韓国の生活文化を継続して学習・紹介している助成対象団体が、5月に韓国から講師を招き、愛知県春日井市でサムルノリのワークショップを開催。ワークショップ受講者と講師により、名古屋で公演を実施。8月には受講者が訪韓の上、韓国側講師他と公演をソウルで実施
3	ブラボー！	韓国	05.05.27～ 05.07.31	サイト エー	東京およびソウルで実施される交流展示事業に付随するシンポジウム。作家、商店街代表者、キュレーター等が「日本×韓国」、「地域×美術」、「美術×国境」、「創作×地域」をテーマに講演
4	「空飛ぶ車いすIN韓国」	韓国	05.06.01～ 05.12.01	空飛ぶ車いすを応援する会	アジア各国に車いすを修理して寄贈している活動を支援している助成対象団体が、寄贈した車いすの活用状況確認のため、修理活動を行なっている高校生を韓国に派遣。福祉施設を訪問して地元高校生と一緒に修理。また、日本から寄贈した車いすの韓国での利用者とボランティアを日本に招へい、日本で修理を担当している高校生を訪問。アジアからの利用者の声や輸送ボランティアのレポートも作成
5	日韓伝統文化交流 韓国伝統風物チームの招請	韓国	05.07.22～ 05.07.26	特定非営利活動法人翔青会	青少年交流活動を幅広く行なう助成対象団体が、福岡県指定無形民俗文化財黒崎祇園山笠祭において、釜山から小・中・高校生を含む40名を招き、韓国伝統芸能サムルノリを上演し、交流。中学校や教育施設の訪問、意見交換も併せて実施
6	「韓国の友だち、アンニョンハセヨ！」 －小学生ホームステイ交流 2005－	韓国	05.07.26～ 05.08.01	特定非営利活動法人多言語広場 CELULAS	多言語をキーワードに異文化理解プログラムを展開する助成対象団体が、日韓友情年を機に、東京都内の小学5・6年生35名と小学校教師5名を公募し、韓国の小学生のいる一般家庭で4泊5日（各家庭に1人）のホームステイと、日韓青少年交流ワークショップを実施。また韓国人留学生や在日韓国家族と事前、事後活動・勉強会を実施
7	日韓野外伝承遊び大会と会議	韓国	05.07.29～ 05.08.07	社団法人青少年交友協会	ソウルに日本の子ども達・学者・専門家・指導者を派遣し、日韓の野外伝承遊び（素朴な民俗芸能を含む）を紹介する「日韓野外伝承遊び大会」を開催。また、併せて青少年と専門家の交流を深めることを目的に、学者・専門家などによる「日韓野外伝承遊び会議」を開催。その後、天安、釜山でも「野外伝承遊び大会」を開催

市民青少年交流事業費

	事業名	国	期間	助成対象者	事業内容
8	第5回日韓高校生交流キャンプ	韓国	05.08.01～ 05.08.31	社団法人日韓経済協会	日本と韓国の高校生各50名計100名が日本に集まり、自国の観光・文化を売り込む企画をチームごとに作成し、発表する研修プログラムを通じて、意見交換・相互交流を実施
9	第21回日韓学生フォーラム	韓国	05.08.04～ 05.08.18	第21回日韓学生フォーラム	日本メンバー（日韓学生フォーラム）と韓国メンバー（韓日学生フォーラム）のメンバー各20名が沖縄で2週間合同合宿し、分科会での意見交換、フィールドトリップや、全体討論会を実施。両国文化紹介や現地での文化体験、スポーツイベント等も実施。共通言語は英語。事前活動として、週一回の各地勉強会、合宿も開催。反省会、報告書作成、各地で年間活動報告会も開催
10	日韓ユースボランティアキャンプ	韓国	05.08.06～ 05.08.10	財団法人福岡YWCA	韓国・晋州市の中高生30名と、福岡近隣の中高生20名が、事前学習を実施した上で福岡の福祉施設で、共同作業を通じて相互理解を深めるために合同のボランティア活動を実施
11	good! 日韓友好交流ボランティアワークキャンプ2005	韓国	05.08.28～ 05.09.10	グッド!	韓国の過疎の農村で日韓の大学生等約30名(日本側14名)が共同で農作業・共同生活を行ない、村の高齢者とも交流を持った
12	青森ねぶた韓国公演共同実施事業	韓国	05.09.24～ 05.09.25	2005年青森ねぶた韓国公演実行委員会	日韓外交正常化40周年および青森・ソウル便就航10周年を記念し、青森ねぶたを韓国で公演。公演に先立ち、韓国でハネト、囃子方の講習会を行ない、実際の公演の際には、講習を受けた韓国からの参加者と青森からの参加者も共演
13	OMURA室内合奏団 韓国公演～海を渡る音色にのせて～	韓国	05.10.01～ 05.10.31	財団法人大村市振興公社	韓国大邱市の「テグ・フィルハーモニーオーケストラ」、[慶北大学オーケストラ]と長崎県大村市の「OMURA室内合奏団」が大邱で合同演奏会を実施。併せて近隣の学校等でのアウトリーチも積極的に実施
14	ハンマウム文化祭2005	韓国	05.10.12～ 05.10.22	特定非営利活動法人狭山市ハンマウムの会	サムルノリ・ソゴの演奏、詩の朗読、ファッションショー、韓国民話劇上演、展示、茶会を含む「文化祭」を日韓相互で開催
15	日韓青年人權ワークキャンプ	韓国	05.12.24～ 05.12.27	国際交流青年実行委員会	日本の大学生約20名が韓国晋州市を訪問、見学や意見交換を通じ、韓国の大学生と同和問題、性差別問題を含む人権問題を相互に学びあう活動を実施
16	第6回青少年の主体的なまなごしを活かした日韓草の根交流	韓国	06.02.16～ 06.02.22	あじあの芽	日韓の若者計30名がソウルおよびその近郊で7日間、合宿形式で交流の課題を発見し、現地見学や討論を実施。共通の未来への提言を作成。ホームステイも実施

	事業名	国	期間	助成対象者	事業内容
17	International Business Contest for Students OVAL BEIJING	中国	05.04.01～ 06.03.31	OVAL BEIJING 実行委員会	日中韓の現地の学生を対象にしたビジネスプランコンテストを、8月に北京で開催。学生が各国から一人ずつの3人一組になり、一週間にわたって、共通のテーマに沿って国際ビジネスプランを作成。プラン策定の過程で相互の特性を理解、尊重し生かし合う思考を体験し、交流を深め、国際的視野を持った学生を社会に輩出することを目的に実施
18	日中高校生社会貢献交流事業	中国	05.06.20～ 06.03.31	財団法人日本青少年研究所	助成対象団体は、日本全国の高校生を対象として、ボランティア活動やクラブ活動で活躍する高校生を奨励し、表彰、交流会を行なう「いきいき活動奨励賞」事業を実施している。この最優秀賞受賞者8名が中国を1週間訪問し、日本と中国の高校生の社会貢献に対する意識を高め、相互理解と友好を図るため、その活動を発表、交流を実施
19	2005 ユネスコ東アジア子ども芸術祭	中国	05.07.27～ 05.08.01	社団法人日本ユネスコ協会連盟	舞踏・音楽・伝統芸能等の舞台芸術を通じた相互の文化への理解促進を目的として、マカオで開催される東アジア子ども芸術祭に、伝統文化を披露できる子どもチームを派遣し、公演および参加者との交流を実施。参加者は、東アジア5カ国1地域（大韓民国/中華人民共和国/朝鮮民主主義人民共和国/マカオ=準加盟/モンゴル/日本）の子どもたち
20	第24回日中学生会議中国開催	中国	05.08.16～ 05.08.30	日中学生会議	日中相互開催の学生会議。今回は、中国（北京/上海）で約50～60名の日中の学生が参加。5つの分科会に分かれ、講師の講演会を交えた事前勉強会を実施し、日中間のみならず様々なテーマについて率直かつ詳細な討論を実施。政府関係機関や企業等の協力を得て、実際に現場を体感するフィールドワークも併せて実施。両国の伝統文化を体験できるプログラムも実施
21	中国日本映像コンテンツ共同制作研究会の開催	中国	05.09.01～ 05.12.31	特定非営利活動法人横浜アートプロジェクト	コンテンツの日中共同制作を通じて、日中相互に連携を図ることで効率よい教育現場を達成し、映画・映像教育をさらに充実させることを目的とし、日中の映画教育界の発展、さらには日中の文化交流・発展に寄与するため、北京と横浜で映像コンテンツ共同制作研究会、横浜で「第4回横浜学生映画祭～横浜国際映像芸術祭2005」、中国日本映像コンテンツ共同制作シンポジウムを実施
22	アジアみらい青年フォーラム2005	中国 カンボジア タイ ベトナム ミャンマー	05.09.03～ 05.09.19	特定非営利活動法人アジアみらいネットワーク	タイ（チェンマイ）に日本、カンボジア、中国、ベトナム、ミャンマーなどの青年・学生が集い、アジアにおける共通の課題（平和/環境/開発/HIV/貧困/国際協力）をテーマにワークショップや施設・学校訪問、交流事業等を行ない、若きリーダー育成を念頭に、アジア共通の抱える課題を解決することを目的に実施
23	日中青少年近未来社会創造交流スクール事業	中国	05.09.10～ 05.09.16	特定非営利活動法人日中環境経済センター	日本（静岡県）と中国の大学生12名による中国浙江省杭州市内における6日間の近未来社会像づくり提案のための自主プログラムを主体とした合宿研修と、同提案発表シンポジウムの開催。日中いずれも参加者は公募により、環境問題や地球資源などのテーマで討議

市民青少年交流事業費

	事業名	国	期間	助成対象者	事業内容
24	日中ユース水 フォーラム 2005 札幌	中国	05.10.28～ 05.10.29	特定非営利活 動法人日中新 世紀協会	日中の大学生による両国の水環境・水問題の合同 フォーラム。事前に課題を設定、調査過程をインター ネットで情報交換し、フォーラムでは問題改善に向け て討議・発表・フィールドワーク等を行なった。問題 を打開する斬新なアイデアを導き、水分野を越えた 様々な世界で次世代リーダーとなる人材育成につなげ る。2004年の第1回北京開催を受けての実施
25	児童による平 和のでっかい 絵・メッセ ージ交換交流事 業	インドネシア	05.05.01～ 05.10.31	社団法人広島 青年会議所	被爆60年を迎える2005年、広島市の小学校の児童とイン ドネシア・南スラウェシ州の小学児童との間で、平 和をテーマにした教育機関、交流を図るため、「平和の でっかい絵」交換により、平和の重要性を学び、その 成果をそれぞれにフィードバックすることを主眼とし た。平和のイメージを作品（絵）にして、相手国にも 展示。双方の児童が相互に派遣・招へい。展示時期は 日本8月、インドネシア9～10月
26	東南アジア理 解講座	インドネシア タイ フィリピン ベトナム マレーシア ミャンマー	05.10.01～ 05.11.27	財団法人京都 府国際セン ター	市民を対象とした、インドネシア、タイ、フィリピン、 ベトナム、ミャンマー、マレーシアに関する文化講座 の実施
27	「ロボテック ワークショップ 」inシンガ ポール2005	シンガポール	05.11.17～ 05.11.21	芝浦工業大学	シンガポール在住の日本人およびシンガポールの子ど もたちを対象に、芝浦工業大学オリジナルのミニロ ボットの製作を通して「モノづくりの楽しさ」を体験 させた。シンガポールの要望に応えセミナーを開催し た。セミナーは2日間開催され、芝浦工業大学電気工 学科教授の講演、ロボット製作、競技会等を実施
28	タイ・日本青 少年交流事業	タイ	05.04.01～ 06.03.31	特定非営利活 動法人国際交 流の会とよな か	タイの中学生・高校生を招へいして日本（大阪府）で 国際会議を開催した。また、日本の中学生・高校生を タイへ派遣し、タイでも国際会議を開催。テーマは、 「平和と環境」。タイ・日本の青少年の交流を深め、国 際理解を促進
29	日タイ市民青 少年交流プロ ジェクト「ア ジア自然学 校」	タイ	05.06.01～ 06.03.31	特定非営利活 動法人コミ ネット協会	日本国内に在住する10代（13歳～19歳）を対象に、東 アジアの南北に位置する日本とタイでの環境教育ワー クキャンプをとおして、より豊かな国際的感覚を、環 境という視点を取り込みながら醸成し、次代を担う感 性豊かな人材育成を目指す。帰国後に日本で10月に開 催される日タイ環境成果を教育フォーラムで報告
30	チェンマイ・ タイ青少年民 族舞踊団国際 理解普及事業	タイ	05.09.20～ 05.10.12	特定非営利活 動法人プロ・ ワークス十和 田	タイの青少年民族舞踊団を招へいし、主に同舞踊団の 公演をとおして、青森、岩手県の小学生、中学生、高 校生と国際交流を行なった

	事業名	国	期間	助成対象者	事業内容
31	ベトナムにおける日越大学生交流イベント、北部山岳少数民族との文化交流体験	ベトナム	06.03.07～ 06.03.18	特定非営利活動法人ICA文化事業協会	日本の青少年と日本のNGO（ICA文化事業協会）がベトナムの山岳地帯に住む少数民族とスポーツ、民族ダンスの交流をとおしてネットワークの拡大を図るとともにワークショップ、共同植林を実施
32	日本とモルディブの環境・自然対話プロジェクト	モルディブ	05.05.28～ 06.03.18	対話プロジェクト	富山国際大学との協力により、両国の環境・自然教育指導者と学生が、ITを活用した対話や、相互訪問により、地球的規模の課題を共有し理解を深める事業。また、訪問時に撮影した映像を使って環境・自然教育用映像教材を作成し、それを活用して双方で活動
33	国際理解講座「ひろしまアジア塾」開催事業	全世界区分困難	05.05.18～ 06.03.01	財団法人ひろしま国際センター	アジア・太平洋地域の政治・経済・文化・歴史等について大学教官等専門的な講師による定期的な講義・ゼミを行なった。また、NGO・NPOの実務にふれ、NGO活動を推進するリーダー的人材の育成を図った

2. 催し等事業費 (5)市民青少年交流（助成）（中東）

日本と中東の市民・青少年の相互理解を促進するため、日本の団体が実施または参加する事業に対し、旅費の一部を助成する。

合計額 3,173,000円

	事業名	国	期間	助成対象者	事業内容
1	イスラエル・パレスチナ・日本「平和をつくる子ども交流プロジェクト」	イスラエル パレスチナ	05.07.29～ 05.08.12	特定非営利活動法人聖地のこどもを支える会	イスラエル、パレスチナの高校生計10名を日本に招へいし、東京、広島、長崎で日本の高校生と「中東和平」、「原爆と平和の問題」などについての討議を実施。在京イスラエル大使館、パレスチナ代表部双方が後援
2	ピース・キッズ・サッカー2005	イスラエル パレスチナ	05.08.17～ 05.08.28	特定非営利活動法人ピース・キッズ・サッカー	イスラエル、パレスチナの15歳前後の子供各6名を日本に招へいし、日本の中高中生と10日間の共同生活の中でサッカー、それぞれの文化の紹介、ゲームを通じた異文化理解ワークショップを実施。日本での共同生活により交流・対話を重ねることで多様な価値観を尊重しあう姿勢を身に付けることを目指した
3	イスラエル・パレスチナ・日本の市民交流事業～草の根の活動からみえる紛争地の平和・人権・健康	イスラエル	05.11.01～ 05.11.15	特定非営利活動法人日本国際ボランティアセンター（JVC）	人権と保健医療の視点から活動を続けるイスラエル・パレスチナのNGOの関係者を日本に招へいし、市民や学生が広く参加できるシンポジウム、交流会などを開催。イスラエル・パレスチナ相互の信頼醸成にもつながる彼らの活動を日本社会にも紹介し、紛争地の人道状況や平和を求める市民の声を日本で広く知ってもらうとともに、平和・人権のために日本の市民が果たす役割について共に考える機会を提供

市民青少年交流事業費

	事業名	国	期間	助成対象者	事業内容
4	日本とトルコで東西文化ほんもの体験プログラム連携事業	トルコ	05.10.21～ 05.11.22	子どもの美術教育をサポートする会	トルコの文化芸術教育普及に関わっている若い専門家を日本に招へいし、滋賀県の小学校や地域での活動に参加しながら、日本の子供たちにトルコの文化伝統を紹介。その後、日本からの派遣も行ない、トルコの子供たちと交流

2. 催し等事業費 (6) 異文化理解ワークショップ (中東)

中東諸国の歴史・文化・国際関係などに関する理解を促進するため、中東諸国の知識人や日本人専門家を講師に迎えた講演会、ワークショップまたは連続講座を開講し、また、展示会を開催する。

合計額 10,909,364円

	事業名	国	都市	会場	期間	共催者	事業内容
1	中東・イスラーム理解セミナー (宮城県)	イラク	仙台市	せんだいメディアテーク	05.07.05	宮城県/外務省	日本国内の中東理解促進のため、在京イラク大使および中東地域研究者により講演会を実施
2	中東・イスラーム理解セミナー (埼玉県)	イスラエル	浦和市	国際交流基金日本語国際センター	05.11.25	さいたま市/埼玉県/外務省	日本国内の中東理解促進のため、在京イスラエル大使および中東地域研究者による講演会を実施
3	中東・イスラーム理解セミナー (山口県)	トルコ	山口市	ニューメディアプラザ山口 (NPY)	06.02.11	山口県国際交流協会/日本国際連合協会/山口県/外務省	日本国内の中東理解促進のため、在京トルコ大使および中東地域研究者による講演会を実施
4	中東理解講座	中東地域区分困難	東京	国際交流基金国際会議場 日本教育会館	05.04.01～ 06.03.31	－	当該地域の社会・文化・芸術等に関する基本的な知識・情報を体系的に提供することを目的として、一般市民向け講座を実施
5	アラビアンナイト大博覧会	中東地域区分困難	東京	国際交流基金フォーラム	05.12.22～ 06.01.31	国立民族学博物館	中東の社会・文化事情やその歴史的背景についてのより深い関心と正確な理解を促すことを目的とした展覧会、欧米・日本におけるアラビアンナイト物語の受容と変容そして流用の具体例を網羅的に展示。虚構と現実の違いに焦点をあてながら、中東イスラム世界の一般的イメージと、そのイメージから読みとれる、とくに日本における異文化認識について検証

2. 催し等事業費 (7)異文化理解ワークショップ (AC)

アジア諸国の歴史・文化・国際関係などに関する理解を促進するため、アジア諸国の知識人や日本人専門家を講師に迎え、講演会、ワークショップまたは連続講座を開講し、また、展示会を開催する。

合計額 31,052,805円

事業名	国	都市	会場	期間	事業内容
1 アジア理解講座	アジア地域区分困難	東京	国際交流基金国際会議場 日本教育会館 U.S.エデュケーション・ネットワーク	05.04.01～ 06.03.31	アジア各国の社会・文化事情やその歴史的背景などについてのより深い関心と正確な理解を促し、かつ、当該地域の社会・文化・芸術等に関する基本的な知識・情報を体系的に提供することを目的として、一般市民向け講座を実施
2 アジア理解講座出版	アジア地域区分困難	-	-	05.04.01～ 06.03.31	アジア理解講座で行なわれた講義内容を『異文化理解講座シリーズ』（山川出版社）として書籍化。本年度はシリーズ第5巻『「規範」からの離脱－中国同時代作家たちの探索』を刊行
3 第8回漫画展	アジア地域区分困難	ソウル マニラ バンコク ウボンラーチャターニー ニューデリー 上海 ジャカルタ	ソウル日本文化センターギャラリー ショッピングセンター「グリーンベルト3」 バンコク日本文化センターアートスペース ウボンラーチャターニー職業学校ホール ラリットカラアカデミー 上海劉海粟美術館 日本文化センターギャラリー	05.05.12～ 05.05.25 05.06.02～ 05.06.10 05.07.15～ 05.08.13 05.08.19～ 05.09.17 05.10.01～ 05.10.28 05.11.22～ 05.12.01 06.01.08～ 06.01.27	平成15年度に開催した「第8回アジア漫画展－生きがい」は平成15年度、16年度に国内9都市およびマレーシアでの巡回が終了したことから、平成17年度は韓国、フィリピン、タイ、インド、中国、インドネシアに巡回

市民青少年交流事業費

	事業名	国	都市	会場	期間	事業内容
4	第9回漫画展	アジア地域区分困難	知立市 イポー コタ・キナバル クアラルンプール ジャカルタ ニューデリー	知立市中央公民館 ペラ州立図書館 サバ博物館 国立図書館 日本文化センターギャラリー ラリットカラアカデミー	05.07.23～05.07.31 05.09.05～05.09.25 05.10.03～05.11.01 05.11.15～05.11.30 06.01.08～06.01.27 06.03.30～06.04.05	アジア各国の社会、文化、人々の暮らしなどを紹介するため、第9回展では「アジアのIT事情」をテーマにアジア8カ国（中国/インド/インドネシア/日本/韓国/マレーシア/フィリピン/タイ）の第一線で活躍中の漫画家8名が諷刺、ユーモアを交え1コマ（あるいは数コマ）で描いた作品（計80点）を平成16年度に引続き、国内1都市（愛知県知立市）およびマレーシア、インドネシア、インドに巡回
5	第10回漫画展	アジア地域区分困難	東京 長野県その他 取手市 大阪市 徳島市 さいたま市 小平市 高梁市	国際交流基金フォーラム 上山田文化会館ホワイエギャラリー とりでアートギャラリー「きらり」 大阪国際交流協会ギャラリー 徳島県立二十一世紀館多目的活動室 さいたま市立大宮図書館展示ホール 小平市民文化会館ルネこだいら展示室 高梁市吉備川上ふれあい漫画美術館	05.10.22～05.11.11 05.11.20～05.11.27 05.12.09～05.12.18 06.01.07～06.01.15 06.01.26～06.02.05 06.02.14～06.02.25 06.03.04～06.03.09 06.03.18～06.03.26	アジア各国の社会・文化・人々の暮らしなどを紹介するため、第10回展では「アジアの環境問題」をテーマにアジア10カ国（カンボジア/中国/インド/インドネシア/日本/韓国/マレーシア/フィリピン/タイ/ベトナム）の第一線で活躍中の漫画家が諷刺、ユーモアを交えた1コマ（あるいは数コマ）で描いた作品（計77点）を展示。第10回という節目にあたることからアジアから4名の漫画家を招待し、討論会、似顔絵プレゼント会もあわせて開催。国内8都市での巡回展を実施

2. 催し等事業費 (8) 異文化理解ワークショップ

日本における異文化理解促進のため、公開講座や巡回展を実施する。

合計額 8,383,301円

	事業名	国	都市	会場	期間	事業内容
1	中南米理解講座	米州地域区分 困難	東京	U.S.エ デュケー ション・ ネットワー ク 国際交流基 金国際会議 場	05.04.01～ 06.03.31	中南米諸国の社会・文化事情やその歴史的 背景などについてのより深い関心と正確な 理解を促し、かつ、当該地域の社会・文化・ 芸術等に関する基本的な知識・情報を体系的 に提供することを目的として、一般市民 向け講座を実施
2	大洋州理解講座	オーストラリ ア	東京	日本教育会 館	05.04.01～ 06.03.31	大洋州諸国の社会・文化事情やその歴史的 背景などについてのより深い関心と正確な 理解を促し、かつ、当該地域の社会・文化・ 芸術等に関する基本的な知識・情報を体系的 に提供することを目的として、一般市民 向け講座を実施
3	東京大学 コ リア・コロ キウム	韓国	東京	東京大学	05.04.01～ 06.03.31	国内外の韓国・朝鮮に関する専門家を招き、 学生・市民に韓国・朝鮮に関する学問成果、 情報を提供

文化芸術交流事業に必要な経費

造形美術事業費

1. 人物交流事業費

- (1) 造形美術情報交流（派遣）
- (2) 造形美術情報交流（招へい）

2. 催し等事業費

- (1) 国際展（国際展参加）
- (2) 海外展（企画展）
- (3) 海外展（巡回展）
- (4) 国内展（企画展）
- (5) 海外展（助成）
- (6) 国内展（助成）
- (7) 造形美術情報交流（催し）
- (8) 「愛・地球博」途上国支援事業

3. 催し等事業費（トリエンナーレ）

- (1) 国際展（横浜トリエンナーレ）

造形美術事業費

1. 人物交流事業費 (1) 造形美術情報交流 (派遣)

内外の造形美術関係の情報を収集・整備し、外部に対して情報を提供する。

合計額 423,900円

	事業名	国	期間	共催者	事業内容
1	榊屋友子の(ドリス・デューク慈善財団)派遣	米国	05.10.15～ 05.10.31	ドリス・デューク慈善財団	イスラム美術の研究交流を行なうため、榊屋友子(東京大学東洋文化研究所助教授)をドリス・デューク財団慈善シャングリラに派遣した

1. 人物交流事業費 (2) 造形美術情報交流(招へい)

海外の専門家の招へいを通じ、日本の美術情報の海外発信を行なうとともに、海外の美術情報を収集し、また人的ネットワークの拡充を図る。

合計額 6,237,072円

	事業名	国	期間	共催者	事業内容
1	アジア次世代美術館キュレーター招へい	韓国/中国/シンガポール/フィリピン/マレーシア	06.03.23～ 06.03.29	国立国際美術館/東京国立近代美術館	アジア5カ国から次世代を担う若手キュレーターを招へいし、日本のキュレーターと共に共通の課題についての議論を弁じ、域内のネットワーク構築と共同企画の可能性を探った
2	オーストラリア・グループ招へい	オーストラリア	05.09.19～ 05.09.29	-	2006年日豪交流年の準備の一環としてオーストラリアの若手美術関係者9名を日本に招へいし、日本側協力者と共に共同企画の協議と調査を行なった
3	中・東欧グループ招へい	スロバキア/スロベニア/チェコ/ハンガリー/ポーランド	05.12.05～ 05.12.18	-	日本の美術関係機関視察および関係者との交流を目的として、中・東欧の美術関係者8名を日本に招へいし、第2回横浜トリエンナーレを始め、日本の現代美術を紹介した

2. 催し等事業費 (1) 国際展 (国際展参加)

今日の日本の美術状況と優れた現代作家を紹介することを目的に、作品の出品や作家の派遣により国際美術展に参加する。

合計額 47,082,618円

	事業名	国	都市	会場	期間	事業内容
1	第11回インドトリエンナーレ	インド	ニューデリー	ラリット・カラ・アカデミー/ラビンドラ・バワン・ギャラリー	05.01.15～ 05.02.10	第11回インドトリエンナーレ日本参加の報告書を作成

造形美術事業費

	事業名	国	都市	会場	期間	事業内容
2	第12回バンガラデシュビエンナーレ	バングラデシュ	ダッカ	オスマニ記念ホール	06.03.05～ 06.03.31	1981年からアジア諸国の参加を中心に開催されてきた現代美術の国際展で、バングラデシュ・シルパカラ・アカデミーが主催。NPO法人アーツイニシアティブ トウキョウ(通称:AIT/エイト)のコミッショナーのもと、藤浩志と照屋勇賢がアーティストとして参加。藤浩志は優秀賞を受賞
3	第27回サンパウロビエンナーレ(準備)	ブラジル	サン・パウロ	チチロ・マタラッソ・パビリオン	06.10.07～ 06.12.17	第27回サンパウロビエンナーレへの参加のため、チーフ・キュレーターのリゼッチ・ラニヤードを招へいし、調査に協力した
4	第10回ヴェネチアビエンナーレ建築展(準備)	イタリア	ヴェネチア	カステロ公園内日本館	05.04.01～ 06.03.31	2006年ヴェネチアビエンナーレ建築展参加の準備を行なった
5	第51回ヴェネチアビエンナーレ美術展	イタリア	ヴェネチア	カステロ公園内日本館	05.06.12～ 05.11.06	笠原美智子(東京都現代美術館学芸員)をコミッショナーに石内都(写真家)の作品を「マザーズ2000-2005-未来の刻印」というタイトルで展示

2. 催し等事業費 (2)海外展(企画展)

海外の美術館・博物館などとの共催により、わが国の美術・文化を海外諸国に紹介する。

合計額 162,022,925円

	事業名	国	都市	会場	期間	事業内容
1	身体の夢展	韓国	ソウル	ソウル市立美術館	05.06.15～ 05.07.31	20世紀以降のファッションを身体という視点で切り取り、デザイナーの実験的な仕事と現代美術家たちの批評的な作品とを対峙させることで明日のファッションと身体との関係を展望する
2	アジアのキュビズム展	韓国 シンガポール	ソウル シンガポール	徳寿宮美術館 シンガポール美術館	05.11.10～ 06.01.30 06.02.18～ 06.04.09	日本をはじめ中国、韓国、インド等アジア11カ国のキュビズム作品約120点を通じてアジアの近代美術の共通性と差異を検証しつつアジアの近代を再考
3	日中交流年現代美術展(準備)	中国	-	-	05.10.31～ 06.03.31	2007年の中国との交流年に向けて、企画の準備を進めた
4	日豪日本現代美術展“Rapt!”(準備)	オーストラリア	-	-	05.04.01～ 06.03.31	2006年日豪交流年に合わせ同年秋に開催する日豪若手による共同企画のRapt!展の準備をした

	事業名	国	都市	会場	期間	事業内容
5	日本の知覚展	オーストリア スペイン	グラーツ ビゴ	クンストハウス・グラーツ ビーゴ現代美術館	05.06.03～ 05.09.11 05.10.07～ 06.01.22	21世紀に入り、その独自性、特異性が注目される日本の芸術表現の展開を、「知覚」というキーワードをもとに読み解く画期的な展覧会。日欧交流年事業として、オーストリア、スペインの2カ国で開催
6	JIKI-日本の磁器 1610-1760	フランス ベルギー	パリ ブリュッセル	パリ日本文化会館 ベルギー王立美術歴史博物館	04.11.26～ 05.04.02 05.04.15～ 05.08.28	日本の磁器の誕生から、欧州向け輸出の開発、欧州磁器に与えた影響などを追った。特に、日本向けの作品と輸出用の作品の比較に焦点を当て、また伊万里焼を写した欧州磁器も展示。パリ、ブリュッセルについては「日-EU市民交流年」関連事業
7	型紙展	フランス	パリ	-	05.08.01～ 06.03.31	平成18年度パリ日本文化会館にて開催の展覧会準備を行なった
8	Yokai-日本のお化け図鑑	フランス	パリ	パリ日本文化会館	05.10.26～ 06.01.28	「こわい」と「かわいい」の共存する不思議な存在としての日本の妖怪について、絵巻物や浮世絵、さらに現代の漫画作品を通じて紹介し、日本人独特のユーモアや想像力の豊かさを展示
9	坂本一成建築展	デンマーク ドイツ ノルウェー エストニア チェコ	コペンハーゲン ミュンヘン オスロ トロンハイム ハーブサル プラハ ブルノ	王立デンマーク芸術大学建築学部 ピナコテーク・デア・モデルネ建築博物館 オスロ建築単科大学 ノルウェー科学技術大学 ハーブサル市文化センター アドリア宮殿内「ギャラリー・クリティク」 ブルノ建築美術館	05.03.18～ 05.04.24 04.10.21～ 05.01.09 05.05.04～ 05.05.17 05.05.25～ 05.06.11 05.07.01～ 05.08.07 05.11.21～ 05.12.18 05.09.06～ 06.10.16	日本における住宅建築の第一人者である坂本一成（東工大教授）の作品を写真、図面、模型等を通して紹介
10	日本の子ども展	ウクライナ /ヨルダン/ レバノン/ スーダン	-	-	05.12.15～ 06.03.31	平成18年度「中東との集中的文化交流事業」の一環として企画された展覧会の準備を行なった

造形美術事業費

2. 催し等事業費 (3) 海外展(巡回展)

国際交流基金が所蔵する日本の芸術・文化に関する展示セットを海外諸国に巡回する。

合計額 135,870,911円

	事業名	国	都市	会場	期間	事業内容
1	現代日本デザイン100選	韓国	釜山	釜山市立美術館 龍頭山美術展示館	05.04.29～ 05.05.15	人々の思考や生活スタイルを反映している身近な日用品のデザイン約100点を中心に、日本のデザインを紹介した巡回展
		米国	デンバー	メトロポリタン 州立大学デン バー校ビジュアル・ アーツ・セ ンター	05.06.30～ 05.08.27	
		メキシコ	ワシントン DC	在米国大使館広 報文化センター	06.01.18～ 06.02.28	
			サウス フィールド	ローレンス工科 大学	06.03.07～ 06.03.28	
			グアナフア ト	グアナフアト州 立劇場	05.10.05～ 05.10.23	
2	手仕事のかたち	韓国	釜山	釜山市立美術館 /龍頭山美術展 示館	05.10.06～ 05.10.16	日本各地で生まれた伝統的な工芸品の中から、伝産法で指定する「伝統的工芸品」を中心に、陶磁器・染織・漆器・金工品・ガラス工芸・木竹工品・和紙・文具の各ジャンルから代表的なものを紹介
			済州	在済州総領事館 広報文化セン ター「たむな・ ほーる」	05.10.21～ 05.10.28	
		インド	デリー	ラリット・カ ラ・アカデミー	05.11.20～ 05.12.04	
			コルカタ	コルカタ・イン フォメーション センター	05.12.20～ 05.12.26	
			チェンナイ	ラリット・カ ラ・アカデミー	06.01.09～ 06.01.17	
			ムンバイ	ラヴィンドラ・ ナティヤ・マン ディール	06.01.31～ 06.02.05	
		オーストラ リア	キャンベラ	豪州国立博物館	06.03.24～ 06.04.26	

	事業名	国	都市	会場	期間	事業内容			
3	ポスターに見る日本A	中国	大連	大連市図書館	05.11.12～ 05.11.20	グラフィックデザイナーによる90年代後半の商業広告ポスター75点を通じて現代日本社会を紹介			
			瀋陽	瀋陽市図書館	05.11.25～ 05.12.04				
			浙江省寧波	寧波美術館	05.12.08～ 05.12.15				
			重慶	西南大学美術学院展示ホール	05.12.22～ 05.12.29				
		モンゴル	ウラン・バートル	モンゴル国立現代美術館	05.10.14～ 05.10.29				
		ブルネイ	バンドル・スリ・プガワン	アートギャラリー/ハンディクラフト・センター・ビル	05.04.13～ 06.04.20				
		ベトナム	ハノイ	日越人材協力センター	05.09.16～ 05.09.30				
		マレーシア	クアラルンプール	国立美術館	05.05.07～ 05.05.29				
			コタ・キナバル	サバ州美術館	05.06.04～ 05.07.03				
			ペナン	ペナン・アート・ギャラリー	05.07.15～ 05.07.30				
		パキスタン	カラチ	V.M.アートギャラリー	06.01.25～ 06.02.18				
		パプアニューギニア	ポートモレスビー	パプアニューギニア大学図書館	05.08.15～ 06.08.25				
		4	90年代の絵画展	中国	香港		香港藝術中心	05.12.08～ 06.01.15	会田誠、越前谷嘉高、小林孝亘、太郎知恵蔵、奈良美智、額田宣彦、福田美蘭、丸山直文、村上隆が、1990年代に30代の若手作家としてどのように絵画に取り組み、新しい表現を獲得しようとしていたかを紹介
					広州		広東美術館	06.03.31～ 06.04.16	
クウェート	クウェート			クウェート国家文化芸術文芸委員会所管アル・フヌーン・ギャラリー	05.05.18～ 05.06.07				
トルコ	イスタンブール			カドキョイ区中央芸術ギャラリー	05.07.07～ 05.07.21				
	ヤロヴァ			カリズマ・ビジネス・センター	05.08.05～ 05.08.28				
	アンカラ			トルコ日本基金文化センター	05.10.07～ 05.10.25				

造形美術事業費

	事業名	国	都市	会場	期間	事業内容	
5	日本人形F	フィリピン	バギオ	バギオ市コンベンションセンター	05.03.03～ 05.03.12	伝統的な「雛人形」や「五月人形」をはじめ、日本各地で様々な形で発展した人形の中から特色のあるものを紹介	
			マリキナ	マリキナ・リバーバンク・ショッピングセンター	06.01.27～ 06.02.05		
			ピリ	南カマリネス州首都コンプレックス	06.02.10～ 06.02.19		
		ロシア	ハバロフスク	極東美術館	05.09.16～ 05.10.07		
			ウラジオストク	沿海地方国立美術館	05.10.20～ 05.11.06		
			ユジノサハリンスク	サハリン州立図書館	05.12.01～ 05.12.16		
6	日本現代建築：1985－1996展B	インド	バンガロール	インド都市立案者協会	05.04.05～ 05.04.18		1985年から1996年までに竣工した日本の建築作品の中から100点を選び、その存在する「場所」をテーマとして、7つのカテゴリー（メトロポリス/中規模都市/市町村/郊外/埋立地/田園/別荘）に分けて写真パネルにより紹介
		スリランカ	キャンデー コロombo	キャンディ市立図書館 コロombo市役所	05.05.06～ 05.05.09 05.05.13～ 05.05.16		
		パキスタン	カラチ	ラングーンワラ・コミュニティ・センター	05.06.20～ 05.06.25		
			ハイデラバード	シンド州立博物館	05.06.28～ 05.07.01		
			イスラマバード	国立美術館	05.07.12～ 05.07.20		

	事業名	国	都市	会場	期間	事業内容
7	日本のクレイワーク展	ネパール バングラデシュ オーストラリア ニュージージーランド パラオ	カトマンズ ダッカ ゴールド・コースト パース メルボルン ホバート クライストチャーチ ダニーデン オークランド コロール	ネパール芸術評議会ギャラリー 国立博物館 ゴールドコーストシティ・アートギャラリー セントラルティフ・アートギャラリー マニンハム・ギャラリー サラマンカ・アート・センター内ロング・ギャラリー コカ(センター・オブ・コンテンポラリー・アート) オタゴ美術館 ロプデル・ハウス・ギャラリー ベラウ国立博物館	06.03.21～ 06.04.02 06.02.07～ 06.02.18 05.04.21～ 05.05.16 05.06.03～ 05.06.23 05.07.07～ 05.07.23 05.07.30～ 05.08.14 05.09.06～ 05.09.17 05.09.24～ 05.10.03 05.11.12～ 05.11.27 05.12.13～ 06.01.14	50年代から90年代のクレイワーク(陶を素材とした立体造形)について、代表的作家29名の作品44点を紹介
8	くまもとアートポリス	カナダ 米国 コスタリカ ベネズエラ	トロント シカゴ オマハ アンカレジ ロサンゼルス サンホセ カラカス	トロント日本文化センター 在シカゴ総領事館広報文化センター ネブラスカ州立大学オマハ校 ズイー・ジェイ・ルーサック・アンカレジ市立図書館 UCLA大学建築学部内パーロフ・ギャラリー ラファエル・アンヘルカルデロン・グアルディア博士歴史美術館 エスタンシア文化センター	05.05.16～ 05.06.08 05.06.27～ 05.08.03 05.08.12～ 05.09.19 05.10.07～ 05.10.28 05.11.14～ 05.12.23 05.04.14～ 05.05.03 06.02.07～ 06.02.28	自治体や民間の建造物を建設するにあたり、内外から優れた建築家を起用するという熊本県の画期的なプロジェクト「くまもとアートポリス」によって生み出された建築を紹介
9	現代日本の工芸	米国	アンカレジ	アンカレジ歴史美術博物館	05.03.06～ 05.04.09	現代日本の工芸の状況を、共通する6つの特色-華、侘び、鋭、歪み、精緻、花鳥-に分類し、陶器、竹細工、漆、ガラス、石などの作品64点を紹介

造形美術事業費

	事業名	国	都市	会場	期間	事業内容
10	日本人形展	米国	アトランタ	エモリー大学 ウッドラフ図書館 シャッペン・ギャラリー	05.09.07～ 05.10.23	伝統的な「雛人形」や「五月人形」をはじめ、日本各地で様々な形で発展した人形の中から特色のあるものを紹介
			オクラホマ 州タルサ市	リチャードソン・アジア・ アーツ美術館	05.11.11～ 05.12.18	
		ギリシャ	テッサロニ キ	テッサロニキ音 楽堂展示場	05.03.13～ 05.04.12	
		エジプト	カイロ	カイロ・オペラ ハウス・ギャラ リー	06.02.09～ 06.02.20	
11	写真展「自然 に潜む日本」 展	エルサルバ ドル	サンタアナ	国立サンタアナ 劇場	05.04.14～ 05.04.30	矢萩喜従郎（写真家）の写真作品を中心に日本の風景をモノクロの写真85点で紹介
			サンサルバ ドル	ショッピング・ センター「ガレ リアス」	05.05.04～ 05.05.22	
		キューバ	ハバナ	ホセ・マルティ 国立図書館	06.02.13～ 06.02.23	
		グアテマラ	グアテマラ	国家宮殿展示室	05.06.28～ 05.07.27	
			アンティグ ア	サント・ドミン ゴ文化センター ホール	05.07.30～ 05.08.24	
		コスタリカ	サンホセ	ナショナルギャ ラリー	05.10.13～ 05.11.08	
		ドミニカ共 和国	サントドミ ンゴ	ドミニカ人類博 物館	06.03.15～ 06.04.09	
		パナマ	パナマ	パナマ工科大学	05.11.25～ 05.12.09	
		ホンジュラ ス	サン・ベド ロ・スラ テグシガル パ	サイベ劇場 アトランディー ダ銀行文化ホー ル	05.09.06～ 05.09.16 05.09.20～ 05.09.30	

	事業名	国	都市	会場	期間	事業内容
12	こけしの世界展B	エルサルバドル	サンタアナ	国立サンタアナ劇場	05.09.23～ 05.10.10	日本の代表的な郷土人形であるこけしの様式・技法等の特色を作品約70点により、総合的に紹介
			サンサルバドル	ショッピングセンター「ガレリアス」	05.10.14～ 05.10.30	
		ニカラグア	マナグア	国立文化宮殿	05.12.06～ 05.12.20	
		アルゼンチン	コルドバ	コルドバ市展示会場	05.06.24～ 05.07.04	
			ブエノス・アイレス	日本庭園	05.07.10～ 06.07.20	
		コロンビア	カリ	コンファンディ文化センター	06.02.01～ 06.02.24	
			ボゴタ	ルイス・アンヘル・アランゴ図書館	06.03.01～ 06.03.26	
		パラグアイ	アスンシオン	パラグアイ・日本人造りセンター	05.08.04～ 05.08.23	
		ブラジル	リベイロン・プレート	サンパウロ大学リベイロン・プレット市キャンパス医学部	05.05.11～ 05.06.05	
13	現代日本の陶磁器	ドミニカ共和国	サントドミンゴ	現代美術館	05.03.08～ 05.05.01	
			サンティアゴ	シバオ劇場	05.05.12～ 05.05.31	
		ウルグアイ	モンテビデオ	タランコ宮殿	05.08.12～ 05.08.26	
		チリ	サンチャゴ	プロヴィデンシア彫刻公園展示センター	05.07.06～ 05.07.26	
		ブラジル	ベロ・オリゾンテ	セシミナス芸術ギャラリー	05.09.12～ 05.09.25	
			サン・パウロ	サンパウロ美術館	05.10.02～ 05.10.30	
			マナウス	リオ・ネグロ宮殿文化センター	05.11.16～ 05.12.02	
			レシフェ	伯国中央銀行レシフェ事務所	05.12.13～ 05.12.22	
			ベレン	ホール	06.01.04～ 06.01.17	
			マリンガー	エスタソン・ダス・ドカス	06.01.28～ 06.02.19	
			ポルト・アレグレ	マリンガ市芸術博物館	06.02.23～ 06.03.26	
			フロリア	リオグランデドスル州立美術館	06.03.31～ 06.04.14	
			ノーボリス	サンタカタリーナ州立美術館		

造形美術事業費

	事業名	国	都市	会場	期間	事業内容
14	日本現代建築 1985-1996展 A	メキシコ	メキシコシ ティ プエブラ オアハカ	メキシコ国立自 治大学建築学部 イベロアメリカ 大学 カーサ・デ・ラ・ シウダッド	05.05.02～ 05.05.13 05.05.19～ 05.06.03 05.06.17～ 05.07.25	メキシコ事務所に移管し、1985年から 1996年までに竣工した日本の建築作品の 中から100点を選び、その存在する「場所」 をテーマとして、7つのカテゴリー（メト ロポリス/中規模都市/市町村/郊外/埋立 地/田園/別荘）に分けて写真パネルによ り紹介
15	Out of the ordinary	イタリア 英国 ドイツ	ローマ ロンドン アベリース トウイス ベルリン	ローマ日本文化 会館 アーツ・デポー ウェールズ大学 アベリースト ウイス・アー ト・センター ベルリン東アジ ア美術館	05.04.11～ 05.05.11 05.10.27～ 05.11.24 06.01.09～ 06.02.11 05.06.02～ 05.08.14	過去の価値観が通用しなくなっている現 在の状況を直視し、新たな表現の可能性 にとりこんでいる写真家11名の102作品 を紹介
16	スピリトを写 す	英国	ニュータウ ン パーク シャー	オリエル・デイ ビス・ギャラ リー サウス・ヒル・ パーク・アー ト・センター	05.03.19～ 05.04.30 05.05.14～ 05.07.03	細江英公、杉本博司、片瀬和夫ら11名の 作品を通して、精神的な基盤が失われた 時代に、物質的な現実に隠された見えな いものがもっているであろう価値を表現 しようとする作家たちの姿を紹介
17	伝統陶芸	オランダ フランス ポルトガル ハンガリー ブルガリア ボスニア・ ヘルツェゴ ビナ ルーマニア	ハーグ サン・ テューズ カスカイス ザラエゲル セグ スタラ・ザ ゴラ サラエボ ブカレスト	ミュージアム・ メスダック メゾン・ド・ラ・ セラミック カスカイス文化 センター 市音楽会場（タ ウンホール） スタラ・ザゴラ 市美術館 国立ギャラリー ルーマニア国立 美術館	05.11.05～ 05.12.31 06.01.14～ 06.02.18 05.09.17～ 05.10.23 05.07.07～ 05.08.26 05.05.05～ 05.05.19 05.06.03～ 05.06.16 05.03.23～ 05.04.22	河井寛二郎、濱田庄司など日本の陶芸を 世界に知らしめた個人陶芸家および日本 の伝統陶芸界の第一線で活躍している作 家55名の作品65点を紹介

	事業名	国	都市	会場	期間	事業内容
18	ポスターに見る日本B	ギリシャ	ミティリニ	ストラティ・エレフテリア ディ・テリアード美術館	05.07.19～ 05.08.18	グラフィックデザイナーによる90年代後半の公共広告75点を通じて現代日本社会を紹介
		ノルウェー	トューリ・フィヨルド	ホーレ・アートセンター	05.11.12～ 05.12.18	
		フランス	メッス	メッス市図書館	05.03.03～ 05.04.15	
		アゼルバイジャン	バクー	アゼルバイジャン国立絨毯・民族芸術博物館	06.01.14～ 06.01.30	
		ウズベキスタン	タシケント	ウズベキスタン芸術アカデミー 現代芸術センター	06.03.17～ 06.04.02	
		カザフスタン	アスタナ	大統領文化センター	06.02.15～ 06.02.26	
		クロアチア	ザグレブ	クロアチア科学芸術アカデミー ギャラリー グリプトテカ	05.05.03～ 05.05.18	
		スロバキア	ブラチスラバ	ブラチスラバ大学図書館	05.09.07～ 05.09.21	
		セルビア・モンテネグロ	ノヴィ・サド	セルビア国立劇場	05.06.06～ 05.06.30	
		19	日本の新世代アーティスト展	ギリシャ	アテネ	
フィンランド	ユヴァスキュラ			中部フィンランド博物館	05.04.15～ 05.04.30	
スロベニア	ツェリエ			ツェリエ現代美術館	05.06.16～ 05.08.15	
ポーランド	ヴロツラフ			ガレリア・ナ・チステイ	05.10.27～ 05.11.20	
ラトビア	リガ			ラトビア芸術家協会ギャラリー	05.09.06～ 05.10.08	

造形美術事業費

	事業名	国	都市	会場	期間	事業内容
20	写楽再見	スペイン	ラスパルマ	カナリア金融公 庫文化センター	05.11.07～ 05.11.23	歌舞伎役者を描いた独特の大首絵によっ て内外から高い評価を得ている東洲斎写 楽をテーマとし、日本の今日の現代美術 作家がこの傑出した浮世絵師を自由に解 釈して制作したポスター、絵画、立体作 品等を紹介
			ス・デ・グ ランカナリ ア			
			パリアド リッド アリカンテ			
		ウクライナ	リビフ	文化・スポーツ 市営財団	05.12.02～ 06.01.02	
			オデッサ	アンカリテ大学 博物館	06.01.18～ 06.02.18	
		スロバキア	ブラチスラ バ	リビフ美術会館	05.07.08～ 05.07.24	
			リベレッツ	オデッサ市立西 洋東洋美術館	05.08.05～ 05.08.20	
		チェコ	サラエボ	ブラチスラバ市 立博物館	05.05.10～ 05.06.19	
			モスタル	北ボヘミア博物 館	05.03.31～ 05.05.01	
		ロシア	チェリヤビ ンスク	サラエボ芸術学 院	06.03.01～ 06.03.17	
			カザン	モスタル文化セ ンター	06.03.23～ 06.04.12	
				チェリヤビンス ク州立絵画ギャ ラリー	05.09.06～ 05.09.24	
		21	凧・独楽展F	カザフスタ ン	アスタナ	
アルマティ	国立芸術博物館				05.05.12～ 05.05.25	
イエメン	サヌア			文化の館	05.12.04～ 05.12.11	
	タイズ			サイド科学文 化基金グロー リーホール	05.12.14～ 05.12.24	
スーダン	ハルツーム			ニーレン大学 ホール	06.02.13～ 06.02.22	
ガーナ	アクラ			ガーナ国立博物 館	05.09.13～ 05.09.26	
ナイジェリ ア	アブジャ			アブジャ・アー ト・カウンシル 画廊ロビー	05.10.28～ 05.11.07	

	事業名	国	都市	会場	期間	事業内容
22	日本の版画	カタール クウェート サウジアラビア シリア ヨルダン モロッコ	ドーハ クウェート リヤド アレppo イルビト アンマン マアン ラバト	ドーハ・アート・ギャラリー 国立現代美術館 国立博物館 アレppo大学日本学術交流センター中央図書館 ダマスカス 国立ヤルムーク大学 王立文化センター展示ホール フセイン・ビン・タラール大学多目的ホール ギャラリー・モハメッド・エル・ファスイ	05.11.16～ 05.12.06 05.12.19～ 05.12.28 05.04.16～ 05.04.26 05.09.29～ 05.10.06 05.10.13～ 05.10.20 05.05.15～ 05.05.22 05.05.25～ 05.06.01 05.07.21～ 05.07.31 06.03.21～ 06.04.04	20世紀後半に活躍した46作家の代表作を含む計75点の版画作品を紹介
23	こけしの世界展A	アルジェリア	アルジェ	文化芸術センター・ライス宮殿「バスチョン23」	05.05.23～ 05.06.09	日本の代表的な郷土人形であるこけしの様式・技法等の特色を作品約70点により、総合的に紹介
24	戦後日本写真展	-	-	-	05.04.01～ 06.03.31	国際交流基金所蔵の写真作品を中心に巡回展を制作（製作準備）

2. 催し等事業費 (4)国内展（企画展）

海外の優れた美術・文化のなかで、これまで日本に紹介される機会の少なかった展覧会を国内関係者と共催して実施する。
合計額 22,427,620円

	事業名	都市	会場	期間	共催者	事業内容
1	アジアのキュビズム展	東京都	東京国立近代美術館	05.08.09～ 05.10.02	東京国立近代美術館/ 韓国国立現代美術館/ シンガポール美術館	日本をはじめ中国、韓国、インド等アジア11カ国のキュビズム作品約120点を通じてアジアの近代美術の共通性と差異を探りつつアジアの近代を再考した

造形美術事業費

	事業名	都市	会場	期間	共催者	事業内容
2	転換期の作法 -ポーランド、 チェコ、スロ ヴァキア、ハ ンガリーの現 代美術	東京都 大阪市 広島市	東京都現代 美術館 国立国際美 術館 広島市現代 美術館	06.01.21～ 06.03.26 05.08.02～ 05.10.10 05.10.29～ 06.01.08	-	20世紀末から21世紀初頭にかけて激動の時 代を体験している中東欧地域の現代美術を 紹介
3	日本の知覚展 帰国展(準備)	川崎市	川崎市岡本 太郎美術館	05.04.01～ 06.03.31	-	グラーツ、ビゴにて開催され好評を博した 「日本の知覚展」の帰国展を、川崎市岡本太 郎美術館と共催にて開催するための準備

2. 催し等事業費 (5) 海外展 (助成)

内外の美術館などが主催し海外で開催する日本の美術・文化紹介に関する展覧会に対し、経費の一部を助成する。
合計額 32,348,620円

	事業名	国(都市)	会場	期間	事業内容
1	Publicly Speaking	韓国(ソウル)	SSamzie Space	05.06.03～ 06.07.16	展覧会やレジデンスを通じて若手作家の育成に力を注ぐ NPOのアートスペースであるSSamzie Space と、同じく NPOとして多彩な活動を展開する日本の若手クリエイ ターの集団であるA I Tによる共同事業。キュレイ ター、作家のレジデンスと展覧会、ビデオ上映会、レク チャーなどを交換事業としてソウルと東京で実施
2	DMZ_2005	韓国(ソウル)	Heri Vilage, Unification Towwer, etc	05.06.25～ 06.07.24	韓国と北朝鮮の国境に近い地区で開催されたアーティス ト村において国際的に活躍する作家を世界各国から招へ いして実施した現代美術展
3	Animate	韓国(ソウル)	Sungkok Art Museum	05.09.08～ 06.10.30	1960年代以降、マンガやアニメと共に成長してきた日本 と韓国の現代美術作家9名による、アニメとアートの間 を横断する現代美術展。福岡アジア美術館で実施された 展示内容を中核に韓国で展示。日本からは会田誠、西山 美なコ、青木綾子+伊藤存、韓国からはムン・キョンウォ ン、チェ・ホチュル、イ・トンギなどが参加
4	CP BIENNALE 2005: URBAN/ CULTURE	インドネシア (ジャカルタ)	インドネシ ア銀行本店	05.09.05～ 06.10.05	インドネシアのジャカルタで2003年に開始された国際展 の第二回目。インドネシア人作家をメインに外国人作家 を加えて実施し、今回のテーマである都市と建築にあわ せて建築家も参加
5	White Noise	オーストラリ ア(メルボル ン)	ACMI Screen Gallery	05.08.18～ 05.10.23	池田亮司を含む国際的に活躍する4人の作家(他にUlfr langheinrich, Ernest Edmonds, Mark Fell)の作品を展 示した「光+音+形」を総合した内容の展覧会

	事業名	国(都市)	会場	期間	事業内容
6	Experimenta Illusion Exhibition	オーストラリア(メルボルン)	Black Box, Victorian Arts Centre and National Gallery of Victoria	05.09.01～ 05.10.02	「イリュージョン」をテーマにデジタルを駆使した最新のメディアアート展。日本からは若い作家たちのコラボレーション(神里亜樹雄+柴田聡+真下武久) "Moony" と minim++ の "Toy's Life" の2作品などが出品された
7	Tatsuo Miyajima visit to Australia and production and exhibition of new work	オーストラリア(アデレード)	Contemporary Arts Centre of South Australia	05.09.09～ 05.10.23	宮島達男を招へいし、南オーストラリア現代芸術センターのギャラリーにおいて展覧会を実施すると同時に、南オーストラリア大学においてレジデンスをしながら学生への講義、ワークショップや一般向けのレクチャーを行なった
8	The art of Japanese fashion	オーストラリア(シドニー)	Powerhouse Museum	05.09.20～ 06.01.31	70年代から現在までの三宅一生、山本耀司、川久保玲などのファッション業界のリーダーたちの作品や関連アクセサリー、写真を展示し、現代日本のファッションデザインを総合的に展示
9	Japanese Architecture in Palau 50th Year Anniversary of the Belau National Museum	パラオ(コロール)	ベラウ国立博物館	05.09.30～ 06.03.31	ベラウ国立博物館の新館オープンと設立50周年を記念して、パラオに残る日本統治時代の歴史的建造物の模型や既に存在しない建造物の図面や模型を復元して展示
10	Little Boy: The Arts of Japan's Exploding Subcultures	米国(ニューヨーク)	Japan Society, Inc.	05.04.08～ 05.07.24	村上隆をキュレーターにオタクをテーマに開催される大規模企画展。日本の大衆グラフィックアートや「ネオ・ポップ」アートの文化的・歴史的文脈を探る「スーパーフラット」三部作の最後を飾る展覧会
11	Japanese Kite Prints	米国(マウイ)	Hui No'eau Visual Arts Center	06.04.28～ 06.06.30	風にまつわる版画を特集した「Japanese Kite Prints」(ワシントン大学出版、2004年)から選ばれた48点のレプリカで構成される展覧会の制作巡回
12	Becoming Animal	米国(マサチューセッツ)	Massachusetts Museum of Contemporary Art	05.05.28～ 06.03.31	現代社会における人間と動物の境界線のゆらぎをテーマに、世界各国のアーティスト12人の作品から構成される展覧会で、日本からは小谷元彦が参加した

造形美術事業費

	事業名	国(都市)	会場	期間	事業内容
13	The Rozome Master of Japan	米国(ワシントン) (ボストン)	Textile Museum Massachusetts College of Art	05.06.10～ 05.09.21	30カ国から400名が参加して開催される世界ろう染め会議と併せて実施された企画展で、日本のろうけつ染め作家15名の作品を紹介
14	Anime: an Overview	米国(ニューヨーク)	The Museum of Modern Art	05.07.10～ 05.09.12	過去30年間に制作された日本の「アニメ」を概観する企画展で、約20本のアニメ劇映画と約30本のTVアニメ番組の上映会、原画展を実施
15	Ecstasy: In and About Altered States	米国(ロス・アンジェルス)	The Museum of Contemporary Art MOCA	05.10.09～ 06.02.20	「エクスタシー(恍惚)」をテーマに、世界的に活躍しているアーティスト25名の作品から構成される展覧会で、日本からは青島千穂、村上隆、西野達郎が参加
16	The Power of Girl's Comics: What Can Shojo Manga Tell You?	米国(チーコ)	California State University, Chico	05.10.27～ 05.12.14	1935年から現在にかけて発表された少女漫画20作品を通して、描かれている男女の役割と独特の表現スタイルを分析する展覧会。カリフォルニア、イリノイ、ペンシルバニア諸州の大学や美術学校に巡回
17	Wearing Propaganda: Textiles on the Home Front in Japan, Britain, and the United States, 1931-1945	米国(ニューヨーク)	Bard Graduate Center	05.11.18～ 06.02.12	日本の十五年戦争においてプロパガンダの媒体として一般市民の織物デザインがいかに利用され、国民を戦争に動員したかを英米の同時期の織物デザインと比較しながら考察する企画展
18	HARMONY - Sculpture & Environment	イタリア(ローマ/テラモ)	Museo Venanzo Crocetti/ Museo di Banca di Teramo	05.04.22～ 05.07.20	村井修(写真家)の撮影による、世界の公共彫刻の好例を写した写真のパネル展示。日本からは135点、日本人作家による海外の例6点など、全体で356点のパネルを紹介
19	Shogun Exhibition	英国(リーズ)	Royal Armouries Museum	05.06.05～ 05.07.17	徳川家康の時代を象徴するような武具、芸術作品、衣装、書類など様々な展示品を、主に日光東照宮のコレクション等によって構成
20	Kabuki Heroes on the Osaka Stage, 1780-1830	英国(ロンドン)	The British Museum	05.06.30～ 05.09.11	18世紀から19世紀にかけての歌舞伎役者が、いかに時代の英雄となったかを、現代のアイコンが生まれるプロセスにのっとなって検証する展覧会。300点の作品が出品された。大阪歴史博物館にて帰国展を開催

	事業名	国(都市)	会場	期間	事業内容
21	Nobuyoshi Araki: Work	英国(ロンドン)	Barbican Art Gallery	05.10.06～ 06.01.22	荒木経惟のロンドンにおける初の大規模な回顧展。4,000点を超える作品により1960年代から現在にわたるアラキの業績を紹介
22	UKIYO-E RELOADED	オーストリア(ウィーン)	Austrian Museum of Applied Arts / Contemporary Art	05.11.29～ 06.03.26	オーストリア応用美術館が、自館が所蔵する17世紀から20世紀にかけての浮世絵のコレクションによる展覧会を開催した。日本の浮世絵にみる大衆文化をメインコンセプトとし、スターとしてのアーティスト、スターとしての役者、スターとしての美人力などの現象を考察した
23	Gerd Knaepper Objects	ギリシャ(アテネ)	Benaki Museum	05.04.08～ 05.05.29	日本在住の陶芸家であるGerd Knaepperの59点の陶芸作品、金属彫刻など計69点をベナキ美術館新館にて展示
24	JAPAN	スウェーデン(マルメ)	Rooseum Center for Contemporary Art	05.05.20～ 05.07.17	スウェーデン第3の都市で南部商業・学芸のメッカでもあるマルメにおいて、古郷卓司が電子メディアアートプロジェクトを約2カ月のレジデンシーの成果として発表
25	J'en rêve	フランス(パリ)	Fondation Cartier pour l'Art Contemporain	05.06.24～ 05.10.30	今後が注目される世界の20代のアーティスト58人を一堂に紹介。日本からは村上隆、森村泰昌、森山大道、杉本博司、東芋らの推薦による5名の若手作家に加え、松井えり菜、竹山ゆう子が出品
26	Shadows and Light - The Shadow's dream	フランス(パリ)	Centre Georges Pompidou	05.06.27～ 06.01.02	現代美術と影絵を融合させた、青少年と家族を対象としたインタラクティブな展覧会。日本からは Minim++ が展覧会の重要な一部として参加した
27	Traditional Arts of Japan	フランス(ストラスブール)	ストラスブール大学ホール/欧州議会	05.08.24～ 05.10.18	和紙、絹、刀剣、畳といった芸術・工芸作品を、技術的、経済的、美的な面から解説し、多くの伝統芸術が深く日本の生活の中に溶け込んでいる姿を展示
28	Japan- the culture and art of the Edo period (1603-1867) - A flourishing time under the shogun	デンマーク(コリングフース)	Museum in Koldinghus	05.08.20～ 06.01.08	江戸時代の文化と芸術をテーマとした展覧会。デンマーク国立博物館との共催。浮世絵、図会、漆器、陶器や生活文化を伝える展示品が紹介された
29	Chiharu Shiota "Room"	ドイツ(ベルリン)	Haus am Lützowplatz	05.12.04～ 06.02.12	「日本におけるドイツ年」、「日-EU市民交流年」の事業の一環として、ドイツ、日本双方に在住する塩田千春の展覧会を実施
30	Fascinating Japanese Textiles	ベルギー(トゥルネ)	トゥルネ文化会館/タビストリー博物館他	05.06.04～ 05.09.11	現代テキスタイルアートの主要な国際展の第5回展において、日本をハイライトにとりあげた。作家33名の作品のほとんどがヨーロッパ初展示

造形美術事業費

	事業名	国(都市)	会場	期間	事業内容
31	26th Graphic Biennial Ljubljana	スロベニア (リュブリャナ)	-	05.06.23～ 05.10.02	50年の歴史をもつリュブリャナ・ビエンナーレの第26回展。今回は、セゾン現代美術館の荻原佐和子を日本側のキュレーターとして版画作品の選定を行なった
32	Jounal of a Voyage, The Erwin Dubsy Collection: Photographs from Japan and China in the 1870s	チェコ(ブルノ) (Lysice)	The Moravian Gallery in Brno Lysice Castle Museum	05.03.03～ 05.05.21 05.07.01～ 05.10.01	1874年にチェコ人として初めて来日した、Erwin Dubsyが収集した日本写真展。幕末から明治期に写された日本各地の写真160点を通じて、当時の風土・民俗を紹介。またDubsyのコレクションから、合わせて陶磁器や漆器などの作品も展示
33	KUNISADA - Master of the Late Japanese Woodcut	チェコ(プラハ)	Zbraslav Chateau	05.09.19～ 06.01.08	幕末に活躍した浮世絵師、歌川国貞の作品を展示。北斎、広重の影に隠れ、当地では知名度の低い国貞作品を、まとめて紹介する初めての試み。作品はチェコの主要な美術館、ギャラリーで収蔵している1,200点の中から選出
34	19th cetury Japanese Lecquer art -Maki-e	ハンガリー (ブダペスト)	Ferenc Hopp Museum of Eastern Asiatic Arts	05.05.26～ 06.02.15	江戸末期から明治期に作られた漆器(蒔絵)の展覧会。婚礼調度品、硯箱、香箱、文箱、筆筒等を展示
35	Fragments of Reality- Japanese Contemporary Photography	ブルガリア (ソフィア)	National Art Gallery	05.10.13～ 05.11.06	主にヨーロッパで活躍する4名のアーティストによる写真展。第16回「日本文化月間」の関連行事。日本人の眼が捉えたヨーロッパ各地の風景は同時に、現代の日本人の感性を写し出した
36	The Common Garden - Polish- Japanese Instalation Project	ポーランド (クラクフ) (ウージ)	"Manggha" Centre Central Textile Museum	05.10.14～ 05.12.30 05.05.12～ 05.06.30	テキスタイルの分野で活躍する日本、ポーランドのアーティスト各4名によるインスタレーション。個々の作家の作品を並べるというのではなく、共通スペースでの1つの作品として、展示
37	Conversations with Snow and Ice -observation/ Imagination in Art and Science	ラトビア(リガ)	Natural History Museum of Latvia	05.11.10～ 06.01.08	世界で初めて人口雪を開発した科学者、中谷宇吉郎の功績を紹介すると共に、C.ニコライ、高谷史郎らの作品を通じて、自然と芸術の関係を問い直した

	事業名	国(都市)	会場	期間	事業内容
38	5th International Textile Art Biennial "Textile 05"	リトアニア (カウナス)	M. Zilinskas Art Gallery	05.10.21～ 05.12.04	1997年からカウナスで開催されている織物展日本からもキュレーターが選ばれ、9名の作家が参加
39	Rising Sun, Melting Moon: Contemporary Art from Japan	イスラエル (エルサレム)	The Israel Museum	05.12.16～ 06.06.15	日本の現代美術を広い世代にわたって、彫刻、絵画、写真、ビデオ・インスタレーション等多様な作品を通じて紹介する展覧会

2. 催し等事業費	(6) 国内展 (助成)
-----------	--------------

海外の優れた美術・文化のなかで、これまで日本に紹介される機会の少なかった展覧会を国内関係者と共催して実施する。
合計額 9,688,820円

	事業名	都市	期間	助成団体	事業内容
1	ヨーロッパ・アジア・パシフィック建築の新潮流 2004-2005	渋谷区	05.04.22～ 05.05.22	ヨーロッパ・アジア・パシフィック建築の新潮流委員会	EU10組、アジア・パシフィック10組の将来を嘱望される建築家を紹介する展覧会。建築を介して、欧州、アジア・太平洋各地域の経験と思想を分かち合い、相互理解と交流を深めることを目的とした
2	イスラエル美術の兆し	23区 横浜市	05.06.10～ 05.07.03 05.06.10～ 05.07.07	イスラエル美術の兆し展実行委員会	イスラエル現代美術の最先端の動向をビデオインスタレーションや写真作品で紹介
3	崔福姫 服飾作品展	京都市	05.06.28～ 06.03.11	京都造形芸術大学	韓国の針匠である崔福姫の服飾作品を通じて、朝鮮の服飾文化への理解を図る展覧会。本展は服飾文化を、日常生活に根ざした韓国人の生活文化として提示することを目的として、時代、人生儀礼、日常生活の変遷として分類・展示した
4	「300%スパニッシュ・デザイン」「ファッションとスペインの文化」	さいたま市	05.07.16～ 05.10.10	埼玉県立近代美術館	「300%」: 20世紀スペインで作られた椅子、照明器具、ポスターの代表作各100点を展示、近現代スペインの工業デザイン史を概観。「ファッション」: 「Genio y Figura」(Talent and Body)をキーワードに、スペイン的要素を取り入れた服飾デザインと、その源泉になったモチーフを合わせて展示し、スペイン文化が世界のモードに与えた影響を紹介した

造形美術事業費

	事業名	都市	期間	助成団体	事業内容
5	第3回福岡アジア美術トリエンナーレ2005	福岡市	05.09.17～ 05.11.27	第3回福岡アジア美術トリエンナーレ実行委員会	日本を含むアジア21カ国・地域から将来を嘱望される作家を選定して、アジア地域の最新動向を紹介するトリエンナーレの第3回目。絵画、彫刻、インスタレーション、映像作品などの展示のほかに、出品作家による公開滞在制作、ワークショップ、パフォーマンスやトークなどの交流事業を行ない、来館者との交流を促進した
6	レイチェル・ロザレン展	横浜市	05.10.01～ 05.10.30	ロザレン展実行委員会	ブラジルの若手女性作家レイチェル・ロザレンの個展。都市と身体、欲望との関係をテーマとした映像インスタレーション作品を発表
7	マリ＝アンジュ・ギュミノ－キモノから	京都市	05.10.01～ 05.10.30	財団法人京都市芸術文化協会	京都の着物をテーマにした作品と、京都の着物文化をフランス人が解釈・紹介する展覧会。パフォーマンスとしてのファッションショーも開催。作家は3カ月間アーティスト・イン・レジデンスにて京都に滞在し、共同制作等を行なった
8	MobLab－日独メディア・キャンプ 2005	－	05.10.21～ 05.10.23	MobLab実行委員会	バスに日独のアーティストが乗り込み、日本各地を移動しながらプロジェクトを展開していく新しい形のアートイベント。ICC、IAMAS、せんだいメディアテークなど、各地のホストへと移動し、3週間にわたってイベントやワークショップを繰り返し広げた
9	マリオ・ディアス写真展キューバ1980-2000	東京都	05.11.21～ 05.12.20	東京工芸大学芸術学部芸術情報館	日本キューバ外交関係開設75周年を記念し、マリオ・ディアスを始めとする現代キューバの写真、ポスター、映画等、多彩なキューバ芸術を紹介した
10	エルンスト・バルラハ展 ドイツ表現派彫刻の巨匠	京都市 東京都 甲府市	06.02.02～ 06.04.02 06.04.12～ 06.05.28 06.06.03～ 06.07.17	朝日新聞社	ドイツ表現主義の彫刻家であるエルンスト・バルラハの彫刻作品など120点による大規模な回顧展。ドイツ中世以来の伝統的な宗教的性や地域性に根ざした根源的な魂の追求を表現した作品を展示。京都国立近代美術館等で開催
11	人間の未来へ－ダークサイドからの逃走	水戸市	06.02.25～ 06.05.07	水戸市芸術振興協会	混沌とした時代にあって人間がどこまで他者への理解や人間の尊厳に対する自覚を呼び返すことができるかをテーマに、現代の報道写真とインスタレーション、映像作品、彫刻などの作品を組み合わせた、日本を含む6カ国13名の報道写真家・アーティストによる展示

造形美術事業費

2. 催し等事業費 (7) 造形美術情報交流(催し)

日本および海外の造形美術に係わる情報の発信、相互交流を促進する。

合計額 8,523,006円

	事業名	国	期間	共催者	事業内容
1	中・東欧グループ招へい	スロベニア/ スロバキア/ チェコ/ハン ガリー/ポー ランド	05.12.05～ 05.12.18	-	日本の美術関係機関視察および関係者との交流を目的として、中・東欧の美術関係者8名を日本に招へい

2. 催し等事業費 (8) 「愛・地球博」途上国支援事業

愛知万博に参加する一部の途上国が行なう展示事業の経費の一部を支援する。

合計額 54,587,787円

	事業名	都市	期間	助成団体	事業内容
1	展示物国内輸送助成	愛知県その他	05.03.25～ 05.09.25	財団法人2005年 日本国際博覧会 協会	愛知万博に参加する途上国のうち、後発開発途上国(LDC)と低所得国(LIC)49カ国の実施する展示事業を支援

3. 催し等事業費 (トリエンナーレ) 国際展 (横浜トリエンナーレ)

大規模な国際美術展を日本国内において定期的に開催し、世界の現代美術を一般に広く紹介する。

合計額 45,631,718円

	事業名	国	期間	共催者	事業内容
1	横浜トリエンナーレ2005	全世界区分困難	05.09.28～ 05.12.18	横浜市/NHK/ 朝日新聞社/横 浜トリエンナー レ組織委員会	現代美術の国際展「横浜トリエンナーレ」の第2回展。2005年9月28日から12月18日まで、横浜市の山下埠頭の倉庫をメイン会場に実施。総合ディレクターは、現代美術家の川俣正。全体テーマ「アートサーカス(日常からの跳躍)」の下、30カ国・地域より86名の作家が参加し、多彩な作品を展示

文化芸術交流事業に必要な経費

舞台芸術事業費

1. 人物交流事業費

- (1) 舞台芸術情報交流（派遣）
- (2) 舞台芸術情報交流（招へい）
- (3) 内田奨学金フェローシップ

2. 催し等事業費

- (1) 海外公演（主催）
- (2) 海外公演（助成）
- (3) 海外公演（PAJ北米）
- (4) 国際舞台芸術共同制作
- (5) 国内公演（主催）
- (6) 国内公演（助成）
- (7) 国内公演（主催）（中東）
- (8) 舞台芸術情報交流（催し）
- (9) 「愛・地球博」途上国支援事業

1. 人物交流事業費 (1) 舞台芸術情報交流 (派遣)

芸術分野における国際的なネットワーク構築・交流促進などのため、海外で活動を行なう芸術家に対しフェローシップを供与する。

合計額 4,805,998円

	氏名	現職	国	期間	受入団体	事業内容
1	梅若 猶彦 藤田 次郎	能楽師(シテ方) 能楽師(囃子方)	フィリピン	05.07.29～ 05.09.03	フィリピン大学	フィリピン大学において、能に関する集中講義を実施
2	坂手 洋二	演出家(燐光群代表)	オーストラリア	05.01.31～ 06.03.12	NIDA	シドニーにある国立演劇学校(NIDA)の在生員に対し、作品『屋根裏』の演出指導を行なった
3	善竹 忠亮	能楽師(狂言師)	イタリア	06.02.17～ 06.02.23	ローマ大学	ローマ大学東洋学部日本研究科等にて狂言に関するワークショップを実施
4	酒井 誠	新国立劇場事業部長	英国	05.06.18～ 05.06.25	ISPA	英国で開催される「International Society for the Performing Arts」の年次総会に舞台芸術の専門家(新国立劇場事業部長酒井誠)を派遣、日本の国立劇場についての基調講演とともに、ロンドン事務所主催舞台芸術セミナー「国立劇場の意義」を実施
5	高萩 宏	世田谷パブリックシアターゼネラルプロデューサー	オランダ	05.11.23～ 05.11.28	IETM	ヨーロッパの主要な舞台芸術専門家が会員として所属する組織、Informal European Theatre Meetingのユトレヒトにおける総会にし、日本の舞台芸術の現状を紹介

1. 人物交流事業費 (2) 舞台芸術情報交流 (招へい)

国内外で開催される舞台芸術見本市・フェスティバルなどを支援し、専門家の交流および情報交流を促進する。日本の舞台芸術に関する情報を収集し、舞台芸術専門ホームページや英文ブックレットなどを通じ全世界に発信する。

合計額 15,212,580円

	事業名	国	人数	期間	事業内容
1	李 京美(ピアニスト・慶南大学教授) 招へい	韓国	1	05.03.29～ 06.02.19	「グローバル時代にむかう韓日音楽交流」をテーマに、青山学院大学で研究を実施

舞台芸術事業費

	事業名	国	人数	期間	事業内容
2	東京芸術見本市	インドネシア ベトナム	4 4	05.09.07～ 05.09.19	内外の舞台芸術関係者が集う東京芸術見本市の開催に併せ、海外の舞台芸術専門家（ディレクター/プロデューサー等）を日本に招へい。今後の共同事業に向けたネットワーク作りを念頭に、日本の舞台芸術諸機関の視察および関係者との意見交換を実施
3	児童演劇専門家グループ	カナダ 米国 英国 スウェーデン デンマーク ドイツ	1 1 1 1 1 1	05.08.04～ 05.08.07	欧米諸国の児童青少年演劇のフェスティバルのプロデューサー、ディレクターを招へいし、EUでの経験を基に、将来の日本と欧米諸国の児童青少年演劇交流の可能性について、シンポジウムを開催
4	平成17年度国際交流基金舞台芸術専門家招へい事業(PAJ北米の審査委員)	米国	1	05.09.11～ 05.09.16	わが国と米国との舞台芸術分野における交流を促進するため、米国の舞台芸術専門家であり、国際交流基金パフォーミング・アーツ・ジャパン（北米）の審査委員を日本に招へいし、内外の舞台芸術関係者が集う「東京芸術見本市2005」への参加および、わが国の舞台芸術関係者と交流する機会を提供。日本の舞台芸術事情についての理解を深めてもらい、今後の共同事業へのネットワーク作りに寄与
5	東京国際芸術祭2006インターナショナル・ビジュアル・プログラム	イスラエル/ クウェート	-	06.03.15～ 06.03.20	クウェートの現代演劇、およびイスラエルのコンテンポラリー・ダンスの招へい公演

1. 人物交流事業費 (3)内田奨学金フェロースhip

米国、欧州など外国において将来にわたり活躍が期待される若手音楽家を招へいし、わが国音楽関係者との交流や共演、共同制作に従事する機会を提供する。本事業は、故内田元享の寄附金による運用益等にて実施される、冠寄附特別事業。
合計額 2,928,778円

	氏名	現職	国	期間	受入団体	事業内容
1	WILKES, Steven Michael	アメリカ・パークレー音楽院助教授	米国	05.09.19～ 05.11.02	環境システム研究所	環境システム研究所を受入先とし、電子音楽に関する研究を実施
2	LIGIER, Frederic	作曲家・指揮者	フランス	05.07.11～ 05.10.08	梅若研能会	ポール・クローデルが滞日中に著した『百扇帖』をベースにした作品制作

2. 催し等事業費 (1)海外公演 (主催)

日本の優れた舞台芸術、芸能を海外に紹介するため、公演団の派遣を行ない、公演を実施するとともにレクチャー、デモンストレーション等を行なう。

合計額 457,295,806円

	事業名	国	都市	会場	期間	事業内容
1	日韓ダンス交流フェスティバル	韓国	ソウル	韓国国立劇場	05.06.25～ 06.07.14	日韓のダンス分野の交流を目的とした「日韓友情年2005-ダンス交流フェスティバル」。「舞踏フェスティバル」と「現代舞踊フェスティバル」から成り、日韓のコンテンポラリー・ダンスの若手アーティストが出演。また、舞踊に関するシンポジウム、展示、映画上映会も合わせて実施
2	ソウル芸術見本市	韓国	ソウル	国立劇場中ホール	05.10.07～ 05.10.10	韓国で開催されるソウル芸術見本市(Performing Arts Market in Seoul:PAMS)の海外ショーケースに参加するため、メディア・アーティストの高木正勝をソウルに派遣し、また、PAMS終了後、韓国で公演を実施。
3	J-POP公演 (アジア)	韓国	ソウル	Shangri-la Plaza Mall	06.03.09～ 06.03.11	J-POPアーティストグループのCORE OF SOULによるインドネシア、フィリピン、中国、韓国巡回公演
		中国	北京	糖果倶楽部(Tango)	05.03.06～ 06.03.08	
			上海	上海新天地 ARK	06.03.01～ 06.03.04	
		インドネシア	ジャカルタ	Graha Bhakti Budaya/ Taman Ismaili Marzuki (TIM)	05.02.22	
			バンドン	Gedung Kesenian Sunan Ambu STSI-Bandung	06.02.17～ 06.02.19	
	フィリピン	マニラ	SSAMNET (サムネット)	06.02.25～ 06.02.27		
4	邦楽(和太鼓・佐藤健作) (ラオス他)	カンボジア	プノンペン	チェンラー劇場	05.11.03～ 05.11.04	和太鼓をソロで公演する佐藤健作をラオス、ミャンマー、カンボジアに派遣。一般公演の他に太鼓を体感するという企画で学校公演を行なった
		ミャンマー	ヤンゴン	セドナホテル	05.10.31～ 05.11.01	
		ラオス	ビエンチャン	ラオス文化会館	05.11.07～ 05.11.09	
5	和太鼓 DODAN-PA (ベトナム)	ベトナム	フート	フート省フェスティバル会場	05.04.18	ベトナムハノイ近郊で開催されるフート省で開催の雄王祭に参加するため和太鼓グループDODAN-PAを派遣
			ハノイ	メリア・ホテル	05.04.19	

舞台芸術事業費

	事業名	国	都市	会場	期間	事業内容
6	音楽（ベトナム）	ベトナム	ホー・チ・ミン	ホーチミン市南部解放30周年記念フェスティバル会場	05.04.30	ホーチミン市で開催されたベトナム南部解放30周年フェスティバルに、ニューヨークで活躍するマリimba奏者である名倉誠人とキーボード奏者の石川明寛を派遣
7	現代演劇（劇団態変）（マレーシア）	マレーシア	クアラルンプール	アクトーズスタジオ	06.01.16～ 06.01.22	劇団態変によるマレーシアでの公演およびワークショップ
8	日豪交流年記念シドニー能楽公演	オーストラリア	シドニー	-	05.03.27～ 06.03.28	共催事業として、外務省とともに日豪交流年事業の行事の一つとして豪州シドニーにおいて寺井栄、武田宗和、観世芳宏等による観世流能公演を実施
9	和太鼓（林英哲）（豪州）	オーストラリア	タウンズビル シドニー キャンベラ メルボルン パース アデレード	Townsville Civic Theatre Sydney Town Hall Canberra Llewellyn Hall Hamer Hall Perth Festival 野外特設会場 WOMADELAIDE Festival野外特設会場	06.02.14～ 06.02.15 06.02.20～ 06.02.21 06.02.27 06.03.01 06.03.05 06.03.11～ 06.03.12	和太鼓奏者の林英哲が、日豪交流年のオープニングを記念し、タウンズビル、シドニー、メルボルン、キャンベラ、パースを巡演し、現地の和太鼓奏者Taikozyと共演。ワークショップなども開催
10	セルバンティーノ芸術祭・笠井叡	米国 メキシコ チリ	ニューヨーク グアナフアト サンティアゴ	The Joyce and Seward Johnson Theater セルバンテス劇場 チリ国立劇場アントニオ・ヴァラス劇場	05.10.22～ 06.10.23 05.10.10～ 06.10.11 05.10.16～ 06.10.17	笠井叡（舞踏家）によるソロ公演。メキシコにおいては、中米最大規模のセルバンティーノ国際芸術祭に参加し、作品『花粉革命』の上演とワークショップを行った。チリ、ニューヨークにおいては新作『Flowers』を世界初演。ニューヨークでは、NPO法人CAVE主催による舞踏フェスティバルに参加

	事業名	国	都市	会場	期間	事業内容
11	あんみ通米州ツアー	米国	アトランタ	レノックス・スクウェア・モール/スペルマン大学コズビーホール	05.11.01～ 06.11.02	津軽三味線グループ「あんみ通」とはたけやま裕（パーカッションニスト）による公演を実施。パハマは今年日本との国交樹立30周年を迎え、コロンビアは日系移民75周年を迎えたことから、それぞれ記念事業として実施。また、米国においてはパーミングハム国際フェスティバルに参加
			パーミングハム	アラバマ・スクール・オブ・ファイン・アーツ/アイリス・ロビンス・ステープンス・センター	05.11.13～ 06.11.14	
		パハマ	ナッソー	Dundas Center for Performing Arts	05.11.04～ 06.11.05	
		コロンビア	カリ	バジェ大学屋外ステージ/ホルヘ・イサックス劇場	05.11.07～ 06.11.08	
			ボゴタ	ホルヘ・タデオ・ロサーノ大学講堂	05.11.10	
12	邦楽（米国）	米国	ニューヨーク シカゴ	アジア・ソサエティ シカゴ大学インターナショナルハウス	06.01.22 06.01.26	ニューヨークで開催された国際的な舞台芸術見本市APAP（Association of Performing Arts Presenters）年次総会に合わせ、津軽三味線・篠笛・太鼓による「木乃下真市ユニット」、ギター・箏・尺八による「AKI & KUNIKO（ゲスト：杉沼左千雄）」、尺八3人組「般若帝國」の3つのユニットを派遣し、邦楽の合同ショーケースを実施。「AKI & KUNIKO（ゲスト：杉沼左千雄）」と「般若帝國」はシカゴでも公演を実施
13	AKI&KUNIKO（キューバ他中米）	キューバ	ハバナ	パウラ教会/カール・マルクス劇場/国立美術館ホール	05.05.23～ 06.05.27	箏とギターのユニット「AKI&KUNIKO」と、尺八奏者・杉沼左千雄がジョイントを組み、カリブ地域最大の音楽フェスティバルであるCUBADISCO2005に参加し公演を行なった。コスタリカ、ドミニカ共和国では日・中米交流年記念事業として実施。また、本ツアーを記念して、7月5日に都内において凱旋公演を行なった
		コスタリカ	サンホセ	北米文化センター内ユージン・オニール劇場/国立講堂	05.05.31～ 06.06.01	
		ドミニカ共和国	サントドミンゴ	マヌエル・ルエダ講堂/シバオ劇場	05.06.04～ 06.06.05	
14	セルバンティーノ芸術祭・維新派	ブラジル メキシコ	サントス グアナフアト	セスキ・サントス文化センター Auditorio del Estado	05.10.21～ 05.10.23 05.10.06～ 05.10.08	劇団維新派が、中米最大規模のセルバンティーノ国際芸術祭（メキシコ）からの招へいを受け、同芸術祭にて新作『ナツノトビラ』を世界初演するとともに、セスキ・サントス（ブラジル）の招へいによるツアーを続けて行なった

舞台芸術事業費

	事業名	国	都市	会場	期間	事業内容
15	能（欧州エジンバラ国際芸術祭等）	英国 オーストリア	エディンバラ ウィーン	ハブ・ホール ミュージアム ス・クウォーター	05.08.15～ 05.08.17 05.08.12	能楽公演を実施。エジンバラ国際芸術祭での招へい公演。出演者は観世鏡之丞、浅見真洲、宝生閑、藤田六郎兵衛、野村万蔵ほか。『隅田川』、『蝸牛』を上演
16	中村雁次郎レクデモ（大英博物館）	英国	ロンドン	大英博物館BP シアター/ロンドン大学SOAS	05.09.06～ 06.09.11	英国・大英博物館において行なわれる歌舞伎に関する展示会"Kabuki Heros on the Osaka Stage, 1780-1830"のクロージング・イベントとして、中村雁治郎による講演会およびレクチャーデモンストラーションを実施
17	ストリングラフィ（英国）	英国	ノリッジ カーディフ ロンドン ニューカースル	Norwich Arts Centre / St Andrew's Hall Wales Millenium Centre Sadler's Wells/Lillian Baylis Theatre Sage Gateshead	05.11.22 05.11.24 05.11.26～ 05.11.27 05.12.01	糸電話の原理を応用した楽器「ストリングラフィ（STRINGGRAPHY）」の演奏会と子供向けワークショップを実施。ストリングラフィ奏者、水嶋一江のオリジナル曲からクラシック、ポップス、現代音楽、童謡、民謡など、幅広いレパートリーを演奏
18	ひのき屋欧州ツアー	ギリシャ フランス	エクサン・プロヴァンス スパルタ ナフプリオン リヨン	スパルタ市中央公園 テロー広場 ベルデュール劇場 アルヴァニティ アス広場	05.06.23 05.06.27 05.06.29 05.06.21	函館を拠点に活動する若手太鼓グループ「たいこ楽団ひのき屋」によるフランス・ギリシャ・ツアー。「音楽の日(リヨン)」、「エクス日本の春」、「ナフプリオン国際フェスティバル」など、各地フェスティバルに参加
19	BATIK欧州公演	ドイツ フィンランド フランス	フランクフルト・アム・マイン トゥルク パリ	Mousonturm Frankfurt Turku Conservatory 内Sigyn Hall パリ日本文化会館	05.10.01～ 05.10.02 05.10.12 05.10.06～ 05.10.08	コンテンポラリーダンス・カンパニーBATIKによる、ダンス公演を行実施。演目はカンパニーの最新作である「SHOKU」。日-EU市民交流年参加事業

	事業名	国	都市	会場	期間	事業内容
20	八王子車人形 欧州公演	スウェーデン	ストックホルム	ストックホルム市立劇場	05.05.24	八王子車人形の西川古柳座による巡回公演。ポルト・マリオンネット・フェスティバル等に参加
			イエーテボリ	イエーテボリ市立劇場	05.05.28	
		デンマーク	ポルト	ポルト市立リボリ劇場大講堂	05.06.02	
			コペンハーゲン	デンマーク王立図書館内クイーンズホール	05.05.30	
			ドイツ	フランクフルト・アム・マイン	ビュルガーハウス・バルンマイム	
ポルトガル	リスボン	トリンダーデ劇場	05.06.04～ 06.06.06			
21	スペイン狂言 公演	スペイン	マドリード	シルクロ・デ・ベジャス・アルテス	05.10.03	スペインで開催されるアジア・フェスティバルに合わせ、マドリッドおよびバルセロナの計2都市にて狂言の公演・デモンストレーションを実施。狂言師は野村万蔵、野村万禄ほか。解説を交じえ、狂言『伯母ヶ酒』、『蝸牛』を上演
			バルセロナ	花市場劇場	05.10.05	
22	文楽（スペイン 他）	スペイン	ヒホン	ホヴェラス劇場	05.10.12	文楽協会による文楽本公演。出演は竹本千歳大夫、竹本文字久大夫、鶴澤清介、桐竹勘十郎ほか。マドリッド秋の市民フェスティバル等に参加。演目は『伊達娘恋緋鹿子』、『壺坂観音霊験記 沢市内より山の段』。日-EU市民交流年参加事業
			ピクトリア	ヴィットリア市立劇場	05.10.14	
			サン・セバステリアン	クアサル・センター	05.10.16	
		マドリッド	テアトロ・エスパニョル	05.10.19～ 05.10.23		
		ハンガリー	ブダペスト	ヴィダム劇場	05.10.06～ 05.10.09	
23	和太鼓（ウズ ベキスタン 他）	ウズベキスタン	タシケント	ナボイ劇場	05.09.19～ 05.09.20	和を超えたパワフルな演奏スタイルを持ち味とする和太鼓グループ「打究人」のカザフスタン(アスタナ)、ウズベキスタン(タシケント)公演。これに先立ち、ロシアのテアトル・ナーツィ(国立劇場)の招へいにより、モスクワ公演も実施
		カザフスタン	アスタナ	大統領文化センター	05.09.15～ 05.09.16	
24	ヒダじんぼ東 欧ツアー	チェコ	トルトノフ	トルトノフ野外音楽祭野外メインステージ	05.08.22	日本を代表するパーカッショニスト、ヒダノ修一(太鼓)、神保彰(ドラムス、DTXTREMEドラムトリガーシステム)が、ユニット「ヒダじんぼ」を組んで東欧4カ国を巡回。ハンガリーのシゲット・フェスティバル、スロバキアのホドクワシューなど、各地のフェスティバルに参加
		ハンガリー	ブダペスト	シゲットフェスティバル	05.08.16	
			ポーランド	オポーレ	ミレナーリシユモシナ城	
		スロバキア	旧市街市場広場	05.08.26		
			ベジノック	マルチメディア・フェスティバル・ホドクワシュー	05.08.19	

舞台芸術事業費

	事業名	国	都市	会場	期間	事業内容
25	邦楽（レバノン他）	ボスニア・ヘルツェゴビナ ヨルダン レバノン	サラエボ アンマン ベイルート	国立劇場 世界文化フォーラム 国立劇場 ユネスコ文化会館 王立劇場 大使公邸/ユネスコパレス/ビブロスフェスティバル	05.04.01～06.03.31 05.09.06～06.09.20 05.09.06～06.09.16 05.09.06～06.09.16 05.09.06～06.09.16 05.09.06～06.09.16	ヨルダン、レバノンのフェスティバルおよびユネスコ会館の式典にて、津軽三味線、三線、ボーカルのグループを派遣。ヨルダンではデイトン合意10周年記念事業に参加
26	琴姫ロシア公演	ロシア	ユジノサハリンスク アルセーニエフ ユジノサハリンスク ウラジヴォストク	州立美術館 チェーホフ劇場 アンダーグラウンド劇場 アルセーニエフ・プログレス文化宮殿	06.03.17 06.03.18 06.03.22 06.03.24	日本、中国、韓国3カ国の伝統琴を用いたユニット「琴姫（ことひめ）」をロシア極東3都市に派遣し、音楽公演を実施
27	邦楽（エジプト他）	サウジアラビア アルジェリア エチオピア	ジッダ アルジェ アデイスアベバ	産業見本市 文化宮殿 国立劇場	05.11.27～05.12.01 05.11.22 05.11.25～05.11.26	和太鼓グループ「独楽」を派遣し、アルジェリア、エチオピア、サウジアラビアの3カ国にて公演を実施
28	ジャズ（アフリカ）	チュニジア モロッコ ガボン	チュニス ラバト カサブランカ リーブルビル	チュニス市立劇場 タハル・ハッダード文化センター 国立モハメド5世劇場 モハメッド・ザフゼフ総合文化センター フランス文化センター	05.05.17 05.05.20 05.05.14 05.05.15 05.05.09～05.05.10	金子飛鳥（ヴァイオリン）、フェビアン・レザ・パネ（キーボード/ピアノ）、吉野弘志（ウッドベース）、ヤヒロトモヒロ（パーカッション）の4名から成るユニットによるジャズ公演
29	音楽（エジプト）	エジプト	カイロ	カイロ・オペラハウス	06.03.04	2006年3月にエジプト・カイロで開催されたジャパン・フェスティバルにピアニストの三浦友理枝を派遣。カイロ・シンフォニー・オーケストラ公演との共演を実施

2. 催し等事業費 (2)海外公演 (助成)

日本の優れた舞台芸術や芸能の海外公演（レクチャー・デモンストレーション、国際共同制作を含む。）を行なう日本の公演団体に対し、経費の一部を助成する。

合計額 224,387,305円

	事業名	期間	国	都市	会場	助成団体	事業内容
1	オペラ「夕鶴」 韓国公演	05.12.02～ 05.12.04	韓国	ソウル	芸術の殿堂 「土月劇団」	オペラ「夕鶴」 韓国公演実行 委員会	オペラ。日本で創作された作品である『夕鶴』を日韓友情年に合わせて、ソウルで公演。公演に際しては、韓国国立オペラ団の協力のもとに実施
2	能/望恨歌	05.05.16～ 05.05.17	韓国	釜山	市民会館小 劇場	能楽座	能。釜山廣域市国際芸術祭からの招へい公演。望恨歌は多田富雄の創作能で、大戦中、九州の炭鉱に強制連行された朝鮮の人たちを描いた作品である。出演者は、シテ方に観世榮夫、ワキ方に宝生欣哉、狂言方に山本東次郎
3	日韓友情年 2005劇団1980 「ええじゃないか」公演	05.06.10～ 05.06.12 05.06.16 05.06.19	韓国	ソウル 晋州 高陽	白岩アート ホール 慶南文化芸 術会館 オウルリム 劇場	劇団1980	現代演劇。今村昌平の1980年監督作品である『ええじゃないか』を藤田傳脚色、演出により舞台化したものを上演
4	関西二期会 ソウル公演	05.06.11～ 05.06.13	韓国	ソウル	世宗文化会 館	関西二期会	オペラ。ソウルのオペラ団と関西二期会オペラ団合同交換公演として、ワーグナーオペラの上演を行なった
5	韓日音楽祭	05.06.11～ 05.06.12 05.06.16～ 05.06.17 05.06.19 05.06.23	韓国	ソウル 高陽 蔚山 釜山	国立劇場大 ホール 高陽文化芸 術会館 蔚山文化芸 術会館 KBSホー ル	日韓音楽祭実 行委員会	邦楽。日本と韓国を代表する伝統打楽器グループである「林英哲・風雲の会」と「金徳洙サムルノリ」の日韓打楽の共演を行なった

舞台芸術事業費

	事業名	期間	国	都市	会場	助成団体	事業内容
6	新宿梁山泊 テント公演韓 国ツアー	05.07.30～ 05.07.31 05.08.05～ 05.08.06 05.08.11～ 05.08.13 05.08.19～ 05.08.20 05.08.25～ 05.08.26 05.08.31～ 05.09.01 05.09.06～ 05.09.07	韓国	密陽市 ヤンピョン ソウル 大邱 全州 アサン 東草	南川川辺公 園 ヤンピョン 公園 漢江広場 トンチャン 広場 ソリ文化伝 統館 湖西大学 エキスポ広 場	新宿梁山泊	演劇・新宿梁山泊が日本で 行なっているテント公演を 韓国で実施。開催都市は7 都市、15公演。作品は『唐 版 風の又三郎』を上演
7	劇団道化韓日 平和公演「ナ ガサキん グ ラフィティ」	05.08.11～ 05.08.12 05.08.14～ 05.08.15 05.08.17～ 05.08.18	韓国	居昌 ソウル 釜山	薔薇の劇場 東徳女子大 学公演芸術 センター 釜山文化会 館	劇団道化	現代演劇。爆心地に近い中 学校に通うサッカー部の中 学生と原爆後遺症の治療の ために長崎の病院を訪れた 韓国人高校生の間に芽生え た友情を描く作品
8	札幌交響楽団 韓国公演	06.09.29 06.09.30	韓国	ソウル 大田市	ソウル芸術 の殿堂 大田市文化 芸術の殿堂	財団法人札幌 交響楽団	クラシック音楽。日韓友情 年2005記念事業として、ソ ウル国際音楽祭および大田 市文化芸術の殿堂開館2周 年記念事業で公演を行なっ た
9	リトル・アジ ア・ダンスプ ロジェクト 2005	05.10.02 05.09.27～ 05.09.29 05.09.23～ 05.09.24	韓国 中国 シンガポール	ソウル 香港 シンガポー ル	Seoul Art Centre Hong Kong Arts Centre Esplade Theatre Studio	笠井 瑞丈	コンテンポラリーダンス。 アジア圏におけるダンス活 動の拡張・発展とアーティ スト交流を目指して1999年 より開始されたプロジェクト に、笠井瑞丈が参加依頼 を受けた
10	第2回韓国能 楽・狂言公演	05.10.06 05.10.07 05.10.08	韓国	ソウル 安東市	サムスン美 術LEEUM 韓国芸術総 合学校 河回村野外 特設舞台	21世紀日韓文 化交流委員会	能・狂言。慶尚北道安東市 の仮面劇フェスティバルで の特別公園およびソウル市 国立芸術大学での公演、 ワークショップ、シンポジ ウムを開催。出演者はシテ 方を観世鏡之丞、ワキ方を 宝生欣哉

	事業名	期間	国	都市	会場	助成団体	事業内容
11	広島交響楽団 日韓親善平和 コンサートツ アー	05.10.16 05.10.17 05.10.19	韓国	大邱 釜山 ソウル	テグ市文化 芸術会館 プサン文化 センター セジョン文 化センター	社団法人広島 交響楽協会	クラシック音楽。広島県や 広島日韓親善協会などの協 力により実現
12	コンドルズ/ ハンカンパ ニー コラボ レーション プロジェクト	05.10.17～ 05.10.18	韓国	ソウル	ホアムア ートホール	コンドルズ	コンテンポラリーダンス。 コンドルズとハンダンスカ ンパニーによるダンス公 演。両カンパニーの振付家 が振付を担当し、現代社会 をシニカルに反映する作品 を上演
13	チョン・ミョ ンフン/東京 フィル 日・ 中・韓「未来 へのフレンド シップ」	05.11.07 05.11.09 05.11.11 05.11.12 05.11.13 05.11.03～ 05.11.04	韓国 中国	釜山 済州 ソウル 仁川 上海	釜山文化セ ンター チュジュド 文化会館 カチョン市 民会館 セジョン文 化センター インチョン 総合文化芸 術会館 東方芸術中 心	財団法人東京 フィルハーモ ニー交響楽団	クラシック音楽。韓国人指 揮者チョン・ミョンフンが 率いる東京フィルが、上海 国際芸術祭への参加と、韓 国5都市公演を行なった
14	韓日アート フェスティバ ル	05.11.08～ 05.11.13	韓国	ソウル	サダリア ートセンタ ー	韓日アート フェスティバ ル実行委員会	コンテンポラリーダンス。 「韓日アートフェスティバ ル」に参加。日本から、枇 杷系、Abe" M"ARIA、ゴキブ リコンビナート、OM-2等 が参加した
15	日韓友情年 2005宝塚歌劇 韓国公演	05.11.11～ 05.11.13	韓国	ソウル	慶熙大学	宝塚歌劇団	ミュージカル。日韓および 韓日議員連盟の合意、なら びに韓国文化観光部の受け 入れによる国事事業として の公演実施
16	日韓友情年 2005「萬歳楽」 韓国公演	05.11.25～ 05.11.26 05.11.26	韓国	ソウル 高陽	中央大学 アートセン ター 高陽市ラ・ フェスタ	特定非営利活 動法人ACT. JT	狂言等、在韓大使館および 韓国中央大学の招へいによ り公演を実現。韓国の大学 生を中心とする市民との交 流を目的とした「狂言」、「楽 劇大田楽」の公演を実施
17	「美女と野 獣」韓国公演	05.12.02～ 05.12.03	韓国	ソウル	サラムグ ァウマクア ートソウル	ダンス・エレ マン	舞踊・舞踏だけでなく、音 楽とコラボレーションした もの

舞台芸術事業費

	事業名	期間	国	都市	会場	助成団体	事業内容
18	日本人形劇団 むすび座来華 交流公演	05.08.26～ 05.08.28	中国	北京	中国木偶劇 院	人形劇団むす び座	日本と中国との合作人形 劇。作品は、『西遊記- 悟 空誕生の巻-』で、演出、 音楽、美術監修、衣裳協力 と中国を代表する優れた芸 術家がスタッフとして加わ り、日本と中国の芸術家が 共同に作り上げた大型の人 形劇
19	2005劇団道化 座ASIA公演 (北京、福州、 上海)	05.09.06～ 05.09.07	中国	上海	D6空間カ フェ中心 D6空間	劇団道化座	現代演劇。農村と都会を テーマにした演劇で、上海 で開催される2005アジア演 劇祭に参加
20	ムジカラム 2005	05.10.09	中国	香港	City Hall Theatre	プラスエクス トリームトウ キョウ	音楽。香港および日本の作 曲家作品を、金管五重奏曲 を中心に演奏。香港で開催 される「ムジカラム国際現 代音楽フェスティバル」へ の参加公演
21	歌舞伎舞踊と その音楽-中 国楽器が現在 日本で-	05.11.07 05.11.08 05.11.10 05.11.11 05.11.13	中国	北京 天津 西安	第二外国語 学院礼堂 中央民族大 学礼堂 天津外国語 学院総合教 室 天津市少年 宮 西安外事学 院礼堂	常磐津協会	古典芸能。北京ほか3都市 で、歌舞伎舞踊、素浄瑠璃、 和楽器演奏を行ない、中国 から伝えられた楽器が日本 ではどのように継承されて いるのかを紹介
22	「現代音楽の 潮流」中国公 演	06.03.27 06.03.28 06.03.31 06.04.03	中国	北京 上海 杭州	中央音楽学 院演奏厅 首都師範大 学音楽学院 音楽厅 上海音楽学 院小演奏厅 杭州音楽厅	甲斐 史子	音楽・ピアノとバイオリン のデュオのROSCOと打楽 器グループのメンバーなど で構成するグループでの公 演。ROSCOは朝日現代音 楽賞を受賞している
23	2005おはなし きゃらばんセ ンター・イン ドネシア公演	05.07.23～ 05.07.26 05.07.28	インドネシア	ジャカルタ バンドン	ブントラ・ ブダヤ文化 センター インドネシ ア教育大学 ホール	財団法人おは なしきゃらば んセンター	児童演劇のおはなしキャラ バンが、インドネシア児童 図書普及協会の招へいで、 インドネシア子供の日記念 『第6回子供フェスティバ ル』参加(インドネシアの 昔話を元にした作品『まめ じかカンチルの大冒険』を 上演)。その後、バンドン 教育大学でも公演

	事業名	期間	国	都市	会場	助成団体	事業内容
24	日本、ミャンマー、シンガポール、パフォーマンス・アート交流展'05	05.05.18～ 05.05.19 05.05.29～ 05.05.30 05.05.22～ 05.05.23 05.05.26	シンガポール マレーシア ミャンマー	シンガポール クアラルンプール ヤンゴン マンダレー	Front room UBU INYA Gallery Mingun Gallery	日本国際パフォーマンス・アート・フェスティバル(ニパフ)実行委員会	NIPAF(日本国際パフォーマンス・アート・フェスティバル)のメンバー12名によるシンガポール、ミャンマー、マレーシア公演。シンガポールとマレーシアでは"STOP OVER"、ミャンマーでは"J-M Exchange"と題し、日本と各国のアーティスト合わせて1日10名ほどが、ギャラリーで次々とパフォーマンスを行なった。ミャンマーは2001年に続いて2度目
25	第25回アジア作曲家連盟音楽祭	05.08.13 05.08.14	タイ	バンコク	チュラロンコン大学 Phrya Thai Palace	社団法人日本作曲家協議会	クラシック室内楽の「アンサンブル東風」(奏者15名/指揮・松下功)が、アジア作曲家連盟(73年設立)の第25回総会・音楽会"The World New Music Festival and Conference 2005, Bangkok"で、若手作曲家賞受賞作品を交え、モーツァルトなどのポピュラーな曲を組み合わせて演奏
26	日本・マレーシア共同作品(ダンス室伏鴻)	05.06.29～ 05.07.01 05.07.05	マレーシア フィリピン	クアラルンプール マニラ	クアラルンプール・パフォーミング・センター フィリピン文化センター	Ko & Edge Co.	舞踏の室伏鴻が、"Malaysia Dance Festival"(My Dance Alliance主催)の招きで、ダンスカンパニー、Nyoba Dance+との約2週間の共同作業を経て、"Phoenix Rises"を上演。マニラは、マニラ事務所主催で、ソロ公演「マニラ・エッジ」ほか、フィリピン大学国際研究センターと共催でレクデモ実施

舞台芸術事業費

	事業名	期間	国	都市	会場	助成団体	事業内容
27	日比友好祭 オープニング 記念和太鼓倭 フィリピン公 演	06.01.11 06.01.12 06.01.13 06.01.14	フィリピン	マニラ	フィリピン 文化セン ター大ホー ル フィリピン 教育演劇協 会劇場 リバーバン クショッピ ングセン ター アヤラセン ター	有限会社魂源 堂	邦楽・日本とフィリピンの 国交回復50周年を記念して 実施される日比友好祭の オープニングイベントに、 和太鼓倭の公演を行なう 他、ワークショップなども 実施
28	英語落語海外 公演	05.09.06～ 05.09.07 05.09.09～ 05.09.10 05.09.02 05.09.03	ブルネイ マレーシア インド	バンドルス リブガワン クアラルン プール デリー ニューデ リー	Centre Point Hotel Pentas Seri2 Sanskriti School Indian Habitat Centre National School Drama	英語落語公演 ツアー団	落語。笑福亭鶴笑等3名の 落語家と三味線奏者による 英語落語公演。玉すだれ、 二人羽織なども披露。マ レーシアでの2003年の公演 (国際交流基金助成)を契 機に招へいされた
29	BATIK ロシ ア・マレーシ アツアー	05.05.25～ 05.05.26 05.05.16～ 06.05.17 05.05.21	マレーシア ロシア	クアラルン プール モスクワ ペルミ	クアラルン プール・パ フォーミン グアーツ・ センター マールイ劇 場 ペルミ・オ ペラバレエ 劇場	BATIK	コンテンポラリーダンスの BATIK (黒田育世主宰)ロ シア・マレーシア公演。黒 田振付による"SHOKU"を 上演。ロシアはテアトル・ ナーツィー(国立劇場)の招 へいで、ペルミ公演は「デイ アギレフ国際フェスティバ ル」参加。マレーシアはク アラルンプール日本文化セ ンター主催
30	音輪会 雅楽 インド公演	05.11.09 05.11.10	インド	ニューデ リー	在インド日 本大使館 シュリラム センター	音輪会	邦楽。京都の雅楽グルー プ、音輪会のインド公演。 「日本文化月間」の一環

	事業名	期間	国	都市	会場	助成団体	事業内容
31	福村芳一、デリー・シンフォニー・オーケストラ・コンサート	05.12.01	インド	デリー	サティアサイババ・インターナショナル・センター	福村 芳一	指揮者の福村芳一が、デリー・シンフォニー・オーケストラの発展に協力。2007年の本格コンサートを目指して、今回は同氏とコントラバス奏者、米国人ヴァイオリン奏者がニューデリーに滞在し、8日間のクラスを実施し、最後にシンフォニーのメンバーと共にコンサートをを行った。日本文化月間事業の一環
32	ク・ナウカ「第8回NSD演劇フェスティバル」公演	06.01.06	インド	ニューデリー	Kamani Auditorium	特定非営利活動法人ク・ナウカ シアターカンパニー	現代演劇。インド国立演劇学校(N.S.D)主催"National Theatre Festival"で、夢幻能形式の『オセロー』を上演
33	ひとみ座乙女文楽インド公演	06.01.13 06.01.16 06.01.18	インド	ニューデリー	India Halitat Center 日本人学校 Vasant Valley School	財団法人現代人形劇センター	「ひとみ座乙女文楽」が、イシヤラ国際人形劇フェスティバルの招きで、『義経千本桜』と『壺坂霊験記』を上演。他に、地元の学校でレクチャー・デモンストレーションを実施
34	プーネ・岡山友好公園開園記念文化交流会	06.01.19 06.01.20	インド	プーネ	プーネ・岡山友好公園 ファーガソン・カレッジ他	岡山インド情報リンク	民俗芸能。インドのプーネ市に岡山の後楽園をモデルとするプーネ・岡山友好公園が開園するにあたり、協力した岡山県が、岡山で生まれた吉備楽を開園式典、レセプション等で披露した
35	松尾邦彦「FACESTS 2006国際コレオグラフィ・ラボラトリー」	06.02.06	インド	バンガロール	Attakka Iari Center for Movememt Arts	松尾 邦彦	パフォーマンス集団nestの松尾邦彦(メディア・アーティスト/サウンドデザイナー/ダンサー)が隔年開催のコレオグラフィ・ラボ、FACESTSで約3週間ワークショップを指揮。完成作品"Purushartha"を上演した。2004年に続く参加
36	クイーンズランド・ミュージック・フェスティバル 2005	05.07.16	オーストラリア	ブリスベン	クイーンズランド工科大学	山川冬樹ユニット	パフォーマンス。電子聴診器を使い、ホームメイを歌うことにより心臓の鼓動を重低音と光の明滅に還元する作品の上演

舞台芸術事業費

	事業名	期間	国	都市	会場	助成団体	事業内容
37	「あるひあるひのさんさんさん」カナダ・オタワフェスティバル・ツアー	06.03.18 06.03.18 06.03.19 06.03.20 06.03.20 06.03.24 06.03.26～06.03.29	カナダ	セントキャサリンズ オタワ トロント ロンドン	スミス校 グリーンダラ校 カルーセルスタジオ ニール校 オタワ文明博物館 タッカースタジオ グランドシアター	有限会社劇団風の子	児童演劇。04年の児童青少年演劇フェスティバルで招へいたカナダの児童劇団と、その後交流を続けた結果、オタワで開催されるチルドレンズ・フェスティバルへの招へいが実現した。現地で児童演劇の共同制作も実践
38	藤井郷子ユニットヨーロッパツアー2005	05.04.12 05.04.16 05.04.17 05.04.19 05.04.21 05.04.15	米国 イタリア 英国 スロベニア	ニューヨーク ベニス ロンドン リブリャナ	The Stone teatro fondamenta nuove BBC Gateway studio CCA St.Gerge's Bristol cankarjev dom	藤井 郷子／ 田村 夏樹	ジャズ。日本の音階などの特徴を取り入れた独特のジャズを演奏する藤井郷子が米国及びヨーロッパ各地で公演
39	まちがいの狂言	05.06.01～05.06.02 05.06.06 05.06.08～05.06.11	米国	サン・フランシスコ ニューヨーク ニュー ジャージー	Palace of Fine Arts Theatre 国連オーデ イトリウム Alexander Kasser Theatre	株式会社万作の会	狂言。野村萬斎主演の『まちがいの狂言』が、サンフランシスコ国際芸術フェスティバル、およびニュージャージー州立モンクレール大学のアレキサンダー・カッサー・シアターの第一回の夏のフェスティバルから招へいを受けて米国公演を行なった
40	松竹大歌舞伎近松座	05.06.08～05.06.26	米国	シアトル/ パークレー /ロサンゼ ルス	シアトル・ アジア・美 術館パラマ ウントセン ター/ゼ ラーバック ホール/セ リトスセン ター	近松座	歌舞伎。近松座による米国3都市公演。シアトルでは、「太平洋スプールサミット」に参加。ロサンゼルスでは、日米文化会館設立25周年記念の特別公演を行なった

	事業名	期間	国	都市	会場	助成団体	事業内容
41	海から豚がやってきた!	05.06.26	米国	トーレンス	エル・カミーノ・カレッジ・シアター	海から豚がやってきた実行委員会	現代演劇。第二次大戦で被害を受けた沖縄を救うために、ハワイの沖縄移民が豚を送った史実に基づいて作られた作品。脚本、音楽、演出、キャストの全てを地元具志川市にこだわって制作し、昨年はハワイ公演を実施
42	2005年度北米太鼓会議	05.07.15 05.07.16	米国	ロサンゼルス	日米文化会館 全米日系人博物館	春日鬼組	和太鼓。春日鬼組は、佐渡の伝統芸能である「鬼太鼓」の一組で、毎年4月に開催される春日神社例祭で鬼舞を奉納している。2003年度の北米太鼓会議（日米文化会館主催）で紹介された後、サクラメント太鼓団のメンバーを1カ月稽古に受け入れたことが経緯となり、今回第5回の北米太鼓会議に招へいを受けた
43	プロジェクト フクロウ ジェイコブス ピロー ダンス フェスティバル公演	05.08.24～ 05.08.28	米国	ベケット	ドリス デュークス スタジオシアター	プロジェクト フクロウ	コンテンポラリーダンス。石川ふくろう演出・振付の「OZMA」60分のフルバージョンによる公演。2004年1月のニューヨークジャパンソサエティでのコンテンポラリーダンスショーケースで紹介されたことがきっかけでジェイコブスピローより招へいを受けた。公演の他、ワークショップ、トークセッションなどレジデンシー活動も実施
44	伝統の再発見、東洋から西洋へ、古代から未来へ	05.09.08 05.09.10 05.09.13 05.09.14	米国	ニューヨーク	Chelsea Art Museum Tenri Cultural Institute ジュリアード音楽院 コロンビア大学	RITE アン サンプル	邦楽。菅野由弘（早稲田大学教授）の作曲を、ニューヨーク在住のヴァイオリニスト木村まりが中心となり、東野珠美（笙）、ブルース・グレモ（尺八）、ミヤ・マサオカ（箏）が演奏。山崎芳男によるコンピューター音響技術を活用し、伝統音楽と科学技術を融合させた伝統音楽の新しい表現方法を紹介

舞台芸術事業費

	事業名	期間	国	都市	会場	助成団体	事業内容
45	鏡仙会ニューヨーク公演	05.09.24～ 05.09.25	米国	ニューヨーク	ジャパンソサエティ	社団法人鏡仙会	能楽。観世鏡之丞、浅見真州、野村萬斎、松田弘之、大倉源次郎、亀井広忠らが参加。アイルランド劇詩人イエーツ（ノーベル賞受賞者）が日本の能に触発されて創作した詩劇『鷹の井戸』を翻案した『鷹姫』を上演
46	ダンスカンパニー ベイビーキューニューヨーク、アンギャン、パリ公演	05.10.06～ 05.10.08 05.10.13 05.10.14～ 05.10.15	米国 フランス	ニューヨーク アンギャン・レ・パン パリ	Dance Theatre Work Shop Casino Theatre Engnien-ies-Bains Maison de la culture du Japon a Paris	Dance Company BABY-Q	コンテンポラリーダンス。東野祥子主宰のダンスカンパニーBABY-Qによる米国、フランス公演。2004年「TOYOTA CHOREOGRAPHY AWARD 2004」における「次世代を担う振付家賞」受賞作品『ALARM!』と2005年「横浜ソロ×デュオ」における『未来へ羽ばたく横浜賞』受賞作品『Zero hour』を統合発展させた作品を創作し上演。ニューヨークではDTWからの招へい
47	吉野直子 海外公演（ワルシャワ&ワシントン）	05.10.08 05.09.24	米国 ポーランド	ワシントン ワルシャワ	The Library of Congress Codidge Auditorium National Philharmonic Concert Hall	吉野 直子	クラシック音楽。ハーピストの吉野直子が、「第48回ワルシャワの秋」音楽祭より招へいを受け、クロージングコンサートでの演奏を行なった。またワシントンでは米国議会図書館主催の「武満徹コンサート」に参加。いずれも自身が初演した作品を演奏
48	米国東海岸一中節三味線公演	05.12.01 05.12.03 05.12.05 05.12.05～ 05.12.09	米国	ミドルタウン セーレム ワシントン ニューヨーク	ヴェズリアン大学 ピーボディエセックスミュージアム 情報文化センター ジャパンソサエティ	エムワンクラブ	邦楽。一中節の家元、十二世都一中他10名がジャパン・ソサエティからの招へいを受けてニューヨーク、ボストン公演を実施。三味線節（一中節を中心とし常磐津節も披露）の他に、囃子、笛、花柳流の舞踊家も同行。ワークショップも開催し直接三味線に触れる機会を設定

	事業名	期間	国	都市	会場	助成団体	事業内容
49	ジャパニーズ コンテンポラ リーダンス ショーケース	06.01.20～ 06.01.21 06.01.12～ 06.01.14	米国 チリ	ニューヨー ク サンティア ゴ	ジャパンソ サエティ Teatro Universidad Catolica	株式会社アン クリエイティ ブ	コンテンポラリーダンス。 今年で9年目を迎えるNY ジャパン・ソサエティ主催 のジャパニーズ・コンテン ポラリーダンス・ショー ケース、および、チリ・サ ンチャゴのコノスール舞台 芸術フェスティバルにおい て公演を行なった。参加 アーティストはAPE、東雲 舞踏、21世紀舞踏invention の会、新上裕也(YOUYA)、 Roussewalts
50	三味線ヘリ テージ	06.02.03 06.02.04 06.02.08～ 06.02.09	米国	フィラデル フィア サン・アン トニオ ニューヨー ク	The Great Stair Hall of Pnila The Carver Community Calt ジャパンソ サエティ	有限会社モン ドラナミュー ジックエンタ テインメント	邦楽。津軽三味線の上妻宏 光が、02年度の北米デ ビューから3年連続での米 国ツアーを行なった。今回 は、新たにバンジョー奏者 でグラミー賞受賞者のベ ラ・フレックとのコラボ レーションに挑戦し、全米 3都市に巡回
51	琴姫米国公演	06.02.01 06.02.05 06.02.07	米国	ワシントン DC マイアミ	ワシントン JICC Shake-a- leg Miami Marikami museum	琴姫	邦楽・民族音楽。日本、中 国、韓国の琴トリオアンサ ンプル。各国の古典から現 代音楽までを、幅広く、か つ東洋の調和を観客に紹 介。ワシントンDCとマイ アミで公演を実施
52	バッハ・コレ ギウム・ジャ パン(器楽ア ンサンブル) 米国ツアー	06.03.17～ 06.03.29	米国	パークレイ /ロサンゼ ルス/ベツ レナム/ワ シントン DC/ボスト ン/ニュー ヨーク/ パーリント ン	-	有限会社バッ ハ・コレギウ ム・ジャパン	音楽。バッハ・コレギウ ム・ジャパンによる器楽ア ンサンブルおよび音楽監督 鈴木雅明によるチェンバロ ソロ米国7都市公演
53	キューバ第9 回国際音楽見 本市に際して の神埼愛の記 念コンサート	05.05.14～ 05.06.02	キューバ	ハバナ	アマデオ・ ロルダン劇 場/ カール・マ ルクス劇場 ホテル・ナ シオナル大 広場/ カール・マ ルクス劇場	株式会社オ フィス愛アー ト	クラシック音楽。現地オー ケストラおよびピアニスト との共演により、ソプラ ノ・フルート・ピアノの演 奏を実施

舞台芸術事業費

	事業名	期間	国	都市	会場	助成団体	事業内容
54	マエストロ見砂直照に捧ぐ「日本とキューバの文化交流音楽公演」	05.05.18～ 05.05.28	キューバ	ハバナ	アメリカ劇場/カールマルクス劇場/ギジェルモトマス音楽校ホール	東京キューバンボーイズ	ラテン音楽。キューバの名曲、日本の楽曲等を演奏する。キューバの代表的グループロス・バンバン他との共演
55	サブロサーラ・デル・ソニード ツアー2005	05.05.22～ 05.06.01	キューバ	ハバナ	カサ・デ・ラ・ムシカガリアーノパラシオ・コンベルシオンサロン・ロサード	サブロサーラ・デル・ソニード	民族音楽(サルサ)。キューバにおける音楽の祭典であるクバディスコ2005に参加し、サルサ音楽の演奏を行った
56	MIYAZAWA 中南米公演 2005	05.10.18 05.10.12 05.10.09 05.10.16 05.10.02 05.10.06	キューバ ニカラグア ホンジュラス メキシコ ブラジル	ハバナ マナグア テグシガルパ グアナフアト ロンドリーナ	Moneda Dura at Teatro Karl Teatro Nacional Ruben Dari Teatro Nacional Manuel Bor Explanada de la Alhondiga de Granditas Guanajvato Cine Teatro Ouro Verde SESC VKA MARIANAN	宮沢 和史	宮沢和史を中心とする Miyazawa sick bandがメキシコのセルバンティーノ芸術祭、日・中米交流年のホンジュラス、ニカラグア他、中南米各国の巡回ツアーを行なった
57	2005年コーラスワーク ショップ	05.06.23～ 05.07.04	グアテマラ	グアテマラシティ	国家宮殿 国立音楽院 ボスコ学校	清水 雅彦	合唱。日・中米交流年の一環として、グアテマラの合唱団を指導し、演奏会を披露

	事業名	期間	国	都市	会場	助成団体	事業内容
58	日・中米交流 年2005	05.07.25 05.07.31～ 05.08.04 05.08.06 05.08.08 05.08.09 05.08.10	コスタリカ グアテマラ グアテマラ ニカラグア ホンジュラス グアテマラ ペルー	サンホセ アンティグ ア グアテマラ シティ マナグア テグシガル パ ケツアルテ ナンゴ リマ	Auditorio Nacional Centrode Convenciones Casa Santo Domingo 国立劇場 Teatro Nacional Ruben Dario Teatro Nacional Manuel Bonilla Teatro Municipal de Quetzaltenango Teatro Peruano Japones	日・中米音楽 交流2005	クラシック音楽。グアテマ ラ交響楽団との共演コン サートおよび、箏・ヴァイ オリン・ピアノによるリサ イタルの実施
59	吉岡孝悦マリ ンバ&打楽器 アンサンブル 中南米公演 2005	05.08.12 05.08.13 05.08.14 05.08.19 05.08.20～ 05.08.21 05.08.23 05.08.28 05.08.30	コロンビア グアテマラ	カリ ボゴダ メデリン アンティグ ア グアテマラ シティ	コルフアン デイ文化セ ンター ホルヘ・イ サックス劇 場 クリスタル 劇場 ルイス・ア ンヘルアラ ンゴ劇場 コンベン サル劇場 EAFIT大 学講堂 サント・ド ミンゴ修道 院跡 国立小劇場	吉岡孝悦マリ ンバ&打楽器 アンサンブル	マリンバ・打楽器奏者の吉 岡孝悦のグループが、オリ ジナル曲（同氏作曲）のみ を演奏するコンサートを実 施。コロンビアは日系移民 75周年を迎え、グアテマラ は日・中米交流年であるこ とから、それぞれ記念事業 として実施

舞台芸術事業費

	事業名	期間	国	都市	会場	助成団体	事業内容
60	ミュージック・フォー・カリブ公演	05.11.15 05.11.16 05.11.17 05.11.18 05.11.18	ジャマイカ	キングストン	ペガサスホテル ワードシアター エドナ・マンレー音楽院ホール ペガサスホテル 大使公邸	アジアクリエーションズ ジャパン	クラシック音楽。声楽とピアノ、バイオリン、パーカッションによるコンサート
61	2005年セルバンティーノ国際芸術祭参加オペラ『夕鶴』メキシコ公演	05.09.27～05.09.28 05.10.03 05.10.06～05.10.07	メキシコ	メリダ メキシコシティ グアナフアト	Teatro Josepeon Conteras Palacio de Bellas Artes Teatro Juarez	東京オペラ・プロデュース	オペラ。セルバンティーノ芸術祭において、オペラ『夕鶴』を日墨共同制作により上演。日本から歌手、演出家、舞台プランナーが渡墨し、メキシコ側の歌手・合唱団、演出スタッフ、舞台スタッフとともに制作
62	ササキ舞踊団ラテンアメリカ公演	05.10.01 05.10.05～05.10.06 05.10.12、05.10.20～05.10.21 05.10.16 05.10.23	メキシコ	グアヤキル キト メキシコシティ サン・ルイス・ポトシ メキシコシティ	現代美術劇場 オチョイメデイオ テアトロカメルン テアトロラウルガンボア レアルデルモント	ササキ舞踊団	現代舞踊。ドイツ在住の振付家・佐々木満のカンパニーが、日本と西洋の特性を混合して組み合わせたダンス公演を実施
63	Rin' 日・中米関係樹立70周年記念公演	05.10.09 05.10.11 05.10.13	メキシコ	レオン アグアスカリエンテス グアナフアト	マヌエルドブラード劇場 ファレス劇場 アグアスカリエンテス劇場	株式会社ファブコミュニケーションズ	邦楽。和楽器（箏/尺八/琵琶/三味線）と、ドラム、ベース、デジタルサウンドによる演奏を行なったメキシコではセルバンティーノ芸術祭に参加した

	事業名	期間	国	都市	会場	助成団体	事業内容	
64	GOCOO ヨーロッパ/メキシコ・ツアー2005	05.10.19	メキシコ	メテペック	Parque la Providencia	和太鼓グループ ゴクウ	和太鼓。和太鼓による新しい音楽グループ「Gocoo」によるヨーロッパ、メキシコツアー。日-EU市民交流年にあわせ、3回目となるヨーロッパツアーを実施し、中南米最大のフェスティバルで今回日本を招待国として開催されるメキシコのセルバンティーノ国際芸術祭に参加	
		05.10.21		グアナフアト	Explanada de la Alhondiga			
		05.10.22		レオン	Plaza Fundadores			
		05.10.23		セラヤ	Auditorio Francisco Eduardo Tresguerras			
		05.10.25		モレリア	Palacio Clavijero			
		05.10.27		メキシコシティ	UNAM			
		05.10.29		カンペチェ	Teatro Francisco de Paulay			
		05.10.30		プラヤデルカルメン	Toro City Park			
		05.09.28		オランダ	ベンロ			De Maaspoort Venlo B. V.
		05.09.29			ユートリヒト			Mc Vredenburg
		05.09.30	エンシェルデ		Twentse Schouwburg			
		05.10.02	フローニンゲン		De Oosterpoort			
		05.10.04	ヘルデルウィジク		Theater Cultureel Centrum			
		05.10.05	アルンヘム		Musis Sacrum			
		05.10.07	オランダ	アムステルダム	Meervaart			
		05.10.08		シーダム	Fortis Theater			
		05.10.10		ケルクラーデ	Parkstadt Limburg Pheater			
		05.10.12		ライデン	Stadsgehoorzaal			
		05.09.15	スイス	チューリヒ	Volkshaus Zurich			
		05.09.16		バーゼル	Stadtcasino Basel			
05.09.17	ドイツ	ベルン	Theater National					
05.09.02		ヴィースバーデン	Schlachthof					

舞台芸術事業費

	事業名	期間	国	都市	会場	助成団体	事業内容
		05.09.05 05.09.12～ 05.09.13 05.09.19 05.09.20 05.09.21 05.09.23～ 05.09.24 05.09.25		ハンブルク カールス ルーエ ストゥット トゥガルト ウルム マンハイム デュッセル ドルフ ゲラ	Fabrik To l lhaus Theaterhaus Stuttgart ROXY Alte Feuerwache Altstadtherbst/ ISIS Zelt Kultur-u. Kongre β z.Gera		
		05.09.11	ルクセンブルク	ルクセンブルグ	Hall Omnisports		
65	宝生流能楽普及訪伯公演	05.08.06～ 05.08.07 05.08.01	アルゼンチン	ブエノス・アイレス ロンドリーナ	日本庭園 シネテアトロオウロ・ベルダ大学劇場	宝生流いづみ会	現地の日系人協会からの招きに応じ、宝生流いづみ会の佐野萌がブラジル・アルゼンチンで公演。演目は、舞囃子(高砂)と仕舞(八島/桜川等)
		05.07.30、 05.08.05 05.08.11	ブラジル	サン・パウロ	ブラジル日本文化協会小講堂 ツカレナ劇場		
66	江戸糸あやつり人形 アルゼンチン公演	05.10.28 05.10.30 05.11.01 05.11.04 05.11.05～ 05.11.06 05.11.06	アルゼンチン	ブエノス・アイレス コルドバ メンドサ ラ・プラタ ブエノス・アイレス	ロサリオ日本人会講堂 コルドバ州芸術都市講堂 ディアマンテ文化センター エル・テアトリーノ人形劇場 国立図書館 日本庭園	江戸糸あやつり人形	古典芸能。ブエノスアイレスで行なわれた第3回日本文化大会(亜日文化財団主催)において、江戸糸あやつり人形の公演を行なった
67	西川アンサンブル・エクアドル公演「日本月間における：エクアドル国立交響楽団との共演」	06.02.10	エクアドル	キト	ポリバール劇場	西川アンサンブル	音楽。エクアドルにおける日本月間の一環として、西川浩平(篠笛奏者)を中心とした西川アンサンブルがエクアドル国立交響楽団と共演し、首都キト市ポリバール劇場で両国作曲家の作品を演奏

	事業名	期間	国	都市	会場	助成団体	事業内容
68	南米3都市ツアー	05.08.27～ 05.08.28	ブラジル	ベロ・オリ ゾンテ	テアトロセ シシナス	伊藤キム+輝 く未来	コンテンポラリーダンス。 ブラジル・ベオリゾンテの Forum Internacional de Danca事務局より、舞踏の 次世代を担う日本のカンパ ニーとして招へいされたも の。3都市で作品『抱きし めたい』の公演を行なった
69	女楽（月訓之 命への宴）ブ ラジル公演	05.09.10 05.09.11 05.09.12 05.09.14	ブラジル パラグアイ	カンピーナ ス サン・パウ ロ ベロ・オリ ゾンテ アスンシオ ン	カンピーナ ス伯日協会 ホール サンパウロ 日伯文化協 会ホール ベロオリゾ ンテ文化 ホール アスンシオ ン日本文化 会館ホール	NPO和文化 交流普及協会	邦楽。「平家物語」をテー マとして、琵琶、和太鼓 (鼓)、横笛による邦楽演奏 会を南米4都市にて行なっ た
70	東京シmf ニエッタ ヴェネズエラ 公演	05.07.11～ 05.07.14	ベネズエラ	カラカス	コーポ・グ ループ文化 センター	東京シmf ニエッタ	クラシック音楽。武満徹、 細川俊夫ほか、日本の作曲 家たちの作品を演奏。箏を 加えたアンサンブルも行 なった
71	カラカス首都 区日本文化月 間・城之内ミ サ・コンサート	05.07.19～ 05.07.27	ベネズエラ	カラカス	テレサ・カ レーニョ劇 場	城之内 ミサ	カラカス首都区日本文化月 間に作曲家・ピアニストの 城之内ミサが参加し、同氏 作曲による組曲『大和路シ ンフォニー』、『空華』を演 奏
72	沖縄県人ペ ルー移住百周 年記念祝典	06.01.26～ 06.01.29	ペルー	リマ	沖縄県人会 館野外ス テージ ニッピ文化 会館	コミュニケー ション アー ト プロジェ クト	音楽。沖縄県出身のアー ティストで構成されたグ ループが、沖縄県人ペルー 移住100周年記念祝典に特 別ゲストとして参加し、音 楽と映像、琉球古典音楽と クラシックなどの要素を交 えた新たな芸術表現を紹介
73	沖縄県人ペ ルー移住百周 年記念祝典	06.01.26～ 06.02.11	ペルー	リマ	ニッピ文化 会館 沖縄県人会 館野外ス テージ	ディアマンテ ス	沖縄出身の日系人であるア ルベルト城間を中心とし日 本で活動を行なっている音 楽グループ「ディアマンテ ス」。沖縄県人ペルー移住 100周年記念事業に招へい され、リマ市のペルー沖縄 県人会場等で公演

舞台芸術事業費

	事業名	期間	国	都市	会場	助成団体	事業内容
74	ロイヤルチェンバーオーケストラ 2005年ヨーロッパ公演	05.04.16 05.04.17 05.04.22 05.04.24 05.04.19 05.04.20	アイルランド イタリア ベルギー ルクセンブルク	ダブリン コーク ミラノ ヴィチエンツァ トゥルンホウト ルクセンブルグ	オライリー劇場 コークシテイホール ダルヴェルメ劇場 オリンピックコ劇場 ドンボスコ教会 ルクセンブルグ音楽ホール	ロイヤルチェンバーオーケストラ	クラシック音楽。ロイヤルチェンバーオーケストラによる室内楽公演。ベートーベン交響曲等を上演
75	沖縄歌舞劇団美 EU公演 2005	05.09.23 05.09.24～ 05.09.25 05.09.05 05.09.02 05.09.09 05.09.10 05.09.27 05.09.17 05.09.13～ 05.09.14 05.09.20 05.09.21	アイルランド キプロス ギリシャ ドイツ スロバキア ハンガリー ラトビア	ゴールウェー ゴールウェー ニコシア ロードス アテネ キフィシア フランクフルト・アム・マイン バンスカーピストリッツァ ブダペスト リガ	コライスク・イオグネイド講堂 タウンホール ニコシアインターカレッジ メリーナメルクーリ野外劇場 ベアキオ劇場 キフィシア野外劇場 インターナショナルシアター バンスカーピストリッツァ国立 ミレナーリシュ・フォガドー劇場 グレードギルドコンサートホール ジェラスバルティコンサートホール	沖縄歌舞劇団美	沖縄舞踊。キプリア国際芸術フェスティバル、ハランドリサマーフェスティバル、ニュープラハダンスフェスティバルなど各地のフェスティバルのほか、7カ国にて公演を実施

	事業名	期間	国	都市	会場	助成団体	事業内容
76	グライNDERマンパフォーマンス「バイナリライダー」2005年巡回公演	05.05.06	イタリア	ローマ	ローマ日本文化会館	Grinder-ManPerformance "Binary Rider" 2005 world tour	パフォーマンス。現代アートのパフォーマンスグループのグライNDERマンが、イスラエルの美術センターを皮切りに、ヨーロッパツアーを行なった
		05.04.29	スウェーデン	ストックホルム	Sodra Teatern		
		05.05.11	ドイツ	ケルン	ケルン日本文化会館		
		05.05.20～ 05.05.21	フランス	パリ	パリ日本文化会館		
		05.04.19～ 05.04.20	イスラエル	エルサレム	Mabardar		
77	日本・イタリア交流の翼2005	05.05.14	イタリア	アッシジ	サン・フランチェスコ大聖堂	「日本・イタリア交流の翼2005」実行委員会	声明・雅楽。天台声明、雅楽（東儀秀樹ほか）とグレゴリオ聖歌との共演
		05.05.16		ヴェネツィア	サン・ジョルジョ・マッジョーレ島		
78	かわせみ座「まほろばのこだま」イタリア・英国公演	05.07.21～ 05.07.22	イタリア	ラヴェンナ	ラーシ劇場	かわせみ座	人形劇。かわせみ座が、指揮者リッカルド・ムーティの主宰するラヴェンナフェスティバルにて公演、エディンバラフェスティバルのフリンジにも参加
		05.07.28～ 05.07.29		リヴォルノ	テアトロコンコルデイ		
		05.08.03	英国	エディンバラ	シー劇場		
79	国際人形劇・マイム・フェスティバル	05.10.12	イタリア	ローマ	ローマ日本文化会館	佐々木博康 & BUSHIDO（日本マイム研究所）	マイム。ギリシャの国際人形劇・マイム・フェスティバルのほか、ルーマニアとイタリアでも公演を実施。国際交流基金主催派遣の結城座が好評を博したことにより、2年連続で日本団体の招へいが実現
		05.10.09	ギリシャ	キルキス	キルキス国際人形劇マイムフェスティバル		
		05.10.03	ルーマニア	シビウ	ラドゥ・スタンカ国立劇場		
		05.10.05		ブカレスト	カサンドラ劇場		
80	クリヤ・マコト・ユニット "JAZZY COLORS"参加ツアー	05.11.22	イタリア	ローマ	ローマ日本文化会館	有限会社 ミュージックセラフ	日本のジャズ界の第一線で活躍するクリヤ・マコトとブラジル系ベーシストとして高い評価を受けるコモブチキイチロウのユニットによる欧州公演
		05.11.22	英国	バーミンガム	バーミンガム音楽院		
		05.11.09	ドイツ	ケルン	ケルン日本文化会館		
		05.11.14	フランス	パリ	パリ日本文化会館		
		05.11.17		スウェーデン文化センター			

舞台芸術事業費

	事業名	期間	国	都市	会場	助成団体	事業内容
81	米澤・熊沢 ヨーロッパ・ コンサートツ アー2005 国 際フェスティ バル「春の響 き」オン・ツ アー～『鶴』 プロジェクト ～	05.12.01	イタリア	ローマ	ローマ日本 文化会館	米澤・熊沢尺 八箏研究所	邦楽。「シュライニング国 際音楽祭」で共演を重ねて きた日欧の演奏家（尺八/ 箏/ピアノ/ソプラノ）が、 モノオペラ『鶴』を制作し、 シュライニング音楽祭等で 演奏
		05.12.05		ラヴェンナ	アリギエリ 劇場		
		05.12.07		ローマ	ローマ日本 人学校		
		05.11.24	オーストリア	-	ギュッシン グ/ギュッ シング文化 センター		
		05.11.25		ウィーン	ベーゼンド ルフアー ホール		
		05.11.28	ウィーン	ウィーン日 本人学校			
		05.11.29	ドイツ	ケルン	ケルン日本 文化会館		
82	鬼太鼓座2006 年欧州公演	06.02.01	イタリア	ローマ	Auditorium Parco della Musica, sala Santa Cecilia	鬼太鼓座	和太鼓公演。日-EU市民交 流年のフォローアップとし て、鬼太鼓座のヨーロッパ ツアーを実施。2005年1月 に同交流年オープニングで の演奏が好評を博し、現地 からオファーがあったもの
		06.02.04		ウディネ	Teatro Nuovo Giovanni da Udine		
		06.02.07		ブレシア	Teatro Grande		
		06.02.05		モデナ	Teatro Storchi		
		06.02.09		アオスタ	Palais de Saint Vincent		
		06.02.11	スイス	バーゼル	Kaserne		
		06.02.21	ドイツ	イエーナ	Volkshaus		
		06.02.15		ハンブルク	Fabrik		
		06.02.18		シュトゥット トガルト	Theaterhaus		
		06.02.18		ハノー ヴァー	Pavillon		
		06.02.14	ベルリン	Universität der Kunste			
		06.01.28～ 06.01.30	クロアチア	ザグレブ	Lisinski Concert Hall		

	事業名	期間	国	都市	会場	助成団体	事業内容
83	本川神楽英国ツアー2005	05.05.21 05.05.28 05.06.03	英国	バース ロンドン ウェルズ	ギルドホール LSO.St. Lukes ロイヤル・インターナショナル	本川神楽英国ツアー2005実行委員会	神楽。本川神楽保存会（高知県）による神楽公演のほか、神楽のリズムを現代的にアレンジした「ひねもす」によるライブ、神楽のワークショップを行なった
84	豊住芳三郎英国公演	05.08.21、05.08.28 05.08.24	英国	ロンドン ウェルウィングガーデン・シティー	RED ROSE THEATRE St.Mary Magdalene Chui	エビナ・リズム・リサーチ・インスティテュート	現代音楽。豊住芳三郎によるインプロヴァイズド・ミュージック公演。ロンドンのモポモソ・フェスティバルからの招へい
85	ロンドン市テムズフェスティバル	05.09.16 05.09.17 05.09.18 05.09.18	英国	ロンドン	在英大使館 Festival Pier テムズ川湖畔 Theatre Square	沖縄市園田青年会	テムズ河の川岸を利用し、世界各地の「祭り」や民俗芸能が披露され注目を集めるフェスティバルに、沖縄のエイサーのグループが参加。ロンドン大学SOASの発案により、地元の人にも踊りのワークショップを行なった
86	「花結－無限響太鼓」	05.09.25～05.09.27 05.09.29 05.09.30 05.10.09	英国	ロンドン ブライトン ノッティンガム グラスゴー	サドラーズ・ウェルズ サリス・バンカー・シアター ロイヤル・コンサート・ホール 無限響道場	鼓童「花結」	和太鼓。鼓童の舞のメンバーと、英国人によって設立され、欧州各地で公演を行なう無限響和太鼓グループのコラボレーションを英国の地方都市で公演
87	ゴス・トラッド欧州ツアー2005	05.11.03 05.11.08 05.11.11 05.11.12	英国 ドイツ フランス	ロンドン ベルリン パリ メッツ	CLUB HERBAL WATERGATE CLUB DIVAN DU MONDE CAVUE DES TRINITAIRES	ポップグループ	音楽。欧州のインディーズ系フェスティバルや韓国のクラブロードフェスティバルなど、海外公演の実績もあるDJゴス・トラッドが、欧州3ヶ国で公演

舞台芸術事業費

	事業名	期間	国	都市	会場	助成団体	事業内容
88	アンサンブル・ノマド 2005年ヨーロッパ公演	05.11.21～ 05.11.22 05.11.19	英国 フランス	ハダース フィールド パリ	St. Paul's Hall Salle Albert Le Grand	アンサンブル・ノマド	現代音楽。現代音楽専門のアンサンブルノマドが、英国の現代音楽祭ハダースフィールドおよびパリのゲーテ学院にて近藤譲、武満徹などの作品を演奏
89	キャンディー ズ ～ガー リッシュ ハードコア～	06.01.26～ 06.01.28 06.02.01～ 06.02.04 06.02.10～ 06.02.11	英国 ポーランド	カーディフ ロンドン グダニスク	chapter ICA ZAK	劇団指輪ホテル	現代演劇。「女性の視点のヒューマニズム」で作品を制作し、海外公演の実績もある新進の小劇団「指輪ホテル」が、ヨーロッパ公演を行なった
90	Co.山田うん ヨーロッパ ツアー2005	05.02.23 05.06.17 05.06.10～ 05.06.11 05.06.25	英国 ドイツ ベルギー	ノッティン ガム ロンドン ベルリン ブリュッセル	Derby Dance Centre Lyric Hammer Smith Theatre Haus der Kulturen der Welt deep blue/ studio	Co.山田うん	コンテンポラリーダンス。山田うんによるダンス公演。ベルリンのイン・トランジットフェスティバルからの招へい
91	NHK交響楽 団ヨーロッパ 公演	05.10.12～ 05.10.13 05.10.17 05.10.11 05.10.16 05.10.14	オーストリア スペイン ドイツ ポルトガル ハンガリー	ウィーン マドリッド ベルリン リスボン ブダペスト	ムジーク フェライン ザール アウディト リオ・ナ ショナル・ デ・ムジカ フィルハー モニーザール グルベンキ アン・アウ ディトリウ ム ナショナル コンサート ホール	財団法人 NHK交響楽 団	クラシック音楽。N響の欧州5カ国での公演。特にベルリン、ウィーンではベルリンフィル、ウィーンフィルが定期公演を行なっている会場で演奏

	事業名	期間	国	都市	会場	助成団体	事業内容
92	ミュージカル コンサート 「MITSUKO」	05.12.09	オーストリア	ウィーン	Museams Quartier	株式会社 キョードー東 京	ミュージカル。欧州共同体の基礎を築いたクーデンホーフ・カレルギーの母、青山ミツコの物語。出演は、一路真輝、ウーヴェ・クレーガー、井上芳雄ほか。演出は小池修一郎、作曲と作詞はオーストリアスタッフ、という日墺共同制作
93	佐藤允彦& SAIFA 欧 州公演	05.05.15	オランダ	アムステル ダム	BIM HUIS	佐藤 允彦& SAIFA	ジャズ。佐藤允彦を中心とするジャズ・オーケストラにより富樫雅彦の作曲作品を演奏。メールス・ジャズ・フェスティバルからの招へい
		05.05.14	ドイツ	メールス	メールス・ ジャズ祭会 場		
94	伶楽舎「オラ ンダ・フェス ティバル 2005」公演	05.06.01	オランダ	アムステル ダム	コンサート ヘボウ ムジークヘ ボウ	伶楽舎	雅楽。雅楽の演奏団体・伶楽舎が、1947年に始まったオランダ・フェスティバルに参加、コンサートヘボウなどで演奏。古典作品のみでなく武満徹など現代の作品も紹介
		05.06.02					
95	北之台雅楽研 究会 欧州公 演	05.11.19	オランダ	アムステル ダム	アムステル ダム西教会	北之台雅楽研 究会	雅楽。日本でも数少ない民間の雅楽団体である北之台雅楽研究会による欧州4か国公演。各地でEU交流年関係で日本大使館の共催事業となる。管弦と舞楽の上演
		05.11.25	ドイツ	フランクフ ルト・ア ム・	ジャパンセ ンター		
		05.11.17～ 05.11.18	フランス	パリ	在フランス 大使館広報 文化セン ター		
		05.11.21	ベルギー	ブリュッセ ル	ブリュッセ ル外語大学		
		05.11.23	ルクセンブル ク	ルクセンブ ルグ	ルクセンブ ルグ国立音 楽院		

舞台芸術事業費

	事業名	期間	国	都市	会場	助成団体	事業内容
96	渋さ知らズ オーケストラ	05.04.30 05.05.06～ 05.05.07 05.05.11 05.05.12～ 05.05.13 05.05.14～ 05.05.15 05.04.20 05.04.21 05.04.22 05.04.23 05.04.27	ベルギー スイス ドイツ ロシア	ゲント カンプ・リ ントフォル ト メールス メールス モスクワ サンクト・ ペテルブル ク アルハンゲ リスク アルハンゲ リスク	Time Fes Uncool Fes ABC Keller Club Rouhe Moers Fes トーチカ Light Magic Amadei OBOLSHOY LENINA OKRUZHNOY DOM	渋さ知らズ オーケストラ	ジャズ。1986年に結成され たジャズバンドとダンサー によるヨーロッパ公演。ゲ ントのタイム・フェスティ バルほか各地のフェステイ バルに参加
97	田嶋直士邦楽 グループ欧州 公演	05.07.08 05.07.12 05.07.14 05.07.16～ 05.07.17	スイス ドイツ	チューリヒ ケルン シュレッタ ウ ゼービュル	リートベル ク博物館 ケルン日本 文化会館 シュレッタ ウ城 ノルデ美術 館	田嶋直士邦楽 グループ	邦楽。シュレスヴィヒ・ホル シュタイン音楽祭、ミッ テ・オイローパ音楽祭等の 招へいにより邦楽公演を行 なった
98	地唄舞欧州公 演およびワー クショップ	05.10.28 05.10.31	スイス ポーランド	ジュネーヴ クラクフ	アルハンブ ラ劇場 日本美術セ ンター Manggha	地唄舞吉村流 舞の会	古典芸能。吉村流（吉村輝 章他）と神埼流による舞踊 公演。スイスでは公演と ワークショップを、ポーラ ンドでは日本文化月間の一 環として公演を実施
99	リトルテンポ トーキョー・ サウンド・リ ボルーション 公演	05.09.24	スウェーデン	ストックホル ム	リドウラ劇 場	リトルテンポ	「ダブ」ミュージックの先 端に行くバンドリトル・テ ンポが招へいされ、ソドラ 劇場にて公演
100	牧阿佐美バレ エ団ヨーロッ パ公演	05.09.01～ 05.09.04 05.09.09～ 05.09.10 05.09.12	スペイン フランス	バルセロナ パリ	チボリ劇場 シャンゼリ ゼ劇場 ラ・ガー ル・デュ・ ミディ	財団法人橘秋 子記念財団	バレエ。牧阿佐美バレエ団 による公演。演目は『ピン ク・フロイド・バレエ』、『ア ルルの女』、『カルメン』等

	事業名	期間	国	都市	会場	助成団体	事業内容
101	外国人の為の 歌舞伎教室E U公演	05.09.03～ 05.09.04 05.09.03～ 05.09.08 05.09.08 05.09.08 05.09.14～ 05.09.15	スペイン ポルトガル	サンタンデ ル マドリード バルセロナ サラマンカ リスボン	Caja antabria Auditorio Conde Duque Teatro T i v o r i Teatro Liceo E S T C大 劇場	外国人の為の 歌舞伎教室実 行委員会	歌舞伎。市村萬次郎による 外国人のための歌舞伎教 室。レクデモと『藤娘』の 上演。スペイン4都市、ポ ルトガル1都市での公演。 カーサアジアの受け入れ
102	スペインにお ける能公演・ 講座	05.10.06 05.10.08～ 05.10.09 05.10.10 05.10.21～ 05.10.22	スペイン	ジロナ バルセロナ マドリード ジロナ	Fundacio Caixa de Girona La Sala Teatre Estudi del Instit Sala Valle Inclan Fundacio Caixa de Girona	山口能装束研 究所	能。能講座とレクデモ。 「能装束の世界展」の開催と あわせて実施する。スペイ ン3都市公演。マドリード およびバルセロナはカーサ アジアによる受け入れ
103	カーサ アジ ア「アジア フェスティバ ル」	05.10.07	スペイン	バルセロナ	バルセロナ La Palma	ビクターエン タテインメン ト株式会社	ロック。1998年に結成され たロックバンドTHE BACK HORNが、カーサ・ アジアの主催するアジア・ フェスティバルに招へいさ れ、2都市で演奏
104	レニ・バツソ ヨーロッパ・ ツアー2005	05.10.09 05.10.04～ 05.10.06 05.10.05～ 05.10.06	スペイン ノルウェー	バルセロナ オスロ	Mercat de Les Flors/ Meracat de Les Flors KhiO Dansens Hus	レニ・バツソ	コンテンポラリーダンス。 コンテンポラリーダンスの カンパニーとして海外公演 も多いレニ・バツソが、カー サアジア、およびオスロの ウルティマ現代音楽祭にて 公演
105	日本-スペイ ンフラメンコ 市民交流公演 「アルテ・イ・ ソラ」	06.11.06 06.11.12	スペイン	ヘレス	ピジャマル タ劇場 ムンシア ル・ファ ン・ベルナ ベ	鎌田 真由 美・佐藤 浩 希フラメンコ 舞踊団	民族舞踊。鎌田真由美・佐 藤浩希フラメンコ舞踊団に よるフランメンコ公演。ス 페인でも上演されていな い古いフラメンコも上演

舞台芸術事業費

	事業名	期間	国	都市	会場	助成団体	事業内容
106	『リファインド・カラーズ』 スペイン公演	06.02.03～ 06.02.04 06.02.08～ 06.02.09 06.02.11～ 06.02.12	スペイン	セビリヤ グラナダ マラガ	Teatro CENTRAL Teatro Jose Tamayo Teatro CANOVAS	モノクローム・サーカス	LEDライトを使った照明装置を効果的に使ったコンテンポラリーダンス作品「Refined Colors」の公演。2005年4月に仏クレティユで行なわれたExit Festivalで公演した際、スペインのプロデューサーよりアンダルシア地方での公演企画の提案があったもの
107	第28回アルマ グロ国際古典 演劇祭『ド ン・キホーテ』 出版400周年 記念「ドン・ キホーテ特 集」	05.07.12～ 05.07.13	スペイン	シウダー ド・レアル	アルマグロ 市立劇場	劇団クセック・アクト	演劇『ドンキホーテ』に出てくる会話によって再構成された作品（田尻陽一作）。スペインの古都アルマグロで、『ドンキホーテ』出版400周年を機に開催される国際古典演劇祭に参加。同作品は2001年初演、本年愛知万博スペイン館でも上演された
108	ベース・ト ークEU公演 2005	05.06.16 05.06.17 05.06.09 05.06.11 05.06.12 05.06.20 05.06.18	デンマーク エストニア ラトビア	イェーテボ リ － タリン － リガ	Musikpaviljongen /Liseberg Bohuslans Museum パルス Ammende Villa ヌンメ・ ジャズ・ フェスティ バル (Stanford tent) ヌンメ・ ジャズ・ フェスティ バル (Glehn Castle) ハーブサル Kuursaal －	ベース・ト ークEU公演実 行委員会	ジャズ。ベース奏者鈴木良雄を中心とするアンサンブルにより、ジャズの公演を実施。タリンにて開催の「ヌンメ・ジャズ・フェスティバル」を始め、3カ国7都市を巡回

	事業名	期間	国	都市	会場	助成団体	事業内容
109	アンデルセン 生誕200周年 記念 現代能 「ある母の物 語」公演	05.12.04 05.12.05～ 05.12.06	デンマーク	コペンハー ゲン -	The Denish Avtors Union The Royal Library Hall	観世流緑泉会	能・現代舞踊。アンデルセン原作の『ある母の物語』を能の音楽、謡、舞と、デンマーク人のオペラ歌手、コンピュータ音楽とのコラボレーションにより、ダンスオペラ形式の作品として上演。アンデルセン生誕200周年記念事業
110	AKI&KUNIKO 日独親善公演	05.04.22 05.04.27 05.04.29 05.04.30 05.05.01 05.05.02	ドイツ	ハイデルベ ルク シュトゥッ トガルト マインツ エデンコー ベン ベルリン	Riberty- Lounge SRH Studio der LBBW SWR Kurpfa lzaal Edenkoben Kunstler haus Edenkoben Rheinlound Pfalz in Berlin	AKI&久仁子	邦楽。箏とギターによる独自のテクニクで現代的な音楽を演奏するAKI&久仁子ユニットによるドイツ5都市での公演
111	ダンスカンパ ニーノマド～ s ヨーロッ パツアー2005	05.04.29～ 05.04.30 05.05.09～ 05.05.12	ドイツ フィンランド	アーヘン ヘルシンキ	ルードヴィ ヒフォーラ ム ストア	ダンスカンパ ニーノマド～ s	コンテンポラリーダンス。ダンス・カンパニー・ノマドが、アーヘンのシュリットマッハ・ダンスフェスティバルほかにて新作を上演
112	ドレスデン音 楽祭公演	05.05.14～ 05.05.15 05.05.20 05.05.21	ドイツ	ドレスデン マイセン ドレスデン	ゼンパー・ オーパー 大聖堂 日本宮殿	特定非営利活 動法人紀尾井 シンフォニ エッタ東京	クラシック音楽。紀尾井シンフォニエッタによる室内楽公演。ドレスデン音楽祭からの招へい
113	ベルリン 「InTRANSIT」 協力シンポジ ウム、ワーク ショップ	05.06.10 05.06.11	ドイツ	ベルリン	ベルリン日 独センター 世界文化会 館	舞踊資源研究 所	舞踏。ベルリンのイントランジット・フェスティバルの一環として開催される、舞踏に関するシンポジウム、ワークショップ等に、田中泯や日本の舞踊評論家が参加した
114	日独共同制作 笠井叡 振付 『Beauty』	05.06.15～ 05.06.17	ドイツ	ベルリン	Haus der Kulturen der Welt	天使館	舞踏。笠井叡が海外のダンサーを起用し、ドイツでのレジデンスで新作を制作し、イン・トランジット・フェスティバルで上演

舞台芸術事業費

	事業名	期間	国	都市	会場	助成団体	事業内容
115	迦聲研欧州聲明公演 2005	05.07.06 05.07.08 05.07.09 05.07.12 05.07.15 05.07.16 05.07.17 05.07.11	ドイツ	ケルン ノイエンザ ルツ フェール島 リユーベッ ク プレーン フランチェ スコヴィ	Christskirche Romanische Nacht Romanische Nacht Kapelle Neuensalz St. Nicolai Kirche St. Petri Kirche St. Petri Kirche Pavillion der Salz-und- Wiesenquelle	迦陵頻伽聲明 研究会	声明。シュレスヴィヒ-ホルシュタインなどドイツ国内の主要なフェスティバルで真言宗豊山声明『中曲理趣三昧』を演奏
116	オーケストラ・アンサンブル金沢「シュレスヴィヒ・ホルスタイン音楽祭 2005」	05.07.15 05.07.16 05.07.17 05.07.21 05.07.24 05.07.25	ドイツ	エルムスホルン メルドルフ レンズブルク キール シュレス ヴィヒ リユーベッ ク	ライトルレ ドーム キリスト教 会 キール城大 ホール ドーム ドーム	財団法人石川 県音楽文化振 興事業団 オーケスト ラ・アンサン ブル金沢	クラシック音楽。オーケストラアンサンブル金沢が、シュレスヴィヒ-ホルシュタイン音楽祭の招へいを受け、同州の各地で演奏会を開催
117	NHK邦楽技能者育成会欧州公演	05.07.24 05.07.25 05.07.26	ドイツ	ハッセンブルク ノイミュン スター ハンブルク	Scheune Theater in der Stadthalle Rinderstall	NHK邦楽技 能者育成会	邦楽。NHKの邦楽奏者養成所の卒業生からなる公演団が、ドイツのシュレスヴィヒ・ホルシュタイン音楽祭にて公演

	事業名	期間	国	都市	会場	助成団体	事業内容
118	日本民謡ドイツ公演「民の心、民のうた - 日本民謡を楽しもう！」	05.07.24 05.07.25 05.07.27 05.07.31 05.08.01 05.08.02 05.08.03 05.08.05	ドイツ	エムケンドルフ バート・ゼーゲベルク ケルン デーツェンバッハ ビュルツブルグ ローテンブルグ ハーナウ フランクフルト・アム・マイン	シュトックゼー サンクト・マリーキハエ ケルン日本文化会館 ラインハルト・ゴップフェルト・ハウス シーボルト博物館 ゲーテ・インスティテュート ヘッセン人形博物館 ハウス・コンツェルト	山本 扶美枝	民謡。シュレスヴィヒホルシュタイン音楽祭とケルンの夏2005音楽祭に参加し、日本民謡を実演と解説により紹介
119	シュレスヴィック・ホルスタイン音楽祭コンサートツアー	05.08.16 05.08.17 05.08.18	ドイツ	ズュルト ニービュル ザルツァウ	Sylt-Quelle Christus教会 Konzertscheune	SHMFアンサンブルフロムジャパン	邦楽。シュレスヴィヒ・ホルシュタイン音楽祭の武満音楽週間に招へいを受け演奏を行なった
120	シュレスヴィヒ・ホルシュタイン音楽祭和太鼓松村組公演	05.08.24 05.08.25	ドイツ	オイティン ハンブルク	フライトリヒトビューネオープンエア シュッペン52	和太鼓松村組	和太鼓。松村組がシュレスヴィヒ・ホルシュタイン音楽祭のクロージング・コンサートとして演奏を行なった
121	箏公演	05.09.09 05.09.13 05.09.14 05.09.15	ドイツ	ケルン シュパイヤー ハイデンベルク ギャマサイム	ケルン日本文化会館 シュツレタウ城 Holy-Spirit教会 ゲルメスハイム/ Music Sch	野坂恵子二十五絃の会	邦楽。二十五絃箏による邦楽公演。シュバイヤー国際音楽祭からの招へいによる
122	一龍斎貞水ベルギー特別公演	05.09.20 05.09.23 05.09.18	ドイツ ベルギー フランス	ケルン ブリュッセル パリ	ケルン日本文化会館 ボサンブリュッセルスタジオ 日仏文化センター	株式会社バイタルアートボックス	講談。日本の講談（一龍斎貞水）とベルギーの弦楽四重奏（ルビオ・カルテット）とのコラボレーション。演目は合戦ものと怪談。字幕、解説付きで3都市にて公演

舞台芸術事業費

	事業名	期間	国	都市	会場	助成団体	事業内容
123	菊の会公演 「日本おどり」 伝統と創造	05.09.17 05.09.20 05.09.21	ドイツ チェコ	エルフルト ドレスデン プラハ	エルフルト 劇場 州立ドレス デン劇場 国立オペラ 座	踊集団菊の会	日本舞踊。「菊の会」が、古 典的なレパートリーを中心 に、欧州2カ国の各都市の 大劇場で公演
124	3カ国国際 アートプロ ジェクト「マッ ド・イン・ジャ パン」	05.10.02～ 05.10.05 05.09.25～ 05.09.29	ドイツ ロシア	ドレスデン サンクト・ ペテルブル グ	ザクセン州 財務局アト リウム ミュージッ クホール	土方巽記念ア スベスト館	舞踏。日本人舞踏家3名(玉 野黄市/山本萌/工藤大輝) によるソロ作品と、日ロ両 国のダンサーによるコラボ レーション作品を上演。演 出はDEREVOのアント ン・アダシンスキー
125	和楽器+1 東ドイツ公演	05.10.03 05.10.07	ドイツ	アナベルク アウエ	エドワー ド・フォ ン・ヴィン ターシュタ イン 文化会館	和楽器+1 東ドイツ公演	現代音楽。指揮者の高橋直 史の、ドイツのアナベルク 市立劇場の音楽監督代理へ の就任に際して、同地の オーケストラに日本から尺 八(柿崎香)、琵琶(中村鶴 城)を加え武満徹の作品「ノ ヴェンバー・ステップス」 を演奏
126	梅若研能会欧 州公演	05.10.28 05.11.03～ 05.11.04 05.11.05 05.11.06～ 05.11.07 05.11.08 05.10.30	ドイツ フランス ベルギー ラトビア	ケルン パリ ブリュッセ ル リエージュ ブリュッセ ル リガ	ケルンフィ ルハーモ ニー パリ日本文 化会館 王立楽器博 物館 グラン・マ ネージュ ミルク・ロ ワイヤル ナショナル シアター	財団法人梅若 研能会	能・狂言。梅若万三郎率い る27名の公演団による欧州 4カ国公演
127	日本の音のく いま>コン サート	05.11.03～ 05.11.05 05.11.07 05.11.10	ドイツ	ケルン ミュンヘン バンベルク	ケルン日本 文化会館 Munchener Kunstlerhaus Alten Rathaus Bamberg	現代日本伝統 音楽研究会	邦楽。日本の伝統音楽のレ クチャー・コンサートを行 なった演奏者は竹澤悦子、 西陽子、梶ヶ野亜生、山野 安珠美(箏)、岩田卓也、元 永拓(尺八)、茂手木潔子が 解説

	事業名	期間	国	都市	会場	助成団体	事業内容
128	“REM – The Black Cat”ベルリン公演	06.01.05 06.01.12～ 06.01.13 06.01.15 06.01.22	ドイツ	ベルリン	Zentrale Sophiensaele Eschschloraque Tacheles	メディアドラマ イブ ユニッ ト セル	メディア・ダンス・パフォーマンス。ベルリンのダンス・フェスティバル Tanztage Berlin 2006からの招へいにより、川口ゆい 振付・ダンスと、メディア・アートを組み合わせた作品『黒猫』（エドガーアラン・ポー作）を上演
129	ウルティマ・オスロ現代音楽祭	05.10.07 05.10.10 05.10.12	ノルウェー	オスロ	Lindemansalen Bla Parkteatret	デュオジャパン	現代音楽。ウルティマ・オスロ現代音楽祭の招待により、ピアニストの高橋アキ、コンピュータ音楽の作曲家三輪真弘、バイオリニストの辺見康孝各が現代音楽を演奏
130	オーロラ・フェスティバル	06.01.25	ノルウェー	トロムソ	Radhusplassen/Hakon Scene	おおたか静流	音楽。おおたか静流による わらべうた等、日本の伝承系の音楽作品の演奏のほか、現地の音楽グループとの共演も行なったオーロラ・フェスティバルからの招へい公演
131	日本フィンランド・アートイベント「ラ・バ」	05.06.08 05.06.11	フィンランド	ヘルシンキ バーサ	市立美術館 タイデ・ハーリ ギャラリー プラット ホーム	アートプロジェクト・エフ・プラス・エフ	パフォーマンス。パフォーマンスアートのグループがフィンランドにて公演とレクチャー、シンポジウムを行なった
132	喜多流・新作能「五輪書」訪欧公演	05.06.15～ 05.06.16 05.06.18 05.06.20～ 05.06.21	ポーランド フランス フランス	ワルシャワ エクサンブ ロバンス パリ	スタジオ アートセンター 狩野琇鵬能 楽堂 パリ日本文 化会館		能。宮本武蔵をテーマにした新作能『五輪書』をはじめとする公演
133	地点「Jericho」ツアー2005	05.04.20～ 05.04.23 05.05.23～ 05.05.25	フランス	パリ ディジョン	パリ日本文 化会館大 ホール Parvis st. Jean	地点	現代演劇。2003年に初演された作・松田正隆の2人芝居「Jerico エリコ」を、日本人とフランス人の俳優によって演じた。
134	パリ・アルタにおける狂言の指導。パリ日本文化会館およびアラス市での公演	05.04.27 05.04.29～ 05.04.30	フランス	アラス パリ	アラス・カ ジノ パリ日本文 化会館	茂山 七五三	狂言。茂山七五三らによる古典作品の上演、および ARTAでの「ユビュ王」等によるワークショップ

舞台芸術事業費

	事業名	期間	国	都市	会場	助成団体	事業内容
135	明和電機 パ リ カルティ エ・デテ 公 演	05.07.21～ 05.07.23	フランス	パリ	チュイル リー公園野 外特設劇場	明和電機	アートのようなオリジナル 楽器による演奏で人気の高 い「明和電機」が、パリの カルティエ・デテフェス ティバルに出演
136	乾燥と雨 Vol.2	05.11.01 05.11.07～ 05.11.10 05.11.15 05.11.17	オランダ フランス	グローニン ゲン パリ － アングレー ム	Grand Theatre of Groningen Theatre de la Ville La Coupole Theatre d'Angouleme	藤本 隆行	パフォーマンス。ベトナム とフランスに拠点を置く振 付家エア・ソーラによる新 作パフォーマンス 「Drought and Rain Vol.2」 に、LEDを使った照明デザ インにより藤本隆行が参 加。ベトナムのダンサー・ ミュージシャン、ドイツの 映像作家、日本の照明デザ イナー、フランスの技術ス タッフによる国際共同制作
137	藤間勘十郎舞 踊ワーク ショップおよ びデモンスト レーション	06.03.22～ 06.03.23	フランス	パリ	パリ日本文 化会館	伊藤事務所	日本舞踊。藤間流宗家の藤 間勘十郎による日本舞踊の ワークショップをパリの ARTAで実施。パトリッ ク・ドゥ・フォスのレク チャーにより歌舞伎舞踊の 歴史・概論も講義
138	川口隆夫パ フォーマンス 「D. D. D」	05.09.07 05.09.08	クロアチア	ザグレブ リエカ	現代アート ギャラリー HDLU Kuc Kalvarija 劇場	川口隆夫	パフォーマンス。倍音歌手 でビジュアル・アーティスト の山川冬樹と、「ダムタ イプ」メンバーでソロ活動 を展開している川口隆夫の コラボレーション作品をク ロアチア2都市で上演

	事業名	期間	国	都市	会場	助成団体	事業内容
139	小馬崎 達也 &PANGAEA バルカン諸国 &トルコ公演 2005	05.10.05 05.10.06 05.10.08 05.10.10 05.10.11 05.10.14 05.10.16 05.10.17 05.10.21 05.10.23 05.10.25 05.10.27 05.10.28 05.10.30	クロアチア セルビア・モンテネグロ ブルガリア トルコ	－ アーヴァイン ザグレブ リエカ ザダル － ベオグラード ノヴィ・サド ソフィア スタラ・ザゴラ イスタンブール アンカラ アンカラ イスタンブール	クラピナ Pucko otvoreno uciliste hall チャコベツ Center for Cultureや マハフェス ティバル Komediya theatre hall Multimedia centre, club "Palach" Croatian theatre house オシエック Croatia National Theatre, Osijek ベオグラード 国立劇場 ノヴィ・サ ド・セルビ ア国立劇場 ソフィア・ フィルハー モニーホール Stara Zagora Drama Theater ライヤ芸術 センター 土日基金文 化センター アナトリア 芸術高校 アカットラ ル文化セン ター	小馬崎 達也	音楽。ギター、和楽器、パーカッションなどに舞いを加えた「小馬崎達也 &PANGAEA」が東欧4カ国で公演。ギターの小馬崎達也のほか、舞踊の兎野とよらが出演

舞台芸術事業費

	事業名	期間	国	都市	会場	助成団体	事業内容
140	青年団国際演劇交流プロジェクト2005「フェードル」連続公演	06.03.30 06.03.28	クロアチア スロベニア	ザグレブ リュブリャナ	ザグレブ・ヤング・シアター スロベニア国立劇場リュブリャナ	有限会社アゴラ企画・青年団	現代演劇。フランス在住の演出家フランソワ＝ミッシェル・プザンティとの協働により、『フェードル』を上演
141	琴・尺八コンサート	06.02.26 06.02.27 06.02.22 06.02.24 06.02.19 06.02.20	セルビア・モンテネグロ ブルガリア ルーマニア	－ ノヴィ・サド ルセ ソフィア － ブカレスト	学生センター セルビア国立劇場 ルセ市民ホール ソフィア第18総合学校 トウルゴヴィシテ ブカレスト音楽学院	市川慎・菊地奈緒子・小湊昭尚トリオ	邦楽。琴奏者の市川慎、菊池奈緒子、尺八奏者の小湊昭尚のトリオが東欧3カ国7都市を巡回
142	ハイドン交響楽団演奏会	05.05.01	ハンガリー	ブダペスト	イタリア文化センター	服部 譲二	クラシック音楽。ヴァイオリニストの服部譲二が、ハンガリー人とオーストリア人から成るハイドン交響楽団と共演し、メンデルスゾーンの協奏曲を演奏。
143	天満敦子バイオリンコンサート	05.10.26 05.10.27 05.10.28 05.10.20 05.10.23 05.10.24	ブルガリア ルーマニア	ソフィア ブラショフ ブカレスト	ホスピス ミロサル ディエ ソフィア・フィルハーモニー 日本大使公邸 軍人会館 アテネ音楽堂 日本人学校	天満 敦子	クラシック音楽。ヴァイオリニストの天満敦子が、ルーマニアとブルガリアの計3都市で公演。現地オーケストラとの共演のほか、音楽大学、高齢者施設、日本人学校などでも演奏
144	山の手事情社ポーランド交流事業	05.10.03～ 05.10.04 05.10.07～ 05.10.08	ポーランド	クラクフ ワルシャワ	マンガセンター ドラマ劇場	山の手事情社	現代演劇。オリジナル作品『オイディプス@Tokyo』をポーランドで上演

	事業名	期間	国	都市	会場	助成団体	事業内容
145	伝統音楽コンサート「日本合奏団」公演	05.10.22 05.10.24 05.10.25 05.10.27 05.10.28 05.10.29 05.10.30 05.10.18 05.10.20	ポーランド トルコ	ウッチ プシェミシル - ビヤウイス トク オルシュ ティン - ワルシャワ チャナッカ レ イスタン ブール	ウッジ市民 会館 プシェミシ ル第2高校 音楽ホール ヤロスワ ヴ・ショパ ン音楽学校 市民文化セ ンター シンホニー ホール マルボルク 城ホール ポーランド 放送コン サートホー ル チャナッカ レ大学コン フェランス イスタン ブール宮殿 美術館／ミ マルシナン 芸術大学	NPO法人日 本箏曲楽会 「日本合奏団」	邦楽。箏を中心とする邦楽器の大規模なアンサンブル(箏/尺八/篠笛/琵琶/三味線など総勢30名)による公演。トルコ2都市、ポーランド8都市を巡回
146	リトアニアコンテンポラリーミュージックフェスティバル演奏団	05.11.13 05.11.14	リトアニア	カウナス ピリニエス	M. Zilinskas Art Gallery Lithuania music and drama academy hall	リトアニア コンテンポ ラリーミュ ジックフェ スティバル 演奏団	現代邦楽。箏と三味線の組み合わせにより、リトアニアの国際現代音楽祭Is Artiに参加。沢井忠夫、八重崎検校、宮城道雄などの作品のほか、オリジナル作品を演奏
147	社団法人稚内青年会議所創立50周年記念事業	05.09.11	ロシア	ユジノ・サ ハリンスク	サヒンセン ター前広場	社団法人稚 内青年会議 所	ロック・コンサート。日露修好150周年、ユジノサハリンスク市誕生150周年祭の一環として、稚内・ユジノサハリンスク両地域のボランティアも募り、ロックバンド「ザ・ブーム」の公演を実施

舞台芸術事業費

	事業名	期間	国	都市	会場	助成団体	事業内容
148	こまっちゃク レズマ ロシ アツアー	05.10.27 05.10.28 05.10.30	ロシア	サンクト・ ペテルブル グ モスクワ ニジニーノ ヴゴルド	プラット フォーマ DOM (ド ム) TYUZシ アター	梅津和時 KOMATCHA KLEZMER	クレズマ音楽。東欧ロシア の民衆音楽や、ジンタ、チ ンドンなどのテイストを織 り込んだ「クレズマ・バン ド」の演奏。民族音楽を テーマにしたロシアの新た いフェスティバル「クレズ マ・フェス」やヴィリニュ ス・ジャズ・フェスなどへ の招待公演
149	日露修好150 周年記念 日 本舞踊ロシア 公演・ワーク ショップ	05.11.08 05.11.13 05.11.14	ロシア	ウラジヴォ ストク ヤクーツク	芸術大学/ 青年劇場 国立歌劇場 国立高等音 楽院	藤間 蘭黄	日本舞踊。ヤクーツク市で は国立ヤクーツク歌劇場 オーケストラとの共演作品 『レクイエム』を上演する とともに、オムニバス形式 で有名作品のハイライトを 見せる「日本舞踊の世界」お よび素踊りに解説を加えた レク・デモを実施。ウラジ オストク市では、現地で結 成された日本舞踊愛好会の 活動を支援する目的で沿海 州青年劇場において『日本 舞踊の世界』公演等を行 なった
150	パラシュート ウーマン	05.09.25～ 05.09.26	エジプト	カイロ	Al Hanager Theatre	アリカ	パフォーマンス。身体表現 と音楽、映像、インスタレー ション。従業員1名という 極小のパラシュート工場で 働く女工の労働行為がモ チーフ。カイロ実験演劇祭 に参加
151	チュニジア・ モロッコ日本 太鼓公演	06.02.08 06.02.09 06.01.29 06.02.03 06.02.05 60.02.01	チュニジア モロッコ	チュニス スース ラバト マラケッ シュ カサブラン カ ラバト	チュニス市 立劇場 スース文化 センター 在モロッコ 大使公邸 マラケッ シュ文化会 館 トゥリア・ セアカット 総合福祉セ ンター モハメッド 5世劇場	財団法人日本 太鼓連盟	財団法人日本太鼓連盟が、 チュニジアおよびモロッコ と日本の外交樹立50周年を 記念する事業に参加。現地 の王立劇場、文化会館、野 外で演奏

	事業名	期間	国	都市	会場	助成団体	事業内容
152	楽劇「日本楽」	05.11.10～ 05.11.12	カメルーン	ヤウンデ	ヤウンデ大 学アンフィ シアター	日本カメル ン文化交流協 会	古典芸能。故野村万之丞が 提唱した楽劇『日本楽』の カメルーン公演。日本最古 の芸能「真伎楽」から「田 楽」、「狂言」、「歌舞伎」、「邦 楽・邦舞」まで日本の芸能 の流れを追う構成。万乃丞 のもとで狂言を学んだカメ ルーン人サミュエルが協力
153	美のフィール ドワーク vol. 2/西ア フリカ舞踊 キャラバン	06.02.10 06.02.18 06.02.19 06.02.21 06.02.22 06.02.23 06.02.12、 06.02.15	トーゴ ベナン	ロメ コトター	ESPACE ARENA Hotel Ibis Nassagne 野外劇場 カルチャー センター Denyigba ゲート・イ ンステイ トユート ESPACE ARENA CCFコト ヌウ フラ ンス文化セ ンター	オフィス・ パラディック ス・ケイ	舞踊。舞踏家としてこれま でアジアやアフリカ各地で 調査、レジデンス活動を行 なってきた桂勘が、西アフ リカトーゴの演劇祭に参 加。ノーベル賞作家ショイ ンカの作品を題材とした共 同制作に参加、その後他国 も巡回
154	渡辺貞夫グ ループ 南ア フリカ公演	05.10.16 05.10.19 05.10.21	南アフリカ	ケープ・タ ウン ポート・エ リザベス ヨハネス バーグ	West End Galaxy Centenary Hall Carnival city	有限会社 エ ム アンド エム スタジ オ	ジャズ。世界的に著名な サクソ奏者・渡辺貞夫が 率いるグループによる南ア フリカでの公演
155	Kバレエカン パニー中国公 演	06.01.19～ 06.01.20	中国	上海	上海大劇院	株式会社東急 文化村	舞踊。熊川哲也率いるKバ レエカンパニーによる上海 大劇院での公演。作品は 『ドン・キホーテ』。

舞台芸術事業費

2. 催し等事業費 (3) 海外公演 (PAJ北米)

日本の優れた舞台芸術作品を紹介することに尽力する、米国の非営利団体のみを申請資格者として、米国内で公募を行なっている助成プログラム。

合計額 41,345,058円

	事業名	期間	都市	事業内容
1	(H16) Working With the Next Generation of Japanese Performing Artists	05.01.30～ 06.02.13	ロサンゼルス	音楽。Hiroko Ito、Reiko Manabe、Toshimaru Nakamura、Otomo Yoshihideが、カリフォルニア大学に1週間滞在し、Rachel RudichやMark Trayle、Wadada Leo Smithら現地のアーティストと共同作成を実施。REDCATにてコンサートを開催し、コンサートの前には学生や聴衆に向けてのワークショップも実施
2	Kwaidan 3	05.04.01～ 06.03.31	東京/富山	人形劇。ピンチョン&カンパニーが、富山市民文化事業団とパートナーシップを結び、共同創作の相手として結城座の参加を得て、ステイーヴン・ヴィンセント・ベネーの短編小説『悪魔とダニエル・ウェブスター』に基づく新作を創作。2008年の初演を目指してレジデンシーを実施
3	What We When We	05.04.01～ 06.03.26	ニューヨーク /Marboro	コンテンポラリーダンス。余越保子が、世家真流（藤間流分家）の家元である世家真ますみの指導を受けながら、レイモンド・カーヴァーの『What We Talk About When We Talk About Love』を原作に歌舞伎の要素を取り入れた作品を共同制作。新作初演は、全5日とも満員
4	Mourning	05.04.01～ 06.03.31	ニューヨーク /フロリダ	コンテンポラリーダンス。Eiko & Komaが、カンボジア系アメリカ人のSam-Ang Samを作曲家に、カンボジアから若手のパフォーマーとヴィジュアル・アーティストを迎え、カンボジア、日本、アメリカそれぞれの特徴を取り入れながら共同制作を実施
5	NITTA OYAKO	05.04.12～ 05.05.07	アレンタウン /イーストン /Punxst/ インディアナ/ セント・ポール/ ブルーミントン/ ワシントンDC/ ニューヨーク /ウォーレン /Frostburg/ ハリスバーグ	三味線。津軽三味線の新田昌弘、新田弘志親子による初の米国ツアー
6	BoaC All-Stars Tour (featuring the work of Japanese Composers)	05.05.01～ 05.07.23	ノース・アダムス/ オロノ	室内楽。Bang on a Can All-Starsが平成14年度のPAJ共同制作プロジェクトで佐藤聡明に委嘱した作品『呪(しゅ)』を、日本文化の紹介が進んでいない地域にて公演を実施

	事業名	期間	都市	事業内容
7	US Tour of Kota Yamazaki's ensemble Fluid hug-hug	05.09.15～ 05.10.08	ポートランド / アルバカーキ / tempe (AZ) アリゾナ州	コンテンポラリーダンス。山崎広太と西村未奈によるFluid hug-hug Co.が、全米3都市にて、公演の他にワークショップやレジデンシーを実施
8	Handsome Blue Sky	05.09.24～ 05.10.12	ニューヨーク / ボルティモア / シカゴ / バンクーバー / ヒューストン	舞踏。室伏鴻とKo & Edge Co.による「Handsome Blue Sky (美貌の青空)」の5都市巡回公演にて、これまでヨーロッパ、中南米を中心に活動してきた同氏を北米に紹介。ニューヨークでは舞踏フェスティバルに参加
9	Kenny Endo Taiko Ensemble East & West	05.10.11～ 05.11.17	ホノルル / Kamuela / ヒロ / Lihue / カフルイ / グリーンズボロ / カレッジ・パーク / フィラデルフィア / スワスマア / サラトガ・スプリングズ / Schenectady / スタンフォード / ポモナ / ロサンゼルス / クレアモント / ブランズウィック	和太鼓。ケニー遠藤の活動30周年を記念し、日米の音楽家と共に全米各地に巡回するコンサートツアーを実施。日本の伝統的な音楽スタイルと同時に現代的な共同制作曲も披露
10	Pappa Tarahumara Tour	06.01.30～ 05.02.25	ロサンゼルス / アナーバー / コロンバス / オタワ / トロント	コンテンポラリーダンス。「船を見る」の米国・カナダ5都市ツアー。本ツアーでは、教育アウトリーチ活動を実施
11	Yukimi Kambe Viol Consort	06.03.10～ 06.04.08	シアトル / バークレー / サンタ・クルーズ / ミルウォーキー / コロンバス / ケンブリッジ / Tucson / ハリファックス (カナダ) / トロント (カナダ) / アトランタ / ニューヘイヴン	室内楽。ヴィオラ・ダ・ガンバ奏者の神部愉樹美が、小規模都市を中心として11カ所におよぶ巡回公演を行なった。公演の他、日本で独自の発達をしたヴィオラ・ダ・ガンバに関するアウトリーチ活動も実施

舞台芸術事業費

	事業名	期間	都市	事業内容
12	(H16) Kuan-Yin: Our Lady of Compassion	06.03.16～ 06.03.25	ホノルル/ Lihne/ ヒロ	雅楽+ジャズ。言葉、物語、雅楽、能、舞楽舞踊、ジャズを組み合わせた国際共同制作作品「Kuan-Yin: Our Lady of Compassion」の巡回公演

2. 催し等事業費 (4)国際舞台芸術共同制作

海外の舞台関係者と日本側が、海外または日本において共同で作品を制作し公演を実施する。

合計額 15,968,096円

	事業名	国	都市	会場	期間	共催者	事業内容
1	Dream Regime, Tokyo「夢」 の体制	全世界区分困難	東京	国際交流基金フォーラム	05.12.03～ 05.12.04	劇団解体社	「舞台芸術とグローバリゼーション」をテーマに欧米、アジア諸国のアーティストが参加し、2004年1月から開始した事業。英国、ドイツ、東ティモール、ヨルダンの順に4カ国でワークショップを行ない、深まった議論と理解を土台に参加者が東京に集まり、約3週間にわたるワークショップの末、2005年12月に舞台作品を完成・発表した
2	日豪コンテンポラリーダンス	オーストラリア	シドニー メルボルン	オペラハウススタジオ インターナショナルフェスティバル	05.04.01～ 06.03.31 05.04.01～ 06.03.31	—	日豪交流年を記念して、日本とオーストラリアの若手振付家およびダンサー数組が、それぞれの国を訪問し、レジデンシー、ワークショップを行なった。その後、両国で共同制作作品として上演。日本からは、黒田育世、Batik、山崎浩太、珍しいキノコ舞踊団などが参加

	事業名	国	都市	会場	期間	共催者	事業内容
3	ドラマ・リーディング「父と暮せば」(カナダ)	カナダ	オタワ トロント	ナショナル・アーツ・センター内 フォース・ステージ トロント日系文化会館 トロント大学 トロント日本文化センター ヨーク大学	05.06.15 05.11.09 05.11.08 05.08.06～ 05.08.09 05.11.03	クローズシアター	現代戯曲翻訳プロジェクトで取り上げた作品、井上ひさし作『父と暮せば』のドラマ・リーディング。制作は、クローズ・シアターによる
4	ムッソン・デテ(フランス)川村毅ドラマリーディング	フランス	ロレーヌ	ムッソン・デテ・フェスティバル	05.08.15～ 05.09.10	-	ロレーヌ地方で8月に開催される戯曲フェスティバルに、劇作家川村毅を派遣し、同氏の『AOI』を川村の演出とフェスティバル座付きの劇団によりドラマリーディングの形式で上演

2. 催し等事業費 (5)国内公演 (主催)

日本国内においてあまり知られていない国・地域の舞台芸術・芸能を、主催または共催により日本に紹介する。
合計額 8,685,496円

	事業名	国	都市	会場	期間	共催者	事業内容
1	みどりと平和のコンサート	韓国/ロシア	東京	青山学院大学ガウチャーホール	05.11.12	青山学院大学	日韓露のクラシック音楽演奏家によるチャリティー・コンサートを開催。出演者は村治佳織(ギター)、李京美(ピアノ)、セルゲイ・ロードゥギン(チェロ)他
2	韓国室内楽	韓国	神戸市 東京	神戸新聞松方ホール 第一生命ホール	05.11.21 05.11.24	韓国国際交流財団/トリトン・アーツ・ネットワーク/神戸新聞文化財団	韓国の弦楽アンサンブル、ファウム・チェンバー・オーケストラによる室内楽公演を実施。日韓友情年参加事業
3	スリランカ伝統音楽公演	スリランカ	東京都その他	国際交流基金フォーラム	05.05.06	在京スリランカ大使館	在京スリランカ大使館の主催により、スリランカの誇るプランディット・アマルデーバのコンサートを開催。

舞台芸術事業費

	事業名	国	都市	会場	期間	共催者	事業内容
4	宮沢バンド凱旋公演	欧州区分困難	東京都	リキッドルーム	05.04.20	ファイブデー株式会社（主催）	2004年度国際交流基金主催事業「宮沢バンド欧州公演」の日本での凱旋公演として、MIYAZAWA SICK BANDと欧州ツアーの共演者（ロシア/フランス/ポーランド）との合同公演を実施
5	外国人向け能公演	全世界区分困難	東京都その他	国立能楽堂	06.02.12	特定非営利法人せんす	首都圏を中心とする在留外国人向けに浅見慈一（シテ）ら出演の能『葵上』、高澤祐介（シテ）ら出演の狂言『棒縛り』の2作品を上演

2. 催し等事業費 (6) 国内公演（助成）

ODA対象国（アジア・東欧については全域）の公演団体による、演劇、音楽、舞踊、民族芸能等の日本国内での公演（日本の芸術家との国際共同制作を含む）について、国内の受入団体に対して経費の一部を助成する。

合計額 31,748,000円

	事業名	期間	公演団国	助成団体	事業内容
1	日韓友情年記念市民交流公演	05.08.03～ 05.08.08	韓国	いいだ人形劇フェスタ実行委員会	人形劇。韓国の昔話や最も現代的な韓国の人形劇を上演。高齢者による「シルバー人形劇」など3グループ、総勢40人
2	第9回アジア小劇場演劇ネットワーク東京公演・アリスフェスティバル2005	05.12.20～ 06.02.10	韓国/中国/イラク	特定非営利活動法人同時代演劇の研究と創造を結ぶアクティビティ タイ	現代演劇。第9回目となるアジア小劇場演劇ネットワーク東京公演として、韓国、中国、イラクの公演団を招へいし、アリスフェスティバルで公演を行なった
3	日韓友好40周年記念日韓友情年ダンスコラボレーションプロジェクト	05.10.09～ 05.10.15	韓国	株式会社アングリエイティブ	コンテンポラリーダンス。若者文化に強く支持されている両国の2つのダンスカンパニー、東京のコンドルズとソウルのハンダンスカンパニーがコラボレーションを計画し、実演
4	フィジカルシアターフェスティバル イン スタアハウス	05.11.09～ 05.11.14	韓国/インドネシア/タイ	フィジカルシアターフェスティバル実行委員会	現代演劇。インドネシア、タイ、韓国、日本の劇団による公演を行なったもので、「21世紀の演劇における身体をめぐる」をテーマに座談会なども開催
5	プレゼンス-2006-	06.02.01～ 06.03.06	香港	アーキタンツ東京湾スタジオ	コンテンポラリーダンス。香港を拠点にアジア各国で活動している振付家ユーリ・ンによる新作と再演を行なった。クラシックバレエを基盤としたコンテンポラリーなダンス

	事業名	期間	公演団国	助成団体	事業内容
6	国際共同制作ダンス・プロジェクト「気配の探求」Ⅲ「森の物語」および他公演	05.07.21～ 05.09.12	インドネシア /セルビア・ モンテネグロ /チェコ/ロシア	舞踏資源研究所	舞踏。田中浜と現代日本の舞踏の専門家により、日本の「舞踏」について総合的に講義とデモンストレーションを行なった。ロシア、セルビア、ハンガリー等から舞踏家を招へいして行なった第1、2段階に続き、今回はインドネシア等も加え計9カ国陣営による第3弾公演を行なった
7	第5回アジア・ミーツ・アジア2005	05.10.13～ 05.10.24	カンボジア/ アフガニスタン/ キルギスタン	アジア・ミーツ・アジア実行委員会	現代演劇。日本に今まで紹介されてこなかった、アフガニスタン、キルギス、カンボジア等アジアの多様な地域や、アジア外に住むアジア人を中心に招へいし、上演、交流活動を実施
8	国際芸術カーニバル2005-『七人みさき』多国語版公演	05.06.16～ 05.07.15	シンガポール /マレーシア/ インド/オーストラリア	特定非営利活動法人国際舞台芸術交流センター	現代演劇。国際共同制作。秋元松代脚本の『七人のみさき』をテキストに、ニールム・チョウドリー演出、シンガポール、マレーシア、インド、オーストラリアおよび日本の役者による多言語リーディング公演。3年計画事業の2年目
9	南インド・クーリヤットム日本公演	05.07.29～ 05.08.15	インド	クーリヤットム日本上演委員会	民族芸能。南インド・ケララ州に現存する世界最古のサンスクリット劇クーリヤットムの全国ツアー。クーリヤットムは1988年、1997年等に日本公演の実績があるが、今回のメインは「ダンス白州」での『シャクンタラー姫』（2001年に復刻劇）の連続4晚上演（日本初）
10	世界合唱の祭典・京都（第7回世界合唱シンポジウム）	05.07.27～ 05.08.11	キューバ/グアテマラ/ロシア	社団法人全日本合唱連盟	合唱。世界の第一線で活躍する内外の合唱34団体・講師30名（60カ国・地域）を招き、13のコンサートと41のワークショップ・セミナーを実施。3年に1度開かれる祭典であるが、アジア地域での開催は初めてであった。キューバのエントレヴォーセズ、グアテマラのビクトリア合唱団、ロシアのヴォーカルアンサンブル・アニマを招へいした
11	日本・コスタリカ国交70周年記念「コスタリカ国立交響楽団」2005年・日本公演	05.09.06～ 05.09.14	コスタリカ	日本・コスタリカ国交70周年記念事業実行委員会	クラシック音楽。日本・コスタリカ国交70周年記念事業として、小松長生が芸術監督・指揮をつとめるコスタリカ国立交響楽団によるクラシック演奏の公演を国内4都市で実施
12	日独共同創造演劇プロジェクト『四谷怪談』	05.08.05～ 05.08.14	ドイツ	有限会社エディター・プロダクツ	ドイツ語圏を中心に活躍する演出家ヨッシ・ヴィーラーが、日本の俳優、スタッフとの共同作業により、鶴屋南北『東海道四谷怪談』をテキストとした新作を制作する。日本におけるドイツ年参加事業
13	JADE2006 海外招へい公演「FAGAALA」(Jant-Biカンパニー)	06.03.18～ 06.03.23	セネガル	JADE実行委員会	コンテンポラリーダンス。山崎広太とアフリカダンスセンター（セネガル）のジャンメイ・アコギーとの共同振り付け作品。ルワンダのジェノサイドをモチーフに他国先国のダンサーが参加した作品。アコギーが2000年に国際交流基金招へいで来日し、山崎が現地で長期滞在して製作した

舞台芸術事業費

	事業名	期間	公演団国	助成団体	事業内容
14	マリ共和国 ドゴン族の仮面舞踊	05.07.11～ 05.07.14	マリ	財団法人アリオ ン音楽財団	民族舞踊。マリのドゴン族の仮面舞踊。第21回「東京の夏音楽祭」(テーマは「宇宙・音楽・心」)に参加。ドゴン族はマリのバンディアガラ(ユネスコ世界遺産)に住む民族で、天文学的な知識のもとに成立した儀式としての仮面舞踊を上演。初来日

2. 催し等事業費 (7)国内公演(主催)(中東)

日本国内においてあまり知られていない国・地域の舞台芸術・芸能を、主催または共催により日本に紹介する。
合計額 43,291,414円

	事業名	国	都市	会場	期間	共催者	事業内容
1	中東現代演劇	中東地域区分 困難	東京	にしすがも 創造舎	06.03.01～ 06.03.16	東京国際芸術 祭2006	イスラエルのダンスカンパニー「ヤスミン・ゴデール」とクウェートの「スレイマン・アルパッサム・シアターカンパニー」招へい公演を実施
2	チュニジア伝 統音楽	チュニジア	東京 岐阜 京都 大阪	丸ビルホール 岐阜県民 ふれあい会 館サラマン カホール 京都市北文 化会館 河内長野市 立文化会館 ラプリー ホール・小 ホール	06.03.18～ 06.03.26	ラプリーホー ル	地中海アラブ地域の音楽を日本で紹介するシリーズの第2弾として、チュニジアの国民的歌手で国内外で活躍するロトフィ・ブシュナクを招へい。日本国内各地で公演

2. 催し等事業費 (8)舞台芸術情報交流(催し)

国内外の舞台芸術団体、プレゼンター、フェスティバル実施団体、劇場、地方公共団体間の情報交流促進を図る。
合計額 38,318,655円

	事業名	国	期間	共催者	事業内容
1	舞台芸術ウェブ サイト	全世界区分困 難	05.04.01～ 06.03.31	株式会社文化科 学研究所	日本の舞台芸術情報の海外への発信、海外フェスティバル等の情報の国内への提供を目的とした、舞台芸術専門ウェブサイト運営。日英二言語の月刊ウェブマガジンとして情報を発信

	事業名	国	期間	共催者	事業内容
2	伝統芸能海外公演研究会	全世界区分困難	05.04.01～ 06.03.31	早稲田大学演劇博物館/法政大学能楽研究所/財団法人国際文化交流推進協会	早稲田大学演劇博物館や法政大学能楽研究所との共同により、歌舞伎と能という2つの伝統芸能の海外公演について、調査研究を実施
3	邦楽ブックレット	全世界区分困難	05.04.01～ 06.03.31	有限会社邦楽ジャーナル	邦楽の若手アーティストを紹介する英文冊子を作成。芸術見本市等で海外の舞台芸術プレゼンターに配布することにより、邦楽の海外公演の促進を図った。舞台芸術ウェブサイトと連携し、冊子で紹介する情報をインターネットでも発信
4	ASEFダンスフォーラム	全世界区分困難	05.09.06～ 05.09.13	アジア欧州基金	シンガポールを拠点とするアジア欧州基金が文化交流を目的として毎年開催しているイベント「ダンスフォーラム」の第3回目として、「ダンスとメディアにおけるドラマトゥルク・演出家の役割」をテーマに17カ国・地域より23名のダンサー・振付家を東京に集め、ワークショップを通じてメディアとダンスを融合した実験的な作品を作ることを目指した
5	東京芸術見本市2005	全世界区分困難	05.09.12～ 05.09.15	財団法人地域創造/NPO国際舞台芸術交流センター	舞台芸術の公演者とホール関係者が一同に集い、良質な作品を効率よく提供することで、国内外における舞台芸術の活性化を図るため、財団法人地域創造および特定非営利活動法人国際舞台芸術交流センターと共催し、東京芸術見本市を開催
6	米国・中西部見本市/パフォーミング・アーツ・エキステージ	米国	05.09.14～ 05.09.24	-	米国においては、東部・西海岸地域では日本に関する情報が比較的豊富であるが、中西部および南部地域では日本に関する情報自体が不足しているのが現状である。中西部、南部の舞台関係者が一同に会する見本市において、現地のプレゼンター等の舞台芸術関係者を対象に、ブースを出展し、日本の舞台芸術に関する各種の照会に対応

2. 催し等事業費 (9) 「愛・地球博」 途上国支援事業

愛知万博に参加する一部の途上国が行なう公演事業の経費の一部を支援する。

合計額 326,543,446円

	事業名	都市	期間	助成団体	事業内容
1	公演助成事業(モンゴル)	長久手町ほか	05.05.27	財団法人2005年日本国際博覧会協会	愛・地球博において、参加国が自国の芸能文化を紹介するナショナルデーに出演する公演団に対する助成を行なった。モンゴルは5月27日がナショナルデーに指定されており、民族舞踊などを披露した

舞台芸術事業費

	事業名	都市	期間	助成団体	事業内容
2	公演助成事業 (インドネシア)	長久手町ほか	05.08.17	財団法人2005年 日本国際博覧会 協会	愛・地球博において、参加国が自国の芸能文化を紹介するナショナルデーに出演する公演団に対する助成を行なった。インドネシアは8月17日がナショナルデーに指定されており、民族舞踊などを披露した
3	公演助成事業 (カンボジア)	長久手町ほか	05.05.10	財団法人2005年 日本国際博覧会 協会	愛・地球博において、参加国が自国の芸能文化を紹介するナショナルデーに出演する公演団に対する助成を行なった。カンボジアは5月10日がナショナルデーに指定されており、民族舞踊などを披露した
4	公演助成事業 (ベトナム)	長久手町ほか	05.09.05	財団法人2005年 日本国際博覧会 協会	愛・地球博において、参加国が自国の芸能文化を紹介するナショナルデーに出演する公演団に対する助成を行なった。ベトナムは9月5日がナショナルデーに指定されており、民族舞踊などを披露した
5	公演助成事業 (ラオス)	長久手町ほか	05.06.13	財団法人2005年 日本国際博覧会 協会	愛・地球博において、参加国が自国の芸能文化を紹介するナショナルデーに出演する公演団に対する助成を行なった。ラオスは6月13日がナショナルデーに指定されており、民族舞踊などを披露した
6	公演助成事業 (ネパール)	長久手町ほか	05.07.07	財団法人2005年 日本国際博覧会 協会	愛・地球博において、参加国が自国の芸能文化を紹介するナショナルデーに出演する公演団に対する助成を行なった。ネパールは7月7日がナショナルデーに指定されており、民族舞踊などを披露した
7	公演助成事業 (パキスタン)	長久手町ほか	05.08.11	財団法人2005年 日本国際博覧会 協会	愛・地球博において、参加国が自国の芸能文化を紹介するナショナルデーに出演する公演団に対する助成を行なった。パキスタンは8月11日がナショナルデーに指定されており、民族舞踊などを披露した
8	公演助成事業 (バングラディ シュ)	長久手町ほか	05.06.09	財団法人2005年 日本国際博覧会 協会	愛・地球博において、参加国が自国の芸能文化を紹介するナショナルデーに出演する公演団に対する助成を行なった。バングラディシュは6月9日がナショナルデーに指定されており、民族舞踊などを披露した
9	公演助成事業 (ブータン)	長久手町ほか	05.06.02	財団法人2005年 日本国際博覧会 協会	愛・地球博において、参加国が自国の芸能文化を紹介するナショナルデーに出演する公演団に対する助成を行なった。ブータンは6月2日がナショナルデーに指定されており、民族舞踊などを披露した
10	公演助成事業 (キリバス)	長久手町ほか	05.08.15	財団法人2005年 日本国際博覧会 協会	愛・地球博において、参加国が自国の芸能文化を紹介するナショナルデーに出演する公演団に対する助成を行なった。キリバスは8月15日がナショナルデーに指定されており、民族舞踊などを披露した

	事業名	都市	期間	助成団体	事業内容
11	公演助成事業 (サモア)	長久手町ほか	05.08.30	財団法人2005年 日本国際博覧会 協会	愛・地球博において、参加国が自国の芸能文化を紹介するナショナルデーに出演する公演団に対する助成を行なった。サモアは8月30日がナショナルデーに指定されており、民族舞踊などを披露した
12	公演助成事業 (ソロモン)	長久手町ほか	05.07.13	財団法人2005年 日本国際博覧会 協会	愛・地球博において、参加国が自国の芸能文化を紹介するナショナルデーに出演する公演団に対する助成を行なった。ソロモンは7月13日がナショナルデーに指定されており、民族舞踊などを披露した
13	公演助成事業 (ツバル)	長久手町ほか	05.08.15	財団法人2005年 日本国際博覧会 協会	愛・地球博において、参加国が自国の芸能文化を紹介するナショナルデーに出演する公演団に対する助成を行なった。ツバルは8月15日がナショナルデーに指定されており、民族舞踊などを披露した
14	公演助成事業 (バヌアツ)	長久手町ほか	05.08.01	財団法人2005年 日本国際博覧会 協会	愛・地球博において、参加国が自国の芸能文化を紹介するナショナルデーに出演する公演団に対する助成を行なった。バヌアツは8月1日がナショナルデーに指定されており、民族舞踊などを披露した
15	公演助成事業 (パプアニュー ギニア)	長久手町ほか	05.09.16	財団法人2005年 日本国際博覧会 協会	愛・地球博において、参加国が自国の芸能文化を紹介するナショナルデーに出演する公演団に対する助成を行なった。パプアニューギニアは9月16日がナショナルデーに指定されており、民族舞踊などを披露した
16	公演助成事業 (ニカラグア)	長久手町ほか	05.08.19	財団法人2005年 日本国際博覧会 協会	愛・地球博において、参加国が自国の芸能文化を紹介するナショナルデーに出演する公演団に対する助成を行なった。ニカラグアは8月19日がナショナルデーに指定されており、民族舞踊などを披露した
17	公演助成事業 (アゼルバイ ジャン)	長久手町ほか	05.05.17	財団法人2005年 日本国際博覧会 協会	愛・地球博において、参加国が自国の芸能文化を紹介するナショナルデーに出演する公演団に対する助成を行なった。アゼルバイジャンは5月17日がナショナルデーに指定されており、民族舞踊などを披露した
18	公演助成事業 (アルメニア)	長久手町ほか	05.06.07	財団法人2005年 日本国際博覧会 協会	愛・地球博において、参加国が自国の芸能文化を紹介するナショナルデーに出演する公演団に対する助成を行なった。アルメニアは6月7日がナショナルデーに指定されており、民族舞踊などを披露した
19	公演助成事業 (ウクライナ)	長久手町ほか	05.08.24	財団法人2005年 日本国際博覧会 協会	愛・地球博において、参加国が自国の芸能文化を紹介するナショナルデーに出演する公演団に対する助成を行なった。ウクライナは8月24日がナショナルデーに指定されており、民族舞踊などを披露した

舞台芸術事業費

	事業名	都市	期間	助成団体	事業内容
20	公演助成事業 (ウズベキスタン)	長久手町ほか	05.09.08	財団法人2005年 日本国際博覧会 協会	愛・地球博において、参加国が自国の芸能文化を紹介するナショナルデーに出演する公演団に対する助成を行なった。ウズベキスタンは9月8日がナショナルデーに指定されており、民族舞踊などを披露した
21	公演助成事業 (キルギス)	長久手町ほか	05.08.04	財団法人2005年 日本国際博覧会 協会	愛・地球博において、参加国が自国の芸能文化を紹介するナショナルデーに出演する公演団に対する助成を行なった。キルギスは8月4日がナショナルデーに指定されており、民族舞踊などを披露した
22	公演助成事業 (グルジア)	長久手町ほか	05.09.22	財団法人2005年 日本国際博覧会 協会	愛・地球博において、参加国が自国の芸能文化を紹介するナショナルデーに出演する公演団に対する助成を行なった。グルジアは9月22日がナショナルデーに指定されており、民族舞踊などを披露した
23	公演助成事業 (タジキスタン)	長久手町ほか	05.09.13	財団法人2005年 日本国際博覧会 協会	愛・地球博において、参加国が自国の芸能文化を紹介するナショナルデーに出演する公演団に対する助成を行なった。タジキスタンは9月13日がナショナルデーに指定されており、民族舞踊などを披露した
24	公演助成事業 (イエメン)	長久手町ほか	05.05.23	財団法人2005年 日本国際博覧会 協会	愛・地球博において、参加国が自国の芸能文化を紹介するナショナルデーに出演する公演団に対する助成を行なった。イエメンは5月23日がナショナルデーに指定されており、民族舞踊などを披露した
25	公演助成事業 (スーダン)	長久手町ほか	05.08.16	財団法人2005年 日本国際博覧会 協会	愛・地球博において、参加国が自国の芸能文化を紹介するナショナルデーに出演する公演団に対する助成を行なった。スーダンは8月16日がナショナルデーに指定されており、民族舞踊などを披露した
26	公演助成事業 (アンゴラ)	長久手町ほか	05.09.06	財団法人2005年 日本国際博覧会 協会	愛・地球博において、参加国が自国の芸能文化を紹介するナショナルデーに出演する公演団に対する助成を行なった。アンゴラは9月6日がナショナルデーに指定されており、民族舞踊などを披露した
27	公演助成事業 (ウガンダ)	長久手町ほか	05.09.07	財団法人2005年 日本国際博覧会 協会	愛・地球博において、参加国が自国の芸能文化を紹介するナショナルデーに出演する公演団に対する助成を行なった。ウガンダは9月7日がナショナルデーに指定されており、民族舞踊などを披露した
28	公演助成事業 (エチオピア)	長久手町ほか	05.05.16	財団法人2005年 日本国際博覧会 協会	愛・地球博において、参加国が自国の芸能文化を紹介するナショナルデーに出演する公演団に対する助成を行なった。エチオピアは5月16日がナショナルデーに指定されており、民族舞踊などを披露した

	事業名	都市	期間	助成団体	事業内容
29	公演助成事業 (エリトリア)	長久手町ほか	05.06.10	財団法人2005年 日本国際博覧会 協会	愛・地球博において、参加国が自国の芸能文化を紹介するナショナルデーに出演する公演団に対する助成を行なった。エリトリアは6月10日がナショナルデーに指定されており、民族舞踊などを披露した
30	公演助成事業 (ガーナ)	長久手町ほか	05.06.30	財団法人2005年 日本国際博覧会 協会	愛・地球博において、参加国が自国の芸能文化を紹介するナショナルデーに出演する公演団に対する助成を行なった。ガーナは6月30日がナショナルデーに指定されており、民族舞踊などを披露した
31	公演助成事業 (カメルーン)	長久手町ほか	05.06.21	財団法人2005年 日本国際博覧会 協会	愛・地球博において、参加国が自国の芸能文化を紹介するナショナルデーに出演する公演団に対する助成を行なった。カメルーンは6月21日がナショナルデーに指定されており、民族舞踊などを披露した
32	公演助成事業 (ギニア)	長久手町ほか	05.08.26	財団法人2005年 日本国際博覧会 協会	愛・地球博において、参加国が自国の芸能文化を紹介するナショナルデーに出演する公演団に対する助成を行なった。ギニアは8月26日がナショナルデーに指定されており、民族舞踊などを披露した
33	公演助成事業 (ケニア)	長久手町ほか	05.08.18	財団法人2005年 日本国際博覧会 協会	愛・地球博において、参加国が自国の芸能文化を紹介するナショナルデーに出演する公演団に対する助成を行なった。ケニアは8月18日がナショナルデーに指定されており、民族舞踊などを披露した
34	公演助成事業 (コンゴ民主共和国)	長久手町ほか	05.05.31	財団法人2005年 日本国際博覧会 協会	愛・地球博において、参加国が自国の芸能文化を紹介するナショナルデーに出演する公演団に対する助成を行なった。コンゴ民主共和国は5月31日がナショナルデーに指定されており、民族舞踊などを披露した
35	公演助成事業 (ザンビア)	長久手町ほか	05.07.19	財団法人2005年 日本国際博覧会 協会	愛・地球博において、参加国が自国の芸能文化を紹介するナショナルデーに出演する公演団に対する助成を行なった。ザンビアは7月19日がナショナルデーに指定されており、民族舞踊などを披露した
36	公演助成事業 (ジンバブエ)	長久手町ほか	05.04.18	財団法人2005年 日本国際博覧会 協会	愛・地球博において、参加国が自国の芸能文化を紹介するナショナルデーに出演する公演団に対する助成を行なった。ジンバブエは4月18日がナショナルデーに指定されており、伝統音楽、民族舞踊などを披露した
37	公演助成事業 (セネガル)	長久手町ほか	05.04.08	財団法人2005年 日本国際博覧会 協会	愛・地球博において、参加国が自国の芸能文化を紹介するナショナルデーに出演する公演団に対する助成を行なった。セネガルは4月8日がナショナルデーに指定されており、民族舞踊などを披露した

舞台芸術事業費

	事業名	都市	期間	助成団体	事業内容
38	公演助成事業 (タンザニア)	長久手町ほか	05.05.26	財団法人2005年 日本国際博覧会 協会	愛・地球博において、参加国が自国の芸能文化を紹介するナショナルデーに出演する公演団に対する助成を行なった。タンザニアは5月26日がナショナルデーに指定されており、民族舞踊などを披露した
39	公演助成事業 (チャド)	長久手町ほか	05.09.03	財団法人2005年 日本国際博覧会 協会	愛・地球博において、参加国が自国の芸能文化を紹介するナショナルデーに出演する公演団に対する助成を行なうが、チャドは当初予定されていたナショナルデーに参加できなかったため、8月30日に改めて来日し、9月3日にイベントスペースで民族舞踊などを披露した
40	公演助成事業 (ナイジェリア)	長久手町ほか	05.08.23	財団法人2005年 日本国際博覧会 協会	愛・地球博において、参加国が自国の芸能文化を紹介するナショナルデーに出演する公演団に対する助成を行なった。ナイジェリアは8月23日がナショナルデーに指定されており、民族舞踊などを披露した
41	公演助成事業 (ブルキナファソ)	長久手町ほか	05.06.16	財団法人2005年 日本国際博覧会 協会	愛・地球博において、参加国が自国の芸能文化を紹介するナショナルデーに出演する公演団に対する助成を行なった。ブルキナファソは6月16日がナショナルデーに指定されており、民族舞踊などを披露した
42	公演助成事業 (ブルンジ)	長久手町ほか	05.09.12	財団法人2005年 日本国際博覧会 協会	愛・地球博において、参加国が自国の芸能文化を紹介するナショナルデーに出演する公演団に対する助成を行なった。ブルンジは9月12日がナショナルデーに指定されており、民族舞踊などを披露した
43	公演助成事業 (ベナン)	長久手町ほか	05.09.21	財団法人2005年 日本国際博覧会 協会	愛・地球博において、参加国が自国の芸能文化を紹介するナショナルデーに出演する公演団に対する助成を行なった。ベナンは9月21日がナショナルデーに指定されており、民族舞踊などを披露した
44	公演助成事業 (マダガスカル)	長久手町ほか	05.05.30	財団法人2005年 日本国際博覧会 協会	愛・地球博において、参加国が自国の芸能文化を紹介するナショナルデーに出演する公演団に対する助成を行なった。マダガスカルは5月30日がナショナルデーに指定されており、民族舞踊などを披露した
45	公演助成事業 (マリ)	長久手町ほか	05.09.01	財団法人2005年 日本国際博覧会 協会	愛・地球博において、参加国が自国の芸能文化を紹介するナショナルデーに出演する公演団に対する助成を行なった。マリは9月1日がナショナルデーに指定されており、民族舞踊などを披露した
46	公演助成事業 (モーリタニア)	長久手町ほか	05.07.14	財団法人2005年 日本国際博覧会 協会	愛・地球博において、参加国が自国の芸能文化を紹介するナショナルデーに出演する公演団に対する助成を行なった。モーリタニアは7月14日がナショナルデーに指定されており、民族舞踊などを披露した

	事業名	都市	期間	助成団体	事業内容
47	公演助成事業 (ルワンダ)	長久手町ほか	05.06.10	財団法人2005年 日本国際博覧会 協会	愛・地球博において、参加国が自国の芸能文化を紹介するナショナルデーに出演する公演団に対する助成を行なった。ルワンダは6月10日がナショナルデーに指定されており、民族舞踊などを披露した
48	公演助成事業 (コートジボ アール)	長久手町ほか	05.08.03	財団法人2005年 日本国際博覧会 協会	愛・地球博において、参加国が自国の芸能文化を紹介するナショナルデーに出演する公演団に対する助成を行なった。コートジボアールは8月3日がナショナルデーに指定されており、民族舞踊などを披露した
49	公演助成事業 (コンゴ共和国)	長久手町ほか	05.09.14	財団法人2005年 日本国際博覧会 協会	愛・地球博において、参加国が自国の芸能文化を紹介するナショナルデーに出演する公演団に対する助成を行なった。コンゴ共和国は9月14日がナショナルデーに指定されており、民族舞踊などを披露した
50	公演助成事業 (サントメプリ ンシペ)	長久手町ほか	05.07.21	財団法人2005年 日本国際博覧会 協会	愛・地球博において、参加国が自国の芸能文化を紹介するナショナルデーに出演する公演団に対する助成を行なった。サントメプリンシペは7月21日がナショナルデーに指定されており、民族舞踊などを披露した
51	公演助成事業 (ジブチ)	長久手町ほか	05.06.28	財団法人2005年 日本国際博覧会 協会	愛・地球博において、参加国が自国の芸能文化を紹介するナショナルデーに出演する公演団に対する助成を行なった。ジブチは6月28日がナショナルデーに指定されており、民族舞踊などを披露した

文化芸術交流事業に必要な経費

映像出版事業費

1. 人物交流事業費

- (1) 映像出版情報交流（招へい）

2. 催し等事業費

- (1) 海外日本映画祭（主催）
- (2) 海外日本映画祭（助成）
- (3) 国内映画祭（主催）
- (4) 国内映画祭（助成）
- (5) 国内映画祭（主催）（AC）
- (6) 国内映画祭（主催）（中東）
- (7) 映画出版情報交流（催し）

3. 文化資料事業費

- (1) テレビ番組交流促進
- (2) フィルムライブラリー充実（本部）
- (3) フィルムライブラリー充実（海外）
- (4) 映画・テレビ番組制作協力
- (5) 出版・翻訳協力（特別）
- (6) 出版・翻訳協力（一般）
- (7) 国際図書展参加
- (8) 映像出版情報交流（文化資料）

1. 人物交流事業費	(1)映像出版情報交流（招へい）
------------	------------------

映像・出版分野における各国との交流を促進するためのシンポジウム等を、主催および共催により開催する。
合計額 5,765,984円

	氏名	現職	国	期間	受入団体	事業内容
1	KRASZNAHORKAI, Laszlo	仏門仏教大学理 事長/作家	ハンガリー	05.03.15～ 05.09.15	大阪大学	現代日本美学に反映された日本 庭園の形而上的価値
2	AL-DARADJI, Mohamed MAHOUD, Hardy AL-DIBS, Nidal AL- MASSHARAWI, Rashid BIYI, Rachid	映画監督 映画監督 映画監督 映画監督 映画製作者	イラク イラク シリア パレスチナ モロッコ	06.03.03～ 06.03.07	－	アラブ映画祭にあわせて、監 督・製作者計5名を招へい

2. 催し等事業費	(1)海外日本映画祭（主催）
-----------	----------------

在外が実施する日本映画上映事業への協力を行なう。
合計額 33,371,752円

	事業名	国	協力対象	期間	事業内容
1	日本映画110年 を振り返る	韓国	ソウル日本文 化センター/ 韓国シネマ テーク協議会	05.12.17～ 05.12.30	『東京の合唱』（小津安二郎）、『祇園の姉妹』（溝 口健二）等、計19作品を上映
2	香港映画の黄金 時代	中国	香港電影資料 館	05.09.23～ 05.10.09	東宝・キャセイ合作『香港三部作』を含む作品を 香港にて上映。主演の宝田明を派遣し、講演を行 なった。『香港の夜』『香港の星』等、計7作品を上 映
3	インドネシア・ アニメーショ ン・フェスティ バル2005	インドネシア	ジャカルタ日 本文化セン ター/ジャカ ルタ芸術院/ ジャカルタ芸 術大学映画学 科	05.09.16～ 05.09.28	『少年猿飛佐助』、『安寿と厨子王』（藪下泰司）、 『わが青春のアルカディア』（勝間田具治）等、ア ニメーション4作品を上映
4	第7回ジャカル タ国際映画祭	インドネシア	ジャカルタ日 本文化セン ター	05.12.09～ 05.12.19	『ヴィタール』（塚本晋也）を上映し、塚本監督を 招へい

映像出版事業費

	事業名	国	協力対象	期間	事業内容
5	日本映画祭（シンガポール）	シンガポール	在シンガポール大使館/シンガポール日本人会シンガポール映画協会	05.09.11～ 05.10.06	『ビルマの豎琴』（市川崑）、『ゼロの焦点』（野村芳太郎）等、小説などの文学作品を映画化した計12作品を上映
6	日本映画祭（バンコク）	タイ	バンコク日本文化センター	05.11.04～ 05.11.11	『鏡の女たち』（吉田喜重）、『アカルイミライ』（黒沢清）等、10作品を上映
7	恐怖映画特集	フィリピン	マニラ事務所	05.08.31～ 05.09.25	『四谷怪談』（三隅研次）などホラー映画7作品を特集上映
8	マニラ女性映画祭	フィリピン	マニラ事務所	05.11.23～ 05.12.31	マニラ、バギオ、セブ等計5都市で『元始、女性は太陽であった 平塚らいてうの生涯』（羽田澄子監督）を上映
9	日本映画祭（ベトナム）	ベトナム	在ベトナム大使館	05.10.06～ 05.10.09	『ちびまる子ちゃん』（芝山努）、『銀河鉄道999』（りんたろう）等、アニメ4作品を上映
10	日本映画祭（クアラルンプール）	マレーシア	クアラルンプール日本文化センター	05.06.15～ 05.07.10	『卓球温泉』（山川元）等6作品、をクアラルンプールおよびペナンで上映
11	日本映画祭（ミャンマー）	ミャンマー	在ミャンマー大使館	06.03.07～ 06.03.21	『ウォーターボーイズ』、『アドレプリンドライブ』等5作品をヤンゴンおよびマンダレーで上映
12	小津安二郎監督特集（ニューデリー）	インド	ニューデリー事務所	05.11.19～ 06.01.19	『浮草』など小津安二郎監督の4作品をコルカタ、デリー、ムンバイ、チェンナイの4都市で巡回上映
13	小津安二郎監督特集（バングラデシュ）	バングラデシュ	在バングラデシュ大使館	06.02.01～ 06.02.28	『浮草』など小津安二郎監督作品4本を上映
14	第9回巡回日本映画祭	オーストラリア	シドニー日本文化センター	05.10.06～ 05.12.02	『まあだだよ』（黒澤明）、『天空の城ラピュタ』（宮崎駿）、『GO』（行定勲）、計3作品を4都市（パース/キャンベラ/メルボルン/シドニー）で巡回上映。シドニーのみ他6作品も上映
15	ダニーデン日本祭	ニュージーランド	在ニュージーランド大使館	05.09.27～ 05.09.29	『ジャズ大名』（岡本喜八）、『ファンシィダンス』（周防正行）等、計3作品を上映
16	日本映画祭（ミクロネシア）	ミクロネシア	在ミクロネシア大使館	05.11.07～ 05.11.19	『ペリケン』（阪本順治）、『ファンシィダンス』（周防正行）等、6作品を上映
17	日本映画講演会（トロント）	カナダ	トロント日本文化センター	05.09.06～ 05.09.14	トロント国際映画祭協賛企画として、四方田犬彦による日本映画に関する講演会を実施

	事業名	国	協力対象	期間	事業内容
18	カナダ巡回映画祭	カナダ	在カナダ大使館	05.09.10～ 05.11.20	カナダ9都市（モントリオール/ハリファックス/ハミルトン/トロント/オタワ/エドモントン/カルガリー/バンクーバー/カムループス）で巡回上映。『ウォーターボーイズ』（矢口史靖）、『黒い雨』（今村昌平）、『どら平太』（市川崑）、『座頭市』（北野武）の4作品を上映
19	山田洋次監督特集（ニューヨーク）	米国	ニューヨーク事務所	05.06.01～ 05.09.24	借用プリント『隠し剣 鬼の爪』を上映し、併せて山田洋次監督を招へいし講演会を開催
20	中西部大学巡回上映会	米国	ニューヨーク事務所	06.02.01～ 06.02.28	最近の映画から5作品を選考し、各地で巡回上映
21	黒澤明監督特集（エルサルバドル）	エルサルバドル	在エルサルバドル大使館	05.09.12～ 05.09.14	黒澤明監督の3作品『赤ひげ』、『天国と地獄』、『生きる』を西語字幕版で特集上映
22	日本映画祭（ニカラグア）	ニカラグア	在ニカラグア大使館	05.10.14～ 05.10.18	『ちびまる子ちゃん』（芝山努）、『学校』（山田洋次）等、5作品を上映
23	山田洋次監督特集（ホンジュラス）	ホンジュラス	在ホンジュラス大使館	05.09.16～ 05.09.20	『息子』、『学校』など山田洋次監督の5作品を特集上映
24	溝口健二監督特集（メキシコ）	メキシコ	メキシコ事務所	05.09.22～ 05.09.30	四方田犬彦を招へいし、『滝の白糸』、『祇園の姉妹』など溝口健二監督作品7本を特集上映
25	増村保造監督特集（アルゼンチン）	アルゼンチン	在アルゼンチン大使館	05.08.04～ 05.08.16	『くちづけ』、『盲獣』、『青空娘』等、本部フィルムライブラリー所蔵の増村保造監督の11作品を特集上映
26	山田洋次監督特集（コロンビア）	コロンビア	在コロンビア大使館	05.10.28～ 05.11.11	山田洋次監督特集。『学校』、『学校Ⅱ』等、5作品を2都市（カリ/ボゴタ）で特集上映
27	アニメ映画祭（チリ）	チリ	在チリ大使館/カトリック大学文化センター	05.06.01～ 05.06.11	『カムイの剣』、『ちびまる子ちゃん（大野君と杉山君）』、『はだしのゲン1・2』、『銀河鉄道999』、『わが青春のアルカディア』、『ピカドン』等、アニメ15作品を上映
28	日本映画祭（パラグアイ）	パラグアイ	在パラグアイ大使館	05.09.30～ 05.10.04	『学校』（山田洋次）、『ちびまる子ちゃん』（芝山努）等、1990年代以降の西語字幕付5作品を上映
29	増村保造特集（サンパウロ追加）	ブラジル	サンパウロ日本文化センター	05.09.06～ 05.09.11	増村保造監督の作品『華岡青洲の妻』、『黒の試走車』など7作品を上映
30	無声映画特集（サンパウロ）	ブラジル	サンパウロ日本文化センター	05.12.06～ 05.12.11	『滝の白糸』（溝口健二）、『生れてはみたけれど』（小津安二郎）などの無声映画6作品を弁士付きで上映

映像出版事業費

	事業名	国	協力対象	期間	事業内容
31	吉田喜重監督特集（ローマ）	イタリア	ローマ日本文化会館	05.04.26～ 05.06.21	『エロス＋虐殺』、『戒厳令』等吉田喜重監督10作品に加えて小津安二郎の3作品を5都市（ローマ/ミラノ/ボローニャ/フィレンツェ/トリノ）で巡回上映
32	清水宏監督特集	イタリア	ローマ日本文化会館	06.02.07～ 06.04.18	『港の日本娘』、『恋も忘れて』等、清水宏監督の10作品をローマおよびトリノの2都市で特集上映する
33	漫画と映画の境界線	英国	ロンドン事務所	06.02.03～ 06.02.28	『blue』（安藤尋）、『ぼくんち』（阪本順治）など漫画を原作とした最近の作品5作品を5都市（ロンドン/エジンバラ/マンチェスター/シェフィールド/ブリストル）で巡回上映
34	欧州巡回映画祭：新旧映画特集（ギリシャ）	ギリシャ	在ギリシャ大使館	05.05.23～ 05.05.27	『blue』（安藤尋）、『わらびのこう 蕨野行』（恩地日出夫）、『笑う蛙』（平山秀幸）、『ふくろう』（新藤兼人）、『ポストマンブルース』（SABU）等を上映
35	Japan Cult Cinema	スペイン	カーサ・アジア	06.01.26～ 06.03.31	『無宿者』（三隅研次監督）、『仁義なき戦い』（深作欣二監督）、『俺たちの血が許さない』（鈴木清順監督）等の14作品をマドリッド、バルセロナ、セヴィリヤの3都市で上映
36	鈴木清順監督特集（ケルン）	ドイツ	ケルン日本文化会館	05.05.02～ 05.07.28	『港の乾杯・勝利をわが手に』、『影なき声』等鈴木清順監督11作品を特集上映
37	内田吐夢監督特集	ドイツ	ケルン日本文化会館	05.09.08～ 06.01.30	内田吐夢監督特集上映。『血槍富士』『自分の穴の中で』等、16作品を上映
38	名脚本家シリーズ：時代劇編	フランス	パリ日本文化会館	05.09.13～ 05.09.24	『無法松の一生』、『赤西蠣太』など伊藤大輔、伊丹万作の脚本作品12作品を特集上映
39	五所平之助監督特集（パリ）	フランス	パリ日本文化会館	06.01.26～ 06.02.11	『知られざる監督シリーズ』第5弾として五所平之助監督作品を特集。『今ひとたびの』など14作品を上映
40	日本映画祭（ポルトガル）	ポルトガル	在ポルトガル大使館	05.10.20～ 05.10.22	『CURE』（黒沢清）、『浮草』（以上小津安二郎）の2作品を上映
41	日本の新しい波	ルクセンブルグ	在ルクセンブルグ大使館	05.04.05～ 05.06.29	『他人の顔』（勅使河原宏）、『鬼婆』（新藤兼人）、『不良少年』（羽仁進）、『にっぽん昆虫記』（今村昌平）等、計12作品を上映
42	第2回日本映画祭（クロアチア）	クロアチア	在クロアチア大使館	05.04.30～ 05.05.08	評論家の大久保賢一を派遣し、10作品を上映
43	日本映画祭（ハンガリー追加）	ハンガリー	ブダペスト事務所	05.05.05～ 05.05.08	『シコふんじゃった』、『あ、春』、『リボルバー』、『僕らはみんな生きている』、計4作品を上映

	事業名	国	協力対象	期間	事業内容
44	欧州巡回映画祭：新旧映画特集(ハンガリー)	ハンガリー	ブダペスト事務所	05.09.19～ 05.10.05	ハンガリー2都市(ブダペスト/ペーチ)にて11作品を巡回上映。上映作品：『blue』(安藤尋)、『わらびのこう 蕨野行』(恩地日出夫)、『笑う蛙』(平山秀幸)、『ふくろう』(新藤兼人)、『ポストマンブルース』(SABU)、『白痴』、『醜聞』(以上黒澤明)、『早春』(小津安二郎)、『雨月物語』(溝口健二)、『炎上』(市川崑)、『人間蒸発』(今村昌平)
45	欧州巡回映画祭：新旧映画特集(ラトビア)	ラトビア	在ラトビア大使館	05.10.17～ 05.10.20	10作品を上映。上映作品：『blue』(安藤尋)、『笑う蛙』(平山秀幸)、『ふくろう』(新藤兼人)、『ポストマンブルース』(SABU)、『白痴』、『醜聞』(以上黒澤明)、『早春』(小津安二郎)、『雨月物語』(溝口健二)、『炎上』(市川崑)、『人間蒸発』(今村昌平)
46	欧州巡回映画祭：新旧映画特集(リトアニア)	リトアニア	在リトアニア大使館	05.05.23～ 05.05.28	国際交流基金フィルムライブラリー所蔵の『白痴』、『醜聞』(黒澤明)、『早春』(小津安二郎)、『雨月物語』(溝口健二)、『炎上』(市川崑)、『人間蒸発』(今村昌平)の計6作品を上映
47	現代映画祭(ルーマニア)	ルーマニア	在ルーマニア大使館/チネマテーカ・ロムーナ	05.12.05～ 05.12.11	『blue』(安藤尋)、『わらびのこう 蕨野行』(恩地日出夫)、『笑う蛙』(平山秀幸)、『ふくろう』(新藤兼人)、『ポストマンブルース』(SABU)等の計7作品を上映
48	清水宏監督特集(ロシア)	ロシア	在ロシア大使館	05.09.20～ 05.10.04	『按摩と女』、『歌女おほえ書き』等、清水宏監督作品12作品をロシア2都市(モスクワ/サンクトペテルブルク)で特集上映
49	第39回日本映画祭(ロシア)	ロシア	在ロシア大使館	05.11.17～ 05.11.20	『生きたい』(新藤兼人)、『金融破滅ニッポン・桃源郷の人々』(三池崇史)等、5作品を上映
50	第4回アンカラ日本映画祭	トルコ	在トルコ大使館	06.03.17～ 06.03.19	『菊次郎の夏』(北野武)、『ホテル・ハイビスカス』(中江裕司)等、8作品を上映
51	アラブ地域日本映画祭(カイロ)	エジプト	カイロ事務所	06.02.13～ 06.02.18	『HANA-BI』(北野武)、『(HARU)』(森田芳光)等、4作品を上映
52	日本映画祭(スーダン)	スーダン	在スーダン大使館	06.02.14～ 06.02.16	『たそがれ清兵衛』等、山田洋次監督作品3作品を上映
53	ウガンダ映画祭	ウガンダ	在ウガンダ大使館	05.11.20～ 05.11.26	『Kids Return』(北野武)、『ナビィの恋』(中江裕司)等、4作品を上映
54	第12回日本映画祭(南アフリカ)	南アフリカ	在南アフリカ共和国大使館	06.01.06～ 06.01.22	『Kids Return』(北野武)、『ナビィの恋』(中江裕司)等、4作品を3都市(ポート・エリザベス/ケープタウン/ヨハネスブルグ)で上映

映像出版事業費

2. 催し等事業費 (2) 海外日本映画祭 (助成)

海外の国際映画祭・芸術祭・映画専門団体が企画・実施する日本映画上映事業を助成する。

合計額 24,300,985円

	事業名	国	協力対象	期間	事業内容
1	全州国際映画祭	韓国	全州国際映画祭組織委員会	05.04.28～ 05.05.06	『翔んだカップル』、『お引越し』等、相米慎二監督の8作品と新作日本映画7作品を上映
2	内田吐夢監督特集 (光州国際)	韓国	光州国際映画祭組織委員会	05.08.26～ 05.09.04	『血槍富士』、『自分の穴の中で』等、内田吐夢監督5作品を特集上映
3	増村保造監督特集 (韓国)	韓国	シネマテーク・ソウル	05.11.21～ 05.11.30	『黒い試走車』、『巨人と玩具』など増村保造監督10作品を特集上映
4	第29回香港国際映画祭	中国	香港国際映画祭事務局	05.04.08～ 05.05.02	木下恵介監督の19作品を特集上映
5	第18回シンガポール国際映画祭	シンガポール	シンガポール国際映画祭事務局	05.04.14～ 05.04.30	『イノセンス』(押井守)、『スチームボーイ』(大友克洋)等を上映。上映の他、塚本晋也監督を招へい
6	第10回マレーシア・ビデオ・アワード	マレーシア	マレーシア・ビデオ・アワード・カウンシル	05.11.25～ 05.12.03	『ある朝スープは』(高橋泉)、『さよなら さよなら』の2作品を上映し、高橋監督によるトークを実施
7	第14回ブリスベン国際映画祭	オーストラリア	ブリスベン国際映画祭事務局	05.07.27～ 05.08.08	『Peep "TV" Show』(土屋豊)等を上映
8	小津安二郎監督特集 (ニュージーランド)	ニュージーランド	NZFFS	05.04.11～ 05.05.30	『生れてはみたけれど』、『長屋紳士録』などの小津安二郎監督作品を特集巡回上映

	事業名	国	協力対象	期間	事業内容
9	成瀬巳喜男監督 特集（シネマ テーク・オンタ リオ）	カナダ	シネマテーク・オンタ リオ/パシ フィック・シ ネマテーク/ ナショナル・ ギャラリー・ オブ・アート /フリーア美 術館/フィル ム・フォーラ ム/バム・シ ネマテーク/ ジーン・シス ケル・フィル ム・センター /UCLA映画 テレビアーカ イヴ/ポスト ン美術館/ク リーブラン ド・シネマ テーク/パシ フィック・ フィルム・ アーカイヴ/ マディソン・ シネマテーク /ウェクス ナー・セン ター/ザ・ス クリーン/ ハーバード・ フィルム・ アーカイヴ/ ジョージ・ イーストマン 国際写真博物 館	05.09.03～ 06.07.01	国際交流基金フィルムライブラリーより『稲妻』、 『あにいもうと』など成瀬巳喜男監督作品31作品 を提供しフィルムセンター提供の3作品と合わせ、 全34作品を特集上映し、北米の12都市、13会場を 巡回上映。上映作品：『稲妻』、『あにいもうと』、 『女が階段を上る時』等
10	バンクーバー国 際映画祭	カナダ	バンクーバー 国際映画祭事 務局	05.09.29～ 05.10.14	大作からインディペンデント映画、巨匠から若手 の作品まで様々な長編・短編を上映
11	新作映画特集 （ジャパン・ソ サエティ）（平 成16年度）	米国	ジャパン・ソ サエティ	05.03.04～ 05.05.27	『アカルイミライ』（黒沢清）、『阿修羅のごとく』 （森田芳光）等を上映
12	古典映画特集 （ジャパン・ソ サエティ）	米国	ジャパン・ソ サエティ	05.09.27～ 05.12.11	『男の顔は履歴書』（加藤泰）、『東京流れ者』（鈴 木清順）等、計5作品を上映

映像出版事業費

	事業名	国	協力対象	期間	事業内容
13	大正シック	米国	パシフィック・フィルム・アーカイヴ	05.11.05～ 05.12.11	研究者を招へいし、『滝の白糸』（溝口健二）、『港の日本娘』（清水宏）、『陽炎座』（鈴木清順）等、大正から昭和初期に製作された作品を上映
14	古典映画特集 (アメリカン・シネマテーク)	米国	アメリカン・シネマテーク	06.02.02～ 06.03.03	『鍵』（市川崑）など古典映画20作品から30作品を上映
15	第12回アニマ・ムンディ	ブラジル	Iman Imagens Animadas Ltda.	05.07.20～ 05.07.24	『年をとった鰐』（山村浩二）等、計5作品を上映
16	第7回ブラジリア国際映画祭	ブラジル	Cine Academia Producoes Ltda	05.07.20～ 05.07.30	巨匠監督作品を特集上映
17	第29回サンパウロ国際映画祭	ブラジル	サンパウロ国際映画祭事務局	05.10.21～ 05.11.03	『血と骨』（崔洋一）、『Abong、小さい家』（今泉光司）、『Bashing』（小林政広）等、6作品を上映
18	第7回ファー・イースト映画祭	イタリア	ファー・イースト映画祭事務局	05.04.22～ 05.04.29	俳優の宍戸錠を招へいし、1950年代から1970年代の日活アクション映画14作品を特集上映。パネルディスカッションを開催新作日本映画7作品も併せて上映
19	第62回ヴェネツィア国際映画祭	イタリア	ヴェネツィア国際映画祭事務局	05.08.31～ 05.09.10	『大殺陣』（工藤栄一）、『三十三間堂通し矢物語』（成瀬巳喜男）、『仁義なき戦い』（深作欣二）等、35作品を上映
20	onedotzero（デジタル・ムービング・イメージ映画祭）（平成16年度）	英国	Onedotzero	04.05.27～ 05.03.25	長編映画に加え、ゲストを招へいし、CG、ゲーム、ミュージック・ビデオ、アニメなどのデジタル作品を多数上映
21	Optronica	英国	アディクティブTV	05.07.20～ 05.07.24	監督を招へいしディスカッションを開催。ビデオ・アーティスト、アニメーター、グラフィック・デザイナーによるライブメディア作品を上映
22	増村保造監督特集（英国）	英国	インディペンデント・シネマ・オフィス	05.09.10～ 06.02.15	『盲獣』、『氷壁』等、増村保造監督の8作品を特集上映
23	第13回レイダンス映画祭	英国	レイダンス映画祭事務局	05.09.28～ 05.10.09	英国ではあまり上映されることのない長編作品に加え、短編、ミュージック・クリップを上映
24	清水宏監督特集（オーストリア）（平成16年度）	オーストリア	オーストリア映画博物館	05.02.22～ 05.04.01	『港の日本娘』、『恋も忘れて』等清水宏監督作品を特集上映

	事業名	国	協力対象	期間	事業内容
25	ウィーン国際映画祭	オーストリア	ウィーン国際映画祭事務局	05.10.14～ 05.10.26	『バッシング』(小林政宏)、『帰郷』(萩生田宏治)等、新作日本映画8作品を上映するとともに、河瀬直美、諏訪敦彦等の映画人4名を招へい
26	黒澤明監督特集(オーストリア)	オーストリア	オーストリア映画博物館	05.12.01～ 06.01.03	『白痴』、『静かなる決闘』、『まあだだよ』等の黒澤明監督作品および黒澤明に関するドキュメンタリーを特集
27	ロッテルダム国際映画祭(平成16年度)	オランダ	ロッテルダム国際映画祭事務局	05.01.26～ 05.04.01	『69 Sixty Nine』(李相日)、『花とアリス』(岩井俊二)、『血槍富士』(内田吐夢)等、新旧の日本映画24作品を上映
28	小津安二郎追想映画祭(ギリシャ)(平成16年度)	ギリシャ	ギリシャ・フィルム・アーカイヴ	04.03.25～ 05.04.21	小津安二郎監督作品を特集上映
29	ウメオ国際映画祭	スウェーデン	ウメオ国際映画祭事務局	05.09.15～ 05.09.21	『下妻物語』(中島哲也)、『風音』(東陽一)等、13作品を上映、映画関係者を招へい
30	ストックホルム国際映画祭	スウェーデン	ストックホルム国際映画祭事務局	05.11.17～ 05.11.27	『TAKESHIS'』(北野武)、『オペレッタ狸御殿』(鈴木清順)等、5作品を上映
31	第17回ドレスデン映画祭	ドイツ	Filminitiative Dresden e. V.	05.04.12～ 05.04.17	短編およびアニメ映画を上映
32	ミュンヘン国際映画祭	ドイツ	ミュンヘン国際映画祭事務局	05.06.25～ 05.07.02	木下恵介、北野武、黒沢清監督等の39作品を上映するとともに、黒沢清、内田けんじ等を招へい
33	ハンブルク映画祭	ドイツ	ハンブルク映画祭事務局	05.09.22～ 05.09.29	『バッシング』(小林政広)等3作品を上映
34	第5回シネアジア映画祭	ドイツ	シネアジア映画祭事務局	05.12.07～ 05.12.11	『カナリア』(塩田明彦)、『オペレッタ狸御殿』(鈴木清順)等全22作品を上映
35	ヘルシンキ映画祭	フィンランド	ヘルシンキ国際映画祭事務局	05.09.15～ 05.09.25	ヘルシンキ映画祭の一部として開催されるアニメーションに関するセミナー。『ハウルの動く城』(宮崎駿)のプレミア上映など一般参加型のイベントと、プロダクションIG関係者を招いての、アニメーション製作に関するワークショップ等の実施
36	第13回エトランジュ映画祭	フランス	エトランジュ映画祭事務局	05.08.31～ 05.09.13	『地獄』、『東海道四谷怪談』等、中川信夫監督作品と、『験の母』(加藤泰)、『新釈四谷怪談』(木下恵介)等15作品を上映
37	第4回トーキョー・ゾーン映画祭	フランス	Association Zone	05.10.07～ 05.12.02	短編40本、アート・ビデオ8本の他に、小津安二郎監督のサイレント映画を上映

映像出版事業費

	事業名	国	協力対象	期間	事業内容
38	ブラッセル国際ファンタスティック映画祭(平成16年度)	ベルギー	ブリュッセル国際ファンタスティック映画祭事務局	05.03.11～ 05.04.02	『アップルシード』(荒牧伸志)、『IZO』(三池崇史)、『ヴィタール』(塚本晋也)等を上映
39	メイド・イン・ジャパン	ポルトガル	Curtas Metragens	05.07.02～ 05.07.10	『ユメノ銀河』(石井聰互)等の長編映画に加え多数の短編、コマーシャル、ミュージックビデオを紹介
40	ニッポン・コマ	ポルトガル	Culturgest	05.11.28～ 05.12.03	『Peep "TV" Show』(土屋豊)などのドキュメンタリーに加え、川本喜八郎監督特集、『MEMORIES』(大友克洋)などのアニメ作品を上映
41	アニメ映画週間(チェコ)	チェコ	PRO-AERO	05.12.01～ 05.12.07	『火垂るの墓』(高畑勲)、『となりのトトロ』(宮崎駿)等のアニメ映画を上映
42	第5回Era New Horizons映画祭	ポーランド	ニュー・ホライズン・アソシエーション	05.07.21～ 05.07.31	三池崇史監督作品10作品を特集上映する他、『ヴィタール』(塚本晋也)を上映
43	イスタンブール国際映画祭	トルコ	イスタンブール文化芸術財団	05.04.02～ 05.04.17	『誰も知らない』(是枝裕和)、『珈琲時光』(ホウ・シャオシェン)等の新作を上映
44	巡回子供映画祭(トルコ)	トルコ	アンカラ映画協会	05.11.11～ 05.11.30	木下小夜子(広島映画祭代表)を招へいし3都市でワークショップを開催、『ゲバゲバ笑タイム』(木下蓮三)等のアニメ映画を上映
45	第8回ジンバブエ国際映画祭	ジンバブエ	ジンバブエ国際映画祭事務局	05.08.26～ 05.09.04	『隠し剣 鬼の爪』を上映
46	第26回ダーバン国際映画祭	南アフリカ	センター・フォー・クリエイティブ・アーツ	05.06.15～ 05.06.26	『隠し剣、鬼の爪』(山田洋次)、『誰も知らない』(是枝裕和)等を上映

2. 催し等事業費 (3)国内映画祭(主催)

アジア・中東の映画を紹介し日本における両地域への理解を促進するため、主催または共催により映画祭を実施し、関係映画人の招へい等も併せて実施する。また、アジア映画理解講座および英語字幕付き日本映画上映会を実施する。
合計額 9,902,149円

	事業名	国	期間	事業内容
1	外国劇映画貸し出し	全世界区分困難	05.04.01～ 06.03.31	国際交流基金所蔵外国劇映画の国内の上映団体への貸し出し

	事業名	国	期間	事業内容
2	フラッシュバック／フラッシュ フォワード：過去への視線	全世界区分困難	05.06.24～ 05.06.26	英語字幕付日本映画上映会第3弾。『Avalon』（押井守）、『雨月物語』（溝口健二）、『男の顔は履歴書』（加藤泰）等、計5作品を上映する他、押井守監督を招いての座談会、レイ・チョウによる講演も実施
3	ジャパニーズ・ ホラー傑作選	全世界区分困難	05.09.16～ 05.09.18	英語字幕付き日本映画上映会第4弾。伝統的な日本の怪談をもとにした作品をはじめ、現在活躍中の黒沢清監督の作品上映とトークも実施。『怪談 お岩の亡霊』（加藤泰）、『四谷怪談』（三隅研次）、『降霊』（黒沢清）等、計6作品を上映
4	巨匠が描いた花 街の女たち	全世界区分困難	06.03.17～ 06.03.19	英語字幕付き日本映画上映会大5弾。『噂の女』（溝口健二）、『日本橋』（市川崑）等全6作品の上映に加えて映画研究者の常石史子による講演を実施

2. 催し等事業費 (4)国内映画祭（助成）

諸外国の映画を国内において紹介するため、国内で開催される国際的な映画祭等に対して助成をする。

合計額 11,023,205円

	事業名	団体	都市	期間	事業内容
1	イタリア映画祭 2005	イタリア文化会館	23区	05.04.29～ 05.05.04	イタリア映画の新作を紹介するとともに監督や俳優を招へい
2	ドイツ映画祭	東京ドイツ文化センター	23区	05.06.04～ 05.09.19	「日本におけるドイツ年2005/2006」の主要企画として二つの映画祭を開催。「映像の新しい地平」では日本初公開となる16作品を含め、計25作品を上映しドイツ映画の現在を紹介
3	ショートショート フィルムフェスティバルア ジア2005	ショートショート アジア実行委員会	23区	05.07.01～ 05.07.04	アジアのショートフィルムを一同に上映。厳選した約50作品を上映した他、アジア中から作品を集めたコンペ部門の開催、招待作品等を上映
4	日本-EU交 流・交換映画祭	ゴーギャンズ・ インターナショナル	23区/福島/香 川	05.07.20～ 05.12.18	日本-EUの市民の文化交流を目的として日本の映画をEUに、EU各国の映画を日本に紹介する映像交流。EU各作家を招へいしワークショップ等も実施
5	チェコ映画祭 2005	チェコ映画祭実 行委員会	23区	05.08.30～ 05.09.09	2005愛知万博周辺参加事業の一つ。1965年以降のチェコ映画の中から選ばれた代表作25本を上映
6	アジアフォーカ ス・福岡映画祭 2005	アジア・フォー カス・福岡映画 祭実行委員会	福岡市	05.09.16～ 05.09.25	アジアの文化・学術・芸術に関する90以上のイベントを集中的に実施する「アジアマンス」の主要事業として開催。上映作品の監督・主演俳優を招へいし、観客とのディスカッションや交流パーティ、シンポジウム等を行なった

映像出版事業費

	事業名	団体	都市	期間	事業内容
7	山形国際ドキュメンタリー映画祭2005	山形国際映画祭ドキュメンタリー映画祭実行委員会	山形市	05.10.07～ 05.10.13	日本では鑑賞する機会が少ない、世界の優れたドキュメンタリー映画を上映。上映作品：『ルート181』（ミシェル・クレフィ/エイアル・シヴァン）、『在日』（呉徳洙）等
8	第6回東京フィルメックス/TOKYO FILMeX 2005	特定非営利活動法人東京フィルメックス実行委員会	23区	05.11.19～ 05.11.27	アジアを中心に厳選した、主に新進作家たちの独創性豊かな作品群を紹介。コンペティション、特別招待作品上映を開催した他、1920年代から40年代のスイス映画特集および中川信夫監督特集を実施
9	アフガニスタン映画祭	NPO法人クロスアーツ	23区	05.11.26～ 05.11.27	アーマディ・ラティフ（アフガンフィルム所長）を招へいし、シンポジウムを開催。アフガニスタンの最新作をはじめ、作品9本を上映
10	アイスランド映画祭2005	シネマトリックス	東京都/神戸市	06.03.04～ 06.03.20	これまでほとんど紹介されてこなかったアイスランド映画を新旧あわせて日本未公開作品を中心に上映。監督を招へいし、ティーチ・イン、シンポジウムも実施

2. 催し等事業費 (5)国内映画祭（主催）(AC)

アジア・中東の映画を紹介し日本における両地域への理解を促進するため、主催または共催により映画祭を実施し、関係映画人の招へい等も併せて実施する。また、アジア映画理解講座および英語字幕付き日本映画上映会を実施する。
合計額 6,713,347円

	事業名	国	都市	会場	期間	事業内容
1	タイ映画監督特集	アジア地域区分困難	東京都	アテネ・フランセ文化センター/ 国際交流基金フォーラム	05.11.14～ 05.11.19	タイ映画の新星アピチャートポン・ウィラーセタークン監督の特集。『真昼の不思議な物体』、『ブリスフリー・ユアーズ』、『アイアン・プッシーの大冒険』、『トロピカル・マラディ』の4作品を上映。監督のトークショーを併催
2	映画講座2005-2：国際交流基金アジア中東映画ライブラリー10本立て！	全世界区分困難	東京都	国際交流基金フォーラム	05.09.22～ 05.09.24	国際交流基金が所蔵するライブラリーに新たに加わったイラクやアラブの傑作をはじめ、特に人気の高いアジア・中東映画10本を連続上映

2. 催し等事業費 (6)国内映画祭(主催)(中東)

アジア・中東の映画を紹介し日本における両地域への理解を促進するため、主催または共催により映画祭を実施し、関係映画人の招へい等も併せて実施する。また、アジア映画理解講座および英語字幕付き日本映画上映会を実施する。

合計額 48,776,934円

	事業名	国	都市	会場	期間	事業内容
1	アラブ映画祭 2005	中東地域区分 困難	東京都	国際交流基 金フォーラ ム	05.04.15～ 05.04.24	日本初の本格的なアラブ映画祭。「イラク 映画回顧展」(9作品)と「アラブ新作パノ ラマ」(8作品)の2部構成。監督等来日ゲス トによるシンポジウムを併催
2	アラブ映画祭 2006	中東地域区分 困難	東京	国際交流基 金フォーラ ム	06.02.03～ 06.02.12	アラブ映画10本を上映。監督5名を招へい

2. 催し等事業費 (7)映像出版情報交流(催し)

国内外で開催される映像・出版等をテーマとするシンポジウム・セミナー等を開催する。

合計額 6,086,706円

	事業名	国	都市	会場	期間	主催者	事業内容
1	第5回日韓中 テレビ制作者 フォーラム IN東京	アジア地域区 分困難	東京	日本青年館	05.10.21～ 05.10.24	放送人の会	日中韓のテレビ番組制作者 によるフォーラム。第5回 を迎える今回は、これまで 築き上げた緊密な関係を土 台に共同制作、合作等の企 画、システム作りについて 討議した
2	北米巡回現代 日本文学セミ ナー	米国	-	-	05.04.01～ 06.03.31	-	日本文学作品を一般に紹介 するため、北米各地の読書 クラブ、大学等に対し、英 訳作品を寄贈し、その後、 作家を派遣し、セミナー等 を開催。2005年度は多和田 葉子(作家/アリゾナ/シア トル)、ジュリエット・カー ペンター(翻訳家/ニュー ヨーク/ボストン)を派遣
3	日本賞	全世界区分困 難	東京	-	05.10.31	「日本賞」事 務局	国家・民族間における相互 理解と文化の交流に貢献す る優れた番組に対し、国際 交流基金理事長賞を寄贈
4	JAMCOシン ポジウム	全世界区分困 難	-	-	05.12.01～ 06.01.31	財団法人放送 番組国際交流 センター	財団法人放送番組国際交流 センターが実施するウェブ サイト上での国際シンポジ ウム

映像出版事業費

3. 文化資料事業費 (1) テレビ番組交流促進

日本のテレビ番組の海外における放映を促進するため、素材の作成費、放映権料を負担した上で、海外放送局に番組を提供する。

合計額 178,262,583円

	事業名	国	団体	期間	事業内容
1	モンゴルTV放映 (2005年度)	モンゴル	市営UBS	05.08.01～ 08.07.31	モンゴルTV放映向け番組提供。公営UBSTVへ『プロジェクトX』を提供
2	インドネシアTV放映 (2005年度)	インドネシア	民営Metro TV	05.08.01～ 08.07.31	インドネシアTV放映向け番組提供。民営Metro TVへ『プロジェクトX』を提供
3	カンボジアTV放映 (2005年度)	カンボジア	国営TVK	05.08.01～ 08.07.31	カンボジアTV放映向け番組提供。国営TVKへ『技～極める』、『デジタル進化論』を提供
4	フィリピンTV放映 (ISLA/2005年度)	フィリピン	ISLA TV	05.08.01～ 08.07.31	フィリピンTV放映向け番組提供。ISLA TVへ『あそび伝承塾』、『日本人のフードスタイル』等を提供
5	ベトナムTV放映 (2005年度)	ベトナム	国営VTV	05.08.01～ 08.07.31	ベトナムTV放映向け番組提供。国営VTVへアニメ『タイガアドベンチャー』を提供
6	ブータンTV放映 (2005年度)	ブータン	国営BBS	05.08.01～ 08.07.31	ブータンTV放映向け番組提供。国営BBSへ『おしん』を提供
7	パプアニューギニアTV放映 (2005年度)	パプアニューギニア	民営EMTV	05.08.01～ 08.07.31	パプアニューギニアTV放映向け番組提供。民営EMTVへアニメ『未来少年コナン』を提供
8	エルサルバドルTV放映 (2005年度)	エルサルバドル	国営Canal10	05.08.01～ 08.07.31	エルサルバドルTV放映向け番組提供。国営Canal10へ『日本の起業家』、『電子立国日本の自叙伝』等を提供
9	キューバTV放映 (2005年度)	キューバ	国営ICRT	05.08.01～ 08.07.31	キューバTV放映向け番組提供。国営ICRTへ『腕におぼえあり2』を提供
10	グアテマラTV放映 (2005年度)	グアテマラ	民営Canal Antigua	05.08.01～ 08.07.31	グアテマラTV放映向け番組提供。民営Canal Antiguaへ『プロジェクトX』等を提供
11	コスタリカTV放映 (2005年度)	コスタリカ	国営SINART	05.08.01～ 08.07.31	コスタリカTV放映向け番組提供。国営SINARTへ『オアシス 地球の未来』等を提供
12	ニカラグアTV放映 (2005年度)	ニカラグア	民営Canal8	05.08.01～ 08.07.31	ニカラグアTV放映向け番組提供。民営Canal8へ『プロジェクトX』を提供
13	パナマTV放映 (2005年度)	パナマ	国営RTVE-PANAMA	05.08.01～ 08.07.31	パナマTV放映向け番組提供。国営RTVE-Panamaへ『腕におぼえあり』を提供
14	ホンジュラスTV放映 (2005年度)	ホンジュラス	民営TELEUNSA	05.08.01～ 08.07.31	ホンジュラスTV放映向け番組提供。民営TELEUNSAへ『プロジェクトX』等を提供

	事業名	国	団体	期間	事業内容
15	アルゼンチンTV放映(2005年度)	アルゼンチン	国営Canal Educativo	05.08.01～ 08.07.31	アルゼンチンTV放映向け番組提供。国営Canal Educativoへ『こども人形劇場』、『みてごらん』を提供
16	ウルグアイTV放映(2005年度)	ウルグアイ	国営SNTV	05.08.01～ 08.07.31	ウルグアイTV放映向け番組提供。国営SNTVへ『プロジェクトX』を提供
17	コロンビアTV放映1(2005年度)	コロンビア	TELEANTIOQUIA	05.08.01～ 08.07.31	コロンビアTV放映向け番組提供。TELEANTIOQUIAへ『宇宙デジタル大図鑑』、『シリーズエイズ』等を提供
18	パラグアイTV放映(2005年度)	パラグアイ	民営Canal2	05.08.01～ 08.07.31	パラグアイTV放映向け番組提供。民営Canal2へ『サイエンスクラブ』、『帰ってきちゃった』等を提供
19	ブラジルTV放映(2005年度)	ブラジル	州営TV Cultura	05.08.01～ 08.07.31	ブラジルTV放映向け番組提供。州営TV Culturaへ『南極』、『バケルノ小学校ヒュードロ組』、『サイエンスゴーゴー』、『ピタゴラスイッチ』等を提供
20	ボリビアTV放映(2005年度)	ボリビア	民営PAT	05.08.01～ 08.07.31	ボリビアTV放映向け番組提供。民営PATへ『オアシス・地球の未来』、『電子立国日本の自叙伝』等を提供
21	アゼルバイジャンTV放映(2005年度)	アゼルバイジャン	LIDER TV	05.08.01～ 08.07.31	アゼルバイジャンTV放映向け番組提供。LIDER TVへ『日本の最新技術』、『日本の伝統スポーツ』等を提供
22	ウズベキスタンTV放映(2005年度)	ウズベキスタン	国営Uzbektele-radio	05.08.01～ 08.07.31	ウズベキスタンTV放映向け番組提供。国営Uzbektele-radioへ『おれは鉄兵』を提供
23	カザフスタンTV放映(2005年度)	カザフスタン	国営KA	05.08.01～ 08.07.31	カザフスタンTV放映向け番組提供。国営KAへアニメ『あしたへアタック!』を提供
24	セルビア・モンテネグロTV放映(2005年度)	セルビア・モンテネグロ	民営RTV BK	05.08.01～ 08.07.31	セルビア・モンテネグロTV放映向け番組提供。民営RTV BKへアニメ『タイガアドベンチャー』を提供
25	タジキスタンTV放映(2005年度)	タジキスタン	国営TVT	05.08.01～ 08.07.31	タジキスタンTV放映向け番組提供。国営TVTへ『新日本探訪』、『にっぽん点描』、『若者たちの現場』等を提供
26	チェコTV放映(2005年度)	チェコ	公営CT	05.08.01～ 08.07.31	チェコTV放映向け番組提供。公営CTへ『世界の中の日本建築：デザインと技術』、『にっぽん川紀行』等を提供
27	ポーランドTV放映(2005年度)	ポーランド	民営POLSAT	05.08.01～ 08.07.31	ポーランドTV放映向け番組提供。民営POLSATへ『プロジェクトX』を提供

映像出版事業費

	事業名	国	団体	期間	事業内容
28	ボスニア・ヘルツェゴビナTV放映(2005年度)	ボスニア・ヘルツェゴビナ	国営PBS	05.08.01～ 08.07.31	ボスニア・ヘルツェゴビナTV放映向け番組提供。国営PBSへ『腕におぼえあり』等を提供
29	リトアニアTV放映(2005年度)	リトアニア	国営LRT	05.08.01～ 08.07.31	リトアニアTV放映向け番組提供。国営LRTへ『美しき日本 百の風景』、『美のこころ～国宝名鑑～』等を提供
30	ロシアTV放映2・ウラジオストク(2005年度)	ロシア	民営TVV	05.08.01～ 08.07.31	ロシアTV放映向け番組提供。民営TVVへ『日本人のフードスタイル』を提供
31	ロシアTV放映3・ハバロフスク(Dal-TV・2005年度)	ロシア	Dal-TV	05.08.01～ 08.07.31	ロシアTV放映向け番組提供。Dal-TVへ『日本人のライフスタイル』を提供
32	ロシアTV放映3・ハバロフスク(AIST・2005年度)	ロシア	AIST	05.08.01～ 08.07.31	ロシアTV放映向け番組提供。AISTへ『こども人形劇場』、『日本の伝統スポーツ』等を提供
33	アフガニスタンTV放映(2005年度)	アフガニスタン	民営TOLO TV	05.08.01～ 08.07.31	アフガニスタンTV放映向け番組提供。民営TOLO TVへ『腕におぼえあり』を提供
34	イエメンTV放映(2005年度)	イエメン	国営Yemen TV	05.08.01～ 08.07.31	イエメンTV放映向け番組提供。国営Yemen TVへアニメ『ちびまる子ちゃん』、『イーハトーブ幻想』等を提供
35	イラクTV放映(2005年度)	イラク	Iraqi Media Network	06.01.30～ 07.08.31	イラクTV放映向け番組提供
36	サウジアラビアTV放映(2005年度)	サウジアラビア	国営Saudi TV	05.08.01～ 08.07.31	サウジアラビアTV放映向け番組提供。国営Saudi TVへ『日本の最新技術』、『原爆の絵ふたたび』等を提供
37	シリアTV放映(2005年度)	シリア	国営STV	05.08.01～ 08.07.31	シリアTV放映向け番組提供。国営STVへ『腕におぼえあり 2』を提供
38	モロッコTV放映(2005年度)	モロッコ	国営RTM	05.08.01～ 08.07.31	モロッコTV放映向け番組提供。国営RTMへ『プロジェクトX』等を提供
39	エチオピアTV放映(2005年度)	エチオピア	国営ETV	05.08.01～ 08.07.31	エチオピアTV放映向け番組提供。国営ETVへ『あつまれじゃんけんぽん』等を提供
40	ガーナTV放映(2005年度)	ガーナ	民営TV3	05.08.01～ 08.07.31	ガーナTV放映向け番組提供。民営TV3へ『コラ!なんばしよっと』を提供
41	ガボンTV放映(2005年度)	ガボン	国営RTG1	05.08.01～ 08.07.31	ガボンTV放映向け番組提供。国営RTG1へ『日本の世界文化遺産』、『日本の伝統文化』等を提供

	事業名	国	団体	期間	事業内容
42	カメルーンTV 放映(2005年度)	カメルーン	国営CRTV	05.08.01～ 08.07.31	カメルーンTV放映向け番組提供。国営CRTVへ『爆心地・生と死の記録』、『日本の最新技術』等を提供
43	ケニアTV放映 (2005年度)	ケニア	国営KBC	05.08.01～ 08.07.31	ケニアTV放映向け番組提供。国営KBCへ『腕におぼえあり』等を提供
44	ジンバブエTV 放映(2005年度)	ジンバブエ	国営ZTV	05.08.01～ 08.07.31	ジンバブエTV放映向け番組提供。国営ZTVへ『腕におぼえあり』を提供
45	ジンバブエTV 放映(追加) (2005年度)	ジンバブエ	国営ZTV	05.09.01～ 08.08.31	ジンバブエTV放映向け番組提供。国営ZTVへ『かずとかたち』、『たのしい算数』を提供
46	語版改編	全世界区分困難	財団法人放送 番組国際交流 センター	05.04.01～ 06.03.31	テレビ番組の国際版(英語版、スペイン語版)を財団法人放送番組国際交流センターと共同制作した

3. 文化資料事業費	(2) フィルムライブラリー充実(本部)
------------	----------------------

在外主催の日本映画上映会等にて使用するため、国際交流基金のフィルム・ライブラリーに、非商業ベースの上映権を得た劇映画等を所蔵する。

合計額 104,293,040円

	作品名	監督名	製作年	事業内容
1	乙女ごろろ三人 姉妹	成瀬 巳喜男	1935	成瀬巳喜男監督作品『三人姉妹』35mm英語字幕版プリントの購入
2	朧夜の女	五所 平之助	1936	五所平之助監督作品『朧夜の女』35mm英語字幕版プリントの購入
3	鶴八鶴次郎	成瀬 巳喜男	1938	成瀬巳喜男監督作品『鶴八鶴次郎』35mm英語字幕版プリントの購入
4	はたらく一家	成瀬 巳喜男	1939	成瀬巳喜男監督作品『はたらく一家』35mm英語字幕版プリントの購入
5	秀子の車掌さん	成瀬 巳喜男	1941	成瀬巳喜男監督作品『秀子の車掌さん』35mm英語字幕版プリントの購入
6	伊豆の娘たち	五所 平之助	1945	五所平之助監督作品『伊豆の娘たち』の35mm英語字幕版プリントの購入
7	エノケンのとび 助冒険旅行	中川 信夫	1949	中川信夫監督作品『エノケンのとび助冒険旅行』35mm英語字幕版プリントの購入
8	私刑(リンチ)	中川 信夫	1949	中川信夫監督作品『私刑』35mm英語字幕版プリントの購入

映像出版事業費

	作品名	監督名	製作年	事業内容
9	さすらいの旅路	中川 信夫	1951	中川信夫監督作品『さすらいの旅路』35mm英語字幕版プリントの購入
10	下女	金綺泳	1960	金綺泳監督作品『下女』35mmプリント購入
11	乱れ雲	成瀬 巳喜男	1967	成瀬巳喜男監督作品『乱れ雲』35mm英語字幕版プリントの購入
12	太陽の王子ホルスの大冒険	高畑 勲	1968	高畑勲監督作品『太陽の王子ホルスの大冒険』35mm英語字幕版プリント購入
13	銀河鉄道999	りんたろう	1979	りんたろう監督作品『銀河鉄道999』35mm英語字幕版プリント購入
14	わが青春のアルカディア	勝間田 具治	1982	勝間田具治監督作品『わが青春のアルカディア』35mm英語字幕版プリント購入
15	GO	行定 勲	2001	行定勲監督作品『GO』35mm英語字幕版プリント購入
16	命	藤原 哲雄	2002	藤原哲雄監督作品『命』35mm英語字幕版プリント購入
17	血の絆	千野 皓司	2003	千野皓司監督作品『血の絆』35mmミャンマー語字幕版プリントの購入
18	犬猫	井口 奈己	2004	井口奈己監督作品『犬猫』の35mm英語字幕版プリントの購入
19	この世の外へ クラブ進駐軍	阪本 順治	2004	阪本順治監督作品『この世の外へ クラブ進駐軍』35mm英語字幕版プリントの購入
20	下妻物語	中島 哲也	2004	中島哲也監督作品『下妻物語』35mm英語字幕版プリントの購入
21	リアリズムの宿	山下 敦弘	2004	山下敦弘監督作品『リアリズムの宿』の35mm英語字幕版プリントの購入
22	死者の書	川本 喜八郎	2005	川本喜八郎監督作品『死者の書』35mm英語ナレーション版プリント購入
23	成瀬巳喜男	—	—	成瀬巳喜男監督作品35mm英語字幕版を購入

3. 文化資料事業費 (3) フィルムライブラリー充実 (海外)

在外主催の日本映画上映会にて使用するため、在外のフィルムライブラリーに、非商業ベースの上映権を得た劇映画等を配布する。

合計額 19,379,355円

	国	配布先	言語	事業内容
1	韓国	国際交流基金ソウルフィルムライブラリー	韓国語	プリント購入
2	中国	中国語フィルムライブラリー	中国語(北京語)	プリント購入

	国	配布先	言語	事業内容
3	インドネシア	ジャカルタ日本文化センターフィルムライブラリー	インドネシア語	プリント購入
4	タイ	東アジアフィルムライブラリー	英語	プリント購入
5	タイ	バンコクフィルムライブラリー	タイ語	プリント購入
6	インド	西アジアフィルムライブラリー	英語	プリント購入
7	オーストラリア	大洋州フィルムライブラリー	英語	プリント購入
8	アルゼンチン	中南米フィルムライブラリー	スペイン語	プリント購入
9	ブラジル	ブラジルフィルムライブラリー	ポルトガル語	プリント購入
10	イタリア	ローマ日本文化会館フィルムライブラリー	イタリア語	プリント購入
11	英国	欧州フィルムライブラリー	英語	プリント購入
12	ドイツ	ケルン日本文化会館フィルムライブラリー	ドイツ語	プリント購入
13	フランス	仏語フィルムライブラリー	フランス語	プリント購入
14	ロシア	露語フィルムライブラリー	ロシア語	プリント購入
15	エジプト	中近東フィルムライブラリー	アラビア語	プリント購入
16	ケニア	アフリカフィルムライブラリー	英語	プリント購入

3. 文化資料事業費	(4)映画・テレビ番組制作協力
------------	-----------------

海外における日本理解を促進するため、内外の団体が制作する日本に関する映画およびテレビ番組等に対して、制作費の一部を負担し協力する。

合計額 38,822,998円

	助成対象	国	作品名	監督	事業内容
1	財団法人全日本柔道連盟	日本	学校教育に柔道を－日本の普及の現状－（平成16年度）	稲葉 眞次	世界の柔道指導の現場を取材し柔道の導入方法や、日本の文化である柔道を言語を含めどのように紹介しているのか等、生きた現場の指導を、4カ国語（英語/フランス語/スペイン語/アラビア語）で作成し、DVDに収録
2	愛知万博－市町村－国フレンドシップ記録映画製作実行委員会	日本	愛知万博－市町村－国フレンドシップ記録映画	N/A	愛知万博において、－市町村－国フレンドシップ事業を実施する市町村とフレンドシップ相手国との交流を記録映画として製作

映像出版事業費

	助成対象	国	作品名	監督	事業内容
3	有限会社百米映画社	日本	スターフィッシュホテル	John Williams	DINKS生活を送るサラリーマンが失踪した妻を捜索しているうちに現実とフィクションが交錯する世界にとらわれる幻想的な物語の映像製作
4	アルゴ・ピクチャーズ株式会社	日本	ハリヨの夏	中村 真夕	60年代に学生運動を行っていた両親を持ち、ベトナム戦争の脱走兵であった過去を持つ年上のアメリカ人男性に恋をし、成長してゆく18歳の少女・瑞穂を描く劇映画
5	平成プロジェクト	日本	平成職人の挑戦	乾 弘明	江戸時代に焼失した幻の祭山車新造に向け、12人の名工とその弟子達が持てる力を結集した。大仕事を成し遂げるまでの10年間に及ぶ職人魂を美しい映像で追う、ドキュメンタリー
6	Eight Gauge Productions	オーストラリア	Kidnapped!	Melissa Kyu-Jung Lee	1970年代から80年代にかけて北朝鮮に拉致された日本人の家族に関するドキュメンタリー
7	ACCESS MEDIA GROUP	カナダ	Careers TV Japan	Karrie Andreychuk, Carolyn Smith, Danny Baldassarre, Jeff Allen	日本における様々な職業とそれに従事する日本人と外国人やその考えを紹介することで、日本における職業観や日常生活に対する理解を深める連続番組のスペシャル版
8	Cine Qua Non	米国	The Cats of Mirikitani (平成16年度)	Linda HATTENDORF	Mirikitani (画家) の日米における数奇な人生 (第二次世界大戦中の強制収容、広島での親類・友人の被爆、路上生活、9.11同時多発テロ、姉との再会) を描くドキュメンタリー
9	Projectile Arts, Inc.	米国	Kokoyakyu: High School Baseball (平成16年度)	Kenneth Eng	日米でポピュラーなスポーツである野球を題材とし、甲子園を目指す関西の2つの高校をフューチャーし彼らの等身大の姿を映し出した
10	Firelight Productions, Inc.	米国	JAPANLAND	Karin Muller	現代日本の文化や生活を、伝統的側面 (刀鍛冶/流鏑馬/相撲等) と現代的側面 (カプセルホテル/ゲートボール/ホームレス等) と対比させて描いたドキュメンタリー
11	Rainer Komers Film	ドイツ	KOBE (平成16年度)	Rainer KOMERS	社会的メッセージと真摯な眼差しを持って、災害と復興について、作家独特の映像と音響を駆使し表現した。また、阪神淡路大震災が日本社会に及ぼした影響を、芸術文化の側面から考察
12	PDJ Production	フランス	Tokyo, the day the war ended	Serge Vialet	過去の映像と生存者の証言などにより、戦争直後の日本の社会状況を新たな視点から描き、荒廃した社会が再建される過程を追ったドキュメンタリー

3. 文化資料事業費 (5) 出版・翻訳協力 (特別)

日本において広く愛読されているにもかかわらず、海外において紹介される機会の少ない作家の作品を国際交流基金と出版社が共同して翻訳出版する。

合計額 4,924,615円

	資料名・書名	発行日	発行部数	事業内容
1	司馬遼太郎『坂の上の雲』英語版	-	-	司馬遼太郎『坂の上の雲』の英語訳の出版（翻訳原稿校正）
2	アラビア語翻訳出版（児童書）	-	各4,000	日本の児童書『いっすんぼうし』、『ふしぎなたいこ』、『きんぎょがにげた』、『ともだち』をアラビア語に翻訳し、現地の出版社と共同で出版（翻訳および編集）
3	アラビア語翻訳出版（一般書）	-	-	日本に関する理解を深めるのに有意義な図書をアラビア語に翻訳し、現地の出版社と共同で出版（企画および準備）

3. 文化資料事業費 (6) 出版・翻訳協力 (一般)

日本文化を海外に紹介するための人文、社会科学および芸術分野の日本語で書かれた優れた図書の外国語への翻訳および外国語で書かれた優れた図書を出版する出版社に対し、費用の1部を負担して協力する。

合計額 34,886,842円

	助成団体	書名	国	著編者/翻訳者	事業内容
1	法友社	「所有権」の誕生	韓国	加藤 雅信/金祥洙	出版への協力
2	図書出版 滄海	歌舞伎	韓国	河竹 登志夫/崔 京国	翻訳への協力
3	図書出版 滄海	歌舞伎	韓国	河竹 登志夫/崔 京国	出版への協力
4	イーク出版社	海洋国家日本の構想	韓国	高坂 正亮/韓相一	出版への協力
5	論衡出版社	戦時期日本の精神史-1931~1945年	韓国	鶴見 俊輔/崔永鎬	翻訳への協力
6	論衡出版社	戦時期日本の精神史-1931~1945年	韓国	鶴見 俊輔/崔永鎬	出版への協力
7	大永文化社	地方分権型社会の形成(繰越)	韓国	尹 載善	出版(書きおろし)への協力
8	万卷出版会社	今昔物語集1~3	中国	不詳/金 偉	翻訳への協力

映像出版事業費

	助成団体	書名	国	著編者/翻訳者	事業内容
9	万卷出版会社	今昔物語集1 ～3	中国	不詳/金 偉	出版への協力
10	世界知識出版社	戦後日本外交 史	中国	五百旗頭 眞/ 呉 万虹	翻訳への協力
11	中国電影出版社	日本映画のラ ディカルな意 志	中国	四方田 犬彦/ 王 衆一	翻訳への協力
12	中国大百科全書 出版社	魯迅と仙台	中国	魯迅・東北大学 留学百周年史編 集委員会/解 澤春	翻訳への協力
13	財団法人東方学 会	江戸時代とは なにかー日本 史上の近世と 近代	日本	尾藤 正英/関 守 ゲイノー	出版（英語）への協力
14	特定非営利活動 法人 ラオスの こども	人魚がくれた さくら貝	ラオス	長崎 源之助 /Douagnadeuane Bounyavong	出版への協力
15	オタゴ大学出版	日本の津軽ー 地方主義と国 民国家(繰越)	ニュージーラン ド	Nanyan Guo	出版（書きおろし）への協力
16	Drawn & Quarterly Books	人喰魚、他	カナダ	辰巳 ヨシヒロ /Yuji Oniki	翻訳への協力
17	Drawn & Quarterly Books	人喰魚、他	カナダ	辰巳 ヨシヒロ /Yuji Oniki	出版への協力
18	ブリティッ シュ・コロンビ ア大学出版	内村鑑三：近 代日本の代弁 者(繰越)	カナダ	John Forman Howes	出版（書きおろし）への協力
19	コロンビア大学 出版局	Sources of Japanese Tradition : From 1600 Through the Twentieth Century v. 2, ed.2	米国	William Theodore de Bary	出版（書きおろし）への協力
20	スタンフォード 大学出版	和歌選集第2 巻	米国	Edwin, A. Cranston	出版（書きおろし）への協力

	助成団体	書名	国	著編者/翻訳者	事業内容
21	デューク大学出版局	カンナニ-湯浅克衛植民地小説集	米国	湯浅 克衛 /Mark Driscoll	出版への協力
22	ストーン・ブリッジ出版	天気待ち 監督・黒沢明とともに	米国	野上 照代 /Juliet Winters Carpenter	翻訳への協力
23	エスタソン・リベルダーデ出版社	細雪（繰越）	ブラジル	谷崎 潤一郎 /Leiko Gotoda	翻訳への協力
24	エスタソン・リベルダーデ出版社	細雪（繰越）	ブラジル	谷崎 潤一郎 /Leiko Gotoda	出版への協力
25	シュワルツ出版社	新しい人よ眼ざめよ	ブラジル	大江 健三郎 /Leiko Gotoda	翻訳への協力
26	ペルスベキチバ出版社	舞台と映画の男、三島由紀夫（繰越）	ブラジル	Jaco Guinsburg	出版（書きおろし）への協力
27	ガンジェミ出版社	日本の建築デザイン・設計・技術	イタリア	Fabio Bianconi, Marco Filippucci, Paolo Verducci	出版（書きおろし）への協力
28	ケンブリッジ大学出版局	A History of Japan's Religious Traditions, 500-1600	英国	Richard John Bowring	出版（書きおろし）への協力
29	BFI Publishing	Mizoguchi and Japan	英国	Mark Etienne Le Fanu	出版（書きおろし）への協力
30	Hotei Publishing / KIT Publishers	The Art of the Japanese Woodblock Print: A Reference Work	オランダ	Amy Reigle Newland	出版（書きおろし・英語）への協力
31	日本スイス協会ロマンド支部	Illustrated Japan	スイス	Aime Humbert	出版（書きおろし）への協力
32	62出版グループ	ノルウェイの森	スペイン	村上 春樹 /Albert Nolla	翻訳（カタロニア語）への協力
33	クリム出版社	ノルウェイの森	デンマーク	村上 春樹 /Mette Holm	翻訳への協力

映像出版事業費

	助成団体	書名	国	著編者/翻訳者	事業内容
34	キョーニヒスハウゼン・ウン ト・ノイマン出版社	現象としての 生に関する東 西の対話	ドイツ	山口 一郎	出版（書きおろし）への協力
35	マーティン シュミッツ出版社	日本－怪獣の 島	ドイツ	Jorg Buttgerit	出版（書きおろし）への協力
36	アゲンダ出版社	物語 日本国 憲法9条（繰 越）	ドイツ	伊藤 成彦 /Asa Bettina Wuthenow	翻訳への協力
37	Det Norske Samlaget	近代能楽集	ノルウェー	三島 由紀夫 /Anne Lande Peters	翻訳への協力
38	Det Norske Samlaget	近代能楽集	ノルウェー	三島 由紀夫 /Anne Lande Peters	出版への協力
39	タピール学術出 版	変わりつつあ る日本	ノルウェー	Terje Gronning	出版（書きおろし）への協力
40	国立社会科学高 等研究院	日本の公害病 と労働組合 （繰越）	フランス	Paul Etienne, Marin Jobin	出版（書きおろし）への協力
41	オフリス出版社	日本語のアス ペクトと時	フランス	France Dhorne	出版（書きおろし）への協力
42	メゾンヌーヴ・ エ・ラローズ	明治時代の西 洋人のイメー ジ	フランス	H.O. Rotermund	出版（書きおろし）への協力
43	2005年愛知万博 ベルギー政府代 表部	日本・ベル ギー、4世紀 の交流	ベルギー	Willy Vandewalle	出版（書きおろし・英語）への協力
44	フォリオ出版社	ダンス・ダン ス・ダンス	ウクライナ	村上 春樹 /Ivan Petrovych Dziub	翻訳への協力
45	フォリオ出版所	ダンス・ダン ス・ダンス	ウクライナ	村上 春樹 /Ivan Petrovych Dziub	出版への協力
46	ファクト出版社	古今和歌集	ウクライナ	紀 貫之 他 /Ivan Bondarenko	出版への協力

	助成団体	書名	国	著編者/翻訳者	事業内容
47	イカル出版	つぐみ	スロバキア	吉本 ばなな /Lucia Preuss	翻訳への協力
48	イカル出版	つぐみ	スロバキア	吉本 ばなな /Lucia Preuss	出版への協力
49	フィリップ・ ヴィシニッチ出版	斜陽	セルビア・モン テネグロ	太宰 治/Ilija Musulin	翻訳への協力
50	フィリップ・ ヴィシニッチ出版	斜陽	セルビア・モン テネグロ	太宰 治/Ilija Musulin	出版への協力
51	リドヴェー・ノ ヴィニ出版	日本の民芸・ 伝統工芸	チェコ	Vlasta Winkelhoferova	出版（書きおろし）への協力
52	プラハ カレル 大学 カロリヌ ム出版	日本文学辞典 上巻 (712-1868) (繰越)	チェコ	Zdenka Svarcova	出版（書きおろし）への協力
53	プラトン出版社	Japanese Way/ Relation Vol. 2	ハンガリー	Bertalan Petho	出版（書きおろし）への協力
54	ゴンドラト社出 版グループ	今岡十一郎の 業績と日洪関 係の発展	ハンガリー	梅村 裕子	出版（書きおろし）への協力
55	学術・知識出版 社	神々の洩垂れ 小僧	ポーランド	足達 和子	出版（書きおろし）への協力
56	アテーナ出版	痴人の愛	ラトビア	谷崎 潤一郎 /Ilze Paegle	翻訳への協力
57	PS in Corpore	葉隠	リトアニア	山本 常朝 /Linas Ruegys	翻訳への協力
58	オムスク大学出 版会	現代日本戯曲 集2	ロシア	永井 愛他/有 賀 祐子	翻訳への協力
59	イノストランカ 出版社	美しい魂（無 限カノン第2 部）	ロシア	島田 雅彦 /Ekaterina Tarasova	翻訳への協力
60	イノストランカ 出版社	彗星の住人 （無限カノン 第1部）	ロシア	島田 雅彦 /Ekaterina Tarasova	翻訳への協力

映像出版事業費

	助成団体	書名	国	著編者/翻訳者	事業内容
61	Enteshar Publication Co.	日本の経済思想および経済発展の起原	イラン	Mohammad Naghizadeh	出版（書きおろし）への協力
62	サナーベル出版	水滴	エジプト	目取真 俊 /Ahmed Mohamed Fathy Mostafa	翻訳への協力
63	ダール ミスル イルマフルーサ 出版社	浅草鳥越あずま床	エジプト	井上 ひさし /Walid Ibrahim	翻訳への協力
64	ダール ミスル イルマフルーサ 出版社	日本型の現代実験演劇 - 小劇場運動家を中心に - (繰越)	エジプト	Adel Amin Mahmoud Saleh	出版（書きおろし）への協力

3. 文化資料事業費 (7)国際図書館参加

日本の出版文化の紹介と対日理解促進のため、海外で開催される国際図書館展に参加する。

合計額 22,920,665円

	事業名	国	都市	会場	期間	事業内容
1	第11回ソウル国際図書館展	韓国	ソウル	韓国国際展示場	05.06.03～ 05.06.08	社団法人出版文化国際交流会との共催で、国際と書店会場にブースを出展し、日本文化紹介図書等を展示
2	第17回ニューデリー国際図書館展	インド	デリー	ブラガティ・マイダン	06.01.27～ 06.02.04	社団法人出版文化国際交流会との共催で、国際図書館展会場にブースを出展し、日本文化紹介図書等を展示
3	第13回東京国際ブックフェア	アジア地域 区分困難	東京	東京ビックサイト	05.07.07～ 05.07.10	実行委員会の一員として広報ブースを構えると共に同ブックフェアに出展するアジア・太平洋諸国の各出版協会に側面的協力を行なった
4	第31回ブエノスアイレス国際図書館展	アルゼンチン	ブエノス・アイレス	ブエノス・アイレス市農牧展示場	05.04.18～ 05.05.09	社団法人出版文化国際交流会との共催で、国際図書館展会場にブースを出展し、日本文化紹介図書等を展示
5	第11回太平洋地域図書館展	コロンビア	カリ	バジェ大学	05.10.28～ 05.11.07	社団法人出版文化国際交流会との共催で、国際図書館展会場にブースを出展し、日本文化紹介図書等を展示

	事業名	国	都市	会場	期間	事業内容
6	第19回サンパウロ国際図書展	ブラジル	サン・パウロ	移民展示ホール アニエンビー展示パビリオン	06.03.09～ 06.03.19	隣国アルゼンチンのブエノスアイレス国際図書展と並び中南米最大規模と称される図書展。入場者数も60万人を超える中で、参加各国の文化を再発見・復活させるという意識も高い。図書展の機会を活用し、日系人も多く伝統的に親日感情の良いブラジルの一般市民に、出版物の展示紹介を通して日本文化の広報および対日理解の促進を図った
7	第10回ボリビア国際図書展	ボリビア	ラパス	バホ・セグエン コマ展示会場	05.08.10～ 05.08.21	社団法人出版文化国際交流会との共催で、国際図書展会場にブースを出展し、日本文化紹介図書等を展示
8	第57回フランクフルト国際図書展	ドイツ	フランクフルト・アム・マイン	フランクフルト市見本市会場	05.10.19～ 05.10.23	社団法人出版文化国際交流会との共催で、国際図書展会場にブースを出展し、日本文化紹介図書等を展示すると共に、インフォメーション・カウンターを設置して来場者に情報提供を行なった
9	第50回ベオグラード国際図書展	セルビア・モンテネグロ	ベオグラード	ベオグラード見本市会場	05.10.19～ 05.10.25	社団法人出版文化国際交流会との共催で、国際図書展会場にブースを出展し、日本文化紹介図書等を展示
10	第12回ブダペスト国際図書展	ハンガリー	ブダペスト	ブダペスト・コンベンションセンター	05.04.21～ 05.04.24	社団法人出版文化国際交流会との共催で、国際図書展会場にブースを出展し、日本文化紹介図書等を展示
11	第7回ピリニウス国際図書展	リトアニア	ピリニウス	リトアニア展示会センター	06.02.23～ 06.02.26	社団法人出版文化国際交流会との共催で、国際図書展会場にブースを出展し、日本文化紹介図書等を展示
12	第7回モスクワ・ノン・フィクション国際図書展	ロシア	モスクワ	中央芸術家会館	05.11.30～ 05.12.04	社団法人出版文化国際交流会との共催で、国際図書展会場にブースを出展し、日本文化紹介図書等を展示
13	第18回テヘラン国際図書展	イラン	テヘラン	テヘラン・パーマナント・フェアグラウンド (テヘラン常設催事場)	05.05.04～ 05.05.14	社団法人出版文化国際交流会との共催で、国際図書展会場にブースを出展し、日本文化紹介図書等を展示

映像出版事業費

3. 文化資料事業費	(8)映像出版情報交流（文化資料）
------------	-------------------

日本の映像・出版関係情報の海外への発信および海外における日本の映像・出版の紹介の現状調査・データベース化を行なう。

合計額 9,859,978円

	資料名・書名	発行日	発行部数	事業内容
1	JAPANESE BOOK NEWS 第44号	05.06.01	5,000	日本の新刊書等を海外に紹介する書誌情報誌の発行
2	JAPANESE BOOK NEWS 第45～47号	05.09.01～ 06.03.01	各5,000	日本の新刊書等を海外に紹介する書誌情報誌の発行
3	JAPANESE BOOK NEWS 第48号	07.06.01	－	日本の新刊書等を海外に紹介する書誌情報『JAPANESE BOOK NEWS 第48号』の準備
4	NEW CINEMA FROM JAPAN	－	4,000	英語による日本映画最新情報の提供を図るため、財団法人日本映像国際振興協会とカタログ「NEW CINEMA FROM JAPAN」を発行（2005年秋/2006年春）
5	日本文学翻訳 データベース	－	－	外国語に翻訳された日本文学作品データベースの構築

文化芸術交流事業に必要な経費

国際交流フォーラム運営事業費

1. 国際交流フォーラム運営事業費
 - (1) 国際交流基金フォーラム貸し出し
 - (2) 国際会議場貸し出し

国際交流フォーラム運営事業費

1. 国際交流フォーラム運営事業費 (1)国際交流フォーラム貸し出し

国際交流基金フォーラム貸し出しに係る費用。

合計額 56,090,781円

	事業名	機 関	期 間	事業内容
1	The Desert is Silent (砂漠は沈黙ではない)	大リビア・アラブ社会主義人民 ジャマヒリーヤ国人民局	2005.4.1～ 2005.4.14	リビアの美術と遺跡を紹介する展覧会
2	ベケット東京サミット～ 生誕99年祭	財団法人国際文化交流推 進協会	2005.7.12～ 2005.7.18	アイルランド出身の作家、詩人サミュエル・ベ ケットの生誕99年を記念した、「21世紀的なベ ケット像」を演劇、映像、音楽、美術を通して紹 介する総合イベント
3	チャットー危険なほど容 易なつながり	ポイント東京株式会社	2005.7.27～ 2005.7.30	チェコ共和国の舞台関係者団体Archa Theatre による新作演劇公演
4	世界文化遺産写真展	社団法人共同通信社	2005.8.9～ 2005.9.6	アジアと日本の世界文化遺産を紹介する展覧会
5	2005年シビウ（ルーマニ ア）国際演劇祭・EUツ アー凱旋公演 身体詩 『金色の魚～水の記憶～』	TAICHI-KIKAKU	2005.12.8～ 2005.12.10	2005年5、6月開催のルーマニア シビウ国際演 劇祭および日-EU市民交流年（ルーマニア/ド イツ/ハンガリー/モルドバ公演）参加作品であ る身体詩『金色の魚～水の記憶～』の凱旋公演
6	『七人みさき』多国語版 公演（国際芸術カーニバ ル2006）	特定非営利活動法人国際 舞台芸術交流センター	2006.2.21～ 2006.2.23	アジア各国から参集した俳優、技術者による秋 元松代作『七人みさき』の演劇公演
7	ベトナム漆絵アート日本 展	NPO法人ベトナムコ ミュニケーションイニシ アティブ	2006.3.20～ 2006.3.31	ベトナム漆絵アート作品展示、関連シンポジウ ム開催および現代ベトナムの文化芸術・社会・ 経済・観光等の紹介

1. 国際交流フォーラム運営事業費 (2)国際会議場貸し出し

文化交流を目的とした国際会議、シンポジウムなどに使用できる「国際交流基金会議場」の貸し出しを行なう。

合計額 3,800,190円

	事業名	機 関	期 間	事業内容
1	2005年生命のコンサート 音楽劇『赤毛のアン』制 作発表・シンポジウム	NPO法人国連クラシッ クライブ協会	2005.7.29	音楽劇『赤毛のアン』の活動報告・制作発表・ シンポジウム
2	中東ビジネス支援セミ ナー	財団法人 中東協力セン ター	2005.9.5～ 2005.9.6	中東における諸問題の歴史的背景、社会文化の 特色、政治・経済・エネルギー問題の動向に関す るビジネスセミナー
3	「レオナルド・ダ・ヴィ ンチ展」開催記念シンポ ジウム	毎日新聞社事業本部	2005.9.20	レオナルド・ダ・ヴィンチの科学、芸術をめぐ る歴史的価値と今日的な意義を議論するシンポ ジウム

	事業名	機 関	期 間	事業内容
4	シンポジウム 海外で学ぶ～資金調達編～	芸術分野海外研修サポートプロジェクト	2005.9.28	文化関係者の海外研修に係る資金調達（グラント/フェローシップ等）に関するシンポジウム
5	中・東欧ビジネスセミナー	独立行政法人日本貿易振興機構（ジェトロ）	2005.12.1	欧州、中・東欧地域のビジネス環境に関するセミナー

日本語普及事業に必要な経費

日本語事業費

1. 日本語企画調整費

- (1) 日本語教育機関等調査
- (2) 日本語教育情報交流
- (3) 海外日本語教育支援N G O助成
- (4) 日本語教育企画開発型事業

2. 日本語派遣・助成費

- (1) 日本語教育専門家派遣（専門家）
- (2) 日本語教育専門家派遣（ジュニア専門家）
- (3) 日本語教育巡回セミナー
- (4) アジア青年文化奨学金（予備教育）（AC）
- (5) 日本語教育学会助成
- (6) 日本語教育機関支援（専任講師給与助成）
- (7) 日本語教育機関支援（現地講師謝金助成）
- (8) 日本語教育プロジェクト支援（弁論大会助成）
- (9) 日本語教育プロジェクト支援（ネットワーク形成助成）
- (10) 日本語教育JFボランティア（指導助手派遣）
- (11) 日本語教育JFボランティア（シニア客員教授派遣）

3. 日本語能力試験費

- (1) 日本語能力試験実施
- (2) 評価開発

1. 日本語企画調整費 (1)日本語教育機関等調査

海外の日本語教育機関等に関する調査および特定地域における調査等を実施し、その結果を適当な媒体で公開する。また、日本語教育・研究の成果も適当な媒体で公開する。

合計額 13,867,949円

	事業名	国	期間	事業内容
1	国別情報ホームページ	全世界区分困難	05.04.01～ 06.03.31	各国の日本語教育の状況（沿革/教育制度/現状/動向等）をホームページ上で紹介
2	機関調査	全世界区分困難	05.04.01～ 06.03.31	平成16年度に刊行された報告書『海外の日本語教育の現状－日本語教育機関調査（2003年）－』の評価を行ない、その結果を元に、次回2006年調査に向けて準備を行なった
3	動向調査	全世界区分困難	05.04.01～ 06.03.31	中期計画指針、地域別方針等に基づき、重点国・地域の日本語教育事情の最新動向を把握するため、専門家等による実地調査を実施

1. 日本語企画調整費 (2)日本語教育情報交流

日本語教育に関する国際シンポジウムおよび外国人による日本語弁論大会の実施や、情報誌、論文集を発行する。

合計額 45,550,862円

	事業名	期間	会場	事業内容
1	第46回外国人による日本語弁論大会	05.06.18～ 05.06.18	米子コンベンションセンター	日本語学習を奨励し、日本語普及事業への国民の理解を深めるため、外国人による日本語弁論大会を財団法人国際教育振興会、財団法人とっとりコンベンションビューローとの共催により米子市で開催。大会の様子はNHK教育テレビで放映された
2	「日本語教育論集・世界の日本語教育」発行	05.04.01～ 06.03.31	－	広く世界に公募し、審査により選考された日本語教育・日本語学および日本語教育事情・実践報告に関する論文集。市販。13号より全文(12号以前は目次・論文・要旨) ウェブサイトにも掲載
3	国際交流基金日本語教育紀要発行	05.04.01～ 06.03.31	－	国際交流基金で日本語教育に携わる専門員、専門家、職員等の教育・研究活動の成果を発表するための論文・報告誌。ホームページにも全文掲載
4	日本語教育通信発行	05.04.01～ 06.03.31	－	海外の日本語教師に役立つ情報や教材を掲載したニューズレターを発行。機関紹介、教育実践報告、新刊図書・教材紹介等から成る。ホームページにも全文掲載
5	日本語教育スタンダード・ラウンドテーブル	05.04.01～ 06.03.31	国際交流基金国際会議場 日本語国際センター 津田ホール	カリキュラム策定や能力評定等に不可欠な指針となる「日本語教育スタンダード（仮称）」の構築のため、国内外の関係者によるラウンドテーブルを3回開催した

日本語事業費

1. 日本語企画調整費 (3) 海外日本語教育支援NGO助成

日本国内のNPO・NGOが海外の日本語教育支援を目的として実施する活動に対して、その経費の一部または全部を助成する。

合計額 8,032,937円

	機関	国	期間	事業内容
1	日中交流研究所	中国	05.03.01～ 05.12.16	『第1回中国人の日本語作文コンクール受賞作品集』発行
2	花甲贈書会	中国/ベトナム	05.09.01～ 06.03.31	リサイクル日本語教材寄贈事業
3	特定非営利活動法人アジアの新しい風	中国	06.01.21～ 06.02.20	日本語と日本文化短期実体験(海外日本語学習者の招へい)
4	鳥取県モンゴル中央県親善協会	モンゴル	05.04.25～ 05.09.30	モンゴル中央県への日本語教師派遣
5	ハート・オブ・ゴールド	カンボジア	05.10.01～ 06.03.31	カンボジア・シェムリアップへの日本語教師派遣
6	特定非営利活動法人国際交流とよなか	タイ	05.04.15～ 06.03.31	タイ・シンブリ校への日本語教師派遣
7	特定非営利活動法人国際日本語研修協会	タイ	05.10.05～ 06.03.31	タイへの日本語教師派遣
8	ノマドインターナショナル	タイ/グルジア/ロシア	05.12.14～ 05.12.22	日本語学習用リーディングブック制作事業
9	イカオ・アコ	フィリピン	05.10.15～ 06.02.15	フィリピンへの日本語ティーチング・アシスタント派遣
10	Network-HITO	ミャンマー	05.04.10～ 06.03.20	アンダレーへの日本語教師派遣
11	ネパール教育整備促進協会 (NEPA)	ネパール	05.08.20～ 05.08.20	「日本語を学び、何を求めるか」ワークショップとシンポジウム
12	ネパール教育整備促進協会 (NEPA)	ネパール	05.09.01～ 05.09.30	ネパールへの日本語教材寄贈
13	Network-HITO	ネパール	05.10.01～ 06.03.20	カトマンズへの日本語教師派遣
14	特定非営利活動法人ネットワーク大地	ウズベキスタン	05.08.10～ 06.07.10	アラル海周辺教育機関 (ウズベキスタン共和国) への日本語教師派遣

	機関	国	期間	事業内容
15	特定非営利活動法人ネットワーク大地	ウズベキスタン	05.08.25～ 05.11.10	アラル海周辺での日本理解増進のための国内短期日本語講座（海外日本語学習者の招へい）
16	I F E (イフェ)	ベナン	05.06.22～ 06.06.21	ベナン共和国への日本語教師派遣

1. 日本語企画調整費	(4) 日本語教育企画開発型事業
-------------	------------------

日本語普及における政策上の必要性が高い事業を実施する。

合計額 37,639,044円

	事業名	団体	国	期間	事業内容
1	モデル講座	マニラ事務所	フィリピン	05.04.01～ 06.03.31	教師養成に資することを主目的として、国際交流基金ブランドのモデル講座を開設運営した
2	ベトナム中等教育支援	在ベトナム大使館 ベトナム教育訓練省	ベトナム	05.04.01～ 06.03.31	ベトナムの中等教育課程における日本語教育の導入と基盤整備のため、カリキュラム作成支援およびベトナム人教師養成を目的とした教師研修会等を実施した
3	インド中等教育支援	ニューデリー事務所 インド中央中等教育委員会 (CBSE)	インド	05.10.01～ 06.03.31	インドの中等教育課程における日本語教育の導入と基盤整備のため、教材制作等を行なった
4	ジャパン・ボウル	ワシントンDC 日米協会	米国	05.04.01～ 06.03.31	ジャパン・ボウル（高校生を対象とした日本語・日本文化の知識を問う全米規模の競技会）開催経費の一部を支援（3年を上限とする1年目）
5	AP日本語プログラム	カレッジボード	米国	05.10.01～ 06.09.30	米国の高校生を対象とするAP (Advanced Placement : 大学教養課程事前履修) プログラムへの日本語科目導入に係る初期開発経費の一部を支援（3年計画の2年目）
6	教員免許プログラム担当者会議	ロサンゼルス事務所	米国	06.02.18～ 06.02.19	日本語教師免許プログラムを有する高等教育機関（24州41校）の日本語プログラム担当者をロサンゼルス事務所へ招き、会議（講義・ディスカッション）を開催することにより、AP日本語に関する啓蒙を含め、各地域への効果的かつ合理的な日本語教師全体の啓蒙と教育を促した
7	フランス日本語教育委員会	フランス日本語教育委員会	フランス	05.10.01～ 06.12.31	フランス日本語教育委員会の下部組織としてのプログラム作成小委員会、CAPES小委員会、生涯教育小委員会の3委員会に対し、平成17年度より2年にわたり活動経費を支援

日本語事業費

2. 日本語派遣・助成費 (1)日本語教育専門家派遣（専門家）

1. 現地の日本語教師養成に資するため、日本語教師研修会の実施、教師ネットワーク形成の支援、日本語教授法や日本語教材作成に関する助言・指導等を行なう。
2. 現地日本語教育機関における日本語教育に協力するため、日本語講座の授業を実際に担当する他、現地人教師への助言・指導、カリキュラム編成や教材作成等について支援を行なう。

合計額 934,379,972円

	氏名	国	期間	受入団体
1	稲見 由紀子	韓国	02.07.22～05.09.01	在釜山総領事館
2	三原 龍志	韓国	04.02.15～07.03.24	ソウル日本文化センター
3	天野 千春	韓国	04.06.12～06.06.30	ソウル日本文化センター
4	山口 敏幸	韓国	05.08.15～08.08.30	ソウル日本文化センター
5	有馬 淳一	中国	02.06.03～05.06.02	北京日本文化センター
6	林 敏夫	中国	04.06.20～06.01.03	在香港総領事館
7	池辺 明子	中国	05.03.21～05.07.19	東北師範大学
8	本藤 由梨	中国	05.03.21～05.09.08	東北師範大学
9	小西 広明	中国	05.05.19～08.05.18	北京日本文化センター
10	林 敏夫	中国	06.01.04～07.06.19	香港日本語教育研究会
11	村上 吉文	モンゴル	02.04.21～06.04.20	モンゴル日本人材開発センター
12	桜井 千代子	モンゴル	06.04.07～08.04.06	モンゴル日本人材開発センター
13	山下 美紀	インドネシア	02.06.22～05.06.21	ジャカルタ日本文化センター
14	渡辺 由美	インドネシア	03.04.07～06.06.30	ジャカルタ日本文化センター
15	松本 剛次	インドネシア	03.06.19～06.06.30	北スマトラ大学
16	森西 志保子	インドネシア	03.08.03～06.08.14	インドネシア教育大学
17	小栗 潔	インドネシア	04.07.08～07.07.20	国立スラバヤ大学
18	西浦 久子	インドネシア	04.07.08～07.07.21	ガジャマダ大学
19	古川 嘉子	インドネシア	04.12.07～07.04.20	ジャカルタ日本文化センター
20	登里 民子	インドネシア	05.06.13～07.09.05	ジャカルタ日本文化センター
21	市瀬 俊介	カンボジア	04.07.01～07.06.30	カンボジア日本人材開発センター
22	片桐 準二	カンボジア	05.05.17～08.08.20	王立プノンペン大学
23	小野 明美	シンガポール	02.05.28～05.12.09	シンガポール教育省

	氏名	国	期間	受入団体
24	熊野 七絵	タイ	04.07.15~06.09.30	バンコク日本文化センター
25	八田 直美	タイ	04.09.04~07.05.13	バンコク日本文化センター
26	坪根 由香里	タイ	05.04.25~07.04.24	コンケン大学
27	藤光 由子	フィリピン	03.05.06~06.05.31	マニラ事務所
28	高崎 三千代	フィリピン	03.05.12~05.05.11	デ・ラ・サール大学
29	洲脇 泰	フィリピン	04.10.30~07.10.29	フィリピン大学
30	坂本 まり子	フィリピン	05.04.30~07.04.29	デ・ラ・サール大学
31	新田 洋子	ブルネイ	04.06.24~07.11.30	ブルネイ教育省
32	鈴木 衣今子	ベトナム	04.10.14~06.10.15	ベトナム日本人材協力センター
33	花井 慎行	マレーシア	02.04.08~05.04.09	クアラルンプール日本文化センター
34	松原 理香	マレーシア	02.04.08~05.04.09	クアラルンプール日本文化センター
35	立花 秀正	マレーシア	02.04.10~05.05.01	マラヤ大学日本留学予備教育課程
36	大竹 恵美子	マレーシア	03.03.24~06.03.21	マラヤ大学日本留学予備教育課程
37	富岡 純	マレーシア	03.04.01~06.04.02	マラヤ大学日本留学予備教育課程
38	土井 真美	マレーシア	03.05.05~06.05.09	クアラルンプール日本文化センター
39	ワトソンジョイ	マレーシア	04.03.22~06.03.21	マラヤ大学日本留学予備教育課程
40	山本 孝治	マレーシア	04.03.22~06.03.21	マラヤ大学日本留学予備教育課程
41	谷淵 麻子	マレーシア	04.03.25~07.03.28	マラヤ大学日本留学予備教育課程
42	千馬 智子	マレーシア	04.03.25~07.03.31	マラヤ大学日本留学予備教育課程
43	河合 由希江	マレーシア	05.03.17~07.03.16	マラヤ大学日本留学予備教育課程
44	阿蘇 豊	マレーシア	05.03.23~08.03.19	マラヤ大学日本留学予備教育課程
45	宮田 登紀子	マレーシア	05.03.17~08.03.19	マラヤ大学日本留学予備教育課程
46	井上 花子	マレーシア	05.03.23~07.03.28	マラヤ大学日本留学予備教育課程
47	飯塚 往子	マレーシア	05.03.23~07.03.28	マラヤ大学日本留学予備教育課程
48	勝田 順子	マレーシア	05.04.01~06.03.31	マラヤ大学日本留学予備教育課程
49	根津 誠	マレーシア	05.04.01~08.04.15	クアラルンプール日本文化センター
50	下橋 美和	マレーシア	05.04.01~07.05.31	クアラルンプール日本文化センター

日本語事業費

	氏名	国	期間	受入団体
51	上野 栄三	マレーシア	05.04.23～07.03.28	マラヤ大学日本留学予備教育課程
52	薄井 典子	マレーシア	06.03.20～08.03.19	マラヤ大学日本留学予備教育課程
53	森林 謙	マレーシア	06.03.20～08.03.19	マラヤ大学日本留学予備教育課程
54	横井 多美子	マレーシア	06.03.20～08.03.19	マラヤ大学日本留学予備教育課程
55	森 勇樹	マレーシア	06.03.25～08.03.24	マラヤ大学日本留学予備教育課程
56	盛田 真規子	マレーシア	06.03.25～08.03.24	マラヤ大学日本留学予備教育課程
57	小久保 ひろし	ラオス	04.04.07～07.07.31	ラオス国立大学
58	平田 好	ラオス	05.09.02～08.09.01	ラオス日本人材開発センター
59	山口 明	インド	02.06.02～05.12.28	ニューデリー事務所
60	平賀 達哉	インド	05.01.04～08.01.22	文部省留学生協会 (MOSAI) 日本語学院
61	畠山 理恵	インド	05.05.12～08.05.11	ニューデリー事務所 (南インド担当)
62	長谷川 理恵	インド	05.07.19～08.07.18	ニューデリー事務所
63	長谷川 あずさ	スリランカ	04.12.10～05.03.21	ケラニア大学
64	和田 衣世	スリランカ	05.04.23～07.04.22	ケラニア大学
65	室屋 春光	オーストラリア	02.07.02～05.07.01	ビクトリア州教育省
66	北井 佐枝子	オーストラリア	03.01.05～06.01.14	クイーンズランド州教育省
67	友岡 純子	オーストラリア	03.01.05～06.01.14	タスマニア州教育省
68	永井 和子	オーストラリア	03.04.08～05.04.24	西オーストラリア州教育省
69	江原 有輝子	オーストラリア	04.04.14～07.06.30	ニュー・サウス・ウェールズ州教育省
70	佐々木 香織	オーストラリア	04.09.07～07.04.06	シドニー日本文化センター
71	村野 節子	オーストラリア	07.04.06～07.02.10	西オーストラリア州教育省
72	岸田 理恵	オーストラリア	06.01.12～08.01.31	クイーンズランド州教育省
73	原田 明子	オーストラリア	06.01.12～08.01.31	タスマニア州教育省
74	江頭 由美	ニュージーランド	02.12.20～06.01.31	ニュージーランド教育省
75	茅本 百合子	ニュージーランド	05.04.06～08.02.10	ニュージーランド教育省
76	宇田川 洋子	カナダ	03.07.10～06.06.30	アルバータ州学習省
77	今枝 亜紀	チリ	05.01.05～08.01.19	国立サンチャゴ大学

	氏名	国	期間	受入団体
78	三浦 多佳史	ブラジル	03.04.08～06.03.29	サンパウロ日本文化センター
79	榛葉 久美	アイルランド	05.07.26～07.07.31	アイルランド教育省
80	衣笠 秀子	イタリア	03.08.30～06.07.15	ローマ日本文化会館
81	来嶋 洋美	英国	05.02.17～08.02.28	ロンドン事務所
82	星 亨	ドイツ	03.07.24～05.07.23	ケルン日本文化会館
83	谷道 まや	ドイツ	04.07.14～07.07.13	ケルン日本文化会館
84	沼崎 邦子	ドイツ	05.07.11～07.07.23	ケルン日本文化会館
85	森戸 規子	ウクライナ	05.08.15～08.06.30	キエフ国立大学
86	福島 青史	ウズベキスタン	03.07.29～06.07.12	ウズベキスタン日本人材開発センター
87	荒川 友幸	カザフスタン	04.04.15～07.04.14	カザフスタン日本人材開発センター
88	黒滝 力	キルギス	04.07.09～06.12.08	キルギス日本人材開発センター
89	柴倉 映子	チェコ	04.09.17～07.09.30	カレル大学
90	齊藤 眞美	ハンガリー	02.08.11～05.08.10	ブダペスト事務所
91	栗原 幸則	ハンガリー	05.07.29～07.08.10	ブダペスト事務所
92	須賀 美紀	ブルガリア	04.07.14～07.07.28	ソフィア大学
93	菅生 早千江	ポーランド	04.06.28～07.07.12	ヤギェヴォ大学
94	酒井 理恵	ルーマニア	04.03.27～07.07.20	ブカレスト大学
95	境田 徹	ロシア	03.08.19～05.07.27	モスクワ国際関係大学
96	池津 丈司	ロシア	05.07.14～08.07.26	モスクワ国立大学
97	松島 幸男	イラン	03.07.15～06.07.30	テヘラン大学
98	青沼 国夫	サウジアラビア	02.06.18～06.07.15	キングサウド大学
99	中堂 暁美	シリア	04.07.15～07.07.31	ダマスカス大学
100	杉山 純子	トルコ	02.09.30～06.04.30	土日基金文化センター
101	横野 登代子	トルコ	06.06.04～08.09.30	土日基金文化センター
102	岩元 隆一	エジプト	03.08.14～05.07.10	アインシャムス大学
103	尾崎 裕子	エジプト	03.08.31～06.09.21	カイロ事務所
104	山門 健二	エジプト	05.08.15～07.07.10	アインシャムス大学

日本語事業費

	氏名	国	期間	受入団体
105	近藤 裕美子	モロッコ	02.10.01～05.09.27	モハメド5世大学

2. 日本語派遣・助成費 (2)日本語教育専門家派遣（ジュニア専門家）

1.主として中等教育レベルの日本語教師の能力向上に資するため、担当地域内で日本語教師のための勉強会の開催や、学校訪問・巡回指導等を行なう。

2.大学等個別の機関に派遣され、当該機関の授業担当、カリキュラム編成、教材作成、現地教師への助言等を行なう。
合計額 163,314,873円

	氏名	国	期間	受入団体
1	池田 富子	韓国	02.06.03～05.07.02	在釜山総領事館
2	澤邊 裕子	韓国	02.06.10～05.07.09	ソウル日本文化センター
3	長山 由美子	中国	03.07.11～05.07.21	吉林省教育学院
4	鳴海 佳恵	中国	04.07.20～06.07.19	遼寧教育学院
5	吉田 佳未	中国	05.08.04～08.08.03	北京日本文化センター
6	藤島 夕紀代	インドネシア	02.06.15～05.06.30	インドネシア中等教育機関
7	森本 由佳子	インドネシア	02.06.15～05.12.25	インドネシア中等教育機関
8	田尻 由美子	インドネシア	03.06.15～05.06.30	インドネシア中等教育機関
9	平岩 桂子	インドネシア	04.06.11～07.06.30	インドネシア中等教育機関
10	増井 優子	インドネシア	04.06.11～06.06.30	インドネシア中等教育機関
11	吉田 好美	インドネシア	04.06.11～06.06.30	インドネシア中等教育機関
12	小原 亜紀子	インドネシア	05.06.13～07.06.30	インドネシア中等教育機関
13	栗原 明美	インドネシア	05.06.13～08.06.30	インドネシア中等教育機関
14	斎藤 真美	インドネシア	05.06.13～08.06.30	インドネシア中等教育機関
15	伊東 忠洋	タイ	03.04.25～06.04.24	タイ中等教育機関
16	伊藤 愛子	タイ	04.04.15～07.04.14	タイ中等教育機関
17	吉川 景子	タイ	05.04.10～07.04.24	タイ中等教育機関
18	鈴木 由美子	タイ	05.05.02～07.05.01	タイ中等教育機関
19	大船 ちさと	ベトナム	04.04.02～06.04.01	ベトナム中等教育機関
20	黒田 朋斎	ベトナム	05.04.02～07.08.31	ベトナム中等教育機関

	氏名	国	期間	受入団体
21	平岩 ゆか	ラオス	04.09.01～07.08.31	国立ラオス大学
22	田中 真寿美	英国	05.04.14～07.04.14	ロンドン事務所
23	立間 智子	アゼルバイジャン	05.08.16～06.06.30	バクー国立大学
24	石田英明	ウクライナ	05.08.16～06.06.30	キエフ国立言語大学
25	大島 智美	カザフスタン	05.08.16～06.06.30	アル・ファラビ名称カザフ民族大学
26	飯野 令子	ハンガリー	05.06.08～08.06.30	ブダペスト事務所
27	星野 智子	ベラルーシ	05.08.16～06.06.30	ベラルーシ国立大学、ミンスク国立言語大学
28	若林 一弘	ロシア	05.08.16～06.02.08	サハリン国立総合大学
29	原田 かおり	ロシア	05.08.16～06.06.30	極東国立人文大学
30	山田 光子	ロシア	05.08.16～06.06.30	ウラジオストク極東国立大学
31	深水 豊	ロシア	05.09.01～06.06.25	ノボシビルスク国立大学
32	佐藤 五郎	サウジアラビア	03.05.28～05.06.30	キングサウド大学
33	大和田 泰隆	サウジアラビア	05.06.06～07.06.30	キングサウド大学
34	内藤 真理子	シリア	04.08.17～07.07.31	ダマスカス大学
35	藤原 由紀子	エジプト	04.08.15～06.06.30	アインシャムス大学
36	古川 敦子	エジプト	04.08.15～06.06.30	カイロ大学

2. 日本語派遣・助成費	(3) 日本語教育巡回セミナー
--------------	-----------------

海外の日本語教師の質的向上を図るため、当該国または近隣国に派遣している日本語教育専門家等が、教授法などに関する教師研修を行なう。

合計額 2,000,919円

	事業名	国	都市	期間	派遣者	現職
1	モンゴル巡回セミナー	モンゴル	ウラン・バートル	05.10.08～05.10.09	小西 広明	北京日本文化センター派遣日本語教育専門家
2	南アジア巡回セミナー	インド	コルカタ	05.09.22～05.09.24	長谷川 理恵	ニューデリー事務所派遣日本語教育専門家
		インド	チェンナイ	05.10.01	畠山 理恵	ニューデリー事務所派遣日本語教育専門家(南インド担当)
		バングラデシュ	ダッカ	06.03.02、06.03.25	平賀 達哉	ニューデリー事務所派遣日本語教育専門家

日本語事業費

	事業名	国	都市	期間	派遣者	現職
3	中南米巡回セミナー	ドミニカ共和国	サントトミンゴ	05.11.04～ 05.11.08	三浦 多佳志	サンパウロ日本文化センター派遣日本語教育専門家
		コロンビア	カリ/ボゴタ	06.02.22～ 06.02.26	吉川・一甲・真由美・エジナ	サンパウロ日本文化センター専任講師 サンパウロ日本文化センター専任講師
		ベネズエラ	カラカス	06.03.14～ 06.03.15	吉川・一甲・真由美・エジナ	
4	中央アジア巡回セミナー	ウクライナ	キエフ	06.03.11～ 06.03.12	池津 丈司 石田 英明 森戸 規子	モスクワ国立大学派遣日本語教育専門家 キエフ国立言語大学派遣日本語教育専門家 キエフ国立大学派遣日本語教育専門家 モスクワ国立大学派遣日本語教育専門家
		ウズベキスタン	タシケント/サマルカンド	06.02.01～ 06.02.02	池津 丈司	ウズベキスタン日本人材開発センター派遣日本語教育専門家 モスクワ国立大学派遣日本語教育専門家
		カザフスタン	アルマティ	06.02.04～ 06.02.05	池津 丈司 荒川 友幸	カザフスタン日本人材開発センター派遣日本語教育専門家
		ルーマニア巡回セミナー	ルーマニア	ブカレスト	05.11.19～ 06.11.20	栗原 幸則

2. 日本語派遣・助成費 (4) アジア青年文化奨学金（予備教育）（A C）

アジア各国の文化振興支援の一環として、アジア域内の将来を担う人材育成を支援するため、日本の大学院へ留学するアジア10カ国の大学卒業者を対象に大学院留学前予備教育事業を行なう。

合計額 68,130,171円

	事業名	国	人数	期間
1	アジア青年文化奨学金	インドネシア	2	05.04.01～06.03.31
		カンボジア	2	
		シンガポール	1	
		タイ	2	
		フィリピン	2	
		ベトナム	1	
		マレーシア	2	
		ミャンマー	2	
		ラオス	2	
		バングラデシュ	2	

2. 日本語派遣・助成費 (5)日本語教育学会助成

日本語教育学会が実施する教育研修事業、海外における日本語教育事情に関する調査研究、国内外における日本語教育事情に関する情報の提供、および情報交流の促進に資する事業の実施経費の一部を助成する。

合計額 24,452,000円

	機関	国	期間	事業内容
1	社団法人日本語教育学会	日本	05.04.01～ 06.03.31	社団法人日本語教育学会が実施する各種研修事業、調査研究事業に対して助成金を交付

2. 日本語派遣・助成費 (6)日本語教育機関支援（専任講師給与助成）

海外で日本語教育を行なう機関が日本語講師スタッフの拡充を目的として専任の日本語講師（非常勤・兼任を除く）を新規に採用する場合、国際交流基金がその給与を当初の3年間を上限として助成する。

合計額 37,788,886円

	国	機関
1	タイ	コンケイン大学
2	オーストラリア	南オーストラリア大学
3	米国	ウィスコンシン大学オークレア校
4	米国	フロリダ国際大学
5	米国	シンシナティ大学
6	ブラジル	リオデジャネイロ州立大学
7	アイスランド	アイスランド大学
8	ウズベキスタン	タシケント国立東洋大学
9	ウズベキスタン	タシケント国立東洋学大学（16年度繰り越し分）
10	クロアチア	ザグレブ大学
11	クロアチア	ザグレブ大学哲学部（16年度繰越分）
12	スロベニア	リュブリャーナ大学文学部
13	イスラエル	ハイファ大学
14	サウジアラビア	キングサウド大学言語翻訳学部日本語専攻
15	シリア	ダマスカス大学

日本語事業費

2. 日本語派遣・助成費	(7)日本語教育機関支援（現地講師謝金助成）
--------------	------------------------

海外の非営利日本語教育機関で日本語講座の運営に財政的困難がある場合、近い将来自助独立の見通しのあるもの限り、講師スタッフの謝金の一部を助成する。

合計額 14,675,637円

	国	機関
1	韓国	社団法人釜山韓日文化交流協会
2	韓国	済州道韓日親善協会
3	中国	課程教材研究所
4	カンボジア	一二三日本語教室
5	ベトナム	フエ師範大学
6	マレーシア	マラヤ大学日本留学予備教育課程
7	インド	日本語センター・ニューデリー
8	インド	オリッサ・コンピューターアプリケーションセンター
9	パキスタン	パキスタン・日本文化協会（シンド）
10	バングラデシュ	ダッカ日本語教室
11	バングラデシュ	ダッカ大学現代言語研究所
12	カナダ	アルバータ州教育省
13	米国	マレー州立大学
14	キューバ	国立芸術学院
15	コスタリカ	日本・コスタリカ文化友好協会
16	メキシコ	日墨文化学院
17	パラグアイ	日本パラグアイ学院
18	ブラジル	エスコーラ・ニッケイ
19	ブラジル	日本語普及センターポルトアレグレ校
20	ブラジル	リオデジャネイロ日伯文化協会
21	ボリビア	ラパス日本人会日本語普及学校
22	英国	ウォーウィック大学
23	ポルトガル	コインブラ大学（H16年度の繰越）
24	ポルトガル	コインブラ大学（H17年度分）

	国	機関
25	ウクライナ	イヴァンフランコ記念リヴィウ国立大学
26	ウクライナ	タラス・シェフチェンコ記念キエフ国立大学
27	ウクライナ	ウクライナ国立工科大学/キエフ工科大学
28	エストニア	エストニア人文大学
29	ブルガリア	ソフィア第18高校
30	ポーランド	ヤギェウォ大学東洋語学研究所日本・中国語学科
31	ラトビア	リーガ文化高等学校
32	ラトビア	ラトヴィア大学現代言語学部東洋学科
33	イエメン	イエメン・日本友好協会
34	オマーン	オマーン日本友好協会
35	エジプト	エジプト日本語教育振興会
36	エジプト	アイン・シャムス大学外国語学部

2. 日本語派遣・助成費	(8) 日本語教育プロジェクト支援（弁論大会助成）
--------------	---------------------------

海外において日本語弁論大会を開催しようとする機関に対して、経費・賞品などの一部を助成する。合計額 10,313,477円

	大会名	国	機関	期間
1	第14回日本語弁論大会	韓国	済州道韓日親善協会	05.07.15
2	第7回全国高校生日本語力競技大会	韓国	社団法人韓日協会	05.08.19
3	第1回延辺州日本語スピーチコンテスト	中国	延辺大学	05.07.09
4	第30回2005年度香港日本語弁論大会	中国	香港日本文化協会	05.10.29
5	第9回マカオ日本語スピーチコンテスト	中国	マカオ大学	06.03.25
6	第4回日本語スピーチコンテスト	モンゴル	モンゴル国立科学技術大学	05.11.19
7	第12回スラウェシ地区日本語弁論大会	インドネシア	ハサスディン大学	05.05.28

日本語事業費

	大会名	国	機関	期間
8	第22回日本語弁論大会	インドネシア	北スマトラ大学	05.05.28
9	第9回日本語スピーチコンテスト	カンボジア	国立経営大学	06.01.30
10	第37回日本大使杯日本語スピーチコンテスト	シンガポール	シンガポール日本文化協会	05.07.10
11	第32回タイ国日本語弁論大会	タイ	タイ国元日本留学生協会 (OJSAT)	05.09.04
12	第4回セブ日本語弁論大会	フィリピン	セブ日本人会	06.01.28
13	第19回ブルネイ日本語弁論大会	ブルネイ	ブルネイ教育省技術教育局生涯教育課	05.08.28
14	第11回ホーチミン市日本語スピーチコンテスト	ベトナム	ベトナム日本人材協力センター	05.11.06
15	第26回日本語弁論大会	マレーシア	ペナン日本語協会	05.08.13
16	第19回日本語弁論大会	マレーシア	ペラ馬日友好協会	05.08.20
17	第11回日本語スピーチコンテスト	ミャンマー	マンダレー外国語大学	05.07.01
18	第3回日本語スピーチ大会	ラオス	ラオス日本人材開発センター	06.03.18
19	第18回東インド日本語弁論大会	インド	印日福祉文化協会	05.10.01
20	第18回北部地区日本語弁論大会	インド	文部省留学生協会（北部）	05.11.01
21	第18回西インド地区日本語弁論大会	インド	プネ印日協会	06.02.18
22	日本語弁論大会	インド	印日商工会議所	06.02.25
23	第18回日本語弁論大会	スリランカ	スリランカ日本語教育協会	06.03.25
24	第24回日本語弁論大会	ネパール	ネパール日本語教師協会	06.02.22
25	第21回カラチ日本語弁論大会	パキスタン	パキスタン・日本文化協会（インド）	06.02.25
26	第30回日本語弁論大会	バングラデシュ	ダッカ日本語教室同窓会	06.03.24
27	ビクトリア州日本語教師会ジュニア・スピーチ・コンテスト	オーストラリア	ビクトリア州日本語教師会	05.08.01
28	タスマニア州日本語弁論大会	オーストラリア	タスマニア豪日協会	05.08.08
29	A.C.T. 日本語弁論大会	オーストラリア	首都特別地域日本語教師会	05.08.27

	大会名	国	機関	期間
30	第34回クイーンズランド州日本語弁論大会	オーストラリア	クイーンズランド州現代語教師会	05.08.27
31	第13回北部準州日本語弁論大会	オーストラリア	北部準州語学教師会	05.09.03
32	南オーストラリア州日本語弁論大会	オーストラリア	南オーストラリア州日本語教師会	05.09.10
33	第36回ビクトリア州日本語弁論大会	オーストラリア	日本語弁論大会実行委員会	05.09.10
34	第36回西豪州日本語弁論大会	オーストラリア	西オーストラリア大学	05.09.11
35	第13回ウェリントン日本語大会	ニュージーランド	ウェリントン地区日本語教師会	05.08.19
36	2005年オークランド地域日本語弁論大会	ニュージーランド	ユニテック工科大学	05.08.27
37	こんにちは 日本語スピーチコンテスト	ニュージーランド	カンタベリー日本語教師ネットワーク	05.11.25
38	第18回マニトバ日本語弁論大会	カナダ	マニトバ大学アジア研究センター	06.03.03
39	第17回オタワ日本語弁論大会	カナダ	オタワ日本語弁論大会準備委員会	06.03.04
40	第24回オンタリオ州日本語弁論大会	カナダ	オンタリオ州日本語弁論大会実行委員会	06.03.11
41	第15回アルバータ地区日本語弁論大会	カナダ	アルバータ地区日本語弁論大会実行委員会	06.03.11
42	第18回BC州日本語弁論大会	カナダ	ブリティッシュ・コロンビア州日本語弁論大会実行委員会	06.03.11
43	第17回ケベック州日本語弁論大会	カナダ	モントリオール大学	06.03.14
44	第8回アトランティック・カナダ日本語弁論大会	カナダ	ニュー・ブランズウィック大学	06.03.18~06.03.19
45	第17回全カナダ日本語弁論大会	カナダ	ヨーク大学	06.04.02
46	第22回日本語スピーチ&スキットコンテスト	米国	兵庫文化交流センター	05.04.01
47	ハワイ日系人連合協会日本語はなし方大会	米国	ハワイ日系人連合協会	05.04.16
48	第16回アリゾナ日本語弁論大会	米国	アリゾナ日本語教師協会	05.04.17

日本語事業費

	大会名	国	機関	期間
49	第17回テキサス州日本語弁論大会	米国	テキサス州日米協会	05.10.29
50	第19回コロラド州日本語弁論大会	米国	コロラド大学東アジア言語文学部	05.11.12
51	第32回成人日本語弁論大会	米国	北加日本協会	05.11.13
52	第2回日本語弁論大会	米国	南ネバダ日本語教師会	05.11.19
53	歌とドラマによる競技会および ジャパンボール	米国	グアム日本語教師会	05.12.04
54	第24回全ユタ州大学弁論大会	米国	ブリガム・ヤング大学	06.02.05
55	第2回CAJLTランゲージキャンプ2006年	米国	カリフォルニア日本語教師会	06.02.12
56	2006年日本語弁論大会および ジャパン・ボール	米国	ジョージア州日米協会	06.02.25
57	第9回CSLA日本語スピーチコンテスト	米国	カリフォルニア州立大学ロサンゼルス校	06.02.25
58	第3回アラスカ全州日本語発表会	米国	アラスカ日本語教師会	06.03.04
59	2006年セントラル・オハイオ日本語弁論大会	米国	セントラル・オハイオ日米協会	06.03.05
60	第5回YYY フロリダ州日本語弁論大会	米国	フロリダ州日本語教師会	06.04.22
61	第3回エル・サルバドル日本語スピーチコンテスト	エルサルバドル	エル・サルバドル大学	05.09.03
62	第10回ハバナの日本語の弁論大会	キューバ	ハバナ大学外国語学部	05.06.01
63	第5回日本語弁論大会	コスタリカ	青年のための公共政策審議会	05.07.29
64	第10回日本語弁論大会	ニカラグア	中米大学	05.10.01
65	第2回日本語弁論大会	ホンジュラス	帰国留学生の会	06.03.31
66	第22回メキシコ日本語弁論大会	メキシコ	メキシコ日本語教師会	05.05.29
67	第13日本語スピーチコンテスト	アルゼンチン	在亜日本語教育連合会	05.10.02
68	第15回日本語弁論大会	ウルグアイ	在ウルグアイ日本人会	05.10.15
69	第3回ボゴタ日本語弁論大会	コロンビア	コロンビア国立大学	05.09.24

	大会名	国	機関	期間
70	第15回コロンビア西部地区日本語弁論大会	コロンビア	コロンビア日系人協会付属日本語学院	05.10.15
71	第24回日本語弁論大会	チリ	日智文化協会	05.11.04
72	第17回日本語スピーチコンテスト	パラグアイ	パラグアイ日本人会連合会	05.08.27
73	第26回サンパウロ日本語スピーチコンテスト	ブラジル	ブラジル日本語センター	05.10.01
74	第4回東北伯スピーチコンテスト	ブラジル	リオグランデ・ド・ノルテ教育技術連邦センター	05.10.08
75	第11回汎ブラジリア日本語スピーチコンテスト	ブラジル	ブラジリア日本語普及会	05.10.16
76	第24回日本語普及お話し・弁論大会	ブラジル	汎アマゾンニア日伯協会	05.10.16
77	第24回日本語弁論大会	ブラジル	リオグランデ・ド・スールカトリック大学	05.10.22
78	第27回リオデジャネイロ日本語弁論大会	ブラジル	リオデジャネイロ日伯文化協会	05.10.29
79	第7回全国日本語朗読弁論大会	ペルー	ペルー日系人協会	05.11.20
80	第2回日本語スピーチコンテスト	アイスランド	アイスランド大学	05.05.16
81	第4回アイルランド日本語弁論大会	アイルランド	アイルランド日本語教師協会	06.03.11
82	第25回日本語弁論大会	ギリシャ	日本文化研究会	05.04.16
83	第14回バルセロナ日本語弁論大会	スペイン	バルセロナ水曜会	05.05.07
84	第17回スペイン人による日本語弁論大会	スペイン	日西文化協会TORA	06.01.13
85	第21回日本語で語る会	フィンランド	フィンランド・日本語日本文化教師会	06.03.25
86	第4回バクー日本語弁論大会	アゼルバイジャン	バクー国立大学	05.10.08
87	第10回ウクライナ日本語弁論大会	ウクライナ	キエフ日本語教師会	05.10.01
88	第14回ウズベキスタン日本語弁論大会	ウズベキスタン	ウズベキスタン日本語弁論大会実行委員会	06.03.06

日本語事業費

	大会名	国	機関	期間
89	第8回カザフスタン日本語弁論大会	カザフスタン	アブライハン名称カザフ国際関係および外国語大学	06.03.11
90	第9回中央アジア日本語弁論大会	キルギス	キルギス日本語教師会	05.05.14
91	第1回日本語のスピーチ・コンテスト	セルビア・モンテネグロ	語学専門高等学校	05.11.02
92	第30回日本語弁論大会	チェコ	チェコ・日本友好協会	06.03.11
93	第13回日本語スピーチコンテスト	ハンガリー	ハンガリー日本語教師会	05.11.12
94	第11回日本語弁論大会	ブルガリア	キリル・メトディ国際基金	05.04.16
95	第4回ベラルーシ日本語弁論大会	ベラルーシ	ベラルーシ日本語教師会	05.09.27
96	第1回モルドバ共和国日本語スピーチコンテスト	モルドバ	モルドバ日本交流財団	05.12.10
97	第5回大学生日本語弁論大会	ラトビア	ラトビア大学	06.03.15
98	第10回日本語スピーチコンテスト	ルーマニア	ルーマニア日本語教師会	06.03.18
99	2005年モスクワ日本語スピーチコンテスト	ロシア	モスクワ日本語教師会	05.05.14
100	第10回ロシア極東・東シベリア日本語弁論大会および第9回教育セミナー	ロシア	サハリン国立総合大学	05.10.12
101	第18回全CIS学生日本語弁論大会	ロシア	CIS日本語教師会	05.11.12
102	第3回日本語弁論大会	イエメン	イエメン・日本友好協会	05.12.15
103	第8回日本語スピーチコンテスト	シリア	在シリア日本語教師会	05.11.30
104	第14回アンカラ日本語弁論大会	トルコ	アンカラ日本語弁論大会実行委員会	05.12.11
105	第15回イスタンブール日本語弁論大会	トルコ	イスタンブール日本語弁論大会実行委員会	06.03.11
106	第9回日本語スピーチコンテスト	ヨルダン	ヨルダン大学	06.03.11
107	第7回モロッコ日本語弁論大会	モロッコ	モロッコ日本語教師連絡会	06.02.18

	大会名	国	機関	期間
108	日本語スピーチコンテスト	マダガスカル	滞日経験者同窓会	05.08.01

2. 日本語派遣・助成費	(9) 日本語教育プロジェクト支援（ネットワーク形成助成）
--------------	-------------------------------

海外の日本語教師、日本語教育研究者、日本語教育機関のネットワーク化を促進することを目的に、各国の日本語教師会、日本語教育学会、高等教育機関、研究機関などに対し、日本語教育に関する学術会議、セミナー、ワークショップ、日本語教師研修会などのプロジェクト実施経費の一部を助成する。

合計額 15,774,532円

	機関	国	期間	事業内容
1	大学日語教学研究会	中国	05.08.19～ 05.08.21	大学日本語教学研究会第3回大会
2	インドネシア日本語教育学会スマトラ支部	インドネシア	05.08.27～ 06.01.28	インドネシア日本語教育学会スマトラ支部日本語教育セミナーと研修報告会
3	パジャジャラン大学日本語研究センター	インドネシア	05.09.08～ 05.09.09	インドネシアの日本語教育の今後の課題
4	シンガポール日本語教師の会	シンガポール	05.08.18～ 05.08.19	シンガポール日本語教師の会主催日本語教育セミナー
5	財団法人泰日経済技術振興協会附属日本語学校	タイ	05.10.22～ 05.10.23	TPA Teacher's Seminar "Japanese language Standard Teaching Method"
6	ニュージーランド教育省教員養成大学協議会	ニュージーランド	05.09.23～ 05.09.27	ニュージーランド日本語教師ネットワークプロジェクト2005
7	カナダ日本語教育振興会	カナダ	05.08.19～ 05.08.21	カナダ日本語教育振興会2005年度年次大会
8	アルバータ州教育省	カナダ	05.09.29～ 05.09.29	西部カナダから北部カナダにおよぶ日本語教育ネットワーク・サポート
9	米国日本語教師会連盟	米国	06.02.10～ 06.02.12	日本語集中レッスン受講学生に関するネットワーク会議－高校、大学、実社会を連携するために－
10	メキシコ日本語教師会	メキシコ	06.03.10～ 06.03.12	メキシコ日本語教育ネットワーク形成
11	日伯文化連盟	ブラジル	05.09.29～ 05.09.30	ブラジル日本語教育国際シンポジウム「多様な背景を持つ学習者への対応を考える」
12	ブラジル日本語センター	ブラジル	06.03.09～ 06.03.11	ブラジル日本語教師代表者研修会

日本語事業費

	機関	国	期間	事業内容
13	イタリア日本語教育協会	イタリア	06.03.18～ 06.03.19	イタリア日本語教育協会教師研修会
14	英国日本語教育学会	英国	05.09.02～ 05.09.03	第8回BATJ発表会
15	スイス日本語教師の会	スイス	06.03.18～ 06.03.19	第12回日本語教育セミナー
16	バルセロナ日本語教師会	スペイン	05.10.23	2005年スペイン日本語教師研修会
17	デュイスブルグ・エッセン大学	ドイツ	05.09.28～ 05.09.30	国際化時代の欧州における日本語教育について
18	ドイツ語圏中等教育日本語教師会	ドイツ	05.10.15～ 05.10.17	第17回ドイツ語圏中等教育日本語教師研修会
19	ドイツ語圏大学日本語教育研究会	ドイツ	06.03.17～ 06.03.19	第12回ドイツ語圏大学日本語教育研究会シンポジウム
20	ドイツ市民大学日本語講師の会	ドイツ	06.03.24～ 06.03.26	第15回全国定例研修会
21	フランス日本語教師会	フランス	05.05.06～ 05.05.07	第7回フランス日本語教育シンポジウム
22	ベルギー日本語教師会	ベルギー	05.09.09～ 05.09.11	第10回ヨーロッパ日本語教育シンポジウム
23	キエフ日本語教師会	ウクライナ	06.03.01～ 06.03.02	第5回ウクライナ日本語教育セミナー
24	ウズベキスタン日本語教育セミナー2005実行委員会	ウズベキスタン	05.06.23～ 05.06.29	ウズベキスタン日本語教育セミナー2005
25	中東欧日本語教師連絡会	ハンガリー	06.02.10～ 06.02.12	中東欧日本語教育研修会
26	ブルガリア日本語教師会	ブルガリア	05.09.24～ 05.09.25	第2回ブルガリア日本語学・日本語教育シンポジウム
27	モスクワ大学付属アジア・アフリカ諸国大学	ロシア	06.01.20～ 06.01.28	モスクワ日本語教育シンポジウム
28	エルジェス大学文理学部	トルコ	05.09.17～ 05.09.18	第4回トルコ日本語教師会大会

	機関	国	期間	事業内容
29	中東欧日本語教師連絡会	エジプト	05.09.03～ 05.09.04	中東欧日本語教育研修会

2. 日本語派遣・助成費	(10) 日本語教育 J F ボランティア (指導助手派遣)
--------------	--------------------------------

ジャパンファウンデーション・ボランティアの1つとして、海外の日本語教育機関で、国際交流基金派遣専門家の指導・支援を受けて日本語を教える。

合計額 29,890,153円

	氏名	国	期間	受入団体
1	山下 貴子	ベトナム	05.08.15～ 06.06.30	チューヴァンアン中学校
2	佐藤 雅子	ベトナム	05.08.22～ 06.07.31	ベトナム日本人材協力センター (ホーチミン)
3	横山 直子	ベトナム	05.08.22～ 06.07.31	ベトナム日本人材協力センター (ハノイ)
4	秋山 佳世	ラオス	05.09.11～ 06.07.27	ラオス日本人材開発センター
5	川村 秋子	ウズベキスタン	05.08.23～ 06.08.02	ウズベキスタン日本人材開発センター
6	和栗 夏海	カザフスタン	05.08.23～ 06.07.12	カザフスタン日本人材開発センター
7	渡邊 知積	キルギス	05.08.10～ 06.07.31	キルギス日本人材開発センター
8	黒田 類	ポーランド	05.09.14～ 06.08.31	日本美術技術センター
9	小曾戸 祥	シリア	05.08.20～ 06.07.31	ダマスカス大学

日本語事業費

2. 日本語派遣・助成費	(11)日本語教育 J F ボランティア (シニア客員教授派遣)
--------------	----------------------------------

海外の中核的日本語教育機関等で日本語講座の新規立ち上げを行ったり、当該国の日本語教育のレベルアップのためのアドバイザー業務を行なう。

合計額 5,423,616円

	氏名	国	期間	受入団体	事業内容
1	北條 淳子	フランス	05.11.14～ 07.11.13	パリ日本文化会館	カリキュラムの編成や教材作成、現地教師に対する教授法等の指導・助言などを行なった

3. 日本語能力試験費 (1)日本語能力試験実施

海外の日本語学習者を対象として、その日本語能力を測定し、級別（1級～4級）に認定する試験を実施した。44の国・地域、116都市において294,787人の受験者があった。

合計額 192,714,468円

	国	都市	受験者数		国	都市	受験者数
1	韓国	ソウル	26,176	62	パキスタン	イスラマバード	23
2		釜山	17,138	63		カラチ	23
3		全州	5,059	64	バングラデシュ	ダッカ	91
4		済州	1,294	65	オーストラリア	キャンベラ	35
5		仁川	9,921	66		ブリスベン	169
6	中国	北京	12,911	67		パース	79
7		上海	24,930	68		シドニー	299
8		長春	4,457	69		メルボルン	122
9		大連	12,191	70		アデレード	73
10		広州	7,006	71	ニュージーランド	オークランド	294
11		瀋陽	2,692	72		ウェリントン	69
12		天津	4,525	73		クライストチャーチ	131
13		ハルビン	2,156	74	カナダ	バンクーバー	436
14		西安	2,611	75		トロント	273
15		重慶	1,001	76	米国	ロサンゼルス	399
16		済南	4,459	77		シカゴ	282
17		武漢	3,670	78		ニューヨーク	287
18		廈門	2,611	79		ホノルル	66
19		杭州	7,669	80		アトランタ	133
20		フフホト	1,282	81		サンフランシスコ	387
21		洛陽	1,603	82		ワシントンD.C.	155
22		蘇州	7,222	83		シアトル	158
23		青島	3,758	84	メキシコ	メキシコシティ	855
24		長沙	3,506	85	アルゼンチン	ブエノスアイレス	552
25		成都	1,090	86	パラグアイ	アスンシオン	717
26		南京	6,871	87	ブラジル	サンパウロ	2,010
27		合肥	1,904	88		ロンドリーナ	475
28		深圳	3,845	89		ベレーン	72
29		南昌	2,452	90		リオデジャネイロ	249
30		香港	10,482	91		ポルトアレグレ	104
31	中国（台湾）	台北	31,618	92		ブラジリア	193
32		高雄	10,708	93		サルバドール	52
33	モンゴル	ウランバートル	796	94	ペルー	リマ	310
34	インドネシア	ジャカルタ	2,633	95	ボリビア	サンタクルス	-
35		バンドン	1,191	96	イタリア	ローマ	265
36		スラバヤ	781	97		ミラノ	206
37		メダン	718	98	英国	ロンドン	632
38		ジョグジャカルタ	601	99	ギリシャ	アテネ	252
39		パダン	254	100	スイス	ベルン	190
40		デンパサール	233	101	スペイン	バルセロナ	453
41	シンガポール	シンガポール	3,743	102	デンマーク	コペンハーゲン	44
42	タイ	バンコク	8,121	103	ドイツ	デュッセルドルフ	360
43		チェンマイ	1,749	104		シュトゥットガルト	246
44		ソンクラーク	463	105		ベルリン	225
45	フィリピン	マニラ	1,805	106	フィンランド	ヘルシンキ	110
46		セブ	276	107	フランス	パリ	936
47		ダバオ	168	108	ウクライナ	キエフ	284
48	ベトナム	ハノイ	1,440	109	ウズベキスタン	タシケント	353
49		ホーチミン	3,808	110	カザフスタン	アルマティ	164
50	マレーシア	クアラルンプール	1,857	111	ハンガリー	ブダペスト	240
51		ペナン	350	112	ブルガリア	ソフィア	137
52		イポー	85	113	ポーランド	ワルシャワ	132
53		コタキナバル	184	114	ルーマニア	ブカレスト	253
54	ミャンマー	ヤンゴン	1,764	115	ロシア	モスクワ	848
55		マンダレー	-	116		ウラジオストク	231
56	インド	ニューデリー	875	117	トルコ	アンカラ	273
57		プネ	1,860	118	エジプト	カイロ	231
58		コルカタ	208			人数計	294,787
59		チェンナイ	1,209				
60	スリランカ	コロンボ	1,070				
61	ネパール	カトマンズ	1,089				

※マンダレー（ミャンマー）、サンタクルス（ボリビア）は、現地事情により、本年度日本語能力実施見送り。

日本語事業費

3. 日本語能力試験費	(2) 評価開発
-------------	----------

試験結果を分析し、報告書を作成する。また、年少者向けインターネット試験を運営する。

合計額 34,513,243円

	事業名	期間	事業内容
1	分析評価報告書作成	05.04.01~06.03.31	日本語能力試験の統計的な分析結果に基づく評価を報告し、今後のより良いテスト問題作成に資するとともに、日本語教育の研究者や参加者に日本語テスト研究用資料を提供するため『平成16年度日本語能力試験 分析評価に関する報告書』の刊行準備を行なった
2	年少者向けインターネット試験	05.04.01~06.03.31	世界で日本語を学習している年少者（日本語入門レベル）を対象としたインターネット日本語テスト「すしテスト (http://momo.jp.go.jp/sushi/)」の運営

日本語普及事業に必要な経費

附属機関日本語国際センター事業費

1. 研修事業費

- (1) 指導的日本語教師の養成（日本語教育指導者）
- (2) 指導的日本語教師の養成（海外日本語教師上級研修）
- (3) 海外日本語教師研修（長期）
- (4) 海外日本語教師研修（短期）
- (5) 海外日本語教師研修（在外邦人）
- (6) 海外日本語教師研修（国別）
- (7) 受託研修（日）
- (8) 地域交流研修（日）

2. 制作事業費

- (1) 日本語教育フェローシップ
- (2) 日本語教材（自主開発・普及）
- (3) 日本語教材（助成）
- (4) 日本語教材（寄贈）
- (5) 図書館運営（日）

附属機関日本語国際センター事業費

1. 研修事業費 (1) 指導的日本語教師の養成 (日本語教育指導者)

海外の日本語教育機関などの現職日本語教師もしくは日本語教授経験者を対象として、3年間で博士課程、1年間で修士課程を修了するものであり、各国における日本語教育指導者の養成を目的とする。

合計額 34,985,317円

	事業名	期間	国 (人数)	人数計	事業内容
1	指導的日本語教師の養成平成15年度博士	03.09.29～ 06.09.28	中国(1)	1	海外の日本語教育が盛んな国、もしくは今後盛んになると見込まれる国において、その国の日本語教育をリードする人材、つまりは日本語教育において優れた指導能力を有し、かつ日本の文化・社会全般に渡って知識と理解力を備えた、指導的な日本語教育分野関連での研究者、教師、およびその国の日本語教育施策の企画と推進の中心的な担い手となる実務者を養成。 本プログラムは国際交流基金日本語国際センター、国立国語研究所、政策研究大学院大学の3機関が連携して運営する3年間の博士課程。継続中の2003年9月に入学した第1期生は1名。
2	指導的日本語教師の養成平成16年度博士	04.09.29～ 07.09.28	タイ(1)	1	海外の日本語教育が盛んな国、もしくは今後盛んになると見込まれる国において、その国の日本語教育をリードする人材、つまりは日本語教育において優れた指導能力を有し、かつ日本の文化・社会全般に渡って知識と理解力を備えた、指導的な日本語教育分野関連での研究者、教師、およびその国の日本語教育施策の企画と推進の中心的な担い手となる実務者を養成。本プログラムは国際交流基金日本語国際センター、国立国語研究所、政策研究大学院大学の3機関が連携して運営する3年間の博士課程。継続中の2004年9月に入学した第1期生は1名。
3	指導的日本語教師の養成平成17年度修士	05.09.29～ 06.09.17	中国(2) インドネシア(1) ベトナム(1) マレーシア(2) ミャンマー(1) カザフスタン(1) キルギス(1) ウクライナ(1) マダガスカル(1)	11	海外の日本語教育機関等の現職日本語教師もしくは日本語教授経験者を対象として、1年間で修士課程を修了するものであり、各国における日本語教育指導者の養成を目的とし、国立国語研究所および政策研究大学院大学の2機関と連携し、3機関の指導講師による日本語教育における高度で実践的な学位プログラム。最終試験で所定の成績に達した者に対して、政策研究大学院大学の修士号(日本語教育)を授与。今年度は、9カ国より11名を招へい

1. 研修事業費	(2) 指導的日本語教師の養成 (海外日本語教師上級研修)
----------	-------------------------------

日本語国際センター研修修了生の中で、より高度な専門知識、技能を求め、日本語教育実践において実現・解決したい具体的な課題を有する者を2カ月間招へいし、自立的な問題解決能力の育成を図ることを目的とする。

合計額 5,389,590円

	事業名	期間	国 (人数)	人数計	事業内容
1	海外日本語教師 上級研修平成17 年度	05.06.01～ 05.07.29	韓国(1) モンゴル(1) マレーシア(1) インド(1) ネパール(1) オーストラリア(1) メキシコ(1) フランス(1) イラン(1)	9	日本語教師として豊富な知識と高い能力を持つ者を対象に、教育現場での専門的知識と実践能力の育成、および各自のプロジェクトの遂行による教師としての専門性の向上を目的とした集中研修を行なった。9カ国から9名を招へい

附属機関日本語国際センター事業費

1. 研修事業費 (3) 海外日本語教師研修 (長期)

海外の中・高等教育機関などの日本語教師養成を図るため、日本語教授経験の比較的少ない教師および日本語教師となることがすでに決まっている者を約5カ月招へいし、日本語運用能力の向上と基礎的な日本語教授法の研修を行なう。
合計額 103,495,510円

	事業名	期間	国 (人数)	人数計	事業内容
1	平成17年度海外日本語教師研修 (長期)	05.09.14～ 06.03.10	モンゴル(4) インドネシア(14) カンボジア(1) タイ(3) フィリピン(1) ベトナム(8) マレーシア(1) ミャンマー(1) ラオス(1) スリランカ(3) ネパール(3) バングラデシュ(1) コロンビア(1) チリ(1) ブラジル(4) フランス(1) アルメニア(1) ウクライナ(2) ウズベキスタン(4) カザフスタン(3) キルギス(2) グルジア(1) セルビア・モンテネグロ(1) ブルガリア(1) リトアニア(1) ルーマニア(1) ロシア(7) トルコ(1)	73	28カ国、73名の外国人若手日本語教師を5カ月半招へいし、日本語運用能力の向上を図るとともに、教授活動、日本事情等を学習するための集中研修を行なった

1. 研修事業費 (4) 海外日本語教師研修 (短期)

海外の初・中・高等教育機関などの日本語教師の教授能力の向上を図るため、日本語教師を2カ月間招へいし、日本語と日本語教授法および日本事情の集中研修を実施する。

合計額 88,788,245円

事業名	期間	国 (人数)	人数計	事業内容
1 海外日本語教師研修 (短期) 春期	05.05.11～ 05.06.30	モンゴル(1) インドネシア(13) タイ(15) フィリピン(1) ベトナム(1) マレーシア(3) スリランカ(1) オーストラリア(1) ニュージーランド(2) グルジア(1) リトアニア(1) ロシア(1)	41	日本語教師として2年以上の経験を持つ外国人日本語教師12カ国41名を2カ月間日本に招へいし、日本語、日本語教授法、日本事情等に関する集中研修を行なった
2 夏期	05.07.06～ 05.08.26	モンゴル(2) インドネシア(15) シンガポール(1) タイ(4) フィリピン(1) ベトナム(3) マレーシア(1) ミャンマー(1) インド(4) スリランカ(1) ネパール(1) パラオ(1) カナダ(1) 米国(1) メキシコ(4) ブラジル(3) イタリア(1) スペイン(1) デンマーク(1) ノルウェー(1) フランス(1) ウクライナ(1) ウズベキスタン(1) カザフスタン(1) キルギス(1) タジキスタン(1) ハンガリー(1) ポーランド(1) ロシア(6) サウジアラビア(1) トルコ(1)	64	海外教育機関等の日本語教師養成のため、海外31カ国から64名の日本語教師を招へいし、日本語運用能力の向上を図るとともに、教授活動、日本事情等を学習するための集中研修を行なった

附属機関日本語国際センター事業費

	事業名	期間	国（人数）	人数計	事業内容
3	冬期	06.02.01～ 06.03.24	韓国(5) モンゴル(1) インドネシア(7) シンガポール(1) タイ(2) ベトナム(2) マレーシア(1) インド(2) スリランカ(1) ネパール(1) オーストラリア(1) カナダ(1) チリ(1) ブラジル(2) ドイツ(1) ウズベキスタン(1) カザフスタン(1) キルギス(1) チェコ(1) ロシア(4) マダガスカル(1)	38	日本語教師として2年以上の経験を持つ外国人日本語教師21カ国38名を2カ月間日本に招へいし、日本語、日本語教授法、日本事情等に関する集中研修を行なった

1. 研修事業費	(5) 海外日本語教師研修（在外邦人）
----------	---------------------

海外に在住し、日本語教育に携わっている日本人教師を招へいし、日本語教授法等に関する集中研修を行なう。
合計額 15,731,738円

	事業名	期間	国（人数）	人数計	事業内容
1	17年度	05.11.16～ 05.12.16	タイ(1) マレーシア(1) インド(1) オーストラリア(3) ニュージーランド(2) カナダ(3) ジャマイカ(1) メキシコ(2) アルゼンチン(1) チリ(1) ブラジル(3) ベネズエラ(2) アイルランド(1) 英国(1) スイス(1) スペイン(1) ドイツ(3) ノルウェー(1) チェコ(1) ロシア(1) トルコ(2)	33	海外に在住している日本人日本語教師21カ国33名を本邦に招へいし、日本語教授法の集中研修を行なうとともに、日本事情等に関する最新の情報を収集する機会を提供

附属機関日本語国際センター事業費

1. 研修事業費 (6) 海外日本語教師研修 (国別)

非公募による国・地域別日本語教師研修として、当該国政府(教育部等)、国際交流基金事務所、在外公館などからの推薦により参加を決定する以下の研修を行なう。

合計額 60,113,899円

	事業名	期間	国(人数)	人数計	事業内容
1	タイ	05.04.13～ 05.06.03	タイ(12)	12	タイ政府とバンコク日本語センター共同でタイ国内において1年間の日本語教師養成講座を行なっているが、この修了生12名を約2カ月間日本に招へいし、日本語力向上と日本事情の集中研修を行なった
2	韓国	05.07.27～ 05.08.26	韓国(49)	49	韓国政府教育部が選抜した高等学校の日本語教師49名を約1カ月間招へいし、日本語、日本語教授法、日本事情等に関する集中研修を行なった
3	中国大学	05.09.21～ 05.11.10	中国(38)	38	中国の大学等高等教育機関の日本語教師38名を約2カ月間招へいし、現状とニーズに即した日本語、日本語教授法、日本事情の集中研修を行なった
4	中国中等	06.02.01～ 06.03.24	中国(20)	20	中国の中等教育機関の日本語教師20名を招へいし、日本語運用能力の向上を図るとともに、教授活動、日本事情等を学習するための集中研修を行なった
5	豪州・ニュージーランド	06.01.11～ 06.01.30	オーストラリア(22) ニュージーランド(5)	27	豪州、ニュージーランド政府が選抜した初等、中等教育の日本語教師27名を約3週間招へいし、日本語、日本事情の集中研修を行なった

1. 研修事業費 (7) 受託研修 (日)

外務機関から受託した研修。

合計額 458,319円

	事業名	期間	国(人数)	人数計	事業内容
1	埼玉県海外技術研修員日本語受託研修	05.05.26～ 05.06.24	フィリピン(1) ラオス(1) ブータン(1)	3	埼玉県では、開発途上国から研修員を招き、同県の特徴を生かした技術指導を行なう研修員受け入れ事業を行なっている。埼玉県からの委託により、研修員3名に対し、ホームステイや研修先で必要とされる最低限の日本語のコミュニケーション能力を身につけるための約1カ月の日本語研修を行なった

附属機関日本語国際センター事業費

1. 研修事業費	(8) 地域交流研修 (日)
----------	----------------

日本語国際センターの位置する埼玉県、ならびに全国各自治体の国際交流活動に対する協力の観点から、JETプログラム(語学指導等を行なう外国青年招致事業)参加者などに対して、以下の日本語、教授法の研修を行なう。

合計額 53,520円

事業名	期間	国(人数)	人数計	事業内容
1 平成17年度	06.03.23～ 06.03.29	韓国(3) 中国(3) シンガポール(2) タイ(1) オーストラリア(4) ニュージーランド(1) カナダ(3) 米国(7) スウェーデン(1)	25	全国のJETプログラム参加者の中から希望者25名に対し、基礎的な日本語教授法研修を実施

2. 制作事業費	(1) 日本語教育フェローシップ
----------	------------------

海外の日本語教育機関等が自国の日本語教育の実情に即して、教材の制作やカリキュラム・教授法等の開発を行なうなどの目的で、日本語教育専門家に日本で研究・調査させる必要がある場合に、専門家来日のための経費等を支援する。

合計額 26,996,352円

国	機関	氏名	現職	期間	事業内容
1 中国	湖南大学	李 姐莉 李 炎	助教授 編集者	05.06.25～ 05.09.24 05.07.15～ 05.09.14	『日本語中級総合教程』制作。『日本語初級総合教程』の続編で、初級段階を終えた学習者向けの教材
2 中国	華東師範大学日本語学部	徐 敏民	日本語学部長	05.07.29～ 05.10.28	大学の日本語科のメインテキストとなっている『基礎日本語』の第3巻および4巻の制作。コミュニケーションを重視し、日本文化や日本社会の紹介を盛り込んだ教材
3 中国	上海大学外国語学院	王 頎 張 秀敏	副院長 副学部長	06.02.18～ 06.03.31	『とびら1』および『とびら2』制作。日本語の日常会話へのニーズの高まりに着目し考案された日常会話教材
4 カンボジア	一二三日本語教室	鬼 一二三	学校長	05.07.01～ 05.08.31	『日本語ガイドの基礎知識』制作。ガイドに必要な内容を日本語で説明できる能力を習得するためのテキスト
5 タイ	タマサート大学教養学部日本語学科	SKULKRU, Pakatip	准教授	06.03.06～ 06.05.05	タイ人学習者のための日本語音声教材の開発

附属機関日本語国際センター事業費

	国	機関	氏名	現職	期間	事業内容
6	ブラジル	リオデジャネイロ州立大学文学部日本語科	キタハラ高野 聡美 小俣 景鼓	学科長/助教授 音楽指導者	05.12.14～ 06.02.02 05.12.29～ 06.02.15	音楽、演劇、情報科学を使った日本語・日本文化とポルトガル語・ブラジル文化間の子供向けコミュニケーション教材およびメソッドの研究開発
7	イギリス	エディンバラ大学	松本スタート 洋子 オヘイガン 統子	専任講師 専任講師	06.03.29～ 06.05.28 06.12.29～ 06.02.26	大学院修士課程における英日翻訳カリキュラムおよび教授法に関する共同開発の試み
8	スイス	スイス日本語教師の会	フックス清水 美千代 クレニン道上 まどか	会長 日本語教師	05.07.03～ 05.08.02	海外に住むバイリンガルの小学校2年生用教科書の制作
9	フランス	ロース・アルプ日本語学・日本語教育研究会	島守 玲子 東 伴子	助教授 助教授/日本語科主任	05.06.14～ 05.08.27 05.06.28～ 05.08.27	仏語話者対象の日本語学習辞典作成プロジェクト
10	キルギス	キルギス共和国日本人材開発センター	VOROBIEVA, Galina VOROBEV, Viktor	日本語講座主任/講師 助教授	05.05.06～ 05.07.31	ロシア語圏で日本語を学ぶ学習者のための漢字教材作成
11	スロベニア	リュブリャナ大学文学部	フメリヤク 寒川 クリスティーナ	助手	05.03.05～ 05.07.04	スロベニア人学習者のための辞書編纂企画
12	ロシア	モスクワ国立言語大学	PAVLOVSKAYA, Nadezhda	専任講師	06.01.17～ 06.05.16	ロシア語を母語とする学習者向けの初級発音教材の制作
13	エジプト	カイロ大学日本語日本文学科	IBRAHIM, Walid	専任講師	05.07.02～ 05.11.01	アラビア語話者のための日本語文法書の作成。初級から上級までの日本語の文法項目を例を挙げながらアラビア語で解説

附属機関日本語国際センター事業費

2. 制作事業費 (2) 日本語教材 (自主開発・普及)

海外における日本語教育のために効果的な日本語教材を開発する。

合計額 21,133,665円

	教材名	著者	出版社	発行部数	事業内容
1	みんなの教材サイト	-	-	インターネット公開	世界中の日本語教師に、日本語教材を作成するための素材と作成ノウハウを提供すると共に、日本語教師間の情報交換の場を提供するウェブサイトの拡充と運営。登録ユーザー数は延べ32,000名を超えた(2006年3月末)。平成17年度は、韓国語版の制作と中上級向けの読解・文法素材の追加等を行なった
2	教科書を作ろう	日本語国際センター	-	日本語版：6,000部(平成13年度)/英語版：500部	平成16年度に翻訳が完成し「みんなの教材サイト」で配信した『教科書を作ろう(英語版)』を、平成17年度に出版した。他に、日本語版の配布および在庫管理を行なった
3	TVコマーシャル集	監修：佐久間勝彦(聖心女子大学教授) 執筆：山田しげみ(東京外国語大学講師)	ビデオ制作：日本シネセル株式会社 付属教材：株式会社創英	500部	平成16年度に完成した『TVコマーシャル集 2005』を世界各国で活用。ロサンゼルス事務所と協力し、動画素材を使った日本語教育のサポートサイトを作成
4	写真パネルバンク	吉岡英幸ほか計9名	日本出版貿易	-	写真のインターネットサイト掲載等を行なった
5	テレビ日本語講座	長崎武昭/阪田雪子ほか	ビデオペディック	-	海外におけるテレビ日本語講座の放映を促進するために、英語版テレビ日本語講座の提供を行なった
6	重点支援/インドネシア	-	-	-	インドネシア普通高校新カリキュラムに対応した教科書教材制作支援
7	DVD・TV映像教材制作	日本語国際センター	-	-	初・中等教育における日本語学習者が世界全体の65%を占める現状に鑑み、将来を担う若者にふさわしい、かつ教師の利便性を考慮した、広く活用される映像教材の開発を開始した
8	基礎日本語学習辞典	望月孝逸ほか10名(執筆/編集/英文翻訳/校閲/校正)	凡人者(国内)/オックスフォード大学出版局(海外)ほか	-	2004年11月に出版した基礎日本語学習辞典英語版第二版に関して、タイ語版、アラビア語版、中国語(繁体字)版、フランス語版、スペイン語版の制作を行なった

2. 制作事業費 (3) 日本語教材 (助成)

海外で使用される日本語教材の出版に対し、制作経費の一部を助成する。

合計額 14,634,273円

	教材名 (和)	助成対象者 (和)	国名	事業内容
1	新版中日交流標準日本語 初級 (上下)	人民教育出版社	中国	1988年発行の『中日交流標準日本語』の全面改訂版。日本語の文字と発音を扱う「入門単元」の設置、初級レベルの文法項目の難易度に応じた段階的配列、日本事情な話題の導入、挿絵や写真の多様によるビジュアルへの配慮など、現代の利用者のニーズに合わせた改訂を行なった
2	大学日本語作文	外語教学与研究出版社	中国	中国の大学生のための、総合的な書く能力を育てるための作文教材。基礎編と実践編に分かれ、実践編では手紙などコミュニケーション用の文書と論文の書き方を扱う
3	らくらく日本語	大連出版社	中国	中国語を母語とする一般成人向けの初級教材。国際交流基金の『教科書を作ろう』をもとに、新出語彙にはアクセントと品詞、中国語訳をつけた
4	ホテルの日本語～敬語でコミュニケーションしましょう	特定非営利活動法人ASIA言語文化交流協会	カンボジア	カンボジアで観光業に従事しようとする人のための教材。敬語や接遇用語を身につけるための、そのまま使える例文を挙げている。CD付き
5	新日本語の基礎 I ラオス語文法解説	ラオス国立大学基礎学科	ラオス	スリーエーネットワーク発行の初級教材『新日本語の基礎 I 文法解説書』のラオス語翻訳
6	古典日本語文法	コロンビア大学出版局	米国	米国の高等教育機関（主として学部後半および大学院生）向けの日本語古典文法の教材
7	家庭でバイリンガルを育てる 0歳からのバイリンガル教育 -継承日本語教育の立場から-	イースタン・ミシガン大学	米国	親が海外で子どもをバイリンガルに育てる際の教育指導書。0歳から中学生まで、子どもの成長段階に応じたアドバイスをする実践編と、2言語発達についての研究や理論を紹介する理論編から成る。日英併記
8	KYOREN初級和西辞典	社団法人在亜日本語教育連合会	アルゼンチン	中南米のスペイン語を母語とする初級の日本語学習者向けの辞典。見出し語は1,980語
9	読もう・話そう 中級日本語4	日伯文化連盟	ブラジル	ポルトガル語を母語とする成人学習者のための中級教科書。新出語彙にはポルトガル語訳を、文法事項にはポルトガル語解説を付与。ブラジルの文化事情も盛り込んで身近な事柄を日本語で表現できるよう配慮
10	ひらがなかんたん	Post-Primary Languages Initiative	アイルランド	アイルランドの中等教育用初級教材で、教室内での利用または学習者の独習を想定したワークブック (CD付き)。2003年に発行された『カタカナかんたん』の姉妹編
11	初めて学ぶ日本とその文化の歴史 (改訂増補版)	ボローニャ大学出版協同組合	イタリア	日本史、日本文化等を学ぶイタリアの大学生のための、日本語の基本的な専門用語を習得するための教材。日本語教育と日本学の一体化、漢字およびローマ字書き専門用語の正確さ、専門用語数の豊かさに配慮

附属機関日本語国際センター事業費

	教材名 (和)	助成対象者 (和)	国名	事業内容
12	日本語でどうぞ2	ランゲンシャイト出版社	ドイツ	ドイツ市民大学講座（一般成人向け）で利用される初級後半の教材。1999年発行の『日本語でどうぞ1』の続編
13	一年生のための日本語	プロヴァンス大学出版	フランス	高校生ないし大学生の、1年目の学習者のためのフランス語の教材
14	ウズベキスタン語日本語総合教材「日本語」	タシケント国立東洋学大学	ウズベキスタン	短時間で日本語会話を習得しようとする学習者のためのウズベク語の教材。15課に分かれ、各課は文法解説、例文、会話、練習、語彙から成る。ウズベキスタンの事情にあった例文を採用していることが特徴
15	みんなの日本語初級翻訳・文法解説I グルジア語版	Ena da Kultura	グルジア	スリーエーネットワーク発行の教材『みんなの日本語初級翻訳・文法解説I』のグルジア語翻訳
16	日本語・チェコ語辞典	レダ出版社	チェコ	チェコ語を母語とする日本語学習者向けの辞典。見出し語は41,000語。1993年に発行された初版から、見出し語を3割増加し、用例を改訂
17	漢字60課	ビジネスプリント 書籍出版・編集	ルーマニア	ルーマニア語を母語とする学習者向けの漢字教材。漢字の成り立ちや読み方などを説明。語彙索引および漢字索引付き

2. 制作授業費 (4) 日本語教材 (寄贈)

海外で正規に日本語教育を行なう教育機関などに対し、日本語教材を寄贈する。

合計額 88,531,349円

地域・国名		機関数	教材点数
機関数合計		1,039	23,852
国・地域数合計		109	
東 ア ジ ア	韓国	9	268
	中国	63	1,402
	モンゴル	30	817
	地域計	102	2,487
東 南 ア ジ ア	インドネシア	81	1,681
	カンボジア	2	41
	シンガポール	3	71
	タイ	60	1,477
	フィリピン	10	213
	ブルネイ	1	21
	ベトナム	18	415
	マレーシア	19	458
	ミャンマー	2	21
	ラオス	4	107
地域計	200	4,505	
南 ア ジ ア	インド	16	410
	スリランカ	8	241
	ネパール	15	280
	パキスタン	2	63
	バングラデシュ	6	186
	モルディブ	1	8
	地域計	48	1,188
太 平 洋	オーストラリア	98	1,698
	サモア	1	19
	トンガ	3	36
	ニュージーランド	54	987
	パプアニューギニア	2	23
	パラオ	2	68
	フィジー	3	73
	マーシャル諸島	2	24
	地域計	165	2,928
	北 米	カナダ	27
米国		58	1,103
地域計	85	1,782	
中 米	エルサルバドル	1	29
	キューバ	2	84
	グアテマラ	1	15
	コスタリカ	1	70
	ジャマイカ	3	67
	ドミニカ共和国	1	13
	トリニダード・トバゴ	1	18
	ニカラグア	1	14
	パナマ	2	38
	ホンジュラス	1	24
	メキシコ	17	407
	地域計	31	779
南 米	アルゼンチン	4	86
	ウルグアイ	3	51
	エクアドル	2	45
	コロンビア	9	206
	チリ	3	83
	パラグアイ	2	90
	ブラジル	44	1,083
	ベネズエラ	7	151
ペルー	5	146	
ボリビア	5	68	
地域計	84	2,009	
西 欧	アイスランド	1	27
	アイルランド	3	76
	イタリア	9	159

地域・国名		機関数	教材点数
西 欧	英国	24	605
	オーストリア	3	95
	オランダ	3	52
	ギリシャ	3	66
	スイス	2	30
	スウェーデン	4	83
	スペイン	8	181
	デンマーク	5	88
	ドイツ	33	660
	ノルウェー	2	49
	フィンランド	6	132
	フランス	26	439
	フランス (ニューカレドニア)	1	10
	ベルギー	5	118
	ポルトガル	2	40
	ルクセンブルグ	2	26
地域計	142	2,936	
東 欧	アゼルバイジャン	1	30
	アルバニア	1	22
	アルメニア	1	39
	ウクライナ	15	556
	ウズベキスタン	11	385
	エストニア	1	30
	カザフスタン	7	240
	キルギス	9	289
	グルジア	1	38
	クロアチア	2	51
	スロバキア	1	57
	スロベニア	1	42
	セルビア・モンテネグロ	1	29
	タジキスタン	1	19
	チェコ	6	101
	ハンガリー	6	158
	ブルガリア	3	78
	ベラルーシ	2	30
	ポーランド	10	210
	モルドバ	1	32
	ラトビア	3	77
	リトアニア	2	62
	ルーマニア	10	245
ロシア	53	1,540	
地域計	149	4,360	
中 近 東	アフガニスタン	1	13
	イスラエル	2	14
	イラン	1	23
	オマーン	1	20
	クウェート	1	20
	シリア	3	106
	トルコ	5	133
	ヨルダン	1	27
	レバノン	1	11
	地域計	16	367
	北 ア フリ カ	エジプト	2
チュニジア		1	33
モロッコ		2	48
地域計	5	141	
ア フリ カ	ガーナ	1	30
	ケニア	3	135
	セネガル	1	16
	マダガスカル	6	165
	南アフリカ	1	24
地域計	12	370	

附属機関日本語国際センター事業費

2. 制作事業費	(5) 図書館運営 (日)
----------	---------------

国際交流基金日本語国際センターが招へいする海外の日本語教師など、内外の日本語教育関係者の教育研究活動のための専門図書館として、資料を収集・整理し、閲覧・貸し出し・レファレンスサービスを行なう。

合計額 20,153,126円

	事業名	蔵書数	事業内容	利用者数
1	図書館運営	図書 35,211点、視聴覚資料 5,674点、電子形態資料459点、絵教材308点、マイクロ資料 383点、計42,035点 雑誌・紀要・ニューズレター537誌、新聞12紙、計549タイトル	国内外における日本語教育の促進を目的として、日本語教科書・教材をはじめ、日本語教育、日本語、言語学、日本事情、外国語教育に関する資料や情報を収集・提供している専門図書館の運営	19,384

日本語普及事業に必要な経費

附属機関関西国際センター事業費

1. 研修事業費

- (1) 図書館運営 (関)
- (2) 専門日本語研修 (外交官)
- (3) 専門日本語研修 (公務員)
- (4) 専門日本語研修 (司書)
- (5) 専門日本語研修 (研究者・大学院生)
- (6) 日本語学習者訪日研修 (各国成績優秀者)
- (7) 日本語学習者訪日研修 (大学生)
- (8) 日本語学習者訪日研修 (高校生)
- (9) 地域交流研修 (関)

附属機関関西国際センター事業費

1. 研修事業費	(1) 図書館運営 (関)
----------	---------------

センター内で日本語および日本事情の集中研修を受けている研修生に対し、レファレンスなどの各種図書館サービスを提供する。

合計額 21,279,982円

	事業名	収蔵資料数	利用者数
1	図書館運営	39,134点	16,560人 (貸し出し冊数 7,523点)

1. 研修事業費	(2) 専門日本語研修 (外交官)
----------	-------------------

諸外国の若手外交官を9カ月間日本に招へいして、日本語および日本事情の長期集中研修をする。

合計額 63,369,623円

	事業名	期間	国 (人数)	人数計	事業内容
1	平成16年度専門日本語研修 (外交官)	04.10.06～ 05.06.24	インドネシア(1) カンボジア(1) タイ(1) フィリピン(1) ベトナム(1) マレーシア(1) ミャンマー(1) ラオス(1) スリランカ(1) ネパール(1) バングラデシュ(1) パラオ(1) キューバ(1) チリ(1) パラグアイ(1) アルバニア(1) ウズベキスタン(1) カザフスタン(1) セルビア・モンテネグロ(1) ブルガリア(1) アフガニスタン(1) イラク(1) イラン(1) エジプト(1) スーダン(1) リビア(1) ケニア(1) ザンビア(1) ベナン(1) マラウイ(1)	30	日本の外務省の協力を得て、海外若手外交官を日本に招へいし、日本語および日本事情の集中研修を実施

	事業名	期間	国（人数）	人数計	事業内容
2	平成17年度専門日本語研修（外交官）	05.10.05～ 06.06.23	インドネシア(1) カンボジア(1) フィリピン(1) マレーシア(1) ミャンマー(1) ラオス(1) パキスタン(1) バングラデシュ(1) バヌアツ(1) ミクロネシア(1) ジャマイカ(1) ホンジュラス(1) アルゼンチン(1) チリ(1) ウクライナ(1) エストニア(1) グルジア(1) タジキスタン(1) ラトビア(1) イエメン(1) イラク(1) トルコ(1) アルジェリア(1) チュニジア(1) エチオピア(1) ギニア(1) コンゴ民主共和国(1)	27	日本の外務省の協力を得て、海外若手外交官を日本に招へいし、日本語および日本事情の集中研修を実施

1. 研修事業費	(3) 専門日本語研修（公務員）
----------	------------------

海外の公的機関に勤務し、業務上の理由で日本語の習得を必要としている者を9カ月間日本に招へいし、日本語および日本事情の長期集中研修をする。

合計額 20,402,261円

	事業名	期間	国（人数）	人数計	事業内容
1	平成16年度専門日本語研修（公務員）	04.10.06～ 05.06.24	ミャンマー(1) ラオス(1) バングラデシュ(1) ウズベキスタン(1) カザフスタン(1) キルギス(1) リトアニア(1) ロシア(1) ギニア(1)	9	海外の公的機関に勤務し、業務上の理由で日本語の習得を必要としている者を日本に招へいし、日本語および日本事情の集中研修を実施

附属機関関西国際センター事業費

	事業名	期間	国（人数）	人数計	事業内容
2	平成17年度専門日本語研修（公務員）	05.10.05～ 06.06.23	モンゴル(1) インドネシア(1) カンボジア(1) ベトナム(1) ラオス(1) バングラデシュ(1) コスタリカ(1) ブラジル(1) タジキスタン(1) ベラルーシ(1) イエメン(1) パレスチナ(1)	12	海外の公的機関に勤務し、業務上の理由で日本語の習得を必要としている者を日本に招へいし、日本語および日本事情の集中研修を実施

1. 研修事業費	(4) 専門日本語研修（司書）
----------	-----------------

海外の高等教育機関、研究機関、文化交流機関、公立図書館などの司書で業務上日本語能力を必要とする者を約6か月間日本に招へいし、司書の業務上の必要に則した日本語の長期集中研修を実施する。

合計額 13,835,841円

	事業名	期間	国（人数）	人数計	事業内容
1	平成17年度専門日本語研修（司書）	05.10.05～ 06.03.24	韓国(1) 中国(3) モンゴル(1) インドネシア(1) ルーマニア(1) ロシア(2)	9	海外の高等教育機関、研究機関、文化交流機関、公立図書館などの司書で業務上日本語能力を必要とする者を約6か月間日本に招へいし、業務上必要な日本語の研修を実施

1. 研修事業費 (5) 専門日本語研修 (研究者・大学院生)

諸外国の研究者 (社会科学または人文科学専攻) および海外の大学院で社会科学または人文科学の分野を専攻し、将来日本研究関連の職業につくことを希望している大学院生で、研究活動上の目的で日本語の習得を望む人を対象に、日本語の集中研修を実施する。

合計額 72,089,364円

	事業名	期間	国 (人数)	人数計	事業内容
1	平成16年度専門日本語研修 (研究者・大学院生) -8カ月	04.10.06~ 05.05.27	韓国(1) 中国(3) モンゴル(1) シンガポール(1) ベトナム(1) オーストラリア(1) 米国(1) ブラジル(1) フランス(1) ハンガリー(1) ルーマニア(1) ロシア(1) トルコ(1)	15	研修活動上の目的で日本語の習得を必要とする海外の研究者を招へいし、日本語の集中研修を実施
2	平成17年度専門日本語研修 (研究者・大学院生) -2カ月	05.06.15~ 05.08.10	中国(2) インドネシア(2) シンガポール(2) タイ(1) フィリピン(1) ベトナム(1) カナダ(1) 米国(1) メキシコ(2) コロンビア(1) ブラジル(2) 英国(1) スウェーデン(1) ドイツ(1) フィンランド(1) フランス(2) ウクライナ(1) グルジア(1) セルビア・モンテネグロ(2) ハンガリー(1) ポーランド(1) ラトビア(1) ロシア(4) エジプト(1)	34	研修活動上の目的で日本語の習得を必要とする海外の研究者を招へいし、日本語の集中研修を実施

附属機関関西国際センター事業費

	事業名	期間	国（人数）	人数計	事業内容
3	平成17年度専門 日本語研修（研 究者・大学院生） －4カ月	05.09.07～ 05.12.21	韓国(2) 中国(8) シンガポール(1) ベトナム(3) 英国(1) オーストリア(1) ウクライナ(1) ウズベキスタン(1) キルギス(2) セルビア・モンテネグロ(1) ブルガリア(1) ルーマニア(1) ロシア(1)	24	研修活動上の目的で日本語の習得を必要とする海外の研究者を招へいし、日本語の集中研修を実施
4	平成17年度専門 日本語研修（研 究者・大学院生） －8カ月	05.10.05～ 06.05.26	韓国(3) モンゴル(1) ベトナム(1) インド(1) カナダ(1) 米国(1) イタリア(1) オーストリア(1) グルジア(1) ロシア(2) トルコ(1)	14	研修活動上の目的で日本語の習得を必要とする海外の研究者を招へいし、日本語の集中研修を実施

1. 研修事業費 (6) 日本語学習者訪日研修 (各国成績優秀者)

海外の日本語教育機関等で日本語を学習し、優秀な成績を修めているものを2週間日本に招へいし、講義および研修旅行等を通じて日本語および日本の文化・社会への理解を深めることを目的とした研修を実施する。

合計額 64,089,287円

	事業名	期間	国 (人数)	人数計	事業内容
1	平成17年度日本語学習者訪日研修 (各国成績優秀者)	05.09.07～ 05.09.21	中国(2) モンゴル(1) カンボジア(1) フィリピン(1) ベトナム(2) ミャンマー(1) ラオス(1) インド(2) スリランカ(1) ネパール(1) パキスタン(1) バングラデシュ(1) モルディブ(1) トンガ(1) バヌアツ(1) パプアニューギニア(1) パラオ(1) フィジー(1) マーシャル諸島(1) ミクロネシア(1) エルサルバドル(1) キューバ(1) グアテマラ(1) コスタリカ(1) ドミニカ共和国(1) ニカラグア(1) パナマ(1) ホンジュラス(1) アルゼンチン(1) ウルグアイ(1) エクアドル(1) コロンビア(1) チリ(1) パラグアイ(1) ブラジル(2) ベネズエラ(1) ペルー(1) ボリビア(1) アゼルバイジャン(1)	82	海外各国の日本語教育機関で日本語を学習し、優秀な成績を修めている学習者を2週間日本に招へいし、日本語および日本事情の研修を実施

附属機関関西国際センター事業費

事業名	期間	国（人数）	人数計	事業内容
		アルメニア(1) ウクライナ(1) ウズベキスタン(1) エストニア(1) カザフスタン(1) キルギス(1) グルジア(1) クロアチア(1) スロバキア(1) スロベニア(1) セルビア・モンテネグロ(1) チェコ(1) ハンガリー(1) ブルガリア(1) ベラルーシ(1) ポーランド(1) ボスニア・ヘルツェゴビナ(1) モルドバ(1) ラトビア(1) リトアニア(1) ルーマニア(1) ロシア(1) イエメン(1) イラン(1) サウジアラビア(3) シリア(1) トルコ(1) バーレーン(1) ヨルダン(1) エジプト(1) チュニジア(1) モロッコ(1) ガーナ(1) ケニア(1) セネガル(1) ベナン(1) マダガスカル(1)		

1. 研修事業費 (7) 日本語学習者訪日研修 (大学生)

日本語学習者数の大幅な増加が見られる地域における日本語教育の拠点機関から、その大学学部で日本語を学習している大学生をグループで招へいし、日本語の学習および日本文化・社会の理解を目的とした研修を実施する。
 合計額 54,690,467円

	事業名	期間	国 (人数)	人数計	事業内容
1	平成17年度日本語学習者訪日研修 (大学生) 春季	05.05.11～ 05.06.22	インド(6) スリランカ(2) メキシコ(3) アゼルバイジャン(3) ベラルーシ(3) ロシア(4) トルコ(3)	24	海外の大学で日本語を学習している大学生をグループで日本に招へいし、日本語の集中研修を実施
2	平成17年度日本語学習者訪日研修 (大学生) 秋季	05.10.26～ 05.12.07	ウクライナ(2) ウズベキスタン(1) カザフスタン(1) キルギス(1) スロバキア(1) スロベニア(1) セルビア・モンテネグロ(1) チェコ(1) ハンガリー(1) ブルガリア(1) ポーランド(3) ルーマニア(1) サウジアラビア(1) トルコ(1)	17	海外の大学で日本語を学習している大学生をグループで日本に招へいし、日本語の集中研修を実施
3	平成17年度日本語学習者訪日研修 (大学生) 冬季	06.01.11～ 06.02.22	ラオス(2) アルゼンチン(1) コロンビア(2) チリ(2) ブラジル(4) イラン(1) シリア(1) エジプト(2)	15	海外の大学で日本語を学習している大学生をグループで日本に招へいし、日本語の集中研修を実施

附属機関関西国際センター事業費

1. 研修事業費 (8) 日本語学習者訪日研修 (高校生)

海外の高等学校で日本語を学習し、優秀な成績を修めている者を2週間招へいし、日本語および日本文化・社会への理解を深め、同世代の日本の若者と交流する機会を提供する。

合計額 25,760,630円

	事業名	期間	国 (人数)	人数計	事業内容
1	平成17年度日本語学習者訪日研修 (高校生)	05.06.28～ 05.07.12	中国(3) モンゴル(2) インドネシア(3) タイ(3) マレーシア(2) スリランカ(2) オーストラリア(3) ニュージーランド(3) 仏領ニューカレドニア(1) カナダ(3) 米国(3) ブラジル(2) ペルー(1) アイルランド(1) 英国(3) ドイツ(1) フランス(2) ロシア(2)	40	海外の高校で日本語を学び優秀な成績を修めている者を2週間日本に招へいし、日本語および日本事情の研修を実施
2	李秀賢氏記念韓国青少年招へい事業	06.02.13～ 06.02.23	韓国(10)	10	李秀賢を記念し、韓国で日本語を学習する青少年を10名を日本に招へいし、日本語および日本事情の研修を実施

1. 研修事業費 (9) 地域交流研修 (関)

地域貢献の一環として、地方自治体等の機関が実施する事業のうち、主に日本語学習研修について、協力・共同実施する。

合計額 1,332,074円

	事業名	期間	国 (人数)	人数計	事業内容
1	JET青年日本語研修	05.07.19～ 05.07.29	オーストラリア(5) カナダ(4) ニュージーランド(2) 英国(2) 米国(25)	38	JETプログラムですでに日本に1年間滞在しているJET青年を対象に日本語の集中研修を実施

	事業名	期間	国(人数)	人数計	事業内容
2	大阪府JET青年 日本語研修	05.08.15～ 05.08.19	オーストラリア(3) カナダ(11) ドイツ(1) アイルランド(2) オランダ(1) ニュージーランド(3) トリニダード・トバゴ共和国 (1) 英国(7) 米国(31) 南アフリカ(1)	61	大阪府新規JET青年のうち小・中・高等学校において語学指導に従事する外国語指導助手(ALT)を対象に日本語の集中研修を実施
3	大阪府クィーンズ ランド州日本語 教師研修	06.01.05～ 06.01.20	オーストラリア(5)	5	大阪府と協力し、同府の姉妹提携都市であるオーストラリア・クィーンズランド州の日本語教師に対し、日本語および日本事情の研修を実施
4	日本語ボラン ティア教師育成 講座	05.12.13～ 06.03.28	日本(45)	45	地域で日本語を教える日本語指導者に対し、実践講座を開講

日本研究・知的交流事業に必要な経費

企画開発費

1. 日本研究事業費

- (1) 日本研究調査〔企〕
- (2) 日本研究ウェブサイト運営
- (3) 海外事務所企画開発事業
- (4) 日本研究フェローフォローアップ

2. 文化資料事業費

- (1) 日本研究基本図書目録
- (2) 図書寄贈〔企〕

1. 日本研究事業費 (1) 日本研究調査 [企]

日本研究調査のうち、海外の日本研究機関・日本研究者全般に関わり、地域区分不可能な経費。

合計額 1,134,278円

	事業名	国	期間	事業内容
1	日本研究概況調査	全世界区分困難	05.04.01～ 06.03.31	現地における専門分野ごとの研究者による最新の動向分析を得て、事業計画の策定に迅速に反映させることを目的とした概況調査

1. 日本研究事業費 (2) 日本研究ウェブサイト運営

日本研究に関する情報を掲載する日本研究ウェブサイト「JS-Netフォーラム」を運営する。

合計額 1,986,495円

	事業名	期間	事業内容
1	JS-Net 運営業務委託	05.04.01～ 06.03.31	日本研究集会・講演会等の案内、奨学会、研究助成に関する情報、主な日本研究機関・学会のサイトへの日本研究関係者のためのウェブサイトの運営

1. 日本研究事業費 (3) 海外事務所企画開発事業

海外事務所が所在国において、日本研究の振興や知的交流の推進に資する事業を企画立案し、実施する。

合計額 28,361,994円

	事業名	国	期間	事業内容
1	海外事務所企画開発事業 (ソウル)	韓国	05.04.01～ 06.03.31	「韓国における日本研究の現状と課題セミナー」等5件
2	海外事務所企画開発事業 (北京)	中国	05.04.01～ 06.03.31	「NPOの人材養成日中交流プロジェクト」等3件
3	海外事務所企画開発事業 (ジャカルタ)	インドネシア	05.04.01～ 06.03.31	「日本研究ワンデー・セミナー」等3件
4	海外事務所企画開発事業 (バンコク)	タイ	05.04.01～ 06.03.31	「タマサート大学国際会議」等3件
5	海外事務所企画開発事業 (マニラ)	フィリピン	05.04.01～ 06.03.31	「黒潮文化圏 (フィリピン～台湾～沖縄) 交流事業」等4件
6	海外事務所企画開発事業 (クアラルンプール)	マレーシア	05.04.01～ 06.03.31	「日本研究セミナー」等4件

企画開発費

	事業名	国	期間	事業内容
7	海外事務所企画 開発事業 (ニューデリー)	インド	05.04.01～ 06.03.31	「南アジアのイスラム研究」等4件
8	海外事務所企画 開発事業(シド ニー)	オーストラリ ア	05.04.01～ 06.03.31	「2006年日豪交流記念フォーラム準備事業」等2件
9	海外事務所企画 開発事業(トロ ント)	カナダ	05.04.01～ 06.03.31	小規模助成事業
10	海外事務所企画 開発事業 (ニューヨーク)	米国	05.04.01～ 06.03.31	「南部地域日本研究フィージビリティ調査」等4件
11	海外事務所企画 開発事業(メキ シコ)	メキシコ	05.04.01～ 06.03.31	「ラテンアメリカにおける日本研究の現状と課題セミナー」等2件
12	海外事務所企画 開発事業(ロー マ)	イタリア	05.04.01～ 06.03.31	「俳句シンポジウム」等3件
13	海外事務所企画 開発事業(ロン ドン)	英国	05.04.01～ 06.03.31	「日本の古美術収集品調査」等2件
14	海外事務所企画 開発事業(ケル ン)	ドイツ	05.04.01～ 06.03.31	「日独文化交流を支えた人々」出版助成
15	海外事務所企画 開発事業(パリ)	フランス	05.04.01～ 06.03.31	「日本学とは何か」シンポジウム等2件
16	海外事務所企画 開発事業(ブダ ペスト)	ハンガリー	05.04.01～ 06.03.31	小規模助成事業
17	海外事務所企画 開発事業(京都)	全世界区分困 難	05.04.01～ 06.03.31	アフリカにおけるアジア研究センター設立の継続的支援・交流

1. 日本研究事業費 (4)日本研究フェローフォローアップ

フェロー帰国後のフォローアップのため、フェローOBを海外事務所などに迎え、対日研究を契機とする研究や記事、論文、著作の執筆予定など、最新の活動状況を発表する公開フォーラムを定期的で開催する。他に、フェローのネットワーク化および国内での国際交流基金プログラム認知度向上を目指して、国内フェロー勉強会を地元の日本研究機関と連携しつつ実施する。

合計額 9,130,023円

	事業名	国	期間	事業内容
1	フェローフォローアップ (ソウル)	韓国	05.04.01～ 06.03.31	フェローOB講演会
2	フェローフォローアップ (北京)	中国	05.04.01～ 06.03.31	日本研究フェローおよび日本学研究センター卒業生フォローアップ
3	フェローフォローアップ (シドニー)	オーストラリア	05.04.01～ 06.03.31	フェロー研究成果物出版
4	フェローフォローアップ (ニューヨーク)	米国	05.04.01～ 06.03.31	フェロー懇親会等2件
5	フェローフォローアップ (サンパウロ)	ブラジル	05.04.01～ 06.03.31	南米地域フェローネットワーク
6	フェローフォローアップ (ロンドン)	英国	05.04.01～ 06.03.31	フェロー・フォローアップ・セミナー
7	フェローフォローアップ (ブダペスト)	ハンガリー	05.04.01～ 06.03.31	フェロー・レクチャーシリーズ等2件
8	フェローフォローアップ (ロシア)	ロシア	05.04.01～ 06.03.31	フェロー懇談会

企画開発費

2. 文化資料事業費 (1) 日本研究基本図書目録

海外における日本研究を促進するため、人文・社会科学の各分野における日本の学界動向に関するエッセイと文献解題で紹介する。海外日本研究者のための英文総合文献目録「社会科学編」と「人文科学編」を毎年交互に出版。財団法人東方学会が編集協力。

合計額 13,111,186円

	資料名・書名	発行日	発行部数	事業内容
1	基本書目14-2	-	1,000	日本における人文・社会科学各分野の動向を、英文によるエッセイと文献解題という構成で紹介する、海外の日本研究者のための総合文献目録
2	基本書目15-1	-	1,000	日本における人文・社会科学各分野の動向を、英文によるエッセイと文献解題という構成で紹介する、海外の日本研究者のための総合文献目録
3	基本書目15-2	-	1,000	日本における人文・社会科学各分野の動向を、英文によるエッセイと文献解題という構成で紹介する、海外の日本研究者のための総合文献目録

3. 文化資料事業費 (2) 図書寄贈〔企〕

国際交流基金が日本研究関係の定期刊行物を買上げ、ODA地域を中心とした日本研究・教育機関に対して寄贈を行なった。

合計額 2,313,809円

	国	機関	部数	事業内容
1	全世界区分困難	上智大学	100	Monumenta Nipponicaの購送
2	全世界区分困難	ワシントン大学	100	The Journal of Japanese Studiesの購送

日本研究・知的交流事業に必要な経費

米州交流事業費

1. 日本研究事業費

- (1) 日本研究調査〔米〕
- (2) 日本研究客員教授派遣（直接派遣）〔米〕
- (3) 日本研究拠点機関助成〔米〕
- (4) 日本研究スタッフ拡充助成〔米〕
- (5) 日本研究リサーチ・会議等開催（助成）〔米〕
- (6) 日本研究リサーチ・会議等開催（主催）〔米〕

2. 人物交流事業費

- (1) 新渡戸フェローシップ
- (2) 小淵フェローシップ
- (3) 日本研究フェローシップ（学者・研究者）〔米〕
- (4) 日本研究フェローシップ（論文執筆）〔米〕
- (5) 日本研究フェローシップ（短期）〔米〕

3. 催し等事業費

- (1) 知的リーダー交流（国際会議出席助成・派遣）〔米〕
- (2) 知的リーダー交流（国際会議出席助成・招へい）〔米〕
- (3) 知的交流会議等開催（助成）〔米〕

4. 文化資料事業費

- (1) 図書寄贈〔米〕

米州交流事業費

1. 日本研究事業費 (1) 日本研究調査〔米〕

海外の日本研究機関・日本研究者に関するディレクトリーを作成する。

合計額 7,662,845円

	事業名	国	期間	事業内容
1	北米日本研究調査	北米地域区分 困難	05.04.01～ 06.03.31	北米における日本研究の実態を把握するため、北米における日本研究調査を実施
2	中南米日本研究調査	中米地域区分 困難	05.04.01～ 06.03.31	中南米地域の日本研究機関調査を実施し、日本研究機関と研究者のディレクトリーを作成

1. 日本研究事業費 (2) 日本研究客員教授派遣（直接派遣）〔米〕

海外諸大学の日本研究講座を支援するため、人文・社会科学分野の学者・研究者を派遣する。

合計額 8,486,676円

	氏名	現職	国	期間	受入団体	事業内容
1	久松 佳彰	東洋大学助教授	グアテマラ	05.08.14～ 05.08.24	ラファエル・ランディバル大学	アジアの社会文化、経済発展、国際関係、知的財産管理等に関する講義
2	嘉本 伊都子	京都女子大学助教授	アルゼンチン	05.08.05～ 05.09.03	ラ・プラタ国立大学国際関係研究所	日本人の国際結婚に関する講義
3	岡本 由美子	同志社大学教授	チリ	05.07.31～ 05.09.02	チリ大学国際問題研究所	日本の国際政治およびラテンアメリカとの経済関係等に関する講義・セミナー
4	宮島 達夫	京都橘女子大学教授	ブラジル	05.08.02～ 06.10.03	サンパウロ大学	現代日本語文法に関する講義

1. 日本研究事業費 (3) 日本研究拠点機関助成〔米〕

海外の日本研究において特に中核的な役割を担う機関を指定して、その日本研究部門の研究費、運営費などを中長期にわたって総合的に助成する。

合計額 42,853,443円

	機関	国	期間	事業内容
1	米加大学連合日本研究センター	日本	05.04.01～ 06.03.31	米国・カナダにおける日本専門家の養成を目的とした。主として加盟17大学の日本研究専攻大学院生に対し、将来の専門活動に資するべく、上級日本語教育の研修を実施
2	アルバータ大学	カナダ	05.07.01～ 06.06.30	対カナダ日本研究特別助成（スタッフ強化助成）

	機関	国	期間	事業内容
3	ヨーク大学	カナダ	05.07.01～ 06.06.30	対カナダ日本研究特別助成（スタッフ強化助成）
4	スタンフォード 日本センター 京都日本研究センター	米国	05.09.01～ 06.03.31	主として米国の加盟14大学の日本研究専攻学部生を対象とする日本語・日本文化集中研修センター。3年生を対象に8カ月間の集中講義

1. 日本研究事業費	(4) 日本研究スタッフ拡充助成 [米]
------------	----------------------

海外の大学などが日本研究に関連した常勤の教官ポストを増設する場合に、最初の3年間に限り当該者の給与と社会保障費を助成する。

合計額 12,979,564円

	機関	国	期間	事業内容
1	カリフォルニア 大学リバーサイ ド校	米国	05.07.01～ 06.06.30	日本文学助教授の給与助成（3年目）
2	ペンシルバニア 大学	米国	05.09.01～ 05.12.31	政治学助教授の給与助成（4年目）
3	エモリー大学	米国	05.09.01～ 06.08.31	日本現代文学・文化助教授の給与助成（2年目）
4	ポートランド州 立大学	米国	05.09.15～ 06.09.14	日本経済学助教授の給与助成（2年目）

1. 日本研究事業費	(5) 日本研究リサーチ・会議等開催（助成） [米]
------------	----------------------------

海外の高等教育・研究機関が実施する日本研究に関連した共同研究・会議、セミナー・ワークショップや集中講座などについて、経費の一部を助成する。

合計額 24,430,108円

	団体	国	期間	事業名	事業内容
1	トロント大学	カナダ	05.04.01～ 05.05.01	「日本文学における都市・身体・テキスト」に関するワークショップ	日本・カナダ・米国の日本文学者が参加して「日本文学における都市・身体・テキスト」に関するワークショップを開催。背景としては、現代文学の研究はテキストだけを対象としても深まりがなく、作品が成立した社会的時代的環境、文化事象の関わりにおいて考察する必要があることによる。成果は論文集の出版や研究誌掲載等によって公表された

米州交流事業費

	団体	国	期間	事業名	事業内容
2	カナダ日本研究学会	カナダ	05.04.01～ 06.03.31	カナダ日本研究学会アルバータ会議2005「東アジア、世界の繋がりとアイデンティティ」	日本研究に関するカナダ唯一の学際的な学会であるカナダ日本研究学会（JSAC）の年次総会。アルバータ大学が会場。2005年はカナダアジア研究学会（CASA）の東アジア部門と共同で会議を行ない、日本研究者とアジア研究者とのネットワーク構築を図ったほか、2005年がアルバータ州建州100周年にあたることから、アルバータ州教育省からも協力を得て、幅広い分野の研究者を巻き込んだ総会を開催
3	モントリオール大学	カナダ	05.04.01～ 06.03.31	近代日本哲学に関する共同研究	カナダの仏語圏ではまだまだあまり知られていない近代日本の哲学者とその思想を紹介する論集の刊行を最終的な目標としつつ、その第一歩として日本・カナダ・米国・フランスから合計10名ほどの研究者が集まり、会議を開催
4	米国連邦議会図書館	米国	05.04.01～ 05.10.31	「木の鏡、野原の鏡」：武満徹の人生と音楽	日本の音楽とアメリカの音楽がどのように相互に影響し合ってきたかを、武満徹を引き合いに検証する2日間のシンポジウムを開催。会議期間中に武満徹作曲の作品のコンサートを催すほか、会議開催2週間前より、武満徹作曲の音楽が使用された日本映画10本を議会図書館内で上映。会議の成果はインターネット等に掲載
5	米国社会科学研究所評議会	米国	05.04.01～ 06.03.31	日本研究博士論文ワークショップ	博士論文執筆中の大学院生12名を対象として、論文指導を行なった。大学院生と研究者のネットワークを作ることにより、日本研究を専攻とする学生の孤立化を解消する。主に日本研究部門を有していない大学・研究機関に所属する学生を対象
6	北米日本研究資料調整協議会	米国	05.04.01～ 06.03.31	日本研究資料専門司書トレーナー養成ワークショップ	日本関連電子情報の需要が高まっていることを受け、日本語特有の様式で構築されたデータベース等電子情報の活用といった、専門的な技術を身に付けた日本研究資料専門司書を養成するワークショップ。2005年6月にカリフォルニア州ボモナ大学、10月にピッツバーグ大学他で開催
7	カリフォルニア州立大学チーコ校	米国	05.06.01～ 06.05.31	少女マンガの力：映像文化と社会に与える影響	日米の研究者、批評家、漫画家を集め、少女マンガが映像文化や社会に与えてきた影響に関する5日間のシンポジウムを開催。様々な分野の専門家の異なる角度からの研究発表の共有のほかに、日本のマンガパワーの世界的な現象や米国の大衆文化に与える影響について、教員・学生を含めたアメリカの一般市民に啓蒙することを目的とした
8	イリノイ大学アーバナ・シャンペーン校	米国	05.07.01～ 06.06.30	米国中西部日本研究セミナー	1970年に設立された日本研究地域部会の一つで、中西部地域の日本研究者が、年5回毎年異なったホスト機関に集まり、研究会を行なってそれぞれの研究を発表・批評し、中西部地域における日本研究者の学術コミュニティを形成。研究会1回につき、2名の研究発表を行なった

	団体	国	期間	事業名	事業内容
9	ブラジリア大学	ブラジル	05.04.01～ 06.03.31	第3回ブラジル 日本研究国際シ ンポジウム	近年のブラジル国内の日本語学習者の多様化に伴う、日本研究の多様化を背景に、日本研究分野における近年の様々な研究やその成果を学際的に紹介し、研究者間のネットワーク作りを促進。日本からも研究者を招き、「日本研究と学術国際交流」、「移動の時代における個人と文化」等をテーマに講演会を開催
10	リオ・デ・ジャ ネイロ州立大学	ブラジル	05.05.01～ 05.10.31	第3回日伯国際 シンポジウム	日本とブラジルの法律研究者が集まり、司法制度改革、司法研修、陪審員制度、司法へのアクセス、環境・消費者保護に関する司法からの取組み、裁判以外の紛争解決等について6つのセッションからなる公開シンポジウムを開催し、両国の制度や現状・問題点などを比較すると共に、一般市民の関心を喚起した

1. 日本研究事業費	(6) 日本研究リサーチ・会議等開催（主催）〔米〕
------------	---------------------------

日本に関するグループ研究、調査、学術的な会議、セミナー、ワークショップなどを開催する。

合計額 1,500,000円

	団体	国	期間	事業名	事業内容
1	福岡ユネスコ協 会	日本	05.10.22	第15回「日本研 究国際セミナー 2005」	ドナルド・キーン（コロンビア大学名誉教授）および川本皓嗣（大手前大学学長）の基調講演および、「日本文学の回顧と展望-21世紀を迎えて」と題するフォーラムを、福岡ユネスコ協会との共催事業として開催

米州交流事業費

2. 人物交流事業費 (1)新渡戸フェローシップ

財団法人国際文化会館が実施している社会科学国際フェローシップ（新渡戸フェローシップ）に対する協力として、同会館により選考・推薦された研究者に対し、旅費・滞在費などを支給する。

合計額 6,385,940円

	氏名	現職	国	期間	受入団体	事業内容
1	左右田 直規	東京外国語大学 外国語学部専任 講師	マレーシア	06.03.26～ 07.03.25	マレーシア工科大学社会科学部 /マレー国民大学マレー世界文明研究所	多民族マレーシアにおける民族間関係の動態を、地域社会の政治力学のなかから浮き彫りにした。特に地方議員と有権者とを結ぶ人間関係に焦点を当て、地方議員の政治活動に同行して参与観察を行ない、元・前議員や支持者等からの聞き取り調査を行なうなど、文献調査のみならず、フィールド調査を重視
2	石井 真一	大阪市立大学大学院経営学科 研究科助教授	オランダ	05.04.01～ 06.03.31	ティルバーグ大学(オランダ) / インシアドユーロ・アジアセンター(フランス) /オックスフォード大学サイードビジネス スクール(英国)	本研究では、日本企業と欧米企業の海外市場における参入・退出行動についてのデータベースを構築した上で、日本企業の国際合弁行動に対する欧米研究者の有力な見方「トロイの木馬仮説」を実証的に検討

2. 人物交流事業費 (2)小淵フェローシップ

日米両国政府の合意に基づく「小淵沖縄教育研究プログラム」の一環として、米国の東西センター（ハワイ州）を受け入れ機関として人文・社会科学分野に係る研究活動を行なう研究者などに対しフェローシップを支給する。

合計額 6,470,374円

	氏名	現職	国	期間	受入団体	事業内容
1	新垣 裕治	名桜大学観光産業学科 助教授	米国	05.12.10～ 06.03.31	東西センター	エコツーリズム推進における環境保護、保全のあり方に関する比較研究
2	東江 日出男	琉球大学教育センター 講師	米国	05.09.01～ 06.03.31	東西センター	発展途上国におけるガバナンス、グッドガバナンスと強い社会と弱い政府を超えて

2. 人物交流事業費 (3) 日本研究フェロウシップ (学者・研究者) [米]

諸外国の優れた日本研究者に日本で研究・調査活動を行なう機会を提供する。

合計額 70,320,356円

	氏名	現職	国	期間	受入団体	事業内容
1	EDGINGTON, David William	ブリティッ シュ・コロンビ ア大学日本研究 センター所長	カナダ	04.09.02～ 05.08.01	立命館大学国際 関係学部	日本の都市における多文化的計 画
2	IKEDA, Satoshi	アルバータ大学 社会学部準教授	カナダ	04.12.01～ 05.11.30	京都大学東南ア ジア研究所	日本の失敗した現代化とイデオ ロギーの危機：鎖国主義、天皇 主義、企業中心主義の東アジア 地域と世界的立場からのシステ ム分析
3	AZUMA, Shoji	ユタ大学準教授	米国	05.03.07～ 06.03.16	大妻女子大学	戦後日本の政治的発話の研究
4	BOTSMAN, Daniel Vernon	ハーバード大学 歴史学部準教授	米国	05.08.23～ 06.04.22	大阪市立大学大 学院文学研究科	明治期における自由と解放－そ の思想と実践
5	ELDER, Mark Allen	ミシガン州立大 学助教授	米国	05.08.13～ 06.06.12	東京大学	経済競争を促進する日本の環境 保護政策の利用
6	FIELD, Norma	シカゴ大学教授	米国	05.01.11～ 05.09.10	市立小樽文学館	日本のプロレタリア文学：小林 多喜二の100年
7	FUJII, James Akira	カリフォルニア 大学アーバイン 校教授	米国	05.09.07～ 06.06.06	東京大学大学院 総合文化研究科	消費のネットワーク：都市の鉄 道と日本の近代化
8	FUJIMURA, Osamu	オハイオ州立大 学音声聴覚学科 名誉教授	米国	05.09.01～ 06.06.30	独立法人国立国 語研究所/国際 高等研究所	日本語のシラブルに基づく音形 論と音声学
9	GORDON, June Ann	カリフォルニア 大学サンタク ルーズ校準教授	米国	06.03.21～ 06.05.20	大阪大学	日本の新来者：学校教育とアイ デンティティとの折り合い
10	KLEEMAN, Faye Yuan	コロラド大学準 教授	米国	05.10.30～ 06.07.29	東京大学	東アジアの近代化における大日 本帝国と文化的主導
11	PARTNER, Simon Christopher	デューク大学歴 史学部準教授	米国	05.06.13～ 06.06.12	早稲田大学	「百姓」から「国民」へ：日本 農村社会の転成、1880-1910
12	PINCUS, Leslie Beth	ミシガン大学歴 史学部準教授	米国	05.01.14～ 05.07.13	立教大学法学部 五十嵐研究室	20世紀日本における反対勢力の 系譜
13	SHIPPER, Apichai	南カリフォルニ ア大学政治学部 教授	米国	05.08.02～ 06.08.01	一橋大学大学院 社会学研究科	外国人と民主主義：東京とロ ス・アンジェルスと比較研究

米州交流事業費

	氏名	現職	国	期間	受入団体	事業内容
14	SZATROSKI, Polly Ellen	ミネソタ大学準教授	米国	05.09.03～ 06.09.02	早稲田大学日本語教育研究センター	日本語話法における後置構造の文法化
15	UNGER, J. Marshall	オハイオ州立大学東亜語学文学科主任教授	米国	05.01.16～ 05.11.15	神戸大学文学部	日本語の成立における言語接触の研究
16	YODA, Tomiko	デューク大学アジアアフリカ言語文学部準教授	米国	05.06.28～ 05.10.19	東京大学大学院情報学科	マニキアンな境界の彼方：日本のジェンダー、労働と消費文化
17	YONEMOTO, Marcia	コロラド大学ボルダー校準教授	米国	05.08.02～ 06.07.01	お茶の水女子大学	日本近世にあるジェンダーの地理学
18	MARTINEZ- RODRIGUEZ, Mauricio	ロスアンデス大学エクステルナド大学講師	コロンビア	05.06.13～ 06.06.12	国際日本文化研究センター	スペイン語版インターネット日本芸能百科事典の作成
19	CORDARO, Madalena N. Hashimoto	サンパウロ大学文学部日本文化研究所副所長	ブラジル	05.12.01. ～ 06.03.31	国際日本文化研究センター	浮世絵「春画」と戯作の美学
20	GONCALVES, Simone, Neiva Loures	エスピリト・サント連邦大学建築学部教授	ブラジル	05.05.06～ 06.05.05	東京大学大学院工学系研究科	東京都市圏の形成過程における文化的背景の影響

2. 人物交流事業費 (4) 日本研究フェロウシップ (論文執筆) [米]

人文・社会科学分野の研究者で博士論文作成のため来日する必要がある者を招へいする。

合計額 48,105,331円

	氏名	現職	国	期間	受入団体	事業内容
1	GRIFFITHS, Caitilin, Judith	トロント大学博士課程	カナダ	04.05.07～ 05.05.04	東京大学史料編纂所特殊史料部	中世日本の遍歴尼僧の研究
2	KUAN, Seng	ハーバード大学博士課程	カナダ	05.09.08～ 06.11.07	東京大学大学院	丹下健三と仲間たち：モダニズムの国際化
3	STEAU- BALINT, Dominic	スタンフォード大学博士課程	カナダ	06.03.28～ 07.05.27	東洋大学文学部	護符の信仰：日本の宗教における道教的要素
4	CANNELL, David Richard	カリフォルニア大学アーバイン校博士課程・インストラクター	米国	05.01.04～ 06.01.03	都留文化大学文学部	元禄時代の俳句

	氏名	現職	国	期間	受入団体	事業内容
5	CLULOW, Adam	コロンビア大学博士課程	米国	05.09.01～ 06.08.31	東京大学史料編纂所	東南アジアにおける日本人派兵(1587-1639)
6	DAVIS, Walter	オハイオ州立大学博士課程	米国	05.11.27～ 06.08.16	上智大学比較文化学部	王一亭と日中美術の交流
7	EASON, David Anthony	カリフォルニア大学ロサンゼルス校歴史学部大学院生	米国	04.10.05～ 05.07.04	早稲田大学文学部	日本中世移行期における紛争の文化史－十六世紀半ばから十七世紀初期までを中心に
8	FARRIER, Anna-Marie	プリンストン大学東アジア研究科大学院生	米国	04.05.06～ 05.05.05	東京大学大学院総合文化研究科語学情報科学	循環するフィクション－夏目漱石とゴシックロマン
9	FOXWELL, Chelsea	コロンビア大学博士課程	米国	05.09.05～ 06.08.28	東京芸術大学美術学部美術学科	狩野芳崖と「日本画」の誕生
10	FREIRE, Charles Patrick	カリフォルニア大学バークレー校歴史学部大学院生	米国	04.09.23～ 05.09.07	東京大学大学院人文社会系研究科	近代日本における宗教と市民社会
11	HANKINS, Joseph	シカゴ大学博士課程	米国	05.09.15～ 06.09.14	上智大学比較文化学部	認識と汚名化：多文化日本の創造
12	JESTY, Justin	シカゴ大学大学院生	米国	05.09.13～ 06.09.12	東京大学大学院総合文化研究科	戦後日本における芸術と社会活動
13	MUELLER, Laura Jean	ウィスコンシン大学マディソン校美術史学部	米国	04.09.02～ 05.06.27	学習院大学文学部哲学科	美徳の表現：江戸版画にみられる儒教の移入
14	REGAN, Martin	ハワイ大学マノア校助手	米国	05.09.01～ 06.08.31	ORA-J	様々な文化体験を通しての作曲
15	SCARANGELLO, Dominick John	ヴァージニア大学宗教学部	米国	04.07.31～ 05.07.28	駒澤大学仏教学部	協力、論争、そして伝統の創造－日本の神聖な山にて
16	SELIGMANN, Ari	カリフォルニア大学ロサンゼルス校博士課程	米国	05.09.15～ 06.06.14	東京大学	くまもとアートポリス：公共建築によるグローバリゼーション
17	SHAPIRO, Michael Isaac	カリフォルニア大学バークレー校歴史学部	米国	04.10.01～ 05.09.20	東京大学社会科学研究所	大正デモクラシー、韓国のナショナリズムと文化的ルール
18	SOLT, George	カリフォルニア大学サンディエゴ校大学院生	米国	05.09.21～ 06.09.20	上智大学	20世紀日本における食の変化とラーメン人気

米州交流事業費

	氏名	現職	国	期間	受入団体	事業内容
19	STANLEY, Amy Beth	ハーバード大学 東アジア言語・ 文明学部博士課 程	米国	04.08.18～ 05.08.10	早稲田大学文学 部	徳川時代における都市文化の地 方への影響
20	TAKAHASHI, Sayumi	ペンシルバニア 大学大学院総合 文化研究科博士 課程	米国	05.06.02～ 05.09.22	慶應義塾大学	太田垣蓮月、オノヨーコとテレ サチャにおけるマルチメディア 具体性とジェンダー批評眼
21	TAKEYAMA, Akiko	イリノイ大学 アーバナ・シャ ンペン校人類学 部博士課程/リ サーチアシスタ ント	米国	04.08.20～ 05.08.19	東京大学大学院 人文社会系研究 科	欲望に応じて：東京ホストクラ ブと東京ホステスクラブにおけ る恋愛の商品化
22	ERBER, Pedro Rabelo	コーネル大学博 士課程	ブラジル	05.09.15～ 06.11.14	立教大学文学部	前衛を解釈する：1960年代の日 本とブラジルの政治的な芸術に ついて

2. 人物交流事業費 (5) 日本研究フェロースhip (短期) [米]

人文・社会科学分野の学者、研究者で、短期の訪日研究を必要とする者を招へいする。

合計額 22,422,562円

	氏名	現職	国	期間	受入団体	事業内容
1	GELLERT, James Herbert	レークヘッド大 学英文学部教授	カナダ	05.05.15～ 05.07.13	岐阜聖徳学園大 学	日本とヨーロッパの大衆的民話 の比較研究
2	TIESSEN, James Herman	マクマスター大 学デグルート・ スクール・オブ ・ビジネス准 教授	カナダ	05.06.28～ 05.07.21	－	日本で評価の高い病院：その実 践の実例と識別
3	ANGST, Linda	ルイス・アン ド・クラーク大 学助教授	米国	05.11.16～ 05.12.06	－	長命、健康旅行および民族的アイ デンティティ：沖縄で自己と 社会を構成するという事
4	CALSOYAS, Kyril	Navajo Education, Inc.	米国	05.09.01～ 05.10.30	弘前大学	Navajoの農業に適切な日本の 家族農場での農業実習および青 年教育の研究
5	CHAIKLIN, Martha	ウイスコンシン 大学助教授	米国	05.06.21～ 05.08.19	成城大学	象牙：初期日本近世(1650-1850) の輸入品および芸術性
6	GAY, Suzanne Marie	オーバーリン大 学教授	米国	06.01.25～ 06.03.26	京都大学	大山崎における中世の商業と参 詣

	氏名	現職	国	期間	受入団体	事業内容
7	HAYASHI, Reiko	ユタ大学助教授	米国	05.07.17～ 05.08.15	日本社会事業大学	日本障害者自立生活センターとアジア諸国センターへの支援活動
8	LEFLAR, Robert B.	アーカンサス大学法学教授	米国	05.08.16～ 05.10.14	東京大学	患者安全、患者の権利：日米比較研究
9	LIFE, Theodore Reginald	グローバル・フィルムネットワークエグゼクティブ・ディレクター	米国	05.06.27～ 05.08.21	琉球大学	沖縄：条約と人々の意志
10	RATH, Eric, Clemence	カンサス大学助教授	米国	06.02.03～ 06.04.03	京都府立大学	ナスとクレイン：初期現代日本の調理法の開発
11	SEARIGHT, Amy Elizabeth	ジョージワシントン大学助教授	米国	05.08.02～ 05.08.22	－	貿易のツール：世界貿易機関の中での日本の貿易政策およびそれを越えた政策
12	WATT, Paul B.	デポー大学教授	米国	05.05.25～ 05.06.29	大谷大学	安田理深と浄土教仏教の現代再表明
13	MENDOZA, Emma	コリマ大学環太平洋研究センター APEC研究センター教授	メキシコ	05.06.15～ 05.08.11	東京大学社会科学研究所	APEC域内における代替可能な資源の開発と利用についての可能性
14	ILARI, Beatriz Senoi	パラナ連邦大学助教授	ブラジル	05.07.07～ 05.08.05	金城学院大学人間科学部現代子供学科	日本児童および日系児童の歌および童歌の記録
15	MELLO, Valeria Maria Sampaio	セアラ州立大学教授	ブラジル	05.06.15～ 05.07.29	－	第二次世界大戦後の日本教育史
16	MIYAZAKI, Silvio Y.M.	サンパウロ・カトリック大学教授	ブラジル	05.07.07～ 05.07.30	東京大学	日本とブラジル・チリ・メキシコ間との貿易の政治経済：二国間自由貿易協定への道
17	REIGOTA, Marcos A.S.	ソロカバ大学教授	ブラジル	05.08.01～ 05.09.29	上智大学ポルトガル・ブラジル研究センター	現代日本の自然観とその環境教育との連関
18	SAKURAI, Celia	ブラジル日本移民資料館学芸員	ブラジル	05.12.18～ 06.01.15	－	概説書『日本』の最終稿執筆
19	GONZALEZ LONGORIA, Silvia Lidia	ロス・アンデス大学研究者	ベネズエラ	05.07.16～ 05.08.28	一橋大学	日本のマスメディア：新世紀における社会、政治の影響

米州交流事業費

3. 催し等事業費 (1) 知的リーダー交流（国際会議出席助成・派遣）〔米〕

海外で開催される国際会議、シンポジウム等に招請され、講義、基調論文の発表を行なうなど指導的役割を果たす日本国内の人文、社会科学または芸術分野の専門家に対して助成を行なう。

合計額 164,840円

	氏名	現職	国	期間	受入団体	事業内容
1	齋藤 直子	京都大学大学院 教育学研究科助 教授	米国	05.06.07～ 05.06.11	ハワイ大学イー スト・ウエスト センター哲学部	「教育とその諸目的：異文化間の哲学的対話」をテーマに、世界30カ国以上から集う哲学者、教育哲学者と共に、宗教、音楽、身体、メディア等のトピックを含む多角的視点から、教育について論じた。申請者は分科会・部会において、「民主主義・教育・解釈の政治学：デーユイ、カベルとプラグマティズムの可能性」をタイトルとした論文を発表

3. 催し等事業費 (2) 知的リーダー交流（国際会議出席助成・招へい）〔米〕

国内で開催される国際会議等（学会、シンポジウム、ワークショップおよび講演会を含む）において、重要な役割を担う諸外国の専門家を招へいする。

合計額 302,754円

	氏名	現職	国	期間	事業内容
1	ILIAS, Thomas	米国国立樹木園 園長	米国	05.04.01～ 05.04.09	シンポジウム「環境・さくら・文化交流」パネラーとして招へい

3. 催し等事業費 (3) 知的交流会議等開催（助成）〔米〕

日本と諸外国の相互理解の促進とより緊密な関係の構築、世界の知的交流の推進することを目的とした、国際的な知的共同事業（国際会議、セミナー、ワークショップなど）を開催する。

合計額 10,908,135円

	事業名	団体	国	期間	事業内容
1	2005年渋沢北米 セミナー	トロント大学マ ンクセンター	カナダ	05.04.01～ 06.03.01	現代日本が抱える重大な問題に関して、学際的・国際的に取り組むためのフォーラムの開催
2	ルーラ大統領下 のブラジル外交 政策：米州、東 アジアへの影響	サンパウロ大学 高等国際関係研 究センター	ブラジル	05.04.01～ 06.03.31	ブラジルのルーラ新政権の外交政策におけるグローバル・リーダーシップ、WHOおよび地域的な自由貿易協定等を含んだ貿易投資促進などについて、その政策の効果を調査した

	事業名	団体	国	期間	事業内容
3	国際ペルー研究者会議	南山大学	ペルー	05.09.29～ 05.10.02	「政治暴力」、「植民地時代の再検討」、「文化遺産の有効活用」をメインテーマに、ペルーに関する研究を持ち寄り、合宿形式で討議した
4	森と水といのち～社叢が育む生命の根源～	特定非営利活動法人社叢学会	全世界区分困難	05.04.01～ 05.07.31	「社叢は生命の根源を現代社会に伝える文明装置である」という共通認識のもと、社叢の意義を敷衍するシンポジウムを開催した
5	21世紀ミュージアムサミット	財団法人かながわ学術研究交流財団	全世界区分困難	05.04.01～ 06.03.31	海外の主要なミュージアム館長からの基調報告やパネルディスカッションを通じ、ミュージアムの運営のあり方について討議した
6	Building an Innovative University for the Globalized World	国際教養大学国際会議実行委員会	全世界区分困難	05.10.15～ 05.10.17	グローバル時代における革新的な大学運営およびカリキュラム開発をテーマにした国際会議

4. 文化資料事業費	(1) 図書寄贈 [米]
------------	--------------

日本に関する理解・研究を促進するため海外の日本研究・教育機関や公共図書館などに日本関係図書等を寄贈。
合計額 16,669,504円

	国	機関	部数
1	カナダ	アルバータ大学図書館	70
2	カナダ	ヴィクトリア大学 マクファーソン図書館	113
3	カナダ	カールトン大学図書館	54
4	カナダ	カルガリー大学図書館	7
5	カナダ	ケベック大学 モントリオール校	90
6	カナダ	ブリティッシュ・コロンビア大学図書館	3
7	カナダ	マクマスター大学図書館	92
8	カナダ	モントリオール大学東アジアセンター	63
9	カナダ	ロイヤルオンタリオ博物館	26
10	米国	コースタル カロライナ大学	128
11	米国	セント・オラフ大学	62
12	米国	ハワイ大学マノア校図書館	7
13	米国	ボーデイン・カレッジ	47

米州交流事業費

	国	機関	部数
14	米国	メトロポリタン州立大学	128
15	エルサルバドル	エル・サルヴァドル国立総合大学	126
16	キューバ	マタンサス大学	124
17	ジャマイカ	ジャマイカ・ライブラリー・サービス	62
18	ドミニカ共和国	マドレ・マエストラ・カトリック大学	56
19	ホンジュラス	ホンジュラス国立教育大学図書館	29
20	メキシコ	エル・コレヒオ・デ・メヒコ	80
21	メキシコ	グアダラハラ自治大学	51
22	アルゼンチン	国立ラプラタ大学国際関係研究所	37
23	チリ	日智文化協会	66
24	チリ	バルパライソ・カトリック大学図書館	71
25	ブラジル	ゴイアス連邦大学中央図書館	10
26	ブラジル	サン・パウロ大学日本文化研究所テイイチ・スズキ図書館	40
27	ブラジル	サンパウロ大学リベロンプレット校	49
28	ブラジル	西中央州立大学	48
29	ブラジル	日伯文化連盟	32
30	ブラジル	ブラジリア大学中央図書館	43
31	ベネズエラ	ロス・アンデス大学	24
32	ボリビア	ボリビア・カトリック大学	125
33	グアテマラ	フランシスコ・マロキン大学	125

日本研究・知的交流事業に必要な経費

アジア・大洋州交流事業費

1. 日本研究事業費

- (1) 日本研究調査〔ア〕
- (2) 日本研究客員教授派遣（自主企画）〔ア〕
- (3) 日本研究客員教授派遣（直接派遣）〔ア〕
- (4) 日本研究シニア客員教授派遣（直接派遣）〔ア〕
- (5) 日本研究拠点機関助成〔ア〕
- (6) 日本研究スタッフ拡充助成〔ア〕
- (7) 日本研究リサーチ・会議等開催（助成）〔ア〕
- (8) 高砂熱学工業・日本研究奨励スカラシップ
- (9) 東南アジア元日本留生活動支援（AC）
- (10) 北京日本学研究中心派遣（北外）
- (11) 北京日本学研究中心派遣（北大）
- (12) 北京日本学研究中心招へい（北外）
- (13) 北京日本学研究中心招へい（北大）
- (14) 北京日本学研究中心（研究協力）
- (15) 中国社会科学院研究生院

2. 人物交流事業費

- (1) 地域研究フェロースhip〔ア〕
- (2) 日本研究フェロースhip（学者・研究者）〔ア〕
- (3) 日本研究フェロースhip（論文執筆者）〔ア〕
- (4) 日本研究フェロースhip（短期）〔ア〕
- (5) 知的リーダー・グループ招へい〔ア〕
- (6) 知的交流フェロースhip（次世代）（AC）〔ア〕
- (7) 知的リーダー交流（アジアリーダー）（AC）〔ア〕
- (8) 知的交流フェロースhip（招へい）〔ア〕

3. 催し等事業費

- (1) 知的リーダー交流（国際会議出席助成・招へい）〔ア〕
- (2) 知的リーダー交流（国際会議出席助成・派遣）〔ア〕
- (3) 知的交流会議等開催（助成）（AC）〔ア〕
- (4) 知的交流会議等開催（企画参画助成）（AC）〔ア〕
- (5) 知的交流会議等開催（主催）（AC）〔ア〕
- (6) アジア地域研究センター支援（催し等）（AC）
- (7) 沖縄国際フォーラム

4. 文化資料事業費

- (1) 図書寄贈〔ア〕

アジア・大洋州交流事業費

1. 日本研究事業費	(1) 日本研究調査〔ア〕
------------	---------------

海外の日本研究機関・日本研究者に関する実態調査を行ない、ディレクトリーを作成する。

合計額 7,667,352円

	事業名	国	期間	事業内容
1	韓国日本研究調査	韓国	05.04.01～ 06.03.31	韓国における日本研究の実態調査を行なった。日本研究者、日本研究機関に関する情報を召集し、その調査結果を出版・ウェブサイトの形で公開。日本研究の現状、展望、問題点に関するエッセイを掲載
2	日本研究フォローアップ	ベトナム	05.09.01～ 06.03.31	2005年5月に行なわれたベトナム・ミッションを受けて、ベトナムにおける日本研究の現状をより具体的に把握し、対応策を考えるため、専門家を派遣して調査を実施
3	東南アジア、南アジアにおける日本研究調査	アジア地域区分困難	05.08.31～ 06.03.31	東南アジア、南アジア18カ国における日本研究の実態調査を行なった。日本研究者、日本研究機関に関する情報を召集し、その調査結果を出版・ウェブサイトの形で公開。日本研究の現状、展望、問題点に関するエッセイを掲載

1. 日本研究事業費	(2) 日本研究客員教授派遣（自主企画）〔ア〕
------------	-------------------------

人文科学、社会科学分野で日本に関する講義を実施するために、海外の高等教育・研究機関に対し、日本研究客員教授を派遣する。

合計額 1,988,111円

	氏名	現職	国	期間	受入団体	事業内容
1	沼野 充義	東京大学大学院人文社会系研究科教授	インドネシア	05.11.24～ 05.12.02	インドネシア大学 他	インドネシア大学、パジャジャラン大学、スラバヤ国立大学で日本研究セミナーを実施

1. 日本研究事業費	(3) 日本研究客員教授派遣（直接派遣）〔ア〕
------------	-------------------------

人文科学および社会科学分野（芸術分野を含む）、日本に関する講義を実施するために客員教授を招へいしようとする海外の高等教育・研究機関に対し専門家を派遣する。

合計額 14,035,799円

	氏名	現職	国	期間	受入団体	事業内容
1	田中 義敏	東京工業大学大学院助教授	ベトナム	05.07.23～ 05.08.20	ホーチミン法律大学	日本研究、日本理解に関する講義の実施
2	合田 濤	神戸大学国際文化学部教授	ベトナム	05.09.10～ 05.11.10	国家大学ホーチミン市人文社会科学大学	日本研究、日本理解に関する講義の実施

	氏名	現職	国	期間	受入団体	事業内容
3	John Barnett Welfield	国際大学教授	マレーシア	05.06.30～ 05.09.26	マレーシア国民 大学 マレーシ ア・国際問題研 究所	日本研究、日本理解に関する講 義の実施
4	濱川 勝彦	神戸女子大学文 学部教授	インド	05.11.29～ 06.03.04	デリー大学	日本研究、日本理解に関する講 義の実施
5	藤井 正雄	大正大学教授	スリランカ	05.06.25～ 05.09.24	コロンボ大学	日本研究、日本理解に関する講 義の実施
6	北村 友人	名古屋大学助教 授	バングラデ シュ	05.11.30～ 06.01.08	ダッカ大学日本 研究センター	日本研究、日本理解に関する講 義の実施

1. 日本研究事業費 (4) 日本研究シニア客員教授派遣 (直接派遣) [ア]

人文科学および社会科学分野（芸術分野を含む）で、日本に関する講義を実施するために客員教授を招へいしようとする海外の高等教育・研究機関に対し、専門家を派遣する。本プログラムはジャパンファウンデーションボランティア制度の一環として実施。

合計額 17,547,202円

	氏名	現職	国	期間	受入団体	事業内容
1	下川 正晴	－	韓国	05.04.01～ 06.02.13	韓国外国語大学 校	日本研究、日本理解に関する講 義の実施
2	加藤 淳平	－	中国	05.09.01～ 06.08.31	中国外交学院	日本研究、日本理解に関する講 義の実施
3	大野 俊	－	フィリピン	05.06.01～ 05.10.30	フィリピン大学 国際関係研究所	日本研究、日本理解に関する講 義の実施
4	梶田 美春	－	フィリピン	05.06.01～ 05.11.30	マニラ大学教養 学部日本学科	日本研究、日本理解に関する講 義の実施
5	桑島 昭	大阪外国語大学	インド	05.08.10～ 05.11.09	ジャワハルラ ル・ネール大学 言語・文学・文 化学部	日本研究、日本理解に関する講 義の実施

アジア・大洋州交流事業費

1. 日本研究事業費 (5) 日本研究拠点機関助成〔ア〕

各国において中核的な役割を担う日本研究機関に対し、共同研究、セミナーの開催、図書出版、研究者育成に関わる経費を包括的に助成する。

合計額 54,070,776円

	機関	国	期間	事業内容
1	ソウル大学校日本研究所	韓国	05.04.01～ 06.03.31	図書・視聴覚資料等購入、日本研究動向調査、研究フォーラム支援、インターネットによる情報提供、大学院生訪日研修
2	南開大学日本研究院	中国	05.04.01～ 06.03.31	客員教授派遣助成、出版援助、日本研究リサーチ・会議助成、図書寄贈
3	北京大学/精華大学/中国人民大学	中国	05.04.01～ 06.03.31	大学生訪日研修
4	復旦大学日本研究センター	中国	05.04.01～ 06.03.31	客員教授派遣助成、出版援助、日本研究リサーチ・会議助成、図書寄贈
5	インドネシア大学	インドネシア	05.04.01～ 06.03.31	修士・博士課程支援、客員教授派遣
6	タマサート大学大学院・日本研究センター	タイ	05.04.01～ 06.03.31	リサーチ・会議等助成、講師謝金助成、大学院訪日研修
7	チュラロンコン大学	タイ	05.04.01～ 06.03.31	客員教授派遣
8	フィリピン大学	フィリピン	05.04.01～ 06.03.31	フィリピン大学に対する日本研究拠点機関助成の供与
9	ベトナム日本研究調整評議会	ベトナム	05.04.01～ 06.03.31	中学・高校教師向け日本事情ワークショップ2年目、WEBサイト3年目

1. 日本研究事業費 (6) 日本研究スタッフ拡充助成〔ア〕

人文科学、社会科学の分野で日本に関する教育・研究のために教育職を新規に設置しようとする外国の高等教育、研究機関に対し、それに伴う新規採用によって生じる人件費を当初の3年間に限って助成する。

合計額 8,291,010円

	機関	国	期間	事業内容
1	香港中文大学	(香港)	05.08.15～ 06.03.31	日本文化・社会学助教授の給与助成(3年目)

1. 日本研究事業費 (7) 日本研究リサーチ・会議等開催 (助成) [ア]

海外の高等教育・研究機関や学会等が実施する日本研究に関連した共同研究・会議、セミナー・ワークショップなどについて、経費の一部を助成する。

合計額 37,947,881円

	団体	国	期間	事業内容
1	韓国日本語学会	韓国	05.04.01～ 06.03.31	「日本学研究と東アジア」－東北亜文化共同性の可能性
2	全南大学校日本文化研究センター	韓国	05.04.01～ 06.03.31	国際学術シンポジウム「日本大衆文化の開放、その以後」
3	世宗研究所	韓国	05.04.01～ 06.03.31	日本福祉体系改革の政治経済：韓国への示唆点
4	高麗大学校附設日本学研究センター	韓国	05.04.01～ 06.03.31	<他者>と文化表象－高麗大学校附設日本学研究センター第6回国際学術シンポジウム
5	韓国日本学会	韓国	05.04.01～ 06.03.31	近・現代の「日本的価値」と21世紀
6	韓日民族問題学会	韓国	05.04.01～ 06.03.31	国際学術会議：韓・日関係史における在日朝鮮人の形成と存在の意味
7	遼寧大学	中国	05.04.01～ 06.03.31	中日民間交流と東アジア地域協力－戦後60周年日本研究シンポジウム
8	東北師範大学日本研究所	中国	05.04.01～ 06.03.31	戦後日本60年国際シンポジウム
9	復旦大学歴史学部	中国	05.04.01～ 06.03.31	「正倉院と中日文化交流」国際学術セミナー
10	張謇研究センター	中国	05.04.01～ 06.03.31	国際シンポジウム「中日近代企業家の文化事業と社会事業－張謇と洪沢榮一との比較研究」
11	浙江工商大学	中国	05.04.01～ 06.03.31	中国人が描いた日本図の蒐集と研究
12	中国社会科学院世界経済と政治研究所	中国	05.04.01～ 06.03.31	社会的責任投資研究：日本、中国、韓国の比較
13	清華大学日本研究センター	中国	05.06.30～ 06.03.31	中日国際会議「戦後60年の中日関係－その展望と課題」
14	中華日本哲学会	中国	05.08.06～ 05.08.15	国際シンポジウム－日本明治哲学思想と中国近代哲学変容の関わり－
15	広東外語外貿大学	中国	05.10.01～ 06.03.31	広州日本語学国際シンポジウム
16	インドネシア大学国際関係研究センター	インドネシア	05.04.01～ 06.03.31	日本と東南アジアにおける経済危機：インドネシアとマレーシアのケース・スタディ

アジア・大洋州交流事業費

	団体	国	期間	事業内容
17	インドネシア日本研究協会	インドネシア	05.05.01～ 05.08.30	第11回日本研究全国セミナーおよび第4回ASJI総会
18	シンガポール国立大学	シンガポール	05.04.01～ 06.03.31	日本の伝統芸能に関するオンライン・リソース・センターの構築
19	国立開発学研究所貧困問題研究センター	タイ	05.05.01～ 06.03.31	タイの社会保障システムの現状：日本の成功と失敗からいかに学ぶか
20	アテネオ・デ・マニラ大学	フィリピン	05.04.01～ 06.07.31	Japan : A Reintroduction
21	ハノイ国家大学 人文社会科学大学	ベトナム	05.04.01～ 06.03.31	日越教育・文化交流－東遊運動100周年記念国際会議
22	ニュー・カッスル大学	オーストラリア	05.04.01～ 06.03.31	日本史ワークショップ

1. 日本研究事業費 (8)高砂熟学工業・日本研究奨励スカラシップ

インドネシア、フィリピン、ベトナムの日本研究専攻の学生に奨学金を供与する。

合計額 1,551,323円

	国	機関	人数	期間	事業内容
1	マレーシア	クイーンズランド大学	1	06.01.19～ 06.07.18	日本研究フェローとしてフェローシップ供与。 研究テーマ：日マ二国間関係と東アジア地域主義

1. 日本研究事業費 (9)東南アジア元日本留生活動支援（A C）

アセアン6カ国の元日本留学生協会の行なうアジア各国の元日本留学生交流のための活動（集会室借上等）に対し支援を行なう。

合計額 21,350,099円

	団体	国	期間	事業内容
1	インドネシア元留学生協会 (PERSADA)	インドネシア	05.04.01～ 06.03.31	アセアン諸国の元日本留学生の対日理解促進の目的として、集会施設借料等に対する助成
2	シンガポール元日本大学卒業生協会 (JUGAS)	シンガポール	05.04.01～ 06.03.31	アセアン諸国の元日本留学生の対日理解促進の目的として、集会施設借料等に対する助成

	団体	国	期間	事業内容
3	タイ国元日本留学生協会 (OJSAT)	タイ	05.04.01～ 06.03.31	アセアン諸国の元日本留学生の対日理解促進の目的として、集会施設借料等に対する助成
4	元日本留学生フィリピン連盟 (PHILFEJA)	フィリピン	05.04.01～ 06.03.31	アセアン諸国の元日本留学生の対日理解促進の目的として、集会施設借料等に対する助成
5	マレーシア元留日学生協会	マレーシア	05.04.01～ 06.03.31	アセアン諸国の元日本留学生の対日理解促進の目的として、集会施設借料等に対する助成
6	東方政策元留学生同窓会 (ALEPS)	マレーシア	05.04.01～ 06.03.31	アセアン諸国の元日本留学生の対日理解促進の目的として、集会施設借料等に対する助成
7	ミャンマー元日本留学生協会	ミャンマー	05.04.01～ 06.03.31	アセアン諸国の元日本留学生の対日理解促進の目的として、集会施設借料等に対する助成
8	シンガポール元日本大学卒業生協会 (JUGAS)	シンガポール	05.09.08～ 05.09.10	第16回ASCOJA総会 (アセアン6カ国7団体の各協会の総会)

1. 日本研究事業費	(10)北京日本学研究センター派遣 (北外)
------------	------------------------

北京外国語大学で実施される北京日本学研究センター修士課程、在職日本語教師修士課程に対し、専門家を派遣する。
合計額 52,100,280円

	氏名	現職	期間	事業内容
1	篠崎 摂子	国際交流基金日本語国際センター専任講師	03.09.01～ 05.07.12	在職修士課程において、日本語教育学分野において学生の指導を行なった
2	畔上 和子	北京日本学研究センター専任主任	04.04.01～ 05.03.31	日本側主任教授・副主任を補佐し、北京日本学研究センター内日本側事務局の運営を行なった
3	加藤 晴子	明海大学外国語学部助教授	05.03.25～ 06.03.31	日本側副主任として北京日本学研究センター運営を行なうと共に、「日中文化比較」の講義を担当
4	白井 啓介	文教大学文学部教授	05.03.25～ 06.03.31	日本側主任教授として北京日本学研究センター運営を行なうと共に、「日中文化比較」の講義を担当
5	宮島 達夫	京都橘大学文学部教授	05.05.09～ 05.05.17	2005年春短期の講義を行なった (言語)
6	中村 春作	広島大学大学院教育学研究科教授	05.06.20～ 06.06.25	2005年春短期の講義を行なった (文化)
7	篠崎 摂子	国際交流基金日本語国際センター専任講師	05.08.23～ 05.08.27	在職修士の2005年夏集中指導を行なった

アジア・大洋州交流事業費

	氏名	現職	期間	事業内容
8	徳井 厚子	信州大学教育学部助教授	05.08.23～ 05.08.27	在職修士の2005年夏集中指導を行なった
9	泉 文明	龍谷大学国際文化学部助教授	05.08.29～ 05.10.31	2005年秋学期の講義を行なった（日本語）
10	真鍋 昌弘	関西外国語大学外国語学部教授	05.08.29～ 06.01.03	2005年秋学期の講義を行なった（文学・文化）
11	立石 寛	名古屋大学経済学部助教授	05.08.29～ 06.01.05	2005年秋学期の講義を行なった（社会・経済）
12	小熊 誠	沖縄国際大学文学部教授	05.09.18～ 06.09.28	2005年秋短期の講義を行なった（社会）
13	吉岡 英幸	早稲田大学教授	05.11.25～ 05.12.24	2005年秋短期の講義を行なった（日本語）
14	荻生 茂博	元山形県立米沢女子短期大学教授	05.12.25～ 05.12.31	2005年秋短期の講義を行なった（文学）
15	篠崎 摂子	国際交流基金日本語国際センター専任講師	06.01.03～ 06.01.07	在職修士の2006年冬集中指導を行なった
16	西谷 まり	一橋大学留学生センター助教授	06.01.03～ 06.01.07	在職修士の2006年冬集中指導を行なった
17	石毛 忠	防衛大学校名誉教授	06.02.28～ 06.07.12	2006年春学期の講義を行なった（文化）
18	谷部 弘子	東京学芸大学留学生センター教授	06.02.28～ 06.07.12	2006年春学期の講義を行なった（日本語教育学）
19	北田 暁大	東京大学情報学環助教授	06.02.28～ 06.07.12	2006年春学期の講義を行なった（社会）
20	伊藤 徳也	東京大学大学院総合文化研究科助教授	06.03.25～ 07.03.31	日本側主任教授として北京日本学研究センター運営を行なうとともに日本学基礎の講義を担当
21	白水 紀子	横浜国立大学教育人間学部教授	06.03.25～ 07.03.31	日本側主任教授として北京日本学研究センター運営を行なうとともに日本学基礎の講義を担当
22	千葉 俊二	早稲田大学教育・総合学術院教授	06.03.26～ 06.04.09	2006年春学期の講義を行なった（文学）

1. 日本研究事業費 (11)北京日本学研究センター派遣 (北大)

北京大学で実施される現代日本研究講座に対し、専門家、行政官等有識者を派遣する。

合計額 3,681,390円

	氏名	現職	期間	事業内容
1	坂倉 省吾	日本規格協会	05.04.06～ 05.04.08	北京大学現代日本研究講座において「現代日本の経済産業政策」に関する講義を行ない、学生指導にあたった
2	小林 和子	日本証券経済研究所理事兼主任 研究員	05.04.11～ 05.04.15	北京大学現代日本研究講座において「日本の証券」に関する講義を行ない、学生指導にあたった
3	建林 正彦	神戸大学教授	05.04.24～ 05.04.30	北京大学現代日本研究講座において「日本の政府と行政」に関する講義を行ない、学生指導にあたった
4	新宅 純二郎	東京大学大学院経済学研究科助 教授	05.04.24～ 05.04.30	北京大学現代日本研究講座において「日中企業管理比較研究」に関する講義を行ない、学生指導にあたった
5	伊藤 大一	政策研究大学院大学客員教授	05.04.26～ 05.04.28	北京大学現代日本研究講座において「日本の現代化過程」に関する講義を行ない、学生指導にあたった
6	知原 信良	証券取引等監視委員会総務検査 課長	05.04.27～ 05.04.29	北京大学現代日本研究講座において「日本の税制」に関する講義を行ない、学生指導にあたった
7	白石 隆	政策研究大学院大学副学長	06.03.28～ 06.04.01	北京大学現代日本研究センターにおいて「日本の外交、国際関係論」に関する講義を行ない、学生指導にあたった
8	八田 達夫	国際基督教大学教授	06.03.29～ 06.04.01	北京大学現代日本研究講座において「日本の経済」に関する講義を行ない、学生指導にあたった
9	堀内 昭義	中央大学大学院総合政策研究科 教授	06.04.02～ 06.04.05	北京大学現代日本研究センターにおいて「日本の金融」に関する講義を行ない、学生指導にあたった

1. 日本研究事業費 (12)北京日本学研究センター招へい (北外)

北京外国語大学で実施される北京日本学研究センターの博士課程、修士課程、在職日本語教師修士課程に在籍する学生および専任教授などを、研究、資料収集、論文執筆などのために招へいする。

合計額 50,625,575円

	グループ名	人数	氏名	期間	事業内容
1	2005年現地博士フェロー1	1	王梅	05.03.28～ 06.03.27	北京日本学研究センター博士課程の一環として一部学生に訪日研究の機会を与え、フェローシップを供与
2	2005年現地博士フェロー2	1	楊玲	05.03.28～ 06.03.27	北京日本学研究センター博士課程の一環として一部学生に訪日研究の機会を与え、フェローシップを供与

アジア・大洋州交流事業費

	グループ名	人数	氏名	期間	事業内容
3	修士19期生	18	-	05.03.28～ 06.09.16	北京日本学研究中心修士課程学生に修士論文作成のための訪日研究を実施し、大学・研究機関等に在籍して専門家の論文指導を受けた
4	在職修士課程 第4期訪日研修	8	-	05.07.04～ 05.08.01	北京日本学研究中心在職修士課程の一環として、訪日研究を実施し、論文資料収集等の活動を行なった
5	専任研究スタッフ招へい	1	宋金文	06.02.06～ 06.06.05	訪日研究
6	修士20期生	20	-	06.03.28～ 06.08.01	北京日本学研究中心修士課程学生に修士論文作成のための訪日研究を実施し、大学・研究機関等に在籍して専門家の論文指導を受けた
7	2006年現地博士課程フェロー1	1	孫梅英	06.03.30～ 07.03.29	北京日本学研究中心博士課程の一環として一部学生に訪日研究の機会を与え、フェローシップを供与
8	2006年現地博士課程フェロー2	1	李所成	06.03.30～ 07.03.29	北京日本学研究中心博士課程の一環として一部学生に訪日研究の機会を与え、フェローシップを供与

1. 日本研究事業費	(13)北京日本学研究中心招へい(北大)
------------	----------------------

北京大学で実施される現代日本研究講座を受講する学生を、研究、資料収集、論文執筆などのために招へいする。
合計額 25,520,832円

	グループ名	人数	期間	事業内容
1	現代講座訪日研修(5期)	27	05.05.12～ 05.05.25	北京大学現代日本研究講座の所属学生(社会人10名/大学院生13名/北京大学関係者4名)に対して、北京で受けた講義の定着を目的に訪日研修を実施
2	博士課程フェロー1(雷艶紅)	1	05.09.20～ 06.03.19	北京大学現代日本研究講座の一部学生がフェローシップの供与により、大学・研究機関等に在籍し博士論文作成
3	博士課程フェロー2(劉東勝)	1	05.09.20～ 06.03.19	北京大学現代日本研究講座の一部学生がフェローシップの供与により、大学・研究機関等に在籍し博士論文作成
4	現代講座訪日研修(6期)	24	05.11.01～ 06.03.31	北京大学現代日本研究センターの所属学生に対して、北京で受けた講義の定着を目的に訪日研修を実施

1. 日本研究事業費 (14)北京日本学研究センター (研究協力)

北京外国語大学および北京大学で実施される北京日本学研究センター事業に関し、図書・教材の購送、学術共同研究の実施などの研究に関する支援などを行なう。

合計額 14,478,653円

	事業名	期間	事業内容
1	研究プロジェクト	05.04.01～ 06.03.31	北京日本学研究センターの研究プロジェクトに対する助成
2	出版プロジェクト	05.04.01～ 06.03.31	北京日本学研究センターの出版に対する助成
3	北京外国語大学教材等購送	05.04.01～ 06.03.31	北京日本学研究センターへ、日本で購入した書籍を送付
4	北京大学教材等購送	05.04.01～ 06.03.31	北京大学現代日本研究センターへ、日本で購入した書籍を送付
5	北京外国語大学 (文献複写)	05.04.01～ 06.03.31	北京日本学研究センターで研究に必要な、日本国内に所蔵されている文献を、複写サービスを通して利用
6	北京日本学センターシンポジウム	05.10.13～ 05.10.16	北京日本学研究センター20周年記念シンポジウムの実施

1. 日本研究事業費 (15)中国社会科学院研究生院

中国の若手研究者育成のため、中国社会科学院研究生院の博士課程在籍者に対して博士論文執筆のためのフェローシップを供与する。

合計額 6,211,695円

	氏名	期間	受入団体	事業内容
1	唐永亮	05.04.03～05.12.02	法政大学法学部	中江兆民の政治倫理思想の研究
2	李理	05.04.03～05.12.02	中央大学法学部	台湾領有期における警察制度および警察政治
3	常東亮	05.04.03～05.12.02	北海道学園大学経済学部	日本の流通政策の経済分析

アジア・大洋州交流事業費

2. 人物交流事業費 (1)地域研究フェローシップ〔ア〕

多層的、多角的な国際相互理解を推進するため、諸外国、地域の政治、経済、社会、文化等を地域研究の視点から総合的に研究しようとする若手の日本の人文、社会科学分野の研究者に対し、フェローシップを供与する。

合計額 2,575,390円

	氏名	現職	国	期間	受入団体	事業内容
1	原田 一宏	財団法人地球環境戦略研究機関	オーストラリア	05.07.04～ 06.07.03	－	グローバル下での地域自然資源管理の変容と社会組織の再構築－インドネシアとオーストラリアの比較を通じて
2	砂本 文彦	広島国際大学	韓国	06.01.31～ 06.04.04	－	近代朝鮮半島の国際リゾート地

2. 人物交流事業費 (2)日本研究フェローシップ（学者・研究者）〔ア〕

諸外国の優れた日本研究者に日本で研究・調査活動を行なう機会を提供する。

合計額 121,022,446円

	氏名	現職	国	期間	受入団体	事業内容
1	CHO, Kyu-cheol	韓国外語大学 副教授	韓国	05.08.20～ 06.08.19	筑波大学人文社会科学部研究科	日本におけるNGO・NPOと政府間のパートナーシップに対する研究
2	CHUNG, Ki-ryong	国立麗水大学校 国際学部助教授	韓国	06.02.10～ 07.02.09	一橋大学社会学部	日本の少子・高齢社会における社会政策
3	JANG, Wonho	ソウル市立大学 都市科学大学 都市社会学部 助教授	韓国	04.08.01～ 05.07.31	慶應義塾大学法学部	日本の政治文化の変動
4	KIM, Young Rae	亜洲大学校 政治外交学科 教授	韓国	04.08.24～ 05.07.21	慶應義塾大学法学部	市民団体の政治参加に関する比較研究：日本と韓国の事例を中心に
5	KIM, Kee-seok	国立江原大学校 社会科学部 政治外交学科 教授	韓国	06.01.20～ 07.01.19	法政大学	受動的な国家から地域覇権国家へ 日本対外経済政策の部門間比較研究
6	LEE, Chang-hyun	東京大学大学院	韓国	05.07.15～ 06.04.28	東京大学大学院	北東アジアにおける文化交流とそれによる国家アイデンティティへの影響と国際関係
7	OH, Dong Ryong	日刊朝鮮社取材 チーム記者	韓国	05.03.27～ 06.03.26	静岡県立大学	日韓教国民の安保観
8	OH, Seong Cheol	清洲大学教育大学 初等教育科 助教授	韓国	04.09.01～ 05.08.31	京都大学	日本植民統治期の韓国と台湾における植民地初等教育の比較研究：1895～1945

	氏名	現職	国	期間	受入団体	事業内容
9	SON, Dong Ju	釜慶大学校人文社会科学大学日本語日文学部教授	韓国	05.02.01～ 06.01.31	東北大学大学院文学研究科	自・他動詞と使役・受動との関わり
10	YOOK, Keun-hyo	釜山外国語大学経営学部教授	韓国	05.12.15～ 06.12.14	横浜国立大学経営学部	地方自治体の会計制度と成果評価システムに関する日韓比較研究
11	BAO, Zhiming	中央民族大学教授	中国	04.09.01～ 05.08.31	立正大学地球環境科学部	中国内モンゴル自治区における砂漠化防止事業としての「生態移民」の研究
12	BI, Shihong	雲南大学国際関係学院常勤講師/教師	中国	06.02.05～ 07.02.04	早稲田大学大学院アジア太平洋研究科	メコン経済圏の開発・協力をめぐる日本の関わり
13	DU, Chuang Guo	山西大学政治と公共管理学院助教授	中国	04.09.01～ 05.08.31	明治学院大学法学部	中国の事業単位の改革と日本の特殊法人改革の比較
14	LEE, Puitak	香港大學アジア研究センター研究員/大学院指導教官	中国	05.12.23～ 06.03.22	京都大學人文科学研究所	香港、上海、天津およびシンガポールにおける海外日本人社会と本国とのネットワーク（1870年代から1930年代まで）
15	LI, Xiufeng	中国青年政治学院公共管理学部公共管理学部長/副教授	中国	05.07.20～ 06.07.19	早稲田大学大学院公共経営研究科	日本における規制改革研究
16	MAIMAITIAILI, Wubuli	新疆ウイグル自治区文物局文物保護所副所長	中国	04.10.28～ 05.10.26	筑波大学芸術学系	中央アジアシルクロードの古代遺跡と日本文化財への影響とその比較研究
17	PAN, Li	中国人民大学芸術学院助教授	中国	05.09.01～ 06.07.31	東京芸術大学美術学部	日本美術から考察される日本人の「間」の意識構造の探求
18	PANG, Deliang	吉林大学東北亜研究院世界経済研究所教授/所長	中国	04.10.31～ 05.08.30	日本西南学院大学商学部	現代日本の公共投資に関する研究－高度成長期と平成不況期を中心としての歴史的、現実的考察
19	SHEN, Xiao Min	華東師範大学国際および比較教育研究所助教授	中国	04.11.15～ 05.05.14	東京大学大学院教育学研究科	日本における総合的学習の理論と授業実践に関する考察－基礎的基本的力の習得とその評価の在り方を中心に－
20	WANG, Jian	中国社会科学院近代史研究所台湾史研究室主任研究員	中国	05.09.01～ 06.08.31	慶應義塾大学法学部	戦後日台経済関係史（終戦初期-1980年代）に関する研究

アジア・大洋州交流事業費

	氏名	現職	国	期間	受入団体	事業内容
21	WEI, Yulin	広東外語外貿大学教授	中国	05.01.23～ 05.11.22	東京大学大学院 総合文化研究科	日本近代文学（小説）の言語論的研究
22	, Wuyungaowa	中国社会科学院 歴史所中外交流 史研究室研究員	中国	05.08.09～ 06.08.08	大阪国際大学法 政経学部	明代「日本語」と朝鮮司訳院 「日本語学」の研究
23	YU, Suqiu	中国人民大学日 本語学部部長	中国	04.08.30～ 05.08.29	山形大学	若者における日本アニメ文化の 受容と再伝播
24	ZHENG, Jing	中国社会科学院 社会学研究所社 会理論室助(副) 教授	中国	04.08.08～ 05.08.07	上智大学文学部 社会学科	未来の都市像を描く人と仕組－ 日中比較研究
25	BATSAIKHAN, Ookhnoi	モンゴル科学ア カデミーロシア 学科長/研究員	モンゴル	04.09.29～ 05.09.28	東北大学北東ア ジア研究セン ター	20世紀のモンゴル独立問題に関 する日本の影響
26	Lupi Ardiati, Riza	パジャジャラン 大学文学部日本 語学科日本語教 師	インドネシア	05.07.04～ 06.03.02	静岡大学人文学 部	現代日本の歴史
27	TJANDRA, Sheddy Nagara	インドネシア大 学人文学部教 員	インドネシア	05.08.23～ 06.01.18	広島大学大学院	日本語の歴史(音韻/文字/語彙)
28	NETHIPO, Viengrat	チュラロンコン 大学講師	タイ	05.10.01～ 06.09.30	京都大学大学院 アジアアフリカ 地域研究研究科	タックシンと田中角栄の政治ス タイルの比較研究
29	CONTRERAS, Lelu, Prima	地方裁判所書記 官	フィリピン	05.07.01～ 05.10.31	神戸大学大学院 国際協力研究科	裁判外紛争処理手続き、裁判所 関与の和解・調停手続－日本の 制度とそのフィリピンへの導入
30	ZAYAS, Cynthia Neri	フィリピン大学 国際地域研究セ ンターセンター 長	フィリピン	05.08.01～ 06.07.30	神戸学院大学	明石における土地の歓喜と地名 の記憶
31	NGUYEN THI, Oanh	ベトナム社会科 学院漢喃研究所 研究員	ベトナム	05.10.01～ 06.09.30	立教大学文学部	『今昔物語集』の伝承要素につ いての比較研究
32	NGYEN, DUY Dung	日本研究セン ター助教授	ベトナム	05.11.10～ 06.05.08	東京大学	経済競争の向上に向けた行政改 革：ここ数年における日本とベ トナムの比較

	氏名	現職	国	期間	受入団体	事業内容
33	HOOI, Lai Wan	マレーシア工科大学科学技術政策・国際問題研究センター講師/研究員	マレーシア	06.02.06～ 07.02.05	大阪大学大学院 国際公共政策研究科（OSIPP）	現代における人的資源管理の傾向：日本とマレーシアの比較
34	GOH, Pek Chen	マルチメディア大学商業法律系	マレーシア	04.08.01～ 05.07.31	北九州市立大学 国際環境工学部	日本経済発展と知的所有権
35	BALARAM, Padmini	国立デザイン研究所客員教授	インド	06.03.11～ 07.03.10	国立民族学博物館	中国、韓国を經由したインドから日本への織物の伝播ル－：文化、織物、デザイン、色への相互影響
36	GOVINDAN, Venkataramani	ヒンドゥ紙特派員	インド	05.06.17～ 05.12.16	早稲田大学アジア太平洋研究センター	日本における農業技術の研究
37	MUNGILA HILLEMANE, Bala Subrahmanya	インド理工大学経営学科準教授	インド	05.03.01～ 06.02.25	政策研究大学大学院	日本の製造業における大企業と中小企業の相互関係－技術革新・経済発展過程における役割を中心に
38	VARMA, Lalima	ジャワハルラルネルー大学国際関係学部東アジア研究所所長/助教授	インド	05.01.10～ 06.01.09	東京大学東洋文化研究所	南アジアにおける日本の経済－戦略支援政策
39	FERNANDO, Laksiri Piyadasa	コロombo大学大学院研究科研究科長/教授	スリランカ	05.08.24～ 06.08.23	龍谷大学経済学部	平和構築への日本の役割：スリランカを例として
40	PERERA, Vitiyala Ilesinghage Don Jothi	コロombo大学上級講師	スリランカ	04.06.01～ 05.05.31	慶應義塾大学商学部	コロombo、鹿島、英フェリックストープ港における港湾設備の近代化と労使問題
41	Chowdhury, Mahfuzul Hoque	チッタゴン大学教授	バングラデシュ	05.08.01～ 06.07.31	東京大学	日本の政党政治および選挙改革と民主主義強化、バングラデシュへの教訓
42	OKANO, Kaori Horne	ラ・トロープ大学シニア講師	オーストラリア	06.01.25～ 06.12.15	神戸大学	現代日本におけるマルチカルチュアリズム教育の政策と実践－地域の市民運動とグローバル化の相互作用
43	TAMURA, Keiko	オーストラリア国立図書館ハロルド・ホワイト・フェロー	オーストラリア	05.02.01～ 05.07.31	神戸大学文学史学科	20世紀前半の神戸における欧米およびアジア系外国人コミュニティとその返遷

アジア・大洋州交流事業費

2. 人物交流事業費 (3) 日本研究フェローシップ (論文執筆者) [ア]

人文・社会科学分野の研究者で博士論文作成のため来日する必要がある者を招へいする。

合計額 69,568,494円

	氏名	現職	国	期間	受入団体	事業内容
1	CHOI, Hyokyung	インディアナ大学博士課程	韓国	04.09.01～ 05.08.25	東京大学史料編纂所	17世紀、18世紀の日韓アイデンティティの相互文化構造
2	CHOI, Suk-hwan	ソウル大学大学院法学科研究生	韓国	05.10.22～ 06.12.21	東京大学大学院法学政治学研究科	日韓両国の労働法の制定に見る雇用者の概念に対する比較研究
3	KIM, Hyun-chul	エジンバラ大学社会人類学博士課程	韓国	05.10.22～ 06.12.21	筑波大学	現代日本の死者儀礼と死の概念
4	OH, Dong-il	ブルネイ大学	韓国	05.07.01～ 06.02.28	日本大学	日本アニメにおける美的特徴：キャラクターとアニメファンの関係
5	PARK, Seo Hyun	コーネル大学博士課程	韓国	04.09.08～ 05.08.01	東京大学東洋文化研究所	東アジアにおける国家主権と国際関係：日本と韓国に関する比較考察
6	SEO, Jaekil	ソウル大学大学院国語国文学科博士課程修了	韓国	04.10.01～ 05.11.30	東京外国語大学外国語学部	JODK朝鮮放送協会の放送文芸活動について
7	SHIN, Mi-young	漢陽大学校博士課程	韓国	05.07.01～ 06.08.31	日本大学大学院芸術学研究科	青年梶井基次郎と近代都市空間
8	CHEN, Jing	中山大學大学院人類学研究科学生	中国	06.01.30～ 07.03.29	神奈川大学大学院歴史民俗資料学研究科	民族文化の観光資源化－町づくりと伝承文化の保護・活用－
9	DAI, Hongguang	北京大學外国語学院日本語文化学部	中国	05.10.18～ 06.12.17	法政大学法学部	「粹」と日本近世倫理－美意識研究の思想的な視座
10	LI, Minggang	オハイオ州立大学東アジア語学文学学科	中国	05.10.02～ 06.10.01	国際日本文化研究センター	文藝春秋社の初期と中流知識層読者数の増加について
11	LIN, Zhongjie	ペンシルバニア大学博士課程	中国	05.07.05～ 06.07.04	芝浦工業大学建築学科	都市の発展：丹下健三と日本の都市ユートピア（1959-70）
12	QIN, Na	上海大学学報編集部編集長	中国	04.10.03～ 05.10.02	神戸大学発達科学部	上海と大阪における生涯教育に関する比較研究
13	XIE, Zhiyu	浙江大學外国語学院日本語文化研究所副所長/助教授	中国	05.10.16～ 06.10.15	東京学芸大学	二十世紀後半における日本の小説

	氏名	現職	国	期間	受入団体	事業内容
14	YANG, Zhaohua	スタンフォード大学宗教学博士課程学生	中国	06.03.30～ 07.05.29	東京大学大学院人文社会系研究科	穢れ：江戸時代における烏枢沙摩明王に関する偽書の創作
15	ZHANG, Yijie	同済大学建築与城市规划学院博士課程	中国	05.06.25～ 06.08.24	東京芸術大学	飛鳥時代から平安時代までの木造層塔の類型に関する研究
16	ZHAO, Xiu Juan	中国北京大学外国語学院日本語文化学部博士生	中国	04.09.09～ 05.11.08	日本大学文理学部	井上靖文学の表現空間－その中国に関する歴史小説をめぐって
17	NG, Kwok Wai	シドニー大学	(香港)	04.06.01～ 05.05.31	法政大学文学部日本文学科	中国の唐代(618-903)から現代日本までの唐楽調子における変遷－平調、黄鐘調および盤渉調について－
18	LIM, Tai Wei	コーネル大学博士課程学生	シンガポール	06.02.07～ 06.10.06	九州大学法学部	中国石油開発に対する日本の投資の影響について
19	LOO, Tze May	コーネル大学歴史学部大学院生	シンガポール	04.09.30～ 05.09.29	早稲田大学政治経済学部	沖縄の国宝：首里城と沖縄の歴史を通じた現代日本文化形成要素の探求
20	KRISDATHANONT, Duantem	チュラロンコン大学文学部日本語学科専任講師	タイ	05.06.16～ 06.03.15	大阪大学大学院文学研究科	大江健三郎の作品における女性像の転換
21	SELVARAJU, Mala	クイーンズランド大学国際関係・政治学部博士課程	マレーシア	05.11.05～ 06.05.15	国際大学大学院国際関係学研究科	日馬二国間関係と東アジア地域主義
22	SYED ZAKARIA, Sharifah Zarina, Binti	マレーシア国民大学国際研究所(IKMAS)研究員	マレーシア	05.11.01～ 06.03.31	国際基督教大学教育研究所	日本とマレーシアの教育システムに関する比較研究：初等教育を中心に
23	,Naw Si Blut	東南アジア教育大臣機構歴史伝統センター(SEAMEO-CHAT) シニア・オフィサー	ミャンマー	05.07.03～ 06.09.02	東京外国語大学	ミャンマーでの日本の占領による影響：エーヤーワディ地区の事例
24	ANANTH, Priya	オハイオ州立大学博士課程	インド	04.09.04～ 05.11.03	京都大学文学部	第二言語としての日本語習得時の時間の表現発達－時節における時制と相の相互作用
25	JAYARAMAN, Usha Priamvatha	バナラス・ヒンドゥー大学研究院	インド	05.06.13～ 06.08.12	筑波大学	日本の女流文学に見るユーモアとその文化的背景

アジア・大洋州交流事業費

	氏名	現職	国	期間	受入団体	事業内容
26	PRASAD, Prashant Kumar	ジャワハルラル・ネルー大学学生	インド	05.08.12～ 06.10.26	早稲田大学	日本の開発援助：1992年から2001年までのソフトエイド政策の研究
27	CORBETT, Rebecca Jane	シドニー大学日本・韓国（朝鮮）学科博士課程大学院生	オーストラリア	05.09.26～ 06.09.25	国際日本文化研究センター	戦時下の日本における茶の湯の女性化

2. 人物交流事業費 (4) 日本研究フェローシップ（短期）〔ア〕

人文・社会科学分野の学者、研究者で、短期の訪日研究を必要とする者を招へいする。

合計額 5,818,017円

	氏名	現職	国	期間	受入団体	事業内容
1	KIM, Tai-gi	檀国大学教授	韓国	05.10.24～ 05.12.22	－	労働組合による政治的活動：日本と韓国における比較研究
2	YE, Jong-suk	漢陽大学校経済学部/アルンダウン財団（美しい財団）教授/所長	韓国	05.09.20～ 05.11.18	大阪大学	日韓両国の慈善活動についての比較研究
3	WENG, Ming	中国社会科学院農村発展研究所教授	中国	05.09.20～ 05.10.25	－	日中間の農産物交易の比較分析
4	JAIN, Sushama	ジャワハルラルネルー大学外国語学部教授	インド	05.03.30～ 05.05.28	大東文化大学	三島の作品における輪廻のコンセプト：一般インド人から見た解釈
5	MANGI, Lutfullah	シンド大学国際関係学科/極東東南アジア研究所主任教授/所長	パキスタン	05.05.06～ 05.06.13	－	冷戦後の日本の東アジア政策
6	MORRISON, Tiffany Hope	南オーストラリア・フリンダース大学国際政治学科講師	オーストラリア	05.11.14～ 05.12.16	京都大学防災研究所	日本、米国、豪州の地方レベルにおける環境の持続可能性の追求－準国家レベルの統合管理の比較分析

2. 人物交流事業費 (5)知的リーダー・グループ招へい〔ア〕

海外の知的リーダーを一定期間、海外より招へいし、国内での関係機関、関係者と意見交換・交流を行なう。
合計額 8,136,194円

	グループ名	国	人数	期間	事業内容
1	日本研究情報専門家研修	韓国 中国 インドネシア タイ フィリピン マレーシア インド カナダ 米国 ドイツ	2 1 1 1 1 1 1 1 1 1	05.11.27～ 05.12.17	海外の日本研究期間、図書館で日本研究情報を扱う専門家を招へいし、国立国会図書館で研修を行なう他、関係機関、関係者と意見交換・交流を行なった

2. 人物交流事業費 (6)知的交流フェロースhip（次世代）（AC）〔ア〕

アジアをフィールドとする日本の若手による優れた調査・研究を奨励するとともに、他のアジアの国々と日本との知的対話のネットワーク構築を担う次世代の人材育成を目的として、日本の大学院生、非営利団体スタッフにアジアにおける調査・研究のためのフェロースhipを供与する。

合計額 16,471,120円

	事業名	国	期間	事業内容
1	平成17年度次世代リーダー・フェロースhip（松永 光平）	中国	05.09.01～ 06.08.31	中国黄土高原における水土流失と人々の暮らしとのかかわり（陝西師範大学旅遊与環境学院）
2	平成16年度次世代リーダー・フェロースhip（滝口 良）	モンゴル	04.10.30～ 05.10.29	モンゴル国における土地所有－脱社会主義政策と「伝統」の復興－（モンゴル国立大学社会科学部歴史学科）
3	平成16年度次世代リーダー・フェロースhip（今村 祥子）	インドネシア	05.03.30～ 06.03.29	独占されない暴力－インドネシアにおける公権力と社会権力－（Center for Strategic and International Studies）
4	平成17年度次世代リーダー・フェロースhip（織方 愛）	インドネシア	06.03.31～ 06.06.28	地域保険活動におけるエスのグラフィックアプローチを取り入れた地域診断・分析と計画立案・評価－インドネシア、バドワイ地域の人－の世界観とケアリングシステム・健康観・保健行動を規定する文化的要因を中心に－（インドネシア政府保健省）
5	平成17年度次世代リーダー・フェロースhip（田中 洋子）	インドネシア	06.03.26～ 06.08.25	インドネシアにおける農民参加型水管理の可能性と課題－南スラウェシ州ゴワ県の水利組合強化事業を事例に－（国立ハサヌディン大学環境研究センター）

アジア・大洋州交流事業費

	事業名	国	期間	事業内容
6	平成16年度次世代リーダー・フェローシップ (朝日 由実子)	カンボジア	05.03.30～ 06.03.29	手織物産業の発展と女性労働形態の多様化－非農業活動の役割から見るカンボジア農村社会の変容－ (Royal Academy of Cambodia)
7	平成17年度次世代リーダー・フェローシップ (稲見 綾乃)	タイ	05.10.01～ 06.01.31	タイの社会保障：30パーツ健康保険制度をめぐる行政と住民の意識と行動 (チュラロンコン大学経済学部WHO共同ヘルス経済センター/バンコクYMCA)
8	平成17年度次世代リーダー・フェローシップ (鈴木 佑記)	タイ	06.01.16～ 07.01.15	「漂海民」モーケンのライフヒストリー－スマトラ沖地震・津波被災後のアイデンティティ変容に関する考察－ (チュラロンコン大学社会調査研究所)
9	平成16年度次世代リーダー・フェローシップ (須永 和博)	タイ	05.02.28～ 05.12.27	タイ北部山地少数民族社会における環境運動の文化人類学的研究－森林資源管理をめぐる公共空間および地域共同体のアイデンティティ構築過程についての微視的分析－ (チェンマイ大学社会調査研究所)
10	平成16年度次世代リーダー・フェローシップ (渡邊 暁子)	フィリピン	05.02.28～ 06.09.23	マニラのムスリム・コミュニティにみるアイデンティティの動態－アラム・モスク・コンパウンドの土地抗争の事例－ (フィリピン大学第三世界研究所)
11	平成16年度次世代リーダー・フェローシップ (佐々木 結)	インド	05.03.30～ 06.03.26	地方分権時代のインドにおける国家と信頼：村落自治体における家屋税徴税率比較を通して (社会科学研究所)
12	平成16年度次世代リーダー・フェローシップ (鹿田 光子)	インド	05.03.15～ 06.03.01	インドの男子学生の自死の男性学的研究－ジェンダーバイアスが生み出す男子学生への不安と苦しみ－ (ジャワハルラル・ネルー大学)
13	平成16年度次世代リーダー・フェローシップ (田中 雅子)	ネパール	04.11.02～ 05.11.01	ネパール・カトマンズの異ジャート住民に対する社会排除の実態－旧市街の非ネワール借家人とネワール持家人の関係を事例に－ (NGO Forum for Urban Water and Sanitation)
14	平成17年度次世代リーダー・フェローシップ (小林 誠)	ツバル	06.03.30～ 07.03.29	環境問題を生きる島農民の社会人類学的研究－ポリネシア、ツバル諸島における海面上昇の「危機」と適応戦略－ (ツバル・オーバerview)
15	アジア次世代リーダー・フェローシップ・プログラム (業務諸費)	アジア区分困難	05.04.01～ 06.03.31	アジア地域を研究対象とする、主に人文・社会科学系の大学院生、また国際交流・国際協力の分野においてアジア地域との共同作業に従事する日本の非営利団体スタッフを対象として、調査・研究を奨励するため、最長12カ月のフェローシップを供与する。また事業実施に際して年間を通じて発生する事務局業務を外部委託

2. 人物交流事業費 (7)知的リーダー交流（アジアリーダー）（AC）〔ア〕

アジア地域の次世代を担うリーダーを日本に招へいし、共同研究や協議の機会を提供する。

合計額 22,641,954円

	事業名	国	期間	事業内容
1	アジア・リーダーシップ・フェロー・プログラム	全世界区分困難	05.06.26～ 05.06.30	アジア諸国の様々な分野において際立ったリーダーシップを発揮している専門家を日本に招へいしているプログラム。平成17年度はプログラム開始10周年を記念して、過去のフェローのリユニオン会議を福岡と釜山で開催した他、過去のフェローによる論文集を刊行した。また、上海で開催された国際会議ICAS4に過去フェロー7名が参加し、発表

2. 人物交流事業費 (8)知的交流フェローシップ（招へい）〔ア〕

日本において人文・社会科学分野の研究を行なう諸外国の研究者にフェローシップを供与する。

合計額 6,558,688円

	氏名	現職	国	期間	受入団体	事業内容
1	KANG, Sung-hack	高麗大学校	韓国	05.07.01～ 05.09.03	中央大学	国連安全保障理事会および東アジア平和安全における日本の常任理事国について
2	SHANG, Xia	東北師範大学日本研究所	中国	05.10.30～ 06.01.29	桜美林大学	メディアの役割と中日関係
3	SUNDRAM, Pushpanathan	ASEAN事務局	シンガポール	06.02.01～ 06.03.31	東京大学	東アジア共同体構築－目的、原則、担い手、役割と構造
4	HIRISAWA S., Prabhakar	ジャワハルラル・ネル大学	インド	06.03.12～ 06.06.11	早稲田大学	日本とインドにおける市民社会：国家と地域社会の均衡の変化

3. 催し等事業費 (1)知的リーダー交流（国際会議出席助成・招へい）〔ア〕

日本と諸外国の知的対話の促進と、知的リーダー間のネットワークの構築や強化を推進するため、国内で開催される国際的な知的対話事業（国際会議やシンポジウム等）に対し、基調講演等を行なう専門家を招へいする経費の一部を助成する。

合計額 1,086,238円

	事業名	団体名	期間	事業内容
1	国際シンポジウム「アジア諸国の外来語問題」	京都橘大学	05.06.09～ 05.06.13	国際シンポジウム「アジア諸国の外来語問題」を開催し、パネリストとしてLEE, Han Sop（韓国高麗大学教授）を招へい

アジア・大洋州交流事業費

	事業名	団体名	期間	事業内容
2	シンポジウム「アジアにおける子供の教育と発達－保育・幼児教育分野における国際協力のあり方を考える－」	幼児教育に関する国際協力研究会	05.11.07～ 05.11.14	シンポジウム「アジアにおける子供の教育と発達－保育・幼児教育分野における国際協力のあり方を考える－」を開催し、パネリストとしてJAMSRANDORG, Batdelger（モンゴル国立教育大学初等教育学部長）を招へい
3	「アジア史学会14回研究大会」（福岡大会）	アジア史学会	05.11.18～ 05.11.22	「アジア史学会14回研究大会（福岡大会）」を開催し、講演者としてWANG, Wei（中国社会科学院考古研究所副所長）を招へい
4	「第6回東アジア成人教育フォーラム」	東アジア成人教育フォーラム	05.11.19～ 05.11.23	「第6回東アジア成人教育フォーラム」を開催し、報告者として、CHIA, Mun Onn（シンガポール成人教育協会委員長）を招へい
5	「東南アジア大陸部の書承文化」	国立民族学博物館	06.02.01～ 06.02.06	国際会議「東南アジア大陸部の書承文化」を開催し、基調講演者としてLORRILLARD, Michel（フランス極東学院所長）を招へい

3. 催し等事業費 (2)知的リーダー交流（国際会議出席助成・派遣）〔ア〕

日本と諸外国の知的対話の促進と知的リーダー間のネットワーク構築・強化を促進するため、海外で開催される国際的な知的対話事業（国際会議やシンポジウム等）において基調講演等を行なう専門家に対して経費の一部を助成する。
合計額 776,550円

	氏名	現職	国	期間	受入団体	事業内容
1	佐々木 力	東京大学大学院総合文化研究科教授	中国	05.07.23～ 05.07.31	中国科学院自然科学史研究所	北京で開催された「第22回国際科学史会議」に出席し、司会・講演を行なった
2	菅山 謙正	神戸外国語大学外国語学部教授	シンガポール	05.05.31～ 05.06.05	アジア辞書学会/シンガポール国立大学	シンガポールで開催された「アジア辞書学会2005年度大会」に出席し発表を行なった
3	青田 寿美	国文学研究資料館助教授	インド	05.11.15～ 05.11.21	デリー大学	ニューデリーで開催された「インド国際日本文学集会」に出席し、発表を行なった

3. 催し等事業費 (3) 知的交流会議等開催 (助成) (A C) [ア]

アジア地域における相互理解の促進と共通に抱える課題の解決に向けて、会議・ワークショップなどの国際的な共同作業の一部経費を助成する。

合計額 96,392,473円

	団体	国	期間	事業内容
1	韓国選挙学会	韓国	05.05.01～ 06.02.28	日韓選挙学会の学術交流
2	現代日本学会	韓国	05.06.01～ 05.06.04	日韓国交正常化40周年記念国際学術会議「日韓関係の新しいビジョンを求めて」
3	東西大学校	韓国	05.06.24～ 06.06.27	日・韓次世代学術FORUM2005 国際学術大会
4	韓日社会文化フォーラム	韓国	05.10.27～ 05.10.29	韓日マスメディア・フォーラム (第3回韓日言論人ワークショップ)
5	大鐘寺古代鐘博物館	中国	05.04.01～ 05.10.31	東アジア古代鐘学術シンポジウム
6	中国人民大学中国社会保障研究センター	中国	05.04.01～ 06.03.24	東アジアにおける社会保障・福祉国際交流会議
7	清華東アジア文化講座	中国	05.04.01～ 06.03.31	清華東アジア文化講座
8	中国青島東アジア法研究会	中国	05.09.20～ 05.09.30	東アジアにおける法運用の実態と判例-東アジアFTAおよびEACにおける紛争処理システムの構築を目指して-
9	北京大学市民社会とNPO研究センター	中国	05.10.22～ 05.10.23	「転換期中国市民社会の発展-国際的視角から」国際シンポジウム
10	華東政法大学	中国	05.11.03～ 05.11.06	第三回環境汚染紛争処理中日国際ワークショップ
11	同済大学アジア太平洋研究センター	中国	05.11.26～ 05.11.27	「中日協力の新たな分野と課題：環境・エネルギー・安全保障」国際シンポジウム
12	香港大学アジア研究センター	(香港)	05.12.08～ 05.12.09	アジアのリージョナリズム フェーズ1：アジアにおけるガバナンスとリージョナリズム (3年事業の1年目)
13	南アジア諸国地域協力連合研究調査会	日本	04.04.01～ 06.03.31	核の緊張に揺れる南アジア地域の域内安定と信用醸成をめざす連続対話セミナー
14	「持続可能な開発のための教育の10年」推進会議 (ESD-J) 事務局	日本	04.11.01～ 05.12.31	アジア・大洋州域が連携して「持続可能な開発のための教育」(ESD)を推進していくためのアジア太平洋地域ネットワーク会議
15	中部大学	日本	05.04.01～ 05.07.10	アジア太平洋人間の安全保障・地球市民フォーラム-多文化共生・ジェンダーの平等・安全都市ネットワーク-

アジア・大洋州交流事業費

	団体	国	期間	事業内容
16	聖学院大学総合研究所	日本	05.04.01～ 06.03.31	日韓中学術セミナー「北朝鮮の改革可能性－中国の改革との比較を中心に」
17	言論NPO	日本	05.04.01～ 06.03.31	日中シンポジウム「日中関係構築に何が妨げになっているか」
18	中日学術交流センター	日本	05.04.01～ 06.03.31	中国同盟会設立100周年記念国際シンポジウム－日中関係への回顧と展望－
19	東京大学東洋文化研究所猪口孝研究室	日本	05.04.01～ 06.03.31	連邦制を使用したアジアの民主化の可能性を追及する会議
20	アジア民衆史研究会	日本	05.04.01～ 06.03.31	日韓民衆史研究ワークショップ
21	国際貿易投資研究所公正貿易センター	日本	05.05.01～ 05.12.31	WTO設立10周年記念国際シンポジウム－WTOドーハラウンドとアジアの役割
22	SVNジャパン	日本	05.05.01～ 06.01.31	第3回SVNアジア会議
23	スマイルクラブ	日本	05.06.01～ 06.03.31	アジアにおける知的障害者の社会的自立へ向けた支援プログラムに関するワークショップ
24	マハーラーシュトラ研究会	日本	05.08.22～ 05.08.24	第11回国際マハーラーシュトラ会議
25	中国朝鮮族研究会	日本	05.09.17～ 05.09.18	北東アジア地域統合に向けての市民交流ネットワーク形成
26	「満蒙開拓団」調査研究会	日本	05.09.20～ 05.09.22	朝鮮満洲移民の生活と文化
27	子供研究・保護センター	インドネシア	05.04.01～ 06.03.31	インドネシアからマレーシアへの性的搾取を目的とした子供の人身売買に対するガイドライン作成ワークショップ
28	インドネシア科学院地域リソース研究センター	インドネシア	05.05.01～ 06.01.31	東南アジアにおける持続可能な開発に向けて：森林管理からエコ・ツーリズムへ
29	東南アジア教育省連合－考古学・芸術センター	タイ	05.04.01～ 06.03.31	文化と開発に関する国際会議
30	コンケン大学紛争解決研究所	タイ	05.04.01～ 06.03.31	紛争解決研修事業
31	国際移民機構	タイ	05.09.01～ 05.11.30	メコン地域の移民問題に関する実務家とメディアの対話
32	プローブ・メディア財団	フィリピン	05.04.01～ 06.03.31	「私達のメコンを描く」フェローシップ－社会経済変革の時期のメコン流域における地域共通課題についてのドキュメンタリー制作研修とフォーラム

	団体	国	期間	事業内容
33	アジア・アクト・アゲインスト・チャイルド・トラフィッキング	フィリピン	05.04.01～ 06.03.31	東南アジアの人身売買－被害児童の取扱いと人権に関する基本原則とガイドラインの取りまとめ－
34	地方行政学院	フィリピン	05.06.01～ 06.05.31	地方行政における伝統的知識システムの活用（第2フェーズ）
35	フィリピン調査報道センター（PCIJ）	フィリピン	05.07.01～ 06.01.31	東南アジアの放送ジャーナリストのための調査報道研修講師育成セミナー
36	世界経済政治研究院	ベトナム	05.04.01～ 06.03.31	拡大メコン地域研究ネットワークの構築
37	ベトナム国家大学ハノイ人文社会科学大学	ベトナム	05.09.01～ 05.09.30	東アジア共同体に向けて：好機と挑戦
38	マレーシア科学大学教育学部	マレーシア	05.04.01～ 05.10.31	東南アジアと日本における、科学の概念理解に対する文化の影響について
39	サラワク州立図書館	マレーシア	05.04.01～ 06.03.31	ボルネオ島に関する情報収集と利用に関する共同プロジェクト－文化的・歴史的書誌資料情報のデジタル化
40	持続可能な開発のためのIDMA財団	インド	05.04.01～ 06.03.31	南アジアにおける環境報道の強化
41	平和・紛争問題研究所	インド	05.04.01～ 06.03.31	南アジアにおける人間の安全保障論争の再検討
42	インド文化財団	インド	05.05.01～ 06.03.31	アジアにおける芸術教育－協力体制の構築とネットワークキング
43	ビジネスコミュニティー財団	インド	05.05.01～ 06.03.31	アジアにおける企業の社会的責任－現況と将来の展望
44	公共問題センター	インド	05.06.01～ 06.03.31	南アジアにおける市民社会と民主主義制度－市民参画、経済開発と地域平和
45	オーストラリア・ペン・センター	オーストラリア	05.05.01～ 06.03.31	世界調和のための創造的戦略国際会議－国境を越えて

3. 催し等事業費 (4)知的交流会議等開催（企画参画助成）（A C）〔ア〕

アジア地域における相互理解の促進と共通に抱える課題の解決に向けて、会議・ワークショップなどの国際的な共同作業を企画、支援する。

合計額 24,279,757円

	団体	国	期間	事業内容
1	東京視点	日本	05.04.01～ 06.03.31	日中の若者が市民レベルの独自の視点で日中間の文化・社会に関するドキュメンタリー映像作品制作、上映

アジア・大洋州交流事業費

	団体	国	期間	事業内容
2	アジア・ヒューマン・コミュニティ設立準備委員会	日本	05.04.01～ 06.03.31	アジア・ヒューマン・コミュニティ
3	接続可能な開発財団（タイ）Sustainable Development Foundation Thailand	タイ	05.09.01～ 05.10.14	津波アジア国際NGO会議
4	アジア太平洋フィランソロピー協会	タイ	05.11.01～ 05.12.31	災害時の社会貢献活動－津波とその後
5	戦略開発研究所	フィリピン	05.04.01～ 06.03.31	日本・アセアン・パートナーシップ「東アジア共同体構築に向けて」
6	ブータン研究センター	ブータン	05.11.01～ 06.03.30	グロス・ナショナル・ハピネス・プロジェクト物資的豊かさの日本・ブータン比較研究

3. 催し等事業費 (5) 知的交流会議等開催（主催）（A C）〔ア〕

日本と諸外国の相互理解の促進とより綿密な関係の構築、地域に共通する課題や世界的規模の課題の解決に向けて、会議・ワークショップなどの知的共同事業を実施する。

合計額 16,240,572円

	事業名	国	期間	事業内容
1	日中韓次世代リーダーフォーラム2005	中国	05.07.17～ 05.07.27	日本、中国、韓国の将来のリーダー同士の信頼関係を強化し、対話の機会を作ることを目的として、政・官・学・財・メディアの各分野の若手リーダーが寝食をともにしながら、参加者同士が討論・意見交換、文化施設等の訪問を行なった。2005年の第3回フォーラムは愛知県、北京、ソウルで開催され14名が参加。韓国国際交流財団、中華全国青年連合会との共催
2	日韓ワークショップ	日本	05.12.01～ 05.12.31	市民が交流の主役となった日韓関係の今後の展望について、日韓の各界有識者を招いて「交流時代の課題と可能性」をテーマに公開・非公開セミナーを開催。韓国の経済・人文社会研究会との共催

3. 催し等事業費 (6) アジア地域研究センター支援（催し等）（A C）

アジア域内の知的ネットワーク強化のための地域研究センター支援事業を実施する。

合計額 23,753,426円

	団体	国	事業内容	
1	東南アジア研究地域交流プログラム	SEASREP財団	フィリピン	東南アジア諸国における人文社会科学分野の東南アジア研究者間の相互理解の促進とネットワーク構築を目指し、国際交流基金、財団法人トヨタ財団およびSEASREP評議会の3者が共同して3つの助成プログラムを運営すると共に評議会主催事業（10周年記念会議等）を実施

3. 催し等事業費 (7) 沖縄国際フォーラム

アジア太平洋地域の共通課題などに関する国際的な対話フォーラム、シンポジウムを沖縄における国際的な知的交流事業の一環として行なう。

合計額 14,859,152円

事業名	国	期間	事業内容
1 平成16年度報告書	全世界区分困難	05.04.01～06.03.31	平成16年度に実施した沖縄国際フォーラムの報告書刊行
2 アジア・パシフィック・ユース・フォーラム2006沖縄	全世界区分困難	06.01.14～06.01.24	日本を含む9カ国18名の若手リーダーが沖縄に集合し、「多元的社会と共生－地球市民への挑戦－」をテーマに合宿型討論を行なうとともに公開セミナーを開催。沖縄県内でのフィールドトリップ、県民との交流会も実施

4. 文化資料事業費 (1) 図書寄贈〔ア〕

日本に関する理解・研究を促進するため海外の日本研究・教育機関や公共図書館などに日本関係図書などを寄贈。

合計額 26,148,897円

国名	機関名	送付部数（冊）	合計額
1 韓国	世宗研究所日本研究センター	29	292,474
2 韓国	釜山韓日文化交流協会図書室	61	168,257
3 韓国	光云大学校日本学科	54	307,336
4 韓国	中央大学校韓日文化研究院	41	220,089
5 中国	マカオ大学日本研究センター	31	468,955
6 中国	香港城市大学邵逸夫図書館	86	614,955
7 中国	黒竜江省図書館	44	540,684

アジア・大洋州交流事業費

	国名	機関名	送付部数 (冊)	合計額
8	中国	吉林省図書館	77	479,932
9	中国	ShenZhen Polytechnic	159	457,207
10	中国	華南師範大学外国語言文化学院	84	378,485
11	中国	広東工業大学外国語学院日本語学部	102	382,983
12	中国	江西財経大学外国語学院	89	450,056
13	中国	北京聯合大学旅遊学院日語旅遊文科系	118	411,531
14	中国	西安交通大学日語系	42	153,667
15	中国	天津財経大学経貿外国語学部	139	448,346
16	中国	清華大学日本研究センター	35	490,947
17	中国	清華大学歴史系	27	465,727
18	中国	安徽技術師範学院外語系日語教研室	22	70,982
19	中国	浙江工商大学日本文化研究所	51	342,374
20	中国	華東師範大学図書館	105	535,708
21	モンゴル	モンゴル科学アカデミー国際研究所	57	159,069
22	インドネシア	国立サムラトランギ大学文学部	87	392,947
23	インドネシア	スラバヤ国立大学日本研究センター	47	366,908
24	インドネシア	ドクターストモ大学日本語学部	34	236,972
25	インドネシア	じゃすみん	124	880,392
26	インドネシア	国立北スマトラ大学社会科学部	33	425,071
27	インドネシア	インドネシア大学人文学部日本研究科	31	222,655
28	インドネシア	国立イスラム大学イスラム・社会研究センター	123	877,109
29	インドネシア	アル・アザール・インドネシア大学図書館	123	877,109
30	インドネシア	ウダヤナ大学文学部	50	353,339
31	インドネシア	パジャジャラン大学文学部	83	216,431
32	シンガポール	シンガポール国立図書館委員会	32	408,744
33	シンガポール	シンガポール国立大学中文図書館	1	362,670
34	フィリピン	フィリピン大学アジアセンター図書館	36	402,285

	国名	機関名	送付部数(冊)	合計額
35	フィリピン	ミンダナオ国際大学	23	413,160
36	フィリピン	デ・ラ・サール大学ダスマリニャス校	50	555,392
37	ブルネイ	ブルネイダルサラム大学図書館	24	317,326
38	ベトナム	ベトナム国立図書館	123	877,109
39	ベトナム	ホーチミン市総合科学図書館	123	877,109
40	ベトナム	ハノイ人文社会科学東洋学部日本学科	129	449,191
41	マレーシア	マレーシア科学大学社会科学部国際関係センター	65	412,590
42	マレーシア	トゥン・アブドル・ラザク大学図書館	123	877,109
43	ミャンマー	パゴー大学歴史学部	34	269,310
44	ミャンマー	東ヤンゴン大学	31	279,677
45	ラオス	ラオス国立大学中央図書館	39	306,198
46	インド	印日福祉文化協会	7	60,251
47	インド	ジャワハルラルネルー大学図書館	29	539,994
48	インド	バンガロール大学外国語学部	42	342,328
49	インド	印日商工会議所	31	508,731
50	インド	ABK・AOTS同窓会タミルナドゥ支部	51	311,004
51	ネパール	トリブバン大学図書館	35	403,041
52	パキスタン	National Institute of Public Administration (NIPA) Karachi, Pakistan	34	447,840
53	パキスタン	コハート科学技術大学図書館	46	536,440
54	パキスタン	パキスタン国立図書館	18	131,732
55	バングラディッシュ	ビッショ・シャヒット・ケンドロ(世界文学機関)	50	346,422
56	バングラディッシュ	チッタゴン日本アカデミー	17	294,138
57	オーストラリア	シドニー大学図書館	3	440,644
58	オーストラリア	ラ・トローブ大学図書館	19	222,191
59	ニュージーランド	カンタベリー大学図書館	40	130,833

アジア・大洋州交流事業費

	国名	機関名	送付部数（冊）	合計額
60	ニュージーランド	オークランド大学（ニュージーランド）	36	441,629
61	パプアニューギニア	パプア・ニューギニア大学インフォメーション・リソース・センター	123	884,469
62	フィジー	南太平洋大学図書室	51	610,643

日本研究・知的交流事業に必要な経費

欧州・中東・アフリカ交流事業費

1. 日本研究事業費

- (1) 日本研究調査〔欧〕
- (2) 日本研究客員教授派遣（自主企画）〔欧〕
- (3) 日本研究客員教授派遣（直接派遣）〔欧〕
- (4) 日本研究シニア客員教授派遣（直接派遣）〔欧〕
- (5) 日本研究客員教授派遣（経費助成）〔欧〕
- (6) 日本研究拠点機関助成〔欧〕
- (7) 日本研究スタッフ拡充助成〔欧〕
- (8) 日本研究リサーチ・会議等開催（助成）〔欧〕
- (9) 日本研究リサーチ・会議等開催（主催）〔欧〕
- (10) 日本研究組織強化支援（助成）〔欧〕

2. 人物交流事業費

- (1) 地域研究フェローシップ〔欧〕
- (2) 日本研究フェローシップ（学者・研究者）〔欧〕
- (3) 日本研究フェローシップ（論文執筆）〔欧〕
- (4) 日本研究フェローシップ（短期）〔欧〕
- (5) 知的リーダー交流（招へい）〔欧〕
- (6) 知的交流フェローシップ（派遣）〔欧〕
- (7) 知的交流フェローシップ（招へい）〔欧〕
- (8) 知的交流フェローシップ（派遣）（中東）〔欧〕
- (9) 知的交流フェローシップ（招へい）（中東）〔欧〕

3. 催し等事業費

- (1) 知的リーダー交流（国際会議出席助成・招へい）〔欧〕
- (2) 知的リーダー交流（国際会議出席助成・派遣）〔欧〕
- (3) 知的交流会議等開催（主催）〔欧〕
- (4) 知的交流会議等開催（助成）〔欧〕
- (5) 知的交流会議等開催（主催）（中東）〔欧〕
- (6) 知的交流会議等開催（助成）（中東）〔欧〕

4. 文化資料事業費

- (1) 図書寄贈〔欧〕

欧州・中東・アフリカ交流事業費

1. 日本研究事業費	(1) 日本研究調査〔欧〕
------------	---------------

世界の主要な地域の日本研究機関調査を実施し、日本研究機関と研究者のディレクトリーを作成する。

合計額 2,983,370円

	事業名	国	期間	事業内容
1	中東学会による日本研究調査	日本	05.12.01～ 06.03.31	日本における中東研究の現状を、教育組織、教育内容、学生数、教員数、語学教育、留学、卒業後の進路、研究活動等の項目についてのサーベイ調査とデータ処理、現状分析を中東学会に委託
2	アラビア語論文翻訳	日本	06.01.20～ 06.03.31	在サウジ地域研究ネットワークの中心的人物であるムタッバカーニーのアラビア語論文「地域研究学科設立および在サウジ研究センター」の翻訳を外部に委託
3	中村助教授サウジ派遣	サウジアラビア	05.12.16～ 05.12.24	地域研究に関心を持つ大学、研究者とのネットワークが構築されつつあるサウジアラビアに中村(助教授)を派遣、各大学・研究機関・関係省庁の訪問・視察・意見交換、日本研究を含む地域研究の状況調査およびニーズ調査を実施
4	垣内教授ヨルダン派遣	ヨルダン	05.12.03～ 05.12.10	日本研究の基盤が育ちつつあるヨルダンへ垣内(教授)を派遣し、各機関の訪問調査他、派遣期間中、死海で開催された第2回世界文化フォーラムにも参加、文化政策と知的交流に関する研究発表および文化政策立案者との意見交換を実施
5	欧州日本研究調査(2年目)	ドイツ	05.11.01～ 06.10.30	Eajsによる欧州日本研究調査の2年目であり、オンラインデータベースの完成、テストラン、機関・研究者データの入力、チェックを行なった

1. 日本研究事業費	(2) 日本研究客員教授派遣(自主企画)〔欧〕
------------	-------------------------

人文科学、社会科学分野で日本に関する講義を実施するために、海外の高等教育・研究機関に対し、日本から客員教授を派遣する。

合計額 9,595,850円

	氏名	現職	国	期間	受入団体	事業内容
1	デ・プラダ・ヴィセンテ	福岡大学講師	スペイン	06.01.28～ 06.04.15	サラマンカ大学哲学学部	日本、東アジアの文学に関する講義のため派遣
2	鈴木 英夫	白百合女子大学教授	エジプト	06.01.29～ 06.05.31	アインシャムス大学外国語学部日本語学科修士課程	エジプトのアインシャムス大学外国語学部日本語学科修士課程における日本文学および日本語学の指導のため派遣

欧州・中東・アフリカ交流事業費

1. 日本研究事業費 (3) 日本研究客員教授派遣 (直接派遣) [欧]

海外諸大学の日本研究講座を支援するため、人文・社会科学分野の学者・研究者を派遣する。

合計額 1,480,630円

	氏名	現職	国	期間	受入団体	事業内容
1	島蘭 進	東京大学大学院 人文社会系研究 科・文学部教授	エジプト	06.02.17～ 06.04.11	カイロ大学文学 部日本語日本文 学科	カイロ大学大学院予備講座なら びに大学院の学生を対象とした 講義と研究指導のため派遣。
2	松村 昌廣	桃山学院大学法 学部教授	クウェート	06.03.11～ 06.03.20	クウェート大学	クウェート大学社会科学部学部 生および日本研究ユニットにて 研究者を対象として日本の安全 保障政策及び近現代外交史に関 する集中講義を実施

1. 日本研究事業費 (4) 日本研究シニア客員教授派遣 (直接派遣) [欧]

人文科学および社会科学分野（芸術分野を含む）で、日本に関する講義を実施するために客員教授を招へいしようとする海外の高等教育・研究機関に対し、日本国内で条件に合致する専門家を公募して派遣する。本プログラムはジャパンファウンデーションボランティア制度の一環として実施するものである。

合計額 9,486,962円

	氏名	現職	国	期間	受入団体	事業内容
1	小林 明美	大阪外国語大学 留学生日本語セ ンター教授	ハンガリー	05.04.01～ 06.01.31	エオトヴェシ・ ローランド大学 東洋学研究所	国語学と日本語教育論に関する 講義
2	菅野 昭正	東京大学教授	フランス	05.11.01～ 06.03.31	リヨン第三大学	日仏比較文学に関する講義

1. 日本研究事業費 (5) 日本研究客員教授派遣 (経費助成) [欧]

海外諸大学の日本研究講座に対し、人文・社会科学分野の学者・研究者を国外から客員教授として招へいするための経費を助成する。

合計額 7,507,064円

	団体	国	氏名	現職	期間	事業内容
1	モスクワ国立 大学附属アジ ア・アフリカ 諸国大学	ロシア	野島 陽子	東京大学大学院 助教授	05.10.01～ 05.10.31	明治時代から第二次世界大戦までの日本 史における主要問題
2	タシケント国 立東洋学大学	ウズベキス タン	小野澤 正 喜	筑波大学教授	05.08.24～ 05.10.07	日本語教育の国際化と日本文化理解、日 本文化

欧州・中東・アフリカ交流事業費

	団体	国	氏名	現職	期間	事業内容
3	タシケント国立東洋学大学	ウズベキスタン	ディアコノワ・エレーナ	ディアコノワ・エレーナ	05.10.01～ 05.11.15	日本文学、日本文化
4	リュブリャーナ大学文学部	スロベニア	黒古 一夫	筑波大学図書館情報メディア研究科(大学院)教授	06.03.01～ 06.04.10	現代沖縄文学
5	ラトビア大学現代言語学部東洋学科	ラトビア	Rotermund Hartmut	フランス国立高等研究院教授	05.10.01～ 05.11.15	日本人の宗教的思考
6	マドリードアウトノマ大学	スペイン	市川 慎一	早稲田大学教授	06.02.01～ 06.03.31	現代日本語テキスト講読
7	セント・ジョゼフ大学	レバノン	花田 光世	慶應義塾大学総合政策学部教授	05.11.07～ 05.11.11	異文化経営論 I
8	セント・ジョゼフ大学	レバノン	小島 朋之	慶應義塾大学教授	06.03.04～ 06.03.07	異文化経営論 I

1. 日本研究事業費 (6)日本研究拠点機関助成〔欧〕

海外の日本研究において特に中核的な役割を担う機関を指定して、その日本研究部門の研究費、運営費などを中長期にわたって総合的に助成する。

合計額 15,107,315円

	機関	国	期間	事業内容
1	ロシア科学アカデミー現代日本研究センター	ロシア	05.04.01～ 06.03.31	紀要MEET JAPANの発行、リサーチ・会議、論文コンクール、日本関連定期刊行物の送付、事務局経費を包括的に支援した
2	ロシア国立極東総合大学附属東洋学大学	ロシア	05.04.01～ 06.03.31	訪日研修、ロシア国内研修、論文執筆謝金、出版援助、事務局経費、図書寄贈を包括的に支援した

欧州・中東・アフリカ交流事業費

1. 日本研究事業費 (7) 日本研究スタッフ拡充助成〔欧〕

海外の大学などが日本研究に関連した常勤の教官ポストを増設する場合、最初の3年間に限り当該者の給与と社会保障費を助成する。

合計額 5,668,101円

	機関	国	期間	事業内容
1	オックスフォード・ブルックス大学	英国	05.08.01～ 06.07.31	国際関係学（日本外交）講師への給与助成
2	ザグレブ大学	クロアチア	05.10.01～ 06.09.30	日本文学・歴史・社会学講師（日本研究科主任）の給与助成（1年目）
3	デブレツェン大学	ハンガリー	05.12.01～ 06.04.28	日本語・日本文化講師の給与助成

1. 日本研究事業費 (8) 日本研究リサーチ・会議等開催（助成）〔欧〕

海外の高等教育・研究機関が実施する日本研究に関連した共同研究・会議、セミナー・ワークショップや集中講座などについて、経費の一部を助成する。

合計額 21,035,102円

	団体	国	期間	事業名	事業内容
1	イタリア国立アジア・アフリカ学院	イタリア	05.03.20～ 06.02.28	イタリア国立アジア・アフリカ学院	19世紀における伊日関係史に関する日本資料調査
2	ミラノ国立大学 CARC	イタリア	05.10.20～ 05.12.20	ミラノ国立大学 CARC	ミラノ国立大学現代アジア研究センター開所記念シンポジウム「地域統合と東アジアにおける社会的・政治的変動」
3	SOAS	英国	05.05.10～ 05.07.10	SOAS	日本の過去と現在における縁起神話
4	英国日本研究協会	英国	05.09.05～ 06.03.31	英国日本研究協会	英国日本研究協会総会
5	ウィーン大学東アジア研究所	オーストリア	05.07.01～ 05.11.30	ウィーン大学東アジア研究所	ヨーロッパ日本研究協会博士課程在籍者ワークショップ
6	サラゴサ大学	スペイン	05.03.20～ 06.03.19	サラゴサ大学	第8回スペイン日本学研究会「日本の女性、真実と神話」
7	ヨーロッパ日本研究協会 (EAJS)	ドイツ	04.07.01～ 05.11.30	欧州日本研究協会	第11回EAJS総会
8	フランス極東学院	フランス	05.04.01～ 06.03.31	フランス極東学院	日本社会におけるウチとソトの力学 学術の日仏共同研究

欧州・中東・アフリカ交流事業費

	団体	国	期間	事業名	事業内容
9	フランス日本研究学会	フランス	05.12.10～ 06.01.31	フランス日本研究学会	フランス日本研究学会 第15回総会における公開講演
10	日本資料専門家欧州協会	ベルギー	05.09.20～ 05.09.25	日本資料専門家欧州協会	第16回国際日本資料専門家欧州協会研究集会
11	ウズベキスタン財政政策センター	ウズベキスタン	05.03.20～ 05.12.30	ウズベキスタン財政政策センター	日本の年金改革の経験：中央アジアにとっての教訓
12	ヴィリニウス大学	リトアニア	05.03.20～ 05.11.01	ヴィリニウス大学	新EU加盟国の大学教育におけるネットワークを形成し、よって既知の経験の共有、長期的視点に立った日本研究戦略モデルを構築
13	国立政治行政学院	ルーマニア	05.05.01～ 06.02.28	国立政治行政学院	第三千年紀初頭における行政：日本の経験をルーマニアに伝える
14	ロシア国立人文大学	ロシア	05.05.01～ 05.10.31	ロシア国立人文大学	第4回言語人類学・類型学国際会議、およびサテライト・セミナー「日本語・アルメニア語・ロシア語におけるディスコースの範疇と形成」

1. 日本研究事業費	(9) 日本研究リサーチ・会議等開催（主催）〔欧〕
------------	---------------------------

日本に関するグループ研究、調査、学術的な会議、セミナー、ワークショップ等を開催する。

合計額 1,377,768円

	団体	国	期間	事業名	事業内容
1	ロシア連続講座	ロシア	05.10.10～ 06.03.31	ロシア連続講座	対日関心の高まるロシアにおいて、一般市民の正しい日本理解を促すため、専門家による講演を行った

1. 日本研究事業費	(10) 日本研究組織強化支援（助成）〔欧〕
------------	------------------------

欧州地域の日本研究者や日本研究機関が国境や専門分野を超えて相互に連携・協力するための横断的なネットワーク形成活動を支援する。

合計額 16,994,134円

	機関	国	期間	事業内容
1	ヨーロッパ日本研究協会 (EAJS)	ドイツ	05.04.01～ 06.03.31	年3回の会報発行やホームページ運営を通じ、地域内のネットワーク強化、若手日本研究者育成を図る。事務局運営費、ホームページ維持経費、データベース作成費等
2	ロシア日本研究者協会	ロシア	05.04.01～ 06.03.31	年鑑の発行、奨学金、事務局経費を包括的に支援し、ロシア域内、CIS諸国の日本研究者のネットワーク強化を図った

欧州・中東・アフリカ交流事業費

	機関	国	期間	事業内容
3	ロシア日本研究者協会（スカラシップ）	ロシア	05.04.01～ 06.03.31	ロシア全域から広く募集を行ない、日本研究分野で優秀な論文を執筆した大学生、大学院生、若手研究者を顕彰

2. 人物交流事業費 (1) 地域研究フェローシップ [欧]

海外において人文・社会科学の各分野での共同研究および研究の指導を主とする研究活動を行なう学者・研究者にフェローシップを供与する。

合計額 7,223,946円

	氏名	現職	国	期間	受入団体	事業内容
1	林 裕明	島根県立大学	英国	05.09.21～ 06.08.31	バーミンガム大学	ロシア・東欧諸国における体制転換と市民社会・民主主義の形成とのかかわりについて先行研究を理論的に整理した後、最新の調査データをもとに住民の社会意識、自発的組織の役割を比較検討し、学会への発表および論文執筆にて公表
2	松本 英実	新潟大学	フランス	05.10.03～ 06.10.02	ケンブリッジ大学/ストラスブール第三大学/ヴェトナム国立大学	ヨーロッパ法のアジア諸国への継受に対する比較研究

2. 人物交流事業費 (2) 日本研究フェローシップ（学者・研究者） [欧]

諸外国の優れた日本研究者に日本で研究・調査活動を行なう機会を提供する。

合計額 105,129,495円

	氏名	現職	国	期間	受入団体	事業内容
1	CAROLI, Rosa	イタリア国立ヴェネツィア大学カ・フィスカリ東洋学研究所 助教授	イタリア	05.10.03～ 06.01.31	山梨学院大学	琉球最後の国王となった尚泰の東京における生涯
2	MIGLIORE, Maria Chiara	レッツェ大学常勤研究員	イタリア	05.10.01～ 05.12.31	人間総合科学大学	日本文学における中国文学の受容：「王昭君伝説」における和漢比較文学研究

欧州・中東・アフリカ交流事業費

	氏名	現職	国	期間	受入団体	事業内容
3	ASTLEY, Ian	エジンバラ大学 日本研究センター上級講師	英国	05.10.01～ 06.08.31	東京大学東洋文化研究所	9世紀初期の東アジアにおける宗教、政治、物質文化：空海「請来目録」の影響
4	PIZZICONI, Barbara	ロンドン大学東洋アフリカ研究学院講師	英国	05.09.07～ 05.10.03	早稲田大学大学院日本語教育研究科	敬語を越えて－日本語の待遇行動についてのディスコースを変える試み
5	WAGNER-TSUKAMOTO, Sigmund Anton	レスター大学マネジメントセンター講師	英国	05.09.07～ 06.10.04	日本経営倫理学会/神奈川大学	モラル主体、多元的共存と組織的経済再建：日本を事例に
6	BOOT, Willem Jan	ライデン大学日韓研究所日本学主任教授	オランダ	05.06.05～ 06.01.28	国文学研究資料館	皆川淇園－その「淇園答要」、「名疇」と開物学
7	THUNMAN, Noriko	ヨーテボリ大学アジアアフリカ語学科日本語科学科長、教授	スウェーデン	05.09.15～ 06.09.14	東京大学大学院総合文化研究科	日本文学史における古典形成のプロセス－ジャンルとしての俳句と芭蕉をめぐって
8	MUNOZ, Conde	パブロ・デ・オラビデ大学（セビリア）法学部教授	スペイン	05.05.09～ 05.07.07	京都大学大学院法学研究科	国際刑法
9	HACKNER, Thomas	トリアー大学助教授	ドイツ	05.09.04～ 06.02.24	早稲田大学	明治後期における風景のディスコース
10	SPIELMANN, Yvonne	ブラウンシュヴァイク芸術大学教授	ドイツ	05.08.02～ 06.03.10	情報科学芸術大学院大学	デジタル・メディア・アートにおける、表現手段の中のハイブリッドなアイデンティティの概念について、日欧の比較分析
11	TIDTEN, Markus	ドイツ国際政治・安全保障政策研究所アジア部主任研究員	ドイツ	05.08.20～ 06.01.14	財団法人日本国際問題研究所	グローバルおよび地域的制限内の日本外交および安全保障政策
12	DE PRADO YEPES, Cesar	国連大学研究員	ベルギー	05.05.15～ 06.05.14	東京大学東洋文化研究所	ASEAN加盟国+3によるアジア地域統合の外交政策。特に多様化する地域化に、日本はどうコミットするか
13	ROBBEETS, Martine Irma	ライデン大学比較言語学部	ベルギー	05.02.05～ 05.12.05	京都大学	日本語と韓国語およびアルタイ語との関連性
14	BILETSKA, Svitlana Volodimirovna	ハリコフ国立教育大学助教授	ウクライナ	05.09.16～ 06.10.07	お茶の水女子大学大学院	児童の人格形成についての日本的概念の特徴（教育学的視点より）

	氏名	現職	国	期間	受入団体	事業内容
15	SALOVA, Dita	カレル大学哲学 部比較研究セン ター講師	チェコ	04.11.20～ 05.09.30	京都大学	古代日本文化における健康と病 気の比較的視座(丹波康類著「医 心方」の分析)
16	JABLONSKI, Arkadiusz Marek	アダム・ミツ キェヴィチ大学 東洋学講座日本 語学科研究員	ポーランド	04.10.01～ 05.09.30	東京大学大学院 人文社会系研究 科	現代日本語の敬語・待遇表現・ ボライトネスの記号論・語用論
17	ZEROMSKA, Estera	アダム・ミツ キェヴィッチ大 学東洋学研究講 座極東言語研究 科教授	ポーランド	05.08.23～ 06.08.19	国文学研究資料 館(人間文化研 究機構)	日本の演劇史(古代から第二次 世界大戦の終わりまで)
18	HONDRU, Angela Varvara	ヒペリオン大学 教授	ルーマニア	05.07.03～ 06.06.30	大阪外国語大学	里神楽-人と神の和合のシンボ ル-
19	BRESLAVETS, Andrei Alexandrovich	ウラジオストク 経済大学国際関 係研究所准教授	ロシア	05.11.17～ 06.06.15	大阪大学	新しい世界秩序の形成:北東ア ジア統合プロセスの重要項とし てのアジア太平洋経済協力とい う開かれた地域概念、日本の側 面
20	GLAVEVA, Diana Georgieva	ロシア科学アカ デミー極東研究 所上級研究員	ロシア	06.03.21～ 07.03.20	横浜国立大学教 育人間科学部	日本とロシアの伝統的文化にお ける世界観の特徴
21	MAYKOVA, Nadezda Victorovna	ロシア科学アカ デミーピョートル 大帝人類学民俗 学博物館展示 部シニア・コー ディネーター	ロシア	05.09.10～ 06.09.09	国立民俗学博物 館	日本とアイヌの織物の伝統的自 然素材
22	SULEYMEANOVA, Aida Musulyevna	極東国立総合大 学東洋学大学東 洋語学科日本語 教師	ロシア	05.05.26～ 06.03.31	立命館大学文学 部	日本近代文学における与謝野晶 子の作品(短歌/歌論)
23	SUSLOV, Denis Vladimirovich	ロシア科学アカ デミー極東支部 経済研究所研究 員	ロシア	05.10.09～ 06.10.07	西南学院大学法 学部	地域間外国直接投資に対する北 東アジア地域の投資能力の影響
24	VYSOKOV, Mikhail Stanislavovich	サハリン国立総 合大学学部長	ロシア	05.07.06～ 06.07.05	北海道大学スラ ブ研究センター	19世紀から20世紀における日 本、ロシア帝国、ソ連によるサ ハリン島植民地化の歴史的出来 事

欧州・中東・アフリカ交流事業費

	氏名	現職	国	期間	受入団体	事業内容
25	ZHURAVSKAYA, Tatiana Mikhailovna	サンクトペテルブルク国立芸術デザインアカデミー教授	ロシア	04.09.02～ 05.05.01	神戸大学国際文化学部	日本の伝統工芸とデザイン－伝統と革新－
26	BEN-RAFAEL GALANTI, Sigal	エルサレム・ヘブライ大学人文科学部/ハイファ大学人文科学部/ベイト・パール・カレッジ社会学講師(博士)	イスラエル	05.07.02～ 05.12.31	早稲田大学政治経済学部	第2次大戦後の占領時代における日本の各政党の動きから見た、戦後日本の民主化確立に関する考察
27	KOWNER, Rotem	ハイファ大学人文学部東アジア学科学科長	イスラエル	05.01.06～ 05.11.05	早稲田大学 大学院アジア太平洋研究科	「身体の近代化」明治時代における西洋の人種論議に対する日本社会の反応
28	GAVAHI, Abdolrahim	シャヒード・モタッハリ大学	イラン	05.08.15～ 06.03.31	東京大学イスラム学科	神道の多角的調査研究
29	TEKMEN, Ayse Nur	アンカラ大学言語・歴史・地理学部助教授	トルコ	05.09.16～ 06.03.05	東京大学	日本語とトルコ語のコミュニケーションにかかわる諸表現の対象研究
30	MOSTAFA, Ahmed Mohamed Fathy	カイロ大学文学部日本語日本文学科助教授	エジプト	06.03.01～ 07.02.28	沖縄国際大学	戦後の沖縄文学、目取真俊(めどるま しゅん)を中心に
31	AGBU, Augustine Osita	ナイジェリア国際問題研究所上級研究員	ナイジェリア	05.05.25～ 06.04.04	アジア経済研究所	日本の鉄鋼業発展の研究とそのナイジェリアへの適用

2. 人物交流事業費 (3) 日本研究フェロースhip (論文執筆) [欧]

人文・社会科学分野の研究者で博士論文作成のため来日する必要がある者を招へいする。

合計額 35,860,001円

	氏名	現職	国	期間	受入団体	事業内容
1	MARCON, Federico	コロンビア大学博士課程	イタリア	05.10.31～ 06.12.29	早稲田大学文学部	江戸時代における知識人の起源
2	PATALANO, Alessio	フランス国立高等研究院博士課程	イタリア	04.11.01～ 05.10.31	政策研究大学院大学	現代日本の海事防衛政策

	氏名	現職	国	期間	受入団体	事業内容
3	BUCKLAND, Rosina	ニューヨーク大 学博士課程在籍	英国	04.10.03～ 05.10.29	東京芸術大学美 術学部	1850年代から1890年の日本画に おける文化的継続性とその美的 呼応
4	CROSS, Barbara	ロンドン大学 SOAS博士課程	英国	04.10.02～ 05.10.01	東京大学大学院 人文社会系研究 科	近世戯作文学とパフォーマンス との関係
5	KLONOS, Georgios	スタンフォード 大学	ギリシャ	04.10.01～ 05.11.30	大谷大学	修験道：徳川時代の大峰山
6	DRIXLER, Fabian Franz	ハーバード大学 大学院博士課程	ドイツ	05.09.02～ 06.08.31	帝塚山大学	人口増殖政策と近世日本におけ る低出生カレジームの終焉
7	HOMMERICH, Carola	ケルン大学応用 社会研究所博士 課程	ドイツ	05.11.06～ 06.03.05	中部大学国際関 係学部	日独における勤労意識の変遷
8	MATTEN, Marc Andre	ボン大学中国・ 日本文化研究所 博士課程	ドイツ	04.09.18～ 05.11.18	東京大学大学院 総合文化研究科	中国ナショナリズムの構成と中 国人日本留学生の役割、中国ナ ショナル・アイデンティティの 形成について
9	SCHAEFER, Fabian	ライプチヒ大学 東アジア研究所 研究助手、博士 課程	ドイツ	04.09.01～ 05.10.18	東京大学社会情 報研究所	戦前期日本におけるメディア論 的思想－新聞学と社会学をめぐ るドイツと日本の言説空間
10	WEBER, Chantal Marie	ケルン大学東ア ジア学日本学学 部博士課程院生	ドイツ	05.05.24～ 06.07.23	大東文化大学外 国語学部日本語 学科	日本の茶の湯の宗匠を軸とする コミュニケーションネットワー ク－茶の湯のスケールフリー ネットワーク
11	DELPY, Fabienne M.	スタンフォード 大学博士課程学 生	フランス	06.01.02～ 06.06.30	慶應大学	日本の六十年代の映像論とその 実践
12	ITO, Hiromi	パリ第3大学(ソ ルボンヌ・ヌー ヴェール) /通 訳翻訳高等学院 (ESIT)講師	フランス	05.06.16～ 05.09.15	信州大学教育学 部	逐次通訳におけるスピーチ理解 の認知プロセス：ESIT日本語 セクションの学生の認知スキル 習得について
13	KOUBANYTCHBEKOVA, Baktygoul	オシエ国立大学 法学部博士課程	キルギス	04.10.02～ 05.07.31	名古屋大学法政 国際教育協力研 究センター	行政法と政府規制
14	PETKOVA, Galia Todorova	ブリティッシュ コロンビア大学 博士論文執筆者	ブルガリア	03.10.01～ 05.05.29	立命館大学文学 部	日本演劇におけるジェンダー・ セクシュアリティ・身体の構造

欧州・中東・アフリカ交流事業費

	氏名	現職	国	期間	受入団体	事業内容
15	KOROBOTSEVA, Ekaterina Sergeevna	オックスフォード大学博士課程	ロシア	04.06.21～ 05.06.20	新潟大学法学部	現代日本の結婚と子育てに関する問題点

2. 人物交流事業費 (4) 日本研究フェローシップ(短期) [欧]

人文・社会科学分野の学者・研究者で、短期の訪日研究を必要とする者を招へいする。

合計額 15,308,997円

	氏名	現職	国	期間	受入団体	事業内容
1	MAURIZI, Andrea	カリアリ大学助教授	イタリア	05.11.28～ 06.01.24	早稲田大学	平安文学における空間移動構造と物語枠組みの研究
2	LISCUTIN, Nicola	ロンドン大学バークベック・カレッジ言語・言語学・文化大学院日本研究学講師	英国	05.05.20～ 05.06.13	－	著書「入門：日本のカルチュラル・スタディーズ」および論文「日本におけるカルチュラル・スタディーズ」執筆のための調査
3	SCREECH, Timothy (Timon) Benjamin Mark	ロンドン大学SOAS助教授	英国	05.10.13～ 05.11.23	学習院大学文学部	江戸絵画に関する研究
4	SELLNER, Manfred B.	ザルツブルク大学言語学部助教授	オーストリア	05.08.09～ 05.10.07	東京外国語大学	日本語を母語とする人のカタカナ語の発音
5	HANSSEN, Linda Maria	ロッテルダム世界博物館学芸員	オランダ	05.05.06～ 05.07.04	－	現代日本の織物
6	BARBERAN PELEGRIN, Antonio Francisco	ナバラ大学ガリーゲス・グローバル法学講座日本法科コーディネーター	スペイン	05.07.19～ 05.09.05	京都大学大学院法学研究科	日本民法（スペイン語訳）の改訂と更新
7	KULINICH, Mykola A.	外務省付属外交アカデミー学長	ウクライナ	05.10.01～ 05.11.01	－	北東アジアの地域安全保障に対する日本の政策（2000～2005）
8	KRAEMEROVA, Alice	ナーブルステク・アジア・アメリカ文化民族如区博物館キュレーター	チェコ	05.10.07～ 05.11.07	－	古写真研究（ホロウハ収集の中から）

	氏名	現職	国	期間	受入団体	事業内容
9	MEDGYES, Tamas	セゲド大学人文 学部比較文学学 科講師	ハンガリー	05.09.01～ 05.10.01	-	都市におけるミリマリズムと文 化的文脈
10	DIMITROVA, Stefania, Todorova	文化交流学 「Madara- Bulgaria」基金 会長	ブルガリア	05.12.19～ 06.02.16	名古屋大学	小学校における社会化のパター ン
11	SOKOLOVA- DELUSINA, Tatiana Lvovna	モスクワ作家同 盟翻訳部	ロシア	06.02.28～ 06.04.28	-	西行・和歌の発展におけるその 役割
12	DALIOT- BUL, Michal	テルアビブ大学 博士課程/ライ シャワー日本研 究所準研究員	イスラエル	05.07.05～ 05.07.31	-	文化的娯楽要素としての日本の ケータイ
13	ELDESOUKY, Mohamed Ibrahim	アル・アハラー ム新聞社国際部 副部長	エジプト	05.05.31～ 05.06.30	-	日本における若年層の意識変化 に関する研究：引きこもり

2. 人物交流事業費 (5)知的リーダー交流 (招へい) [欧]

諸外国の政治、経済、労働、メディア、教育などの各分野で影響力を有する人材を招へいし、日本側関係者との意見交換、当該分野での状況視察などの機会を提供する。

合計額 7,370,582円

	氏名	現職	国	期間	事業内容
1	Christina Koulouri	ペロポネソス大 学教授	ギリシャ	05.11.11～ 05.11.19	バルカン諸国共同歴史プロジェクトの中心メン バーであるクルリ(ペロポネソス大学教授)を招へ い、バルカン諸国における地域共通の歴史認識を 育む取組について、シンポジウムでの基調報告お よび日本側関係者との意見交換等を実施した
2	自治・分権 ジャーナリス トの会	ジャーナリスト	フランス	05.04.16～ 05.04.23	フランスの地方新聞社で地方分権を主に取材して いる記者を招へい、日本の地方や自治体、分権の 実情を調査・取材する機会を提供し、帰国前に東 京において公開講演会を実施
3	N. Mamadou	NGO Enda Graf Sahelプロ グラム・コー ディネーター	セネガル	05.12.08～ 05.12.16	アフリカでのNGO活動において実績を有するマ マドゥを招へいし、アフリカが直面している課題、 市民社会の状況、アフリカと日本との関係構築等 について、シンポジウムでの発表および日本側関 係者との意見交換、関係機関の訪問等を実施

欧州・中東・アフリカ交流事業費

2. 人物交流事業費 (6)知的交流フェローシップ(派遣) [欧]

諸外国において人文・社会科学分野の研究を行なう日本の研究者にフェローシップを供与する。

合計額 5,914,527円

	氏名	現職	国	期間	受入団体	事業内容
1	新垣 修	志学館大学法学部助教授	アゼルバイジャン	06.02.04～ 06.03.31	国連難民高等弁務官アゼルバイジャン事務所	アゼルバイジャンの難民法：知的協力の可能性
2	今堀 恵美	東京都立大学大学院社会科学研究科博士課程	ウズベキスタン	06.01.13～ 06.03.15	ウズベキスタン科学アカデミー歴史学研究所	カシュタ(刺繍)制作を通してみた独立ウズベキスタンの社会ネットワークとジェンダー
3	中西 健	日本大学大学院博士課程	キルギス	06.03.31～ 06.05.02	キルギス民族大学	キルギス共和国の民主・構造改革と同国の民族間関係－政治エリートの交代を中心に－
4	梅津 紀雄	東京国際大学経済学部講師	ロシア	06.02.04～ 06.03.25	ロシア国立人文大学	ソヴィエト・ロシアにおける戦争と芸術：メディアとしての芸術
5	一條 洋子	京都大学大学院博士課程	タンザニア	05.12.17～ 06.03.16	ソコイネ農業大学/水利・畜産開発省	タンザニア農村経済の発展に対する制度と組織の役割－ドドマ州を事例に－

2. 人物交流事業費 (7)知的交流フェローシップ(招へい) [欧]

日本において人文・社会科学分野の研究を行なう諸外国の研究者にフェローシップを供与する。

合計額 13,987,268円

	氏名	現職	国	期間	受入団体	事業内容
1	ZAKHIDOV, Sherzod	戦略地域研究所研究長	ウズベキスタン	06.03.22～ 06.05.20	東京国際大学	日本のPKO政策および国際安全保障上の役割
2	TSULAIA, Ia	人材開発基金研究員	ゲルジア	06.01.20～ 06.03.12	法政大学	日本社会における世代間のアイデンティティの変化
3	CERNY, Jakub	西ボヘミア大学コミュニケーション論修士課程	チェコ	06.02.03～ 06.03.30	横浜国立大学	日本におけるエコ・ミュージアム：文化財保護および地域住民の参画
4	DUX, Laszlo Istvan	セゲド大学法学部労働法社会保障法学科准教授	ハンガリー	06.01.18～ 06.02.18	東京大学法学部	日本における外国人労働者の社会権保護

欧州・中東・アフリカ交流事業費

	氏名	現職	国	期間	受入団体	事業内容
5	MIHALKA, Reka	エオトヴェシュ・ローランド大学博士課程	ハンガリー	06.03.22～ 06.05.21	京都大学	東から西へ－EZRA POUNDの詩とJ.A.M WHISTLERの絵画。二人のアメリカ人アーティストへの日本の影響、類似点と特色
6	KAHTERAN, Nevad	サラエボ大学助教授	ボスニア・ヘルツェゴビナ	06.01.16～ 06.02.16	京都大学	京都学派に照らしたボスニアパラダイムの位置付け
7	BEINORIOUS, Audrius	ヴィルニウス大学アジア研究センター所長	リトアニア	06.03.30～ 06.04.30	南山大学	伝統的な日本文化における占い－比較文化的アプローチ－
8	VELISAR, Raluca Elena	国立現代美術館芸術部長	ルーマニア	06.02.01～ 06.03.10	－	現代芸術および建築における空間の諸相
9	GAVRILINA, Elena Anatolyevna	モスクワ国立大学アジア・アフリカ諸国研究所研究員	ロシア	06.01.23～ 06.03.13	桜美林大学	中央アジアの環境問題
10	LEVIN, Na'ama	テルアビブ大学修士課程/講師	イスラエル	06.02.09～ 06.03.09	ジャパンウェルネス	現代日本における「痛」の社会的認識および文化的意味
11	MAGBADELO, John Olushola	アジア・アフリカ研究所リサーチ・フェロー	ナイジェリア	06.02.26～ 06.04.06	慶應義塾大学	日本と2つのコリア

2. 人物交流事業費 (8)知的交流フェローシップ(派遣)(中東)[欧]

諸外国において人文・社会科学分野の研究を行なう日本の研究者にフェローシップを供与する。

合計額 17,172,760円

	氏名	現職	国	期間	受入団体	事業内容
1	福田 友子	東京都立大学大学院社会科学研究科社会学専攻－博士課程	アラブ首長国連邦	05.06.04～ 05.09.19	Gulf Research Center	アラブ首長国連邦のドバイにある中古車市場において、パキスタン人のエスニックビジネス展開とそれに関連したコミュニティ形成過程について調査
2	水島 多喜男	徳島大学教授	アラブ首長国連邦/バーレーン	05.09.03～ 05.11.05	Bahrain Institute of Banking and Finance	湾岸産油国の証券・金融市場の研究
3	前田 君江	東京外国語大学アジア・アフリカ言語・文化研究所共同研究員	イラン	05.05.30～ 05.06.27	アフマド・シャームルー 著作権管理・運営委員会	ペルシア詩を通じて見るイスラーム政権下イランの文化状況の検証

欧州・中東・アフリカ交流事業費

	氏名	現職	国	期間	受入団体	事業内容
4	佐藤 秀信	中東調査会	イラン	06.02.01～ 06.03.15	国際問題研究所	イランにおける自給自足理念の研究
5	林 徹	東京大学教授	トルコ	05.08.03～ 05.10.03	ボアズイチ大学	現代トルコ語を形成する外来要素の研究
6	山下 王世	東京外国語大学非常勤研究員	トルコ	06.03.12～ 06.04.08	イスタンブル工科大学	トルコにおける文化遺産管理とツーリズムに関する研究
7	若松 大樹	上智大学大学院博士課程	トルコ	05.12.28～ 06.03.27	アンカラ大学神学部イスラム哲学専攻	トルコにおけるネヴルーズ祭の今日の実践の研究
8	小林 由利子	川村学園女子大学教授	ヨルダン	06.02.10～ 06.03.13	ヨルダン大学演劇学部	ヨルダンにおける児童演劇とドラマ教育
9	末吉 秀二	吉備国際大学講師	ヨルダン	05.08.03～ 05.09.16	アル・バルカ応用研究大学	イスラームがムスリムの再生産選好に及ぼす影響
10	辻村 純代	国士舘大学イラク万代文化研究所	レバノン	05.05.15～ 05.07.29	レバノン考古庁/アメリカ大学バイルート校	南レバノンにおけるローマ時代遺物の考古学的調査
11	岩崎 えり奈	N/A	エジプト	06.02.02～ 06.04.08	エジプト中央統計局	エジプトの二つの大都市における低所得者地区の発展に関する調査研究
12	岡戸 真幸	上智大学大学院博士課程	エジプト	05.12.26～ 06.03.25	アレキサンドリア大学人類学科	エジプトの出稼ぎ労働者ネットワーク-アレクサンドリア市の同郷者団体の事例から-
13	佐野 光子	慶應義塾大学SFC研究所訪問研究員(非常勤)	中東地域区分困難	05.09.20～ 05.12.20	N/A	アラブ地域における映画製作の現状調査
14	高橋 陽子	早稲田大学人間科学学術員助手	中東地域区分困難	05.07.30～ 05.09.04	ダマスカス・ワランス・アラブ研究所/アル・ジャズィーラ衛生放送局/湾岸研究所	アラブ・イスラーム諸国の民主化におけるメディアの役割と意義

2. 人物交流事業費 (9)知的交流フェローシップ (招へい) (中東) [欧]

中東に関する次世代日本人研究者を育成するためにフェローシップを供与する。

合計額 21,874,535円

	氏名	現職	国	期間	受入団体	事業内容
1	HAJAR, Zaid	アシュート大学 大学院博士課程	イエメン	05.04.01～ 05.06.07	アジア経済研究 所	冷戦終了後の日本・アラブ関係 の発展
2	MAHMMOUD Abdul-Wahid	テイクリート大 学歴史学科歴史 学科長	イラク	05.11.10～ 05.11.30	国際交流基金主 催	コア・プログラム期間中 (2005 年11月10日～30日)に、フェロー は3週間の合宿形式のセミナー にて、日本について講義、視察、 ワークショップ等で多面的な理 解・体験をし、知的交流のネッ トワークを構築
	NADIMI Homira	シャヒーードベヘ シュティ大学人 文科学部社会学 科教授	イラン			
	ERKMEN Serhat Ahmet	ユーラシア戦略 研究所研究員	トルコ			
	NATSHEH Yousef Ahmad	エルサレム女性 センター広報担 当	パレスチナ			
	HAMIDOUCHE Younes	トリビューン紙 政治記者	アルジェリア			
	HUSSEIN Ebitisam	カイロ大学政治 経済学部助手	エジプト			
	TRIKI Rim	人文科学高等研 究所英語学科英 語学科長	チュニジア			
3	NADIMI Homira	シャヒーードベヘ シュティ大学人 文科学部社会学 科教授	イラン	05.12.01～ 06.01.08	-	宗教と社会感情
4	NATSHEH Yousef Ahmad	エルサレム女性 センター広報担 当	パレスチナ	05.12.01～ 06.01.08	-	日本の法制度から見る平和構築 と人権
5	HUSSEIN Ebitisam	カイロ大学政治 経済学部助手	エジプト	05.12.01～ 05.12.15	-	発展途上国への伝統のインパク ト

3. 催し等事業費 (1)知的リーダー交流 (国際会議出席助成・招へい) [欧]

国内で開催される国際会議など (学会、シンポジウム、ワークショップおよび講演会を含む) において、重要な役割を担う諸外国の専門家を招へいする。

合計額 4,105,145円

	氏名	現職	国	期間	事業内容
1	BALDINI, Ugo	パドヴァ大学政 治科学部教授	イタリア	05.08.01～ 05.08.09	第6回漢字圏数学史・数学教育国際シンポジウム における特別部会「数理科学：ポルトガルと東ア ジア」

欧州・中東・アフリカ交流事業費

	氏名	現職	国	期間	事業内容
2	CERVELLATI, Elena	ボローニャ大学演劇音楽学部学芸員	イタリア	05.10.27～ 05.11.03	第2回大野一雄フェスティバル記念シンポジウム「ダンスアーカイブの現在」
3	RESELLI, Beba	造形ラボラトリー造形ラボラトリー主宰	イタリア	05.11.20～ 05.11.28	故ブルーノ・ムナーリの造形理念を継承し、現在も造形ラボラトリーを主宰しているベバにムナーリが伝えたこととイタリアでの造形教育の現状を講演
4	GIUSEPPE, Matulli	フィレンツェ市副市長	イタリア	05.12.01～ 05.12.07	伊日会議「創造都市と文化」
5	WHITLEY, Richard Drummond	マンチェスター大学マンチェスタービジネススクール組織社会学教授	英国	05.05.10～ 05.05.17	比較研究学会国際シンポジウム
6	COLE, Bruce	ヨーク大学音楽学部教授	英国	05.09.08～ 05.09.21	コミュニティ・ミュージックの概念とその教授法についてのレクチャーと実践
7	KRAUTH, Wolf-Hagen	ベルリン=ブランデルブルク科学アカデミー研究諸部門統括責任者	ドイツ	05.11.21～ 05.11.29	「国際協力によるマルクス・エンゲルス研究の可能性－MEGA2第Ⅱ部門間第12巻刊行記念－」
8	PARPOLA, Asko	ヘルシンキ大学アジア・アフリカ研究所名誉教授	フィンランド	05.05.19～ 06.05.29	創設50周年記念第50回国際東方学者会議
9	LARMINAT, Max Henri	フランス国立近代美術館ポンピドゥーセンターこどものアトリエ教育主任	フランス	05.04.25～ 05.05.07	美術教育に関心のある人々に向けて、ポンピドゥーセンター「こどものアトリエ」で教育普及のプログラムを開発したラミナによる、教育普及についての実践的かつ指導的レクチャーを実施
10	KNYAZEV, Evgenii Vladimirovich	ワフタンゴフ劇場附属国立シューキン演劇大学	ロシア	05.11.19～ 05.11.26	シンポジウム「ロシアと日本の俳優教育」
11	PLAPAN, Lilian Janice Cheruto	セタット女性組織代表	ケニア	05.11.01～ 05.11.08	国際シンポジウム「FGM問題最前線」

欧州・中東・アフリカ交流事業費

3. 催し等事業費 (2) 知的リーダー交流（国際会議出席助成・派遣）〔欧〕

海外で開催される国際会議、シンポジウムなどに招請され、講義、基調論文の発表を行なうなど指導的役割を果たす日本国内の人文・社会科学または芸術分野の専門家に対して助成を行なう。

合計額 522,010円

	氏名	現職	国	期間	受入団体	事業内容
1	富士谷 あつ子	京都国際文化協会常務理事	イタリア	05.11.23～ 05.11.28	ヨーロッパ日本ジェンダー研究フォーラム ローマ大学東洋研究学部	日欧双方が抱える少子化や女性の地位の低さを克服するなど共通の課題解決を目指すフォーラムにて「日本における女性の創造性について」基調講演。分科会では学際的な文化創造におけるジェンダーについて論考
2	牧田 東一	桜美林大学教授	ドイツ	05.12.18～ 05.12.23	文化外交研究所	「第3回文化と国際関係史会議」において「戦後日本の国際文化交流」をテーマとした3つの発表のうち1つを担当し、パネル司会も兼務した
3	前川 要	中央大学教授	ロシア	05.05.29～ 05.06.02	ウラジオストク国際シンポジウム2005	「中世北東アジアの動態研究－日本から「ひと、もの、わざ」を考える」をテーマに、古代・中世における北東アジアの国家、民族相互間の人、モノ、技の交流と交易について全体会の基調講演を行なうとともに、総司会を務めた

3. 催し等事業費 (3) 知的交流会議等開催（主催）〔欧〕

日本と欧州・旧ソ連の共通課題等をテーマとするセミナーやシンポジウムを開催する。

合計額 51,268,109円

	事業名	国	都市	会場	期間	共催者	事業内容
1	世界文明フォーラム	日本	東京	国連大学	05.07.20～ 05.07.22	国連大学/NIRA	世界各国から第一線の有識者が集まり、2日間の会議において20世紀の出来事からもたらされた教訓を統括し、21世紀の新たなパラダイム構築のための理論的・制度的枠組みを議論し、世界への提言を行なった。初日は非公開セッション、2日目は公開セッション

欧州・中東・アフリカ交流事業費

	事業名	国	都市	会場	期間	共催者	事業内容
2	第2回日-EU シンクタンク 円卓会議	ベルギー	ブリュッセル	E P C	05.04.01～ 06.03.31 05.11.14～ 05.11.15	EPC/総合研 究開発機構	日本とEUが国際社会において共に直面する課題について、両地域のシンクタンク等の研究者が討論を実施。第2回にあたる本会議では、グローバル・ガバナンス及びEU、東アジアの地域統合、少子高齢化・人口減少問題というテーマについて討論
3	村上春樹シン ポジウム	全世界区分困難	東京/ 神戸 /札幌	東京大学そ の他	06.03.22～ 06.03.31	毎日新聞社	村上春樹の外国語翻訳者を中心とした文学関係者が東京に一堂に会し、村上春樹の国際的ブームの秘密を探り、各国における受容の共通性・相違点を明らかにするとともに、翻訳家同士のネットワーク形成を促した

3. 催し等事業費 (4) 知的交流会議等開催 (助成) [欧]

日本と欧州・旧ソ連の非営利団体が開催するセミナー・シンポジウムに対して、その開催経費の一部を助成する。
合計額 51,946,575円

	事業名	団体	国	期間	事業内容
1	日露戦争・ポーツマス講和会議 百周年記念国際 シンポジウム i n 日南市	日露戦争研究会	日本	05.05.19～ 05.05.22	2004年日露戦争百周年にあわせ、朝鮮半島や中国を戦場としたこと、欧米列強の背後での関与、結果としてのアジア民族運動の惹起等の国際関係論的視点も含めた総合的・今日的観点から再検討した。場所は小村寿太郎外相が生まれた宮崎県日南市の小村記念附属国際会議場
2	第3回日ロ・学 術報道関係者会 議	日本対外文化協会	日本	05.09.11～ 05.09.15	過去2回の会合と同様「北東アジアの発展と安定」をメインテーマとして、プーチン大統領訪日後の2005年秋にモスクワで、日露の学者・ジャーナリストが集い第3回会合を開催。会議では「北東アジアの平和のための日中口の協力関係」、「日ロのシベリア・極東開発のための経済協力」、「日ロ行動計画三年の成果と評価」等のテーマでの議論を行った。ロシア側の共催者は、世界経済国際関係研究所

	事業名	団体	国	期間	事業内容
3	言語レジームの変容：学術、経済、政治の分野におけるドイツ語と日本語の将来	ドイツ-日本研究所	日本	05.09.12～ 05.09.14	「日本におけるドイツ年2005・2006」の一環として開催した国際シンポジウム。ドイツ、日本およびオーストラリアの社会言語学の専門家が一同に会し、グローバル化の中でドイツ語と日本語の果たす役割を調べ、その結果として英語普及の圧力のもとで、代表的な学術、経済、政治分野においてドイツ語や日本語の使用率がどれくらい下がっているのかまた、ドイツ社会と日本社会にどのような影響を及ぼすかを論じた
4	人口の高齢化に対応した人的資源マネジメントと労働政策	ドイツ-日本研究所	日本	05.10.04～ 05.10.06	人口の高齢化は工業諸国ではすでに具現化が始まり、新興諸国においても10年から20年後には大きな社会的な課題となることが予測される。このような社会問題解決への道筋を示す一助となることを願って、一日目は人口の高齢化と労働政策、人的資源マネジメントを、二日目は技術形成、雇用・技能、労使関係など中心テーマとするシンポジウムを開催した
5	国際シンポジウム「文化の多様性と通底の価値－東西の対話－」	道徳科学研究センター	日本	05.11.07～ 05.11.09	ユネスコ本部（パリ）において、東アジア（日本/中国/韓国）と欧米（仏/米/英）を軸とする最先端の学識者20名から25名を招待し、3日間のシンポジウムを開催。討議された課題は「将来の人類にとっての、文明・ミニマムは何か」、「儒教的価値は西欧の価値に出会うのか」、「仏教とキリスト教に見る共有道徳は何か」、「稲作文明圏のエートスは如何なるメッセージを秘めているのか」、等
6	国際シンポジウム「未来力」を育てる脳・心・身体－新たな人間学の構築を求めて－	京都大学大学院教育学研究科国際シンポジウム企画委員会	日本	05.11.12～ 05.11.13	京都において開催された国際シンポジウム。新たな時代の専門的教養知識としての「未来力」を創出する学術講演に、仏、独、伊、英からそれぞれ第一線の研究者を招へいし、また日本側からは、臨床心理学、生命科学の専門家を招き、討議した。脳医学・心理臨床・身体論・総合人間学・歴史のジャンル別の部会を開催するが、それらは専門分科会ではなく、従来の学問枠組みを越えていく形式を取った
7	国際シンポジウム「日本（アジア）とクロードル」	クロードル歿後50年記念企画委員会	日本	05.11.26～ 05.11.27	20世紀フランスを代表する大作家にして外交官であるポール・クロードルの歿後50年を記念して企画された国際シンポジウム。クロードルの仕事を「日本（アジア）とクロードル」のテーマのもとに改めて問い直し、「グローバリゼーション」が声高に唱えられる現代世界にあって、真の異文化理解、異文明間の交流とは何であるか、いかにあるべきか、を明らかにし、世界に向けて発信した

欧州・中東・アフリカ交流事業費

	事業名	団体	国	期間	事業内容
8	「新しい日露関係」第2回専門家対話	安全保障問題研究会	日本	05.12.01～ 06.03.31	申請者とロシア科学アカデミー世界経済国際関係研究所（I MEMO）は、1973年から2004年まで22回にわたる日ロ（ソ）専門家会議を開催し、領土問題を中心に、日ロ間に横たわるさまざまな問題に関し、率直な意見交換を行ってきた。2005年は、著しい時代の変化を受け、日ロ両国が国際社会の中で果たしていくべき役割や、新たな日ロ関係のあり方など、今後日ロ両国が進むべき方途を探るべく、幅広い層の参加者を得て行なった
9	アジア太平洋EU学会第3回研究大会	慶應義塾大学	日本	05.12.08～ 05.12.10	「アジア太平洋地域とヨーロッパにおける多国籍主義と地域主義」という共通テーマのもとに、3日間の国際研究大会を開催。大会には日本をはじめとするアジア太平洋地域および欧州から研究者と実務者が参加し、報告と討議が行なわれた
10	第3回中・東欧＝21世紀フォーラム「中・東欧の地域：過去と現在」	北海道大学スラブ研究センター	日本	05.12.14～ 05.12.16	北海道大学において開催した国際シンポジウム。国内から6人、中・東欧諸国から6人、中・東欧以外の欧米諸国から2名が報告者として参加した。一般の研究者、実務会、ジャーナリスト等にも公開。会議に提出されたペーパーは、加筆訂正の後にスラブ研究センターから論文集として出版。この企画は「日-EU市民交流年」の一環とし、また東京外国語大学（EUIJ）との提携企画
11	日欧経済事情に関する会議	経済政策研究センター	英国	05.03.01～ 05.09.30	日本経済の議論の焦点を広げ、それらの議論に関連する欧州での研究と経験を日本側に示し、同時に日欧とその他の地域の経済学者の協力を強化することを目的として、国際会議を東京で開催。学者、政策決定者、ビジネス界からの参加者が、コーポレート・ガバナンスのモデルを示した。日本経済の一般的なテーマに関する研究報告書について議論し、個別セッションで日欧の経済政策の比較を行なった
12	第零次世界大戦：世界的視野から見る日露戦争	LONDON SCHOOL OF ECONOMICS	英国	05.03.23～ 05.03.26	日露戦争に関する世界的、包括的な研究であり、紛争の原因、過程、結論、影響を、軍事、政治、外交、文化、経済、社会的な側面から多角的に分析した
13	災害危機管理および緊急時対応システムに関する日英国際ワークショップ	ノーサンブリア大学災害開発センター	英国	05.06.01～ 05.10.31	日英の大学と地方自治体における災害危機管理と緊急時対応システムに関するワークショップ。防災協力の能力を向上させると共に、両国の自然災害管理システムを検証する機会とした。現存の大学レベルの防災教育教材を利用して、各地域に根ざした危機解消のための知識を融合した。また日英の取り組みを他地域の最も災害による被害を受けやすい地域における災害管理教育の促進に役立てた

	事業名	団体	国	期間	事業内容
14	終戦60周年記念事業「日英の戦争と平和、敵対と友情」	ビルマ・キャンペーン協会	英国	05.09.05～ 05.09.08	第2次世界大戦終結60周年を記念して、戦時中の日英両国の出会いと今日までの両国の関係に及ぼした影響を検証するシンポジウム
15	セッション429 東アジアのエネルギー問題への対処、その欧米への影響	ザルツブルクセミナー	オーストリア	05.12.03～ 05.12.10	セッション429に係る1名のファカルティ（講師役）および2名のフェロー（生徒役）の推薦および彼らの招へい経費を助成。同セッションは35の国から60人の若手研究者を招へいし、その分野の著名な専門家とともに7日間寝食をともにして討論した。参加者はテーマに関して多くを学ぶのみならず、世界中からの参加者とネットワークを築く機会を得た
16	小型武器に関するGeneva Process会合	ジュネーブフォーラム	スイス	05.04.01～ 06.03.31	1年に10億ドルともいわれる小型武器の違法取引を絶やすための国際的なプロジェクト。このプロジェクトは28政府機関、7国際機関および8NGOによって構成され、2002年5月から2004年12月に渡り17回の会合を開催し「国連小型武器行動計画」の履行に関する戦略を練ってきた
17	拡大1年後のEU	ベルリン日独センター	ドイツ	05.06.28～ 05.06.28	2005年5月の10カ国EU加入というEUの発展と経験を省みる良い機会に、日EU市民交流年の枠組の中でEU拡大に関する情報を提供。また、EU拡大が構成国に与える影響、海外投資促進に寄与するか否かを検討した。会議は3セッションで、①ビジネスの場としてのヨーロッパ、②新しい法的貿易規制の概観、③EU拡大の継続的プロセスの概観
18	世界におけるアメリカ・日本・ドイツの共同責任	ベルリン日独センター	ドイツ	05.11.10～ 05.11.11	真の政治的国際秩序には、明確に定義された倫理上の原則が必要であり、グローバル化には信頼できる国際秩序の枠組みが必要である。将来のグローバル・ガバナンスを考える上で、国連改革と国際機関の役割は特に重要な課題である。この会議では、アメリカ、日本、ドイツ3カ国のこれらの問題への見解を話し合い、世界秩序における3カ国の協力を模索した
19	日本と欧州の邂逅：発見のイメージ	ストラスブール第2大学	フランス	05.11.15～ 06.03.31	日欧の学際的な研究者が集い、16世紀から今日までの日本と欧州の出会いをテーマに、宗教、科学、文学・コミュニケーション、思想・哲学の4分野で研究する研究会。日-EU市民交流年に合わせた企画

欧州・中東・アフリカ交流事業費

	事業名	団体	国	期間	事業内容
20	異文化間対話と紛争防止：民主的市民主義のための文化統合への挑戦	欧州評議会	フランス	06.03.17～ 06.03.18	「異文化間対話と紛争予防」プロジェクトの4年目。48カ国・地域から約80人の参加者が集い、文化的生活へのアクセスと参加、都市部と周辺地域のジレンマ、責任の共有というテーマについて話し合った。今日起こりつつある様々な問題に対処するために、相互の配慮と尊重を推進すること、そして文化的生活への平等な参加を文化、宗教、居住地、世代を超えて全てのコミュニティに保証することを目標とした
21	知識社会におけるEUと日本の国際的役割	汎欧州政策研究会	ベルギー	05.11.28～ 05.11.29	知識社会は現在の国際関係における新たな政治的経済的キーワードであり、日欧共通の課題である。日本も欧州も、より広い国際的な影響力を持ち、効果的な多国間主義と危機管理を実現したいと願い、グローバリゼーションの中で、経済的社会的モデルの再構築を行なっている。この会議では知識社会を共通のテーマとして議論し、日欧の研究者のより強い協力関係を確立することを目指した
22	アジアと世界の安全保障	リスボン工科大学	ポルトガル	05.11.14～ 05.11.17	世界の様々な地域からアジアの安全保障の専門家を招き、多様な視点からアジアと世界の安全保障について話し合う会議を開催した。ポルトガルの一般市民、メディア、公的機関や企業の幹部らに、アジア地域の主要な関心や、それらが世界の他の地域にどのような影響を与えているかについて、広く情報を提供することも目的とした
23	西バルカン諸国における民族融和	欧州平和発展研究所	セルビア・モンテネグロ	05.03.01～ 05.12.31	2004年に日本政府主催により開催した「西バルカン平和定着・経済発展閣僚会合」のフォローアップ会議。会議の目的は国内機関、国際機関および個人の協働体制構築に貢献すること、民族間、宗教間および文化間の緊張を緩和すること。西バルカン域内の知識人、公務員を集めて行なわれ、他の国や国際機関からの参加も得た。現在の民族間および宗教間関係を議論し、問題克服のための方途を探った
24	南東ヨーロッパにおける安全保障と安定	民主主義研究所	ブルガリア	05.03.01～ 05.10.30	2004年に日本政府主催により開催した「西バルカン平和定着・経済発展閣僚会合」のフォローアップ会議。南東ヨーロッパの安定と発展のために、利害関係者を国内および外国から集めて会議を行なった。バルカン諸国からは政府の参加を得、EU、NATOその他国際機関、NGO、メディアからも参加を得た
25	国際会議：グローバル化とリスクマネジメント－西洋の技術と日本の機知	ニッポニカ基金	ルーマニア	05.06.01～ 06.03.31	米国や欧州で発達したリスク管理技術を採用してきた日本の方法をルーマニアのような理論的実際の経験の不足した国に導入することを目的とした会議

	事業名	団体	国	期間	事業内容
26	ロシア極東の環太平洋諸国との経済統合への適応にとっての問題と条件	ウラジオストク国立経済サービス大学	ロシア	05.10.12～ 05.10.15	ロシアの環太平洋経済統合に関する国際フォーラムの3回目。学者・研究者、ビジネスマン、関係国の行政関係者らの、「ビジネス界の国際関係発展の傾向と諸問題」、「経済協力発展のための科学的・学術的活動の重要性」、「ロシア極東の環太平洋経済圏参入のための国際経済プロジェクトの重要性」、「ロシア極東への投資呼び込みについての政治的・法的リスク分析」等について議論を行なった

3. 催し等事業費 (5) 知的交流会議等開催（主催）（中東）〔欧〕

日本と諸外国の相互理解の促進とより緊密な関係の構築、世界の知的交流の推進することを目的とした、国際的な共同事業（国際会議、セミナー、ワークショップなど）を開催する。

合計額 32,549,956円

	事業名	国	期間	事業内容
1	第3回中東文化交流・対話ミッショ	サウジアラビア トルコ チュニジア	05.09.13～ 05.09.23	トルコ、サウジ、チュニジアに各界の日本人有識者を派遣し、「開発と文化」、「伝統と近代化」の問題に関するシンポジウム、講演会、要人との知的対話を実施
2	第1回アジェンダ・セッティング（エジプト）	エジプト	05.03.25～ 05.04.03	日本とアラブ諸国の政策研究の専門家が一堂に会し、双方が共同で討議すべき優先的アジェンダを設定。第1回をカイロで開催。アル・ハラーム戦略研究所との共催
3	第2回アジェンダ・セッティング	全世界区分困難	05.12.08～ 05.12.15	日本・アラブの国際政治・経済等の専門家が一堂に会し、これまで不十分であった政策研究分野における日・アラブ間の対話において優先的に取り上げるべきアジェンダ、およびアジェンダ毎の有効な事業実施方法を検討。公開のシンポジウムも開催した

3. 催し等事業費 (6) 知的交流会議等開催（助成）（中東）〔欧〕

中東との知的交流に資するセミナーなどの催しを支援する。

合計額 1,925,130円

	事業名	団体	国	期間	事業内容
1	国家と宗教の分離は民主主義の条件か？	中東民主化における国家・宗教関係研究会	全世界区分困難	06.02.12～ 06.02.12	中東民主化における国家・宗教関係研究会の主催する事業「国家と宗教の分離は民主主義の条件か？」は、中東における民主化の方向性を問う現代社会の重要課題の討議と、日本と中東、さらにヨーロッパとの相互理解促進を目的とした

欧州・中東・アフリカ交流事業費

4. 文化資料事業費 図書寄贈(欧)

海外の日本研究・教育機関や公共図書館などに日本関係図書等を寄贈。日本に関する理解・研究を促進するため国際交流基金が図書を購入し、申請機関に送付する。

合計額 45,354,560円

	国名	機関名	送付部数(冊)
1	アイスランド	アイスランド国立大学	41
2	イタリア	ヴェネツィア大学 東アジア研究科	43
3	イタリア	サッサリ大学	11
4	イタリア	ナポリ国立大学「オリエンターレ」	74
5	イタリア	フィレンツェ大学	63
6	イタリア	国立ミラノ-ビッコカ大学	125
7	英国	シェフィールド大学	27
8	英国	ロンドン大学ロイヤル・ホロウェイ・カレッジ	40
9	英国	大英図書館	11
10	オランダ	ライデン大学 日本研究センター	39
11	スイス	チューリッヒ大学東洋学部日本学科附属図書館	80
12	スウェーデン	ルンド大学	57
13	スペイン	コンプルテンセ国際研究所	24
14	スペイン	バリャドリド大学アジア研究センター	32
15	スペイン	バルセロナ大学	125
16	スペイン	マドリード自治大学東アジア研究センター	32
17	デンマーク	王立図書館	18
18	ドイツ	エアランゲン・ニュルンベルグ大学	13
19	ドイツ	デュッセルドルフ大学東アジア研究所	21
20	ドイツ	ハイデルベルグ大学	26
21	ドイツ	フランクフルト大学 日本学科	42
22	ドイツ	ボン大学	16
23	ドイツ	マルティン・ルター大学ハレ・ヴィッテンベルク大学	36
24	ドイツ	東アジア美術館	19

	国名	機関名	送付部数(冊)
25	ノルウェー	ベルゲン大学	53
26	フランス	コレージュ・ド・フランス 日本学高等研究所	3
27	フランス	ストラスブール第2大学 日本学科	49
28	フランス	トゥルーズ・ル・ミライユ大学	53
29	フランス	リール第3大学 ロマンズ・スラブ・東洋研究学部	84
30	フランス	リヨン第3大学	82
31	ベルギー	アントワープ国立大学	58
32	ルクセンブルグ	国立図書館	39
33	アゼルバイジャン	バクー国立大学	61
34	ウクライナ	ウクライナ国立科学アカデミー	30
35	エストニア	タラス・シェフチェンコ記念キエフ国立大学	88
36	エストニア	エストニア国立図書館	41
37	カザフスタン	カザフ国立図書館	46
38	キルギス	キルギス民族大学	55
39	グルジア	トビリシ・アジアアフリカ大学	33
40	クロアチア	ザグレブ大学哲学科	48
41	スロバキア	コシツェ国立科学図書館	123
42	タジキスタン	タジキスタン国立言語大学	125
43	チェコ	ナーブルステク文化民族博物館	16
44	チェコ	マサリク大学	24
45	ハンガリー	デブレツェン大学	38
46	ハンガリー	ハンガリー芸術学院	33
47	ハンガリー	ハンガリー国際関係研究所	31
48	ハンガリー	ブダペスト商科大学	39
49	ベラルーシ	ベラルーシ国立大学	10
50	ポーランド	アンジェイ・フリチ・モジェフスキ大学	125
51	ポーランド	ワルシャワ経済大学	47

欧州・中東・アフリカ交流事業費

	国名	機関名	送付部数(冊)
52	ポーランド	国立ウッジ大学	44
53	ポーランド	日本技術美術センター	49
54	モルドバ	モルドバ日本交流財団	125
55	リトアニア	ヴィルニウス・ゲディミナス技術大学	125
56	ルーマニア	ディミトリエ・カンテミール キリスト教大学	63
57	ルーマニア	ブカレスト大学 外国語学部	69
58	ロシア	カムチャッカ州クラシェニンニコフ学術図書館	38
59	ロシア	サハリン州立図書館	40
60	ロシア	ブリヤート国立図書館	50
61	ロシア	モスクワ・クレムリン博物館	41
62	ロシア	ロシア科学アカデミー社会科学情報学研究所	89
63	ロシア	ロシア科学アカデミー東洋学研究所サンクトペテルブルグ支部	25
64	ロシア	東洋大学 日本語学部	30
65	アフガニスタン	カブール大学	15
66	アラブ首長国連邦	高等技術大学(HCT)アブダビ男子校	125
67	イエメン	イエメン・日本友好協会	125
68	イスラエル	ティコティン日本美術館	56
69	イラン	議会図書館	35
70	カタール	カタール大学 図書館	41
71	クウェート	クウェイト大学	24
72	トルコ	エルジェス大学 文理学部	55
73	トルコ	ボアジチ大学	22
74	ヨルダン	ヨルダン大学 図書館	84
75	レバノン	国立レバノン大学	63
76	エジプト	アレキサンドリア図書館	55
77	スーダン	スーダン国立図書館	125
78	スーダン	ニーレン大学	123

	国名	機関名	送付部数(冊)
79	エチオピア	エチオピア国立図書館	52
80	ケニア	エガトン大学図書館	52
81	ジンバブエ	ミッドランド大学	123
82	タンザニア	ムベヤ州立図書館	123
83	マダガスカル	アンタナナリボ大学図書館	55
84	モザンビーク	ムッサ・ビン・ビーク大学	123
85	南アフリカ共和国	ヴィットバータースランド大学	48

日本研究・知的交流事業に必要な経費

日米知的交流推進費

1. 人物交流事業費
 - (1) 安倍フェローシップ
2. 催し等事業費
 - (1) 日米知的交流（助成）
 - (2) 日米知的交流（主催）

1. 人物交流事業費 (1) 安倍フェローシップ

グローバルな課題、先進国に共通の問題、または日米関係の緊密化を図る課題を、現代的、政策指向的かつ国際的視野から研究を行なう日本と米国の研究者に研究奨学金を支給するプログラム。米国社会科学研究評議会（SSRC）と共同で運営しており、米国学術団体評議会（ACLS）の協力を得ている。

合計額 193,343,418円

	氏名	現職	事業内容
1	アリソン・ブリスク	カリフォルニア大学アーバイン校政治学部教授	世界のよきサマリア人：人間の安全保障のプロモーターとネットワーク
2	有村 俊秀	上智大学経済学部助教授	環境政策は技術革新を促進できるか？日米の比較研究を通じて
3	エイドリアン・ファベル	カリフォルニア大学ロサンゼルス校社会学部準教授	メイド・イン・トランスレーション：ロサンゼルスー東京移動ネットワークと、アート、ファッション、フードにおける「オフショア」日本文化産業の出現
4	大庭 三枝	東京理科大学工学部助教授	アジア太平洋「地域取り決め複合体」形成におけるアメリカの要因の分析：日米関係へのインプリケーション
5	クリスタ・アルテンステッター	ニューヨーク市立大学政治学教授	医療機器規制政策グローバル化の結果：政策策定レベルの国内外の橋渡し
6	後藤 美香	電力中央研究所社会経済研究所リサーチ・エコノミスト	日米におけるエネルギー産業のダイナミズムと将来像
7	ジェフリー・ブロードベント	ミネソタ大学社会学部準教授	相互依存と普及リスク交渉：日米独塊の気候変動政策ネットワーク
8	ジョシュア・モルダビン	サラ・ローレンス大学地理学部教授	環境保全、成長持続と貧困軽減：中国開発における日本による環境ODAの役割
9	ジョン・デイビス Jr.	ミシガン州立大学人類学部助教授	人権の育成：日米アプローチの比較
10	タカシ・ヨシダ	西ミシガン大学史学部助教授	戦争の記憶と植民地主義の追憶：戦後日本平和運動と博物館の比較分析
11	トーマス・ギル	明治学院大学国際学部準教授	日米英におけるホームレスへの対応：文化人類学的アプローチ
12	ハロルド・カーボ	カリフォルニア州立工芸大学社会科学部教授	タイ・ベトナムにおける貧困削減政策プログラム：その効果と他の発展途上国へのインプリケーション
13	平尾 桂子	上智大学文学部人間学教室助教授	家族の教育戦略と母親の就労：日米比較
14	ヒロシ・フクライ	カリフォルニア大学サンタクルズ校社会学部教授	日米の非専門家参加システムの比較分析：日本の裁判員制度とアメリカの刑事陪審制
15	リーバ・フェイア	カリフォルニア大学ロサンゼルス校女性学センター研究員	日米におけるNGOと政府の協力：人身売買と戦うための文化的制度的相違を乗り越える取り組み
16	ロバート・ペッカネン	ワシントン大学ジャクソン国際研究大学院助教授	日本・イタリア・ニュージーランドの選挙制度改革の効果

日米知的交流推進費

2. 催し等事業費	(1) 日米知的交流（助成）
-----------	----------------

日米両国の研究機関、大学等が行なう政策指向の共同研究や、セミナー、シンポジウムなどの知的対話を支援する。
合計額 147,514,898円

事業名	団体	期間	事業内容
1 「東アジア共同体構想とリージョナル・ガバナンスの新たな展開」(2年目)	東アジア共同体評議会	04.10.01～ 07.09.30	近年急速に台頭しつつある「東アジア共同体構想」の出自、背景、理論的枠組みを明らかにし、日本、中国、韓国および東南アジア諸国の「東アジア共同体構想」に関する認識と国家戦略の共通性と差異を分析する3年プロジェクト
2 「シンポジウムおよび専門家会議：人間の権利と責任に関する対話」	インターアクションカウンシル日本委員会	05.01.01～ 05.08.31	インターアクションカウンシル起草の「人間の責任に関する世界宣言」を土台として、「人間の責任」という理念が社会の発展と人々の啓蒙にとって共通の基準となりうるための考察を行ない、日米主導で、「権利（人権）」と「責任・義務」が表裏一体のものであるという概念の普及を図っていくことを目的に、日米を中心とし世界各地から有識者および専門家を招へいし、公開シンポおよび専門家会議を実施
3 「経済の相互依存とアメリカの外交政策」(ブックプロジェクト)	外交問題評議会	05.01.01～ 06.09.30	過去半世紀における国際経済の変化、それがどのように国際関係に影響を与え、またなぜ米国政府は外交政策形成上、国際経済の発展に対して、より注意深くあるべきか等について研究
4 「二つの二国間関係－日米関係と英米関係の比較と展望」(2年目)	慶應義塾大学東アジア研究所	05.01.01～ 07.03.31	9.11事件およびイラク戦争後の新たな国際環境下での日米同盟の現状と将来像について、英米関係との比較によって斬新かつ奥深い示唆を得ようとする3年間の研究プロジェクト
5 「日米安全保障戦略会議」	日米文化振興会安全保障研究所	05.03.01～ 05.06.30	日米の安全保障政策の問題点を検証研究し、合理的な見地に立った政策提言を行なうことを目的とした対話事業。5月には、ヘリテージ財団との共催で第5回日米安全保障戦略会議を開催し、「今日の日米における安全保障同盟体制の中において実施できる国際貢献とは何か」をテーマに、日本の国会議員グループ（超党派構成）が渡米し、米国の連邦上下院議員、政府高官、安全保障・日米関係の有識者らと討議を行なった
6 「大量破壊兵器拡散防止に向けた日米協力のあり方：中国、インドの産業界における安全保障輸出管理の実効性確保に向けて」(1年目)	ジョージア大学国際貿易安全保障問題センター	05.04.01～ 06.03.31	大量破壊兵器拡散防止に向け、中国、インドの企業のコーポレートコンプライアンスを高めることを目的とする2年間のプロジェクト
7 「バイオセキュリティに関する国際的協調体制の構築」(1年目)	日本国際問題研究所軍縮不拡散促進センター	05.04.01～ 06.03.31	日本の安全保障上重要なイシューとして最近注目を集める生物テロの防止策として重要な柱となるバイオセキュリティに関する国内規制政策体制の確立と、国際基準確立のための政策提言を行なうプロジェクト

	事業名	団体	期間	事業内容
8	「中国とインドの新興の影響と日米の経済関係についての二国間研究」(1年目)	シカゴ外交問題評議会	05.04.01～ 06.03.31	新たな経済大国としての中国とインドの成長が今後四半世紀の世界経済と日米の政策と経済協力に対し、どのような影響を持つかについて検証する1年半のプロジェクト。日米経済界のリーダーのグループで得られた知見についてのレポートを作成し、日米の政策関係者、ビジネス界、メディアに向け発信する。シカゴ外交問題評議会とパシフィックカウンシルが国際経済交流財団（JEF）とともに行った
9	「アジアの新たな組織構図：9.11後の貿易と安全保障を見据えて」(1年目)	カリフォルニア大学バークレー校	05.04.01～ 06.03.31	アジア地域内の国家と非国家のアクターに注目し、地域内の貿易と安全保障の新たな組織構図（Institutional Architecture）の始まりと発展を検証する研究事業
10	「日本の国際貢献の国内的源泉とその制約」(成果普及フェーズ)	財団法人日本国際フォーラム	05.04.01～ 06.03.31	「日本の国際貢献の国内的源泉とその制約」をテーマとして、1998年から2004年まで、日米5名の研究チームが行なった研究プロジェクトの成果普及フェーズ。各メンバーが個別テーマに関して執筆した論文をとりまとめて、米国より出版を行なった
11	「核テロリズム防止における重要課題」(ブックプロジェクト)	ハーバード大学ケネディ行政学大学院	05.04.01～ 06.03.31	核兵器、核物質の不拡散に向けた、日米両国および世界各国の取り組みに資する実行可能な政策提言を行なうことを目指した研究
12	「日米両国における医療紛争解決と政策の変化：医療の質向上と患者の権利確保に向けた創造的アプローチ」(ブックプロジェクト)	アーカンサス大学	05.04.01～ 06.03.31	日本の医療システムおよび医療関係法制度を概観し、日米双方の社会で問題となっている医療紛争の解決をめぐる問題について検討
13	「ポスト産業社会：日本の若者と雇用問題」(ブックプロジェクト)	ハーバード大学	05.04.01～ 07.03.31	この10年間の日本の若者を取り巻く厳しい労働市場について、かかる状況をもたらされた理由、また現状の帰結として、将来どのような影響が個人レベルから国家レベルに至るまで、もたらされるか、等を分析
14	「北朝鮮の核問題に関する多国間の外交について」(ブックプロジェクト)	ブルッキングス研究所	05.04.01～ 06.09.30	ブルッキングス研究所客員フェローのチャールズ・プリチャードが、北朝鮮問題に関する六者協議における米国政府上級交渉担当者としての経験や、本テーマに関する最近の研究成果を著述
15	「異文化間の臨床生命倫理の対話を広げて：日本・米国の倫理委員会と協議政策」(2年目)	ケースウェスタンリザーブ大学	05.04.01～ 06.10.31	臨床生命倫理の問題について要である「倫理委員会」と「倫理協議」の二つについて日米比較研究と政策立案を行なう3年間の研究事業。日本の病院についてのデータ収集からはじめ、アメリカのそれと比較した上で、日本の病院に対しての倫理協議のガイドラインを提言
16	「日米同盟と豪州－9.11後のアジア太平洋地域における新しい戦略枠組を求めて－」(2年目、成果普及フェーズ)	財団法人平和・安全保障研究所	05.04.01～ 06.12.31	アジア太平洋地域の戦略環境の変化を念頭に置きながら、日米同盟と豪州の協力関係を考慮し、将来の日米同盟のあり方について政策提言を目指す研究プロジェクト。2回のワークショップに基づき政策提言を取りまとめ、2005年7月の公開シンポジウム（東京）で一般向けに発表。ここでの報告書をもとに、図書出版を準備

日米知的交流推進費

	事業名	団体	期間	事業内容
17	「規範主義的姿勢を強める日本：国際法、WTO、新たな対外貿易政策」(ブックプロジェクト)	ワシントン大学	05.06.01～ 05.09.30	4つの事例(アメリカとの反ダンピング紛争/中国とのセーフガード交渉/東アジアにおける知的財産権を巡る交渉/FTAを巡る新しい外交交渉)を引きつつ、日本政府が極めて慎重かつ戦略的にWTOルールを活用して紛争処理に当たっている現状を紹介し、日本政府の対外貿易交渉における規範主義的傾向の増大という現状を浮き彫りにした
18	「21世紀アジアにおける核兵器と安全保障」(1年目)	東西センター	05.07.01～ 06.06.30	日米の安保政策専門家の交流、最新の日本の防衛体制の実証的研究、日本の新たな安保政策についての理解促進を目的とする共同研究
19	ポーツマス条約とその功績：1905年の日露和平条約100周年記念国際会議(小規模グラント)	ダートマス大学	05.08.01～ 05.12.31	2005年9月8日から10日にかけて、ポーツマス条約締結100周年を記念し、同条約が極東アジア地域の安定と発展に果たした役割を検証する国際会議を開催。ジョン・ダワーの基調講演の他、ラウンドテーブル、パネルディスカッションも行なわれた
20	エネルギー安全保障と気候変動問題に関する日米欧対話(小規模グラント)	ニクソンセンター	05.08.01～ 05.12.31	エネルギー安全保障と気候変動問題について日米欧の主に政府外の第一線の有識者が話し合いを行なった。2005年11月にワシントンにて会合を持ち、報告書を作成
21	「東アジア・地域コミュニティへの米国の参与の知的基盤に関する予備調査」(小規模グラント)	日本国際交流センター	05.08.01～ 06.03.31	来年度に実施予定の米国における東アジアコミュニティについての関心、研究・調査の現状、論議の動向などについての本格的な調査のために、事前に必要な情報を収集
22	「日米貿易の環境影響評価」(2年目)	神戸大学大学院経済学研究科	05.08.01～ 06.05.31	日米貿易が環境に与える負荷につき、環境経済学的手法を用いて計量を試みる2年間の研究事業。1年目の調査と研究会を踏まえ、2年目は事業成果を作成
23	「変化する反戦主義：進化する日本の安全保障政策」(ブックプロジェクト)	ワシントン・カレッジ	05.08.15～ 06.03.15	90年代後半の日本の新しい防衛力整備(弾道ミサイル防衛網/偵察衛星)に対する日本政府のコミットは、防衛能力の効率化による予算削減という文脈に位置付ける形で進められてきている現状について、日米双方の防衛政策立案者、研究者の理解を促進するべく研究を行なった
24	アジア民意調査データベース(小規模グラント)	モーリー・アンド・マイク・マンズフィールド財団	05.09.01～ 06.02.28	日本および韓国(将来的には中国も)で行なわれた、政策決定と地域外交に関する様々なアンケート調査の結果を、いち早く英訳してインターネット上で公開。情報を集積することで、データベース化も図った。また、非公開のラウンドテーブル、公開のシンポジウムも開催
25	「農学国際協力における日米大学の連携をめざして」	農学国際協力日米大学連携推進プロジェクトグループ	05.10.01～ 06.03.31	日米の大学、研究機関、援助機関から、農業と農学教育の専門家が集まり、セミナーを開催し、アジアとアフリカにおいて生活維持と生き残りの基本である農業と農学教育の分野で、両国の協力活動が相乗効果を発揮できるよう、名古屋大学農学国際教育協力研究センターを中心に連携の可能性と強化について討議

	事業名	団体	期間	事業内容
26	「1969年から現在に至るまでの米・日・朝鮮半島：三国の政策策定における教訓と将来の目標の探索」(2年目)	ジョージワシントン大学国家安全保障公文書館	05.10.01～ 06.09.30	1970年代以降の朝鮮半島に関する、米、日、韓の外交および安全保障政策策定と施行に関する、複数年のリサーチプロジェクト。歴史的アプローチにより、当時の政策立案者が論点を組み立てる方法、経験から学ぶフィードバックのメカニズムを精査し、米日韓関係が直面する現在、将来の政策課題に対する解決方法に資することを目的とした
27	「マラッカ海峡に着目したアジア太平洋地域のテロとの戦争における国際協力」	ミシシッピ州立大学 (CISS)	05.10.01～ 06.09.30	同大学CISSセンターは、バンダービルト大学 (CJSC/東京 Asian Security Forum:ASF) との共同により、日本 (外務省/自衛隊/JCER、RIPS等)、豪州 (シンクタンク)、インドネシア・マレーシア・フィリピン・シンガポール (各国駐米大使)、NATO専門家等の専門家を含む多国間の研究会合を組織し、2006年3月にミシシッピ大学においてワークショップを開催
28	「米軍再編後の日米安全保障協力：アジア太平洋地域の危機と沖縄に求められる役割」(1年目)	沖縄平和協力センター	05.12.01～ 07.03.31	米軍再編後のアジア太平洋地域の戦略環境はどのように変化し、それに対応する日米安全保障強力はどのように展開し、沖縄をはじめとするアジア太平洋地域の米軍プレゼンスにどのような影響を与えるのかについて分析し、地元の負担軽減と、米軍の抑止力維持という二つの目標を両立させる新しい日米同盟のあり方の指針を提案する2年間事業
29	「地球市民講座」(小規模グラント)	財団法人福岡国際交流協会	06.01.31～ 06.02.28	福岡国際交流協会が主催する、市民を対象に世界の国・地域の現状や地球で起こっている様々な問題等への理解をより深めるための専門家による講演会シリーズに、今回は、国際交流基金が実施しているアジア理解講座の2005年度第一期「アメリカのアジア政策－アジアはどう変わったか」を手本に、「アメリカのアジア政策－平和と安定への道－」と題して、全5回の講座を実施
30	「地殻変動：アジア太平洋における米軍のプレゼンスに関する駐留国の国内政策」(3年目)	東西センター	06.02.01～ 07.01.31	日本、韓国、フィリピンおよびオセアニアにおいて、駐留米軍が当該国の政治体制の変化にいかなる影響を受け、また同盟政策がいかに市民の関心に対応できるかどうかを検討する2カ年の研究プロジェクト。①国家統治の問題、②駐留先の国民への対応、③地域の安全保障に民主主義が与えるインパクトについて、の3点を中心に分析を行なった
31	北東アジアの経済と安全保障の地域主義化：過去の柵と未来への展望 (小規模グラント)	南カリフォルニア大学	06.02.15～ 06.03.31	米国、日本、中国、韓国の外交戦略を詳細に把握することを通じて、北東アジア地域における経済と安全保障面の課題と今後の展望について分析した
32	「『国連システムとシビル・ソサエティに関する新たなパートナーシップに向けて』日米加準備ワークショップ」(小規模グラント)	国際協力研究会	06.03.27～ 06.06.30	日米加の団体による、2年間の研究プロジェクトの準備段階として、4月から6月にかけて4回にわたる月例のワークショップを実施。研究プロジェクトは、地球規模のガバナンスの中で、より重要性を増していく非国家の民間アクターの関与を拡大し、国連改革を推進するための国際的な運動を促進することを目指した

日米知的交流推進費

2. 催し等事業費 (2) 日米知的交流 (主催)

日米間の知的交流を推進するために、セミナー・シンポジウムなどを開催する。

合計額 69,570,355円

	事業名	期間	事業内容
1	日本－日系人交流促進 (平成17年度)	05.04.01～ 06.03.31	日系アメリカ人グループを招へいし、各界日本人との対話、公開シンポジウム(5月25日まで東京、3月13日まで名古屋)、図書・報告書出版を通じて、日米相互理解の増進と長期的な関係強化を図った
2	安倍フェローシップ・ CGP-SSRCセミナー シリーズ	05.04.01～ 06.03.31	安倍フェローシップ・プログラムの一環として、フェローの研究活動の促進やフェロー間のネットワーク強化を目的とした事業。現役フェローが情報・意見交換を行なう「フェロー・リトリート」と、特定の専門的テーマの下で外部専門家の参加も得て行なう「ワークショップ」とで構成。共催団体の米国社会科学研究所(SSRC)と共同で行なった
3	RIPS・CGP安全保障 研究奨学プログラム	05.04.01～ 06.03.31	日米間で最も重要な政策分野のひとつである国際安全保障に係る人的交流基盤を整備するため、グローバルな視野を持ち、秀でた研究能力を有する若手日本人研究者を育成することを目的とした研究奨学プログラム
4	JCIE日米青年政治指 導者交流プログラム・ 事業評価	05.04.01～ 06.03.31	日米の若手政治家、政治家政策秘書、政党スタッフ、世論分析家等、両国の将来の政治指導者となる人材の交流を行ない、政策形成過程と密接に関わる政治の世界における日米理解と対話を促進し、長期的視点から二国間関係の基盤を整備。平成17年度は事業評価を実施
5	マンスフィールド財団 との共催シンポジウム	05.07.19	安倍フェローシップおよびマンスフィールド・フェローシップ・プログラムへの一般認知度の向上を企図しつつ、日米関係の緊密化を目的とする政策関連研究に焦点を置いた両プログラムのフェローに対話の場を提供し、フェロー間の情報共有やネットワーク強化を図ることを目的としたシンポジウム
6	グランティとの共催セ ミナー	05.04.01～ 06.03.31	日米センターが助成対象団体・共催団体など関係機関と共同で行なったセミナー。主に助成対象事業の成果普及を目的とし、国際会議場、日米センター大会議室などを用いてセミナーを共同で企画・実施
7	フェローシップ実務者 ワークショップ(報告 書)	05.04.01～ 06.03.31	2004年1月から2005年3月にかけて行なわれたフェローシップ実務家向けのブラウン・バッグ・ランチ(BBL)および2回のワークショップといった一連の企画についてまとめ、実務家向けの提言を含む報告書を作成
8	米国シンクタンクとの 連携強化	05.08.08～ 07.03.31	米国ブルッキングス研究所と提携し、同研究所の Distinguished Guest Scholar事業として計画されている船橋洋一(朝日新聞社編集委員/平成8年度安倍フェロー)とストロブ・タルボットらブルッキングス側関係者との北東アジアの安全保障問題に関する共同研究を実現させるべく、ブルッキングス研究所と共同で事業を実施
9	Japan Society(NY) 100周年記念事業「イ ノベーターズ・プロ ジェクト」	05.04.01～ 06.03.31	2007年にニューヨーク・ジャパソサエティが設立100周年を迎えるにあたり、その記念事業として実施するもので、複雑化し、解決困難な課題を抱える国際社会において、諸問題に対処し、より良い社会の実現に貢献するための試みとして、建設的で独創的な信念に基づいて活動する個人で構成する「革新者(イノベーター)」のネットワーク化を図った
10	IIEとの共同研究プロ ジェクト	06.01.01～ 07.12.31	米国国際経済研究所(IIE)との共催により「世界経済における東アジア経済地域主義」と題する研究活動を実施

日本研究・知的交流事業に必要な経費

日米市民対話推進費

1. 人物交流事業費

- (1) 日米センターNPOフェローシップ
- (2) 日米草の根交流コーディネーター派遣（JOI）プログラム

2. 催し等事業費

- (1) 日米市民交流（助成）
- (2) 日米：教育を通じた相手国理解促進（助成）
- (3) 日米市民交流（地域活動促進小規模助成）
- (4) 日米市民交流（主催）
- (5) 日米：教育を通じた相手国理解促進（地域活動促進小規模助成）

3. 文化資料事業費

- (1) 日米：教育を通じた相手国理解促進（文化資料）
- (2) 日米市民交流（文化資料）

日米市民対話推進費

1. 人物交流事業費 (1)日米センターNPOフェロースhip

日米間の架け橋になり国際的に活躍できる次世代の人材を育成、日米両国の非営利セクター間の相互理解の促進とネットワークの拡大強化、国内の非営利セクターの人的基盤強化を図ることを目的として、日本の非営利セクターに従事している中堅層に、米国のNPOで中長期のマネジメント実務研修機会を提供。

合計額 16,764,511円

	氏名	現職	事業名	受入団体	期間	事業内容
1	井上 英之	特定非営利活動法人ETIC.プロデューサー	第5期：井上 英之	Social Venture Partners International	05.03.12～ 05.09.11	ベンチャーフィランソロピー（社会起業向け投資）の経営とパフォーマンスマネジメント
2	川上 豊幸	特定非営利活動法人AMネット理事	第5期：川上 豊幸	International Forum on Globalization	04.10.09～ 05.10.08	成果を導く効果的なプロジェクト・マネジメントと資金管理
3	谷 裕子	レイプクライシス・サイバースネット関西事務局長	第5期：谷裕子	Bay Area Women Against Rape	05.03.29～ 06.03.24	コミュニティで作る支援－性暴力被害者サポート
4	岩附 由香	特定非営利活動法人ACE代表	第6期：岩附 由香	Winrock International	06.03.29～ 06.12.28	児童労働分野のNGOのアドボカシーとプログラム、資金調達とネットワーク活動
5	黒田 かをり	CSOネットワーク共同事業責任者	第6期：黒田 かをり	Social Accountability International	06.02.27～ 06.10.26	途上国の地域社会の問題解決に向けたステークホルダー間のパートナーシップ
6	中村 絵乃	特定非営利活動法人開発教育協会事業研修担当	第6期：中村 絵乃	Educators for Social Responsibility Metropolitan Area (ESR Metro)	06.01.20～ 07.01.19	NPOの組織強化/国内の教育活動

1. 人物交流事業費 (2)日米草の根交流コーディネーター派遣（JOI）プログラム

日本との交流の機会が比較的少ない地域における対日関心の喚起や日本理解の促進および、草の根交流の担い手育成を目的に、ボランティアとして草の根交流のコーディネーターを米国に派遣する。

合計額 23,401,592円

	氏名	派遣先団体	期間
1	鈴木 丈夫	アーカンソー日米協会	2003.8～2005.7
2	徳田 淳子	ミシシッピ・カレッジ	2003.8～2005.7
3	福原 くみこ	ケンタッキー日米協会	2004.8～2006.7

	氏名	派遣先団体	期間
4	横野 由起子	タルサ・グローバル・アライアンス/オクラホマ東アジア教育インスティテュート	2004.8～2006.7
5	高橋 祐子	ジョージア日米協会	2004.8～2006.7
6	安藤 良子	ダラス/フォートワース日米協会	2005.8～2007.7
7	田中 美樹	南部多文化センター	2005.8～2007.7
8	村田 有紀子	コスタル・カロライナ大学	2005.8～2007.7

2. 催し等事業費	(1)日米市民交流（助成）
-----------	---------------

日米両国の市民が、対話を積み重ね相互理解を深めていくこと、また、共通の課題への共同の取り組みを通じて世界に貢献していくことを期待し、その趣旨に合致した草の根レベルの交流プロジェクトや一般市民への知識の普及活動を支援する。

合計額 95,378,052円

	事業名	団体	期間	事業内容
1	高校生の視点から考えるグローバル時代の日米	フィラデルフィア国際問題評議会	04.10.01～ 06.04.30	米国フィラデルフィアの高校生の訪日事業。テキスト『The Heritage of Japanese Civilization』を用いて事前学習の後、2005年夏に高校生12名が2週間の訪日研修で、神戸、京都、松江、広島を訪問。各訪問地でディスカッションやホームステイを通じて現地の高校生と交流。帰国後、同年秋に「honors seminar」を開催し、プロジェクトの参加者が研修で得た知見や経験を地元の高中生らと共有
2	日米共通の課題「NPOの信頼性」に関する日米の専門家による対話を通じた現状分析、解決へ向けたネットワークの構築（2年計画事業の1年目）	シーズ＝市民活動を支える制度をつくる会	04.11.01～ 05.10.31	日米共通の課題であるNPOの信頼性確保に関し、日米の専門家が対話を通じて現状を分析し、解決に向けてネットワークを構築する2年計画事業の1年目。日本で研究会を開催。現状分析、関係者へのインタビューを行なう一方、米国では事例調査を実施。2005年9月には、日本側研究会メンバーが訪米、関係者や関係団体と意見交換
3	New Perspectives: Japan	ローラシアン協会	05.01.01～ 05.12.31	全米から募られた中・高校生が、教師の引率により7人以上のグループで訪日し、東京（2日間）および京都（3日間）のスタディ・デイ、学校訪問およびホームステイ（8泊9日）を実施。参加者数は約300名
4	ワーキング・ウイメンズ・ネットワーク（2年計画事業の2年目）	ウェイン・ステート大学	05.02.01～ 06.05.01	日米の「働く女性」からなるNPO、労働組合のネットワーク形成を目的とする2年計画事業の2年目。日米においてワークショップを実施し、日本のNPO向けのトレーニング・マニュアルを作成

日米市民対話推進費

	事業名	団体	期間	事業内容
5	AFSCの対立解決教育普及事業	社団法人シャンティ国際ボランティア会	05.04.01～ 05.09.30	2005年8月から9月にわたり、ワシントンD.C.のNPO「American Friends Service Committee」から、同NPOが開発した Help Increase Peace Program（非暴力的な方法で対立や紛争を解決するための教育活動）の全国コーディネーターを招へいし、東京でワークショップ、長崎で講演会を実施
6	横浜・サンディエゴ友好都市青少年交流事業	財団法人横浜市国際交流協会	05.04.01～ 06.03.31	2005年11月、「日米の青少年の自立にむけた支援のあり方」をテーマに、青少年支援のNPOでスタッフもしくはボランティアとして働くサンディエゴの青年が14名来日し、横浜における同分野のNPOと交流。公開シンポジウムを実施するとともに、終了後報告書を作成し、成果を普及。横浜市とサンディエゴ市の姉妹都市交流を基盤にした
7	第57回日米学生会議	財団法人国際教育振興会	05.04.01～ 06.03.31	2005年7月末から1か月にわたり、日米からそれぞれ38名の学生が、「共に創る明日～戦後60年を今日振り返る～」をテーマに滋賀、京都、広島、沖縄、東京と移動しつつ、分科会活動、フィールドトリップ、ホームステイを実施。東京では一般公開フォーラムを開催。報告書を作成し配布
8	日米教育交流による博物館学習プログラムの研究開発	日米博物館学習プログラム研究グループ	05.04.01～ 06.03.31	日米の高校（太宰府高校/筑紫高校/グレンデル高校）、博物館（九州国立博物館/全米日系人博物館）、福岡県教育センターの教員・職員が共同で、学校教育における博物館の活用について、それぞれの地元の現状を互いに研究した上で、共同で授業研究を行ない、博物館学習プログラムを開発。2006年3月、九州国立博物館で報告会を開催し、報告書を作成し、配布
9	アメリカン・サービス・ラーニング・プログラム（2年計画事業の1年目）	VIA（ボランティアーズ・イン・アジア）	05.04.01～ 06.03.31	日本人学生とスタンフォード大学の学生が4週間共同生活をしつつ、サービス・ラーニングを経験。日本側参加者28名、米国側参加者5名が4つのテーマに分かれ、スタンフォードの研修プログラムやワークショップに参加した後、地元のNPOでボランティア活動を実施。一般公開フォーラムで成果を報告。半年後に米国側5名が日本でボランティア活動に携わるため、日本側参加者を訪ねて1週間強来日する在日プログラムを実施
10	企業退職者のためのボランティア・プログラム－日米比較からの視座－（2年計画事業の1年目）	ボランティアーズ・オブ・アメリカ	05.04.01～ 06.06.30	退職者を対象とした企業のボランティア・プログラムに関する2年計画の研究・交流プロジェクト。大阪ボランティア協会、ボストン・カレッジ、日米コミュニティ・エクステンジ（JUCEE）との協力の下、2年目は、2005年4月、米国からNPO、企業等から6名が来日、意見交換や現場視察を行なって日米両国の現状について理解を深め、調査結果をまとめた詳細な報告書を作成
11	美術鑑賞教育プログラム	京都造形芸術大学	05.05.01～ 05.10.31	2005年6月末から7月にかけて、ニューヨーク近代美術館で長年教育プログラムに携わった専門家を招へいし、公開ワークショップ、美術教育関係者向けワークショップ、地域の小学校での実践、日本の美術館の視察を実施し、米国で開発された美術鑑賞教育プログラムを日本に紹介。京都のNPO「子どもとアーティストとの出会い」と協力して実施

	事業名	団体	期間	事業内容
12	「子どもの健康と環境汚染」をテーマにしたCHEJ (Center for Health, Environment and Justice) との交流	特定非営利活動法人レイチェル・カーソン日本協会	05.05.01～ 05.12.31	2005年9月、バージニア州のNPO「Center for Health, Environment and Justice (CHEJ)」からScience DirectorとChild proofing Campaign Coordinatorを招へいし、京都と東京でワークショップ、懇談会および産業廃棄物処理施設や保育所等の現場視察を実施
13	子どもと女性への暴力防止NPOに学ぶ	特定非営利活動法人CAPセンター・JAPAN	05.06.01～ 05.12.20	2005年12月、カリフォルニア州のNPO「Marin Abused Women's Services」から Associate Directorを招へいし、大阪でシンポジウム、講演会、交流会等を実施
14	「障害のある人」の人権をめぐる日米社会の現状分析・比較検証から、アジア・太平洋社会へのアウトリーチ(2年計画事業の2年目)	LADD 障害をもつ人の権利	05.06.01～ 06.03.31	日米で障害者の人権保障を分析し、比較・検証したうえで、新たなパラダイムをアジア・太平洋地域へも広めようとする事業。2006年1月にバンコクで開催される国連のThematic Working Group on Disability Related Concernsの直後に、日米、アジアのNGO関係者による会議を開催
15	社会起業家の支援プログラム「ソーシャル・インパクト」を測る	CAC-社会起業家研究ネットワーク	05.07.01～ 05.10.31	2005年8月、ヴァージニア州アーリントンのNPO「Ashoka」から理事を招へいし、「社会起業家のインパクトを測る手法と社会起業家支援の仕組み」をテーマとするシンポジウム(参加者200名)、専門家会議を実施
16	生涯現役社会づくりプログラム開発:日米東アジアの比較と協力(3年計画事業の2年目)	九州大学東アジアセンター・オン・エイジング	05.07.01～ 06.07.31	日本とハワイにおけるアクティブ・エイジング・プログラムを調査・理解し、東アジア(特に中国と韓国)における同プログラムの開発に協力する態勢を整備。プロジェクト1年目は、福岡。2年目は、ハワイにおいて、3年目は上海と釜山においてシンポジウム、ワークショップ、現地視察を実施
17	市民レベルで、企業・NPO評価のシステムづくりを考える	特定非営利活動法人日本サステイナブル・コミュニティ・センター	05.09.01～ 05.11.30	2005年10月、ニューヨーク市のNPO「Social Accountability International」から President & CEOを招へいし、同NPOが開発・推進する企業評価プログラムSA8000を活用した企業・NPO評価のシステムづくりをテーマとして、東京および京都にて講演会およびワークショップを実施
18	世代間交流プログラム推進のための日米協働事業(2年計画事業の1年目)	ペンシルバニア州立大学	05.09.01～ 06.08.31	日本において、世代間交流活動を活性化し専門家のネットワークを構築しようとする2年計画事業。1年目には、助成対象団体の世代間交流部門と日本世代間交流協会(JIUA)、および各国の専門家が、東京で国際会議を開催
19	権利擁護って何??私たちにできることを、アメリカの実践から学ぶ?	渋谷なかよしぐる〜ぶ	05.10.01～ 06.03.31	知的障害者の権利擁護活動に携わり、NPOセクターへのアドボカシー教育等を担当するNPO専門家をニューハンプシャー州から招へい。2005年11月に、東京と山形で一般向、関係NPO・研究者向セミナーを開催。日本の知的障害者の暮らしや支援の現場を視察し、訪NPO同士のネットワークを形成

日米市民対話推進費

	事業名	団体	期間	事業内容
20	第5回日米協会国際シンポジウム	京都日米協会	05.10.01～ 06.05.31	4月21日、22日、日米関係の更なる活性化をテーマに、京都で日米両国の有識者や公開シンポジウムを開催。各フォーラムのテーマは、「若人が描く日米関係の未来」、「アジアの安全保障における日米の役割」、「ニューテクノロジーによる新ビジネスモデルの創造」。日米協会関係者、一般参加者を合わせて約300名が参加。全国日米協会連合会、全米日米協会連合が共催
21	受刑者の社会復帰支援NGO交流プロジェクト	特定非営利活動法人監獄人権センター	05.11.01～ 06.04.30	2006年3月、ワシントンのNPO、Citizens United for Rehabilitation of Errants (CURE)のChairperson およびミシガン州のNPO、American Friends Service Committee (AFSC)のProgram Directorを招へいし、「市民による受刑者の社会復帰支援活動」をテーマとしたセミナー（一般市民対象、計2回、於東京/京都/大阪）、研究会（計2回、NGOスタッフ対象）および刑事施設視察等を実施
22	日米共通の課題「NPOの信頼性」に関する日米の専門家による対話を通じた現状分析、解決へ向けたネットワークの構築（2年計画事業の2年目）	シーズ＝市民活動を支える制度をつくる会	05.11.01～ 06.05.31	日米共通の課題であるNPOの信頼性確保に関し、日米の専門家が対話を通じて現状を分析し、解決に向けたネットワークの構築を目的とする2カ年事業の第2年次。米国から専門家を招へいし、シンポジウム等を実施
23	日米グローバル・ネットワークを通じた青少年フィランソロピー教育推進共同イニシアチブ（2年計画事業の1年目）	インディアナ大学	05.11.01～ 06.10.31	国際的な青少年フィランソロピー教育モデルの確立を目的とする2年計画事業。2006年9月、米国から5名が訪日して、東京で初の全国青少年フィランソロピー大会を開催する一方、日米でパイロット・スタディを実施。2007年6月には8名の高校生が2名の引率者と共に5日ほど訪日、日本の青少年が作成したプロジェクトに参加、翌月、再度訪米し、協力団体主催の年次大会で日米合同のセッションを開催
24	新潟・ペンシルバニアにおける地方中間支援組織の経験共有プロジェクト	新潟NPO協会	05.11.20～ 06.07.19	2006年1月、申請団体他、県内NPO関係者がペンシルバニアNPO協会（PANO）を訪問し、同地のNPOの活動を視察。関係者と交流し、日米両国の地方におけるNPO中間支援組織の経験を共有するとともに、継続的・具体的な協働事業を検討の上、実施
25	グローバリゼーション問題に取り組む米国NGOのアドボカシー活動に学ぶ	AMネット	05.12.01～ 06.04.30	サンフランシスコのNPO「International Forum on Globalization (IFG)」からProgram Directorを招へいし、東京、名古屋、大阪、福岡にてNGOとの小規模会合および一般市民向けのセミナーを開催。
26	精神保健講座「多様なNPO活動が支えるマディソン市のメンタルヘルスケア」	帯広・マディソン交流協会	05.12.01～ 06.07.31	精神保健分野における包括型地域支援プログラムの発祥の地であるウィスコンシン州マディソン市におけるNPO活動を紹介するべく、NPOによる支援体制を作ってきた専門家、NPO活動実践者2名を招へいし、講演会や意見交換会を実施。同時に、十勝における精神保健分野でのNPO活動や地域の取り組みを、マディソン市交流計画委員会を通して米国に紹介

	事業名	団体	期間	事業内容
27	環境教育プログラム「Kids' ISO14000」の日米機軸の設立と米国モデル校事業開始（2年目計画事業の1年目）	特定非営利活動法人国際芸術技術協力機構	05.12.01～ 06.11.30	申請団体が開発した環境教育プログラム「Kids'ISO 14000」をニューヨーク市に紹介する事業。同市で学校教育環境向上に取り組むNPO法人CEI-PEAの協力を得て、インストラクター養成研修会の開催、ワークブックの改訂、パイロット校におけるプログラムの実施。実施結果の評価を公表。1年目には入門編を、2年目には初級編を実施。子どもと家庭の環境意識の改革、温室ガス削減の実現、他地域へ展開するための基盤の確立が目的
28	精神障害者の就業支援についての成功例を広めるための日米ネットワーク構築事業（2年計画事業の2年目）	ホライゾン・ハウス	06.01.01～ 06.12.31	精神障害者に対する就業支援の分野における日米間のネットワーク構築を目的とする2カ年事業。2年目には、2006年10月、助成対象団体および協力団体 Howard Center for Human Services から当該分野の専門家各2名、計4名が来日、「ほっとハート市川」等の施設を訪問しながら知見を交換し、一般向けのシンポジウムも開催し成果を発表。米国でビデオも制作
29	環境教育パートナーシップ	ミシガン州立大学	06.03.01～ 2007.01.31	ミシガン州と関東地方の高校生各10名および教員各5名による、異文化環境教育事業。参加者たちは、淡水系の学習を通じて世界的な環境問題や日米の教育・文化制度の共通点・差異について学習。日本側協力団体は東京農業大学

2. 催し等事業費	(2)日米：教育を通じた相手国理解促進（助成）
-----------	-------------------------

日本においては米国に関する、米国においては日本に関する相手国理解促進のための、主として初等・中等教育レベルを対象としたアウトリーチ（知識の普及）活動やカリキュラム開発などを支援する。

合計額 39,285,385円

	事業名	団体	期間	事業内容
1	ポーツマス平和条約に係る教育普及事業	ニューハンプシャー日米協会	04.11.01～ 05.12.31	2005年のポーツマス条約締結100周年を記念して、同条約をめぐる日米露の国際関係の歴史や教訓を、日米の一般市民および主にニューハンプシャー州の生徒たちに普及させるための事業。ウェブサイトの構築、資料展の開催、学校等における教育普及活動にかかる材料を制作
2	JapaNet:南フロリダの日本・南北アメリカ研究センター（3年計画事業の2年目）	フロリダ国際大学	05.07.01～ 06.06.30	フロリダ州南部の中学・高校教師に対し、日本や日本と南北アメリカの関係に焦点をあてた10週間にわたるセミナーを、年に2回、3年にわたって実施するプロジェクト。各セミナーには15名の教師が参加。フロリダ国際大学の研究者に加え、外部の専門家が講義。参加教師は教室で利用できる資料を作成し、教育専門家の編集を受けた後にインターネットで公開
3	ペリーと日本の開国(2年計画事業の1年目)	マサチューセッツ工科大学	05.01.01～ 06.06.30	インターネット上で公開されているマサチューセッツ工科大学のオープンコースウェアのうち、「黒船とサムライ」と「新興都市横浜」について、中等教育レベル向けのレッスンプランやインターネット教材、用語集などを開発。開発した教材はワークショップを実施して普及

日米市民対話推進費

	事業名	団体	期間	事業内容
4	日本関係研究全米クリアリングハウス（3年計画事業の2年目）	インディアナ大学	05.01.01～ 05.12.31	全米の小中高校の教員や教育関係者に対し、現代日本や日米関係、日本に関する教材・カリキュラムなどの日本関連情報を提供。具体的には、①専用ホームページ上での最新情報提供、②データベース「US-Japan Database」の更新、③定期刊行物、出版物の発行、④学会、全米および地方会議等における教員ワークショップの実施および日本関連資料パッケージ（Teaching About Japan Information Packet）の配布
5	高校生向け「アメリカ理解教育の促進」（2年計画事業の1年目）	特定非営利活動法人国際社会貢献センター	05.04.28～ 06.05.31	大学教諭2名、高校教員5名、申請団体スタッフ7名が、高校生向けのアメリカ理解のためのテキストを執筆。特に「今のアメリカ」を理解するための「新発見的な」要素を盛り込み、申請団体スタッフの米国滞在経験を生かした。テキストは、セミナーや出張授業により普及
6	Journey Through Japan 第2フェーズ	ジャパン・ソサエティ	05.04.01～ 06.08.31	ジャパン・ソサエティが開発した日本理解教育のための素材を集めたウェブサイト「Journey Through Japan」（CGP助成事業）を改修する事業。教員のフォーカス・グループのウェブサイト評価に基づき、レッスンプランの拡充、低学年向け素材の追加、使いやすくするための技術的改善を行なった上で、利用者拡大のために既存の学会等でのワークショップ・展示ブース出展などを実施
7	日本関連資料貸出事業（3年計画事業の3年目）	ファイブ・カレッジ東アジア研究センター	05.10.01～ 06.09.30	ニューイングランド地方6州の初等・中等教育の日本理解促進を目的として、助成対象団体のライブラリーが保有する日本関連資料や教材の拡充、ニューイングランド地方の教師等関係者への教材（含. 視聴覚教材）の無料貸し出し、ニューズレターおよびウェブサイトによる情報提供、照会や相談への対応、センター内外でのワークショップ開催等、既存事業の維持および拡充を実施
8	上級編日本理解講座（2年計画事業の1年目）	アーカンソー大学リトル・ロック校	05.12.01～ 06.11.30	南部7つの州（アラバマ/アーカンソー/ケンタッキー/ルイジアナ/ミシシッピ/ミズリ/テネシー）から日本についての学習経験または来日経験のある教員を対象とした研修事業。40名（20名×2会場）の教員が、週末に行なわれる研修（計14時間）に出席し、近年の日本研究に関する識見を深めた
9	日本関係研究全米クリアリングハウス（3年計画事業の3年目）	インディアナ大学	06.01.01～ 06.12.31	全米の小中高校の教員や教育関係者に対し、現代日本や日米関係、日本に関する教材・カリキュラムなどの日本関連情報を提供。具体的には、①専用ホームページ上での最新情報提供、②データベース「US-Japan Database」の更新、③定期刊行物、出版物の発行、④学会、全米および地方会議等における教員ワークショップの実施および日本関連資料パッケージ（Teaching About Japan Information Packet）の配布

2. 催し等事業費 (3)日米市民交流 (地域活動促進小規模助成)

各地で推進される草の根レベルの各種交流事業に機動的に対応するため、①市民向けアウトリーチを含む、②地域的特性や多民族に配慮がある、③プロジェクトに新しい試みが見られる、などの条件を備える案件に対して小規模の助成を行なう。

合計額 665,485円

	事業名	団体	期間	事業内容
1	地方での自立生活のためのハワイ会議	ハワイ・セントアーツ・フォー・インディペンデント・リビング	05.01.01～ 05.12.31	地方における障害者の自立をテーマとした国際会議
2	日米パスウェイズ	パスウェイズ・トゥー・ハウジング	05.03.01～ 05.06.30	ホームレスと精神障害に活動の焦点をおいた日米のNPO交流を促進するための訪日調査
3	HIV/AIDS危機における日米NGOネットワーク構築	テキサス大学サンアントニオ校	05.03.01～ 05.06.30	途上国におけるHIV/AIDS問題に活動の焦点をおいた日米のNPO交流・協働を促進するための訪日調査
4	東京・ホノルルホームレス・パートナーシップ	メンタル・ヘルス・コクア	05.03.01～ 05.09.30	ホームレスに活動の焦点をおいた日米のNPO交流を促進する訪日調査を支援
5	日本とアメリカのHIV/AIDSヘルスケア分野での協力関係構築	ノース・プロンクス・ヘルスケア・ネットワーク	05.03.25～ 05.09.30	HIV/AIDSのケアやカウンセリングに焦点をおいた日米のNPO交流を促進するための訪日調査
6	将来の交流プログラムのためのHIV/AIDS予防教育関係者間の関係構築	カリフォルニア大学サンフランシスコ校	05.03.31～ 05.07.31	HIV/AIDSの予防/啓蒙活動に焦点をおいた日米のNPO交流・協働を促進するための訪日調査
7	日米サービス・ラーニング協働プロジェクト	エデュケーション・ディベロップメント・センター	05.04.01～ 05.06.30	サービス・ラーニングに活動の焦点をおいた日米のNPO交流を促進するための訪日調査を支援
8	企業と非営利セクター間の関係構築に向けて：日本のNGOから学ぶ	インターナショナル・コミュニティ財団	05.05.31～ 05.07.31	環境問題におけるNPOと日本企業のパートナーシップを促進するための訪日調査
9	災害時のボランティア管理：善意と構造の共同作用	ポイント・オブ・ライト財団	05.06.01～ 05.09.30	災害時におけるボランティア・マネジメントに焦点をおいた日米のNPO交流を促進するための訪日調査を支援

日米市民対話推進費

	事業名	団体	期間	事業内容
10	日米のホスピスと緩和ケアのためのボランティアリズムとボランティアによる花壇	スウィート・ブライアー・カレッジ	05.07.01～ 06.02.28	ヘルスケアにおける庭園・景観の役割に焦点をおいた日米のNPO交流を促進するための訪日調査を支援
11	家族と社会の中での男らしさと暴力との関係の理解	ニュー・ビジョンズ：アライアンス・トゥー・エンド・バイオレンス・イン・エイジアン／エイジアン・アメリカン・コミュニティーズ	05.08.01～ 05.12.31	ドメスティック・バイオレンスの解決と男性の役割に焦点をおいた日米のNPO交流を促進するための訪日調査
12	エイジアン・タスクフォース世界化プロジェクト	エイジアン・タスクフォース・アゲインスト・ドメスティック・バイオレンス	05.09.01～ 06.06.30	ドメスティック・バイオレンスに活動の焦点をおいた日米のNPO交流を促進するための訪日調査
13	気候変動情報プロジェクトin東京	コロンビア大学	06.03.01～ 07.05.31	都市における気候変動に関する情報アクセス向上に焦点をおいた日米のNPO・実務家交流を促進するための訪日調査

2. 催し等事業費 (4)日米市民交流 (主催)

日米間の草の根交流を推進するために、セミナー・シンポジウムなどを開催する。

合計額 209,388円

	事業名	国	期間	事業内容
1	ランドル講演会	日本	05.10.17～ 05.11.17	ポーツマス条約100周年記念委員会の委員であるピーター・ランドルを講師に迎えて読売新聞社と共催で講演会を開催。地元市民の視点から見たポーツマス条約をめぐる日米露の国際関係の歴史やそこから得られる教訓について理解を深めた

2. 催し等事業費 (5) 日米：教育を通じた相手国理解促進（地域活動促進小規模助成）

米国各地で行なわれる草の根レベルの各種事業を支援するための小規模助成事業。

合計額 7,388,394円

	事業名	団体	期間	事業内容
1	日露講和条約カリキュラム・ガイドー第2フェーズ	北東文化協会	05.04.1～ 05.9.30	ポーツマス条約に関するカリキュラムの出版およびアウトリーチ事業
2	ディスカバー・ジャパン2006：アラバマ教員ワークショップ	バーミングハム・国際フェスティバル	06.01.01～ 06.03.15	アラバマ州における国際フェスティバルの一環として実施される教師向けの日本理解ワークショップ
3	小学校教員対象日本ワークショップ	オクラホマ大学	06.01.01～ 06.03.31	オクラホマ州タルサ地域における小学校教師を対象とした日本理解促進ワークショップ
4	日本への旅	バークレー郡学校区	06.01.04～ 06.03.31	サウスカロライナ州の学校区と美術館が共同で実施する教師向けの日本美術に関するセミナーおよび生徒を対象としたイベント
5	アニメから日本史と文化を知る	イースト・カロライナ大学	06.01.25～ 06.03.24	ノースカロライナ州の中学高校教師を対象に実施された『もののけ姫』をテーマとした日本理解を深めるためのワークショップを開催
6	日本経済講座初級	ケンタッキー大学教育学部	06.01.26～ 06.05.25	ケンタッキー州の小学校教師を対象に実施された「日本とケンタッキー州の経済関係」に関するワークショップ
7	アラバマの草の根レベルから見た日本	アラバマ大学	06.02.01～ 06.04.30	アラバマ州タスカルーサ市と習志野市の姉妹都市20周年を記念した日本理解を深めるための教育事業を実施
8	教員対象日本ワークショップ	テネシー大学	06.02.01～ 06.04.30	テネシー州の社会科教師を主な対象とした日本理解促進ワークショップ
9	時を超える声、時を超えるテーマ	ピット郡学校区	06.02.18～ 06.04.18	ノースカロライナ州の高校社会科/英語教師を対象とした日本文学のワークショップ
10	ニホン・ノ・アジワイ	キャサディ・スクール	06.02.25～ 06.04.25	オクラホマ州にある申請団体がコミュニティを巻き込んで実施する日本文化紹介事業
11	尺八公演	デューク大学	06.02.27～ 06.03.27	ノースカロライナ州の小学生を対象とした、尺八に焦点をあてた日本理解促進事業
12	桜祭り	ニューマン・スミス高校	06.03.01～ 06.04.03	テキサス州で実施された「日本の春」をテーマとした中高生向けの「日本祭り」
13	教員ワークショップ「過渡期の東アジア：政治・経済・安全保障の影響」	ピッツバーグ国際問題評議会	06.03.1～ 06.5.31	ピッツバーグ地域の教師を対象とした日本理解を深めるためのワークショップ

日米市民対話推進費

3. 文化資料事業費 (1) 日米：教育を通じた相手国理解促進（文化資料）

日本においては米国に関する、米国においては日本に関する相手国理解促進のための、主として初等・中等教育レベルを対象とした教材やカリキュラムの開発などを実施する。

合計額 710,665円

	資料名・書名	団体	期間	事業内容
1	日米交流150周年記念教育プロジェクト 「Snapshots from Japan：7人の高校生の素顔」	コロラド大学 ボルダー校	03.07.01～ 05.04.01	既存の日本語教育教材（財団法人国際文化フォーラム制作の写真パネル「であい」）を日本理解教育教材として再開発し、これを用いて全米各地域の小中高校において日本理解教育プログラムを展開

3. 文化資料事業費 (2) 日米市民交流（文化資料）

日米両国の市民が、対話を積み重ね相互理解を深めていくこと、また共通課題への取り組みを通じて世界貢献することを期待し、趣旨に合った資料作成を行なう。

合計額 3,731,300円

	資料名・書名	発行日	発行部数	事業内容
1	日本の民間非営利セクターにかかる英語版概説冊子	—	—	日本の民間非営利セクターにかかる英語版概説冊子の原稿を作成
2	地域間交流活性化事業の成果普及のための出版物	2006.03	1,500	平成16年度事業「日米地域間交流活性化プロジェクト」（共催：財団法人日本国際交流センター）の成果をまとめ、PDF版報告書を作成。また、成果をより発展させ、地域の身近な国際交流の一つである姉妹都市交流の実務とあり方についてまとめた小冊子『姉妹都市交流ブックレット』を作成

調査研究および情報提供事業等に必要な経費

情報センター事業費

1. 催し等事業費

- (1) 国内連携促進

2. 文化資料事業費

- (1) 定期刊行物
- (2) 年次報告
- (3) インターネット・ホームページ

3. 調査研究費

- (1) 図書館・情報リソースセンター事業
- (2) 国際交流顕彰事業（基金賞・奨励賞）
- (3) 国際交流顕彰事業（地球市民賞）

情報センター事業費

1. 催し等事業費	(1) 国内連携促進
-----------	------------

国内の国際交流活動の振興と国際交流団体のネットワーク化を目的とした各種セミナーを開催する。
 合計額 10,135,262円

事業名	国	期間	事業内容
1 国際交流フェスティバル出展	全世界区分困難	05.04.01～ 06.03.31	全国各地の国際交流フェスティバルにブースを出展。仙台国際センターまつり、グローバルフェスタJAPAN2005、とちぎ国際ナショナルフェスティバル2005、ワールド・コラボ・フェスタ2005、地球市民どんたく、横浜国際フェスタ2005、むさしの国際交流祭、さいたま新都心街びらき5周年記念「秋祭り&国際フェア2005」、ヨーロッパ秋まつり in 日比谷、ワンワールドフェスティバルなど計8都市10回の国際交流フェスティバルへ参加
2 地域との連絡調整	全世界区分困難	05.04.01～ 06.03.31	各地の国際交流協会等の団体との連携強化をはかることを目的に、拠点県、拠点都市数か所にて定期的に連絡をとり、地域のニーズ等を把握することから始め、共同事業の企画開発等の可能性を探った
3 第3回国際交流協力実践者全国会議	全世界区分困難	05.08.27～ 05.08.28	国際交流・協力の現場に携わる全国の関係者が一堂に会して、国際交流・協力活動の現状認識を共有するとともに、問題意識を深めつつネットワークを構築することを目的とした。また、日本社会全般に、本事業は3年を一区切りとしたパイロット事業であり、国際交流・協力活動の意義を広くアピール。今回は3年度目の開催
4 日・EU創造都市交流シンポジウム	西欧地域区分困難	05.11.25～ 05.11.26	「日-EU市民交流年」事業の一環として企画された「EU-日本創造都市交流2005 - Arts for Community Growth and Development -」のなかで国内のアートNPOおよび地方公共団体がEU6カ国を訪問。このシンポジウムではその成果に基づいて視察先の代表的なプロジェクトの関係者を招へいし、EU各国の創造都市戦略の実態を学ぶとともに、アートが都市経営のソフトウェアとして機能し、地域や市民に活力を与えるための課題や今後の方向性などについてディスカッションを行なった

2. 文化資料事業費	(1) 定期刊行物
------------	-----------

広く国際交流に関心のある研究者、芸術家、一般を対象とする和文定期刊行物『遠近（をちこち）』と、国際交流基金フェロー経験者など日本に関心を有する海外有識者に向けた英文ニュースレターを、それぞれ隔月にて発行する。
 合計額 51,966,747円

資料名・書名	発行日	発行部数	事業内容
1 遠近5号	05.06.01	6,000	定期刊行物『遠近』（6月1日号）の発行。特集は、「知られざるアラビア世界」
2 遠近6号	05.08.01	6,000	定期刊行物『遠近』（8月1日号）の発行。特集は「日本語で話しませんか」
3 遠近7号	05.10.01	8,000	定期刊行物『遠近』（10月1日号）の発行。特集は「アートが世界を変える」
4 遠近8号	05.12.01	6,000	定期刊行物『遠近』（12月1日号）の発行。特集は「市民が広げる日-EU交流」

	資料名・書名	発行日	発行部数	事業内容
5	遠近9号	06.02.01	7,000	定期刊行物『遠近』（2月1日号）の発行。特集は「日中交流を歩む人たち」
6	遠近10号	06.04.01	6,000	定期刊行物『遠近』（4月1日号）の発行。特集は「世界で愛される日本食」
7	英文ニュースレター6月号	05.06.01	5,000	「The Japan Foundation Newsletter」6/7月号の発行
8	英文ニュースレター8月号	05.08.01	5,000	「The Japan Foundation Newsletter」8/9月号の発行
9	英文ニュースレター10月号	05.10.01	5,000	「The Japan Foundation Newsletter」10/11月号の発行
10	英文ニュースレター12月号	06.12.01	5,000	「The Japan Foundation Newsletter」12/1月号の発行
11	英文ニュースレター2月号	06.02.01	5,000	「The Japan Foundation Newsletter」2/3月号の発行
12	英文ニュースレター4月号	06.04.01	5,000	「The Japan Foundation Newsletter」4/5月号の発行

2. 文化資料事業費	(2) 年次報告
------------	----------

年度ごとに総括を報告する年報を発行する。

合計額 18,543,283円

	資料名・書名	発行日	発行部数	事業内容
1	2004年度版年報(和文)	05.10.01	7,000	国際交流基金の2004年度（平成16年度）事業に関する和文年報の作成
2	2004年度版年報(英文)	06.03.31	5,000	国際交流基金の2004年度（平成16年度）事業に関する英文年報の作成
3	2004年度事業実績	06.03.31	500	国際交流基金の2004年度（平成16年度）事業に関する事業実績の作成

情報センター事業費

2. 文化資料事業費 (3) インターネット・ホームページ

ホームページを通じて、プログラムガイドラインや国際交流基金の各種出版物も含めた国際交流基金の各種事業の情報や、国際文化交流に資する各種情報の提供を行なう。

合計額 18,461,242円

	事業名	期間	事業内容
1	国際交流基金 ウェブサイトの 運営	04.04.01～05.09.30	国際交流基金に関する各種情報、国際文化交流関連各種データベース、国際交流基金公募プログラムガイドライン等をインターネット上で提供。 URL： http://www.jpf.go.jp/
2	メールマガジン	05.04.01～06.03.31	ジャパンファウンデーションの事業に関する情報をメールマガジン（和・英）で配信

3. 調査研究費 (1) 図書館・情報リソースセンター事業

国際交流に関する情報の照会および日本に関する情報の照会に対応するための情報リソースセンターとして図書館を運営する。

合計額 135,203,018円

	事業名	蔵書数	入館者数
1	情報リソースセンター運営	図書：34,032冊（外国語：27,532冊、日本語図書：6,500冊）、雑誌：400タイトル、新聞：8紙	5,072名（2005年4月～2005年11月）

3. 調査研究費 (2) 国際交流顕彰事業（基金賞・奨励賞）

学問、芸術その他の文化活動を通じて、国際文化交流に特に顕著な貢献があった個人、団体などに対しその功績を顕彰する。

合計額 26,006,872円

	種別	受賞団体名	受賞者名	現職	国	事業内容
1	国際交流基金賞	-	宮崎駿	アニメーション映画監督	日本	アニメーションを中心とした芸術活動を通じて、日本文化を普遍的に伝え、その独自のメッセージ性が世界中の若者たちの心をとらえた。その多大な功績に対し、国際交流基金賞を授賞
2	国際交流奨励賞・文化芸術交流賞	フィリピン教育演劇協会	-	-	フィリピン	演劇を通しての民衆啓発やコミュニティ形成への取り組み、および日本をはじめ多くのアジア諸国の芸術・市民団体とのコラボレーションの業績を称えるとともに、アジアの芸術ネットワーク形成への今後の貢献を期待して、国際交流奨励賞・文化芸術交流賞を授賞

	種別	受賞団体名	受賞者名	現職	国	事業内容
3	国際交流奨励賞・日本語教育賞	中国日本語教学研究会	-	-	中国	中国の諸大学における日本語教師の統括的組織として指導力を発揮し、日本語教育の質の向上に貢献してきた実績を称え、東アジアに広がる日本語教育分野のさらなる連携強化における役割を期待して、国際交流奨励賞・日本語教育賞を授賞
4	国際交流奨励賞・日本研究賞	-	タバッサム・カシミーリー	元大阪外国語大学ウルドゥー語教師、ウルドゥー文学研究者	パキスタン	日本におけるウルドゥー語・ウルドゥー文学研究の促進に尽力された業績を称え、日本とウルドゥー語文化圏の学術・文化交流および日本とパキスタンとの相互理解促進におけるさらなる活躍を期待して、国際交流奨励賞・日本研究賞を授賞
5	選考委員会	-	-	-	全世界区分困難	平成17年度国際交流基金賞・国際交流奨励賞の受賞者を決定するために、奨励賞部門別分科会および選考委員会を開催

3. 調査研究費	(3) 国際交流顕彰事業（地球市民賞）
----------	---------------------

国内各地で行なわれている地域に根ざした国際文化交流活動を促進するために、この分野で活躍している国内団体、個人を顕彰する。

合計額 15,226,022円

	受賞者(団体)名・事業名	場所	事業内容
1	特定非営利活動法人 チェルノブイリへの かけはし	北海道札幌市	旧ソ連のチェルノブイリ原発事故で被災したベラルーシ共和国の子どもたちを日本に招へいし、北海道で1カ月の転地療養をさせる「里親運動」を14年にわたり実施している同団体に地球市民賞を授賞
2	浅賀正治（個人）	茨城県桜川市 （旧岩瀬町）	私費を投じてジンバブエやブルガリアからの石彫刻家を招き、石彫を通じた国際文化交流を実施している同氏に地球市民賞を授賞。個人から始まったアーティスト・イン・レジデンス事業が地域の自治体や地場産業からの支援を得て、広がりを見せている。
3	Genki青年会	高知県高知市	高知県に配属されたJET青年の個性と才能を活かした土佐弁ミュージカルの創作・上演。上演にあわせて募金活動を行っており、県内の日本人の語学留学希望者への助成金に充当している同団体に地球市民賞を授賞

情報センター事業費

	受賞者(団体)名・事業名	場所	事業内容
4	『クロスボーダー宣言』発行		賞の制定20周年を記念して、これまでのこれまでの地球市民賞（旧地域交流賞・地域交流振興賞）受賞団体の活動を取りまとめ、単行本として出版。 留学生支援、日本語教育支援、文化・芸術交流、青少年交流、国際協力、国際理解教育、多文化共生支援、福祉、地域活性、ネットワーク形成など多様な活動を行っている過去の受賞団体61団体の活動紹介に加え、7人のキーパーソンへのインタビューを掲載

調査研究および情報提供事業等に必要な経費

企画・評価費

1. 調査研究費

- (1) 調査研究
- (2) 事業評価（企）

企画・評価費

1. 調査研究費	(1)調査研究
----------	---------

国際交流の促進に資する各種調査研究を行ない、この成果を広く内外に公開する。

合計額 4,662,683円

	事業名	国	期間	事業内容
1	国際文化交流政策論研究	－	05.04.01～ 06.03.31	国際文化交流政策に関する研究および教育の基盤整備
2	情報収集プロジェクト	英国 ドイツ フランス	05.11.25～ 06.03.31	国際交流基金全体の中期的政策および国・地域別方針を策定する上での参考資料とするため、主要各国における国際文化交流に関する各種資料を定期的に収集

1. 調査研究費	(2)事業評価（企）
----------	------------

国際交流の促進に資する各種調査研究を行ない、この成果を広く内外に公開する。

合計額 8,555,092円

	事業名	国	期間	事業内容
1	国別評価手法開発	全世界区分困難	05.10.19～ 06.03.31	国際交流基金事業を国別に評価する手法を開発し、主要国1カ国にて試行的評価を実施

調査研究および情報提供事業等に必要な経費

文化事情調査費

1. 調査研究費

- (1) 文化事情調査
- (2) ワーキング・グループ関係費

文化事情調査費

1. 調査研究費 (1)文化事情調査

国際交流基金の総合的企画立案機能強化の一環として、国別に文化事情を調査し、日本との文化交流において国際交流基金が果たすべき役割等につき、方針を策定する。

合計額 24,312,269円

	事業名	国	期間	事業内容
1	日韓交流企画推進室	韓国	05.05.24～ 06.03.31	中期的視点に立った日韓文化交流を推進するための「日韓文化交流5カ年計画」(平成18年度～平成22年度)を策定するために、有識者、専門家、関係団体等との意見交換、情報・資料収集を実施
2	国別懇談会	インドネシア 英国	05.04.01～ 06.03.31	海外事務所所在国の英国とインドネシアについて、有識者から成る国別懇談会を設け、国際交流基金事業および事務所活動に関し、その業績を評価し業務の改善のための提言や、日本との文化交流状況と課題、国際交流基金事業の方針等に関し、報告や提言を得た
3	ベトナム文化事情調査	ベトナム	05.05.08～ 05.05.12	ベトナムに文化交流ミッションを派遣し、文化財保護、日本語普及および留学生交流、現代日本文化の発信をテーマとして、調査を行ない、今後の対ベトナム文化交流の指針となる提言を作成
4	日印交流タスクフォース	インド	06.01.16～ 06.03.31	対インドおよび南アジア中期計画(平成18年度下半期～平成22年度)を総合的かつ効率的に策定するため、日印交流タスクフォースを設置し、情報収集等を実施
5	各国文化交流基礎情報調査	オーストラリア ドイツ フランス ハンガリー インド イタリア 韓国 メキシコ マレーシア タイ 米国	05.05.15～ 05.07.31	国際文化交流の促進に資する目的で、海外事務所所在国の文化交流に関する基礎的な情報を国際交流基金ホームページで公開するため、11カ国分につき編集作業等を実施
6	日墨文化サミット	メキシコ	05.09.07～ 05.09.08	2004年9月にメキシコで開催された日墨首脳会談で開催が合意された、日本とメキシコの有識者によるシンポジウム「日墨文化サミット」について、外務省と協力し実施
7	海外アドバイザー	イラン 南アフリカ	06.01.01～ 06.03.31	地域の大国や文化的重要国で海外事務所がない国に海外アドバイザーを配置し、文化状況に関する基礎的な情報や、国際交流基金事業の立案・実施に関する情報を取得

1. 調査研究費	(2) ワーキング・グループ関係費
----------	-------------------

カルコン合同会議の勧告を受け、日米相互理解の促進に寄与する調査・開発を行なう。

合計額 1,033,485円

	事業名	期間	事業内容
1	プロジェクト実施費	05.04.01~05.07.31	カルコン（日米文化教育交流会議）のワーキング・グループ事業として、「次世代グローバルリーダー育成委託研究」を実施

在外事業に必要な経費

京都支部

1. 京都支部

海外事務所

1. ローマ日本文化会館
2. ケルン日本文化会館
3. パリ日本文化会館
4. ソウル日本文化センター
5. 北京日本文化センター
6. ジャカルタ日本文化センター
7. バンコク日本文化センター
8. クアラルンプール日本文化センター
9. シドニー日本文化センター
10. トロント日本文化センター
11. サンパウロ日本文化センター
12. マニラ事務所
13. ニューデリー事務所
14. ニューヨーク事務所
15. ロサンゼルス事務所
16. メキシコ事務所
17. ロンドン事務所
18. ブタペスト事務所
19. カイロ事務所

1. 京都支部

合計額 9,468,444円

(1) 主催・共催事業

	事業名	共催者	会場	都市	期間	内容
	【展示】					
1	「光と色彩の融合：DURT 森本康代ステンドグラスの世界」展	ポーラ ミュージアム アネックス	兵庫県立美術館 アトリエ1	神戸市	05.5.10～ 05.5.14	フランス・コレーズ地方の11世紀建築の教会に日本のステンドグラス作家デュルト・森本康代の作品が納められることに先立ち、作者の出身地神戸での展示会を共催。芸術を軸とした国際交流の実現を目的に企画
2	「ドイツにおける岩倉使節団－欧米に向けた日本の開国」展	久米美術館 京都ドイツ文化センター	京都ドイツ文化センター	京都市	06.2.21～ 06.3.4	「ドイツにおける岩倉使節団展」(1999年～2000年ドイツで開催)の久米美術館主催の日本巡回展。京都開催分を京都ドイツ文化センターと京都支部が共催。京都新聞社後援。ペーター・パンツァー(ボン大学日本研究所教授)監修
	【公演】					
3	国際交流のタベ－能と狂言の会	国際交流基金関西国際センター/財団法人金剛能楽堂財団	金剛能楽堂	京都市	05.10.17～ 05.10.17	関西地方在住外国人、国際交流関係者および関西センターの研修生等を招待して、日本の伝統芸能を鑑賞する機会を提供
4	中国の舞姫「胡紅侶」公演	胡紅侶公演実行委員会/KBS京都	京都会館第二ホール	京都市	05.10.23～ 05.10.23	神戸在住の中国人舞踊家 胡紅侶(こころ)の京都での初めての公演。古典、現代、民族舞踊と幅広いジャンルの中国舞踊を解説を交えて紹介
5	ロトフィ・ブシュナーク日本公演 京都公演	舞台芸術課	京都市北文化会館	京都市	06.3.23～ 06.3.23	舞台芸術課主催事業の京都開催に際し、京都支部共催にて実施。チュニアの国民的歌手として国内外で活躍するロトフィ・ブシュナークを招へいし、国内各地で公演を開催。京都公演 3/23(木)
	【講演・シンポジウム】					
6	フェローセミナー：4/21 ZHURAVSKAYA	神戸大学表現文化研究会/神戸大学国際文化学部文化政策プロジェクト/神戸大学国際文化学部	神戸大学国際文化学部 国際交流室 (E408)	神戸市	05.4.21～ 05.4.21	平成16年度フェロー、タチアナ・ジュラフスカヤ(ロシア)が「日本の工芸とデザイン－伝統と革新－」というテーマで講演。「神戸大学表現文化研究会 第9回研究例会」としてジュラフスカヤの受入機関である神戸大学の表現文化研究会との共催にて実施

京都支部

	事業名	共催者	会場	都市	期間	内容
7	フェローセミナー：5/18 GOH	-	アーバネックス 御池ビル東館 2F 会議室	京都市	05.5.18～ 05.5.18	京都大学東南アジア研究センターで、日本の経済発展と知的所有権について研究中のゴー・ベク・チェン(マレーシア)が「日本の大企業における知的財産権の情報開示」について発表
8	フェローセミナー：5/20 PETKOVA	大学コンソーシアム京都	大学コンソーシアム京都5F 第1共同研究室	京都市	05.5.20～ 05.5.20	立命館大学で日本演劇におけるジェンダー・セクシュアリティを研究中のガリア・T・ペトコヴァ(ブルガリア)が「歌舞伎におけるジェンダー構造」について発表
9	藝際公開講座～ 「花習塾」	特定非営利活動法人京都藝際交流協会	長久堂ホール	京都市	05.5.27～ 05.5.27	能に対する理解を促進するため一般向けの概説講座を開催。第1回から第3回までの講座内容を受けて、本講座では、能楽の創始者とも言われる世阿弥について、活動の全貌を通して能に関する歴史的背景を、2人のゲストを迎えて鼎談形式で実施
10	フェローセミナー：6/29 MUNOZ	京都精華大学	京都精華大学交流センター	京都市	05.6.29～ 05.6.29	京都大学法学部で研究中の刑法学者フランシスコ・ムニョス＝コンデ(スペイン)による、「ローマ規程(1998年7月にローマにおいて採択された国際刑事裁判所設立条約)後の国際刑法」に関するセミナーを開催
11	フェローセミナー：7/8 田村 恵子	神戸大学文学部 海港都市研究センター	神戸国際会館 8階4号会議室	神戸市	05.7.8～ 05.7.8	神戸大学で神戸の外国人に関しての調査・研究に従事している、田村恵子(オーストラリア国立大学/オーストラリア戦争記念館/神戸大学客員研究員)による「『外人』として生きる：戦前神戸の英国系定住者と日本」に関するセミナー
12	フェローセミナー：7/12 EDGINGTON	立命館大学国際関係学部研究・学会委員会	立命館大学衣笠キャンパス「恒心館」3F 726教室	京都市	05.7.12～ 05.7.12	立命館大学国際関係学部で研究中のデヴィッド・W・エジントン(プリティッシュ・コロンビア大学日本研究センター所長)が、「『外人』も住民です：多文化主義、日本の都市とフィールドワーク」をテーマに、日本の都市における外国人をめぐる諸問題を、多文化主義の立場からの考察に基づいた講演を実施

	事業名	共催者	会場	都市	期間	内容
13	フェローセミナー：7/16 GELLERT	日本カナダ学会 中部地区	岐阜聖徳学園大 学羽島キャンパ ス	岐阜県羽 島郡	05.7.16～ 05.7.16	岐阜聖徳学園大学で研究を行なった ジェームズ・ゲラート(短期フェロー /カナダ/レークヘッド大学英文学部 教授)による「シンデレラ的世界の 東西比較」をテーマとする英語のセ ミナー。日本カナダ学会中部地区、 愛・地球博開催記念講演会「民話の 世界とカナダ」の中のプログラムの 一環。ゲラートの講演のみ京都支部 との共催事業、「平成17年度第7回 フェローセミナー」として実施
14	フェローセ ミナー：8/3 PANG	京都精華大学	京都精華大学交 流センター	京都市	05.8.3～ 05.8.3	平成16年度基金フェローとして西南 学院大学(福岡)で来日研究中の PANG, Deliang(中国/吉林大学東 北亜研究院世界経済研究所教授・所 長)による講演「1990年代日本の公 共投資と経済成長-景気の調整機能 を中心として-」
15	フェローセ ミナー：9/1 QIN Na	神戸大学発達科 学部/神戸大学 大学院総合人間 科学研究科	神戸大学発達科 学部HCセン ター	神戸市	05.9.1～ 05.9.1	平成16年度基金フェローで神戸大学 にて生涯教育の中日比較研究を行 なっている、QIN, Na(中国)によ る「上海と大阪 二大都市における 地域社会教育に関する比較研究」に 関するセミナー
16	フェローセ ミナー：9/8 IKEDA	京都精華大学	京都精華大学交 流センター	京都市	05.9.8～ 05.9.8	平成16年度フェローで京都大学東南 アジア研究センターで研究中の池田 哲(カナダ・アルバータ大学準教授) による「岐路に立つ日本社会の歴史 社会学的考察-ストレスに満ちた不 平等社会か多様な価値を認める平等 社会か」をテーマとしたセミナーを 実施
17	フェローセ ミナー：9/20 SALOVA	京都精華大学	京都精華大学交 流センター	京都市	05.9.20～ 05.9.20	平成16年度フェローディータ・サロ ヴァ(チェコ/受入機関 京都大学 人文化科学研究科)による「日本医 学とは何か?文化史の観点から」と 題するセミナーを実施
18	フェローセ ミナー：9/30 ANANTH	京都精華大学	京都精華大学交 流センター	京都市	05.9.30～ 05.9.30	平成16年度論文フェローのプリヤ・ アナンタ(インド/受入機関 京都 大学大学院文学研究科)が「第二言 語である日本語の「とき」節のテン ス・アスペクトの習得について」を テーマに研究発表を行なった

京都支部

	事業名	共催者	会場	都市	期間	内容
19	フェローセミナー：10/7 UNGER	－	アーバネックス 御池ビル東館 2F	京都市	05.10.7～ 05.10.7	平成16年度フェローJ・マーシャル・アンガー（アメリカ・オハイオ州立大学東亜語学文学科教授/受入機関 神戸大学文学部）が、「日本語と韓国語の系統的関係」をテーマに研究発表を行なった（英語/通訳無し）
20	フェローセミナー：11/15 KRISDATHANONT	京都精華大学	京都精華大学交流センター	京都市	05.11.15～ 05.11.15	平成17年度フェロー デュアンテム・クリサダーターノント（タイ・チュラロンコン大学文学部日本語学科専任講師/受入機関 大阪大学大学院文学研究科）が、「大江健三郎『われらの時代』における女性像－女性の問題－」について研究発表
21	フェローセミナー：11/18 KLONOS	京都精華大学	京都精華大学交流センター	京都市	05.11.18～ 05.11.18	平成16年度論文フェロー ジョージ・クロノス（スタンフォード大学博士課程在学中/受入機関 大谷大学）が、「大峰山と奥駈け修行の宗教的風景」をテーマに研究発表
22	フェローセミナー：2/23 SULEYMEANOVA	－	アーバネックス 御池ビル東館 2F会議室	京都市	06.2.23～ 06.2.23	平成17年度フェローで、立命館大学文学部で研究活動中のアイダ・スレイメノヴァ（ロシア/極東国立総合大学東洋語学科助教授）が「短歌の伝統－関西地方（京都、奈良、大阪、神戸）に関する研究資料」をテーマにセミナーを実施
23	フェローセミナー：3/30 RATH	－	アーバネックス 御池ビル東館 2F会議室	京都市	06.3.30～ 06.3.30	平成17年度短期フェローで、京都府立大学大学院農学研究科で研究活動中のエリック・C・ラス（米国/カンザス大学助教授）が「近世日本料理における食べ物と空想」をテーマに発表
24	国際学術交流 ワークショップ：南アフリカ共和国と日本の大学間学術交流および国際協力に関する持続可能なネットワーク構築の展望	龍谷大学	龍谷大学深草学舎	京都市	06.4.29～ 06.4.29	北川勝彦（日本アフリカ学会会長）をはじめ、日本国内有数のアフリカ研究者を招き、長期間に渡り協力関係を持続していくための具体策等について、日本の大学と南アフリカの大学との交流関係を考えていくシンポジウムを開催

	事業名	共催者	会場	都市	期間	内容
25	【図書館運営】 国際交流情報センター（図書室を含む）	-	-	京都市	05.4.1～ 06.3.31	外国語による日本研究所ならびに国際交流基金刊行物を中心に収集、提供。所蔵資料数は、図書資料約6,500冊、購読雑誌72タイトル、日本文化紹介等16ミリ映画フィルム115点、日本文化紹介ビデオ110点。利用者は関西地区在住の外国人日本研究者、芸術家など
26	【その他】 日本料理アカデミー：フェロシップ・ワークショップ	日本料理アカデミー	辻調理師専門学校/京都市内(中央市場他)/京都市内(料亭研修)/京都市内(華道・茶道他)/辻調理師専門学校	京都/大阪	05.10.6～ 05.10.16	世界の若手料理人を京都に受け入れ、日本料理という文化を海外の人々に理解してもらうための研修事業。今回はフランス料理界で注目の若手料理人5名が、京都の老舗料亭および大阪の辻調理師専門学校で11日間研修し、最終日に公開ワークショップを実施

(2) 助成・協力事業

	事業名	協力対象団体	期間	内容
27	【後援事業】 第2回日米作家交流展	特定非営利活動法人京都藝際交流協会	05.4.5～ 05.4.13	日本および米国NPO団体の共同企画事業展。芸術交流展活動を通して日米両国の親善促進に寄与する目的で開催。本展は第2回目。開催期間中、米国より出品作家11名が来日し、京都の出品作家と交流
28	ASEM第7回外相会合京都開催記念講演会「アジアと欧州のパートナーシップのために」	京都府国際課	05.5.3～ 05.5.3	村田良平（元駐米大使/外務事務次官）、川勝平太（国際日本文化研究センター教授）による、「ひと・もの・かね・情報」の国境を超えた移動にいかに対応していくか、等についての講演
29	「市民による風流踊・歌舞伎・時代劇の継承と創生」の一環としてのドラマ制作・公演	京都文化創生実行委員会	05.6.18～ 05.6.18	文化庁助成事業「市民による風流踊・歌舞伎・時代劇の継承と創生」の一環として制作上演される創作劇「芸か恋か 阿国と山三」を映画俳優と学生、一般市民が競演して京都芸術センターで上演。実際に舞台に立つ事で、市民に伝統文化を体験してもらうことが目的
30	第5回ヤンガーアーティスト展 - 在関西芸術系大学学生連合展 -	特定非営利活動法人京都藝際交流協会	05.6.24～ 05.8.3	関西に在る芸術系大学の学生が集い、自主的に行動する作家グループ「ヤンガーアーティスト」の企画連合展。今回は現役ヤンガーアーティストによる「三步進んで二歩下がる」・「証明写真」をテーマにした展覧会と今年5回目を迎える節目の記念展をヤンガーアーティスト卒業生が行なった。参加メンバーは、大韓民国からの留学生を含む24名

京都支部

	事業名	協力対象団体	期間	内容
31	伝統への挑戦 馬国慶「拓」/田 口梅屋「印」	特定非営利活動 法人京都藝際交 流協会	05.7.22～ 05.7.31	日中間の相互理解と友好親善を促進する目的で、<拓>と<印> という日中の伝統芸術における両国作家の展覧会を行なった。両 作家は1994年北京古代建築博物館で、1996年大阪国際交流セン ターで展覧会を開催。今回は第3回目
32	小学校英語教育 国際シンポジウ ム	小学校英語教育 国際シンポジウ ム開催実行委員 会	05.8.24～ 05.8.24	先進的に小学校英語教育に取り組んでいる韓国・中国等の事情に 詳しいシンポジストを迎え、それぞれの国での取組状況を紹介。 ディスカッション・講演を通して、わが国における小学校英語教 育はどう展開していくべきかについて参加者と考える場とした
33	政義昌文彫刻展	特定非営利活動 法人京都藝際交 流協会	05.9.2～ 05.9.17	政義昌文（臨済宗南禅寺派徳林庵住職/彫刻家）の彫刻展。インド やオーストリア等、海外のシンポジウムに数多く参加。近年では 南禅寺の水路閣の傍らの石畳参道に彫刻を施した。今回は会場を 2つに設定し、ART FORUM JARFOには「地・水・火・風・空」 といった仏教の5大観をテーマにおいた抽象彫刻のオブジェ、 Gallery 3Aにはお地蔵様をモチーフとしたオブジェを展示。信仰 と藝術との調和を追及する展覧会となった
34	坂本和生展－漂 泊－	特定非営利活動 法人京都藝際交 流協会	05.9.19～ 05.9.28	「人間」をテーマに活動を続ける徳島在住の作家、坂本和生（二 紀会所属）の現在活動報告展
35	2005京都国際文 化協会エッセー コンテスト「私 の見た日本」	財団法人京都国 際文化協会	05.9.25～ 05.9.25	海外から日本を訪れた人々を対象に、エッセーコンテストを1978 年から開催。応募者には、母国やその文化と対比して、日本文化 についての独自の考えをまとめる機会になり、また優秀作品を公 開する事により、現在の日本がどう見られているのかを多くの 人々に知ってもらう事が目的
36	Le vivant nurrit du desir －生きるものは 欲望でやしなわ れている－	特定非営利活動 法人京都藝際交 流協会	05.11.9～ 05.11.20	パリ在住ハンガリー生まれのピストラの造る、曲面で構成された オブジェの展覧会。「欲望」という形無き物の体現化を試みる。 極めて女性的な色形をした彼女の作品が、見る人にどういった感 想を抱かせるのか、が主題
37	錢谷嘉康展	特定非営利活動 法人京都藝際交 流協会	05.11.21～ 05.12.4	スペイン・カルターニャ地方で制作を続ける錢谷嘉康の作品の展 覧会
38	第10回国際文化 フォーラム	財団法人京都府 国際センター	05.11.26～ 05.11.26	京都府におけるこれまでの国際的な文化交流の歴史を振り返りな がら、京都文化の国際性を検証し、歴史や伝統を踏まえ、芸術や 文化の蓄積を活かした国際交流のあり方や進め方、異文化の理解 などについて、第一線で活躍の知識人を講師に迎え、フォーラム を開催。今年は、ドナルド・キーン（米国コロンビア大学名誉教 授）の基調講演および、西島安則（財団法人京都府国際センター 理事長/元京都大学総長）との対談を実施
39	京都市国際交流 会館2005年度 「外国人のため の日本語弁論大 会」	京都市総務局国 際化推進室	05.12.4～ 05.12.4	世界文化自由都市宣言を行なった京都市が、その理想実現のため の具体的施策として、1987年以来毎年行なっている。今年で19回 目。今回は「日本での経験を生かすために」をテーマに相互理解 と国際親善の更なる促進を目的に開催

	事業名	協力対象団体	期間	内容
40	田島征彦－40年の歩み－展 PART-2 '70'80&現在	特定非営利活動法人京都藝際交流協会	06.1.8～ 06.1.31	絵本『じごくのそうべえ』原画家として著名な田島征彦本来の仕事、型染の全仕事を3期にわけて、シリーズ展で検証することを目的に企画された展覧会の第2回展。70年代・80年代と現在の仕事までを概観展示
41	「きょうと北部21世紀セミナー」(タウンミーティング「外交の窓」)	財団法人京都府国際センター	06.2.18～ 06.2.18	京都府における国際理解促進セミナーとして、府北部地域において開催。田中均(前外務省審議官/日本国際交流センターシニアフェロー)による講演会、ならびに須藤真志(京都産業大学教授)との対談を開催することにより、地域の国際理解の増進を図った。21世紀を迎え、めまぐるしく変化する世界の中で、環日本海地域を中心とするアジアのこれからの動きと日本の課題について、京都府北部の府民と共に考えた
42	沈明姫漆展－胎骨の整体－	特定非営利活動法人京都藝際交流協会	06.2.25～ 06.3.21	ロクロ引きが一般的とされる漆工芸の世界で、「巻胎技法」という遠い過去に絶えた技法を現代に復元させた唯一の作家、沈明姫の個展
43	ブリュッセル庭園の散歩	特定非営利活動法人京都藝際交流協会	06.3.25～ 06.3.31	在ベルギーの女性、パトリシア・キナード(洋画家)、愛芽(えめ)(版画家)の2人展
44	第3回「書と非書の際(きわ)～未来へ～展	特定非営利活動法人京都藝際交流協会	06.3.25～ 06.4.4	「書とは何なのか」、「書と文字はどう関わるのか」、「書と絵画の線はどう違うのか」等々、現代の書芸術を「藝際」の視角から検証する展覧会。3年間の連続シリーズ展として開催され、今回が最終回。

1. ローマ日本文化会館

合計額 118,475,765円

(1) 主催・共催事業

	事業名	共催者	会場	都市	期間	内容
1	【展示】 日本現代写真展	－	ローマ日本文化会館展示ホール	ローマ	05.4.11～ 05.5.11	日本を代表する現写真家11名による写真展。キュレーターは、2005年ベネチアビエンナーレのコミッションも務めた笠原美智子。出品作家は、石内都、岡田裕子、オノデラユキ、澤田知子、杉浦邦恵、鷹野隆大、秦如美、菱刈俊作、横溝静、元田敬三、米田知子
2	世界遺産展	－	ローマ日本文化会館展示ホール	ローマ	05.5.23～ 05.6.28	1972年にユネスコで採択された「世界遺産条約」に登録された日本国内の世界遺産を、今回は新しく追加された琉球・紀伊山地の写真も含め59点展示

	事業名	共催者	会場	都市	期間	内容
3	日本・ポーランド・イタリア建築展	ポーランド文化会館/マンガ日本美術技術センター	ローマ日本文化会館展示ホール	ローマ	05.10.5～ 05.11.4	日本・ポーランドそしてイタリアにおいて、ここ数十年特に活躍が目立っている若い世代に属する建築家の作品を紹介する展覧会。ポーランドのマンガ日本美術技術センターにて2004年に行なわれた展覧会に、イタリア人建築家の作品を加え、異なる文化的背景、建築方式の伝統の違いを持つ3カ国の建築の展覧会を開催
4	仏像写真展	－	ローマ日本文化会館展示ホール	ローマ	05.11.11～ 06.1.31	大和・奈良の仏像写真展。7世紀から13世紀までの大和を代表する写真を展示。写真は、著名な仏像写真家の小川光三
5	日本食の美展	キッコーマン(本社)	ローマ日本文化会館展示ホール	ローマ	06.2.16～ 06.3.31	日本食を自然の素材を大切にしておしゃれな追求した芸術であるとしてとらえ、この展覧会では、写真や料理道具、見本の展示を通じて、日本食における道徳と美学を紹介した
6	海外事業所企画 開発事業務(日伊建築ワークショップ2005)	－	ローマ日本文化会館講堂	ローマ	06.3.30～ 06.4.10	「移動する建築ストゥーディオ」と題し、展覧会とシンポジウムを開催。藤井博巳、櫻井義夫、R・コンティネンツァ、A・ベネデッティ、芝浦工業大学、ラクイラ大学の学生の模型作品、パネルを展示するとともに、プロジェクトに参加した学生、聴衆を交えたディスカッションを行なった
【公演】						
7	学生狂言公演	－	ローマ日本文化会館講堂	ローマ	05.4.5～ 05.4.6	ローマ大学東洋学部学生有志による「ローマKyogen一座」の新作狂言公演を行なった。『恋の骨折り』と『酔っ払いの仕返し』の二作品を上演
8	グライNDERマン公演	－	ローマ日本文化会館講堂	ローマ	05.5.6～ 05.5.6	現代パフォーマンスアートを代表するグループ、グライNDERマンの欧州巡回公演の一環として開催
9	現代音楽デュオ公演	－	ローマ日本文化会館講堂	ローマ	05.5.24～ 05.5.24	山本純子(ピアノ)、マニユエル・ズリア(フルート)、ユージェニオ・ヴァッタ(音楽監督)による現代音楽コンサート。日本やイタリアの作曲家の作品を演奏

	事業名	共催者	会場	都市	期間	内容
10	パントマイム公演	-	ローマ日本文化会館講堂	ローマ	05.10.12～ 05.10.13	佐々木博康（日本マイム研究所）によるマイム公演およびワークショップ。ルーマニアおよびギリシアを回るツアーの一環。公演では『写楽』、『津軽の旅人』等を演じた。ワークショップにはダンサー等を含む13名が参加し、マイムの指導を受けた
11	カルテットコンサート公演	-	ローマ日本文化会館講堂	ローマ	05.10.21～ 05.10.21	松永綾子、山口幸恵、懸田貴嗣、渡邊孝からなるRicreation d'Arcadiaによるバロック・古典派初期の室内楽作品の演奏会を開催
12	室内楽コンサート公演	-	ローマ日本文化会館講堂	ローマ	05.11.4～ 05.11.4	バロックから現代音楽まで幅広いレパートリーをもつ14人の若いメンバーで構成される室内楽団Le Metamorfoosi Musicaliと文化庁派遣により昨年1年間イタリアで研修を行ない、同楽団と交流を深めた小島茂隆（NHK交響楽団ビオラ奏者）によるコンサート
13	ジャズコンサート公演	-	ローマ日本文化会館講堂	ローマ	05.11.11～ 05.11.11	日本やアメリカをはじめ世界各国で活躍するジャズピアニスト・クリヤマコトと、コモブチキイチロウ（ベース）、エリック・フォード（ドラム）によるコンサート。パリ（フランス）やバッキンガム（イギリス）への欧州ツアーの一環
14	現代音楽コンサート公演	ローマ大学第三	ボローニャ音楽院ホール/ローマ日本文化会館講堂	ボローニャ/ ローマ	05.11.15～ 05.11.17	アンサンブル Musica d'Insiemeによる、欧州で活躍する若手日本人作曲家、藤倉大、望月京、杉山洋一の作品の演奏会を開催
15	尺八・琴コンサート公演	ラヴェンナ アリギエリ劇場/ローマ日本人学校	ローマ日本文化会館講堂/ラヴェンナ アリギエリ劇場/ローマ日本人学校	ローマ/ ラヴェンナ	05.12.1～ 05.12.8	米澤浩（尺八）と熊沢栄利子（琴）による、尺八と琴の演奏会。演奏だけではなく、1曲ごとに楽器の歴史や曲の紹介などの説明もあわせて行なうレクチャーデモンストレーションとした。同様のコンサートをラヴェンナに巡回させるとともに、ローマでは日本人学校の生徒向けにレクチャーデモンストレーションを行なった
16	モーツァルトに捧げるコンサート I 公演	オーストリア文化会館	ローマ日本文化会館講堂	ローマ	06.2.24～ 06.2.24	モーツァルト生誕250周年を記念し、オーストラリア文化会館の共催で日本人とイタリア人によるデュオコンサートを開催。出演は、黒田亜樹（ピアノ）、アレッサンドロ・カルボナーレ（クラリネット）

	事業名	共催者	会場	都市	期間	内容
17	モーツァルトに捧げるコンサートⅡ公演	オーストリア文化会館	ローマ日本文化会館講堂	ローマ	06.3.2～ 06.3.2	モーツァルト生誕250周年を記念して、オーストリア文化会館との共催で企画された、タカマツ・ミホ(ソプラノ)とベルナデット・トリポディ(ピアノ)によるデュオコンサート。デビッド・マックリ(作曲家)が、モーツァルト生誕250周年を記念して、日本、オーストリアそしてイタリアの3カ国を巻き込んで企画したプロジェクトのイタリア部分を成した。W.A.モーツァルト、K.Ager、J.ブラームス、團伊玖磨、Yuji Ito、近藤譲、B. Strobl、中田喜直の曲が演奏された
【講演・シンポジウム】						
18	吉田喜重監督ラウンドテーブル	—	ローマ日本文化会館講堂	ローマ	05.5.19～ 05.5.19	吉田喜重監督特集に際し、吉田喜重(監督)と岡田茉莉子(女優)を招き、土肥秀行(東京大学フィレンツェ教育研究センター)の司会により、講演会を開催した
19	俳句賞授賞式	イタリア俳句友の会	ローマ日本文化会館講堂	ローマ	05.5.27～ 05.6.28	第20回目のイタリア俳句賞授賞式にあわせ、俳句賞の歩みを振り返り、イタリアにおける俳句の受容に関するシンポジウムを開催。出席は、黒田杏子、中村和弘、岡田史乃、柴生田俊一、岩井久美恵、野尻命子、カルラ・ヴァッジオ、ジョルジョ・パトリッツィ、エドアルド・サンガイネティ
20	金原ひとみ講演会	ローマ国際文学フェスティバル	ローマ日本文化会館講堂	ローマ	05.6.8～ 05.6.8	ローマ国際文学フェスティバルに協力し、芥川賞受賞作家金原ひとみによる講演会を開催。聞き役はジャン＝ルカ・コーチ(ナポリ東洋大学「オリエンターレ」日本文学研究者)。なお、フェスティバルではイタリアで既に翻訳出版されている『蛇にピアス』および未出版の『アッシュベイビー』を紹介した
21	日本の茶の湯	チェントロ裏千家	ローマ日本文化会館講堂・竹の間・大広間	ローマ	05.10.22～ 05.10.22	チェントロ裏千家との共催により、野尻令子らによる茶道のレクチャー・デモンストレーションを行ない、また館内3カ所に茶席を計4席設け、来客に抹茶を振舞った

	事業名	共催者	会場	都市	期間	内容
22	現代音楽シンポジウム	ローマ大学第Ⅲ	ローマ大学第Ⅲ アウラ・ヴォル ピ	ローマ	05.11.16～ 05.11.16	欧州で活躍する若手日本人作曲家、藤倉大、望月京、杉山洋一の作品の演奏会を開催したのにあわせ、ローマ大学第Ⅲにおいて、学生向けに、三氏によるシンポジウムを実施
23	仏像写真展講演会	—	ローマ日本文化 会館講堂	ローマ	06.1.13～ 06.1.13	「あおによし 奈良の仏像写真展」の機会に、古代日本における仏像信仰に関する講演会を行なった。講演者は、イタリア国立東方学研究所前所長で、現在ナポリ東洋大学「オリエンターレ」の宗教・哲学学部において教鞭をとるシルヴィオ・ヴィータ
24	海外事業所企画 開発事業（現代 アジア理解セミ ナー）	ミラノ国立大学 現代アジア研究 センター	ミラノ国立大学	ミラノ	06.2.17～ 06.3.31	日本をはじめとする現代アジア情勢について、ロナルド・ドーアなどイタリア外からも、幅広い分野の専門家を招き、連続セミナーを、研究者・学生・市民向けに9回にわたって開催した
25	清水宏監督特集 講演会	—	ローマ日本文化 会館講堂	ローマ	06.2.21～ 06.2.21	清水宏監督特集上映会にあわせ、トリノ大学で教鞭をとるダリオ・トマシによる講演会を実施。新しい手法を取り入れつつ良質の作品を撮った監督について、また今回上映する作品について講演した
26	鈴木光司講演会	—	ローマ日本文化 会館講堂	ローマ	06.3.23～ 06.3.23	鈴木光司による講演会。作家論・作品論等、自らの素顔を垣間見せながら幅広い内容の講演を行なった。なお、イタリアでは『リング』、『らせん』、『ループ』に続き、『灰暗い水の底から』が最近翻訳出版され、メディアの関心が高く、国営テレビ局やラジオ局、新聞社等の取材を受けた
	【映画】					
27	吉田喜重監督特集	東京大学フィレ ンツェ研究セン ター他	ローマ日本文化 会館講堂	ローマ	05.4.26～ 05.6.21	日本ヌーベルバーグの旗手のひとり、吉田喜重監督作品の特集上映を行なった。『秋津温泉』、『嵐を呼ぶ十八人』、『日本脱出』、『水で書かれた物語』、『鏡の女たち』、『情炎』、『エロス+虐殺』、『戒厳令』、『人間の約束』の9作品を上映
28	RAI-SAT日本 映画上映会	RAI-SAT	ローマ日本文化 会館講堂	ローマ	05.6.23～ 05.6.27	衛星テレビ局Rai Sat Cinemaの協力により、『AUDITION(オーディション)』（三池崇史監督）、『エンジェル・ダスト』（石井聰互監督）、『M/Other』（諏訪敦彦監督）を上映

	事業名	共催者	会場	都市	期間	内容
29	日本のコメディ映画特集	-	ローマ日本文化会館講堂	ローマ	05.10.11～ 05.12.13	ローマ日本文化会館フィルムライブラリー所蔵作品の中から喜劇映画を8本選び連続上映を行なった。上映作品は『蒲田行進曲』（深作欣二監督）、『シコふんじゃった』（周防正行監督）、『菊次郎の夏』（北野武監督）など計9作品
30	新作伊語字幕映画特集	-	ローマ日本文化会館講堂	ローマ	06.1.17～ 06.1.31	海外フィルムライブラリー劇映画提供事業にて提供を受けた劇映画『ロボコン』（古厩智之監督）、『阿修羅のごとく』（森田芳光監督）、『美しい夏キリシマ』（黒木和雄監督）を上映
31	清水宏監督特集	トリノ映画博物館	ローマ日本文化会館講堂/トリノ映画博物館	ローマ/ トリノ	06.2.7～ 06.3.28	清水宏の没後40年に際して同監督作品の回顧映画上映会をローマ日本文化会館およびトリノ映画博物館にて実施。『有りがたうさん』、『蜂の巣の子供たち』、『風のなかの子供』等を上映。平成18年度まで継続
【日本語教育】						
32	ロンバルディア州中等教育日本語教師セミナー	ロンバルディア州教育局	Istituto Cattaneo Milano	ミラノ	05.11.9～ 06.3.31	ロンバルディア州で行なわれている高校生のための日本語教育を支援するため、文化会館派遣日本語教育専門家による日本語教師のためのセミナーを2回開催した
【図書館運営】						
33	図書館運営	-	-	ローマ	05.4.1～ 06.3.31	図書館における閲覧、貸し出し、各種照会対応サービスを行なった。年間入館者数5,218名、貸し出し冊数3,120冊、所蔵図書数:和書19,431冊、洋書12,620冊、視聴覚資料1,735部
【出版・広報】						
34	年報	-	-	ローマ	05.4.1～ 06.3.31	作成した年報の送付作業を行なった
35	事業案内	-	-	ローマ	05.4.1～ 06.3.31	会館事業を紹介する事業案内を年4回各回3,000部制作し、会館内やローマ市内の関係各所で配布するとともに、送付希望者に対して発送

	事業名	共催者	会場	都市	期間	内容
36	海外事業所企画 開発事業（俳句 シンポジウム）	イタリア俳句友 の会/チェント ロ裏千家	ローマ日本文化 会館	ローマ	05.5.27～ 05.5.28	日-EU市民交流年記念事業の一環として、これまで20年あまりにわたって発展を遂げてきた「イタリア俳句友の会」の活動を振り返るとともに、俳句の魅力さをさらに広く紹介する試みとして、過去の俳句賞公募俳句作品の入選作をまとめた「イタリア俳句の歩み」を発行
37	ホームページ	-	-	ローマ	06.1.4～ 06.3.31	ホームページのリニューアルを行った。年間アクセス件数321,500件
	【教室事業】					
38	日本語講座運営	-	ローマ日本文化 会館日本語講座	ローマ	05.4.1～ 06.3.31	2005年6月まで前年度開始の講座を実施し、2005年10月から新たな講座を開講した。4年制コースとして初級1・2、中級1・2の4学年4クラスを開講、1年制の会話コースとして1学年1クラスを開講。また、中上級コースとして、「通訳」、「新聞を読む」等のコースを開講。年間受講者数264名
	【その他】					
39	ローマの白夜	-	ローマ日本文化 会館展示場/講 堂	ローマ	05.9.17～ 05.9.22	ローマ市主催のLa Notte Biancaに参加し、「日本伝統文化の夜」と題し、生け花、墨絵、書道、友禅染の展示(22日まで)および、各分野の経験豊かな指導者によるワークショップとデモンストレーションを開催。同時に、日本文化に関するドキュメンタリービデオの上映と、日本庭園の開放およびガイドによるツアー、また深夜12時から日本映画2本の上映会を実施

(2) 助成・協力事業

	事業名	助成対象団体	期間	内容
	【助成事業】			
40	ガルダ美術館カ タログ作成	ガルダ美術館	05.4.1～ 05.12.31	イブレア所在のガルダ美術館が、所蔵する日本関係の古美術品のカタログを制作するにあたりその経費の一部を助成
41	ALICE NELLA CITTA' 助成金	ALICE NELLA CITTA'	05.5.25～ 05.5.30	ローマの子供映画フェスティバルALICE NELLA CITTA'が日本映画『スチーム・ボーイ』を上映するに際し、その経費の一部を助成

海外事務所

	事業名	助成対象団体	期間	内容
42	FUJI会/田嶋コンサート助成金	FUJI会	05.7.1～ 05.7.1	ブレーシャの日伊友好協会であるF U J I 会が、邦楽コンサートを実施するにあたって、その経費の一部を助成
43	ヴェネツィア大学日本文化紹介事業	ヴェネツィア大学東アジア研究学部	05.10.6～ 05.12.7	ヴェネツィア大学東アジア研究学部が日本映画上映をはじめとする日本紹介事業を実施するにあたりその経費の一部を助成
44	ポルデノーネ無声映画祭	ポルデノーネ無声映画祭	05.10.8～ 05.10.20	ポルデノーネ無声映画祭において日本映画特集を開催するにあたってその経費の一部を助成
45	シエナ外国人大学日本語学研究会	シエナ外国人大学日本語学研究会	06.3.9～ 06.3.9	シエナ外国人大学において、「日本研究の日」と題する日本紹介行事が実施されるにあたって、その経費の一部を助成
46	【その他】 AIDLG=イタリア日本語教育協会	イタリア日本語教育協会	06.3.17～ 06.3.18	イタリア日本語教育協会が研修会を開催するにあたり、館長および日本語教育専門家、日本語事業担当職員が出張し、研修会を視察するとともに関係者と意見交換を実施

2. ケルン日本文化会館

合計額 123,562,773円

(1) 主催・共催事業

	事業名	共催者	会場	都市	期間	内容
	【展示】					
1	現代日本の絵本展	ベルリン日独センター	ケルン日本文化会館	ケルン	05.4.15～ 05.6.3	現代日本の子供向けの絵本の多くには、伝統文化に根づいた様々な独特の表現方法やテーマを見出すことができ、芸術的にも教育的も高い水準に達している。ベルリン日独センターの企画による本展は、島多代(国際児童図書評議会前理事)が選んだ、20世紀の日本を代表する絵本作家の作品展
2	対話展 奥井ゆみ子・Raimund Kaiser	—	ケルン日本文化会館	ケルン	05.6.17～ 05.7.29	二人の画家による対話展。日々目にする風景の中ではっとさせられる瞬間を描くという奥井ゆみ子と、『色彩』そのものをキャンバスで表現するRaimund Kaiserが、対照的な表現で魅力的な空間を創り出した

	事業名	共催者	会場	都市	期間	内容
3	橋口譲二『1991-1995職』展	-	ケルン日本文化会館	ケルン	05.9.2～ 05.10.14	橋口譲二（写真家）は、1987年から日本の様々な場所で生きる人々のポートレートを意識的に撮ると同時に、一人一人の言葉を記録してきた。本展では、多様な職業に従事するベテランと新人の姿と、それぞれの仕事に対する思いを表現。9月2日のオープニングでは、橋口自身のレクチャーも実施
4	対話展 湯川雅紀・Volker Saul	-	ケルン日本文化会館	ケルン	05.10.26～ 05.12.22	国際的に活躍中の湯川雅紀（画家）と、Volker Saul（彫刻家/画家）の二人展
5	ケルン美術館の長い夜	StadtRevue出版/ケルン市	ケルン日本文化会館	ケルン	05.11.5～ 05.11.6	ケルン市内の40以上の美術館が参加する催し「ケルンの美術館の長い夜」（5日の19：00～翌03：00）に、ケルン日本文化会館も開催会場として参加し、湯川雅紀・Volker Saulの展覧会に加え、伝統および現代の邦楽演奏を、20：00～、21：30～、23：00～の3回行なった
6	日独学生交流ポスター展	ケルン・エコサイン造形アカデミー/ベルリン日独センター	ケルン日本文化会館/ベルリン日独センター	ケルン/ ベルリン	06.1.13～ 06.6.30	デザインを学ぶ日独の学生が相手の国に持つイメージを表現したポスターの展覧会。キュレータのHelmut Langer（名古屋芸術大学デザイン学部客員教授/ケルン・エコサイン造形アカデミー講師）の指導のもとで、両国の学生同士が会って、Eメールで意見交換をしながら作り上げたもので、日独の表現方法の違いや特徴が現れていることが興味深いプロジェクト。ベルリン日独センターとの共同事業
7	Global Players 日本とドイツの現代アーティスト展	ゲーテ・インスティトゥート/日独アート交流プロジェクト展実行委員会/ルードヴィヒフォーラム現代美術館	ルードヴィヒ・フォーラム現代美術館	アーヘン	06.1.27～ 06.3.26	「日本におけるドイツ年2005/2006」の行事の一環として開催された、日本とドイツの現代アーティストによる芸術交流プロジェクトは、ドイツの作家の個展形式によって札幌、東京（銀座）の12画廊にて同時開催からスタートした。その後横浜のBankART1929等で開いた日独作家26組によるグループ展がアーヘンでも実施
8	大和の仏像写真展	ローマ日本文化会館	ケルン日本文化会館	ケルン	06.3.12～ 06.5.19	7世紀から13世紀までの大和を代表する仏像の写真展。写真は、奈良県出身の古代史家で、仏像写真の第一人者である小川光三によるもの。ローマ日本文化会館所蔵の新規巡回展

海外事務所

	事業名	共催者	会場	都市	期間	内容
9	Kugelblitz展	ゲーテ・インスティテュート/ ドイツ外務省等	ドイツ外務省 /Neurotitan Gallery/ Comicsalon Erlangen/ケル ン日本文化会館	ベルリン /エアラ ンゲン/ ケルン	06.3.23～ 06.10.28	日独のマンガ、コミック、イラスト レーションの分野で活躍するアー ティスト集団モガモボ（ベルリン） とノウノウハウ（東京）によるコラ ボレーション・プロジェクト
	【公演】					
10	現代音楽コン サート	ケルン新音楽協 会/西部ドイツ 放送局	ケルン日本文化 会館	ケルン	05.4.28～ 05.4.28	1991年に結成されて以来、現代音楽 や実験音楽に精力的に取り組んでい るトゥルムヒェン・アンサンブル (Thuermchen Ensemble) の日本現 代音楽家（山口恭子/岸野末利加/近 藤譲/伊藤弘之/田中聰/川上法子） 作曲作品の演奏
11	グライNDERマ ン・パフォーマ ンス	—	ケルン日本文化 会館	ケルン	05.5.11～ 05.5.11	コンテンポラリー・アートやエン ターテイメントのジャンルを超えて 活躍中のパフォーマンス・グループ 「グライNDERマン」の公演。
12	声明公演	musik+konzep t e.V./西部ドイ ツ放送局/ケル ン市	クリストゥス教 /ザクト・マ リア・イム・カ ピトル教会	ケルン	05.7.6～ 05.7.6	宗教儀礼としてだけではなく、独自 の音楽としても注目されている、仏 教声楽曲である「声明（しょうみよ う）」のグループ、真言宗豊山派「迦 陵頻伽（かりょうびんが）声明研究 会」が、「ケルンのロマネスクの夏 (Romanischer Sommer Koeln)」音 楽祭参加し公演
13	邦楽コンサート	—	ケルン日本文化 会館	ケルン	05.7.12～ 05.7.12	田嶋直士（尺八）、菊原光治（三弦）、 菊央雄司（三弦）、菊知恵美子（箏） による『たぬき』（作者不詳）、『散華』 （前田智子作曲）、『鶴の巢籠』（海童 道道曲）、『八重衣』（石川勾当作曲） の演奏
14	民謡コンサート	SK財団/ケルン 市/ケルン独日 協会/西部ドイ ツ放送局	ケルン日本文化 会館	ケルン	05.7.27～ 05.7.27	山本扶美枝（民謡歌手）が『からめ 節』、『ちゃっきり節』、『信濃追分』、 『津軽あいや節』、『北海盆唄』など、 各地の庶民の間で引き継がれてきた 『民の唄』を紹介。7月から8月にか けてケルン市内の屋外会場を中心 に行なわれた「ケルンの夏（Sommer Koeln）」参加事業として実施

	事業名	共催者	会場	都市	期間	内容
15	箏コンサート	—	ケルン日本文化会館	ケルン	05.9.9～ 05.9.9	二十絃箏、二十五絃箏と、つねに新しい楽器とその可能性を追求してきた、野坂恵子が、『津軽』（野坂恵子作曲）、『さむしろ -二十五絃のために-』（高橋悠治作曲）、『浮舟 -水たぎる宇治の川辺に-』（広瀬量平作曲）、『Fantasia mystica』（浦田健次郎作曲）、『琵琶行 -白居易の興に效つ-』（伊福部昭作曲）という現代邦楽曲を演奏
16	講談公演	—	ケルン日本文化会館	ケルン	05.9.20～ 05.9.20	歴史上の事件やエピソードをわかりやすく、おもしろく語る話芸である講談。人間国宝の講談師である一龍斎貞水が、講談について手ほどきした後、小泉八雲の『日本雑録』より『破られた約束』を公演
17	ジャズ・ピアノ×2コンサート	JAZZamRhein e.V./ケルン音楽大学	ケルン日本文化会館	ケルン	05.9.21～ 05.9.21	ベンジャミン作曲賞を受賞し近年は即興演奏の分野でアクティブに活動する三宅榛名と、ドイツ批評家レコード賞を5度受賞したベルリン在住の高瀬アキ。世界を舞台に活動する二人のジャズ・ピアニストによるダブル公演
18	コンテンポラリー・ダンス公演	キュンストララーハウス・ムゾントゥルム	ムゾントゥルム	フランクフルト	05.10.1～ 05.10.2	「TOYOTA CHOREOGRAPHY AWARD 2003」の「次世代を担う振付家賞」、「オーディエンス賞」を受賞するなど、今、注目のコレオグラファー&ダンサーである黒田育世を中心とするコンテンポラリーダンスグループによる「SHOKU -full version-」のドイツ初演
19	Contagious Orgasm公演	Kulturbunker Muelheim e. V.	クルトウア・ブンカー	ケルン	05.10.4～ 05.10.4	電子音、サンプリングなどを織り交ぜた、実験音楽グループContagious Orgasmの公演
20	雅楽公演	—	ケルン日本文化会館	ケルン	05.10.13～ 05.10.13	古典はもとより、廃絶曲の復曲演奏、正倉院復元楽器による合奏、また、現代作品の演奏を手がけ、国立劇場をはじめとする演奏会に出演するほか、海外での評判も高い雅楽団体・伶楽舎が、『太食調音取』『朝小子』『抜頭』（管絃）、『納曾利』（舞楽）、『時の静寂』（佐藤總明作曲）、『凜刻』（猿谷俊郎作曲）を演奏

	事業名	共催者	会場	都市	期間	内容
21	ケルン音楽の長い夜	ケルン市	ケルン日本文化会館	—	05.10.22～ 05.10.22	ケルン市内の20以上の会場のいくつかを渡り歩き、幅広いジャンルの音楽を楽しむ催し「ケルンの音楽の夜 (Koelner Musiknacht)」に参加し、ヴァイオリン、ピアノ、俳句朗読による現代音楽演奏を行なった
22	梅若研能会公演	ケルナー・フィルハーモニー/ 西部ドイツ放送局	ケルナー・フィルハーモニー	ケルン	05.10.28～ 05.10.28	国内外で高い評価を得ている観世流演能団体・梅若研能会が、12年ぶりにケルナー・フィルハーモニーで『井筒』、『瓜盗人』、『安達原』を公演
23	日本伝統音楽公演	StadtRevue出版/ケルン市	ケルン日本文化会館	ケルン	05.11.5～ 05.11.5	ケルン市内の40以上の美術館が参加する催し「ケルンの美術館の長い夜」(5日の19:00～翌03:00)に、ケルン日本文化会館も開催会場として参加し、湯川雅紀・Volker Saulの展覧会に加え、伝統および現代の邦楽演奏を、20:00～、21:30～、23:00～の3回行なった
24	ジャズ・ピアノ・コンサート	ケルナー・シュタットアンツァイガー紙/ケルン文学の家	ケルン日本文化会館	ケルン	05.11.9～ 05.11.9	著名な文学作品をひとつ選び、その作品や作家に関連する催しをケルン市およびその近郊の町で行なうフェスティバル「町のための本 (Ein Buch fuer die Stadt)」に村上春樹『国境の南、太陽の西』が選ばれた。このフェスティバル参加事業として、日本で人気を博するジャズ・ピアニストのクリヤ・マコトを迎え、作品に登場する音楽をモチーフにしたジャズ・ピアノ・コンサートと同作品の朗読を組み合わせた「文学+JAZZコンサート」を行なった
25	モノオペラ『鶴』公演	—	ケルン日本文化会館	ケルン	05.11.29～ 05.11.29	米澤浩(尺八)、熊沢栄利子(二十絃箏)、ルース・ガブリエル(ソプラノ)、ヨハネス・クトロヴァッツ(ピアノ)が、『モノオペラ～鶴～』(蓬莱泰三脚本/三木稔作曲/ラート昭子ドイツ語翻訳/秋岸寛久編曲)のほか、『双魚譜』(吉松隆作曲)、『絵馬』(長沢勝俊作曲)などの演奏を行なった
26	日本の歌曲コンサート	—	ケルン日本文化会館	ケルン	06.2.10～ 06.2.10	日独で活躍中の永田峰雄(テノール)と田中あかね(ピアノ)により、別宮貞雄(べっくさだお/1922年～)作曲の『歌曲集「白い雄鶏」』(詩:萩原朔太郎)、『ピアノのためのソナチネ』、『組曲:にしきめがね』、『歌曲集「智恵子抄」』(詩:高村光太郎)(世界初演)の公演を実施

	事業名	共催者	会場	都市	期間	内容
	【講演・シンポジウム】					
27	日本の仏教彫刻 講演会・ワーク ショップ	ケルン市東洋美 術館	ケルン日本文化 会館/ケルン東 アジア美術館	ケルン	05.4.27～ 05.4.28	根立研介（京都大学教授）が、鎌倉時代前期を中心に主要仏教彫刻作品を紹介し、またその造形の特徴や、それを生み出した社会的背景について講演。講演会ならびにワークショップでは日本彫刻史研究の新しい研究動向についても紹介。ケルン日本文化会館においては講演会、ケルン東アジア美術館では専門家・研究者を対象としたワークショップを行なった
28	大江健三郎朗読 会	ケルン文学の家 /フィッシャー 出版社	ケルン日本文化 会館	ケルン	05.9.14～ 05.9.14	2005年8月に大江健三郎の『取替え子（チェンジリング）』がドイツ語翻訳出版（『Tagame. Tokio-Berlin』S.Fischer出版社）されたことを機に「ケルン文学の家（Literaturhaus Koeln）」と共催で朗読会を開催
29	山崎朋子講演会	ボーフム大学/ 森鷗外記念館/ ミュンヘン大学	ケルン日本文化 会館/ボーフム 大学/森鷗外記 念館 /International Center for Science and Humanities	ケルン/ ボーフム /ベルリ ン/ミュ ンヘン	05.10.19～ 05.10.26	1972年に出版された『サンダカン八番娼館』のドイツ語版出版を機に、著者の山崎朋子を招へいし、ドイツ4カ所で講演会およびディスカッションを行なった
30	鈴木光司朗読会	ミュンヘン独日 協会/ミュンヘ ン大学日本セン ター	ケルン日本文化 会館/ゲーテ フォーラム （ミュンヘン）	ケルン/ ミュンヘ ン	06.3.20～ 06.3.22	ドイツで近年鈴木光司の著作である『リング』や『らせん』の翻訳が出版され、またこれらに基づく映画が公開されたのを機に、著者である同氏を招へいし『らせん』の朗読会を開催。ミュンヘン独日協会やミュンヘン大学日本センターの協力により、ゲーテ・インスティトゥート本部のゲーテ・フォーラム（ミュンヘン）においても実施
	【映画】					
31	是枝裕和監督特 集	RapidEyeMovies 社	ケルン日本文化 会館	ケルン	05.4.4～ 05.4.26	是枝裕和監督の長編劇映画4本、および商業映画館では上映されない短編ドキュメンタリー4作品を上映。また、カンヌ国際映画祭で受賞した『誰も知らない』の配給会社（RapidEyeMovies社）と共催で、そのドイツ全国公開に先立ち、2005年4月5日にケルン日本文化会館にてプレミア上映を行なった

	事業名	共催者	会場	都市	期間	内容
32	鈴木清順監督特集	ニッポン・コネクション	ケルン日本文化会館	ケルン	05.5.2～ 05.7.28	『港の乾杯』、『野獣の青春』、『殺しの烙印』、『陽炎座』、『ピストルオペラ』等、鈴木清順監督の映画11作品の上映
33	内田吐夢監督特集	フランクフルト映画博物館	ケルン日本文化会館/フランクフルト映画博物館	ケルン/ フランクフルト	05.09.08～ 06.2.22	『土』、『血槍富士』、『大菩薩峠』、『恋や恋なすな恋』、『宮本武蔵』等、内田吐夢監督の映画16作品の上映
34	日系ブラジル人映像特集	ケルンメディア芸術大学	ケルン日本文化会館	ケルン	05.11.11～ 05.11.18	日本人（沖縄人）を先祖や親戚に持つ2名のブラジル人映像作家の作品の紹介。Roberto Manhaes Reisはインタビューを中心とするドキュメンタリー映画、日系3世のMarcia Vaitsmanは沖縄の神話をベースにした芸術的映像という異なるアプローチで、それぞれのアイデンティティの模索を表現。3日間に亘り作品上映および作家とのディスカッションと実施
35	黒澤明監督特集	－	ケルン日本文化会館	ケルン	06.2.6～ 06.2.20	西ドイツ放送局（WDR）が2006年2月6日から12日まで実施した『日本特集』の関連企画として、『羅生門』、『七人の侍』、『生きる』、『用心棒』等、黒澤明監督の映画6作品を上映
36	新着映画特集	－	ケルン日本文化会館	ケルン	06.3.2～ 06.4.27	ケルン日本文化会館フィルムライブラリーの新作作品『萌の朱雀』、『森の学校』、『阿修羅のごとく』、『わたしのグランパ』、『美しい夏キリシマ』、『にあんちゃん』、『ルイズその旅立ち』、『ベアテの贈り物』を上映
	【日本語教育】					
37	日本語教育アドバイザー 近隣諸国日本語教育機関支援	－	－	－	05.4.1～ 06.3.31	日本語教育アドバイザーをベルギー、スイスの日本語教師会セミナーに派遣
38	日本語教育アドバイザー 各州日本語教育事情調査	－	－	－	06.4.1.～ 06.9.30	日本語アドバイザーと外部専門家の提携・協力により、ドイツの中等教育における日本語教育の現状を調査。各州政府に対するアンケート、日本語教育を行なう各種学校での聞き取りを中心に、州政府による政策的な制約、日本語教師が抱える問題、今後の展望および日本側関係機関への要望を調査

	事業名	共催者	会場	都市	期間	内容
	【図書館運営】					
39	図書館運営	-	ケルン日本文化会館	ケルン	05.4.1～ 06.3.31	図書の貸し出し、参考調査(611件)、ドイツ語圏日本資料図書館連絡会を開催。収蔵資料数：書籍20,243冊、雑誌234タイトル、視聴覚資料7,195点。入館者数：3,668名。貸し出し図書冊数：2,824冊
	【出版・広報】					
40	会館催し物案内発行	-	-	-	05.4.1～ 06.3.31	会館の催し物、日本語講座、図書館、助成・協力事業について、事業案内パンフレットを隔月毎に年5回発行(毎回8,000部)
41	ホームページ	-	-	-	05.4.1～ 06.3.31	ホームページの運営。ドイツ語、日本語の2言語で、国際交流基金およびケルン日本文化会館の紹介や、会館事業、日本語講座、図書館等の案内、オンライン書籍注文、その他日本関連情報のリンクなどを掲載。 URL: www.jki.de
	【教室事業】					
42	日本語講座	-	ケルン日本文化会館	ケルン	05.4.4～ 06.3.16	半期制。それぞれ日本語紹介コース(2時間4回)、本コース(2時間26回または13回)を実施。準備コースは初心者のみ2クラス、本コースは初心者から上級者9レベル11クラスを開講

(2) 助成・協力事業

	事業名	助成対象団体	期間	内容
	【助成事業】			
43	イケムラレイコ展	レックリングハウゼン市クンストハレ	04.9.18～ 05.4.25	レックリングハウゼン、カイザースラウテルンおよびウルムの3市にて、国際的に著名な芸術家・イケムラレイコの個展を実施。カタログ制作費への助成
44	企画開発型事業 ベルリン日独センター出版プロジェクト	ベルリン日独センター	05.4.1～ 05.9.30	ベルリン日独センターが企画出版した「Bruckebauer Pioniere des japanisch-deutschen Kulturaustausches—日独交流の架け橋を築いた人々」の出版経費を一部助成
45	増山士郎「10 Years Project」展	CAI Contemporary Art International Hamburg	05.4.11～ 05.5.22	ベルリンで活動している増山士郎(東京出身/アーティスト)の個展。カタログ制作費に対する助成

海外事務所

	事業名	助成対象団体	期間	内容
46	日本の刀装具 講演会・ワーク ショップ	ハイデルベルク 大学東洋美術史 研究所	05.5.8～ 05.5.14	フランクフルト工芸美術館所蔵の日本美術品の検証と調査のために訪れた原田一敏（東京国立博物館上席研究員）による講演会およびワークショップ。旅費・滞在費に対する助成
47	ケンペルの植物 図譜研究	ミュンヘン大学 歴史・自然学研 究所	05.6.1～ 05.10.31	ケンペル（Engelbert Kaempfer）の「日本植物図譜」に関する研究。1712年にドイツで出版された同書に、注釈や現代語訳、日本語表記を付す作業に掛かる謝金を助成
48	安藤由佳子 パ フォーマンス 「aus der Dampfzeit」	メンヒェングラ ドバッハ・アブ タイ美術館	05.6.5～ 05.6.5	ドイツ・ラインラント地方を中心に活躍中の安藤由佳子（芸術家）による音楽・美術のパフォーマンス。広報費に対する助成
49	文明開化の日本 展	リュウベック民 族学博物館	05.7.22～ 05.12.31	長かった鎖国の後、西洋文化を取り入れた江戸時代後期から明治時代にかけての日本の歴史をひも解く展覧会。美術品・刀装具・武具・写真等1,000点を展示。広報費に対する助成
50	日独大工職人交 流「削ろう会」	日独「削ろう会」 実行委員会	05.8.3～ 05.8.5	日本とドイツの大工職人の交流事業。各々の国の伝統的な大工道具の実演を行い、技術を伝授しあった。旅費、広報費に対する助成
51	オノ・ヨーコ展	現代美術館 ヴェーレン財団 （パッサウ市）	05.8.5～ 05.10.23	芸術家オノ・ヨーコの、ドイツ初の個展。50年代後半から現在までの、160作品を展示。オノ本人によるパフォーマンスも実施。旅費、広報費に対する助成
52	鳥井美知子 書 道展	oko画廊	05.9.24～ 05.10.20	「日展」に7回出展し、読売新聞社賞受賞の書道家・鳥井美知子の展覧会。「アジア・太平洋週間」にも参加。謝金、旅費、広報費に対する助成
53	飯沼英樹展	エルンスト・ バーラッハ協会	05.11.12～ 05.12.11	ドイツ表現主義の彫刻家にちなんだバルラハ賞の2005年度受賞者であり、若手彫刻家の飯沼秀樹の展覧会。謝金と旅費への助成
54	アーゼナル・黒 澤明監督特集	ベルリン映画友 の会・アーゼナ ル	06.1.24～ 06.1.31	黒澤明監督の作品『羅生門』、『乱』、『七人の侍』の上映。会場はベルリンのアーゼナル映画館。上映権料、プリント借料に対する助成
【文化備品・視聴覚資料貸出】				
55	文化備品貸し出 し	－	05.4.1～ 06.3.31	ドイツ国内外の機関等に、ケルン日本文化会館所蔵の文化備品（茶道具、衣桁等）の貸し出しを行なった
56	所蔵展覧会貸し 出し	－	05.4.1～ 06.3.31	ケルン日本文化会館が所有する展覧会セット（日本人形展/「大和路」展/世界遺産展等6セット）の貸し出し。貸し出し先は、ミュンヘン、ハンブルク、キール（3件）、ドナウ・エッシンゲンおよびルクセンブルクとチュニジアの8件
57	フィルムライブ ラリー	－	05.4.1～ 06.3.31	ケルン日本文化会館が所蔵する劇映画（158作品）および文化映画（117作品）を、ドイツ語圏の大学や博物館等外部機関における非営利上映のために提供した。外部施設での上映回数は118回、延べ118本

3. パリ日本文化会館

合計額 473,858,442円

(1) 主催・共催事業

	事業名	共催者	会場	都市	期間	内容
	【展示】					
1	伊万里展	ファエンツァ国際陶芸博物館	パリ日本文化会館展示ホール	パリ	04.11.26～ 05.4.2	「伊万里の誕生から発展」(18件22点)、「將軍の磁器とヨーロッパ王侯向けの磁器」(40件44点)、「ヨーロッパ向け伊万里の名品」(25件33点)、「伊万里を写したヨーロッパ陶磁器」(14件14点)と4部構成で、古伊万里から欧州で伊万里の影響を受けた陶器までを通観する展覧会。大橋康二(佐賀県立九州陶磁文化館副館長)を監修者として、が日本国内から58件66点、欧州から39件47点を集め、ファエンツァ、パリ日本文化会館、ベルギー王立歴史博物館と巡回させた(国際交流基金ファエンツァ国際陶芸博物館(在イタリア)の共催)
2	広重展	株式会社栄光教育文化研究所	パリ日本文化会館展示ホール	パリ	05.5.14～ 05.7.9	歌川広重のコレクションを有する東京の株式会社栄光教育文化研究所と共催でジャポニズムの中心的役割を担った広重が描いた「江戸名所百景」119点と、その対象となった今日の現地写真を併せて展示、歌川豊国による広重の肖像1点の合計120点の作品を一挙に展示した。会期初めに復刻版の版画刷り実演デモンストラーションを併せて実施
3	JETAA写真展	—	パリ日本文化会館玄関ホール	パリ	05.6.28～ 05.7.9	日本でのJETプログラム経験者が組織するNGOである、JETAA(JETプログラム同窓生協会)のメンバーから、滞在中に撮った日本を題材にした写真展を募り、優秀作品を展示し、「日-EU市民交流年」にちなんで、パリ日本文化会館を皮切りに欧州数カ国を巡回した。財団法人自治体国際化協会(CLAIR)パリ事務所が協力

	事業名	共催者	会場	都市	期間	内容
4	三輪華子展	日欧文化交流協会/財団法人セゾン現代美術館/財団法人セゾン文化財団	パリ日本文化会館地下3階フォワイエ	パリ	05.9.29～ 05.10.8	パリ日本文化会館と日欧文化交流協会(AJEEC)との共催によるインスタレーション展。三輪華子は萩焼きの名門三輪窯の直系に生を受けた新進気鋭の現代陶芸家。萩の土を用いた陶のオブジェによるインスタレーションで、蓮の花をモチーフにしたもの。パリにおける外国文化週間参加企画
5	妖怪展	特別協力：S2(エスツー)コーポレーション	パリ日本文化会館	パリ	05.10.25～ 06.1.28	国際交流基金主催展/日本美術に描かれた妖怪や化け物を題材とした美術展。葛飾北斎や歌川国芳を中心とした浮世絵や絵巻物を中心に、アニメズムに通じる日本文化の重要な要素である超自然界の妖怪・化け物の類を紹介し、それが現代アートや妖怪を扱ったマンガ作品(水木しげる等)漫画・アニメーションにどうつながって行くかを目に見える形で提示し、「おかしくて可愛い」妖怪の姿を紹介
6	「日本におけるクロードル」写真展	クロードル没後50年記念企画委員会	パリ日本文化会館玄関ホール	パリ	05.11.2～ 05.12.23	ポール・クロードル没後50周年を記念し、関東大震災の前後に外交官として日本に駐在した作家クロードルの姿を収めた写真に解説を付して展示
7	棟方志功展準備(在外事業費)	大原美術館	-	パリ	06.1.1～ 06.3.31	平成18年度に実施を検討している「棟方志功展」の準備に係る経費(資料購入等)
	【公演】					
8	JERICHO	劇団「地点」	パリ日本文化会館大ホール	パリ	05.4.20～ 05.4.23	松田正隆脚本、三浦基演出、内田順子、ピエール・カルニオ出演の現代劇。妹を探しにポーランドからやって来た女が、ジェリコに向かう砂漠で道に迷い、負傷した男と出会う。やがて彼女は自身のことを語り始めるという筋立てで、男女の深層心理を描いた
9	狂言-風刺の感興	ARTA(俳優伝統研究協会)	パリ日本文化会館大ホール	パリ	05.4.29～ 05.4.30	茂山七五三、宗彦、逸平出演。狂言の風刺的側面に着目し、古典『瓜盗人』、フランスの笑劇を元に50年代に書かれた新作狂言『濯ぎ川』、19世紀末フランス風刺劇の古典である『ユビュ王』の一部を狂言版として上演

	事業名	共催者	会場	都市	期間	内容
10	Grinder-man -"Binary Rider 2005"	-	パリ日本文化会 館大ホール	パリ	05.5.20～ 05.5.21	様々なメディアを駆使するパフォーマンス集団グラインダーマンによる作品上演。銅鉄製アイテムを身に付け、テクノミュージック、匿名性を強調した衣装を基に、形而上のデジタル世界におけるバイナリーコード(0/1という数値)と、形而下の現実世界における対になるイメージ(男/女、白/黒、生/死、等)を、映像やダンス等の様々な要素を通じて、ユーモアも交えて描いた
11	能-『綾鼓』/『五輪書』	狩野琇鵬能楽研究所	パリ日本文化会 館大ホール	パリ	05.6.20～ 05.6.21	喜多流狩野派の狩野琇鵬ほかによる能公演。1日目は狂言『悪坊』、能『綾鼓』。2日目は狂言『清水』、新作能『五輪書』。なお2日目は、フランスを挙げての音楽の祭典(Fete de la musique)参加企画
12	石の歌-ツトム・ヤマシタ・コンサート	ツトム・ヤマシタ芸術研究所	パリ日本文化会 館大ホール	パリ	05.6.3～ 05.6.4	70年代に世界的パーカッショニストとなりアヴィニヨン演劇祭をはじめ欧米を中心に活躍したツトム・ヤマシタによる、サヌカイト(世界で讃岐地方でのみ採取される極めて共鳴性の高い火山岩)を使った楽器でのオリジナル仏教音楽の演奏
13	J-Dance / BATIK 『SHOKU』	-	パリ日本文化会 館大ホール	パリ	05.10.6～ 05.10.8	日本の新進ダンサー・振付家を紹介する企画。出演は、トヨタ・コレグラフィック・アワード「次代を担う振付家賞」(2003年度)、朝日舞台芸術賞(2004年度)などの受賞者で、近年内外で最も注目されている振付家・ダンサーである黒田育世主宰のBATIK。作品は同カンパニーの代表作として評価の高い『Shoku』の最新改訂版
14	J-DANCE 05/ Baby-Q+岡本 真理子	財団法人横浜市 芸術文化振興財 団	パリ日本文化会 館大ホール	パリ	05.10.14～ 05.10.15	日本の新進ダンサー・振付家を紹介する企画。出演は、トヨタコレオグラフィックアワード「次代を担う振付家賞」(平成16年度)および横浜ダンス・コレクション「未来へはばたく横浜賞」受賞者である東野祥子を中心とするダンス・パフォーマンス・グループBABY-Qと、横浜ダンス・コレクション・「若手振付家のための在日フランス大使館賞」受賞(平成17年度)の岡本真理子

	事業名	共催者	会場	都市	期間	内容
15	能－梅若万三郎 『恋重荷』	梅若研能会	パリ日本文化会館大ホール	パリ	05.11.3～ 05.11.4	観世流梅若万三郎率いる梅若研能会による本格的能公演。狂言『雷』と、能『恋重荷』を上演。同時期に、同氏の出演した能に関するドキュメンタリー（独仏共同出資のTV会社 arte制作）『能－沈黙の謎』も上映
16	JAZZY COLORS	在パリ外国文化機関有志（17カ国）	パリ日本文化会館大ホール/スウェーデン文化センター	パリ	05.11.15～ 05.11.27	在パリ外国文化機関有志共催、チェコ、フィンランド、ハンガリー、スウェーデン、スイスの各文化センターを会場に、各国のミュージシャンが出演する、今年3回目の国際色豊かなジャズ週間企画のオープニング企画として、パリ日本文化会館において、各国の参加ミュージシャンを一同に集め、フランスを代表するドラマーであるダニエル・ユメール指揮による特別バンド公演を実施。日本からはクリヤ・マコト（ピアノ）が参加
17	牡丹灯籠	－	パリ日本文化会館小ホール	パリ	05.11.26～ 05.11.26	妖怪展開連企画。日本文化を咀嚼して独自の世界を築いて好評のフランスの劇団Lili Bömによる牡丹灯籠の一人芝居。日本の古典作品に対しての日本的な表象に加えて、フランス演劇の古典的様式を加味したオリジナル作品の上演
18	日本のピアノの 若き才能	YAMAHA	パリ日本文化会館大ホール	パリ	06.2.17～ 06.2.18	ヨーロッパで活躍している若手日本人演奏家によるクラシック・コンサート。ヤマハとの協力のもと、ピアノを中心に、ソロや四重奏など様々な形態で、将来有望な演奏家を紹介する企画。出演は、第1日目：萩原麻未（ピアノ・ソロ）、大崎結真（ピアノ・ソロ）、成嶋志保（ピアノ・アンサンブル）、第2日目：吉田友昭（ピアノ・ソロ）、泉ゆりの（ピアノ・ソロ）、島田彩乃（ピアノ・アンサンブル）
19	パリ寄席	社団法人落語芸術協会	パリ日本文化会館大ホール	パリ	06.3.10～ 06.3.11	落語芸術協会によるパリ寄席公演。日本の伝統芸能を総合的に紹介。出演は、桂歌丸、三笑亭茶楽、桂歌助、林家今丸（紙切り）。その他、下座（三味線）の演奏やパネル展示などを行った

	事業名	共催者	会場	都市	期間	内容
20	藤間勘十郎 歌舞伎舞踊レクデモ	ARTA (俳優伝統研究協会)	パリ日本文化会館大ホール	パリ	06.3.22～ 06.3.23	藤間流宗家藤間勘十郎による歌舞伎舞踊のレクチャー・デモンストラーション。現在上演される歌舞伎の中の舞の部分のほとんどを振付ける藤間による、日本舞踊の起源でもある歌舞伎舞踊の実演と解説。パトリック・ドゥヴォス (東大助教授) による歌舞伎と歌舞伎舞踊に関するレクチャーを行ない、歌舞伎に対する総合的な理解を深めた。協力ARTA (俳優伝統研究協会)。会館会員向け企画として特別料金を設定
21	ミニコンサート	-	-	パリ	-	平成18年度事業のための準備
【講演・シンポジウム】						
22	林芙美子講演会	-	パリ日本文化会館小ホール	パリ	05.05.12～ 05.05.12	『浮雲』のフランス語翻訳本の出版を記念し、INALCO (フランス国立東洋言語文化大学) 所属の日本文学研究者・翻訳者として知られるアンヌ＝バイヤール・坂井が、林芙美子 (作家) の『浮雲』および『晩菊』の抜粋の日仏両語による朗読を交え、作家像について語った講演会
23	広重展関連講演会	-	パリ日本文化会館小ホール	パリ	05.5.21～ 05.6.4	広重『江戸名所百景』展を機に、パリ日本文化会館で日本文化入門アトリエ講師を務め、また複数の国立美術館で講師を務めるモワンス・前田恵美子を迎え、歌川広重の生きた江戸 (1797-1858) に生きる庶民の生活を、江戸百景の作品と絡めながら解説
24	堀内秀 (なだいなだ) 講演会	-	パリ日本文化会館小ホール	パリ	05.5.26～ 05.5.26	精神科医であり、ペンネーム「なだいなだ」の名で知られる堀内秀が、日仏両国が共通して抱える「高齢化社会」を老人実体験者であり、仮想政党「老人党」発起人でもある立場から自身の考えを語った
25	コンテンポラリーダンス講演会	-	パリ日本文化会館小ホール	パリ	05.10.8～ 05.10.8	J-danse05の公演期間に日刊紙LIBERATIONのジャーナリストでありコンテンポラリーダンスの批評家でもあるマリー＝クリスティヌ・ヴェルネ (Marie-Christine VERNAY) による、日本の現代ダンスについての講演会。初めにMCJPで過去に実施された数々のダンス映像を10分ほど上映した後、講演会に移り、質疑応答も行なった

	事業名	共催者	会場	都市	期間	内容
26	シンポジウム 「日本の妖怪」	—	パリ日本文化会館大ホール	パリ	05.10.26～ 05.10.26	シンポジウム「日本の妖怪」と称し、妖怪展の監修者辻惟雄（東京大学名誉教授）の基調講演に続き、小松和彦（国際日本文化研究センター教授）、フランソワ・ラショー（フランス国立極東学院・京都研究所所長）、ジルベール・ラスコー（ソルボンヌ大学名誉教授）の4人で「妖怪とは何か」につき日仏の各専門家が日本美術、西洋といった多様な視点から妖怪について語った。同日から開催された展示事業「妖怪展」の関連企画
27	「日本におけるクロードル」講演会	クロードル没後50年企画委員会	パリ日本文化会館小ホール	パリ	05.11.2～ 05.11.2	クロードル没後50周年を記念して11月2日からパリ日本文化会館で実施される「日本におけるクロードル」写真展にあわせ、同写真展の実行委員会推進者である中條忍（青山学院大学元教授）を招き、外交官としてのクロードル、詩人としてのクロードル、劇作家としてのクロードルについてのミニ講演会
28	ポールクロードルと日本文学	—	パリ日本文化会館小ホール	パリ	05.11.17～ 05.11.17	ポール・クロードル没後50周年を記念し、文人としてのクロードルの知的礎となった古代ギリシャ文学と日本美学を体現する能の比較を通して、2つの文化の体質に迫ろうとしたクロードルを意識し、講演者フィリップ・ブリュネ（ルーアン大学教授）が韻律抱と演劇の実態についてクロードル的考察を試みた
29	大江健三郎講演会	—	パリ日本文化会館大ホール	パリ	05.11.25～ 05.11.25	ノーベル賞作家である大江健三郎を招いての講演会。「新しい出発から60年を生きて」と題し、戦後から現在に至るまでの彼の人生について語った
30	日本学シンポジウム	フランス国立科学研究センター(CNRS) /法政大学	パリ日本文化会館小ホール	パリ	05.12.1～ 05.12.3	「日本学」が日本研究の総称として使われるようになって以来、その意味は時代と共に変化しており、本シンポジウムは今「日本学」が意味するものを把握し、かつそれを「日本学」とまとめることによって何が問題として出てくるかを発表・討論。日本から10名、欧米から9名の専門家が集った。成果は日英2カ国語で出版

	事業名	共催者	会場	都市	期間	内容
31	講演会「妖怪展の作品について」	—	パリ日本文化会館大ホール	パリ	05.12.7～ 05.12.7	講演会「浮世絵と妖怪」と称し、10月26日より開幕している「Yokai～日本のお化け図鑑～」展の一部展示替えのため来仏した浅野秀剛（千葉市美術館学芸課長）が、同展に出品された浮世絵を中心に語った
32	アングレーム漫画フェスティバル	アングレーム漫画フェスティバル	パリ日本文化会館小ホール	パリ	06.1.31～ 06.1.31	2006年1月26日から29日まで Angoulemeにて開催される国際マンガフェスティバルに招待される日本人マンガ作家しりあがり寿を招き、ジャーナリストとのインタビュー形式の対談および聴衆との質疑応答を行なった
33	鈴木光司講演会 + 『リング』講演会	—	パリ日本文化会館大ホール	パリ	06.3.17～ 06.3.17	『リング』やその他数多くの小説の原作者である鈴木光司がパリ日本文化会館にて、同氏が描くファンタジーの世界感や、映画『リング』を上映し、原作との相違などを語った。質疑応答時間も設け、会場の観客との意見交換を行なった
	【映画】					
34	成瀬『浮雲』 + 講演会	EDITION DU ROCHER出版社	パリ日本文化会館大ホール	パリ	05.4.9～ 05.4.9	小説『浮雲』を出版するEDITION DU ROCHER出版社との共催事業。2005年4月にEDITIONS DU ROCHER社が『浮雲』を翻訳出版するに当たり、関連イベントとして林芙美子・成瀬巳喜男研究の専門家による講演会と成瀬監督による『浮雲』を上映
35	名脚本家シリーズ 伊丹万作と伊藤大輔	—	パリ日本文化会館大ホール	パリ	05.9.13～ 05.9.24	名脚本家シリーズ第1弾として、戦前から多くの作品を手掛け、その後の日本映画に多大な影響を与えた伊丹万作と伊藤大輔の脚本作品を上映。『無法末の一生』、『手をつなぐ子等』、『薄桜記』、『反逆者』、『座頭市地獄旅』他15本
36	外国文化週間上映会	—	パリ日本文化会館小ホール	パリ	05.9.29～ 05.9.30	パリ外国文化センター・フォーラム (FICEP) 主催の外国文化週間参加企画。クリスティアン・メルリオ監督『Silenzio』とブリス・ベドロレティ監督『New life』を上映
37	ドキュメンタリー定期上映会	—	パリ日本文化会館小ホール	パリ	05.10.14～ 05.12.10	毎年恒例のドキュメンタリー特集。『NEW LIFE』、『住めば都』、『ベアテの贈りもの』、『夏の嵐・土方巽』を上映。荒井美三雄、藤原智子、カトリーヌ・カドゥの三監督を招へい

	事業名	共催者	会場	都市	期間	内容
38	妖怪映画特集	－	パリ日本文化会館小ホール	パリ	05.12.14～ 05.12.17	妖怪展関連事業。『亡霊怪猫屋敷』、『有馬猫』、『怪猫謎の三味線』の3本を上映
39	五所平之助監督特集：美しさと悲しみと	－	パリ日本文化会館大ホール	パリ	06.1.26～ 06.2.11	3年前に始めた『知られざる監督シリーズ』第7弾。ユーモアと叙情性を兼ね備えた作風の五所平之助を特集。『朧夜の女』、『今ひとたびの』、『煙突の見える場所から』、『鶏はふたたび鳴く』、『黄色いからす』、『挽歌』、『狐銃』、『かあちゃんと11人の子ども』など計14作品を上映
40	座頭市特集	－	パリ日本文化会館大ホール	パリ	06.2.28～ 06.3.4	WILDSID配給会社との共催事業。上映作品名：『不知火検校』、『座頭市物語』、『座頭市血笑旅』、『座頭市血煙り街道』、『座頭市喧嘩太鼓』、『座頭市あばれ火祭り』、『座頭市と用心棒』（以上、勝新太郎主演）、『座頭市』（北野たけし監督・主演）計9本
【日本語教育】						
41	日本語教育アドバイザー	－	－	パリ	05.11.14～ 06.3.31	11月14日から国際交流基金から派遣されている北條淳子（シニア日本語教育アドバイザー）を中心に、日本語教育指導・研修会等のアドバイザー業務を行なった
【教室事業】						
42	書道入門教室	ひまわり/たのし協会	パリ日本文化会館教室	パリ	05.4.1～ 06.3.31	フランス在住の書道講師・大島妙子、武井真紀子（ともに2004年9月以降）による書道教室
43	生花教室	いけばなインターナショナル	パリ日本文化会館教室	パリ	05.4.1～ 06.3.31	小原・草月・池坊各流派によるイケバナ指導。定期的にデモンストレーション、玄関ホールにおける展示も行なった
44	茶道デモンストレーション	裏千家淡交会/裏千家	パリ日本文化会館茶室「好日庵」	パリ	05.4.1～ 06.3.31	裏千家が担当する茶道デモンストレーション
45	日仏文化入門アトリエ	－	パリ日本文化会館教室	パリ	05.4.1～ 06.3.31	フランス人を対象に日本文化への、そして日本人を対象にフランス文化への理解を深めることを目的とした講座
46	囲碁教室	フランス囲碁連盟/パリ囲碁クラブ	パリ日本文化会館教室	パリ	05.4.1～ 06.3.31	初心者から上級者までを対象とする囲碁教室。2005年9月より単発授業登録を取りやめ、10回授業コース制とした

	事業名	共催者	会場	都市	期間	内容
47	着付教室	アレア・ジャクタ・エスト協会	パリ日本文化会館教室	パリ	05.6.22～ 05.10.7	2005年6月22日に帯結び教室を2回、その後3回コースの着付け教室を9月から10月にかけて実施。着物コーディネーターである綾秦節をパリ日本文化会館に迎え、着物の伝統、着付けの仕方、礼儀作法を指導
48	茶道入門教室	裏千家淡交会/ 裏千家	パリ日本文化会館茶室「好日庵」	パリ	05.10.1～ 06.3.31	定員10名の茶道教室（16回授業）

(2) 助成・協力事業

	事業名	助成対象団体	期間	内容
	【助成事業】			
49	フランス日本語教育委員会	フランス日本語教育委員会（CEJF）	05.10.1～ 06.3.31	「フランス日本語教育委員会」より要請を受け、中国語教育等に押されて危機に瀕しているフランスの日本語教育の必要性をフランス教育省に訴え、かつより有効な教育制度を導入するための調査・分析活動に必要な経費として、今年度および来年度の2カ年にわたって同委員会の活動を援助できるよう、特別プロジェクトとして助成を行なった
	【会場提供】			
50	日仏医学会	日仏医学会	05.5.27～ 05.5.28	1997年11月にもパリ日本文化会館で非公開のシンポジウムを開催した日仏医学会が、日仏精神科医を集め、研究発表会を行なった。発表者は約20名、終始フランス語で行なわれた。これに先立ちパリ日本文化会館で講演会を行なった「なだいなだ」こと堀内秀も講演者として参加
51	ESSEC慶応交流20周年	ESSEC/慶応大学	05.6.8～ 05.6.8	ESSECと慶応大学の交流20周年を祝して記念式典をパリ日本文化会館で実施。前半のシンポジウムは、現在までの両大学の交流の軌跡、日仏交換留学生2名による発表、日仏協力の成功例として日仏企業3社（資生堂/ブイグ/バカラ）を招いたラウンド・テーブルの3部構成で小ホールにて行なわれ、後半はレセプションホールにてカクテルを、それに平行してパリ日本文化会館で開催中であった広重展の鑑賞を実施
52	栗原はるみ日本料理プレゼンテーション	フジサンケイ・コミュニケーショonz・インターナショナル（パリ事務所）	05.6.14～ 05.6.14	2004年グルマン世界料理本大賞を受賞し、同著作が6月1日にフランスにおいて出版された栗原はるみをパリ日本文化会館に招き、フジサンケイグループとの協力の下、レセプションホールにて日本料理の紹介イベントを行なった
53	愛知・地球博セミナー	財団法人2005年日本国際博覧会協会	05.6.23～ 05.6.23	9月25日まで開催の「愛・地球博」の折り返し地点での報告と後半の広報活動を兼ねてBIE (Bureau International des Expositions) 関係者とフランスのプレス関係者を対象に財団法人2005年日本国際博覧会協会主催で「愛・地球博」レセプションを開催。小ホールで「愛・地球博」紹介のビデオを上映し、中村博覧会協会事務総長のご挨拶の後、レセプションホールでカクテルを催した

	事業名	助成対象団体	期間	内容
54	酒セミナー	八壺会（はっこかい）	05.6.25～ 05.6.25	恒例事業である日本酒セミナーであるが、本年は趣向を大きく変えレセプションホールにて着席型で実施。また、日仏プレスおよび業者用に特別試飲会を一般試飲会の前に設け、日本酒7種を専門家たちが味わった
55	JMAセミナー	日本能率協会	05.7.5～ 05.7.5	日本能率協会が毎年各地で開催しているグローバル・ビジネスリーダーコース。今年はパリ日本文化会館にて、パリ日本文化会館館長より会館の設立趣旨および活動内容を参加者に説明し、館内および広重展を見学。その後、仏メセナ協会ADMICALの会長補佐ソヴァネならびにルノー財団フーコーに「仏における企業と文化貢献」についての講義があった
56	ルノー財団セミナー	ルノー財団	05.11.23～ 05.11.23	ルノー財団がパートナーシップを組んでいる教育機関を中心に広報活動として文化の夕べを催した。内容は「妖怪展」に関する講演会のあと、妖怪展を見学し、その後カクテルを催した
57	Hachette 婦人画報100周年記念レセプション	Hachette Filipacchi Medias	05.12.15～ 05.12.15	婦人雑誌として最も歴史のある「婦人画報」の100周年を記念して創刊号をはじめとする「婦人画報」の表紙をパネルにして展示、雑誌を通して時代の移り変わりがわかるミニ展覧会を会場に設置し、カクテルを催した
58	JNTO主催「木の文化」シンポジウム	国土交通省	06.1.18～ 06.1.18	国土交通省主催、独立行政法人国際観光機構（JNTO）協力による、世界文化遺産となっている奈良、姫路、斑鳩、吉野木造建築をテーマにしたシンポジウム。西村幸夫（東京大学教授）による基調講演の後、各自治体代表者が「ビジット・ジャパン・キャンペーン」に沿って各都市の日本の魅力をアピール、そして吉野の大峯山護持院喜蔵院住職の中井教善師が山伏姿で「山伏の姿と心」について特別講演を行なった

4. ソウル日本文化センター

合計額 143,626,327円

(1) 主催・共催事業

	事業名	共催者	会場	敏	期間	内容
1	【展示】 浮世絵展	—	ソウル文化センターイオンホール	ソウル	06.3.16～ 06.4.22	ソウル日本文化センター所蔵の浮世絵作品を紹介する第2回目の浮世絵展を2004年度に引き続き開催。喜多川歌麿をはじめとする絵師による美人画、および歌川広重や葛飾北斎の風景画の中から55点を展示。浮世絵の黄金期とされる時期の代表的な錦絵作品を数多く紹介

	事業名	共催者	会場	敏	期間	内容
	【講演・シンポジウム】					
2	福田繁雄講演会	国民大学ゼロワンデザインセンター	国民大学ゼロワン・デザインセンター/弘益大学デザイン学科	ソウル	05.4.14～ 05.4.15	日本グラフィック・デザイン界の巨匠・福田繁雄を招へいし「視覚伝達とグラフィック・デザインの未来」をテーマに講演会を実施。福田は、他人の真似をせず独創的であることの重要性や、デザイナーとしてあり続けるために必要な感覚の訓練などについて講演したが、120席の会場に140人が入場し、入場者以外にも外に大勢の待機者がいる程の大成功を収めた
3	平野啓一郎講演会	文学ドンネ/高麗大学校	ソウル文化センターイヨンホール/高麗大学インチョン記念大会議室	ソウル	05.10.27～ 05.10.28	韓国の若者に人気のある日本人作家・平野啓一郎を招待し、「語り、伝えるということ」というテーマで講演会を行なった。自身の文学創作の原点、父の死の意味など生い立ちについての話から、本を読むこと、小説を書くことやその意味、歴史への洞察などについての作家の考えを真摯に語った。また、来韓中に韓国の同年代のキム・ヨンス（小説家）との対談も行ない、両国の若い作家同士が文化の深層をお互いに理解しあう機会になった
4	「モホイナジの新しい視覚」展シンポジウム	芸術の殿堂デザイン美術館	芸術の殿堂・書道博物館	ソウル	05.11.5～ 05.11.5	バウハウスの映像・金属工芸の担当教授として、基礎デザインに多大な影響を与え、バウハウスの叢書の企画と編集デザインおよび広告デザイン、舞台デザイン等幅広い活動をした世界的に著名なデザイナーのモホイナジを本格的に紹介する展覧会に併せて実施した国際シンポジウム。日本人参加者、井口壽乃を招いた
5	フェローOB講演会（日知・企画開発事業）	－	ソウル文化センターイヨンホール	ソウル	06.1.23～ 06.1.25	昨年度に引き続き、国際交流基金のフェローOBである6名の日本研究者による、日本の政治・社会・文化に関する公開講座を実施
	【日本語教育】					
6	青年日本語教師訪問授業	－	論山大建高校	忠清南道	05.4.1～ 05.6.30	青年日本語教師が、韓国側教育機関の要請により高校・中学校を訪問し、会話授業の補助や日本文化紹介を行なった。これまでソウル首都圏を中心に実施してきたが、今年度は地方都市への出講を実施

	事業名	共催者	会場	敏	期間	内容
7	日本語講座	-	ソウル日本文化センター講義室	ソウル	05.4.1～ 06.3.31	一般学習者向けコース 10クラス、週2コマ（総コマ数20） 2005年度前期開講クラス：「翻訳A」「翻訳B」「日本文化A」「日本文化B」「対話技術」/「読解・討論」「聴解と日本語理解」 2005年度後期開講クラス：「翻訳A」「翻訳B」「日本文化A」「日本文化B」「対話技術」/「読解討論」「作文技術」「聴解と日本語理解」 2006年度前期開講クラス：「翻訳A」「翻訳B」「日本文化A」「日本文化B」「対話技術」/「読解討論」「作文技術」「聴解と日本語理解」
8	「韓国人日本語教師と日本語ネイティブ教師によるチーム・ティーチング授業事例集」	-	-	ソウル	05.4.1～ 06.3.31	平成15年度に青年日本語教師が韓国人日本語教師とチーム・ティーチングを行なった際の授業の事例とチーム・ティーチング実施の際の留意点などをまとめた事例集を追加印刷、PDF化。事例集のホームページ版は6月24日に公開
9	日本語教材図書・ビデオライブラリー	-	-	ソウル	05.4.1～ 06.3.31	日本語教師への情報提供サービスおよび韓国の初・中等教育レベルにおける日本語教育の状況把握、今後の事業計画策定のため、各種教材・ビデオ等を収集
10	日本語教育研究講座	-	ソウル文化センター講義室	ソウル	05.4.13～ 05.12.14	2005年度前期：週1回、全10回（総20時間）実施。2005年度後期：週1回、全15回（総30時間）実施。 実施コースは、「中学校日本語教師研修コース」、「高校日本語教師研修コース」、「教師のための日本語コース」の3コースを実施
11	日本語教育通信発送および調査	-	-	ソウル	05.5.17～ 06.3.13	「日本語教育通信」2004年度分(48号～51号)を日本語国際センター研修の参加者(韓国内：1,277名)に郵送し、今後も続けて紙媒体としての発送を希望するかどうかを確認した。
12	ニュースレター作成・発行	-	-	ソウル	05.7.1～ 06.3.31	韓国の日本語学習者を対象とし、インターネット上で配信するニュースレター『カチの声』を年3回発行。日本の文化・社会に関するコラム、エッセイ、および韓国人から見た日本、日本人から見た韓国についてのコラム、日本語学習に関する情報などを掲載。配信希望登録者数2,791名

	事業名	共催者	会場	敏	期間	内容
13	夏季日本語教師集中研修	-	ソウル文化センター講義室/在釜山総領事館講義室	ソウル/釜山	05.8.1～ 06.8.24	中等日本語教師を対象とした、教授法中心の5日間の集中研修。「日本語の授業に文化を取り入れる目的を再考する」、「目的に合った授業方法を具体的に考える」、「コミュニケーション能力を伸ばす授業方法を具体的に考える」を目標に実施
14	地方中等教育教師支援（釜山派遣専門家）	-	-	釜山	05.9.1～ 06.3.31	嶺南地域各地の教師会と連携して実施する研修会への参加
15	日本語教育現状調査（釜山派遣専門家）	-	-	釜山	05.9.1～ 06.3.31	主として中等教育の日本語教育機関を訪問、視察などを行なったが、随時大学等の機関も対象とした
16	図書教材ライブラリー整備（釜山派遣専門家）	-	-	釜山	05.9.1～ 06.3.31	日本語教育および日本文化に係る書籍、定期刊行物を購入、配架することで、嶺南地域の日本語教師の教材作成などに役立てた
17	中等教育教師クラス（釜山派遣専門家）	-	社団法人釜山韓日文化交流協会	釜山	05.9.6～ 05.12.21	嶺南地域の日本語教師の能力向上を目的として週1回3クラス実施した日本語運用能力向上のための授業
18	日本語教育支援事業諮問委員会	-	ソウル日本文化センター	ソウル	05.12.15～ 05.12.15	ソウル日本文化センターが実施する日本語教育支援事業に関し、主として中等教育に関わる関係者からの意見を聴取し、事業の効果的な実施に資することを目的とした委員会を開催
19	冬季日本語教師集中研修	-	ソウル日本文化センター講義室/財団法人釜山韓日文化交流協会	ソウル/釜山	06.1.16～ 06.1.28	中等日本語教師を対象とした、教授法中心の5日間の集中研修。「自分の授業を振り返り、第七次教育課程に沿った授業の目標および活動を再考する」、「コミュニケーション能力を伸ばす授業方法を具体的に考える」、「参加者間の情報および意見交換を促進し、ネットワークの構築を図る」を目標として実施
20	中等教育日本語教師集中研修（釜山派遣専門家）	-	社団法人釜山韓日文化交流協会	釜山	06.1.23～ 06.1.23	嶺南地域の中等教育日本語教師の教授能力向上を図るために、冬季休暇中に実施する教授法の集中研修

	事業名	共催者	会場	敏	期間	内容
	【その他】					
21	「横浜トリエンナーレ2005」説明会	—	ソウル文化センターイヨンホール	ソウル	05.8.5～ 05.8.5	日本の代表的な現代美術の祭典「横浜トリエンナーレ2005」を韓国内の美術関係者およびマスコミに広報するため、横浜トリエンナーレの総合ディレクター川俣正等の関係者が来韓し、説明会を行なった。ソウル日本文化センターは、説明会の会場設営、美術関係者(出品作家/美術館等)およびマスコミ(新聞/雑誌/放送局等)への案内、通訳手配等を行なった

(2) 助成・協力

	事業名	協力対象団体	期間	内容
	【助成事業】			
22	ソウル国際バッハ・フェスティバル2005	国際バッハ・フェスティバル事務局	05.5.19～ 05.5.30	国際バッハ・フェスティバル事務局は、世界で活躍する第一線の音楽家達をソウルに招へいし、バッハの音楽だけを紹介する連続演奏会である国際バッハ・フェスティバルを開催した。そのフェスティバルのいわばトリとして、日本を代表するバッハ音楽の演奏家集団であり、世界的にも高い評価を得ているバッハ・コレギウム・ジャパンが5月30日の最終日にコンサートを行なった
23	光州と広島の民主・人権・平和	湖南大学校人文社会科学研究所	05.5.25～ 05.5.25	民主化運動の発祥の地として国際的に知られている光州の今後の役割を考察するために、日本の学者による広島の事例に関する発表、および日韓の学者による討論を行なった
24	セミナー「日韓翻訳の昨日と今日」	日韓社会文化フォーラム	05.5.28～ 05.5.28	日本、韓国、米国の学者、および韓国の日本関連書籍出版社の代表者、専門翻訳者等が集まって、近代以降の文化社会的観点から見た日韓翻訳出版の歴史性、および現在の韓国における日韓翻訳出版市場の現況と展望について議論した
25	日韓の文化行事・交流イベント等を広報するインターネットマガジンの制作(日本研究・知的交流企画開発事業)	東アジア文化交流協会	05.7.1～ 05.10.31	ソウルで行なわれる日韓文化交流イベント等を、韓国の若者に広報するインターネット・マガジンの制作費の一部を助成
26	ワークショップ「韓国における日本研究の現状と課題」(日本研究・知的交流企画開発事業)	世宗研究所	05.7.22～ 05.7.22	国際交流基金が世宗研究所に委託している「日本研究調査」の調査報告書の作成に反映するために、政治、経済、歴史、文学、語学等の各分野について調査委員が各分野の日本学の現況について発表し、外部の専門家と討論を行なった

	事業名	協力対象団体	期間	内容
27	第20回日韓学生会議	日韓学生会議	05.8.11～ 05.8.12	「我々はスペシャリスト」というテーマで、日韓それぞれ21名の大学生がソウルに集まって、日韓関係について討論し、両国における大学生の今後の役割を模索した。2日間のシンポジウム以外にも、2週間の日程でソウルと大田市で文化体験、交流会、関係機関訪問、ホームステイ等を実施
28	セミナー 「APEC釜山総会と新しい日韓関係の模索」	韓国政治学会	05.8.12～ 05.8.12	日韓両国の学者、マスメディア関係者、政府実務者等が釜山に集まって、2005年11月に開催されたAPEC釜山会議が日韓関係に与える影響を考察し、多国間協力の可能性について議論した
29	日本語教育支援 (韓国日本語教育研究会全国大会)	韓国日本語教育研究会	05.8.16～ 05.8.17	IT資料をはじめとした多様な資料の活用による、現職教員の新しい授業の取り組みを発表する場を提供すると共に、日本語教育関連の講演からなる自主研修を実施
30	日本語教育支援 (第2回日韓アジア教育国際会議)	ソウル日本語教育研究会	05.8.18～ 05.8.19	「外国語教育としての日本語教育教材『日本事情』を考える」などの4つをテーマに、日本・韓国・中国・台湾・香港の各地域から実務者、研究者、学生が集まり学術会議と対話事業を実施
31	高陽国際子供映画祭	社団法人高陽国際子供映画祭	05.8.18～ 05.8.25	子供を対象とする国際子供映画祭が韓国で初めて開催された。「子供に羽をつけよう」というスローガンのもとに、子供が制作した映画と子供をテーマとした映画等を中心にプログラミングされた同映画祭に、「短編映画国際競争部門」の国際審査委員として日本の京都キンダーフィルムフェストに出品した監督(全員子供)5名が選定された
32	セミナー「日韓マスメディアフォーラム-緊急報告9/11総選挙と日本の展望」	日韓社会文化フォーラム	05.9.27～ 05.9.27	毎日新聞の編集局長を招へいして、9月11日に行なわれた日本の総選挙が日本社会の今後をどのように変えるのかについて分析した結果を発表。韓国のマスコミ関係者、学者たちと日韓関係に及ぼす影響について討論
33	セミナー「光州・全南地域と日本地方政府間の交流・協力の活性化方案」(日本研究・知的交流企画開発事業)	湖南大学校人文社会科学研究所	05.9.30～ 05.9.30	日本の学者を招いて、日本の地方自治と地域振興政策について講演を聞き、光州・全南地域と日本との経済交流の活性化のための方法について韓国の学者、実務担当者等が討論
34	日韓外交正常化40周年記念叢書発刊(日本研究・知的交流企画開発事業)	現代日本学会	05.10.1～ 06.3.12	2005年6月に現代日本学会主催で行なわれた日韓外交正常化40周年記念国際会議で発表された論文および討論を叢書として刊行することになり、その日本語版刊行のための内容翻訳費用の一部を助成した

	事業名	協力対象団体	期間	内容
35	国際デザイン文化カンファレンス (IDCC)	ソウル大学韓国デザイン産業研究センター	05.10.20～ 05.10.20	IDCCは、デザインの価値に対して文化という観点から多角的にアプローチし、新たなビジョンを提示する国際会議である。第3回目となる今回は、テクノロジーの発達と情報化時代の到来により、グラフィック、プロダクト、環境、メディアが融合し、発展・変化するなかで、様々な反応を見せる人間と対象間の相互作用について議論した。韓国、日本、アメリカ、イタリアから5名の専門家が発表者として参加(日本：Tamon HOSOYA/国際メディア研究財団研究員)
36	2005日韓ARTリレー	シアターゼロ	05.11.8～ 05.11.13	日韓ダンスフェスティバル等、日韓の舞台芸術交流に力を入れているシアター・ゼロ(代表：シム・チョルジョン/元国際交流基金フェロー)が日本のDie Pratzte 劇場と共同企画・主催した実験的な舞台公演。韓国のパントマイムの第一人者であるユ・ジンギュをはじめ、日本のゴキブリコンビナート等、ダンス、パントマイム、パフォーマンスの14チームの公演を一堂に紹介
37	RESFEST2005	RESFEST Korea	05.11.10～ 05.11.19	RESFESTはニューヨーク、サンフランシスコ、ロサンゼルス、ソウル、東京など全世界40都市をツアーするグローバルな映画祭。韓国は2000年から参加し、毎年開催している。今回は、前回から作品『The Japanese Tradition』で好評を得ているTeevee Graphicsの特別展を組み込み、全部で15作品を紹介。また、メンバーを招へいし、TV広告からミュージック・ビデオ、アニメーション等、多様で幅広い活動を広げる作品世界をTeevee Graphics自らが紹介
38	2005日本現代戯曲翻訳および朗読公演	日韓演劇交流協議会	05.11.17～ 05.11.20	日韓両国の戯曲を研究(翻訳)し紹介する等、演劇分野における文化交流事業を推進してきた日韓演劇交流協議会が2003年の日本の現代戯曲の中で最も注目された作品、井上ひさし作『太鼓叩いて笛吹いて』等5作品を韓国語に翻訳出版。韓国の市民に対してその5作品の内容を披露する朗読公演を行なった
39	2005年韓国児童権利学会秋季学術大会	韓国児童権利学会	05.11.18～ 05.11.18	韓国の児童権利保障のために活動している唯一の学会である韓国児童権利学会が毎年開催しているシンポジウムであり、今年度は、UN児童権利委員会が勧告していた児童権利の争点を中心に議論を行なった。日本から児童権利保護についての研究者を招へいした
40	セミナー「東アジアの民話」	国民大学校語文学研究所	05.11.25～ 05.11.25	韓国、日本、中国、およびモンゴルの学者がソウルに集まって、それぞれの国の民話に関する研究成果を発表し、東アジア各国の民話を比較する討論
41	セミナー「地方選挙と政治発展に関する日韓比較国際学術会議」	社団法人ネナラ研究所	06.2.3～ 06.2.3	日本と韓国の学者、NPO関係者、知事等が参加して、両国の地方選挙の事例を発表・分析する一方、特に日本のマニフェスト選挙事例の韓国における理論的・実践的な適用の可能性について議論
42	延世大学リーダーシップフォーラム東北アジアネットワーク2006	延世大学校リーダーシップセンター	06.2.6～ 06.2.11	次世代のリーダーとして活躍が期待される日本、韓国、中国などの北東アジア5カ国の大学生109名がソウルに集まって、北東アジアにおける緊張関係の克服と和解への道を探るためのワークショップ・講演会・フィールドワーク等を実施

	事業名	協力対象団体	期間	内容
43	北朝鮮の改革・開放のための国際事業に関する知的交流と合同研究（日本研究・知的交流企画開発事業）	研究所2020統一韓国	06.3.30～ 06.3.30	2005年12月17日に東京で行なわれた日本と韓国の専門家による国際会議に続いて、ワシントンでは日本、韓国、米国の3カ国の専門家が集まって、北朝鮮の改革・開放を誘導するための方策について討論した
44	韓国日本近代文学会国際学術シンポジウム	韓国日本近代文学会	06.4.1～ 06.4.1	「日本近現代文学における家族」というテーマで、日本の研究者2人による基調講演、および韓国の研究者6人による研究発表、総合討論を行なった
	【会場提供】			
45	韓国日語教育学会第7回国際学術発表会	韓国日語教育学会	05.6.11～ 05.6.11	教材のあり方を中心に日本語教授法を考える諸発表を中心に、教授法に関する諸分野にかかわる学術発表を実施
46	出会いとコミュニケーション日韓交流展	出会いとコミュニケーション	05.7.9～ 05.7.19	日韓友情年を記念して、美術を通じた両国間の交流の深化を目的とした、日韓の若手美術作家（日本12名/韓国11名）による共同展示会。美術と社会の間関係についての新しい視点を模索するという意味でも意義深い展示会であった（駐韓大使館公報文化院でも同時開催）
47	日韓青少年交流会	明るい青少年支援センター	05.8.17～ 05.8.17	「2005日韓共同未来プロジェクトーデジカメで見る韓国の通過儀礼」という日韓青少年交流プログラムの一環として、両国の参加学生たちが集まり、共同作業の打ち合わせおよび交流会を行なった
48	第3回日韓市民社会フォーラム	アジア市民社会運動研究院	05.8.20～ 05.8.21	「相違を小さく、類似を大きく」をメインテーマとして北東アジアの平和のための日韓市民社会の課題について日本、韓国、中国のNGO関係者および学者たちがソウルに集まって議論を行なった
49	日韓青少年写真展示会	明るい青少年支援センター	05.8.25～ 05.8.27	「2005日韓共同未来プロジェクト：デジカメで見る韓国の通過儀礼」というタイトルで韓国で行なった日韓青少年たちの共同制作による写真作品、および日本の青少年の日本での受賞作品を展示
50	日韓マスメディアフォーラム「日本アニメーションの韓国内への流入と影響」	日韓社会文化フォーラム	05.8.30～ 05.8.30	韓国の漫画産業の現場で活躍している専門家が日本漫画の韓国内での位置について発表し、マスメディア関係者、学者等の参加者たちと討論を行なった
51	韓国日語教育学会第8回教員研修会	韓国日語教育学会	05.11.26～ 05.11.26	聴解、文法、作文、読解、教授法、日本事情、漢字、会話の各部門における教材研究についての発表と、授業の事例発表から構成され、今後の各分野における教材のあり方を考える研修会

	事業名	協力対象団体	期間	内容
	【文化備品・視聴覚資料貸出】			
52	日韓世界遺産写真展	カヤ世界文化祝祭2005	05.10.1～ 05.10.16	ソウル日本文化センターの展示コレクションである「日韓世界遺産写真展」（三好和義54点、李相秀50点の計104点の作品により構成）を金海市が主催する「カヤ世界文化祝祭2005」に提供し、世界の文化遺産コーナーで展示
	【その他】			
53	済州島日本語教科研究会（地方教師支援）	済州島日本語教科研究会	05.6.22～ 05.6.22	授業に合った自主教材作りの方法を目的に、午前は国際交流基金日本語国際センターで開発した「みんなの教材サイト」を紹介し、午後は同サイト上の写真やイラスト、アイデア等を取り入れたタスクシートや活動例をグループで作成し成果を共有
54	2005年度夏季大学院セミナー（日本語教師養成）	韓南大学日語日文学科	05.7.2～ 05.7.2	韓南大学日語日文学科一般大学院、教育大学院修士課程在籍の学生の修士論文中間発表会への出席。「外国語教育としての日本語教育について」というテーマで講義を行なった
55	忠清南道日本語教科研究会（地方教師支援）	忠清南道日本語教科研究会	05.7.21～ 05.7.22	1日目は、「日本語におけることばと文化の学習を考える」をテーマに、使用教科書を再検討する活動を行なった。さらに食文化を例にことばと文化を扱う教室活動と情報を紹介。2日目は、ソウル裏千家出張所の協力を得て、免許保持者2名が、茶道の紹介とデモンストレーションを実施
56	韓国日本語教育研究会全国大会（地方教師支援）	韓国日本語教育研究会	05.8.16～ 05.8.17	韓国日本語教育研究会主催による年1回の全国大会で、各地域からの中等学校教諭による授業研究発表と4人の講師による講演により構成（12名）。ソウル日本文化センター所長の挨拶および日本語教育派遣専門家の講演ならびに授業研究発表の審査で協力

5. 北京日本文化センター

合計額 28,464,037円

(1) 主催・共催事業

	事業名	共催者	会場	都市	期間	内容
	【展示】					
1	第2回北京大山子芸術祭2005	DIAF2005実行委員会	大山子芸術区	北京市	05.4.30～ 05.5.29	1年に1度、北京大山子芸術祭で行なわれた日本、中国および世界各国の現代美術家による総合芸術祭
2	Modern style in East Asia 2005	東京画廊	大山子芸術区内 東京画廊	北京市	05.11.13～ 05.12.4	現在の北京における芸術発信地、大山子において、世界に誇る東アジアの建築家、山本理顕および張永和の建築作品を、模型や写真などで展示

	事業名	共催者	会場	都市	期間	内容
	【公演】					
3	中央戯劇学院 共同制作『蛛網』	中央戯劇学院/ 日本大学芸術学 部	中央戯劇学院実 験劇院	北京市	05.4.7～ 05.4.10	中央戯劇学院の開催した現代舞踊公 演『蛛網』への協力。振付、演出に は日本大学芸術学部が協力
4	第2回有里知花 コンサート	イデア株式会社	広州市広東外語 外貿大学雲山會 堂	広州市	05.11.6～ 05.11.7	大学生を中心とした若者に、J-pop などの日本文化を「感動を介して」 伝えることを目的とした有里知花の コンサート
5	GYPSY QUEEN 重慶 公演	ONE ASIA	四川外国語学院	中国重慶 市	05.12.28～ 05.12.30	GYPSY QUEENの演奏で同校の 日本語学部学生を中心とする観客た ちとの交流を深めた
	【講演・シンポジウム】					
6	日本文化講演会 「ファンキー末 吉が語る日中音 楽界の違い」	－	北京日本文化セ ンター多目的 ホール	北京市	05.5.21～ 05.5.21	北京市在住の日本人ミュージシャ ン、ファンキー末吉を講師に迎え、 日中の音楽の共通点、相違点等に關 する講演を開催
7	中日同時通訳集 中講義および特 別公開講座	北京語言大学外 国語学院	北京語言大学外 国語学院	北京市	05.6.23～ 06.3.31	日本より塚本慶一（神田外語大学教 授）を招へいし、北京語言大学外国 語学院が開設する中日同時通訳修士 課程における集中講義、および社会 人を対象とした特別公開講座を実施
8	日本文化講演会 「村上春樹の文 学」	－	北京日本文化セ ンター多目的 ホール	北京市	05.6.25～ 05.6.25	中国で非常に人気のある村上春樹の 作品について、2002年度国際交流基 金フェローであり、当国で翻訳を行 なっている林少華が講演
9	毛丹青氏による 日本文化講演会	－	北京大学正大国 際交流中心	北京市	05.9.10～ 05.9.10	文学・演劇・音楽等様々な分野の日 中文化交流の最前線で縦横多彩に活 動している毛丹青を迎え、『人民中 国』誌編集長の王衆一との対談形式 による講演会を開催
10	アニメ芸術国際 フォーラム2005 (日知/フェロー フォローアッ プ)	中国人民大学人 文奧運研究中心	中国人民大学	北京市	05.10.27～ 05.10.29	2004年度国際交流基金フェローとし て日本のアニメ文化および産業につ いて研究を行なった于素秋が中心と なって行なわれたシンポジウム
11	日中プラモデル 文化交流会	日本大使館	北京日本文化セ ンター多目的 ホール	北京市	06.3.19～ 06.3.19	株式会社バンダイの担当者を講師に 迎え、ガンダムプラモデルをテーマ にした文化交流として講演会・展示 会を開催

海外事務所

	事業名	共催者	会場	都市	期間	内容
	【日本語教育】					
12	日本語サロン	—	北京日本文化センター多目的ホール	北京市	05.4.1～ 06.3.31	中国人の日本語学習者と日本人ボランティアが、毎回、異なるテーマについて、日本語で会話を楽しんだ。月一回開催
13	日本語教育アドバイザー	—	—	北京市	05.4.1～ 06.3.31	中国の日本語教育に関するカリキュラム編成、教材作成、教師研修会の企画・実施・評価、日本語教育機関訪問等、広くコンサルティング業務を行なった
14	ジュニア専門家	—	—	遼寧省瀋陽市/吉林省長春市/北京市	05.4.1～ 06.3.31	派遣先は遼寧省基礎教育教研培训中心（鳴海ジュニア専門家）および吉林省教育学院（長山ジュニア専門家/2005年7月まで）。また、2005年8月より、北京日本文化センターにも派遣（吉田ジュニア専門家）。現地教師に対する日本語能力・教授法の指導・助言、教材作成等の協力を行なった
15	JAMIC日本語教室	日本音楽情報センター（JAMIC）	日本音楽情報センター（JAMIC）	北京市	05.4.1～ 06.3.31	日本音楽情報センター（JAMIC）にて、日本の音楽を題材とする日本語教室を、基本的に毎週土曜日、日曜日の各2時間程度開催
16	初級中学・高級中学進学検討会（ジュニア専門家）	遼寧省基礎教育教研培训中心	遼寧省基礎教育教研培训中心	遼寧省瀋陽市	05.4.8～ 05.4.9	日本語を入試で選択する場合の補習を行なう教師を対象にし、ジュニア専門家が作成した模擬テストの解説にとどまらず、作文指導や類義語の解説なども行なった
17	大連地区巡回指導（ジュニア専門家）	遼寧省基礎教育教研培训中心	大連市内各中学校/高等学校	遼寧省大連市	05.4.25～ 05.4.29	遼寧省大連地区（大連/金州/旅順）の複数の中学校、高等学校に対する日本語教育巡回指導
18	吉林省西部中高校日本語教師研修会（ジュニア専門家）	吉林省教育学院	吉林省教育学院	吉林省長春市	05.5.21～ 05.5.22	教師による模擬授業の担当者を公募。この新しい試みにより、模擬授業希望者は事前に教案を提出することになり、実際には授業を担当しない教師に対しても、コメントを返す形で指導ができるようにした
19	東北三省日本語教研員会議（アドバイザー）	東北三省（遼寧省/吉林省/黒龍江省）教研員/国際協力機構中国事務所	北京日本文化センター会議室他	北京市	05.5.26～ 05.5.26	東北三省の教研員、ジュニア専門家およびJICA中国事務所ボランティア調整員に参加を求め、東北三省の中等教育機関における日本語教育の課題や国際交流基金の今後の支援体制等について意見交換を行なった

	事業名	共催者	会場	都市	期間	内容
20	吉林省東部中高校日本語教師研修会（ジュニア専門家）	吉林省教育学院	通化市朝鮮族中学	長春（通化地区/白山地区）	05.6.11～ 05.6.12	通化地区および白山地区の中高校教師を対象として開催。中学校教師対象の研修会では、応用ドリルの使い方、授業計画等について、翌12日に開催した高校教師対象の研修会では教室活動、テキストの会話の使い方等々について検討
21	2005年全国中学校日本語教師研修会	中国教育部課程教材研究所日本語課程教材研究センター	北京市月壇中学	北京市	05.7.18～ 05.7.22	2003年から使用が開始された新教科書に対応した、中学校日本語教師対象の全国規模の研修会。新教科書作成の理念とねらいを理解した上で、効果的な指導が行なえることを目的に、既に完成した中1、中2、中3用教科書を使用する教師を主な対象とした。内容は、参加者による模擬授業、講師による講義など
22	阜新市県初級中学校日本語教師研修会（ジュニア専門家）	遼寧省基礎教育教研培训中心/阜新市教師進修学校	阜新市教師進修学校	遼寧省阜新市	05.10.5～ 05.10.7	主として日本語非専攻の教師を対象として、教授法についての講義を行ない、教師の日本語教授レベルの向上を図るとともに、教師自身の日本語能力向上も図った
23	湖南省高等教育学会第二回日本語コンクール・日本語教育セミナー（アドバイザー）	湖南農業大学外国語学院/在中国大使館/国際協力機構中国事務所/湖南省日本人会	湖南農業大学	湖南省長沙市	05.11.11～ 05.11.13	教師や学生の知識を深め、学習者の積極性を引き出すことを目的に行なわれるセミナー・コンクール。作文コンクール、スピーチコンテストの他、華道や茶道の実演等も行なわれた。北京日本文化センターからはアドバイザーが講演
24	北京市内大学1年生オリエンテーション	在中国大使館広報文化センター	北京日本文化センター図書室/多目的ホール	北京市	05.11.16～ 06.3.31	在中国大使館広報文化センターとの共催により、北京市内の各大学日本語科1年生を対象としたオリエンテーションを実施。内容は、各事業案内、AVルーム、閲覧室（大使館）および図書館（北京日本文化センター）の見学等
25	遼寧省初級中学・高級中学日本語教師研修会（ジュニア専門家）	遼寧省基礎教育教研培训中心	遼寧省基礎教育教研培训中心	遼寧省瀋陽市	05.12.10～ 05.12.13	教案作成と模擬授業を通し、教師たちに授業の流れや準備について考えるきっかけを与えると同時に互いの授業を参考にして自身の授業を見直し改善する機会とした
26	第2回阜新県小学校日本語コンテスト（ジュニア専門家）	遼寧省基礎教育教研培训中心/阜新市教師進修学校	王府鎮政府	王府鎮	05.12.20～ 05.12.20	阜新地区の小学校日本語教育を推進し、日本語を学習する子供たちを励まし、ひいては省内の日本語教育に対する関心を喚起するため、小学生を対象に日本語コンテストを開催

海外事務所

	事業名	共催者	会場	都市	期間	内容
27	第5回大連市中学・高校日本語教師研修会（ジュニア専門家）	遼寧省基礎教育教研培训中心/大連市教育学院/大連市第30中学/国際協力機構	大連市第30中学	大連市	05.12.28～ 05.12.30	中等機関の集中する大連において、中学・高校教師を対象に、日本語力および教授法を向上させ、日本事情への理解を深めること、また、市全域の中等教育機関に所属する教師同士のネットワークの構築等を目的とした研修会を行なった
28	2006年春季中等日本語教師南方セミナー（ジュニア専門家）	中国教育部課程教材研究所	済南外国語学校	済南市	06.3.3～ 06.3.6	中等教育機関教師の日本語レベルおよび教育能力のより一層の向上を図るため教育部課程教材研究所との共催により、セミナーを開催
29	中国中等学校日本語教師研修懇親会	—	東北師範大学会館	吉林省長春市	06.3.31～ 06.3.31	1999年より始まった日本語国際センターの中国中等学校日本語教師研修に参加した教師間の親睦を深め、より強固なネットワーク作りを進めることを目的に、吉林省長春市にて懇親会を開催
【図書館運営】						
30	図書館運営	—	北京日本文化センター図書館	北京市	05.4.1～ 06.3.31	日本語図書約7,500冊、中国語図書約1,700冊、日本語教材約2,600点、日本語教材用ビデオ約250本、一般視聴用ビデオ約140本を所蔵。会員数約7,700名。来館者数は月平均約500名。通常開館時間は、事務所休日を除く月曜日から金曜日までの10時から17時までと、第二、第四土曜日13時から17時まで
【出版・広報】						
31	ホームページ	—	—	北京市	05.4.1～ 06.3.31	北京日本文化センターの事業紹介、イベントの告知、実施報告などを、豊富な画像と共に掲載。URLは http://www.jpfbj.cn
32	ニューズレター	—	—	北京市	05.4.1～ 06.3.31	各号3,000部を印刷。事業の広報や報告、日本語教育情報等を掲載。2005年6月、11月、2006年2月に発行

	事業名	共催者	会場	都市	期間	内容
	【その他】					
33	日本研究フェローOBおよび北京日本学研究中心卒業生ネットワーク整備（日本研究・知的交流/フェローフォローアップ）	—	—	中国各都市	05.4.1～ 06.3.31	日本研究フェローOBおよび北京日本学研究中心（大平学校含む）卒業生の現在の連絡先、研究または活動状況を明らかにし、国際交流基金にとっての中国全土に広がるネットワークを構築するべく、懇親会等を実施
34	日本研究・知的交流ニーズ調査および評価	—	—	青島	05.4.1～ 06.3.31	日中韓の学者・裁判官に情報交換や交流のための場を提供し、相互理解を促進、最終的には東アジア地域での紛争解決システムの構築に貢献することを目的としたシンポジウム「東アジアにおける法運用の実態と判例」について開催地へ出張し評価を行なった（2005年度知的交流助成事業）。2006年2月上海夏旦大学のニーズ調査
35	留学生ネットワーク（留華ネット）	中国各地邦人留学生	—	北京市他	05.8.22～ 06.3.31	中国国内の大学に在籍している邦人留学生間のネットワーク。メンバーは、各地の最新状況を踏まえた日中交流の進め方等について北京日本文化センターと意見交換を行なったほか、留学先において日本文化祭などの交流活動を行なった

(2) 助成・協力事業

	事業名	協力対象団体	期間	内容
	【助成事業】			
36	「日本語教育および日本学研究論叢 第2集」出版（日本研究・知的交流フェローフォローアップ）	北京師範大学外国語学院日本語学部	05.6.1～ 06.1.31	日本語専攻学科の発展に関する研究論文、および日本語教育に関する研究論文、30編を収録した論文集、「日本語教育および日本学研究論叢 第2集」を出版。中国と日本の関係大学や研究機関に無料配布し、さらに市販することによって、中国の日本語教育研究の促進を目指した
37	第6回北京市大学一年生日本語弁論大会	北京大学外国語学院日本語文化系	05.6.10～ 05.6.10	北京市内にある大学の日本語学科で学ぶ本科一年生を対象として、日本語によるスピーチおよび演芸の機会を与えるとともに、各大学の日本語学科間の相互交流を深め、日本語基礎教育および学習の共同発展を図った

	事業名	協力対象団体	期間	内容
38	小学生用初級日本語教材開発プロジェクト（吉首大学）	湖南省吉首大学 外国語学院日本語教材編写組	05.7.1～ 05.8.31	子供達に幼い頃から日本に親しむ機会を提供するため、日本語学習・活動を通して、日本語のみならず日本文化を理解し、豊かな国際性を育むことを目的として、教材の開発および出版を行なった
39	社会政策国際フォーラム（日本研究・知的交流小規模助成）	中国社会科学院 社会政策研究センター	05.7.30～ 05.8.2	日中の学者だけではなく、イギリスやアメリカ、カナダ、ノルウェーなどの国々の研究者が社会政策の歴史や発展現状、NPO、ソーシャル・ワークといった中国でまだ新しい研究分野について発表。全国様々な社会政策研究者およびNPO関係者が研修会に参加し、上記の分野に関して、経験や意見を出して、専門家と意見を交換し、活発な討論となった
40	中華社会文化発展基金会（日本研究・知的交流小規模助成）	中華社会文化発展基金会/中国大連理工大学/中国旅順博物館	05.8.31～ 05.9.1	従来の日中双方の研究者による近代中国東北地域歴史文化遺産についての関連研究成果に対する意見交換を行ない、提言を発表することを目的として、大連理工大学にて開催された「第1回唐鴻臚井碑研究中日学術セミナー」に対する助成。会議の主要な内容は、「唐鴻臚井碑」についての研究、それが有する歴史的意義およびその研究による日中友好の促進についてなど
41	中国人民大学国際関係学院主催「東アジア協力フォーラム2005」シンポジウム（日本研究・知的交流小規模助成）	中国人民大学国際関係学院東アジア研究センター	05.9.23～ 05.9.24	「日中関係と東アジアの未来」をテーマとした国際シンポジウム。具体的には、日中関係の現状と今後の見通し、東アジアの経済協力・地域安全協力および中国の役割等を課題として、日本、中国、米国、韓国、モンゴル等の著名な専門家、学者が検討、発表を行なった
42	内蒙古全区中学生日本語弁論大会	内蒙古教育学会 外語教学研究会	05.9.27～ 05.9.27	第4回内蒙古全区中学校日本語教師研修会の開催に合わせ、内蒙古全区の中学生による日本語弁論大会を初めて行なった
43	第1回内蒙古自治区大学生による日本語スピーチコンテスト	内蒙古自治区大学日本語教学研究会	05.10.29～ 05.10.29	内蒙古自治区の大学での日本語教育の成果を検証し、大学教育における日本語教育（大学院生に対する日本語教育、および英語専攻学生に対する第二外国語としての日本語教育も含む）の質をより高めていくことを目的として、日本語スピーチコンテストを行なった
44	中日環境教育交流研討会（日本研究・知的交流小規模助成）	南京綠色之友文化交流中心	05.11.11～ 05.11.11	日中が直面する環境問題、両国の環境保護教育について採るべき政策、施策などを話し合う討論会。特に、日本の豊富な経験を鏡とし、中国が今後如何に環境問題に取り組んで行くべきかを考えた。同時に日中両国の環境保護分野での交流、対話促進をも目指した
45	西安市日本語教師会第4回共同勉強会	西安市日本語教師会	05.12.11～ 05.12.11	西安市日本語教師会の第4回共同勉強会として、西安市内の日本語教育関係者の教育・研究活動の質的向上を目指し、外部から講師を招いて講座を開いた。また同時に、教員同士の交流も図った

	事業名	協力対象団体	期間	内容
46	教材編集『新世紀文化日本語教程』（日本研究・知的交流フェローフォローアップ）	清華大学外国語学部日本語学科	05.12.14～ 06.3.31	大学において、第二外国語としての日本語の授業時間数はばらつきがあるが、主に使われているのは、時間数が120時間に設定された教科書で、60時間や240時間の大学では、適切な教科書を用いることが難しい。そこで大学生・社会人を対象とした60～80時間で使用できる教材を作成
47	演劇公演『サラダ殺人事件』	サラダ殺人事件劇組	06.1.12～ 06.1.15	香港で演劇活動を続けている日本人が演出を担当することにより、日本人が持つ特徴を細かに表現。両国間の市民のコミュニケーションの参考となるような公演を行なった
48	日本語教材『日本の説話』出版（北京連合大学）	北京連合大学	06.1.17～ 06.3.31	中国語母語の日本語学習者（日本語能力試験2級程度）を対象に、日本文化・日本文学への理解を促進する教材として、『日本の説話』（上下二冊本）を出版
49	「日中文化の相違による日系企業の経営課題セミナー」（日本研究・知的交流小規模助成）	北京鋼鉄研究総院	06.2.19～ 06.2.20	日中文化の相違点について比較研究を行なうことで、それらがもたらす日系企業の経営への影響などを探ることを目的に講義、質疑応答、討論会などを行なった。欧米系の企業経営スタイルが主流の中国の現状を踏まえ、本セミナーでは日系企業に焦点を当て、より多くの人（特に若者）に日系企業の強みに関心を持ってもらうことも狙いとした
50	上海戯劇学院日中学生ミュージカル公演	上海戯劇学院	06.3.7～ 06.3.10	上海戯劇学院の日本人留学生と中国人学生によるオリジナルミュージカルの共同制作公演
51	少数民族語言文化中日共同研究（日本研究・知的交流小規模助成）	中央民族大学少数民族語言文学学院東幹学研究所	06.3.15～ 06.3.22	日中両国の學術文化交流の拡大や日中両国の友好強化を目的に、日本から学者を北京に招へい、學術講演や會議への出席を依頼し、日本の東幹言語研究について、また日本の大学における中国語教学についての講義を行なった
52	流山児★事務所北京公演	解放軍歌劇院	06.3.15～ 06.3.31	日本の劇団「流山児★事務所」による、3作品連続公演
53	北京大学「全国大学生東亜安全論壇」（日本研究・知的交流小規模助成）	北京大学国際関係学院	06.3.18～ 06.3.19	「東アジアフォーラム」を今後長期的に実施していくための一年目として、中国人学生（北大/北京の他の大学/他地域の大学）と外国人留学生の対話を通じて、青少年の声を社会に表現していくことを目的に、北京大学生が自発的に會議を企画、実施したフォーラム。第1回の今回は、安全問題を中心に、代表者のスピーチ、ディスカッション、質疑応答の形式で進めた。また、北京大学の教授にもサポートを依頼
54	清華大学美術学院教師と日本九之音色作品展	北京・2006清華大学美術学院教師+日本九之音色作品展日本側実行委員会	06.3.27～ 06.4.3	日本の工芸作家9名と中国の作家による共同展覧会。ガラス、竹、陶磁器、絵画など様々な作品から構成。また、日本から来た作家の講演会も実施

海外事務所

	事業名	協力対象団体	期間	内容
	【文化備品・視聴覚資料貸出】			
55	中国国際動漫祭(アニメ・漫画祭)(杭州)企画出展	博銳創智網絡科技(北京)有限公司	05.6.1～ 05.6.5	中国国家広播電影電視総局、浙江省政府主催による、国際アニメ、漫画博覧会。ブースを出して国際交流基金事業を紹介
	【その他】			
56	財団法人AFS日本協会による面接	財団法人AFS日本協会	06.3.24～ 06.3.26	日中21世紀交流事業に係る案件として、財団法人AFS日本協会が主催する高校生面接試験(長春/南京)に同行。選抜方法の確認、面接試験実施状況の把握等を行なった

6. ジャカルタ日本文化センター

合計額 62,516,393円

(1) 主催・共催事業

	事業名	共催者	会場	都市	期間	内容
	【展示】					
1	日本の世界遺産展	—	ジャカルタ日本文化センターホール	ジャカルタ	05.4.12～ 05.4.20	ジャカルタ日本文化センターが所蔵している写真パネル『日本の世界遺産』(三好和義撮影の写真パネル)59点の展覧会を開催
2	ネオ・ピオン(ジャカルタ国立大学)	ジャカルタ国立大学	ジャカルタ日本文化センターホール	ジャカルタ	05.7.14～ 05.7.27	若手の芸術家を支援するプログラム「ネオ・ピオン」シリーズ。ジャカルタ国立大学で美術を学ぶ学生および同大学の卒業生計10名による展覧会を実施
3	陶芸家スヤトナ氏回顧展覧会	スヤトナ氏展覧会実行委員会	ジャカルタ日本文化センターホール	ジャカルタ	05.11.25～ 05.12.3	国際交流基金フェロー故スヤトナを偲ぶ日本の友人たちが発起人となり展覧会を行なった
4	第10回日イ児童画展	ジャカルタ・ジャパン・クラブ/ジャカルタ日本人学校	ジャカルタ日本文化センターホール	ジャカルタ	05.12.7～ 05.12.14	「私の友達」というテーマで開催。昨年を上回る1,300点近くの応募があり、日本・インドネシア人児童の作品、合計約280点をホールに展示
5	ネオ・ピオン(ディアン・ムリアント)	—	ジャカルタ日本文化センターミニギャラリー	ジャカルタ	06.2.3～ 06.2.17	若手の芸術家を支援するプログラム「ネオ・ピオン」シリーズ。ディアン・ムリアント(ジャカルタ芸術大学学生)の展覧会を開催。鉄を使った彫刻を作成し、自身のセルフポートレートや社会を風刺したものなどを展示

	事業名	共催者	会場	都市	期間	内容
	【公演】					
6	七夕紹介事業	—	ジャカルタ日本文化センターホール	ジャカルタ	05.8.10～ 05.8.10	旧暦の七夕にあわせ、インドネシア人の子供を主な対象として、七夕にちなんだ笹の飾りつけ、折り紙教室、歌・演劇による七夕伝説の紹介などを実施。会場は100名以上の子供で満員となった
7	ジャカルタ芸術評議会 若手ダンス公演	ジャカルタ芸術評議会	タマン・イスマイル・マルズキン	ジャカルタ	05.11.24～ 05.11.26	若手が中心となって出演するジャカルタ芸術評議会が主催するダンス公演に対し、広報費の協力を行なった
8	劇団バンドンスタディクラブ近代能楽集上演	劇団バンドンスタディクラブ	ジャカルタ日本文化センターホール	ジャカルタ	06.3.28～ 06.3.28	インドネシア国内で活発に活動している劇団バンドンスタディクラブが、三島由紀夫の『近代能楽集』から『卒塔婆小町』を上演。インドネシア語での作品名は『第百夜/最後の夜』
	【講演・シンポジウム】					
9	アチェ復興関係セミナー	ユニセフ・ジャカルタ/ラフマニア財団/ピース・ネットワーク	ジャカルタ日本文化センター	ジャカルタ	05.4.6～ 05.6.15	2004年の津波被害後のアチェの復興について、特に子どもに焦点を当てて、支援に関わる国際機関や国際NGOを巻き込んでセミナーを開催
10	イスラム知識人講演会（アル・アズハル大学）	アル・アズハル大学	アル・アズハル大学	ジャカルタ	05.5.18～ 05.5.18	レクチャーシリーズの一つとして、ズハール（アル・アズハル大学長）の講演会を実施
11	イスラム知識人講演会（イスラム大学）	国立イスラム大学	国立イスラム大学講堂	ジャカルタ	05.6.13～ 05.6.13	イスラム知識人セミナーシリーズの一環として、アジア・リーダーシップ・フェローとして来日したジャムハリ（国立イスラム大学教授）の講演会を実施
12	女性とジェンダー研究センター会議	インドネシア大学女性とジェンダーセンター	インドネシア大学	ジャカルタ	05.6.29～ 05.7.30	会議タイトル"Law, Power and Cluture: Transnational, National and Local Processes in the Context of Legal Pluralism"と称してインドネシア大学にて4日間に渡って会議を開催
13	ジャーナル『MANABU』発行報告会	MANABU事務局	ジャカルタ日本文化センター	ジャカルタ	05.10.1～ 05.10.1	ジャーナル『MANABU』の創刊を記念して報告会を行なった。染谷（国際基督教大学教授）を招へいして基調講演を実施

	事業名	共催者	会場	都市	期間	内容
14	「日本と地域研究」シンポジウム	－	インドネシア科学院地域リソースセンター (LIPI)	ジャカルタ	05.11.14～ 05.11.14	「日本と地域研究」と題し、日本に焦点を絞ったシンポジウムを開催
15	ナショナル大学日本研究セミナー	ナショナル大学	ナショナル大学	ジャカルタ	05.11.23～ 05.11.23	「鏡としての文学」と題してセミナーを開催。文学は現代日本社会・生活を反映していると考えられるため、文学を通して日本社会を理解しようとするプロジェクト
16	ダンスネットワークに関するワークショップ	クローラ財団	ホテル・ノボテル	ソロ	05.11.26～ 05.12.7	ジャパン・コンテンポラリー・ダンス・ネットワーク (JCDN) 代表の佐藤範一のワークショップを開催
17	人類学セミナーシリーズ	インドネシア人類学フォーラム	エラスムス・フイス	ジャカルタ	05.12.9～ 05.12.9	「テロリズムと社会における脅威」と題するレクチャーに対し、共催で事業を実施
18	日本研究ワンデーセミナー	－	ホテル・サリ・パン・パシフィック	ジャカルタ	06.1.21～ 06.1.21	午前に全国の日本研究センター代表者を集め、情報交換を行なった。午後は猪口孝（中央大学教授）を招へいして講演を行ない、引き続き当地日本研究者2名による研究発表を実施
【映画】						
19	クリスティン・ハキム主演「さすらい」上映会	じゃかるた新聞	ジャカルタ日本文化センターホール	ジャカルタ	05.6.29～ 05.6.29	ジャカルタ在留邦人向け事業として、1982年に国際交流基金が日本に紹介したインドネシア映画『さすらい』の上映会を開催。上映前には『さすらい』に主演したクリスティン・ハキム（女優）とアディ・プラナジャヤ（シネマテーク代表）のトークショーも行なった
20	シネマキャラバン	シッカ県地方政府	マウメレ市内 LK3Iホール	マウメレ	06.3.22～ 06.3.23	フローレス島のマウメレにてシネマ・キャラバンを実施。あわせて折り紙のレクチャーデモンストレーションも行なった
【日本語教育】						
21	高校日本語教師通信教育プログラム	インドネシア国家教育省通信教育センター	－	西ジャワ州/バリ州	05.4.1～ 05.12.31	西ジャワ州およびバリ州からそれぞれ43名と37名の普通高校の日本語教師が参加。事前テスト、中間テスト、事後テスト、2回のチュートリアルなどを実施し、最終的にそれぞれ34名と29名が合格

	事業名	共催者	会場	都市	期間	内容
22	普通高校・宗教 高校日本語教師 研修	インドネシア国 家教育省語学教 員研修所	バリ州教員研修 所/北スラウェ シ州教員研修所 /インドネシア 国家教育省語学 教員研修所	バリ/マ ナド/ ジャカル タ	05.4.1～ 06.3.31	普通高校・宗教高校の日本語教師を 対象にした研修会を3回実施
23	一般日本語講座 運営	—	ジャカルタ日本 文化センター	ジャカル タ	05.4.1～ 06.3.31	一般日本語講座として、中級、上級 および教師向け日本語講座を実施
24	日本語能力試験	—	—	ジャカル タ	05.4.1～ 06.3.31	インドネシア各地における試験が円 滑に実施されるように、各種アドバ イスをしたほか、2月28日には、7会 場の実施委員会の責任者を招へい し、各地の問題点や今後の試験のあ り方を話し合った
25	インドネシア日 本語教育学会支 援	—	—	—	05.4.1～ 06.3.31	年間を通じて各種助言を行なったほ か、学会会議を実施。同会議では会 則について意見交換をしたほか、反 省や今年度事業の目標などを話し あった
26	普通高校新カリ キュラム準拠教 材開発プロジェ クト(在外事業)	—	—	ジャカル タ	05.4.1～ 06.3.31	2004年カリキュラムに準拠した日本 語教材の作成プロジェクトのなか で、副教材としてのカセット等を作 成
27	日本語弁論大会 実施(高校生向 け)	インドネシア国 家教育省初等中 等教育局	日本文化セン ターホール	ジャカル タ	05.4.9～ 05.4.9	インドネシア各地から上位入賞者13 名を集めて、高校生向け日本語弁論 大会を開催。およそ200名の観覧者 が見守る中で実施され、審査の結果、 第1位～第5位および審査員特別賞を 決定
28	『教科書を作ろ う』増刷	—	—	ジャカル タ	05.4.12～ 05.5.12	『教科書を作ろう』を増刷
29	日本語弁論大会 (一般向け・ジャ ボタベック)	—	ジャカルタ日本 文化センター	ジャカル タ	05.5.21～ 05.5.21	7月に日本語弁論大会全国大会の ジャボタベック地区予選を行なっ た。16人の大学生・一般人が予選に 参加
30	専門高校教科書 出版説明会	インドネシア国 家専門中等教育 局教育省	スミットマスビ ル20階ホール	ジャカル タ	05.6.17～ 05.6.17	専門高校用日本語教科書『インドネ シアへようこそ』の出版説明会を開 催。専門高校の日本語教師を中心に 50名ほどの参加があったが、現役の 教師と高校生による模擬授業も行な われた

海外事務所

	事業名	共催者	会場	都市	期間	内容
31	日本語弁論大会 (一般向け)	元日本留学生協会	ホテル・サリ・ パン・パシ フィック	ジャカル タ	05.7.2～ 05.7.2	大学生と社会人を対象にして、7地区から上位入賞者14名を招へいして、日本語弁論大会全国大会を開催。およそ150名の観覧者が見守る中で実施され、第1位から第5位および審査員特別賞を決定
32	専門高校日本語 教師研修会	インドネシア国 家教育省専門高 校教員研修所	専門高校教員研 修所	ジャカル タ	05.7.4～ 05.7.30	全国の専門高校観光・ホテル業学科の日本語教師24名を対象とした4週間の日本語研修を実施。専門高校用日本語教科書『インドネシアへようこそ』を教材として用いた
33	インドネシア日 本語教育学会支 援(ジャボタ ベック)	インドネシア教 育学会ジャボタ ベック支部/ナ ショナル大学	ナショナル大学	ジャカル タ	05.8.6～ 05.8.6	全国の約40の高等教育機関から194名の日本語教師が集まって意見交換を行なった。「中級レベルにおける技能別教授法についての知識を深める」をテーマに、各地の日本語教師が発表
34	インドネシア日 本語教育学会支 援(東ジャワ)	インドネシア日 本語教育学会東 ジャワ支部	ウィディヤ・マ ンガラ大学	スラバヤ	05.11.16～ 05.12.20	日本語教育・日本言語学に携わるインドネシア人の知識・見識を高めるために、関連の発表やワークショップを行なった。ジャカルタ日本文化センターから日本語教育専門家が出講
35	高等教育機関主 催日本語事業支 援	ハサスディン大 学	ハサスディン大 学	マカッサ ル	05.11.25～ 05.11.27	ハサスディン大学にS1(4年生コース)の日本語学科が設立されたことを記念したセミナーに、ジャカルタ日本文化センター日本語教育専門家が出講
36	大学教師向け研 修会	インドネシア日 本語教育学会ス ラウェシ支部 (マナド会場の み)	ジャカルタ日本 文化センター/ マナド工科短期 大学	ジャカル タ/マナ ド	05.12.3～ 06.2.11	大学の日本語教師を対象にした日本語教授法研修会をジャカルタとマナドで実施。ジャカルタでは81名の大学教員が参加した。マナドでは、38名が参加
37	インドネシア日 本語教育学会支 援(スマトラ)	インドネシア日 本語教育学会ス マトラ支部	北スマトラ大学	メダン	06.1.28～ 06.1.28	北スマトラ大学で開催されたセミナー・ワークショップにジャカルタ日本文化センター日本語教育専門家が出講。北スマトラだけでなく西スマトラ、リアウからも参加者があった
38	インドネシア日 本語教育学会支 援(東南アジア サミット)	インドネシア日 本語教育学会	日本語教育専門 家宅	バンドン	06.2.13～ 06.3.31	来年度に実施する「東南アジア日本語サミット」のための準備会議

	事業名	共催者	会場	都市	期間	内容
39	高校生日本語普及事業	—	ジャカルタ日本文化センター	ジャカルタ	06.2.23～ 06.3.14	高校生の日本語学習奨励を目的としたイベント。日本留学経験者、日本語学科を有する大学関係者、日系企業関係者を招き、講演会を実施。他に日本文化体験プログラムを設けた
40	日本語弁論大会(高校生向け・東ジャワ)	東ジャワ州高校日本語教師会	パレ第2普通高校	スラバヤ	06.3.5～ 06.3.5	平成18年度高校生日本語弁論大会全国大会への参加者を定めるために、地区予選大会を開催。朗読大会、書道大会や文字クイズなど、総合的な日本文化祭として開催
41	日本語弁論大会(高校生向け・西ジャワ)	西ジャワ州高校日本語教師会	西ジャワ州教育委員会	バンドン	06.3.6～ 06.3.6	高校生日本語弁論大会全国大会への参加者を定めるために、西ジャワ州地区予選大会を開催。日本語クイズや書道大会、浴衣デモなど、総合的な日本文化祭として開催
42	大学生日本語普及事業	在インドネシア大使館	ジャカルタ日本文化センター	ジャカルタ	06.3.7～ 06.3.7	大学生の日本語学習奨励を目的としたイベント。日本留学・奨学金に関する説明を行なった他、日系企業の社会人を招き、日系企業での仕事や日本人との付き合い方などについての講演を実施
43	日本語弁論大会(高校生向け・中部ジャワ)	中部ジャワ州高校日本語教師会	マゲラン第4普通高校	ジョグジャカルタ	06.3.18～ 06.3.18	高校生日本語弁論大会全国大会への参加者を定めるために、中部ジャワ州・ジョグジャカルタ地区予選大会を開催。日本語クイズなど、総合的な日本文化祭として開催
44	日本語弁論大会(高校生向け・バリ)	バリ州高校日本語教師会	バリ州教育委員会	デンパサール	06.3.18～ 06.3.18	高校生日本語弁論大会全国大会への参加者を定めるために、バリ州地区予選大会を開催。バリ州各地から14名の学生が参加
45	日本語弁論大会(高校生向け・ジャボダベック)	ジャボダベック高校日本語教師会	ジャカルタ日本文化センターホール	ジャカルタ	06.3.22～ 06.3.22	高校生日本語弁論大会全国大会への参加者を定めるために、ジャボダベック地区予選大会を開催。書道大会など、総合的な日本文化祭として開催
46	日本語弁論大会(高校生向け・北スマトラ)	北スマトラ州高校日本語教師会	ダルマ・ワンサ教育財団	メダン	06.3.25～ 06.3.25	高校生日本語弁論大会全国大会への参加者を定めるために、北スマトラ地区予選大会を開催
	【図書館運営】					
47	図書館運営(図書、新聞、雑誌購入費)	—	ジャカルタ日本文化センター	ジャカルタ	05.4.1～ 06.3.31	年間来訪者20,907名、蔵書数29,683冊(日本語17,223冊、英語・インドネシア語12,460冊)、会員数は1,670名であり、その他ビデオ、CDなどAV資料もそろえた図書館を運営

海外事務所

	事業名	共催者	会場	都市	期間	内容
	【出版・広報】					
48	『EGAO』発行	-	-	ジャカルタ	05.4.1～ 06.3.31	日本語教育関係者への情報支援のために、国際交流基金助成プログラムや教授法のアイデアなどを掲載した『Egao』を四半期ごとに1,500部発行し、関係者に配布
49	ウェブサイト運営	-	ジャカルタ日本文化センター	ジャカルタ	05.4.1～ 06.3.31	ウェブサイトを通じてセンターの事業紹介、過去の講演記録などを掲載し、年間に延べ346,298名の訪問者数があった
50	広報一般	-	ジャカルタ日本文化センター	ジャカルタ	05.4.1～ 06.3.31	広報媒体を通じたクイズの当選者や事業協力者等に対し、国際交流基金グッズを作成し配布
51	『インドネシア語プログラムガイドライン』発行	-	-	-	05.4.1～ 06.3.31	プログラムガイドラインの、インドネシアに関連するプログラムをインドネシア語に翻訳し申請希望者に配布
52	『NUANSA』発行	-	-	ジャカルタ	05.4.1～ 06.3.31	文化事業を中心に広報するニューズレター『NUANSA』を2か月ごとに7,500部発行するもので、ジャカルタ日本文化センター広報の中心的な役割を果たす媒体を作成
53	『Image of Japan』発行	-	-	-	05.5.10～ 06.1.12	当地のオピニオンリーダーがどのように日本を見ているかに関し、7人に執筆を依頼して書籍として発行
	【教室事業】					
54	囲碁教室	-	ジャカルタ日本文化センター多目的教室	ジャカルタ	05.4.1～ 06.3.31	毎週金曜日16時より初心者も含めたジャカルタ在住の囲碁愛好家が集まる囲碁サロンを開催。若年層を中心に毎回20名程度の囲碁愛好家が参加
55	スクールピジット	-	ジャカルタ日本文化センターホール	ジャカルタ	05.4.1～ 06.3.31	広く一般に日本文化紹介を行なうための事業で、主に高校生から大学生の社会見学ルートの一つとしてセンター訪問をする際、日本映画の上映のほか、折り紙教室、図書館見学、日本文化に関する質疑応答等全体で2時間程度の催しを実施。延べ1,205名がセンターを訪問
56	生け花教室	生け花インターナショナル	ジャカルタ日本文化センター多目的室	ジャカルタ	05.7.8～ 05.10.28	本年度は草月流に講師を依頼し生け花教室を開講。場所の都合もあり受講生は例年と同じく25名で、教室の最後には受講生の成果を展示

	事業名	共催者	会場	都市	期間	内容
	【その他】					
57	東ティモール文化事業調査	—	—	デイリ	05.10.1～ 06.3.31	ジャカルタ日本文化センターの広域管轄国となった東ティモールへの文化事情調査をするため、2回にわけて調査を行なった
58	インドネシア大学評価（在外事業費対応分）	—	—	ジャカルタ	05.10.20～ 05.10.25	国際交流基金プログラム（日本研究拠点機関助成）によって支援を受けているインドネシア大学大学院日本地域研究科による、過去5年の自己評価および今後3年の中期計画の提出を受け（インドネシア語）、それを英語に翻訳
59	4カ国対抗囲碁大会	ジャカルタ囲碁将棋クラブ/日本棋院	ジャカルタ日本文化センターホール	ジャカルタ	05.12.18～ 05.12.18	インドネシア、日本、中国および韓国がそれぞれ各代表チームを編成し、4カ国総当りの囲碁大会を開催。ジャカルタを来訪した日本棋院の佃亜紀子4段に審査員を依頼。自由対戦が可能なスペースも設けたため会場には約100名程度の来場者があった
60	日本研究・知的交流案件発掘調査	—	—	デイリ/ バリ/ ジョグ ジャカルタ	06.3.11～ 06.3.16	デイリ、バリおよびジョグジャカルタを訪問し、機関情報、彼らの研究方針・業務方針を確認

(2) 助成・協力事業

	事業名	助成対象団体	期間	内容
	【助成事業】			
61	インドネシア文学者協会	インドネシア文学者協会 (HISKI)	05.4.18～ 05.4.21	「文学の講義方法および研究方法の再考」と題し、文学者、教師など200名あまりを集めた会議を開催
62	生け花展覧会開催経費助成	生け花インターナショナル	05.5.26～ 05.5.27	生け花インターナショナル設立21周年を記念して、生け花展覧会を開催。オープニングセレモニーには在インドネシア大使館の黒木公使夫人出席のもと100名以上が詰めかけた
63	日本語弁論大会（一般向け/西ジャワ）	パジャジャラン大学文学部日本語日本文学科	05.5.27～ 05.5.28	第31回日本文化祭を開催し、弁論大会（スピーチコンテスト）のほかに、漢字、かな、作文、習字、クイズ、聴解、朗読等のコンテストを行なった。スピーチコンテストの上位入賞者2名は、7月に行なわれる日本語弁論大会全国大会に出席
64	日本語弁論大会（一般向け/スラウェシ）	スラウェシ州日本語弁論大会実行委員会	05.5.28～ 05.5.28	7月に行なわれる日本語弁論大会全国大会のスラウェシ地区予選を行なった。マカッサルにあるハサヌディン大学で実施したが、マナドからも3名が参加

海外事務所

	事業名	助成対象団体	期間	内容
65	日本語弁論大会 (一般向け/バリ)	バリ州日本語弁論大会実行委員会	05.5.29～ 05.5.29	7月に行なわれる日本語弁論大会全国大会のバリ地区予選を行なった。15人の大学生・一般人が予選に参加
66	日本語弁論大会 (一般向け/東ジャワ)	東ジャワ地区日本語弁論大会実行委員会	05.5.29～ 05.5.29	7月に行なわれる日本語弁論大会全国大会の東ジャワ地区予選を行なった。14人の大学生・一般人が予選に参加
67	インドネシア大学日本研究センター ジャパン・エキスポ	インドネシア大学日本研究センター	05.6.9～ 05.6.11	インドネシア大学日本研究センターにおいて、以下の事業を実施。 1. 政治・法律・社会・経済分野のセミナーおよび討論会を実施 2. 本・雑誌・教育・食事など日本に関する物品の紹介 3. 日イ産業界の連携を図るためのビジネスランチの開催
68	ネオ・ピオン バンドン工科大学	バンドン工科大学	05.6.17～ 05.6.27	若手芸術家を支援する「ネオ・ピオン」シリーズ。バンドン工科大学で美術を学ぶ学生9名の作品を展示
69	ジャーナル『MANABU』	ジャーナル MANABU事務局	05.6.22～ 06.3.31	当地には日本研究の成果を世界に発信することを目的とした雑誌が存在しなかった。この目的を達成するために『MANABU』を創刊。原則として英語で記述され、全国から原稿を集めて掲載することに特色がある
70	インドネシア文学者協会協力	インドネシア文学者協会	05.8.8～ 05.8.21	インドネシア文学者協会主催の第16回国際会議に助成
【公演】				
71	琉球舞踊紹介	ジャカルタ芸術評議会	05.11.17～ 05.11.18	ジャカルタ芸術評議会が主催する「Art Suku II」に琉球舞踊グループ「伊是名の会」のワークショップと公演への協力を行なった
【講演・シンポジウム】				
72	ガジャマダ大学日本研究センター支援	ガジャマダ大学日本研究センター	05.7.20～ 05.7.23	ジョグジャカルタと京都市が姉妹都市協定20周年を迎えたことを記念して行なわれたシンポジウム
【文化備品・視聴覚資料貸出】				
73	各種文化備品貸し出し	—	05.4.1～ 06.3.31	地方で日本文化紹介事業が行なわれる際、ジャカルタ日本文化センターが所有する写真パネル、16ミリフィルム等の文化備品を行なった
【その他】				
74	インドネシア芸術見本市 セミナー講師招へい	インドネシア・パフォーミング・アーツ・マーケット事務局	05.6.6～ 05.6.9	バリ島で開催されたインドネシア芸術見本市 (IPAM) に、かつて東京芸術見本市の事務局長として活躍し、現在は跡見大学で教鞭をとっている曾田修司を招へいし、現在のIPAMの現状についての意見を聞くとともに、IPAMにおいて日本の舞台芸術の現状について紹介する講演を実施

	事業名	助成対象団体	期間	内容
75	インター・ナショナル・キュレーターワークショップ	ゲート・ハウス・ジャカルタ/アジア・ヨーロッパ財団	06.3.6～ 06.3.11	当地のゲート・インスティテュートおよびアジア・ヨーロッパ財団が主催する国際キュレーター・ワークショップに、日本からインディペンデント・キュレーターの犬友恵里の参加を支援する
	【日本語教育】			
76	高校日本語教師会支援（西ジャワ）	西ジャワ州高校日本語教師会	05.4.1～ 06.3.31	西ジャワ州高校日本語教師会が実施する勉強会等実施経費の一部助成。同地区担当のジュニア専門家が勉強会のアドバイスを行なった
77	高校日本語教師会支援（ジャボタベック）	ジャボタベック高校日本語教師会	05.4.1～ 06.3.31	ジャボタベック高校日本語教師会が実施する勉強会等実施経費の一部を助成。同地区担当のジュニア専門家が勉強会のアドバイスを行なった
78	高校日本語教師会支援（西スマトラ）	西スマトラ州高校日本語教師会	05.4.1～ 06.3.31	西スマトラ州高校日本語教師会が実施する勉強会等実施経費の一部助成。メダンの日本語教育専門家が勉強会のアドバイスを行なった
79	高校日本語教師会支援（中部ジャワ）	中部ジャワ州高校日本語教師会	05.4.1～ 06.3.31	中部ジャワ州高校日本語教師会が実施する勉強会等実施経費の一部助成。同地区担当のジュニア専門家が勉強会のアドバイスを行なった
80	高校日本語教師会支援（東ジャワ）	東ジャワ州高校日本語教師会	05.4.1～ 06.3.31	東ジャワ州高校日本語教師会が実施する勉強会等実施経費の一部助成。同地区担当のジュニア専門家が勉強会のアドバイスを行なった
81	高校日本語教師会支援（バリ）	バリ州高校日本語教師会	05.4.1～ 06.3.31	バリ州高校日本語教師会が実施する勉強会等実施経費の一部助成。同地区担当のジュニア専門家が勉強会のアドバイスを行なった
82	高校日本語教師会支援（北スラウェシ）	北スラウェシ州高校日本語教師会	05.4.1～ 06.3.31	北スラウェシ州高校日本語教師会が実施する勉強会等実施経費の一部助成。同地区担当の青年日本語教師が勉強会のアドバイスを行なった
83	高校日本語教師会支援（南カリマンタン）	南カリマンタン州高校日本語教師会	05.4.1～ 06.3.31	南カリマンタン州高校日本語教師会が実施する勉強会にジャカルタ地区担当のジュニア専門家が出張し、アドバイスを行なった
84	高校日本語教師会支援（北スマトラ）	北スマトラ州高校日本語教師会	05.4.1～ 06.3.31	北スマトラ州高校日本語教師会が実施する勉強会等実施経費の一部助成。同地区担当の日本語教育専門家が勉強会のアドバイスを行なった
85	インドネシア日本語教育学会支援（西ジャワ）	インドネシア日本語教育学会西ジャワ支部	05.5.1～ 06.1.31	日本語教育に関する論文や研究発表を掲載するジャーナルを年2回発行（6月および12月）
86	インドネシア日本語教育学会支援（中部ジャワ）	インドネシア日本語教育学会中部ジャワ・ジョグジャカルタ支部	05.7.16～ 05.7.16	中部ジャワ・ジョグジャカルタの日本語教師に対し、日本語初級の教授法（会話初級）と中級の教授法（会話中級と文法中級）を勉強する機会を与えるための研修会を開催

7. バンコク日本文化センター

合計額 58,726,815円

(1) 主催・共催事業

	事業名	共催者	会場	都市	期間	内容
	【.展示】					
1	Have We Met, Bangkok展	-	バンコク日本文化センターArt Space	バンコク	05.4.20～ 05.6.18	展示内容は、①ポータウイサクによる作品(作品タイトルは「恐竜」と、②ウィットによるビデオインスタレーション(作品タイトルは「Still Animations」(静的な動画)。ウィットは東京での展示作品に新作数点を付け加えた
2	日本の世界遺産：三好和義写真展	チェンマイ国立博物館/在チェンマイ総領事館	チェンマイ国立博物館/バンコク日本文化センターArt Space	バンコク/チェンマイ	05.7.6～ 05.9.15	国際交流基金が購送したパネル写真を活用し、「日本の世界遺産：三好和義写真展」をチェンマイとバンコクで巡回開催。本展は日本の著名な写真家・三好和義が日本各地の世界遺産を撮影した、芸術性ゆたかな約60点にのぼる写真を展示
3	第8回アジア漫画展	-	バンコク日本文化センターArt Space/ウボンラーチャタニー職業学校ホール	バンコク/ウボンラーチャタニー	05.7.15～ 05.9.16	「アジア漫画展」の第8回の展示事業。「生きがい」をテーマにアジア各国の第一線で活躍する13カ国13人の漫画家が、個性豊かなその持ち味で自国の文化や習慣、状況などを背景に表現した作品103点を紹介
4	笹井史恵展	-	バンコク日本文化センターArt Space	バンコク	05.9.21～ 05.10.31	「笹井史恵展 Rak - Naarak」と題する笹井史恵(ささい・ふみえ)によるアート展。同氏は漆を素材としたオブジェを制作し、「岡本太郎記念現代芸術大賞展」(2001)や「嵯峨アートコンペティション」(2001)などで入賞してきた若手アーティスト
5	コスト展	-	バンコク日本文化センターArt Space	バンコク	05.11.30～ 05.12.21	故今井俊満より絵画を勉強し、現在はバンコク在住の画家ジェラルド・コストの個展
6	東の間美術館ソイサーイ(奈良美智展)	タイ文化省/現代文化芸術推進室/シルパコン大学	シルパコン大学美術館	バンコク	06.2.10～ 06.2.17	日本を代表する現代アーティストの一人、奈良美智(なら・よしとも) + grafをフィーチャーし、タイや日本、欧州の多数のアーティストの作品をくわえたユニークな現代アート展。バンコク市内の複数サイトで同時開催

	事業名	共催者	会場	都市	期間	内容
7	ウォラサン・スパープ作品展	—	バンコク日本文化センターArt Space	バンコク	06.3.9～ 06.3.31	ウォラサン・スパープはかつてJICA青年招へいで日本を訪問し強い印象をうけ多くのインスピレーションを得たが、このときの日本体験からヒントをえて日本の水風景を題材に本展のためにあらたに作品を制作。それらの新作とタイの水辺の暮らしをモチーフにした既存作品を展示し、若きタイアーティストの水にまつわる芸術世界を紹介
8	「ポスターに見る日本」展（準備）	—	バンコク日本文化センターArt Space/チェンマイ大学美術館	バンコク/チェンマイ	06.4.20～ 06.5.28	国際交流基金が所蔵する巡回セット「Discover Japan Through Contemporary Posters ～現代ポスターにみる日本」を使った展示を実施。日本を代表する著名なグラフィックデザイナーがデザインしたポスター計75点を一挙に展示。2005年度は、2006年4月から5月に実施する本展の準備
【公演】						
9	沖縄舞踊公演	沖縄文化民間交流協会/タイ国家文化委員会	タイ文化センター小ホール	バンコク	05.6.6～ 05.6.10	沖縄文化の華、伝統舞踊。その国際性と芸術性で日本のみならず世界各地でも上演され賞賛されてきた。今回は宮廷舞踊や雑踊り、民俗舞踊で構成される本格的な沖縄舞踊と音楽演奏を内容とした
10	箏 KOTO Breathing New Life into Tradition - 現在を奏でる -	タイ国家文化委員会(ONCC)/チェンマイ大学アートミュージアム	タイ文化センター(小ホール)/チェンマイ大学アートミュージアム・シアター	バンコク/チェンマイ	05.12.8～ 05.12.9	タイ、米国、日本にそれぞれ在住し、プロ奏者として活躍している邦楽演奏家(元澤井箏合奏団のメンバーが主流)と、米国の仲間たち(および日本からは尺八奏者を招へい)による、コンテンポラリー、現代的な音楽コンサート
【講演・シンポジウム】						
11	タマサート大学日本研究国際会議	タマサート大学政治学部国際関係専攻修士課程	タマサート大学	バンコク	05.9.29～ 05.9.30	アセアン諸国とのFTA締結、フィリピン・タイ・マレーシア、さらにはアセアンとのFTA交渉の動きを振り返り、将来の東アジア共同体の可能性について議論。日本からは白石隆(政策研究大学院大学教授)が参加

	事業名	共催者	会場	都市	期間	内容
12	フェローセミナー	-	Sheraton Grande Sukhumvit Hotel	バンコク	06.2.24～ 06.2.24	平成16年度日本研究フェローとして「現在の日本人のしつけと学校教育」について日本で研究したWarintorn Wuwongse（タマサート大学教養学部準教授）、および日本とタイなどの発展途上国の教育に詳しい黒田一雄（早稲田大学大学院アジア太平洋研究課助教授）による、日本とタイの教育と人材育成についてのセミナー
13	チュラロンコン大学日本研究セミナー	チュラロンコン大学アジア研究所	チュラロンコン大学	バンコク	06.3.21～ 06.3.21	日本研究セミナー「経済のグローバル化と文明の課題“Globalizing Economy and Civilizational Agenda”」をチュラロンコン大学アジア研究所と共催
【映画】						
14	J Fシアター	-	バンコク日本文化センター多目的Hall	バンコク	05.4.1～ 06.3.31	毎月テーマを定め、ウィークエンドの毎週金曜日に、2005年5月からは第1および第3火曜日を加え、18：30から定期的に開催する日本映画の上映会。原則として、タイ語字幕付きで上映
15	日本映画祭2005	映画雑誌パルプ/メジャー映画館	EGV METRO/Major Cineplex CWP/バンコク日本文化センターホール多目的Hall	バンコク	05.11.4～ 05.12.9	数年前に日本で公開された作品を中心に、娯楽ものからアート系・インディーズ系まで、また気鋭の若手監督からベテラン監督まで、ヴァリエター豊かな構成の計17本、タイ未公開作品を一挙上映参加者数、参加者層は一般社会人、学生など
【日本語教育】						
16	派遣専門家・ジュニア専門家定期報告会	-	バンコク日本文化センター	バンコク	05.4.1～ 06.3.31	地方に派遣している派遣専門家、ジュニア派遣専門家が一同に会し、活動報告や情報交換、意見交換を行なった。2005年度は2回実施
17	日本語教育通信教育講座	-	-	-	05.4.1～ 06.3.31	地方在住のタイ人日本語教師を対象とした日本語通信講座。年間20回の予定で教材を送付し、添削指導を行なった
18	日本語教師集中研修会	-	バンコク日本文化センター日本語教室	バンコク	05.4.1～ 06.3.31	タイ人日本語教員の日本語運用能力および教授能力の向上を目指し、評価の方法、文章表現、表現力の向上、初級指導法などのテーマに沿った集中講義を行なった。日本語能力試験3級および2級合格者を対象とした

	事業名	共催者	会場	都市	期間	内容
19	日本語教育広報誌『タウン』発行	-	-	-	05.4.1～ 06.3.31	年3回各号1,800部（版型A4 毎号24ページ）を発行。バンコク日本文化センター日本語事業をタイ語・日本語で紹介
20	教材・教具助成	-	-	-	05.4.1～ 06.3.31	タイ各地の日本語教育機関に対し、2,000パーツを限度に教材寄贈を行った。寄贈教材は、テープレコーダーやタイ国内で出版された日本語教材など。バンコク日本文化センターが作成し、市販している中等教育向け『あきこと友だち』、バンコク日本文化センターが開発した副教材「ひらがなカード」、「動詞カード」なども選択できる
21	日本語講座運営（一般講座）	-	バンコク日本文化センター日本語教室	バンコク	05.4.1～ 06.3.31	日本語中・上級レベルの学生・一般社会人対象とした日本語講座。2005年度は、通訳・翻訳コースなどの専門的なコースと、総合的な能力向上を目指すコースなど合計16コース17クラスを設定
22	日本語テレビ番組制作支援	タイ国教育省学校外教育局	-	-	05.4.1～ 06.3.31	遠隔地に住む人でもテレビ放送を通じて日本語の学習ができるよう、2003年度に制作した日本語学習番組をテレビ地上波（11ch）で全国に放送。また、視聴者がテレビを見ながら自分で学習するためのテキストの配布を行った。1課は25分番組とし、20課分を制作したものを放送
23	紀要発行	-	-	-	05.4.1～ 06.3.31	年1回、700部（版型A4 2004年度版255ページ）を発行。日本語教育に関する論文、実践報告などをタイ語・日本語で掲載し、日本語教育機関に対して配布
24	広域活動強化事業（日本語教師研修）	-	バンコク日本文化センター日本語教室	バンコク	05.4.18～ 05.4.29	日本語運用能力および教授能力の向上を目指し、評価の方法、文章表現、表現力の向上、初級指導法などのテーマに沿った集中講義を行った。日本語能力試験3級および2級合格者を対象。バンコク日本文化センターが持つ広域機能の一環として、タイ人現職日本語教師の集中講座にベトナム、ラオス、カンボジアの周辺国からの参加者を加え、広域強化事業として実施

	事業名	共催者	会場	都市	期間	内容
25	邦人日本語教師教授法等研修会	泰日経済技術振興協会 (TPA/ソーソーター)	泰日経済技術振興協会	バンコク	05.5.24～ 05.5.30	日本語教授歴1年未満の経験の浅い日本人日本語教師を対象に、タイにおける教育や日本語教育の基礎に関する講義を行なった
26	北部タイ中等日本語教師研修会	—	ユパラート ウィッタヤライ 高校	チェンマイ	05.6.3～ 06.2.24	北部タイに在住するタイ人中等教育機関日本語教師を対象とする日本語教育研修会。国際交流基金派遣のジュニア専門家が指導。前期は6月3日から9月23日まで、後期は11月4日から2月24日まで実施
27	日本語教育セミナー (第1回)	—	バンコク日本文化センター日本語教室	バンコク	05.7.30～ 05.7.30	「カセサート大学における通訳授業の一例」というテーマで同大学のブッサバー・バンチョマンニー助教授による日本語・タイ語の通訳に関する講義・質疑応答を行なった
28	日本語教育セミナー (第2回)	—	バンコク日本文化センター日本語教室	バンコク	05.12.24～ 05.12.24	「現代における慣用句の研究—タイの学生のための慣用句辞典の作成—」というテーマでニダー・ラップスイサワット (キングモンクット工科大学講師) による講義を行ない、質疑応答と意見交換を行なった
29	日本語教育セミナー (臨時)	—	バンコク日本文化センター	バンコク	06.3.13～ 06.3.13	トムソン木下千尋 (豪州・ニューサウスウェールズ大学教授) のサバティカルによる来タイの機会を捉えて臨時のセミナーを実施し、同氏の専門である「学習者オートノミー」についてタイの日本語教師に紹介
30	日本語教育セミナー (第3回)	—	バンコク日本文化センター	バンコク	06.3.17～ 06.3.17	日本の日本語教育界で注目を浴びていながらタイでは紹介される機会がない「協働学習」のコンセプトをタイの日本語教師に紹介し、タイ国内の日本語教育界全体の進展に寄与した。講師は館岡洋子 (東海大学留学生教育センター教授)
31	広域活動強化事業 (日本語弁論大会)	在ラオス大使館 / ラオス国立大学	ラオス国立文化会館	ビエンチャン	06.3.19～ 06.3.19	在ラオス大使館やラオス国立大学などからなる日本語スピーチ大会実行委員会が主催する全国レベルの日本語弁論大会。バンコク日本文化センターからは審査委員派遣の協力を行なった

	事業名	共催者	会場	都市	期間	内容
	【図書館運営】					
32	図書館運営	-	バンコク日本文化センター図書館	バンコク	05.4.1～ 06.3.31	図書館を運営し、タイにおける日本研究学者や日本語教師をはじめ、広範な利用者の用に供した 2004年度末（2005年3月）蔵書規模：日本語図書（日本語教材含む）12,998冊、英語図書5,628冊、タイ語図書2,005冊、ビデオ1,310本、カセット614セット、CD書籍・音楽CD312枚
	【出版・広報】					
33	季刊広報誌『Japan Letter』発行	-	-	-	05.4.1～ 06.3.31	文化交流に関するエッセイやバンコク日本文化センター事業の活動報告を英語・タイ語2カ国語で伝える広報誌を、季刊（年間4回）により、毎号1,000部発行し、文化関係者に配布
	【その他】					
34	近隣諸国調査出張	-	-	クアラルンプール/シンガポール/マニラ/ピエンチャン	05.4.1～ 06.3.31	バンコク日本文化センター広域活動強化事業対象国であるベトナム、ラオス、カンボジア、ミャンマーのニーズを調査。また、近隣諸国の情報収集し、今後のタイにおける事業立案の参考にした

(2) 助成・協力事業

	事業名	助成対象団体	期間	内容
	【助成事業】			
35	文化事業小規模助成/箱嶋泰美展	シルパコン大学 絵画・彫刻・グラフィックアート学部	05.4.22～ 05.5.7	英文名称はDiscovery-That's the way, I like it!と称し、シルパコン大学絵画・彫刻・グラフィックアート学部にてアーティスト・イン・レジデンスプログラムで滞在している箱嶋泰美による個展。同氏は、留学を含め2003年より2年間バンコクに滞在していたが、アーティスト・イン・レジデンスプログラムで日本人芸術家を受け入れるのは稀な例。その2年間に制作した種々の技法（油彩、エッチング等）による40点の作品を展示
36	JADEC BKK ZONE1セミナー助成	-	05.5.20～ 05.5.20	バンコク近辺の日本語教師を対象に、初級日本語の中で難しい文法項目に関するレクチャーおよび今後の大学入試制度の動向に関する報告を行なった
37	ラチャパットの日本語教育を考える会助成	ラチャパットの日本語教育を考える会	05.7.9～ 05.7.9	ラジャパット大学で日本語教育に携わる日本人教師を中心とした日本語教師会が定例総会と実践報告会を行なった

海外事務所

	事業名	助成対象団体	期間	内容
38	Phranakhon Si Ayuttaya Rajabhat University助成	Phranakhon Si Ayuttaya Rajabhat University	05.7.27～ 05.7.27	大学創立100周年を記念した日本語コンテストを実施
39	日本研究・知的交流小規模助成(IFLA)	国際図書館連盟アジア・大洋州事務所	05.9.19～ 05.9.22	国際図書館連盟アジア・大洋州事務所とユネスコが主体となり、東南アジア各国から司書や学校を支援するNGOスタッフなどの専門家を集め、現代世界に溢れる情報の取捨選択と正しい使い方を学校の図書館教育を通じて各国に広める方策を考える国際会議
40	文化事業小規模助成/Yayoi Kusama in Thailand	100 Tonson Gallery	05.10.18～ 05.12.31	世界的な現代アーティスト草間弥生のプリント作品などを中心に、バンコク市内2会場において展示を行なった。目玉は草間デザインによる水玉模様の車。トンソンギャラリーが日本でのオークションで競り落とした逸品
41	Shodo Contest and Kanji Quiz 助成	Navamindarajudis Payap School	05.12.4～ 05.12.4	チェンマイの高校が主催する書道コンテストと漢字クイズで、タイ北部の計15の高校が参加。毎年国王誕生日(父の日)に実施されているもので、書道コンテストは今回で3回目、漢字クイズは今回で2回目
42	日本研究・知的交流小規模助成(チュラロンコン大学政治学部大学院)	チュラロンコン大学政治学部大学院	05.12.29～ 05.12.29	鈴木直喜(清泉女学院大学助教授)を講師の一人に招き、NGOが関わる市民参加型の政策立案についてのセミナーを行なった
43	日本研究・知的交流小規模助成(ワライラック大学)	ワライラック大学	06.1.14～ 06.1.16	東南アジアとヨーロッパのイスラム研究とその社会への影響、イスラム社会の教育システムや教育機関の状況などを比較分析した
44	北タイ中学・高校日本語コンテスト助成	北部タイ中等教育日本語教師会	06.2.10～ 06.2.10	学習者の日本語能力の向上、日本語への接触機会の増大、日本語教育関係者のネットワーク作りを目的として、日本語弁論大会・硬筆・朗読・クイズなどのコンテストを行なった
45	北部タイ大学日本語弁論大会助成	タイ国元留学生協会北部支部	06.2.11～ 06.2.11	タイ北部で日本語を学ぶ大学生の日本語能力の向上、日本語使用の実践の場の提供、関係機関のネットワーク作りなどを目的に、タイ北部では初めてとなる一般大学生向け日本語弁論大会を実施
46	日本研究・知的交流小規模助成(チェンライ・ラーチャパット大学)	チェンライ・ラーチャパット大学	06.2.16～ 06.2.18	研究者、NGOスタッフ、政府関係者等による、メコン川流域の社会・経済・文化の問題についての国際会議
47	文化事業小規模助成/Designer's Saturday	art4d	06.3.11～ 06.3.11	タイを代表する建築デザインアート専門誌『Art4D』が主催し、当地ブリティッシュ・カウンシルが英国からの被招へい者(Sam Hecht)の渡航経費等負担し、バンコク日本文化センターが同様に日本からの被招へい者(原研哉)の渡航経費を対象に助成。両氏はともに著名なプロダクトデザイナー。とくに原研哉は長野冬季オリンピックの広報資料デザインや無印良品の芸術アドバイザーをつとめるなど国内外で現在もっとも活躍いちじるしい第一線のデザイナーである

	事業名	助成対象団体	期間	内容
48	タイ日本研究ネットワーク(仮称)設立準備会議	タマサート大学東アジア研究所	06.3.15～ 06.3.15	タマサート大学東アジア研究所が主催し、国際交流基金の日本研究リサーチ・会議等助成事業で支援した、タイにおける日本研究振興についてのワークショップのフォローアップ会議

8. クアラルンプール日本文化センター

合計額 58,566,993円

(1) 主催・共催事業

	事業名	共催者	会場	都市	期間	内容
	【公演】					
1	BATIK	-	Kuala Lumpur Performing Arts Centre	クアラルンプール	05.5.25～ 05.5.26	黒田育代(トヨタコレオグラフィアーワード受賞振付家)率いるカンパニーBATIKによる現代舞踏公演。公演2日目に、同氏によるトークも実施。力強さと繊細さを併せ持った本作品は、観客からの評判も高かった
2	Malaysian Dance Festival(室伏鴻レジデンス)	My Dance Alliance/文化芸術遺産省	Kuala Lumpur Performing Arts Centre	クアラルンプール	05.6.7～ 05.7.2	Malaysian Dance Festivalへの参加事業。マレーシアのダンサー5名と日本の舞踏家室伏鴻との約1カ月のレジデンスを経ての共同制作作品公演。実施期間中ワークショップを開催
3	英語落語	-	Kuala Lumpur Performing Arts Centre/Pentas2	クアラルンプール	05.9.9～ 05.9.10	クアラルンプールでは3回目の公演。今回は従来の2回公演から3回公演に増やして実施。出演者は桂かい枝、桂あさ吉、大島希巳枝(プロデューサー)のほか、小川芳江(マジック)、林家和女(三味線)の5名
4	ドラマ・リーディング・プロジェクト	Mr. Sek San(会場提供)	67 Tempinas Satu	クアラルンプール	05.12.9～ 05.12.10	国際交流基金が助成し、紀伊国屋書店より出版された"Half a Century of Japanese Theatre"を活用し、日本の現代戯曲を紹介するためのプロジェクトの第一回目。今回は、若手の演出家Lim How Ngeanによる、坂手洋二の『くじらの墓標』を上演

	事業名	共催者	会場	都市	期間	内容
	【映画】					
5	定期映画上映会	在マレーシア大使館/マレーシア観光センター	マレーシア観光センター	クアラルンプール	05.4.1～ 06.3.31	毎月第1、第3土曜日の16:30より、マレーシア観光センターミニ講堂（定員126名）にて、英語字幕つき日本映画上映会を実施。入場無料。フィルムは主に東アジアフィルムライブラリー所蔵の16mmフィルムを使用
6	日本映画祭	Golden Screen Cinemas	Golden Screen Cinemas/ Mid Valley/Golden Screen Cinemas/ Gurney Plaza	クアラルンプール/ペナン	05.6.15～ 05.7.10	クアラルンプール日本文化センター、在ペナン総領事館、ゴールデン・スクリーン・シネマによる共催事業。2003年から毎年継続しており、今回は『東京物語』、『茶の味』など家族をテーマとした作品を6本上映
	【日本語教育】					
7	小規模日本語教材寄贈	—	—	クアラルンプール/マラッカ州/ペラ州/スランゴール州/ペルリス州/ケダ州/クアンタ州/ジョホール州/サバ州	05.4.1～ 06.3.31	新規に日本語講座を立ち上げた教育機関に対し、必要最小限の教材確保を支援する目的で小規模の教材寄贈を実施。2005年度は重点項目である中等教育支援のため、中等教育関連機関に寄贈を行なった
8	シンガポール（広域担当）	—	—	シンガポール	05.4.1～ 06.3.31	2005年度をもってシンガポールへの専門家派遣が打ち切られることに伴い、在シンガポール大使館、日本語教師の会、シンガポール教育省、国立シンガポール大学等、関係機関を訪問してニーズ調査を行なった
9	プロジェクトコンサルティング	マレーシア科学大学/マレーシア・サバ大学	マレーシア科学大学/マレーシア・サバ大学	ペナン/コタキナバル	05.4.1～ 06.3.31	マレーシア科学大学が進めている教科書作成プロジェクトに対する協力と、マレーシア・サバ大学が2005年度から開始した口頭能力評価法作成プロジェクトへの協力。電話、メール等による対応の他、大学において検討会議やワークショップが実施される場合には出張を行なった

	事業名	共催者	会場	都市	期間	内容
10	学校訪問	-	-	-	05.4.1～ 06.3.31	日本語教育機関の視察、日本語教師からの相談受付、各機関の責任者への日本語教育アピールを目的に、機関が実施する日本紹介関係各種イベントや小規模図書寄贈の機会を捉え、積極的に日本語教育機関を訪問。特に2005年度は重点項目としている中等教育機関への訪問を重点的に行なった
11	個別研究支援 (プラットフォーム事業)	-	-	クアラル ンプール	05.4.1～ 06.3.31	日本語教師ネットワークの中心的な存在となりうる人材を集团的・重点的に養成するため、平成15年度から開始された3年計画事業の3年目。平成15年度および16年度に実施した上級通信講座の修了者のうち、研究課題がしぼれた者を対象に、個別の研究テーマに沿って、研究支援を実施
12	第2回高校生日本語弁論大会	マレーシア教育省/クアラルンプール日本人会/マレーシア日本人商工会議所/在マレーシア大使館	クアラルンプール日本人会講堂	クアラル ンプール	05.4.23～ 05.4.24	昨年に引き続き、第2回高校生日本語弁論大会を実施。原稿審査を経て出場者10名が日本招へい旅行を目指してスピーチを行なった。大会前日には関西国際センターの訪日研修参加者選考の一部として筆記試験と面接試験を実施。最優秀賞受賞者はエデュケーション・ガーディアンシップ・プログラム (E.G.G)主催の第10回JSAスピーチコンテストに招へい、特別賞は、関西国際センター主催の「日本語学習者訪日研修(高校生)」に参加
13	第1回東海岸・南部地域日本語教育キャラバン	-	クアラルンプール日本文化センター	クアラル ンプール	05.6.11～ 05.6.12	地方在住の日本語教師の教授能力向上を目指した出張セミナー。マレーシア半島東海岸・南部地域およびクアラルンプール・クランバレー地域の大学、予備教育機関、RS、民間の日本語教育機関で日本語教育に携わるマレーシア人日本語教師、および、日本人日本語教師計45名(2日間の延べ数)が参加
14	第1回北部地域日本語教育キャラバン	-	ペナン日本語協会	ペナン	05.6.25～ 05.6.26	地方在住の日本語教師の教授能力向上を目指した出張セミナー。マレーシア半島北部地域の大学、RS、インターナショナルスクール、民間の日本語教育機関で日本語教育に携わるマレーシア人日本語教師、および、日本人日本語教師計30名(2日間の延べ数)が参加

	事業名	共催者	会場	都市	期間	内容
15	第1回東マレーシア日本語教育キャラバン	-	マレーシア・サバ大学	コタキナバル	05.7.16～ 05.7.17	地方在住の日本語教師の教授能力向上を目指した出張セミナー。参加者は、大学、RS、民間の日本語教育機関で日本語教育に携わるマレーシア人、および、日本人日本語教師で、計26名（2日間の延べ数）
16	日本語弁論大会一般の部	クアラルンプール日本人会/マレーシア日本人商工会議所/在マレーシア大使館/JAGAM	クアラルンプール日本人会講堂/ペナン福祉協会コンプレックス/エクセルシオールホテル	クアラルンプール/ペナン/イポー	05.8.6～ 05.8.28	オープンカテゴリーの弁論大会。クアラルンプール日本文化センターはクアラルンプール首都圏・南部地区の地方大会および全国大会を共催。地方大会は他にペナン、イポー、コタキナバルの各都市でも実施され、クアラルンプール日本文化センターはこれら地方大会にも共催者として資金面で協力。また、イポーについては審査員として専門家を派遣
17	中等教育教科書改訂ワークショップ	マレーシア教育省	クアラルンプール日本文化センター	クアラルンプール	05.8.29～ 05.8.30	2006年より中等教育向けの新テキストの作成に入るようになったことに先立ち、具体的な方法を検討するためのワークショップをマレーシア教育省と共催で開催。参加者はクアラルンプール日本文化センター専門家および担当者のほか、テキスト作成委員会のメンバーである中等学校教員計12名、シラバス作成委員長、および教育省カリキュラム開発センターの担当者
18	第2回日本語教育研究発表会・浦和研修報告会	IPBA	IPBA	クアラルンプール	05.9.24～ 05.9.24	日本語教育関係者に広く研究発表の機会を提供すること、研究や実践の成果を広く共有することおよび研修の参加者に研修成果を現場に還元する責任を自覚してもらうとともに、研修OB間のネットワークを強化することを目的に開催。当日は、54名以上の教師が出席
19	日本語弁論大会予備教育の部	クアラルンプール日本人会/マレーシア日本人商工会議所/在マレーシア大使館/ALEPS	クアラルンプール日本人会	クアラルンプール	05.10.1～ 05.10.1	日本留学予備教育課程在学中の学生による弁論大会。マラヤ大学予備教育部日本留学特別コース（AAJ）、マレーシア工科大学日本高専予備教育センター（PPKTJ）、日本マレーシア大学連合プログラム（JAD）、アジアユースフェローシップ（AYF）、帝京マレーシア日本語学院予備教育コース（IBT）の在学生在が参加

	事業名	共催者	会場	都市	期間	内容
20	第2回東マレーシア日本語教育キャラバン	—	ホリデイ・イン・クチン	クチン	05.11.12～ 05.11.13	後期の日本語教育キャラバンは、ノンネイティブ教師の日本語のブラッシュアップを主目的とし、国内3都市において開催した。ただし、全体を通して日本語の口頭能力のブラッシュアップを中心とはしながらも、教授法や教材利用、教室活動などの面でも参考となるような内容を目指した。東マレーシアキャラバンは参加者15名（2日間の延べ数）
21	第2回東海岸・南部地域日本語教育キャラバン	—	クアラルンプール日本文化センター	クアラルンプール	05.11.26～ 05.11.27	後期の日本語教育キャラバンは、ノンネイティブ教師の日本語のブラッシュアップを主目的とし、国内3都市において開催。ただし、全体を通して日本語の口頭能力のブラッシュアップを中心とはしながらも、教授法や教材利用、教室活動などの面でも参考となるような内容を目指した。東海岸・南部地域キャラバンの参加者19名（2日間の延べ数）
22	第2回北部地域日本語教育キャラバン	—	ペナン日本語協会	ペナン	05.12.17～ 05.12.18	後期の日本語教育キャラバンは、ノンネイティブ教師の日本語のブラッシュアップを主目的とし、国内3都市において開催。ただし、全体を通して日本語の口頭能力のブラッシュアップを中心とはしながらも、教授法や教材利用、教室活動などの面でも参考となるような内容を目指した。参加者の日本語能力にかなりの差があることが予想されたため、2日目は各セッションをレベル別で2クラスに分けて行なった。北部地域キャラバンは参加者18名（2日間の延べ数）
23	日本語教育セミナー	独立行政法人国立国語研究所/ マラヤ大学予備教育部	マラヤ大学予備教育部AAJ講堂	クアラルンプール	06.3.4～ 06.3.5	マレーシア全土の日本語教師を対象とするセミナー。今年度は「学習者のまわりにある日本語、そして、日本語学習を考える」をテーマに実施。基調講演、マレーシアおよびシンガポールからスピーカー4名による関連発表4件、参加者によるグループワーク、まとめの講演という構成とした。マレーシア人日本語教師および日本人日本語教師、計67名に加え、フィリピンからも2名参加

	事業名	共催者	会場	都市	期間	内容
24	浦和短期研修事前オリエンテーション（春期）	マレーシア教育省	クアラルンプール日本文化センター	クアラルンプール	06.3.21～ 06.3.21	日本語国際センター研修参加予定者に対し、研修内容・環境についてブリーフィングを行ない、課題設定・事前準備について指導・助言することにより、訪日研修の効果を増大させ、帰国後の所属機関および周辺への還元につなげることを目的に実施。2005年度は2006年度の海外日本語教師短期研修（春期）への参加者3名を対象に実施
【図書館運営】						
25	日本語教育図書教材サテライトリソースセンター	ペナン日本語協会/ペラ馬日友好協会	ペナン日本語協会/ペラ馬日友好協会	ペナン/イポー	05.4.1～ 06.3.31	クアラルンプール日本文化センター図書館の分館として、ペナンとイポーに「サテライト・リソースセンター」を設置し、最新教材等へのアクセスを付近の日本語教師に提供
26	図書館運営	－	クアラルンプール日本文化センター	クアラルンプール	05.4.1～ 06.3.31	通常の図書館運営、広報誌『図書館だより』発行（隔月発行）のほか、利用者を増やすべく図書館の利用環境充実を目指し拡張工事を行なった。これに伴い、インターネット利用ブースが設置されたほか、AV資料閲覧ブースが改善され、手狭であった書庫・執務スペースの拡張が実現
【出版・広報】						
27	広報誌TEMAN BARU発行	－	－	－	05.4.1～ 06.3.31	ニュースレター『Teman Baru』（毎偶数月発行）の発行
28	ニューズレター（ブンガラヤ）	－	－	－	05.4.1～ 06.3.31	日本語事業のニューズレター、『ブンガラヤ』を年4回発行。日本語関連事業の紹介の他、新刊教材の紹介、学校紹介、教案のヒントなどを掲載
【教室事業】						
29	春のお茶会	裏千家茶道同好会(高野 宗喜)	クアラルンプール日本文化センター	クアラルンプール	05.4.9～ 05.4.9	クアラルンプール日本文化センターの和室にて、30分のお茶会を4席実施。一席の定員を12名とし、合計48名が参加。全体の指揮を、裏千家茶道同好会の高野宗喜に依頼し、お水屋等の手伝いはそのメンバーが担当。限りなく実際のお茶会の形を実現しつつ、各席の後にはQ&Aセッションを設け、初めて茶道を体験する参加者にも楽しめるよう心がけた

	事業名	共催者	会場	都市	期間	内容
30	日本語教師養成講座	—	クアラルンプール日本文化センター	クアラルンプール	05.4.27～ 06.2.15	日本語能力試験1級程度の日本語力を有する日本語学習者および永続的にマレーシアに在住する日本人に対し、初級日本語講座で教えることができる程度の教授能力を獲得させることを目標とした。平成16年度から始まった2年コースの2年目
31	日本語講座	—	クアラルンプール日本文化センター	クアラルンプール	05.5.9～ 06.3.31	一般向けの日本語講座。民間学校では実施されていない中上級～上級レベルの4クラスを開講
32	雛祭り 茶道デモンストレーション+折り紙ワークショップ	裏千家茶道同好会(高野 宗喜)	クアラルンプール日本文化センター	クアラルンプール	06.2.26～ 06.2.26	雛飾りをセンターロビーに展示すると共に、雛祭りにちなんだ形で茶道デモンストレーションを和室にて行ない、その後参加者が試飲折り紙ワークショップも開催。茶道デモンストレーションと折り紙ワークショップをセットに1セッションとし、全5セッション開催。各セッション定員は32名で総参加者数は129名

(2) 助成・協力事業

	事業名	助成対象団体	期間	内容
	【助成事業】			
33	小規模助成事業 (Kelab Seni Filem)	Kelab Seni Filem Malaysia	05.4.2～ 05.4.3	クアラルンプールの映画愛好者団体、Kelab Seni Filem Malaysia による、高橋洋一郎監督特集の実施。高橋監督を招へいし、同監督の作品『8月の魚』、『ビタミンF』、『日曜は終わらない』の3本を上映。各上映終了後には、客席との質疑応答が行なわれたほか、マレーシアの若手監督との懇談会をクアラルンプール日本文化センター主催にて実施
34	シンガポール日本語教育セミナー (助成)	シンガポール国立大学	05.8.3	シンガポール国立大学語学教育研究センター主催シンガポール日本語教師の会
35	小規模助成事業 (日本研究・知的交流事業費/UKM)	マレーシア国民大学	05.11.23～ 05.11.28	マレーシア国民大学主催のカンファレンス"Worlds in Discourse"への助成。助成対象は、講演を依頼された志鷹英行(広島女子大学教授)の招へい経費
36	マラ工科大学 (UiTM) 国際会議 (助成)	マラ工科大学	05.12.12～ 05.12.14	マラ工科大学と松山東雲女子大学の大学間協定による日本語教育研究と他言語教育研究を含めた形で開催された会議
37	マレーシア・サバ大学浴衣プロジェクト(助成)	マレーシア・サバ大学 (UMS)	05.12.12～ 06.3.31	マレーシア・サバ大学で日本語を学習している学生が日本語教員の指導の下、浴衣を手作りし、成果物の展示を行なった。展示に併せて制作過程の紹介(制作過程の撮影したもの)、ワークショップを行なった

海外事務所

	事業名	助成対象団体	期間	内容
38	小規模助成（日本文化祭ワークショップinクラントン）	コタバル日本語学習者協会	05.12.29～ 05.12.29	マレー半島北東部クラントン州コタバルで実施された日本文化紹介に関するイベント。内容・日程は以下のとおり。12月29日（木）午前生け花デモンストレーションとワークショップ。午後：折り紙ワークショップ
39	小規模助成事業（日本研究・知的交流事業費/PHT）	Penang Heritage Trust	06.1.16～ 06.1.20	ペナンで活発に文化遺産保護活動を行なっているNGO、Penang Heritage Trustによる文化遺産保護を教育の場で活用するための、教育者向けワークショップ。ユネスコからも助成を受けた
40	小規模助成（Gardner & Wife）	Gardner & Wife Sdn. Bhd.	06.3.3～ 06.3.19	日本のコメディ仕立てのパントマイムデュオ「がーまるちょば」のクアラルンプール公演。彼らは、既に海外で実績のある団体であり、今回は2週間という当地の平均からするとロングランの公演
41	小規模助成（Multimedia University）	Multimedia University	06.3.18～ 06.3.18	GACC（Game Anime Comic Circle）と題した、アニメーション、コミック、コンピュータゲームに関する学生主催の一般向けイベント。マルチメディア大学の一般公開日に併せて実施された。コスプレ、コンピュータゲームの勝ち抜き戦などのイベントの他、国内の漫画雑誌出版社や同人誌のブースも設けた
	【その他】			
42	中等教育教科書改訂会議	マレーシア教育省	05.4.1～ 06.3.31	マレーシア教育省が進めている中等教育用新教科書作成作業に対する協力。クアラルンプール日本文化センターの日本語教育専門家が全ての作業会議に出席し、助言を行なった。負担経費はセンター専門家の旅費や文房具代等
43	Malaysian Video Award	Malaysian Video Award	05.11.30～ 05.11.30	Malaysian Video Award（MVA）でのびあフィルムフェスティバルグランプリ作品『ある朝、スープは』（監督：高橋泉）、『さよなら、さよなら』（監督：廣末哲万）上映、高橋監督を招へい
44	中等教育シラバス翻訳	マレーシア教育省	06.2.1～ 06.3.31	教育省では、外国語科目のシラバスについて、その教育言語に翻訳したものをウェブサイトに掲載することになっており、今回のシラバス翻訳は、その原稿作成のためのもの。2005年度はすでに完成済みの1年生分のみを実施

9. シドニー日本文化センター

合計額 133,245,548円

(1) 主催・共催事業

	事業名	共催者	会場	都市	期間	内容
	【展示】					
1	弓道グラフィー	—	シドニー日本文化センターギャラリー	シドニー	05.4.21～ 05.5.22	フランス系オーストラリア人フランク・ラ・ペティによる「弓道」をモチーフとした写真とテキスタイルを融合させた作品の展示会
2	筒書き友禅	東レストラン /Tetsuya's	シドニー日本文化センターギャラリー	シドニー	05.6.16～ 05.6.29	筒書き友禅の第一人者小林秀明による暖簾を中心とした筒書き友禅の展示およびデモンストレーション
3	竜安寺サウンド展	—	シドニー日本文化センターギャラリー	シドニー	05.8.10～ 05.8.26	サウンド・アーティストのマイケル・ファウラーによるデジタル音楽、映像による竜安寺石庭の新解釈
4	油絵展	—	シドニー日本文化センターギャラリー	シドニー	05.10.5～ 05.10.19	パース在住の画家小畔義雄、節子夫妻によるスーパー・リアリズム絵画展を実施
5	Sprit of the Kami	—	シドニー日本文化センターギャラリー	シドニー	05.12.9～ 05.12.19	日本在住写真家、装飾アーティストの山口カーラによる日本の神々にまつわる写真、服飾、ビーズ・アートの展示およびワークショップ。各ワークショップには常に30名前後の子供たちが集まった
6	絵本展	—	シドニー日本文化センターギャラリー	シドニー	06.2.27～ 06.3.17	スウェーデンの世界的児童文学賞アストリッド・リンドグレン記念賞を受賞した荒井良二、独特の作風で知られる鈴木コージという日本を代表する絵本作家、イラストレーターによるライブ・ペインティング、ワークショップ、作品の展示会
	【公演】					
7	TSUNAMIチャリティコンサート	シドニー在住のアーティスト	シドニー日本文化センターギャラリー	シドニー	05.4.15～ 05.4.15	シドニー在住の複数のアーティストの自主的な企画による「インド洋沖地震による津波被害」復興支援のためのチャリティ・コンサート

	事業名	共催者	会場	都市	期間	内容
8	ワラタ・コンサート&CDローンチ	-	シドニー日本文化センターギャラリー	シドニー	06.2.8～ 06.2.8	シドニー在住の琴奏者小田村さつきのCD「Koto Dreaming」リリース記念として、小田村が参加し、愛知万博にも出演した音楽集団Waratah（琴：小田村さつき、ソプラノ・サクソクス：サンディ・エバンス、パーカッション：トニー・ルイス）のコンサートを実施
【講演・シンポジウム】						
9	内野儀招へい(NIDA/アジアリンク)	国立演劇学校/アジアリンク	講堂/アジアリンク	シドニー/メルボルン	05.7.1～ 05.7.1	メルボルンのアジアリンクの主催した日本文化フォーラムに対し、パネリストとして内野儀（東京大学助教授）をゲストスピーカーとして招へい。シドニーの国立演劇学校(NIDA)でも講演を実施。参加者90名
10	JSAA会議	JSAA (Japanese Studies Association of Australia)	アデレード大学	アデレード	05.7.4～ 05.7.7	2年に一度開催されるオーストラリア日本研究学会の総会。基調講演は日本から毛利衛、鳥飼久美子（立教大学）、Helen Hardacre（ハーヴァード大学）の3人がアジアの事務所の協力を得て、インドからRajaram Pandaが、シンガポールからは寺田貴（シンガポール大学）、また、日本からの参加者も数多く参加。参加者総数約500名
11	盆栽ワークショップ	オーストラリア盆栽協会	シドニー日本文化センター多目的ルーム	シドニー	05.8.18～ 05.8.18	第18回オーストラリア盆栽協会連盟の主催する盆栽コンベンションのため来豪した木村正彦（国際交流基金助成）による盆栽のレクチャー・デモンストレーション。約100名が参加
【映画】						
12	Film Library	-	-	-	05.4.1～ 06.3.31	大洋州フィルムライブラリー所蔵フィルムを豪州国内、ニュージーランド、大洋州島嶼国の在外公館等に貸し出し、映画会を実施
13	日豪学生映画フォーラム	日本映画学校/オーストラリア国立映画・テレビ・ラジオ学校/アデレード大学/シドニー工科大学	シドニー日本文化センター多目的ルーム	シドニー	05.10.14～ 05.10.14	日本映画学校、オーストラリア国立映画・テレビ・ラジオ学校、アデレード大学、シドニー工科大学の卒業作品9本を上映。優秀作品には各賞が授与され、日豪の映画を志す学生たちの交流が行なわれた。80名参加

	事業名	共催者	会場	都市	期間	内容
14	巡回映画祭	在シドニー総領事館 /MADMAN, Fast Cube Link/The Lab 等	デンディ・オペ ラ・キー	シドニー	05.11.28～ 05.12.2	第9回巡回日本映画祭。パース、キャンベラ、メルボルン、シドニーでも実施。シドニーでは全8作品、10回上映をし、毎回ほぼ満席の2,500名が来場。旧山古志村を題材とした『掘るまいか!』には、監督、プロデューサーら映画関係者のほか、元同村村長で現衆議院議員の長島忠美も来豪
	【日本語教育】					
15	日本語教育研修会支援	各州教育省/私立学校協会/各州日本語教師会	-	-	05.4.1～ 05.3.31	各州で行なわれる日本語教育研修会に、シドニー日本文化センター日本語事業部の講師が出講。本年度は、タスマニア州1回、西オーストラリア州1回、南オーストラリア州2回、クィーンズランド州1回、ビクトリア州1回の計6回の出張を実施
16	ニュースレター Web掲載費 (Dear Sensei)	-	-	シドニー	05.4.1～ 06.3.31	シドニー日本文化センターのニュースレター『OMUSUBI』に掲載されている、日本語教師向けのリソース「Sensei's Page」を、シドニー日本文化センターのウェブサイトに掲載
17	オンライン日本語講座	-	-	シドニー	05.4.1～ 06.3.31	日本語を母語としない教師が自分の時間に日本語運用力の向上を図れるように、オンラインによる日本語講座（ベーシック・コース）を開発。2005年10月からと2006年2月からの2回開講し、延べ約50名の教師が参加
18	高等教育支援 (共同研究)	NSW大学	-	-	05.4.1～ 06.3.31	ニューサウスウェールズ大学と連携して、オーストラリアにおける日本語教育事情並びに日本語教授法に関する研究を数年に渡り行なう予定。平成17年度はその準備にあたった
19	日本語教育補助 教材制作	NSW州立美術館	-	シドニー	05.4.1～ 06.3.31	NSW州立美術館と共同で、日本美術に関する Activity Resource を作成
20	ニュージーランド 支援事業	-	-	-	05.4.1～ 06.3.31	オークランドの派遣専門家の打ち切り（2006年1月末）に伴い、その後の継続的な支援を目的に、シドニー日本文化センター作成の教材提供などを行なった。また、シドニー日本文化センター主催の短期集中研修会にニュージーランドの日本語教師が参加

	事業名	共催者	会場	都市	期間	内容
21	一日研修会（4月2日）	-	シドニー日本文化センター	シドニー	05.4.2～ 05.4.2	「OHISAMA」という小学生向けの教材を執筆したMary Taguchiを講師に招き、1日セミナーを開催。シドニー近郊の日本語教師22名が参加
22	日本語教育研修会支援（TASセミナー出講・4月）	TAS州教育省/ タスマニア日本語教師会	イースト・コースト・リゾート	オーフォード	05.4.15～ 05.4.16	タスマニア州教育省とタスマニア日本語教師会主催の、初中等教師を対象とした研修会に、シドニー日本文化センター派遣講師が出講。日本語運用力と教授法の向上および相互情報交換、交流を目指し、生徒の学年別に2クラスに分かれ、2日間にわたり開催
23	日本語教育研修会支援（兵庫文化交流センター・WA出講）	兵庫文化交流センター/ 西オーストラリア州教育訓練省	兵庫文化交流センター	パース	05.5.26～ 05.5.27	西オーストラリア州内の初等・中等教育機関で日本語を教えている教師を対象に、日本語力・教授法の向上を目的に研修会が開催され、シドニー日本文化センター派遣講師が出講。2日間で合計50名以上の参加者が集まった
24	日本語教育研修会支援（SAJLTA出講）	南オーストラリア日本語教師会	Blackfriars' Priority School	アデレード	05.6.3～ 05.6.4	アデレードにおいて開催された日本語研修会のため、シドニー日本文化センターから主任講師が出講。対象は、南オーストラリア日本語教師会に所属する小・中・高等学校の日本語教師。日本語・日本文化の教授法、および教師間のネットワーキングが目的
25	VIC州支援事業	-	-	-	05.7.1～ 06.3.31	ビクトリア州教育訓練省の日本語教育アドバイザー打ち切りに伴い、同地域の教師研修への出講、コンサルタント等をシドニー日本文化センター講師が行なった
26	日本語教育短期研修会（7月）	各州教育省/ 私立学校協会	シドニー日本文化センター	シドニー	05.7.4～ 05.7.7	全豪から22名、ニュージーランドから3名の日本語教師が参加した、シドニー日本文化センター主催の4日間の日本語教育研修会。参加者の日本語運用力の向上、教授法の紹介の他、書道、料理などの文化体験や日本人へのインタビューなどを通じて、日本語理解の促進を図った
27	情報交流（AFMLTA）	全豪現代語教師会	-	メルボルン	05.7.8～ 05.7.9	メルボルンで行なわれて隔年開催の同大会に、オーストラリアの現代語教育関係者が集まった。シドニー日本文化センターからは講師2名が参加し、言語教育に関わる情報収集を行なった

	事業名	共催者	会場	都市	期間	内容
28	NSW州日本語弁論大会	在シドニー総領事館/NSW州教育省/Asics/Canon/紀伊国屋書店/JALPAK/Sony	シドニー日本文化センター	シドニー	05.9.3～ 05.9.3	ニューサウスウェールズ州の高校生、大学生、社会人の約50名が4部門にわかれて競い合う州大会。各部門の優勝者が全豪決勝大会へ進出。36回目を迎えた
29	日本語講座	－	シドニー日本文化センター	シドニー	05.9.6～ 06.3.28	日本語運用力 中～上級者（日本語能力試験2級程度以上）を対象に、日本の新聞記事を読んだり、ニュースのビデオをみて、その話題について話したり、議論することを通じて、日本の社会および文化への理解を深めてもらうことを目的とした、一般向けの日本語講座を開講（週1回、1.5時間）
30	日本語教育研修会支援（Mount Gambierセミナー出講）	南オーストラリア州教育省	Southgate Motelおよび Grant High School	マウント・キャンピア	05.9.16～ 05.9.18	南オーストラリアの地方都市マウント・キャンピアで開催された日本語研修会に、シドニー日本文化センター主任講師が出講し、セッションを行なった。研修会の対象は、南オーストラリアのマウント・キャンピア地区の小・中・高等学校の日本語教師
31	情報交流（日本語教育学会）	－	金沢大学	金沢	05.10.6～ 05.10.14	シドニー日本文化センターの主任講師がオーストラリアにおける日本語教育の最新の動向について日本語教育学会 秋季大会で研究発表を行なった。発表題目は「異文化理解に重点を置いた日本語教育に果たすALPLPの役割」
32	全豪日本語弁論大会	在オーストラリア大使館/JAL/JR東海/Asics/Canon/紀伊国屋書店/Sony他	シドニー日本文化センター	シドニー	05.10.22～ 05.10.22	各州大会を勝ち抜いた20名の代表による全国決勝弁論大会。36回目の今回も、高校シニア、オープン・ピギナー、オープン、バックグラウンド・スピーカーの4部門にわかれて、参加者が競合した
33	評価委員会開催	各州教育省/私立学校協会	シドニー日本文化センター	シドニー	05.11.18～ 05.11.18	各州教育省、私立学校協会、日本語教師会などの代表者を招き、各州の日本語教育現状について情報を得、同時に日本文化センター日本語事業部の事情に関する意見・評価をもらう外部評価委員会。年1回開催

海外事務所

	事業名	共催者	会場	都市	期間	内容
34	日本語発表会	在シドニー総領事館/ニューサウスウェールズ州教育省	シドニー日本文化センター	シドニー	05.11.21～ 05.11.26	ニューサウスウェールズ州の幼児、小・中学生が日ごろの日本語学習の成果を劇や歌など、それぞれに創意工夫し発表する会。ビデオでの参加も可能。また、併せて、絵画や工作などで表現するアート展覧会も行った
35	日本語教育短期研修会(1月)	各州教育省/私立学校協会	シドニー日本文化センター	シドニー	06.1.16～ 06.1.20	シドニー日本文化センター主催の日本語教師研修会。全豪から20名、ニュージーランドから3名が参加。日本語運用能力と教授技能の向上、教師間のネットワーク構築を目的とした。対象は、中等後期課程で日本語を教えている教師
	【出版・広報】					
36	ジャーナル「New Voices」	-	-	-	05.9.1～ 06.3.31	オーストラリア国内外の人文・社会科学分野の若手研究者を対象とし、日豪関係の接点において発生するさまざまな事象の分析をテーマとした論文を募集・選考し、論文集を出版する事業の準備・事前調査
	【教室事業】					
37	教室事業	-	シドニー日本文化センター多目的ルーム	シドニー	05.4.1～ 06.3.31	シドニー日本文化センターメンバー向けの書道教室および茶道教室の実施。参加者約30名
	【その他】					
38	ボランティア	-	-	シドニー	05.4.1～ 06.3.31	シドニー日本文化センター事業等に協力したボランティアに対する謝金
39	Wonderbus Japan	-	-	-	05.4.1～ 06.3.31	昨年度事業「ワンダーバス・ジャパン2005」の記録資料作成および次年度事業「ワンダーバス・ジャパン2006」の広報等実施準備経費

(2) 助成・協力事業

	事業名	助成対象団体	期間	内容
	【助成事業】			
40	"Performance Paradigm"出版助成	Dr. Peter Eckersall (University of Melbourne)	05.1.1～ 06.6.30	メルボルン大学とニューサウスウェールズ大学が、共同で出版している演劇専門誌『Performing Paradigm』の第2号が予定している日本演劇特集『Japan after 1960s: the ends of the avant-garde: The best essays and interviews from Performing Paradigm』に対する助成

	事業名	助成対象団体	期間	内容
41	AnJel (Australia Network for Japanese Law) 会議助成	オーストラリア 日本法ネット ワーク	05.4.1～ 06.3.31	AnJel (シドニー大学法学部、ニューサウスウェールズ大学法学部、オーストラリア国立大学法学部の3大学が母体となって、日本法の研究をしている団体) 主催の日本法に関するセミナーに対する助成を実施。本年度は日本の保護貿易と日本の国内法を取り上げ、日本法を研究しているオーストラリアの学者だけでなく、日本、香港、アメリカから日本の法律を研究している学者を招へい
42	ローカル助成	—	05.4.1～ 06.3.31	クイーンズランド豪日協会(雅楽公演)、タスマニア豪日協会(豪日協会連盟総会における和太鼓演奏)、キャンベラ・マルチ・カルチュラリズム・フェスティバル、森本順子展等に対する助成
43	日本語教育セミナー助成	タスマニア州教育省/タスマニア日本語教師会	05.4.15～ 05.4.16	タスマニア州教育省とタスマニア日本語教師会が共催で開催した、日本語セミナー(ぐんぐんセミナー)に対し、講師の交通費、宿泊費および会場費を助成。タスマニア州全体から日本語運用力や教授法の向上を目的として、40名弱が参加
44	日豪フォーラム『日本の国際協力』	マッコリー大学	05.7.1～ 06.3.31	マッコリー大学とシドニー日本文化センターの協力による日豪の国際協力に関するフォーラムの開催準備
45	メルボルンフィルムフェスティバル	—	05.7.20～ 05.8.7	毎年開催されているメルボルンフィルムフェスティバルに対する助成。『Uchitda tomu: A Visionary Discovered』および『Brain Monkey Sushi 05: Raw Japanese Cinema』という日本映画特集で計13本の上映が行なわれたほか、20本の日本映画を上映。合計33本の日本映画の上映は、メルボルン映画祭では過去最高。メルボルン映画祭全体で観客動員数は約17万人。日本映画の上映に関しては、延べ14,000人の入場者を集めた。『血と骨』(崔洋一監督)の上映会にあたっては、文化庁研修員として在豪中であった、同映画のライン・プロデューサー、氏家英樹の講演が催された
46	日本語教育セミナー助成 (SA)	南オーストラリア州教育省日本語Professional Learning Service	05.11.4～ 05.11.5	南オーストラリア州の地方都市Clareで行なわれた日本語教師対象の研修会に講師の出張旅費と滞在費の一部を助成
	【会場提供】			
47	山鹿灯籠師	山鹿灯籠保存会	06.2.3～ 06.2.3	山鹿灯籠保存会による灯籠踊り、唐傘および団扇製作の展示デモンストレーション。夏祭りに参加するため来豪した山鹿灯籠保存会が、シドニー日本文化センターで夏祭りのプレイベントとして実施
48	備前焼展	シドニー日本人会	06.3.20～ 06.3.27	シドニー日本人会主催による備前焼の第一人者藤原和による講演会および作品の展示会

10. トロント日本文化センター

合計額 67,155,065円

(1) 主催・共催事業

	事業名	共催者	会場	都市	期間	内容
	【展示】					
1	写真パネル展 「日本人の暮らし」	-	トロント日本文化センター	トロント	05.4.1～ 05.5.7	松本徳彦（写真家）による現代日本の日常生活を捉えた写真パネル40点を展示。〈ビデオ上映会〉4月14、21、28日に夜6時から1時間、イベントホールにて無料ビデオ上映会を開催
2	渋沢史料館 「ニッポン開化自慢」	渋沢史料館	トロント日本文化センター	トロント	05.6.13～ 05.7.29	渋沢史料館との共催で、錦絵の複製パネル・写真パネル等の歴史資料（総数120点余）によって、日本の近代化を紹介する展示会を実施
3	日本映画ポスター展	-	トロント日本文化センター	トロント	05.8.17～ 05.9.28	トロント国際映画祭（9月8日～17日）に合わせて、怪獣、ホラー、SF、ミステリー、怪奇映画などのポスター約50点を展示した日本映画ポスター展「Monstrous Vision: Horror and Destruction in Japanese films」を実施
4	横尾忠則ポスター展	-	トロント日本文化センター	トロント	05.10.24～ 05.12.15	横尾忠則（グラフィック・デザイナー/画家）自選の1993年から現在に至る最新作の寄贈を受け、ポスター約100枚を展示
5	新国立劇場ポスター展	-	トロント日本文化センター	トロント	06.1.4～ 06.3.4	現代芸術上演施設である新国立劇場の活動を紹介する、舞台芸術展。新国立劇場の1997年の開場から現在に至る最新作の寄贈を受け、ポスター約100枚のほか、台本やパンフレットなども展示
6	スーザン・ロウピア展	-	トロント日本文化センター	トロント	06.3.13～ 06.5.12	Susan Low-Bear（アーティスト）による造形アートの展示会を開催。手すき和紙を使った版画や路上で収集したオブジェクトなどを展示。オープニングレセプションとアーティスト・トークも合わせて実施

	事業名	共催者	会場	都市	期間	内容
	【講演・シンポジウム】					
7	渋沢史料館 「ニッポン開化 自慢」展： Gennifer Weisenfeld 教 授講演会	渋沢史料館	トロント日本文 化センター	トロント	05.6.15～ 05.6.15	Gennifer Weisenfeld（デューク大学 准教授）を迎えて、「文明開化を描 く：近代国民国家の黎明期における 日本画」というテーマで講演会を実施。 6月13日から開かれている「ニッ ポン開化自慢」展の一環
8	渋沢セミナー 前夜レセプション &レクチャー	渋沢財団	トロント日本文 化センター	トロント	05.6.17～ 05.6.17	6月18、19日にトロント大学マンク センターで開かれた2005渋沢北米セ ミナー（本部助成事業）に合わせ、 17日に渋沢財団と共催で講演会とレ セプションパーティーを実施
9	トロント国際映 画祭関連事業 （四方田犬彦講 演会）	ヨーク大学/マ ギル大学	ヨーク大学/ト ロント日本文 化センター/マギ ル大学	トロント /モント リオール	05.9.7～ 05.9.12	四方田犬彦（明治学院大学教授/比 較文化学者）による講演会をトロ ントとモントリオールの計3会場で実 施。 9月8日、12日：「『かわいい』の美学」 9月9日、10日：「みずからなった盲目」
10	日本研究レク チャーⅠ： Alan Middleton （ヨーク大学教 授）	トロント日加協 会	トロント日本文 化センター	トロント	05.10.14～ 05.10.14	Alan Middleton（ヨーク大学教授） による、日本のTV広告とそこから 読み取る日本文化についての講演会 「The Wonderful World of Japanese Advertising」をトロント 日加協会との共催で実施
11	日本研究レク チャーⅡ： James King（マ クマスター大学 教授）	－	トロント日本文 化センター	トロント	06.3.3～ 06.3.3	James King（マクマスター大学英 語・英文化学部教授）を迎え、「Japan in the Western Imagination」とい うテーマで、日本文化に関する講演 会と著書の朗読会を実施
	【映画】					
12	ドキュメンタ リーフィルム上 映会	－	トロント日本文 化センター	トロント	05.7.14～ 05.7.29	日本に関係する様々なテーマを扱っ たドキュメンタリー、計11作品のビ デオ上映会を12日間にわたり実施。 各作品は2回ずつ上映
	【日本語教育】					
13	日本語教師情報 交換会1	－	トロント日本文 化センター	トロント	05.8.24～ 05.8.24	カナダ日本語教育振興会年次大会参 加のためにブリティッシュ・コロ ンビア州ビクトリアに出張中の和泉元 千春（国際交流基金関西国際セン ター専門員）を招へいし行なった日 本語スピーチ指導の研修会

海外事務所

	事業名	共催者	会場	都市	期間	内容
14	日本語教師情報交換会2	-	トロント日本文化センター	トロント	05.11.26～ 05.11.26	東部カナダの中等教育レベルの日本語教師を集め、教師間のネットワークづくり、日本語教育の現状と問題点の把握や国際交流基金に対する要望等の聴取を主な目的として実施
15	日本語教師ワークショップ	-	トロント日本文化センター	トロント	06.3.31～ 06.3.31	王立オンタリオ博物館・高円宮ギャラリーで展示されている日本美術のコレクションを活用した日本語教育や教材作成に関する講習会を実施。担当講師は宇田川洋子（日本語教育アドバイザー・アルバータ教育省派遣中）
	【その他】					
16	トロント国際映画祭 Asian Film Night Reception	UNI JAPAN/ Korean Film Council (KOFIC)	トロント日本文化センター	トロント	05.9.13～ 05.9.13	トロント国際映画祭(9月8日～17日)に合わせて、映画・メディア関係者、日系・韓国系コミュニティの著名人らを招待し、レセプションを開催(財団法人日本映画海外普及協会、コリアン・フィルム・カウンスルとの共催)
17	日本語アートコンテスト	-	トロント日本文化センター	トロント	05.10.2～ 05.10.21	内田雪絵（日本語教師）が発想し、2003年度国際交流基金邦人日本語教師研修においても研究された「にほんごアート」を、オンタリオ州の初中等日本語学習者を対象に、コンテストを実施。そのコンテスト入賞者の表彰式、およびレセプションを開催
18	図書館開館10周年記念事業	-	トロント日本文化センター	トロント	05.11.24～ 05.11.24	図書館開館10周年記念事業として講演会「作家と図書館」を行なうとともに、10年の歩みをまとめた冊子「図書館利用者100人の声」を刊行し、広報目的で作成した国際交流基金新ロゴ入りトートバックをセットにして来場者に配布
19	日本研究・知的交流部 海外事務所企画開発事業	-	ブリティッシュ・コロンビア大学/セント・メリー大学	バンクーバー/ハリファックス	06.2.2～ 06.3.18	ブリティッシュ・コロンビア大学：2006年3月17、18日に開かれた、日本古典文学研究ワークショップの費用の一部を助成。セント・メリー大学：2006年2月2日に開かれた、学会とフィルム上映会の費用の一部を助成

(2) 助成・協力事業

	事業名	助成対象団体	期間	内容
	【助成事業】			
20	在外助成 (Music Gallery)	Music Gallery	05.5.20～ 05.5.20	欧米在住のアジア人作曲家による現代音楽コンサート。Fujikura Dai、Hosokawa Toshioをはじめとする他4名のアジア人作曲家の作品が、Toca Locaによって演奏された。音響機材のレンタル料の一部を負担
21	在外助成 (UBC)	ブリティッ シュ・コロンビ ア大学	05.5.26～ 05.5.28	ブリティッシュ・コロンビア大学で開催された New Interfaces for Musical Expression (NIME) 国際会議2005で、後藤英(作曲家)が招待され、講演会および演奏会を実施。同氏のパーリバンクーバー往復の旅費の一部を負担
22	在外事業 (Laurence Art)	Laurence Art	05.8.10～ 05.8.14	ケベック州ラバル市のLaurence Artが主催した、クラフトを通してケベックと日本の文化交流を図る市をあげてのアートフェスティバル「第8回Artisans Week 2005」で、日本人アーティスト7名分の宿泊費の一部を助成
23	在外助成 (Space Agency)	Space Agency	05.8.18～ 05.8.20	バンクーバーのGASTOWNで開かれた「Frontier Space」(公共の場所での建築物の期間限定展示会と3日間のアートイベント)を助成。広報費の一部を負担
24	在外助成 (Museum London)	Museum London	05.9.26～ 05.12.4	ロンドン美術館(オンタリオ州)で9月10日から12月4日まで開催された「CAMPSites」を助成。小澤ツヨシ(アーティスト)の「Ivan the Fool House(Capsule Hotel Project), 2003」が展示され、トロント日本文化センターは、その輸送費などの一部を負担
25	在外助成(モン トリオール映画 祭)	モントリオール 映画祭事務局	05.10.13～ 05.10.23	モントリオールで10日間にわたって開催されたThe Festival du Nouveau Cinema, Montrealを助成。映画『The Last Bloomer』の柴田剛(映画監督)が招待され、その5日間の滞在費を負担
26	レニソンカレッ ジ 東アジア フェスティバル	ウォータールー 大学レニソンカ レッジ	05.10.28～ 05.10.29	ウォータールー大学レニソンカレッジにおいて開催された、East Asian Festival 2005を助成
27	在外助成(トロ ント大学)	トロント大学	05.12.1～ 05.12.3	トロント大学で開催された「戦後の建築物の米国化」に関する国際的な学術会議(日本人参加者の旅費の一部を負担)
28	助成事業(ハン ナのかばん)	Hana's suitcase	06.3.9～ 06.4.23	アウシュビッツで犠牲になった少女ハンナの遺品のカバンにまつわる物語。史実を基にしたラジオドラマが、今回、トロントで初めて舞台化された(広報費の一部を負担)
29	助成事業 (Yanagida Concert)	Ms. Yanagida Soprano Committee	06.3.10～ 06.3.10	トロント在住でカナダをはじめ諸外国で活躍する柳田孝子(ソプラノ歌手)が、オタワにあるChrist Church大聖堂で地元音楽愛好家が主催したりサイタルを助成。謝金の一部を負担
30	助成事業(グ リーンティアー)	グリーンティアー	06.3.14～ 06.3.18	トロント在住の日本人ダンサーと、日本からの招へいアーティスト3名とによる合同公演(招へいアーティスト3名の渡航費と滞在費の一部を負担)

11. サンパウロ日本文化センター

合計額 121,298,212円

(1) 主催・共催事業

	事業内容	共催者	会場	都市	期間	内容
1	【展示】 「現代日本の陶磁器展」(在外事業分)	-	サンパウロ美術館	サンパウロ	05.10.2～ 05.10.30	国際交流基金所蔵の「現代日本の陶磁器展」の海外巡回展。サンパウロでは本展示「35名の作家の作品70点」に加えて、仁井キミ、サラ・カローネおよびノルマ・グリーンベルグの3名のブラジル陶芸家作家の作品を数点を展示し、小講演、展示案内を実施。ペロ・オリゾンテ/ブラジリア/マナウス/レシフェ/ベレン/マリニガ/ポルト・アレグレ/フロリアノポリス/リオデジャネイロへ巡回
2	【公演】 「ボサノバ」コンサート	ブラジル住宅博物館/ホテル・ルネッサンス/グアナバラ・レコード	ブラジル住宅博物館/ホテル・ルネッサンス・ハバナクラブ	サンパウロ	05.6.24～ 05.6.26	作曲家・ギタリストのDurval Ferreiraドルバル・フェレイラ、日本人女性歌手の小山ケイト、ピアノと、サクソ/フルートとベースとドラムスなど4 por Quatroグループの特別出演によるボサノバ追悼コンサート、「Quer coisa boa!」を実施。Sonho Meu, Corcovado, Ttisteza de nos dois など名が知られている11曲の公演
3	「大田川の7本の支流」公演	セスキ商業連盟 社会サービス	セスキ・ピニエイロス	サンパウロ	05.10.1～ 05.11.6	2002年にリオデジャネイロで公開され、2003年の6月および7月サンパウロで公演した際協力した「大田川の7本の支流」の助成。カナダ演劇作家のRobert Lepage原作により、広島原爆投下をきっかけに20世紀後半をあらゆる角度から語る上演5時間の大作
4	在米日本文化専門家派遣事業・音楽コンサート	-	日本文化センター多目的ホール	サンパウロ	05.12.1～ 05.12.1	「在米日本文化専門家派遣事業」の一環であり、ニューヨークで活動するバイオリン奏者、アントワヌ・シルヴァーマンおよび音楽プロデューサー、そしてバンジョーと津軽三味線奏者の佐竹晃によるリサイタルを実施。津軽三味線、バイオリン、バンジョーという日本伝統楽器と西洋楽器の触れ合いによる音楽コンサート

	事業内容	共催者	会場	都市	期間	内容
5	「100年の孤独・ハートオブゴールド」公演	パパタラフ・マセラ/ANA全日本航空会社 /VARIG航空会社	山口情報芸術センター/世田谷パブリック・シアター/つくばカピオ・ホール	山口市/ 東京都/ 筑波市	05.12.2～ 05.12.15	日本で実施する「100年の孤独・ハートオブゴールド」公演にブラジル人アーティスト、3名を派遣。2004年7月に小池博史監督がブラジル銀行文化センターで催したワークショップで選定。今回訪日することになった。サンパウロ日本文化センターは3名の航空券の手配、ビザ関係経費等を負担
6	パパ・タラフマラ「三人姉妹」公演	セスキ商業連盟 社会サービス	SESCピニエイロス/SESCコパカバーナ	サンパウロ/ リオ・デ・ジャネイロ	06.6.17～ 06.6.22	「ダンス」、「演劇」、「美術」、「音楽」といったジャンルを越えた舞台芸術を紹介するパパ・タラフマラ劇団のブラジル公演3回目となる。今回はチェーフの作品に基づいた「三人姉妹」の公演および新作「百年の孤独」に向けてブラジル人アーティストを発掘するためのワークショップを実施。また、公演後には舞台芸術専門家のクリスティーネ・グライナー教授による講義も企画
【講演・シンポジウム】						
7	大学研究会（日本理想）	－	日本文化センター多目的ホール	サンパウロ	05.4.28～ 05.6.16	4月28日、5月19日および6月16日に、1998年の国際交流基金フェロープログラム参加者であったジェリコ・ロパリック（ハイデッガー専門家）によって実施された「京都学派の哲学」のイントロ講座。九鬼周造、田辺元、西田幾多郎、西谷啓治等を紹介し、西洋の視点、特にハイデッガーの概念から考察する「京都学派の哲学」に関する講座であり、最高54名、最低33名の出席者数を集めた
8	「能楽から舞踏まで・日本の舞台芸術の展望」講座	－	日本文化センター多目的ホール	サンパウロ	05.6.4～ 05.6.26	元国際交流基金フェローシップ、草野ダルシーおよび能楽研究者永井アンジェラによって催されたミニ講座。舞台芸術研究者、演劇関係者およびダンサーを対象としたミニ講座を実施
9	「身体芸術に見られる戦後日本の文化的考察」講座	－	日本文化センター多目的ホール	サンパウロ	05.8.8～ 05.9.26	身体と舞台芸術専門家、クリスティーネ・グライナーによるミニ講座。各テーマに関連性のあるアーティストを招待し、作品の紹介および討論の実施

	事業内容	共催者	会場	都市	期間	内容
10	「第1回世界マ スター集会」	ブラジル文化省 /ブラジル外務 省/セアラ州 文化局/ユネス コ/ブラジル文 化財保存協会	仮設会場	セアラ州 リモエイ ロ・ド・ ノルテ市	05.8.23～ 05.8.28	世界の伝統芸能、民族芸能と重要無 形文化財の継承を追及する国際集会 に、日本の能楽についての講演会、 ワークショップを実施するために、 サンパウロ日本文化センターは元 フェローで能楽研究者のアンジェラ 永井を派遣、5日間の集中講座を実 施
11	大学研究会（日 本語学・国語学）	－	日本文化セン ター多目的ホー ル	サンパウ ロ	05.8.30～ 05.8.31	宮島達夫（京都橘大学教授）を招き、 「世界の言語と日本語の将来」と題 した講演会（同時通訳あり）を開催。 講演会を記念し、茶道デモンスト レーションを併せて開催
12	フェロー帰国報 告文化講演会 （ルシア・ナジ ブ博士）	－	日本文化セン ター多目的ホー ル	サンパウ ロ	05.9.1～ 05.9.1	現在イギリス在住、英国リード大学 ワールドシネマセンター所長となっ たルシア・ナジブのフェロー帰国文 化講演会の実施。テーマは「日本映 画とエロスの操作」、大島渚、原一男、 今村昌平の作品に見られる欲望の幻 想学を紹介
13	俳句パフォーマ ンス	薔薇の家文学史 料館	日本文化セン ター多目的ホー ル/カーザ・ダ ス・ローザス	サンパウ ロ	05.10.26～ 05.10.30	サンパウロ州文化局およびパウリス タ・ヴィヴァ協会によって企画され た「パウリスタ文学通路」の一環と して俳諧講座および講演の実施。詩 人アリセ・ルイーズによる講演と俳 句ワークショップの実施
14	Manar Hammad教授 講演会	サンパウロカト リック大学・コ ミュニケーショ ンおよび記号学 部	日本文化セン ター多目的ホー ル	サンパウ ロ	05.11.24～ 05.11.24	フランスのソルボンヌ総合大学パリ III教授および建築家のマナ・ハマー デイによる茶道についての記号学的 分析をテーマとする講演。裏千家に よる懐石デモンストレーションの実 施
15	「第3回南米地 域フェロー懇談 会」	ブラジル日本研 究協会（ABEJ）	日本文化セン ター多目的ホー ル	サンパウ ロ	06.3.10～ 06.3.11	南米地域の日本研究ネットワーク構 築に向け、南米地域の国際交流基金 元フェローとブラジル日本研究者と の連帯基盤をつくり、日本研究を発 展させる趣旨で実施。基調講演、パ ネル・ディスカッション、講演会、 などで構成

	事業内容	共催者	会場	都市	期間	内容
	【映画】					
16	「日本映画の3つの視点」(サントス)	セスキ商業連盟・サントス文化センター	セスキ・サントス劇場	サントス市	05.3.7～ 05.3.9	サンパウロ市立文化センターで実施した『日本無声映画特集』と弁士公演の追加上映の要望に答え『滝の白糸』を上映。ブラジルフィルムライブラリーから『雨上がる』と『キネマの天地』をプログラムに追加し、小規模日本映画特集を実施。活動弁士はアンジェラ・ナガイがポルトガル語で実施。生演奏にはカミーロ・カハラ(ギター)バレリア・ザイダン(打楽器)および北原タミエ(三味線)が参加
17	「アジアのニューシネマ映画特集」(カンピーナス)	サンパウロ州電々公社文化センター	サンパウロ州電々公社文化センター	カンピーナス市	05.3.8～ 05.3.12	『滝の白糸』(溝口健二監督)、『たそがれ清兵衛』(山田洋二監督)、『ハナビ』(北野武監督)、『誰も知らない』(是枝裕和監督)。オープニングには『滝の白糸』を上映。ポルトガル語による活動弁士公演を実施。生演奏としてギター、打楽器、三味線が参加
18	横浜トリエンナーレ記録映像収録	—	山下ふ頭3号、4号上屋他	横浜	05.9.28～ 05.12.18	元フェロー、レイチェル・ロザレンによる『横浜トリエンナーレ』の映像記録およびインタビュー収録のDVD作成
19	元フェロー業務委託費	—	サンパウロ日本文化センター	サンパウロ	05.10.1～ 05.11.30	無声映画特集参加作品『滝の白糸』、『生まれてはみたけれど』、『御詠次郎吉格子』、『雄呂血』の字幕翻訳を元フェローに委託して、弁士公演のための台本執筆を依頼
20	「無声映画特集」(在外事業)	サンパウロ市立文化センター/在サンパウロ総領事館	サンパウロ市立文化センター	サンパウロ	05.12.6～ 05.12.11	日本無声映画の代表作品『生まれてはみたけれど』、『雄呂血』、『滝の白糸』、『御詠次郎吉格子』、『キネマの天地』の上映会および活動弁士の伝統の話芸をポルトガル語で紹介。『滝の白糸』の上映会には永井アンジェラのポルトガル語弁士、バレリア・ザイダンの打楽器および北原タミエの琴の生演奏が実施され、『生まれてはみたけれど』では永井アンジェラのポルトガル語弁士およびギタリストのカミーロ・カハラの生演奏

海外事務所

	事業内容	共催者	会場	都市	期間	内容
	【日本語教育】					
21	公教育日本語支援事業（全国大学生）	リオデジャネイロ連邦大学/パラナ連邦大学/マリンガ州立大学/ブラジリア大学ほか	サンパウロ日本文化センター	サンパウロ	05.1.9～ 05.1.20	ブラジル全国23の大学日本語講座より各1名を選抜してサンパウロ日本文化センターでのグループ集中講座に参加させ最新の教材と自律学習への指針を与えると同時に、各地大学日本語講座の交流と活性化を図った
22	ブラジル・カラオケ日本語学習キャラバン	在ブラジル大使館、各総領事館、地方日本語教育関連団体	ブラジル日本文化協会ほか	サンパウロ/リオデジャネイロ/ブラジリア/ロンドリーナ/ポルトアレグレ/ベレン/マナウス/サルバドール	05.2.1～ 05.3.26	ブラジルで日本語を学ぶ学習者の大多数を占める中学生・高校生および大学生の若者に対し、日本の若者の歌を通じて日本語を学ぶ楽しさを伝え、現場の先生方へは歌を通じた教授活動のデモンストレーションを実施
23	大学研究会（日本語教育）	－	日本文化センター日本語講師室	サンパウロ	05.4.15～ 06.3.7	ブラジル国内の日本語教師用に、ポルトガル語・日本語によるバイリンガル日本語教育マニュアルを作成中
24	CEL・CELEM教師研修（初任者）	サンパウロ州教育局/パラナ州教育局	サンパウロ日本文化センター	サンパウロ	05.4.25～ 05.4.26	サンパウロおよびパラナ両州教育局の運営する州立学校（中等教育課程）の課外講座としての日本語講座の奨励協力事業として、その教師の定期的研修（初任者レベル）を実施
25	CEL・CELEM教師研修（上級）	サンパウロ州教育局/パラナ州教育局	サンパウロ日本文化センター	サンパウロ	05.8.22～ 05.8.23	サンパウロおよびパラナ両州教育局の運営する州立学校（中等教育課程）の課外講座である日本語講座の奨励協力事業として、その教師の定期的研修（上級レベル）を実施
26	大学研究会（調査・出張）	－	ブラジリア大学	ブラジリア	05.9.8～ 05.9.9	ブラジリア大学にて開催された第16回全伯日本語日本文学日本文化大学教師学会（年1回開催）への参加
27	CEL・CELEM学生研修	サンパウロ州教育局/パラナ州教育局	サンパウロ日本文化センター	サンパウロ	05.10.15～ 05.10.16	サンパウロ、パラナ両州教育局運営の中等教育課程日本語講座の学習者支援、学習奨励として、成績の優秀な学習者を選抜して研修を行なった
28	日本語スピーチコンテスト全国大会	在サンパウロ総領事館	サンパウロ日本文化センター	サンパウロ	05.11.19～ 05.11.20	ブラジル各州（全8地区）で行なわれる弁論大会で優秀な成績を修めた者を招き、全国大会を実施。一部の地区大会の支援を行なった

	事業内容	共催者	会場	都市	期間	内容
29	公教育日本語支援事業（ポスターコンクール）	-	-	サンパウロ	06.10.1～ 06.10.1	サンパウロ、パラナ両州教育局運営の日本語講座（CEL・CELEM）を中心として、中等教育課程で日本語講座を有する学校に対し、日本語講座の広報・学習奨励として、日本語学習呼びかけのポスター・絵のコンクールを行ない、優勝者をはじめとする入賞作品の絵をカレンダーにして、参加校を含め、全国の日本語学校に配布した
	【出版・広報】					
30	広報・記録事業	-	-	-	05.4.1～ 06.3.31	通年にわたり、マスコミ関係者、評論家、各界専門家との意見交換、広報戦略のための打ち合わせ会議
31	ホームページ管理	-	-	-	05.4.1～ 06.3.31	ホーム・ページによる広報活動。サンパウロ日本文化センターのイベント紹介。各種国際交流基金プログラム、事業、イベント情報、図書館等をポルトガル語で紹介。URL: www.fjsp.org.br 。平成17年度（年間）アクセス回数 206,482（前年度より20%増加）。アクセス人数 136.629（前年度より17,4%増加）
32	広報業務委託費	-	-	サンパウロ	05.8.1～ 05.10.31	サンパウロ日本文化センターの広報戦略の一環として、業務を委託
	【教室事業】					
33	日本研究組織強化支援（ABEJ支援）	-	日本文化センター	サンパウロ	05.4.29～ 06.3.28	ブラジル日本研究協会（ABEJ）の研究発表フォーラム開催、ニューズレター発行およびウェブページ運営等の資金支援
34	大学研究会（日本哲学）	-	日本文化センター会議室	サンパウロ	05.9.24～ 06.3.18	1998年の国際交流基金フェロープログラム参加者ジェリコ・ロパリックが本年度第1四半期に講座を実施した後、研究会が生まれた。「臨済」などの宗教哲学に関するテーマについて研究、討論を行なった

	事業内容	共催者	会場	都市	期間	内容
	【その他】					
35	「マワカ10周年記念DVD収録」公演	マワカ・グループ	SESC ポンペイア	サンパウロ	05.10.28～ 05.10.28	デビュー10年を迎える民俗音楽グループ・マワカのハイビジョンDVD制作援助。マワカはマグダ・プッチをリーダーとする女性歌手7名、奏者6名で構成され、様々な民俗音楽を新鋭なアレンジで表現する音楽グループとして人気を集めている。日本の音楽のうち『ほたるこい』、『ソーラン節』、『あさどや・ゆんた（沖縄民謡）』などが含まれている
36	「合気道 x ダンス」講演/ワークショップ	-	日本文化センター多目的ホール	サンパウロ	05.11.7～ 05.11.28	ダンスに合気道の応用をテーマとするワークショップ。オクヤマ・イワン（合気道講師）の指導およびレチシア・セキト（ダンサー）およびフェルナンド・リーの協力により、呼吸法のテクニックによって体内エネルギーを循環させ、ダンスに応用することをテーマとした。11月28日はその結果を発表するオープン・パフォーマンスを催した

(2) 助成・協力事業

	事業名	助成対象団体	期間	内容
	【助成事業】			
37	CEL・CELEM勉強会	CEL勉強会、CELEM勉強会	05.4.1～ 06.3.31	サンパウロ、パラナ両州教育局運営の州立学校日本語講座の教師に対する、日本語教育、日本語の授業やテクニックに関する勉強を行なう会。CEL(サンパウロ州)は月に一回集まり、3カ月に一回国際交流基金の講師が指導している。CELEM(パラナ州)は、年10回行なわれ、同じく3カ月に一回、国際交流基金から講師を派遣
38	日本文化事業専門家派遣事業 [能楽]	日本ブラジル文化協会	05.7.7～ 05.8.11	宝生流能楽普及訪問団（佐野萌団長）による講演、ワークショップ、デモンストレーションを中心とした活動をサンパウロ、リオ、ロンドリーナ、ベロ・オリゾンテにて実施。講演では謡や動作、演出、作法に加え能の舞台裏などを伝え、デモンストレーションでは「高砂」、「八島」、「桜川」、「猩々」が披露され、ワークショップでは仕舞いおよび謡を指導

12. マニラ事務所

合計額 19,769,069円

(1) 主催・共催事業

	事業名	共催者	会場	市	期間	内容
	【展示】					
1	第8回アジア漫画展	アヤラランド	グリーンベルト3	マニラ	05.6.2～ 05.6.10	「生きがい」をテーマに11カ国（日本/フィリピン/インドネシア/韓国/マレーシア/ミャンマー/シンガポール/タイ/ベトナム/中国/インド）の13人、88作品を展示
2	日本人形展	マリキナ・リバーバンク/南カマリネス州/バギオ市等	リバーバンク（マリキナ）/南カマリネス州都コンプレックス/バギオコンベンションセンター	マニラ/ピリ（南カマリネス州）/バギオ	06.1.27～ 06.3.12	マニラ首都圏のマリキナ、ルソン島南東部の南カマリネス州ピリ、ルソン島北部バギオの3カ所で、巡回展「日本人形展」を開催。バギオ展は「日本フェスティバル」の一環として実施
3	J-POPショーケース	日本音楽産業振興財団/シャングリラ・プラザ	シャングリラ・プラザ	マニラ	06.2.18～ 06.3.4	財団法人音楽産業・文化振興財団との共催にて、J-POPのCD、DVD約40枚を視聴提供し、J-POPのポスター70枚を展示
4	バハガリ写真展	シャングリラ・プラザ	シャングリラ・プラザ	マニラ	06.2.18～ 06.3.4	フィリピン人写真家が、日本全国を旅しながら撮影した、日本の老若男女、風景の写真展
	【公演】					
5	室伏鴻舞踏公演	フィリピン文化センター（CCP）	フィリピン文化センター（CCP）	マニラ	05.7.5	日本を代表する舞踏家・室伏鴻によるソロ公演。室伏は昨年度当地にてワークショップを開催し、今回は初のソロ公演
6	和太鼓「倭」公演	フィリピン文化センター（CCP）/フィリピン教育演劇協会（PETA）/マリキナ・リバーバンク/セブ・アヤラセンター/セブ日本人会等	フィリピン文化センター（CCP）/PETA劇場/リバーバンク・ショッピングセンター/アヤラセンター	マニラ/マリキナ/セブ	06.1.11～ 06.1.14	日比友好年のオープニングとして、フィリピン文化センターで、塩崎恭久（外務副大臣）、ロムロ（外務大臣）等を主賓として、約1,350名の聴衆を前に公演。その後マニラで2カ所、セブでも公演
	【映画】					
7	シネマキャラバン	フィリピン大学イロイロ校	フィリピン大学イロイロ校	イロイロ	05.8.11～ 05.8.12	フィリピン中部ビザヤ地方の中核都市であるイロイロにて、『ウォーター・ボーイズ』、『ジュブナイル』を上映

海外事務所

	事業名	共催者	会場	市	期間	内容
8	日本映画祭 「J-Horror」	シャングリラ・プラザ/フィリピン文化センター (CCP) / フィリピン大学フィルムインスティテュート	シャングリラ・プラザ/フィリピン文化センター (CCP) / フィリピン大学フィルムインスティテュート	マニラ	05.8.31～ 05.9.25	「映画祭J-horror」と題し、『雨月物語』、『怪談』、『四谷怪談』といったクラシック作品から、『回路』、『富江 Re-birth』といった新作まで、ホラー映画7作品を上映
9	日本映画祭 「J-Teens」	シャングリラ・プラザ/フィリピン文化センター (CCP) / フィリピン大学フィルムインスティテュート/バギオ市	シャングリラ・プラザ/フィリピン文化センター (CCP) / フィリピン大学フィルムインスティテュート/バギオ コンベンションセンター/フィリピン大学アジアセンター	マニラ/ バギオ	06.2.15～ 06.3.26	『はつ恋』、『ウォーターボーイズ』、『ごめん』、『つぐみ』など、10代の青春を扱った映画8作品を上映
【日本語教育】						
10	通信講座	—	マニラ事務所	フィリピン各地	05.6～ 05.12	フィリピン国内の遠隔地の高等教育機関の日本語教師10名を対象に、日本語力の維持・向上に資するため、「初級文法総復習」の通信講座を実施
11	日本語教育研究コース	—	マニラ事務所	マニラ	05.9.3～ 05.12.17	日本語能力試験2級以上の日本語教師を中心とする9名を対象に、「実践に生かせる日本語学入門」をテーマとする研究コースを実施
12	第2回日本語教師フォーラム	—	JICAフィリピン事務所	マニラ	05.11.4～ 05.11.5	フィリピンの日本語教育研究振興と教師ネットワーク形成促進を目的とした「第2回フィリピン日本語教師フォーラム」開催。上田和子（関西交際センター専門員）等が発表
13	ニューズレター 『みりえんだ』	—	—	マニラ	—	年3回発行、1,500部。マニラ事務所日本語教育事業、日本語を活かして活躍中のフィリピン人、フィリピン国内の日本語教育機関などを紹介
14	月例日本語教育研究交流会	—	マニラ事務所	マニラ	—	日本語教育関係者を対象に、日本語教育およびその周辺領域の講師による研究発表、情報シェアを行なった。基本的に毎月1回開催

	事業名	共催者	会場	市	期間	内容
15	【出版・広報】 ニューズレター 『SUKI』	-	-	-	-	『SUKI』というタイトルで、年3回、各4,000部発行。マニラ事務所、ならびに国際交流基金の主催・助成事業の紹介
16	【その他】 PETA（国際交流基金賞）レセプション	-	ペニンシュラホテル	マニラ	05.10.21～ 05.10.21	国際交流基金賞創設以来、フィリピンで初めて国際交流基金奨励賞を受賞したフィリピン教育演劇協会（PETA）の受賞を記念するレセプションを開催
17	【本部受入事業】 能楽ワークショップ（梅若猶彦）	フィリピン大学 国際研究センター	フィリピン大学 国際研究センター	マニラ	05.8～ 05.9	観世流シテ方の梅若猶彦による集中講義、ワークショップおよび同氏脚本・演出による現代演劇公演「Unravel Noh」を実施
18	コア・オブ・ソウル公演	シャングリラ・プラザ	シャングリラ・プラザ	マニラ	06.2.23～ 06.2.27	日本のJ-POPグループ、コア・オブ・ソウル（COS）と、フィリピンの人気POP歌手3組（キッチー・ナダル/バービー・アルマルビス/ハール）とのジョイントコンサート

(2) 助成・協力事業

	事業名	助成対象団体	期間	内容
19	【助成事業】 日本研究・知的交流小規模助成	アテネオ・アジア研究センター 他	05.4.1～ 06.3.31	アテネオ・アジア研究センター、フィリピン大学ビサヤ校、フィリピン大学国際研究センター（2件）、アジア助成財団会議（CAFO）の実施する国際会議等5件に対し、経費を一部助成

13. ニューデリー事務所

合計額 117,211,520円

(1) 主催・共催事業

	事業内容	共催者	会場	都市	期間	内容
	【公演】					
1	英語落語公演	カタ/スピック・マッケイ	サンスクリティ・スクール/アビマンチ・オーディトリウム/インディア・ハビタット・センター	ニューデリー	05.9.2～ 05.9.3	大島希巳江率いる英語落語グループによるデリー・クアラルンプール・ブルネイ海外巡回公演。国際交流基金助成事業。デリーでは、NGO団体カタ、およびスピック・マッケイと共催して2日間で3回の公演を実施。私立中高一貫校サンスクリティ・スクールでは同校生徒を対象に、他の2回は一般市民を対象とした。インドで初めての落語公演
2	雅楽公演	在インド大使館/デリー日本山妙法寺	シュリラムセンター	デリー	05.11.10～ 05.11.10	京都の音輪会による雅楽のデリー公演。国際交流基金助成事業で現地受入団体は在インド大使館およびニューデリー事務所。11月デリー日本文化月間のオープニングイベントとして9日に大使公邸にて演奏。10日には市内のシュリラムセンター劇場で約1時間半の公演を行ない、管弦演奏、舞楽演奏、および楽器を紹介。音輪会の訪印人数は27名
3	福村芳一指揮者 デリーシンフォニーコンサート	デリー・シンフォニー・ソサエティ/在インド大使館/ホテル・ニッコー・ニューデリー/須田	サイ・インターナショナル	デリー	05.11.21～ 05.12.1	11月デリー日本文化月間のイベントで、福村芳一（指揮者）によるデリー・シンフォニー・オーケストラ公演。国際交流基金助成事業。ニューデリー事務所は公演の広報を担当。訪印した指導者は福村のほか、久保田洋（コントラバス奏者）、ポール・カールソン（バイオリン奏者）で合計3名
4	乙女文楽公演	日本人学校/スピック・マッケイ	デリー日本人学校/ヴァサント・ヴァリー・スクール	ニューデリー	06.1.16～ 06.1.19	現代人形劇センター・ひとみ座による乙女文楽デリー公演。同劇団が1月のデリー人形劇フェスティバルに招へい参加のため訪印した機会をとらえ、フェスティバルとは別途、ニューデリー事務所では2回の公演をアレンジ。日本人学校、スピック・マッケイとの共催

	事業内容	共催者	会場	都市	期間	内容
	【講演・シンポジウム】					
5	バンガロール大学出張講演会	バンガロール大学日本語講座	バンガロール大学	バンガロール	05.10.22～ 05.10.22	バンガロール大学を会場として日本研究に関する講演会を実施。講演者はデリー訪印中の桑島昭（ジャワハルラル・ネルー大学客員教授）（国際交流基金短期客員教授派遣事業）。講演タイトルは「マイソール藩王国と日本の近代史を比較して」。日本語で講義しながら主要部分は講演者が英語で繰り返し、英語資料はそのままの形で紹介
6	日本研究セミナー（Dr.Sudhir Mishra）	－	ニューデリー事務所	ニューデリー	06.2.27～ 06.2.27	スディール・ミシュラ（一橋大学に留学中）を講師に招いた日本研究セミナー。題目は「日印の政権政党の比較」で、インドの国民会議派と、日本の自民党のあいだの比較研究発表
7	日本研究・知的交流企画開発事業：南アジアのイスラム研究	－	ニューデリー事務所	ニューデリー	06.3.4～ 06.3.4	2002年度から続く、今回で第4回目となるセミナー。1回目、2回目はインド人研究者、3回目は日本から宮田律（静岡県立大学助教授）を招いたが、今回はバングラデシュからのスピーカーを含む3名の研究者により、インドおよび南アジアにおけるイスラムに関する発表を実施。発表者3名は、Asgar Ali Engineer、Hassanuzzaman Chaudhary、Partha S. Ghosh
	【日本語教育】					
8	日本語教育アドバイザー	－	－	－	05.4.1～ 06.3.31	インドの日本語教育の発展のため、日本語教育アドバイザーによる以下の協力支援を実施。①教師間ネットワークの支援。②インド人日本語教師の育成支援。③公教育における日本語教育に対する支援。④その他情報収集およびコンサルティング。平成17年度は、従来のデリー駐在2名体制から1名増の3名となり、北インドアドバイザー2名（ニューデリー事務所駐在）、南インドアドバイザー1名（バンガロール大学駐在）の体制へ増強された

海外事務所

	事業内容	共催者	会場	都市	期間	内容
	【出版・広報】					
9	ウェブサイト運営	-	-	-	05.4.1～ 06.3.31	ニューデリー事務所ウェブサイトは平成16年度に開設され、平成17年度も引き続きインターネットを通じた国際交流基金事業の広報に努めた
10	ブレティン	-	-	-	05.4.1～ 06.3.31	ニューデリー事務所広報誌。変形A4サイズ。平成17年度は年2回発行。ニューデリー事務所メーリングリストを中心に約3,000名に無料配布
11	記者懇談会	-	ニューデリー事務所	ニューデリー	05.10.28～ 05.10.28	メディアに対し国際交流基金事業を周知させ、各新聞・テレビ等での報道の機会の促進を目的に、平成17年度は1回のプレスリリースを実施
	【その他】					
12	日本研究・知的交流企画開発事業：案件発掘・視察評価・フォローアップ出張	-	-	-	05.4.1～ 06.3.31	企画開発型助成事業の形成・促進のため地方および周辺諸国へ視察出張を実施。平成17年度はブータン2回、ウジャイン、チャンディガルの出張4件を実施
13	日本研究・知的交流企画開発事業：公募助成案件コンサルタント	-	-	-	05.12.1～ 06.3.31	平成16年度日本研究知的交流部企画開発助成事業公募申請案件のうち13件について、インド人専門家にそれぞれの申請プロジェクトの妥当性について審査コメントを依頼

(2) 助成・協力事業

	事業名	助成対象団体	期間	内容
	【助成事業】			
14	Gallery Anayas (在外助成)	Gallery Anayas	05.8.6～ 05.8.12	「ヒロシマ・ネバー・アゲイン」と題する展覧会。ギャラリー・アナヤス主催。スニート・チョプラのキュレーション。会場はアルパナ・ギャラリー。核の悲惨さを伝えることを目的に、インドの画家77名各1点ずつの展示。展示カタログも併せて制作。ニューデリー事務所は、カタログ制作費を助成。8月6日原爆の日に合わせて開催され、オープニング・セレモニーには約100名の関係者および一般市民が集まった
15	日本研究・知的交流企画開発事業：小規模助成（ギータ・レディ・アナンド准教授）	ギータ・レディ・アナンド准教授	05.8.17～ 05.8.31	2005年8月20日から28日に立教大学（池袋）を会場として開催された「The IGU Commission on Monitoring Cities of Tomorrow, Tokyo Conference」に、Geetha Reddy Anantオスマニア大学インド洋研究所准教授（地理学）が発表者の一人として参加。ニューデリー事務所は、同准の国際航空賃の一部を助成。発表テーマは、「Urban Infrastructure: Demand for Functional Efficiency」

	事業名	助成対象団体	期間	内容
16	Nihongo Center (在外助成)	Nihongo Center	05.9.10～ 05.9.10	日本語学校であるNihongo Centerの主催による日印交流イベント。会場はニューデリー事務所。駐在日本人によるピアノ弾き語り演奏のほか、インド人役者による一人芝居、参加者による日本語とヒンディー語の歌、のプログラムが行なわれた
17	Japan Habba (在外助成)	バンガロール大学外国語学科	05.9.21～ 05.9.21	バンガロール大学外国語学部主催、ニューデリー事務所を含む26法人・個人の助成による日印交流イベント。9月21日(水)の一日間。訪印中の東京外国語大学ウルドゥー語劇、大阪外国語大学ヒンディー語劇のバンガロール巡回公演のほか、日本語を学ぶインド人およびバンガロール在住の日本人の合同で、盆踊り、折り紙、剣玉、活花、日本語劇、歌、など多数のプログラムを実施
18	日本研究・知的交流企画開発事業：小規模助成(カムラ・カント・アスタナ氏)	カムラ・カント・アスタナ	05.9.27～ 05.9.29	2005年9月27日から29日に国土交通省の主催で開催された「2005サステナブル建築世界会議東京大会」に、Kamla Kant Asthana(建築家)が発表者の一人として参加。ニューデリー事務所は、同氏の国際航空賃の一部を助成。発表テーマは、「The Indian Experience」
19	パネル・シアター・キャラバン(在外助成)	International Institute of Perfect Arts (IIPA)	05.11.14～ 05.11.18	トゥウィングル(メンバー3名)によるパネル劇およびハーブ演奏。11月デリー日本文化月間のイベント。IIPA主催、ニューデリー事務所助成によりデリー、チャンディガル他合計4都市を巡回公演。デリー(11月14日)ではニューデリー事務所を会場に実施
20	国際日本文学セミナー(Indo Japan Association for Liter)(在外助成)	デリー大学東アジア研究科/国文学資料館	05.11.18～ 05.11.19	日本文学に関する日印双方の研究者のセミナー。デリー大学、国文学資料館の共催で11月18日、19日の2日間にわたり実施。11月デリー日本文化月間のイベント。会場はサヒティヤアカデミーおよびインド工科大学。出席した主な研究者は日本側は伊藤鉄也、青田寿美、インド側はウニタ・サチダナンダほか多数
21	日本語劇(Indo Japan Association for Literature)(在外助成)	デリー大学日本語学科	05.11.19～ 05.11.19	デリー大学日本語学科の学生による日本語劇公演。11月デリー日本文化月間の行事のひとつ。会場はインド工科大学講堂。演目は3つで『ねずみの嫁入り』、『ヒロシマのピカ』、『山姥の錦』
22	Ikebana International Gurgaon Chapter #255(在外助成)	Ikebana International Gurgaon Chapter #255	06.1.7～ 06.1.7	池坊、草月、大原の各流派の合同の活花展示会。デリー郊外のグルガオンで実施。インド人の制作による活花の紹介
23	バンガロールスピーチコンテスト(在外助成)	バンガロール大学日本語講座	06.2.5～ 06.2.5	バンガロールで行なわれた初の日本語スピーチコンテスト。ニューデリー事務所は、スピーチ出場参加者旅費の一部を助成
24	日本研究・知的交流企画開発事業：小規模助成(Attakkalari)	Attakkalari	06.3.6～ 06.3.18	2006年3月6日から18日にダンス・アンド・メディア・ジャパンの主催により東京と京都で開催された「ダンス・アンド・メディア2006」および「ムービング・ワークショップ」に、Jayachandran Palazhy(アタッカラリ代表)が出演参加。ニューデリー事務所は、同氏の国際航空賃の一部を助成

14. ニューヨーク事務所

合計額 97,611,119円

(1) 主催・共催事業

	事業名	共催者	会場	都市	期間	内容
	【公演】					
1	The Flight of the Moon	Goethe-Institut New York	ニューヨーク・ドイツ文化会館	ニューヨーク	05.4.28～ 05.4.28	ニューヨークのゲーテ・インスティトゥートと共催し、ハンブルク在住の多和田葉子（芥川賞作家）のゲーテメダル受章を記念し、ベルリン在住の高瀬アキ（ジャズピアニスト）とのデュオによる「音と言葉」に関するパフォーマンスを実施。「日本におけるドイツ年」開幕および国際交流基金とゲーテ・インスティトゥートとの国際提携関係締結を記念する事業としても位置付けた
2	Katsui-Yamamoto-Kabusacki: Improvisational Music	Consulate General of Argentina in New York	在ニューヨーク・アルゼンチン総領事館	ニューヨーク	05.5.27～ 05.5.27	在ニューヨークのアルゼンチン総領事館と共催し、アルゼンチン音響派の中心人物、フェルナンド・カブサッキ（ギター）、日本を代表する前衛即興音楽家の勝井祐二（ヴァイオリン）、山本精一（ギター）の3名を迎え、「インプロヴィゼーション音楽の夕べ」と題する無料コンサートを実施
3	在米日本専門家中南米派遣事業（大竹史朗/フォルクローレ・ギター）	在ペルー大使館	カントリークラブビジャ/日秘文化会館/国立音楽学校	リマ	05.11.2～ 05.11.9	在ペルー大使館からの要請に基づき、米国に活動拠点を置く大竹史朗（フォルクローレ・ギター奏者）を派遣し、公演およびレクチャー・デモンストレーションを行なった
4	在米日本専門家中南米派遣事業（三村奈々恵/マリンバ）	在ホンジュラス大使館/在パナマ大使館	サイベ劇場（サンペドロスーラ）/国立劇場（テグシガルバ）/国立劇場（パナマシティ）	サンペドロスーラ /テグシガルバ/ パナマシティ	05.11.7～ 05.11.17	在ホンジュラス大使館および在パナマ大使館からの要請に基づき、米国に活動拠点を置く三村奈々恵（マリンバ奏者）を派遣し、公演およびレクチャー・デモンストレーションを行なった
5	在米日本専門家中南米派遣事業（佐竹晃/バンジョー・津軽三味線）	在レシフェ総領事館/在ベレン総領事館/サンパウロ日本文化センター	サント・アレシャンドレ教会（ベレン）/レシフェ日本文化協会/レシフェ旧市街ボン・ジェズ通り日本市会場/バイア連邦大学/サンパウロ日本文化センター	ベレン/ レシフェ/ サルヴァドール/ サンパウロ	05.11.21～ 05.12.4	在ベレン総領事館および在レシフェ総領事館からの要請に基づき、米国に活動拠点を置く佐竹晃（バンジョー・津軽三味線奏者）とアントワース・シルヴァーマン（ヴァイオリン奏者）を派遣し、公演およびレクチャー・デモンストレーションを行なった

	事業名	共催者	会場	都市	期間	内容
6	在米日本専門家 中南米派遣事業 (伊藤さちよ舞 踊団/日本舞踊)	在チリ大使館/ 在アルゼンチン 大使館/在パラ グアイ大使館/ 在ウルグアイ大 使館	サンチャゴ大学 /アルゼンチン 沖縄県人連合会 /パラグアイ・ 日本・人造りセ ンター/国立ソ ドレ劇場(モン テヴィデオ)	サンチャ ゴ/ブエ ノスアイ レス/ア スンシオ ン/モン テヴィデ オ	05.11.28～ 05.12.9	チリ、アルゼンチン、パラグライ、 ウルグアイの各大使館からの要請に 基づき、米国に活動拠点を置く伊藤 さちよ舞踊団(日本舞踊・琉球舞踊) を派遣し、公演およびレクチャー・ デモンストレーションを行なった
7	【講演・シンポジウム】 米国日本研究図 書館等情報専門 家会議(NCC連 絡協議会)開催	NCC(北米日本 研究資料調整評 議会)	ミシガン大学/ 米国議会図書館	アナー バー/ワ シントン DC	05.9.16～ 06.1.14	本年度開催された2回のNCCの連絡 協議会に協力した。米国における日 本研究図書館等情報専門家が、日 本研究者の参加も仰ぎつつ、日 本研究図書館の置かれている現状と課題を 報告・検討するとともに、それに対 する各種方策を討議するというも の。なお、第2回目の会議に際して は、平成18年度図書寄贈プログラム 事前審査会も併せて実施
8	【映画】 日本映画紹介プ ロジェクト	国際観光振興機 構/ジャパンソ サエティ/フィ ルムフォーラム /リンカーンセ ンター /MoMA/BAM ほか	リンカーンセン ター/ジャパン ソサエティ/ フィルムフォー ラム/ニュー ヨーク近代美術 館/ブルックリ ン音楽アカデ ミー	ニュー ヨーク	05.8.1～ 06.3.31	2005年秋から2006年冬にかけて ニューヨーク近代美術館、リンカー ンセンター、フィルムフォーラム、 ジャパンソサエティの4つの主要な 文化機関において日本映画の連続上 映会が実施された機会を利用して以 下の方法により日本映画の総合的な 紹介を実施。その後、ブルックリン 音楽アカデミーでの日本映画特集も 紹介。なお、実施にあたっては上記 5機関のほか、ニューヨーク総領事 館と国際観光振興機構の協力を得 た。 ①広報用ポストカードの作成・配布 ②専用ウェブサイトの設置 ③雑誌およびウェブサイトへの広告 掲載

	事業名	共催者	会場	都市	期間	内容
9	中西部大学巡回映画祭	イリノイ大学/ ボール州立大学/ カンザス大学/ ウィスコンシン 大学/セントオ ラフ大学	イリノイ大学 アーバナ・シャ ンペーン校構内 劇場/ボール州 立大学Pruis Hall/カンザス 大Woodruff Auditorium劇 場/ウィスコン シン大学マディ ソン校シネマ テーク/サウス ゲート・シネマ	アーバナ /マン シー/ ローレン ス/マ ディソン /ノース フィール ド	06.2.1～ 06.3.7	日本映画を上映する機会の少ない中 西部の地方都市の大学において、日 本文化紹介のために映画上映会を実 施する。本年度は、中西部の5大学 を会場に、現代の日本を様々な角度 から取り扱った比較的新しい4つの 作品(『Nobody Knows』/『顔』/『GO』 /『アカルイミライ』)を上映
【出版・広報】						
10	ウェブサイト運 営	-	-	-	05.4.1～ 06.3.31	ニューヨーク事務所の概要、公募プ ログラムの案内、ニューズレター電 子版等を掲載。使用言語は英語。電 子メール (info@jfnny.org) による各 種照会にも対応。URLは http://www.jfnny.org。本年度は、 秋から冬にかけてニューヨークで開 催された日本映画特集を専用に紹介 するページをサイト内に設置し、特 集終了後は、ニューヨークでの日本 映画上映情報を定期的に紹介する ページにリニューアルした
11	ニューズレター 発行	-	-	-	05.4.1～ 06.3.31	ニューヨーク事務所のニューズレ ター“Bridges”(年2回発行/カラー印 刷/4,000部作成)を発行。米国にお いて国際交流基金が主催または助成 する各種事業を、国際交流基金事業 に必ずしも馴染みのない大学・研究 機関、文化・芸術団体の関係者に向 けて分かりやすく広報することを主 眼とした
12	NCC日本情報 提供事業協力	NCC(北米日本 研究資料調整評 議会)	-	-	05.4.1～ 06.3.31	NCC(北米日本研究資料調整評議 会)の活動の一環である、ニューズ レターの発行(年2回)およびホーム ページにおける図書資料関係の情報 提供事業に対し協力
13	短期フェロー シップ紹介小冊 子作成	-	-	-	06.3.1～ 06.3.31	プログラム開始後4年を経過した日 本研究短期フェローシップに関し、 その成果を米国の日本研究者に広報 するため、元フェロー3名によるエッ セイと過去の受賞者一覧からなる小 冊子を作成し、米国アジア学会 (AAS)年次総会において配布

	事業名	共催者	会場	都市	期間	内容
	【その他】					
14	米国における日本研究関連団体活動実態調査	-	ジョンズ・ホプキンス大学 SAIS/米国議会図書館 /Asilomar Conference Center/米国議会図書館/マリオット・ホテル	ワシントンDC/モントレー/サンフランシスコ	05.4.1～ 06.3.31	以下の5つの会議に参加し、活動実態調査を実施。 (1) 日本研究セミナー「Washington and Southeast Regional Seminar Spring Meeting 2005」 (2) 「Mirror of Tree, Mirror of Field: a Celebration of the Life and Music of Toru Takemitsu」 (平成17年度日本研究会議等助成案件) (3) 「SSRC Dissertation Conference」(平成17年度日本研究会議等助成案件) (4) 米国日本研究図書館等情報専門家会議(NCC連絡協議会)(日本研究企画開発事業案件) (5) 第58回全米アジア学会年次総会(日本研究企画開発事業案件)
15	博士論文フェローシップ調査	-	-	-	06.2.1～ 06.3.31	例年、米国における博士論文執筆者招へいフェローシップの辞退者が多いこと背景を探り、同フェローシップの改善に資するため、過去の正候補者および補欠候補者を対象とするアンケート調査ならびに日米両国の他機関が提供する同種のフェローシップとの比較調査を実施
16	南部日本研究調査	-	マイアミ国際大学	マイアミ	06.3.1～ 06.3.31	国際交流基金および在米大使館が対米日本研究方針として打ち出している南部重視の方針に対応すべく、南部地域の日本研究の現状と今後の課題、およびそれへの対応策に関する調査を行なった。南部地域の大学等に所属する日本研究者を対象にE-mailによるアンケート調査を行ない、その回答および電話調査によるフォローアップをまとめて報告書を作成。関連して、3月4日にマイアミ国際大学で開催される南部地域の本研究会議Southern Japan Seminarにおいて、南部の日本研究の現状と将来に関するセッション(2名が発表、その後質疑応答)を実施
17	第58回全米アジア学会年次総会でのフェロー懇親会開催	-	マリオット・ホテル	サンフランシスコ	06.3.15～ 06.3.31	第58回米国アジア学会(AAS)年次総会において、国際交流基金事業の広報と日本研究関係者との人脈維持・形成を目的としてフェロー懇親会を兼ねたレセプションを開催

(2) 助成・協力事業

	事業名	助成対象団体	期間	内容
	【助成事業】			
18	Nichibei Social Luncheon Speakers Series	Japan America Society of Greater Cincinnati	05.5.25～ 05.5.25	オハイオ州シンシナティのHilton Netherland Plazaにおいて、シンシナティ日米協会の主催により、Thomas Foley（前駐日米国大使）の講演会を実施
19	US Sumo Federation National Championship	United States Sumo Federation	05.6.4～ 05.6.4	米国相撲連盟の主催による全米相撲選手権大会（2005年10月に大阪で開催される2005年世界相撲選手権大会の米国予選を兼ねる）をニュージャージー州ノースバーゲン市で開催。男子の部では、全米9州から25名の選手が参加し、軽量級、中量級、重量級、無差別級の4クラスで争われた。女子の部では、6選手が参加し、軽量級、中量級、重量級でそれぞれ世界選手権への代表が選考された。また、35歳以上のマスター・クラスにも16名の参加があった
20	Minnesota 2005 Bon Odori	Japan America Society of Minnesota	05.7.1～ 05.8.21	ミネソタ日米協会の主催により、ミネソタ州セントポールで毎年行なわれる灯籠流しフェスティバルにあわせて、日米両国の市民による盆踊り大会を開催
21	Linguistic Theory and the Japanese Language	Massachusetts Institute of Technology	05.7.30～ 05.7.31	アメリカ言語学協会が主催するサマーインスティテュートに会場提供校であるマサチューセッツ工科大学が日本の言語学者を招き、「言語学理論と日本語」をテーマに発表と討議を行なった
22	HOWL DANCE at How! Festival 2005	LA LUTTA NMC	05.8.11～ 05.8.28	ニューヨークのイーストヴィレッジで毎年夏に開かれる「ハウル！フェスティバル」に日本の若手舞踊家・振付家、池田素子が招かれ、在ニューヨークの舞踊家・振付家、中馬芳子率いるスクール・オヴ・ハードノックスのメンバーとともに「INSIDE/OUTSIDE」を共演
23	Tokyo Nostalgia	The Field (Theatre Arts Japan)	05.8.13～ 05.8.27	在ニューヨークの演劇集団「シアター・アーツ・ジャパン」がニューヨーク国際FRINGEフェスティバルに参加し、岸田國士の作品の連続公演を行なった
24	Harmony with Nature: Ai-zome Textiles from Japan	Emory University	05.9.1～ 05.10.28	八柳隆秋（染色作家）と田村康之（陶芸作家）の二人展「自然との調和－日本の藍染め」をジョージア州アトランタのエモリー大学図書館ギャラリーで開催
25	Ensemble N_JP	Lake Forest College	05.9.17～ 05.9.22	ジーン・コールマン（作曲家/クラリネット奏者）が京都の街並みに着想を得て制作した音楽・映像作品「Kyoto In_Ex」を、日米の演奏家によって構成される「アンサンブルN_JP」がシカゴ・ワールドミュージック・フェスティバル（シカゴ文化センター）とサウンドフィールド2005フェスティバル（レイクフォレスト大学）で演奏

	事業名	助成対象団体	期間	内容
26	From Japan to America: The Washi Works	American Museum of Papermaking at Georgia Tech	05.9.19～ 06.3.29	ジョージア工科大学アメリカ製紙博物館において、日本を代表する和紙アーティストである伊部京子を招き、新作の制作と展示を行なった
27	CulturFest 2005	Cultural Diversity Network of Steele County	05.9.24～ 05.9.24	ミネソタ州オワトナの非営利団体「スティール郡多元的文化ネットワーク」が文化交流フェスティバルを開催、在ミネアポリスの太鼓演奏グループ「古言太鼓」が参加
28	JapanFest 2005	Japanese Chamber of Commerce of Georgia	05.9.24～ 05.9.25	ジョージア日米協会とジョージア日本商工会議所の共催により、アトランタ市内のストーン・マウンテン・パークで日本文化祭を開催
29	Columbia University Seminar, Modern East Asia: Japan	Columbia University	05.10.14～ 06.5.12	コロンビア大学の外部向けセミナーの一環として、近現代の日本をテーマにした毎月1回、計7回の連続セミナーを実施。セミナーのテーマは以下のとおり "Pathways to Reconciliation: Eleanor Roosevelt and Japan, 1953" "Repaying Evil with Kindness: Nationalist Generals and Japan during the Early Cold War" "Japan and the League of Nations" "The Japanese American Experience of Internment to Redness: Racism, Resilience and Social Action" "Anal Fistulas, Dyspepsia, Enemas and other Alimentary Issues in the Work of Natsume Soseki" "Rethinking Disability and Social Welfare Policy in Japan and the United States" "The Formation of Medieval Japanese Town and the Rise of Kamakura New Buddhism"
30	Splitting the Night Sky	Danspace Project	05.10.28～ 05.10.30	マレーシア出身の振付家ジョイス・リムの新作「splitting the night sky」に日本から2名のダンサー（JOU/高橋沙織）が参加し、公演を行なった
31	Five Friends from Japan: Children in Japan Today	The Children's Museum of Kansas City	05.11.19～ 06.2.10	現代日本の子供の暮らしを紹介する「日本の五人の友達」展（ボストン子供美術館とワシントン子供美術館の共同制作）をカンザスシティ子供美術館において開催
32	Yutaka Sone: Forecast Snow	The Renaissance Society, University of Chicago	06.1.29～ 06.4.9	シカゴ大学ルネサンス協会においてロサンゼルス在住の現代美術作家、曾根裕の雪の結晶をテーマとするインスタレーション展を開催
33	Visiting Lecturer on Japan/Asian Contemporary Art	New Jersey City University Foundation	06.2.20～ 06.2.25	福岡アジア美術館の主任学芸員として国際的に活躍している黒田雷児を招き、ニュージャージー市立大学で特別講義を行なうとともに、ボストンのHaynes Convention Centerで開催されたアメリカ美術史学会年次大会にパネリスト他として参加した。また、マサチューセッツ工科大学のList Visual Arts Centerおよびコーネル大学でも講演を行なった

海外事務所

	事業名	助成対象団体	期間	内容
34	Thousand Years Waiting	Crossing Jamaica Avenue	06.2.23～ 06.03.12	乙女文楽の第一人者、桐竹繭紗也を迎え、在ニューヨークの劇団「クロッシング・ジャマイカ・アヴェニュー」が源氏物語と更級日記に着想を得たチオリ・ミヤガワのオリジナル作品「千年待ち」を上演
35	The 3rd Annual Asian Cultural Experience Festival	Valdosta Asian Cultural Association	06.3.3～ 06.3.4	ジョージア州ヴァルドスタの非営利団体「アジア文化協会」がアジア文化体験フェスティバルを開催、日本の伝統的な結婚式のデモンストレーションを行なった
36	The Body Breaks: Butoh, Breakdancing and Beyond	Links Hall	06.3.3～ 06.3.26	シカゴ在住の舞踏家、ニコール・レゲットの監修により、1カ月にわたり舞踏フェスティバルを開催。吉岡由美子（ドイツ）、ディエゴ・ピニオン（メキシコ）といった外国で活躍する舞踏家から地元イリノイ州に活動拠点を置く振付家まで、幅広いアーティストが参加。ワークショップやシンポジウムなども実施
37	Flying West to Go East: A Photographic Diary	New York City Opera	06.3.16～ 06.4.13	ニューヨーク・シティ・オペラの愛知万博参加の様相を撮影した写真パネル（撮影：ジョー・マクナリー）をニューヨーク州立劇場内に展示
38	Ninth Annual Student/Teacher Symposium	Seton Hall University	06.3.31～ 06.3.31	大学院生と中高の教師達が参加し、発表する日本研究シンポジウムをシートンホール大学で開催。当日は4つに分かれたパネルでの発表とともに、①および②を実施した。 ① 日本語/多文化教育優秀賞授与式、日本週間優秀賞授与式 ② Hofstra大学のDavid Flynn教授によるシンポジウム基調講演 "Innovation in Japan and Other Selected Industrial Societies"

15. ロサンゼルス事務所

合計額 81,427,520円

(1) 主催・共催事業

	事業名	共催者	会場	都市	期間	内容
1	【公演】 文化芸術主催事業（日本の遊び：事始め）	日米文化会館	アラタニ日米劇場	ロサンゼルス	06.1.8～ 06.1.8	日本の「遊び」をテーマに琴・尺八・津軽三味線・書家・弓道家・ウード奏者のコラボレーションにより新年を寿ぐパフォーマンスを行なった

	事業名	共催者	会場	都市	期間	内容
	【講演・シンポジウム】					
2	日本語教育シンポジウム	AATJ/ATJ/NCJLT	Wyndham Baltimore Hotel	バルチモア	05.11.20～ 05.11.20	全米レベルでの教師間の情報交換およびネットワーク拡充、各州における教育環境の向上を目的に、全米各地の日本語教師会代表者を集め議論を行なった。「Vision for the Future - Don't let our ship sink!」と題し、米国における日本語教育の現状と今後の展望を考察し、各地の代表者による活発な議論を行なった
	【映画】					
3	文化芸術主催事業（日本の遊び: 芸者の世界）	日米文化会館	アラタニ日米劇場	ロサンゼルス	05.12.18～ 05.12.18	ハリウッド映画の公開により米国人の日本の芸者文化に対する関心が高まる機会を捉え、アンドリュー・マスキー（芸者をテーマとした展覧会を手がけた米国人学芸員）による講義、溝口健二監督作品『祇園囃子』の上映会および京都ポスター展を開催
	【日本語教育】					
4	夏期日本語ワークショップ	AATJ/フロリダ日本語教師会	オンライン研修/フロリダ国際大学	マイアミ	05.6.12～ 05.7.2	初中等から高等教育まで全てのレベルから11人の日本語教師を集め、AP日本語導入により一層重要性が高まりつつある縦の繋がり（Articulation）を意識した教師養成ワークショップを行なった。講師は當作靖彦（カリフォルニア大学サンディエゴ校教授）とロサンゼルス事務所の専任講師
5	コンサル委員会	国際交流基金	ロサンゼルス事務所	ロサンゼルス	06.1.14～ 06.1.14	ロサンゼルス事務所における平成18年度日本語関係プログラムの予備審査として、米国在住日本語専門家3名による委員会を開催
6	定期刊行物記事用取材プロジェクト	ロサンゼルス各地	－	ロサンゼルス	06.2.27～ 06.3.31	日米間を繋ぐ架け橋となる人物を選んでインタビューを行なった。日本と関わりがあり、日米間の友好を支援する交流活動を行なった人物4名を取材

海外事務所

	事業名	共催者	会場	都市	期間	内容
	【出版・広報】					
7	日本語ニュースレター発行「Wahoo!」	—	ロサンゼルス事務所	ロサンゼルス	05.4.1～ 06.3.31	中学・高校で日本語を学習する生徒を対象とする日本語学習誌。日本文化紹介とゲームを含んだ自習用日本語練習問題から構成されている。中学・高校に加えて全米各地の日米協会・在米公館にもオンラインにより配布
8	ニュースレター発行「Breeze」	—	ロサンゼルス事務所	ロサンゼルス	05.4.1～ 06.3.31	日本語教師を対象とした日本語教育情報誌。全米の日本語教育関係者によるエッセイや、米国における日本語教育事情を調査、報告。本年度は第32号を発行し、オンラインにより配布
	【その他】					
9	所長交代レセプション	—	日米文化会館	ロサンゼルス	05.6.17～ 05.6.17	ロサンゼルス事務所の新所長就任レセプションを開催
10	キューレーター会議	—	日米文化会館	ロサンゼルス	06.3.28～ 06.3.30	米国各地の有力な美術館の学芸員が集まり、美術館が抱える課題とその解決方法について意見交換を行なった

(2) 助成・協力事業

	事業名	助成対象団体	期間	内容
	【助成事業】			
11	日本語教育ミニグラント(第17回中西部日本語教師学会)	オハイオ州立大学東アジア言語文学科	05.4.15～ 05.4.16	日本への語学留学を主要テーマに様々な問題点・疑問点を多角的に考察。3名のキーノートスピーカーによる基調講演の後、活発な質疑応答が行なわれた
12	文化・芸術ミニグラント(Japan In Europe)	オレゴン大学アジア研究センター	05.4.26～ 05.4.26	多和田葉子(小説家)と高瀬アキ(ジャズピアニスト)による前衛的なピアノ演奏と朗読のパフォーマンスを開催。また、同大学ドイツ研究の授業に多和田が参加し、講演も行なわれた
13	文化・芸術ミニグラント(Evening of Classical Narrative song)	クラーク財団ルース・アンド・シャーマン・リー日本美術研究所	05.5.7～ 05.5.7	カリフォルニア州ハンフォード市にあるクラーク財団ルース・アンド・シャーマン・リー日本美術研究所の主催による浄瑠璃新内節公演。日本から人間国宝の十一世鶴賀若狭掾を招いて一般公開のレクチャーとデモンストレーション形式の公演を行なった

	事業名	助成対象団体	期間	内容
14	日本語教育ミニ グラント(第15 回中部大西洋岸 日本語教育ワー クショップ)	Elizabethtown College/ペンシ ルバニア	05.5.14～ 05.5.15	インディアナ大学のワット伊藤康子を講師に招き、「Preventing Attrition, Promoting Motivation」と題してアニメやパワーポイント等の視覚を利用した日本語教育についてのワークショップを開催
15	日本語教育ミニ グラント(第10 回ニューイング ランド北東部日 本語教師会会 議)	ニューイングラ ンド北東部日本 語教師会 (NECTJ)	05.5.21～ 05.5.21	「AP Japanese の開発と今度の動き」、「K-16の一貫教育の必要性」、「CBIに基づいた学習環境作り」、「語学学習に日本文化体験を融合した授業の進め方」、「交換留学プログラムの進め方」など、実践に役立つ情報が様々な角度から紹介
16	日本語教育ミニ グラント (Murray学区 日本語教育準備 プロジェクト)	Murray Independent School District	05.6.26～ 05.6.30	初めての日本語講座が開設されることとなったマレー独立学区の担当講師が既に日本語講座を行なっている他の学校区にある学校を訪問し、今後の授業に活かせる情報(カリキュラム/クラス運営/使用教材等)や助言を受けた。また、ケンタッキー日米協会を訪問し、日本語教育に関する有益な情報を得た
17	日本語教育ミニ グラント(ハワ イ日本語教師会 ワークショップ)	ハワイ日本語教 師会(HATJ)	05.7.9～ 05.7.9	ハワイ州での教師会活動はここ数年休止していたため、その再活性化に向けて、今後行なう活動について教師会メンバーで検討を行なうと共に、AP日本語に関する最新情報を共有
18	文化芸術ミニグ ラント(サムラ イ・フィルム・ フェスティバル)	日米文化会館	05.8.21～ 05.9.18	活動写真と題して、戦後の日本を代表する映画を上映。溝口健二監督の『新平家物語』、市川崑監督の『細雪』、小林正樹監督の『切腹』を英語字幕入りで上映
19	文化・芸術ミニ グラント(アウ トローシリー ズ)	アメリカン・シ ネマテーク	05.9.9～ 05.9.16	アメリカンシネマテーク恒例のアウトローシリーズとして、1950年代から1990年代の日本映画(時代劇/やくざ映画/怪談など)の最高傑作を紹介。篠田正浩監督『暗殺』(1964)、岡本喜八監督『殺人狂時代』(1967)、鈴木清順監督『殺しの烙印』(1967)、深作欣二監督『狼と豚と人間』(1964)などの8作品を4日間にわたり上映
20	日本語教育ミニ グラント(第15 回コロラド外国 語教師会日本語 ワークショップ)	コロラド外国語 教師会	05.9.17～ 05.9.17	今年で15回目を迎えるコロラド州における外国語教育学会であるが、これまでは「日本語」は含まれておらず、今回初めて、コロラド日本語教師会(CAJLT)の協力もあり、「日本語」もプログラムに含まれることとなった。「Multimedia Hands-on Workshop」と題して、WebCTを使ったオンライン・アクティビティーや、Audacity Editing Softwareを使った録音機能など、日本語教育でいかにウェブ・テクノロジーを有効に利用できるかについて具体的に紹介
21	文化芸術ミニグ ラント(マンガ シンポジウム)	ポモナ大学 Pacific Basin Institute	06.2.17～ 06.2.17	「米国の若者に影響を与えるマンガ」についてのシンポジウム。日本および米国内からマンガを研究する著名な教授陣4名を迎え、日本のマンガが米国の若者に与える影響について、学術的な観点から議論を行なった

	事業名	助成対象団体	期間	内容
22	日本語教育ミニ グラント(加州 日本語学園協会 ワークショップ)	加州日本語学園 協会(CAJLS)	06.2.18～ 06.2.18	片岡裕子(カリフォルニア州立大学ロングビーチ校教授)によるAP日本語に関する講演およびグループディスカッションが行なわれた
23	日本語教育ミニ グラント (Designing Effective Assessment)	ウィスコンシン 大学東アジア研 究センター/ ウィスコンシン 日本語教師会	06.2.18～ 06.2.18	當作康彦(UCサンディエゴ教授)を講師に迎え、効果的なコミュニケーション能力のアセスメントに関するワークショップを開催(Rubric作成のコツや、実際にRubricを使って評価をする際の注意点などを紹介)。後半は、参加者が7つの組に分かれて、前半で学んだことを活かしながら、実際にアセスメントのサンプルを作成
24	日本語教育ミニ グラント(第9回 當作教授による ワークショップ)	アリゾナ日本語 教師会	06.2.26～ 06.2.26	當作康彦(UCサンディエゴ教授)を講師に迎え、CBI(Content-based Instructions)に関するワークショップを開催(CBIがいかにかにAP日本語テストにも効果をおよぼすかについても説明が付け加えられた)。後半はコンピュータ・ラボへ移動し、参加者自身がCBIを踏まえて実際に教材作りをし、それぞれの教材の発表を行なった
25	日本語教育ミニ グラント(国際 会議および奨学 金プログラム運 営サポート)	ATJ (Association of Teachers of Japanese)	06.3.1～ 06.3.30	「日本語教育国際研究大会(ICJLE)」および「Bridging Scholarship」のための事務局運営支援。ICJLEの参加登録をオンラインで行なうためのシステム構築、および、ウェブのメンテナンス経費の一部を助成
26	日本語教育ミニ グラント(ハリ ケーン被災校支 援)	ニューオリンズ 大学/ディラー ド大学	06.3.1～ 06.3.30	ハリケーンで経済的に打撃を受けた学生たちへのサポートとして、貸し出し用の教科書をオフィスに備えておき、必要に応じて貸し出しを行なった
27	日本語教育ミニ グラント(日本 語イマージョン プログラム卒業 生対象ウェブ調 査開発・管理)	Alliance of Associations of Teachers of Japanese (AATJ)	06.3.1～ 06.3.30	小・中9年間の日本語イマージョンを卒業した学生のうちで、引き続き高校でも日本語を学習した「Ex-Immersion生徒」を対象としたフォローアップ調査(Web Survey)
28	日本語教育ミニ グラント(第5回 実践日本語国際 会議)	サンフランシス コ州立大学	06.3.4～ 06.3.5	中山(オハイオ州立大学教授)と、現在ATJの会長も務めるマグローイン(ウィスコンシン大学マディソン校教授)を基調講演者に招き、言語学の分野での研究成果をいかに効果的に日本語教育に取り入れていくかについて考察。この他にも、40名を超える日本語教育関係者が発表を行なった
29	日本語教育ミニ グラント(第18 回中部日本語教 師会ワーク ショップ)	ミシガン大学	06.3.4～ 06.3.5	「AP日本語」本格開始に向け、高校と大学間のアーティキュレーションを高める目的で開催された研修会。高校のAP日本語コースを受験した日本語学習者が、大学に入学後も、スムーズに学習を継続できるよう、カリキュラムの調整を試みた

	事業名	助成対象団体	期間	内容
30	文化芸術ミニグラント (Band of Ninja Creening)	UCLA Film and Television Archive	06.3.11～ 06.3.11	UCLA附属Hammer Museumとロサンゼルス現代美術館(MOCA) 共催のアメリカンコミックブックをテーマにした展覧会開催に合わせ、大島渚監督のアニメ映画『Banf of Ninja (忍者武芸帳)』の上映会を開催
31	日本語教育ミニグラント (第21回米国南東部日本語教師会年次総会)	Washington & Lee 大学	06.3.19～ 06.3.20	アイオワ大学の畑佐由紀子による、コミュニカティブ・アプローチにおける言語形式重視の教育についての基調講演が行なわれ、続いて「教授法」と「言語学」の両分野でバラエティーに富んだ内容の発表が行なわれた
32	文化・芸術ミニグラント (シルバーレイク・映画祭)	Silver Lake Film Festival実行委員会	06.3.24～ 06.3.24	1999年設立されたNPO団体シルバーレイクフィルムフェスティバルが主催となり、今年で6回目の開催。同映画祭はThe LA Weekly において2004年LAで開催する映画祭Top5に入るほどの評価を得る。今年はアジアのカルト映画特集で、日本映画部門では日本のホラー映画の原点と言われる中川監督の作品『東海道四谷怪談』、『地獄』、『毒婦高橋お伝』を上映
33	日本語教育ミニグラント (カリフォルニア州日本語教師会ワークショップ)	カリフォルニア州日本語教師会	06.10.16～ 06.10.23	多くの日本語教師にとって非常に関心の高い「AP日本語」というテーマで、A P日本語特別委員会のメンバーである當作康彦(UC, SanDiego教授)と片岡裕子(CSU, LongBeach教授)を講師に迎え開催された研修会

16. メキシコ事務所

合計額 23,585,251円

(1) 主催・共催事業

	事業内容	共催者	会場	都市	期間	内容
	【展示】					
1	セルバンティーノ国際芸術祭 (舞踏家写真展)	セルバンティーノ国際芸術祭	グアナフアト大学	グアナフアト	05.10.5～ 05.11.4	第33回セルバンティーノ国際芸術祭の一環として、メキシコの写真家が撮影した山海塾や日本の舞踏家の写真展を実施
2	セルバンティーノ国際芸術祭 (現代文化ポスター展)	セルバンティーノ国際芸術祭	グアナフアト大学	グアナフアト	05.10.5～ 05.11.4	第33回セルバンティーノ国際芸術祭の一環として、トロント日本文化センターが所蔵するポスターを利用した展覧会「現代日本ポスター展」および「横尾忠則展」を実施

海外事務所

	事業内容	共催者	会場	都市	期間	内容
【講演・シンポジウム】						
3	メキシコにおける日本研究のバランスと展望	メキシコ国立自治大学	メキシコ国立自治大学	メキシコシティ	06.1.26～ 06.1.27	メキシコ国内における日本研究機関・日本研究者間のネットワークを強化し、協力体制を構築するため、国内の主要機関からの参加者による、日本研究の現状と課題の発表および今後の共同事業の可能性についての討議を実施
4	ラテンアメリカにおける日本研究の現状と課題	エル・コレヒオ・デ・メヒコ	エル・コレヒオ・デ・メヒコ	メキシコシティ	06.3.3～ 06.3.3	中南米スペイン語圏日本研究ディレクターが約20年ぶりに改訂されたことを機に、中南米各国における日本研究の現状と課題を分析し、今後の連携と協力体制を構築するためのセミナーを開催
【日本語教育】						
5	日本語運用能力ブラッシュアップ研修	メキシコ日本語教師会	国立工科大学UPIICSA校	メキシコシティ	05.6.11～ 05.11.19	メキシコ人日本語教師の日本語運用能力の向上を目指して、6月から11月までの期間に合わせて10回のレッスンを実施。メキシコ人教師13名がこのコースに参加
【出版・広報】						
6	広報誌の発行	－	メキシコ事務所	－	05.4.1～ 06.3.31	メキシコにおける日本語教育に関する情報誌『EL Patio』を年3回発行。日本語教授法や教材に関する情報を提供し、国内で開催される日本語教育に関する催し、日本語教育機関の活動などを紹介

(2) 助成・協力事業

	事業名	助成対象団体	期間	内容
【助成事業】				
7	在墨日本文化専門家（茶の湯）派遣助成/グアテマラ/コスタリカ	裏千家メキシコ	05.7.21～ 05.7.27	「日・中米交流年2005」事業の一環として、グアテマラ、コスタリカで開催された日本文化フェスティバルに、在メキシコの茶の湯専門家（日暮豊弘（茶道裏千家メキシコ駐在講師））を派遣して茶道デモンストレーションを実施
8	伊東豊雄講演会	国立建築博物館	05.9.6～ 05.9.6	伊東豊雄（建築家）による、メキシコのJuan O'Gorman（建築家）に関する講演会。国立建築博物館が開催したO'Gormanの生誕100年を記念する展覧会の事業の一環

	事業名	助成対象団体	期間	内容
9	琴グループ公演	グアダラハラ州立大学環太平洋学部	05.10.11～ 05.10.11	アジア・ハリスコ州産学国際連携事業およびグアダラハラ市・京都市姉妹都市提携25周年記念事業の一環として、グアダラハラ州立大学で琴の演奏と講演を実施。メキシコシティ在住の琴演奏専門家グループを派遣
10	はぎのみほ 「Blue Piano」	シケイロス芸術センター	05.11.17～ 05.11.18	はぎのみほ（美術作家）の選曲と高橋アキ（現代音楽ピアニスト）の演奏による「Blue Piano」の展覧会を開催
11	ベラクルス州弁論大会助成	ベラクルス日本語教師会	05.11.19～ 05.11.19	ベラクルス州内の4つの日本語教育機関（ベラクルス州立大学ハラッパ校/オリサバ校/ベラクルス工科大学/クリストバルコロン大学）が合同で日本語弁論大会（第3回目）を開催
12	在墨日本文化専門家（空手）派遣助成/キューバ	メキシコ空手協会	05.12.1～ 05.12.4	キューバで行なわれる空手競技会に併せて、在メキシコの空手専門家による日本武道を紹介し日本文化理解を促進することを目的とした日本武道デモンストレーションおよび講演会を実施
13	在墨日本文化専門家（生花）派遣助成/ドミニカ	生け花インターナショナル・メキシコ	06.2.7～ 06.2.8	ドミニカにおける日本文化月間中の文化行事として、在メキシコの生け花専門家（生け花インターナショナル・メキシコ講師）2名による生け花デモンストレーションを実施

17. ロンドン事務所

合計額 98,741,946円

(1) 主催・共催事業

	事業名	共催者	会場	都市	期間	内容
	【講演・シンポジウム】					
1	日本の舞台芸術 (連続講座)	Sage Gateshead (シリーズ5のみ)	ロンドン事務所	ロンドン /ゲイツ ヘッド	05.5.12～ 05.9.1	前年度から始まった「日本の舞台芸術」連続講座の後半。シリーズ4「Dance Dance Dance」(5月12日)、シリーズ6「National Theatre and National Identity?」(6月23日)、シリーズ7「Children's Theatre」(9月1日)。5月21日に会場をSage Gatesheadに移し、実験音楽に関するトークを実施。各回ともテーマに沿った日英の専門家をスピーカーとして招いた
2	日本研究・知的 交流関連講演 会：Mizoguchi and Japan	BFI Publishing	ロンドン事務所	ロンドン	05.6.8.～ 05.6.8	翻訳・出版協力事業の対象であった『Mizoguchi and Japan』の出版を記念して、著者Mark Le Fanuによる講演会を実施

海外事務所

	事業名	共催者	会場	都市	期間	内容
3	文化講演会	ヴィクトリア&アルバート博物館	ロンドン事務所	ロンドン	05.6.14～ 05.6.14	「New Approaches to Japanese Lacquer Conservation: The V&A's Mazarin Chest Conservation Project」と題するセミナーをヴィクトリア&アルバート博物館と共催で実施。同博物館の収蔵作品で、1630年代に日本で制作された漆塗りの櫃（通称マザリン・チェスト）の修復保存プロジェクト（現在進行中）の経過ならびに方法論についての報告が行なわれた
4	日本研究・知的交流関連講演会：Japanese Journeys	Global Oriental	ロンドン事務所	ロンドン	05.11.1～ 05.11.1	戦後の英国における日本研究の第一人者であり、長年にわたり各種の国際交流基金事業の支援者であった、ジェフリー・ボウナス（オックスフォード大学名誉教授）の自伝『Japanese Journeys: Writings and Recollections』の出版記念会を実施
5	「Crossing Boundaries」シンポジウム	Institute of Contemporary Arts	ICA	ロンドン	06.2.5～ 06.2.5	主催映画祭「Comic Proportions」開催にあわせて、「Crossing Boundaries: Japanese Films Adapted from Japanese Manga」と題するシンポジウムを実施。漫画の映画化に関する変遷や、日本社会における漫画の受容などについて二人の専門家による発表があったほか、山口雄大監督をゲストとして迎え、映画制作にまつわるエピソードなどについて聞く機会を設けた。質疑応答も行なわれた
6	海外事務所企画開発事業：古美術収集品の調査	ヴィクトリア&アルバート博物館	ロンドン事務所	ロンドン	06.3.21～ 06.3.22	英国の美術館・博物館などに収蔵されている日本関係の作品の実態把握ならびにそれら収蔵品の認知度を高めるための方策を協議するための非公開シンポジウムを、13名の専門家を招いて実施。また翌日には、日本関係の収蔵品の由来ならびに所在先の紹介に加え、それら収蔵品を積極的に活用している地方美術館の活動事例を報告してもらう、一般を対象とした公開セミナーを実施

	事業名	共催者	会場	都市	期間	内容
	【映画】					
7	主催映画祭	ICA/ Filmhouse/ Cornerhouse/ Showroom/ Watershed	ICA/ Filmhouse/ Cornerhouse/ Showroom/ Watershed	ロンドン /エジン バラ/マ ンチェス ター/ シェ フィール ド/プリ ストル	06.2.3～ 06.2.28	英国における日本製漫画の人気の高まりを踏まえ、「Comic Proportions: Japanese Films Adapted from Manga」と題する巡回映画上映会を実施。上映作品は、『魁！！クロマティ高校THE★MOVIE』（監督：山口雄大）、『ぼくんち』（監督：阪本順治）など計5本。ロンドンでの上映会には山口雄大が登場し、自身の作品紹介を行なうとともに観客からの質問に答えた。また、上映会の関連事業として、漫画と映画の関係性を話し合うシンポジウムを執り行なった
	【日本語教育】					
8	図書館運営	－	ロンドン事務所	ロンドン	05.4.1～ 06.3.31	日本語教育に関連する資料（教科書・教材・参考図書）を中心とする専門図書館を運営
9	日本語教育研修会・出張指導	－	ロンドン事務所 他	ロンドン 他	05.4.1～ 06.3.31	ノンネイティブ日本語教師の日本語力ブラッシュアップのためのリフレッシャー・コースを2005年7月に、また日本語を導入していない学校の語学主任を対象に日本語の入門授業と情報提供を行なうヘッドスタートを2006年1月に実施したほか、各地の学校の求めに応じて出張授業（ステップング・アウト）を実施
10	BATJ共催セミナー	BATJ	ロンドン事務所 /バーミンガム 大学/カーディフ 大学	ロンドン /バーミ ンガム/ カーディ フ	05.4.1～ 06.3.31	英国日本語教育学会（BATJ）と共催で、自律学習や教材開発に関するセミナー・ワークショップを実施
11	日本語スピーチコンテスト	BATJ/JLC/日本大使館	在英国大使館/ ロンドン大学	ロンドン	05.4.1～ 06.3.31	中等教育レベルの日本語スピーチコンテストをJLC (Japanese Language Committee) および日本大使館と、大学レベルの日本語スピーチコンテストをBATJ（英国日本語教育学会）と共催で実施
12	日本語教育情報（ニューズレター）発信	－	－	－	05.4.1～ 06.3.31	日本語教育に関する情報と教材を掲載したニューズレター『まど』を3回発行（うち、1回はウェブ版）
13	日本語教育情報（ウェブ関係）発信	－	－	ロンドン	05.4.1～ 06.3.31	中等レベルの音声教材をはじめ、日本語教育に関連する情報をロンドン事務所のウェブサイトに掲載

海外事務所

	事業名	共催者	会場	都市	期間	内容
	【出版・広報】					
14	文化情報発信	-	-	ロンドン	05.4.1～ 06.3.31	ロンドン事務所ウェブサイトの内容更新およびメンテナンスおよびニュースレター『Perspectives』の発行
15	広報強化	-	-	ロンドン	06.1.4～ 06.3.31	文化事業に詳しいPRコンサルタントに業務委託をし、ロンドン事務所のPR・マーケティング活動の現状評価と将来に向けた提言をまとめた
	【その他】					
16	日本研究フェローシップ・フォローアップ(準備)	-	-	ロンドン	05.9.1～ 06.3.31	英国内の国際交流基金フェローを集めた会議実施に向け、会場選定、ゲストとの交渉等の準備作業を行なった。会議は2006年5月に開催

(2) 助成・協力事業

	事業名	助成対象団体	期間	内容
	【助成事業】			
17	文化事業協力助成：Do Not Interrupt Your Activities	Royal College of Art	05.4.7～ 05.5.1	ロンドンの王立芸術大学のキュレーション専攻学生13人による卒業制作としての特別展で、阿部幸子（現代美術作家）によるライブ・インスタレーションを展示
18	日本研究・知的交流研究事業協力助成：Japan Politics Colloquium	Cambridge University	05.4.12～ 05.4.13	日本政治・経済および国際政治の最新動向や研究に関する年次シンポジウム（1993年から実施）。英国のみならず欧米各国から同分野に携わる研究者および民間の専門家、政府関係者が参加。開催地は参加者の持ち回りで毎年変わり、2005年はケンブリッジ大学東洋研究学部東アジア研究所が主催
19	文化事業協力助成：Hana Sakuma 100 books which I didn't buy	Unit 2 Gallery	05.4.29～ 05.6.10	英国在住の現代美術作家サクマ・ハナのロンドン初の個展。サクマの作品は、言語、翻訳、普遍性といった概念を問い直すものであり、個展のタイトルでもある「100 books which I didn't buy」はロンドン市内の書店で撮影した本の映像をビデオ作品にした
20	日本研究・知的交流研究事業協力助成：Research Student Forum	Birkbeck College	05.5.6～ 05.5.7	ロンドン大学バーベック・カレッジが同大学SOASと共催で実施した、人文系の日本研究における修士・博士課程の学生を対象としたワークショップ。論文執筆中の学生が自らの研究について発表することを通じて研究者として重要な発表スキルを養うとともに、研究内容に関する専門的な議論を通じて、学生や研究者間の交流を促すことを目的とした

	事業名	助成対象団体	期間	内容
21	文化事業協力助成：Music Lover's Field Companion	The Sage Gateshead	05.5.20～ 05.5.22	新しい音楽ホールSage Gatesheadにて開催された、世界の実験音楽を紹介する3日間のイベント。今回は日本の実験音楽に焦点が当てられ、灰野敬二、小杉武久など、この分野では著名な日本人アーティスト4人が参加。海外アーティスト全16名の中で大きな位置を占めた
22	文化事業協力助成：Nana Shiomii-MITATE	Oriental Museum, Durham	05.6.26～ 05.9.18	英国在住の若手木版画家、塩野奈葉の作品60点をOriental Museumの収蔵品の浮世絵と比較検証する形で展示。会期中はギャラリートークやワークショップも実施
23	文化事業協力助成：An Extraordinary Day	Perth Museum and Art Gallery	05.8.10～ 05.8.10	アイヌ文化を体験する参加型のイベント。日本からアイヌ文化継承者を招き、民芸品制作、伝統舞踊の披露、アイヌとスコットランドの民話のリサイタルなどが行なわれた
24	文化事業協力助成：Rock the Future	FACT, the Foundation for Art & Creative Technology	05.8.26～ 05.10.31	世界の先端をゆく日本のメディアアート作品を紹介する企画展。日本からRessentiment、exonemoおよびRyota Kuwakuboが招へいされた。また同時に日本のビデオアーティストの作品も何本か上映
25	文化事業協力助成：Instal 05	The Arches, Glasgow	05.10.15～ 05.10.17	実験音楽フェスティバルInstalにて日本の実験音楽を特集。若手を中心とするミュージシャン向井千恵、非常階段、秋山徹次、JOJO広重などが招待され、パフォーマンスを行なった。日本では彼らが共演することは稀であり、世界的にも貴重なイベントとなった
26	文化事業協力助成：Frieze Project	Frieze Foundation	05.10.20～ 05.10.24	英国最大のコンテンポラリー・アートフェアであるフリーズ・アートフェアの関連事業として、Jay ChungとQ Takeki Maedaが招へいされ、観客参加型のパフォーマンスを行なった。Q Takeki Maedaは20代の新進気鋭の日本人作家
27	日本研究・知的交流研究事業協力助成：Anglo-European Cooperation in Japanese Studies.	University of Sheffield	05.10.21～ 05.10.22	日本研究分野における英国と欧州の大学間の協力について話し合う、2日間の会議
28	文化事業協力助成：Kigata Banko	Project Ability, Glasgow	05.10.24～ 05.10.29	年齢の違いや障害の有無を超えて幅広く楽しめる芸術活動を推進する団体Project Abilityによる、木型万古（木型を使って茶器などを作る陶芸の手法）のワークショップ。アムステルダム在住の若手日本人作家を講師に招いた
29	日本研究者旅費支援プログラム：Naoko Shimazu	Naoko Shimazu	05.12.9～ 06.1.7	調査・研究のため短期間の訪日を希望している研究者に対し、航空賃を助成する、ロンドン事務所独自のプログラム。対象者（所属機関）：Naoko Shimazu (Senior Lecturer, Birkbeck College, University of London)。研究テーマ：State and Civil Society in Japan during the Russo-Japanese War of 1904-5

	事業名	助成対象団体	期間	内容
30	文化事業協力助成： Contemporary Japanese Films	グラスゴー大学 欧日社会科学研 究センター	06.2.17～ 06.3.10	今回で7回目を数えるグラスゴー大学主催の無料の日本映画祭。 今回は「Japanese Ouch」というテーマのもと、4本の英語字幕付き作品（国際交流基金の海外フィルムライブラリー所蔵作品）を上映
31	文化事業協力助成：Ensemble Tozai & Peter Wiegold	IF Festival /Mainland Productions Ltd	06.2.17～ 06.4.3	和洋の音楽の融合を目指す演奏グループEnsemble Tozaiと作曲家・演奏家のピーター・ウィーゴールドによるコラボレーション演奏会。大学と共催で日本人演奏家によるワークショップも行なわれた
32	日本研究者旅費支援プログラム：William H Kelly	William H Kelly	06.3.11～ 06.3.19	調査・研究のため短期間の訪日を希望している研究者に対し、航空賃を助成する、ロンドン事務所独自のプログラム。対象者（所属機関）：William H Kelly (Research Fellow, Europe-Japan Research Centre, Oxford Brookes University)。研究テーマ：Culture of Gaming and Gambling in Japan
33	日本研究者旅費支援プログラム：Miyoko Yamashita	Miyoko Yamashita	06.3.14～ 06.5.13	調査・研究のため短期間の訪日を希望している研究者に対し、航空賃を助成する、ロンドン事務所独自のプログラム。対象者（所属機関）：Miyoko Yamashita (Head of Japanese, Centre for Modern Languages, University of Birmingham)。研究テーマ：Japanese cultural aspects and awareness and the development of a cultural module to support Japanese teaching in the UK
34	日本研究者旅費支援プログラム：Ornella Corazza	Ornella Corazza	06.3.29～ 06.4.3	調査・研究のため短期間の訪日を希望している研究者に対し、航空賃を助成する、ロンドン事務所独自のプログラム。 対象者（所属機関）：Ornella Corazza (PhD Candidate, SOAS, University of London) 研究テーマ：Contemporary theories about the Japanese conception of the human body, a comparative study
35	日本研究者旅費支援プログラム：Rebecca Salter	Rebecca Salter	06.3.30～ 06.4.11	調査・研究のため短期間の訪日を希望している研究者に対し、航空賃を助成する、ロンドン事務所独自のプログラム。 対象者（所属機関）：Rebecca Salter (Associate Research Fellow, University of the Arts, London) 研究テーマ：To build a comprehensive archive of Japanese woodblock printing -method and materials to be lodged with a UK museum
36	日本研究者旅費支援プログラム：Rupert Cox	Rupert Cox	06.3.31～ 06.4.17	調査・研究のため短期間の訪日を希望している研究者に対し、航空賃を助成する、ロンドン事務所独自のプログラム。 対象者（所属機関）：Rupert Cox (Granada Centre for Visual Anthropology, University of Manchester) 研究テーマ：An anthropological investigation of the relation between sound and the sense of place in a neighbourhood community in Kyoto City Japan
	【会場提供】			
37	Exam Day（試験対策セミナー）	Edexcel, WJEC	05.4.1～ 06.3.31	中等教育修了試験（GCSE/WJEC）や大学入学資格試験（Aレベル）について、試験概要の説明や実際の取り組み例を紹介する教員向けセミナーを計3回開催

18. ブタペスト事務所

合計額 27,698,953円

(1) 主催・共催事業

	事業名	共催者	会場	都市	期間	内容
	【講演・シンポジウム】					
1	講演会「知られざるエピソードで綴る日本・ハンガリー関係史」	-	ブタペスト事務所	ブタペスト	06.3.24～ 06.3.24	ハンガリー在住の梅村裕子（歴史研究者）による講演会。
	【映画】					
2	日本映画講演会・上映会	ハンガリー国立フィルムアーカイヴ	フィルムアーカイヴ/ウクルモズゴ	ブタペスト	05.5.5～ 05.5.8	大久保賢一（映画評論家）が、クロアチア、セルビア・モンテネグロを訪問する機会にあわせ、ブタペストでも日本映画についての講演を実施し、あわせ、以下4作品の上映を行った。『シコふんじゃった』（1992年/周防正行）、『あ、春』（1998年/相米慎二）、『リボルバー』（1988年/藤田敏八）『僕らはみんな生きている』（1993年/滝田洋二郎）
3	ドキュメンタリー・フィルム・フェスティバル参加	中欧大学	ウルクモズゴ映画館	ブタペスト	05.12.4～ 05.12.4	Central European University/Open Society Archives 主催の第二回VERZIOドキュメンタリーフィルムフェスティバル中のプログラムRemembering World War IIに、国際交流基金フィルムライブラリー所蔵作品より今村昌平監督『にっぽん戦後史・マダムおんぼろの生活』（1970年）を出品
	【日本語教育】					
4	日本語講座	-	ブタペスト事務所	ブタペスト	05.4.1～ 06.3.31	日本語講座を運営。2005年4月から6月は、昨年度下半期の継続で、レベル1A・1B、レベル2の3つの初級コースを運営。2005年9月から2006年3月までは、レベル3（初級）とレベル4（中級）の2コースを追加し、運営。各コース週2回、1回100分の授業を実施。各レベルの期末受講者数は、以下のとおり。1A：16名、1B：20名、2：15名、3：10名、4：11名、計72名

	事業名	共催者	会場	都市	期間	内容
	【出版・広報】					
5	ニューズレター 発行	-	-	-	05.4.1～ 06.3.31	ブタペスト事務所広報誌『えんがわ』の発行。平成17年度は、第7号、8号、9号を発行。第7号は、ブタペスト事務所所蔵展示セットのハンガリー国内展示についての特集号。第8号は、2005年1月に行なわれた『鬼太鼓座』公演のインタビュー特集号。第9号は、平成17年度事業についての報告等
	【本部事業受入】					
6	日本映画祭（現代・クラシック／在外事業）	ハンガリー国立フィルムアーカイヴ	ウルクモズゴート映画館	ブダペスト	05.4.1～ 06.3.31	9月に、ブダペストにて、現代日本映画5作品を上映。作品名は『blue』、『蕨野行』、『笑う蛙』、『ふくろう』、『ポストマンブルース』。12月に、ブダペストにて、クラシック日本映画6作品を上映。作品名は『醜聞』、『白痴』、『雨月物語』、『炎上』、『人間蒸発』、『早春』
7	相撲レクチャーデモンストレーション（在外事業費分）	-	テレーズバーロシュ2カ国語学校/欧州相撲選手権会場	ブダペスト/ヴィシェグラード	05.6.9～ 05.6.13	竹内龍作（日本相撲連盟評議員）を解説者に、近畿大学の大山隆盛、谷岡史浩を実演者に迎え、スポーツとしてのアマチュア相撲を紹介。6月10日には、ブダペスト市内のテレーズバーロシュ2カ国語学校で、同校生徒および外部の一般人向けに解説・実演を行なった。翌11日にはヴィシェグラードにて、欧州相撲選手権が開催されるのにあわせ、同選手権の中のプログラムとして、解説・実演を行なった
8	アニメ講演会（在外事業費分）	-	プーシキン映画館	ブダペスト	06.2.5～ 06.2.5	2006年2月5日に、ブダペスト市内のプーシキン映画館において、アニメに関する講演会およびアニメ作品の上映会を行なった。講演者は、丸山正雄（株式会社マッドハウス取締役）。上映作品は、『東京ゴッドファーザーズ』、『妄想代理人』、『48×61』の3作品。2月6日には、CM用のアニメ製作等を行なっているmyfilm社およびアニメ製作会社であるSzimpla Film社を訪問

	事業名	共催者	会場	都市	期間	内容
9	文楽公演（在外事業費）	財団法人文楽協会/ビダーム劇場	ビダーム劇場	ブダペスト	06.10.6～ 06.10.9	10月6日（木）から9日（日）まで、4日間、5公演（土曜日はマチネ公演あり）を実施。演目は、『伊達娘恋緋鹿子 火の見櫓の段』15分、『解説（人形操作の説明等）』45分、休憩20分をはさんで、『壺坂観音霊験記 沢市内より山の段』55分

(2) 助成・協力事業

	事業内容	助成対象団体	期間	内容
	【助成事業】			
10	在外事業（第15回国際凧揚げ集会）	コシュート・ラヨシュ文化センター（パークズド）	05.4.30～ 05.5.15	ブダペストの西、車で1時間ほどの街、パークズドで開催される、第15回国際凧揚げ集会の開催にあわせ、日本の凧の展示を行なった。凧揚げでは、日本式の凧も多く揚げられた
11	在外事業（Beauties from Japan展）	ガラス・ピラミッド・ギャラリー	05.5.13～ 05.5.20	日本のガラス工芸作家である故藤田喬平のガラス工芸美術品と、日本人形作家である故大野初子の人形作品の展覧会
12	在外事業（Japanese Kites in the sky）	モーラ・フェレンツ美術館	05.5.21～ 05.5.21	ブダペストの国立博物館庭園において、5月21日にハンガリー各地の美術館・博物館がブースを出展する催しがあったが、同イベントにおいて、セゲドに所在するモーラ・フェレンツ博物館は、「日本の凧」をテーマに選び、出展し、来場者に日本の凧の制作を体験させることとした。助成対象経費は、凧の材料費と、インストラクターへの謝金
13	「V+A=E+C」展覧会	The Visual Works Contemporary Art Association	05.7.16～ 05.7.23	V+A=E+C - Visual Art = Engine of Culture とのコンセプトのもとに、若手ビジュアルアーティストの作品を展示する展覧会に、日本人写真作家である三田村光土里の作品を出展した。三田村は、2003年12月にブダペストのロードビッチ美術館にて国際交流基金主催で開催した「心の在り処」展の出展作家であり、その時の出会いが、今回の出展につながった
14	Lecture and Exhibition about Laquer Ware	Gabriela Balogh	05.9.6～ 06.1.7	日本の漆器の技術紹介実演と展覧会の開催。9月6日から13日まで、「Symposion Tarsasag」において、9月15日から30日まで「Archiaika Osmuveszeti Keramia Egyesulet」において、10月25日に「Magyar Iparmuveszeti Egyetem」において、2006年1月7日まで「Hopp Ference Kelet-Azsiiai Muveszeti Muzeum」において、それぞれ実施、開催。助成項目は、ポスター作成費およびパンフレット作成費
15	Friendship of Forms展	Dulanszky Studio Galeria	05.10.20～ 05.11.5	4名の日本人陶芸家と3名のハンガリー人彫刻家のグループ展覧会。日本からの参加アーティストは、勝田素子、藤崎トモコ、北澤智美、カワグチ・ジュンで、いずれも陶芸家。ハンガリーからの参加者は、鉄の彫刻家2名と、木の彫刻家1名
16	「多面的な日本」特集号発行	Magyar Naplo 出版社	05.11.1～ 06.1.31	文芸雑誌である『Magyar Naplo』誌の2006年2月号に、日本特集の記事を掲載することと、同記事掲載のための編集費等を支援

	事業内容	助成対象団体	期間	内容
17	Rokolective, Festival for electric music	Rokolective	06.1.27～ 06.1.29	2006年1月27日から29日まで、ルーマニアのブカレストの国立現代美術館にて開催された「Festival for electronic and related visual arts」の最終日に、パリ在住の日本人アーティスト2名（アオキ タカマサ/ツジコ ノリコ）のパフォーマンスを行なった
18	Premiere of Akira	Odeon Ltd	06.3.11～ 06.3.19	2006年3月16日（日）に、ブダペスト市内のオデオン映画館にて、アニメ映画『アキラ』のプレミア上映会を行なった。『アキラ』のみならず、日本のアニメ紹介の機会とした。上映会に先立って、エオトヴェシロラード大学メディアセンターのスタッフであり、アニメ・マンガ文化の専門家、アニメ・マンガ雑誌の記者であるVarro Attilaが20-30分程度の講演を行なった
19	Japan-Hungary Friendship Concert	Executive Committee Japan-Hungary Friendship Concert	06.3.24～ 06.3.24	2006年3月24日にリスト音楽院の小ホール（客席数350席）において、リスト音楽院で学ぶ日本人学生とハンガリー人学生のコラボレートコンサートを開催する日本人卒業生も、ゲスト演奏家として招待された。同コンサートは、ブダペスト・スプリング・フェスティバルのイベントの一環として実施
20	事務所所蔵展示品展覧会	外部団体	05.4.1～ 06.3.31	<p>【文化備品・視聴覚資料貸出】</p> <p>事務所所蔵の展示セットを貸し出し、展覧会を開催した</p> <p>2月～5月 「日本人の日常生活展」 ジュラ市</p> <p>3月～4月 「日本人形展」 ショプロン市</p> <p>3月～5月 「凧・独楽展」 セゲド市</p> <p>5月～6月 「日本人形展」 モションマジャルオーヴァール市</p> <p>5月～6月 「凧・独楽展」 ザラエゲルセグ市</p> <p>5月～6月 「日本の世界遺産展、凧・独楽展」 デブレツェン市</p> <p>6月～6月 「日本人の日常生活展」 ブダペスト市</p> <p>7月～7月 「日本人形展」 セゲド市</p> <p>7月～8月 「日本の世界遺産展、凧・独楽展」 マーテーサルカ市</p> <p>8月～9月 「日本人形展」 ベスプレーム市</p> <p>8月～8月 「日本人形展、日本の世界遺産展、凧・独楽展」 ケチケメート市</p> <p>9月～11月 「日本人形展、日本の世界遺産展、凧・独楽展」 シャーロシュパタク市</p> <p>11月～2月 「日本人形展、日本の世界遺産展」 セケサード市</p> <p>2月～2月 「日本人の日常生活展」 ソンバトヘイ市</p>

19. カイロ事務所

合計額 26,542,685円

(1) 主催・共催事業

	事業名	共催者	会場	都市	期間	内容
	【展示】					
1	ララ・バラディ 作品展(現代美術)	ララ・バラディ (美術作家) / タ ウンハウス・ ギャラリー	タウンハウス・ ギャラリー	カイロ	06.2.12～ 06.3.8	元国際交流基金芸術家フェローである現代美術作家ララ・バラディ (レバノン出身/カイロ在住) の、日本で収集した映像を利用した新作の制作・展示 (『Roba Vecchia -the Wheels of Fortune-』)。本作品は、アニメや商品の映像など現代日本のサブカルチャーや風俗を題材にしたビデオ映像を組み込んだインスタレーション。カイロ事務所は、インスタレーションの制作費用を負担
	【公演】					
2	現代音楽リサイタル(井上郷子)	エジプト文化省 国立文化センター	カイロ・オペラ ハウス	カイロ	05.5.3～ 05.5.3	井上郷子 (ピアニスト) の演奏会を開催。欧米および日本人の現代作曲家の作品を演奏し、現代音楽の流れと、日本人作曲家の創作活動とを俯瞰できるプログラムを組んだ。演奏会の前に、作曲家・伊藤祐二によるレクチャーを実施。世界の音楽の中での日本人の現代音楽の意味について、当国音楽関係者に語った
3	津軽三味線 (山本大) リサイタル	エジプト文化省 国立文化センター/在エジプト大使館広報文化センター	カイロ・オペラ・ハウス小ホール	カイロ	06.3.1～ 06.3.1	日本の伝統的文化の紹介を目的とした、山本大 (津軽三味線奏者) による演奏会。2006年日本文化フェスティバル (カイロ事務所と在エジプト大使館広報文化センターの協力で開催) の催し物の一環として企画
4	日本人ウード奏者 (常味裕司) 演奏会	エジプト文化省 国立文化センター/在エジプト大使館広報文化センター	アラブ・ウード・ハウス/アラブ音楽院ホール	カイロ	06.3.11～ 06.3.14	日本人のアラブ音楽演奏家、常味裕司 (ウード) および和田啓 (レック) と、エジプト人演奏者との共演にて、アラブ音楽院ホールにて、アラブ伝統楽器によるコンサートを開催。また、ウード奏者ナスィール・シャンマが主宰するアラブ・ウードハウスでの地元コンサートにて、ゲスト出演

海外事務所

	事業名	共催者	会場	都市	期間	内容
	【講演・シンポジウム】					
5	日本研究入門レクチャー	－	カイロ・センタービル会議室	カイロ	05.10.23～ 05.10.23	伊藤鉄也（国文学資料館助教授）による源氏物語に関する、学生、一般文学愛好者向けのレクチャーを実施。司会・対談相手役および通訳は、アハマド・ファトヒ（カイロ大学助教授）に依頼。ラマダーン期間中であつたため、簡単なイフタル（日没後の食事）で懇談会も実施
6	俳句紹介事業	エジプト文化省 文化高等評議会	エジプト文化省 文化高等評議会 /アイン・シャムス大学外国語学部/カイロ大学文学部	カイロ	06.3.27～ 06.3.29	アラブ世界への俳句（HAIKU）の紹介を目的に、日本から木内徹（国際俳句交流協会理事/日本大学教授）を招き、当地の文学者・研究者や学生を対象に俳句についての講演、セミナーを計3回実施
	【日本語教育】					
7	日本語教育アドバイザー業務	－	－	カイロ	05.4.1～ 06.3.31	中東域内各国の日本語教育の実情把握と必要な助言活動および域内ネットワークの強化。一般市民向け日本語教育の基盤整備。エジプト国内における日本語教師人材育成。カイロ事務所日本語講座の企画・運営等
8	日本語講座（「ことばと文化」講座）	－	カイロ事務所	カイロ	05.4.1～ 06.3.31	カイロ事務所において、小規模の日本語講座を主催。年間受講者数は57名。従来、中級・上級者向けに限定していたが、本年度から、モデル的なコースとして、社会科学専攻学生対象の初級コースを試行的に開始
9	中東日本語教育セミナー	中東日本語教師連絡会	メーヴェンピック（ギザ）	カイロ	05.9.3～ 05.9.4	カイロ事務所では、中東地域の日本語教師のネットワーク構築を進めており、9月3日から4日、教師研修を兼ねた中東の日本語教師の会合をカイロで開催。研修講師としては、日本から春原憲一郎（AOTS）を招いた
	【図書館・運営】					
10	図書館運営	－	－	カイロ	05.4.1～ 06.3.31	事務所図書室の運営。年間入館者数1,837名、蔵書数1,862冊

	事業名	共催者	会場	都市	期間	内容
11	【出版・広報】 広報誌 『WAVES』	-	-	カイロ	05.4.1～ 06.3.31	アラビア語と英語の併用(対訳形式)による、カイロ事務所の広報誌『アムワグ』(WAVES)の発行。本年度は、第3号と第4号(各3,000部)を発行し、エジプトおよび一部は他のアラブ諸国で配布した
12	【教室事業】 生け花コース	-	在エジプト大使館広報文化センター	カイロ	05.8.31～ 06.3.31	カイロ在住邦人の生け花教授に講師を依頼し、エジプト人希望者に生け花指導のコースを開催。1コースにつき週1回×5回のレッスンで、毎コース定員20人の受講生を受け入れ。平成17年度は8月から9月、11月から12月および3月に、計3コースを開催
13	【その他】 高校生・日本小説感想エッセイコンテスト	-	-	カイロ	05.4.1～ 06.2.28	エジプトで出版された、吉本ばなの小説『TUGUMI』アラビア語訳の認知度を高めるために、高校生を対象に、この小説の読書感想エッセイコンテストを開催。約50点の応募からエジプト人審査員により6点の入選作が選ばれた。入賞者には賞状と記念品を授与し、入選作は小冊子にして配布
14	茶道同好会	茶道同好会(カイロ)/在エジプト大使館広報文化センター	在エジプト大使館広報文化センター	カイロ	05.4.1～ 06.3.31	在留邦人とエジプト人愛好者が集まる茶道同好会は、年間を通じ活動しているが、年2回、カイロ事務所および在エジプト大使館広報文化センターと共催で、一般エジプト人を招く公開のお茶会を開催。カイロ事務所がお茶会の費用を提供、在エジプト大使館広報文化センターは会場を提供。本年度は、2005年12月1日に「秋のお茶会」、2006年3月2日に「春のお茶会」を開催
15	2006年日本文化フェスティバル(カイロ)広報・開会式	エジプト文化省国立文化センター/在エジプト大使館広報文化センター	カイロ・オペラハウス屋外シアター	カイロ	06.1.1～ 06.3.14	フェスティバルは、人形展、日本映画祭、津軽三味線演奏会、三浦友理枝・カイロ交響楽団、日本人アラブ音楽コンサートで構成

海外事務所

	事業名	共催者	会場	都市	期間	内容
16	エジプト柔道グループ訪日協力	エジプト柔道連盟	-	-	06.3.28～ 06.5.17	日本とエジプトの武道（柔道）の交流促進を目的として、エジプト柔道連盟の要望に応え、同連盟がトレーニングのための日本への指導者・選手グループの派遣に協力（ミッションのうち6人の航空賃をカイロ事務所が負担）。筑波において日本の柔道専門家・選手らと交流し、指導を受けた

文化交流施設等協力事業に必要な経費

文化交流施設等協力事業費

1. 文化交流施設等協力事業費

- (1) 人物交流特定寄附
- (2) 日本研究特定寄附
- (3) 日本語特定寄附
- (4) 催し等特定寄附
- (5) 文化紹介特定寄附
- (6) 文化交流施設等特定寄附

文化交流施設等協力事業費

1. 文化交流施設等協力事業費

日本の企業や個人が国際交流事業に対する支援を計画している場合に、国際交流基金がその支援資金を寄附金として受け入れ、その寄附金を原資として対象となる団体に助成金を交付し、事業実施に協力する。

合計額 964,936,216円

	事業名	寄附申込者	機関	国	期間	事業内容
(1)人物交流特定寄附						
1	アジア・カルチュラル・カウンシルの日米芸術文化交流プログラム基金	ブランシェット・ロックフェラー奨学金基金-40募金委員会	アジア・カルチュラル・カウンシル	米国	04.06.15～06.03.31	アジア・カルチュラル・カウンシルの設立40周年を記念し、日本の芸術家や芸術研究者の米国留学や研修を支援する「ブランシェット・ロックフェラー(BHR)奨学金基金」を積み増し、年間2名から4名の奨学生を増員
2	ロータリー国際親善奨学支援事業	日本ロータリー奨学金委員会	ロータリー財団	米国	04.07.01～08.06.30	相違なる国民間の理解と友好関係の増進に向けて勉学を行なう者に支給する「ロータリー国際親善奨学金」および世界8カ所のロータリーセンターにて平和研究を行なう者に支給する「世界平和フェローシップ」の支給事業を実施
3	ロータリー国際親善奨学支援事業	日本ロータリー奨学金委員会	ロータリー財団	米国	05.07.01～09.06.30	相違なる国民間の理解と友好関係の増進に向けて勉学を行なう者に支給する「ロータリー国際親善奨学金」および世界8カ所のロータリーセンターにて平和研究を行なう者に支給する「世界平和フェローシップ」の支給事業を実施
(2)日本研究特定寄附						
4	アルバータ大学高円宮殿下日本カナダ記念基金	高円宮殿下記念基金ファンド・レイジング委員会	アルバータ大学	カナダ	05.04.01～08.03.31	アルバータ大学エンダウメント・ファンド基金内に高円宮殿下日本カナダ記念基金を創設し、運用益にて高円宮殿下日本教育・研究日本センターを設置し、カナダと日本の相互理解促進のための褒章事業等を実施
5	コロンビア・ロー・スクール日本法研究センター25周年記念事業	長島・大野・常松法律事務所	コロンビア・ロー・スクール	米国	04.09.01～06.06.30	コロンビア・ロー・スクール日本法研究センターの25周年を記念し、①日本法関連の特別講義シリーズ、②会議・ワークショップ、③研究・出版促進、④カリキュラム整備、⑤学生の日本でのインターシップ支援、⑥日本人学生との交流振興を実施
6	ミシガン大学ロースクール日本法研究プログラム	大江橋法律事務所	ミシガン大学ロースクール	米国	05.07.01～06.06.30	ミシガン大学ロースクールにおいて、①日本法に関連する教職員の研究活動支援、②日本法に関連する蔵書の収集、③日本法研究部門の客員教授の派遣および招へいを実施

文化交流施設等協力事業費

	事業名	寄附申込者	機関	国	期間	事業内容
7	ダートマス大学における日本学基金	在日ダートマス大学卒業生同窓会	ダートマス大学	米国	05.07.01～ 06.06.30	ダートマス大学において、①学士課程での日本語教育および日本語講座の開講、②同大学付属Tuck School of Business(修士課程)での日本関連講座開講、③図書館の日本語・日本関連図書および教材の購入を実施
8	発展する北東アジアにおける日本	坂口 功	モントレー国際大学・東アジア研究センター	米国	05.09.01～ 06.12.31	モントレー国際大学・東アジア研究センターにおいて、①「発展する日米協力」についての国際セミナー、②在日ロシア人に関する調査、③時事問題に関する公開講義、④『Crossing National Borders:Human Migration Issues in Northeast Asia』の日本語訳本出版を実施
9	長島・大野・常松法律事務所 日本法・文化研究プログラム(ハーバード・ロー・スクール)	長島・大野・常松法律事務所	ハーバード・ロー・スクール	米国	06.01.01～ 07.06.30	ハーバード・ロー・スクールにおいて、①日本法・文化を研究する学生への奨学金支給、②日本法・文化研究に必要なデータベース導入、③図書館での日本法・文化専門の司書雇用や日本関連の文献購入を実施
10	長島・大野・常松法律事務所奨学金(コロンビア・ロー・スクール)	長島・大野・常松法律事務所	コロンビア・ロー・スクール	米国	06.07.01～ 07.06.30	コロンビア・ロー・スクールにおいて、日本法の研究を行なう学生に対する奨学金支給を実施
11	長島・大野・常松法律事務所：日本法・文化プログラム(シカゴ・ロー・スクール)	長島・大野・常松法律事務所	シカゴ大学ロースクール	米国	06.07.01～ 07.06.30	シカゴ大学ロースクールにおいて、①日本法・文化を研究する学生への奨学金給付、②学生の日本企業でのインターンシップ支援、③日本法律研究会の活動支援、④学生の日本研修旅費支援を実施
12	長島・大野・常松法律事務所：日本法・文化プログラム(デューク・ロー・スクール)	長島・大野・常松法律事務所	デューク・ロー・スクール	米国	06.07.01～ 07.06.30	デューク・ロー・スクールにおいて、①日本法紹介コースへの日本人客員教授招へい、②日本法関連図書購入、③学生の日本留学支援、④香港で開催する「国際法アジアアメリカ講座」(06.7.3～06.7.28)への日本法専門の教授招へいおよび参加学生への奨学金支給を実施

文化交流施設等協力事業費

	事業名	寄附申込者	機関	国	期間	事業内容
(3)日本語特定寄附						
13	特定非営利活動法人エルエスエイチアジア奨学金	特定非営利活動法人エルエスエイチアジア奨学会	特定非営利活動法人エルエスエイチアジア奨学会	日本	05.04.01～08.03.31	新大久保駅で転落者を救おうとして亡くなった韓国人留学生李秀賢の勇気を讃え、国内の日本語学校に通うアジアからの就学生を支援するための奨学金支給事業を実施
14	ドイツ社団法人日本語普及センターの事業資金	日本語普及センター国内募金委員会	ドイツ社団法人日本語普及センター	ドイツ	05.07.01～06.06.30	日本語講座等の開講および日本語教材作成、ジークブルグ市での日本郷土玩具展(05.6.1～05.7.24)、フランクフルト市での日本舞踊・太鼓公演(05.7.9)等の日本文化紹介事業等を実施
15	ジャパン・リターン・プログラム2006年日本語サミット	ジャパン・リターン・プログラム募金委員会	特定非営利活動法人ジャパン・リターン・プログラム	日本	05.10.01～07.02.28	世界で日本語を学ぶ青少年16名を選抜、パネリストとして日本に招へいし、日本代表パネリスト4名を加えて日本の高校生・大学生とのディスカッションやディベートを行なう「2006年平和－国と世界」日本語サミット(06.7.10～06.8.8)を福岡および東京にて開催
(4)催し等特定寄附						
16	2005年スペシャルオリンピックス冬季世界大会	2005年スペシャルオリンピックス冬季世界大会実行委員会	2005年スペシャルオリンピックス冬季世界大会実行委員会	日本	03.04.01～05.09.30	世界84の国と地域から2,575人の知的発達障害を持つスポーツアスリートの参加により、長野県内の7カ所にてスキー、スケート等7競技62種目からなる「2005年スペシャルオリンピックス冬季世界大会」(05.2.26～06.3.5)を開催
17	財団法人日本さくらの会設立40周年記念国際シンポジウム「環境・さくら・文化交流」および講演会	財団法人日本さくらの会	財団法人日本さくらの会	日本	04.12.01～05.09.30	財団法人日本さくらの会設立40周年記念として、米国よりパネリストを招へいし、東京にて国際シンポジウム「環境・さくら・文化交流」(05.4.2)、京都および東京にて「さくら文化講演会」(05.4.1、および05.4.3)を実施
18	「日韓友情年2005」実行委員会企画事業	「日韓友情年2005」実行委員会	「日韓友情年2005」実行委員会	日本	05.01.01～06.03.31	「日韓友情年2005」実行委員会企画事業として、①「日韓交流シンポジウム」(05.6.29)②「日韓文化交流展」(05.6.30～05.7.3)③「日韓交流おまつり」(05.9.24)、④「日韓友情年記念コンサート」(05.12.6)⑤「日韓青少年対話の広場」(05.12.26～05.12.28)の5つのイベントを実施

	事業名	寄附申込者	機関	国	期間	事業内容
19	ワールド・パートナーシップ・フォーラム in 青森	ワールド・パートナーシップ・フォーラム	ワールド・パートナーシップ・フォーラム	日本	05.04.01～ 06.03.31	在京大使館幹部と日本経済界のリーダーたちとの交流を深め、世界的な諸問題および政策について理解を深めるフォーラムを開催（05.8.5～05.8.7）。青森県にて7カ国の大使館幹部、日本企業関係者に地元自治体関係者を交え、「日本文化の発信」をテーマとした討議と地域の視察を実施
20	四天王寺ワッソ	NPO法人大阪ワッソ文化交流協会	NPO法人大阪ワッソ文化交流協会	日本	05.05.01～ 06.04.30	古代衣装の人物行列や古代楽器の演奏で往時の東アジアの国際交流を再現する催し「四天王寺ワッソ」（05.11.6実施予定であったが、雨天のためイベントおよび後日の演奏会のみ実施）を中心に、日韓の文化交流および青少年育成交流事業を実施
21	政経文化画人展「日韓友情年2005」特別展	社団法人国際芸術文化振興会	社団法人国際芸術文化振興会	日本	05.07.01～ 05.09.30	「日韓友情年2005」記念事業の一環として、日本および韓国の政界、財界、文化界の有志による、書および絵画約69点、色紙77点を集め、東京都内百貨店催事場（05.8.4～05.8.9）および「愛・地球博」会場内ギャラリー（05.8.20～05.8.28）にて展示
22	日豪交流年実行委員会プロジェクト	日豪交流年実行委員会	日豪交流年実行委員会	日本	05.10.01～ 07.02.28	2006年「日豪交流年」実行委員会プロジェクトとして①「日豪交流史写真展」（06.6.1～06.8.31）、②パースロイヤルショーへの日本パビリオン出展（06.9.30～06.10.7）、③オーストラリア国内団体による草の根交流事業への助成金交付（06.1.1～06.12.31）を実施
23	第12回ホノルル フェスティバル	ホノルル フェスティバル財団	ホノルル フェスティバル財団	米国	05.04.01～ 06.05.31	アジア太平洋諸国とハワイの文化交流を促進するため、「太平洋再発見」をテーマとして、ホノルル市内各所にて、日本および太平洋諸国とハワイの参加団体による伝統芸能や祭り、舞踊、音楽等の披露の他、ハワイアンキルトの展示会や日米友好をテーマとしたセミナー等を実施（06.3.10～06.3.12）
24	パシフィック・ビジョン：グローバル経済における日加のリーダーシップ	北カリフォルニア日本協会	北カリフォルニア日本協会	米国	05.07.01～ 07.12.31	北カリフォルニア日本協会の100周年を記念し、世界経済の中での米国と日本の役割に焦点を当て、①「環境に優しい自動車」（05.11.8）、②「企業統治会議」（06.6.28～06.6.29）、③「デジタルなライフスタイル」（07年春）の3つのシンポジウムを実施

文化交流施設等協力事業費

	事業名	寄附申込者	機関	国	期間	事業内容
25	「やさもの：日本陶磁4000年」展	日系人ハワイ移住120周年記念特別展支援委員会	ホノルル美術館	米国	05.10.13～05.12.11	日系人ハワイ移住120周年を記念し、ホノルル美術館において、縄文土器から現代の伝統陶芸にいたるまでの日本の陶磁器展を開催。各時代、各地域の名品のうち、重要文化財12点、重要美術品1点を含む計50作品を展示し、世界に誇る日本陶磁の技と美を紹介
26	ミュージック・フロム・ジャパン2006年音楽祭	ミュージック・フロム・ジャパン・インク	ミュージック・フロム・ジャパン・インク	米国	05.11.28～06.03.31	日本の優れた音楽を米国に紹介するため、邦楽器紹介コンサート「現代に息づく伝統：中村明一、尺八」および日本の若手作曲家の作品で構成される「委嘱新作コンサートⅡ」をニューヨーク市にて実施。また、尺八コンサートをマホパック市、ナッシュビル市、スパータンバーグ市、ワシントンD.C.に巡回（06.2.8～06.2.19）
27	「富士山」－北斎・広重の浮世絵、そして写真に見る日本の美－	日本ハンガリー友好協会	日本ハンガリー友好協会	ハンガリー	05.08.10～05.12.13	「日EU市民交流年」イベントとして、富士山をテーマとして、葛飾北斎および歌川広重の浮世絵各36点と写真家富塚晴夫の現代写真36点をハンガリー・ナショナルギャラリーにて展示（05.10.13～05.11.13）
(5)文化紹介特定寄附						
28	日本音楽紹介ラジオ番組制作事業	三菱商事株式会社	ラジオ番組制作委員会	日本	05.09.15～07.03.31	中国の若者の間で人気の高い日本の最新流行音楽を、ファッション、テレビドラマ、アニメ等の情報や観光情報、イベント情報等を交えて紹介する若者向けラジオ番組を制作し、広東衛星ラジオおよび北京音楽ラジオにて放送
(6)文化交流施設等特定寄附						
29	財団法人日本民藝館「旧柳邸修復事業」	財団法人日本民藝館	財団法人日本民藝館	日本	05.09.01～06.10.31	財団法人日本民藝館の設立70周年記念事業として、日本民藝運動創始者である柳宗悦の生前の住居部分を修復し、各国の研究者のための研究交流の場を創設
30	キープ国際研修交流センター整備事業	財団法人キープ協会	財団法人キープ協会	日本	05.09.01～07.03.31	1938年に開設された青少年指導者養成キャンプ場施設を、国際的な会議、青年交流、研修事業等実施に十分対応できる施設とするため、国際会議機能を備えた国際研修交流センターとして改築、整備
31	フランス国立人類博物館内日本民家復元事業	フランスに日本庶民博物館を設立するための募金委員会	日本日常生活博物館協会	フランス	05.09.01～07.03.31	1998年に長野県木曾郡よりフランスへ移送され、ヴェルサイユ市自然史博物館倉庫に保存されていた明治時代建築の日本民家を復元し、パリの国立人類博物館で2006年秋から3年間開催される「財宝－人類の冒険」展にて展示

	事業名	寄附申込者	機関	国	期間	事業内容
32	フランクフルト現代茶室建設プロジェクト	フランクフルト現代茶室をサポートする会	フランクフルト・デザイン美術館	ドイツ	07.02.20～ 07.04.20	フランクフルト・デザイン美術館で2007年に開催される「現代日本の意匠展」の中心事業として、同美術館庭園内に茶会や茶道レクチャー等のイベントに利用できる、現代日本建築による茶室を建設

プログラム名索引 (50音順)

あ	「愛・地球博」途上国支援事業……………81	国内公演 (主催) ……………131	
	「愛・地球博」途上国支援事業……………135	国内公演 (主催) (中東) ……………134	
	アジア青年文化奨学金 (中等教育プログラム) (AC) ……41	国内公演 (助成) ……………132	
	アジア青年文化奨学金 (予備教育) (AC) ……………184	国内展 (企画展) ……………73	
	アジア地域研究センター支援 (催し等) (AC) ……………269	国内展 (助成) ……………79	
	安倍フェローシップ……………303	国内連携促進……………322	
い	異文化理解ワークショップ……………59	さ	サンパウロ日本文化センター……………416
	異文化理解ワークショップ (AC) ……………57	し	事業評価 (企) ……………328
	異文化理解ワークショップ (中東) ……………56		指導的日本語教師の養成
	インターネット・ホームページ……………324		(海外日本語教師上級研修) ……………201
う	内田奨学金フェローシップ……………84		指導的日本語教師の養成 (日本語教育指導者) ……………200
え	映画・テレビ番組制作協力……………161		シドニー日本文化センター……………405
	映像出版情報交流 (招へい) ……………143		市民青少年交流 (指導者交流) ……………40
	映像出版情報交流 (文化資料) ……………170		市民青少年交流 (主催) ……………43
	映像出版情報交流 (催し) ……………155		市民青少年交流 (主催) (中東) ……………43
お	沖縄国際フォーラム……………269		市民青少年交流 (助成) ……………44
	小渕フェローシップ……………234		市民青少年交流 (助成) (AC) ……………51
か	海外公演 (主催) ……………85		市民青少年交流 (助成) (中東) ……………55
	海外公演 (助成) ……………91		ジャカルタ日本文化センター……………380
	海外公演 (PAJ北米) ……………128		受託研修 (日) ……………205
	海外事務所企画開発事業……………225		出版・翻訳協力 (一般) ……………163
	海外展 (企画展) ……………62		出版・翻訳協力 (特別) ……………163
	海外展 (巡回展) ……………64	せ	専門日本語研修 (外交官) ……………214
	海外展 (助成) ……………74		専門日本語研修 (研究者・大学院生) ……………217
	海外日本映画祭 (主催) ……………143		専門日本語研修 (公務員) ……………215
	海外日本映画祭 (助成) ……………148		専門日本語研修 (司書) ……………216
	海外日本語教育支援NGO助成 ……………176	そ	造形美術情報交流 (招へい) ……………61
	海外日本語教師研修 (国別) ……………205		造形美術情報交流 (派遣) ……………61
	海外日本語教師研修 (在外邦人) ……………204		造形美術情報交流 (催し) ……………81
	海外日本語教師研修 (短期) ……………203		ソウル日本文化センター……………364
	海外日本語教師研修 (長期) ……………202	た	高砂熱学工業・日本研究奨励スカラシップ……………248
	開高健記念アジア作家招へい (AC) ……………42	ち	地域研究フェローシップ [ア] ……………254
	カイロ事務所……………453		地域研究フェローシップ [欧] ……………279
き	京都支部……………333		地域交流研修 (関) ……………222
く	クアラルンプール日本文化センター……………397		地域交流研修 (日) ……………206
け	ケルン日本文化会館……………346		知的交流会議等開催 (企画参画助成) (AC) [ア] ……267
こ	国際会議場貸し出し……………172		知的交流会議等開催 (主催) (AC) [ア] ……………268
	国際交流顕彰事業 (基金賞・奨励賞) ……………324		知的交流会議等開催 (主催) [欧] ……………291
	国際交流顕彰事業 (地球市民賞) ……………325		知的交流会議等開催 (主催) (中東) [欧] ……………297
	国際交流フォーラム貸し出し……………172		知的交流会議等開催 (助成) (AC) [ア] ……………265
	国際展 (国際展参加) ……………61		知的交流会議等開催 (助成) [欧] ……………292
	国際展 (横浜トリエンナーレ) ……………81		知的交流会議等開催 (助成) (中東) [欧] ……………297
	国際図書展参加……………168		知的交流会議等開催 (助成) [米] ……………240
	国際舞台芸術共同制作……………130		知的交流フェローシップ (次世代) (AC) [ア] ……261
	国内映画祭 (主催) ……………152		知的交流フェローシップ (招へい) [ア] ……………263
	国内映画祭 (主催) (AC) ……………154		知的交流フェローシップ (招へい) [欧] ……………286
	国内映画祭 (主催) (中東) ……………155		知的交流フェローシップ (招へい) (中東) [欧] ……289
	国内映画祭 (助成) ……………153		知的交流フェローシップ (派遣) [欧] ……………286

知的交流フェロシップ（派遣）（中東）〔欧〕	287	日本研究客員教授派遣（自主企画）〔ア〕	244
知的リーダー・グループ招へい〔ア〕	261	日本研究客員教授派遣（自主企画）〔欧〕	274
知的リーダー交流（アジアリーダー）（AC）〔ア〕	263	日本研究客員教授派遣（直接派遣）〔ア〕	244
知的リーダー交流		日本研究客員教授派遣（直接派遣）〔欧〕	275
（国際会議出席助成・招へい）〔ア〕	263	日本研究客員教授派遣（直接派遣）〔米〕	230
知的リーダー交流		日本研究拠点機関助成〔ア〕	246
（国際会議出席助成・招へい）〔欧〕	289	日本研究拠点機関助成〔欧〕	276
知的リーダー交流		日本研究拠点機関助成〔米〕	230
（国際会議出席助成・招へい）〔米〕	240	日本研究シニア客員教授派遣（直接派遣）〔ア〕	245
知的リーダー交流		日本研究シニア客員教授派遣（直接派遣）〔欧〕	275
（国際会議出席助成・派遣）〔ア〕	264	日本研究スタッフ拡充助成〔ア〕	246
知的リーダー交流		日本研究スタッフ拡充助成〔欧〕	277
（国際会議出席助成・派遣）〔欧〕	291	日本研究スタッフ拡充助成〔米〕	231
知的リーダー交流		日本研究組織強化支援（助成）〔欧〕	278
（国際会議出席助成・派遣）〔米〕	240	日本研究調査〔ア〕	244
知的リーダー交流（招へい）〔欧〕	285	日本研究調査〔欧〕	274
中学高校教員交流（招へい）	39	日本研究調査〔企〕	225
中国社会科学院研究生院	253	日本研究調査〔米〕	230
調査研究	328	日本研究フェロシップ（学者・研究者）〔ア〕	254
て 定期刊行物	322	日本研究フェロシップ（学者・研究者）〔欧〕	279
テレビ番組交流促進	156	日本研究フェロシップ（学者・研究者）〔米〕	235
と 東南アジア元日本留生活動支援（AC）	248	日本研究フェロシップ（短期）〔ア〕	260
図書館運営（関）	214	日本研究フェロシップ（短期）〔欧〕	284
図書館運営（日）	212	日本研究フェロシップ（短期）〔米〕	238
図書館・情報リソースセンター事業	324	日本研究フェロシップ（論文執筆）〔欧〕	282
図書寄贈〔ア〕	269	日本研究フェロシップ（論文執筆者）〔ア〕	258
図書寄贈〔欧〕	298	日本研究フェロシップ（論文執筆）〔米〕	236
図書寄贈〔企〕	228	日本研究フェロフォロアアップ	227
図書寄贈〔米〕	241	日本研究リサーチ・会議等開催（主催）〔欧〕	278
トロント日本文化センター	412	日本研究リサーチ・会議等開催（主催）〔米〕	233
に 21世紀日中交流特別事業（人物交流・招へい）	18	日本研究リサーチ・会議等開催（助成）〔ア〕	247
21世紀日中交流特別事業（文化資料）	37	日本研究リサーチ・会議等開催（助成）〔欧〕	277
21世紀日中交流特別事業（催し・主催）	35	日本研究リサーチ・会議等開催（助成）〔米〕	231
21世紀日中交流特別事業（催し・助成）	36	日本語学習者訪日研修（各国成績優秀者）	219
日米：教育を通じた相手国理解促進（助成）	315	日本語学習者訪日研修（高校生）	222
日米：教育を通じた相手国理解促進		日本語学習者訪日研修（大学生）	221
（地域活動促進小規模助成）	319	日本語教育学会助成	185
日米：教育を通じた相手国理解促進（文化資料）	320	日本語教育企画開発型事業	177
日米草の根交流コーディネーター派遣		日本語教育機関支援（現地講師謝金助成）	186
（JOI）プログラム	310	日本語教育機関支援（専任講師給与助成）	185
日米市民交流（主催）	318	日本語教育機関等調査	175
日米市民交流（助成）	311	日本語教育JFボランティア（指導助手派遣）	195
日米市民交流（地域活動促進小規模助成）	317	日本語教育JFボランティア	
日米市民交流（文化資料）	320	（シニア客員教授派遣）	196
日米センターNPOフェロシップ	310	日本語教育巡回セミナー	183
日米知的交流（主催）	308	日本語教育情報交流	175
日米知的交流（助成）	304	日本語教育専門家派遣（ジュニア専門家）	182
新渡戸フェロシップ	234	日本語教育専門家派遣（専門家）	178
日本研究ウェブサイト運営	225	日本語教育フェロシップ	206
日本研究基本図書目録	228	日本語教育プロジェクト支援	
日本研究客員教授派遣（経費助成）〔欧〕	275	（ネットワーク形成助成）	193

	日本語教育プロジェクト支援（弁論大会助成）	187
	日本語教材（寄贈）	211
	日本語教材（自主開発・普及）	208
	日本語教材（助成）	209
	日本語能力試験実施	197
	日本紹介のための文化人派遣（主催）	19
	日本紹介のための文化人派遣（助成）	23
	ニューデリー事務所	426
	ニューヨーク事務所	430
ね	年次報告	323
は	パリ日本文化会館	355
	バンコク日本文化センター	390
ひ	評価開発	198
ふ	フィルムライブラリー充実（海外）	160
	フィルムライブラリー充実（本部）	159
	舞台芸術情報交流（招へい）	83
	舞台芸術情報交流（派遣）	83
	舞台芸術情報交流（催し）	134
	ブタペスト事務所	449
	文化協力（派遣）	12
	文化交流企画運営補助ボランティア	42
	文化交流施設等協力事業費	458
	文化財保存（主催）	13
	文化財保存（主催）（AC）	14
	文化財保存（主催）（中東）	14
	文化財保存（助成）	13
	文化財保存（助成）（AC）	14
	文化事情調査	330
	文化人・グループ短期招へい	16
へ	北京日本学研究中心（研究協力）	253
	北京日本学研究中心招へい（北外）	251
	北京日本学研究中心招へい（北大）	252
	北京日本学研究中心派遣（北外）	249
	北京日本学研究中心派遣（北大）	251
	北京日本文化センター	372
ま	マニラ事務所	423
め	メキシコ事務所	441
ろ	ローマ日本文化会館	339
	ロサンゼルス事務所	436
	ロンドン事務所	443
わ	ワーキング・グループ関係費	331